国立国語研究所学術情報リポジトリ

〈全文〉 方言の形成過程解明のための全国方言調査 : 「事前研究」報告書

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-03-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大西, 拓一郎, 吉田, 雅子, 竹田, 晃子, 鑓水, 兼貴, 新井, 小枝子, 小西, いずみ, 高木, 千恵, 日高, 水穂, 舩木, 礼子, 松丸, 真大, ONISHI, Takuichiro, YOSHIDA, Noriko, TAKEDA, Koko, YARIMIZU, Kanetaka, ARAI, Saeko, KONISHI, Izumi, TAKAGI, Chie, HIDAKA, Mizuho, FUNAKI, Reiko, MATSUMARU, Michio メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002626

国立国語研究所
共同研究報告10-03

ISSN 2185-0127

方言の形成過程解明のための全国方言調査
「事前研究」報告書

大西拓一郎・吉田雅子・竹田晃子・鑓水兼貴
新井小枝子・小西いずみ・高木千恵・日高水穂
舩木礼子・松丸真大

2011年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立国語研究所
National Institute for Japanese Language and Linguistics

目次

1．本報告書について・・・・・・・・・・大西拓一郎・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2．事前研究の経緯・・・・・・・・・・・大西拓一郎・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3．準備調査の概要・・・・・・・・・・・大西拓一郎・・・・・・・・・・・・・・・ 7
4．本調査の概要・・・・・・・・・・・・大西拓一郎・・・・・・・・・・・・・・・ 11
5．本調査に向けた準備調査結果の分析
　5.1．音韻・・・・・・・・・・・・・小西いずみ・竹田晃子・・・・・・・・・ 19
　5.2．語彙・・・・・・・・・・・・・新井小枝子・吉田雅子・・・・・・・・・ 37
　5.3．文法・・・・・・・・・・・・・日高水穂・舩木礼子・高木千恵・・・・159
6．調査項目の構築作業・・・・・・・・・吉田雅子・・・・・・・・・・・・・・・・209
7．調査結果データベースの構築・・・・鑓水兼貴・小西いずみ・松丸真大・・・261
8．言語地図データベースの概要・・・・竹田晃子・・・・・・・・・・・・・・・・275
9．方言分布調査研究の意義
　9.1．全国方言準備調査における語彙項目の結果分析と考察・・吉田雅子・・283
　9.2．全国方言準備調査における文法項目の結果分析と考察・・日高水穂・・305
10．付録
　10.1．全国方言準備調査 調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・311
　10.2．全国方言分布調査 調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・354
　10.3．全国方言分布調査 調査票付図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・398
　10.4．全国方言分布調査 調査の手引き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・401
　10.5．その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 432
　10.6．研究組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 435

1. 本報告書について

大西拓一郎

本報告書は共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」の「事前研究」に関する報告書である。

「事前研究」とは，本格的な調査研究を開始するための準備段階にあたる研究である。どのような研究にも本格始動する前の準備的研究段階は存在するはずである。とりわけ，われわれのプロジェクトのように多数の研究者が共同で同等の調査を行うことをベースにする研究においては，この準備段階が明瞭である。しかもこの段階は，準備と呼びつつもその後の研究の基盤となり，展開を左右することもあるという点において，重要な位置付けを持つ。それにも関わらず，案外この段階の重要性は忘れられがちであり，明確な記録が残されていないケースが少なくない。

記録があれば，将来全国的で大規模な研究を展開しようとする際にもいちいちについてゼロから出発する必要はない。先人の過程の記録は大いに参考になる。ただ，それぞれのことがらは一見些末なことに見えるため，記録しておくことが忘れられがちである。しかし，些細なことほど，後になればなるほど分からなくなるものである。その点においてこの報告書は，将来の研究に向けた記録でもある。

本報告書は，この事前研究について報告するものである。吉田雅子が中心に作業を進め，大西とともに編集を行った。

2. 事前研究の経過

大西拓一郎

2.1. 事前研究

2009年10月に国立国語研究所は，大学共同利用機関法人人間文化研究機構の一員として新たにスタートした。その際にすべてのプロジェクトが新しく立ち上がり，われわれの共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」もそのひとつに位置付けられるものである。

2009年度はプロジェクトの初年度になるが，10月からの開始であったために，年度単位の中での研究期間は半年のみという短期に限定されることとなった。そのこともあってほとんどのプロジェクトは，2009年度を2010年度からの本格スタートのための「事前研究」の期間として位置付けた。なお，2009年度は中期計画期間の最終年度であり，2010年度は新しい中期計画期間の開始年度にあたる。

2.2. 全国方言調査委員会

われわれのプロジェクトは上記のように研究所の再スタートと同時に立ち上がったが，実はゼロからスタートしたものではない。それ以前から，研究所内外の研究者で構成する「全国方言調査委員会」という名称の組織を設け，大学共同利用機関移管後に新規の全国方言調査を本格的に実施することを念頭においた全国方言準備調査（以下，「準備調査」）を移管直前の2008年度にすでに実施していた。

全国方言調査委員会は，2006年度に立ち上げた組織である。以下にメンバーを列挙する（括弧内は参加開始年度）。

朝日祥之（2006），新井小枝子（2006），大西拓一郎（2006），沖裕子（2006），尾崎喜光（2006），狩俣繁久（2008），岸江信介（2008），木部暢子（2006），小西いずみ（2006），小林隆（2006），渋谷勝己（2006），杉村孝夫（2008），高橋顕志（2006），高木千恵（2006），竹田晃子（2006），都染直也（2006），中井精一（2006），日高水穂（2006），舩木礼子（2006），松丸真大（2007），三井はるみ（2006），吉田雅子（2006），鑓水兼貴（2007），横山詔一（2007）

なお，尾崎と横山は現在の共同研究プロジェクトには参加していない。

2.3. 事前研究ワーキンググループ

共同利用機関としての研究所において再スタートしたプロジェクトの中では，準備調査を活かして，全国方言分布調査（以下，「本調査」）に橋渡しし，本格的な全国方言調査を開始させるまでのことを，事前研究の中で実施していくこととした。その際に旧組織である「全国方言調査委員会」の若手メンバーを中心に事前研究のためのワーキンググルー

プ（以下，「WG」）を構成し，「調査項目の構築」「調査結果データベースの構築」「既刊言語地図データベースの構築」という3本を軸に本調査ための基盤固めを行った。

各テーマは，次のメンバーで構成した。筆頭者はそれぞれのグループの代表として役割を果たした。

「調査項目の構築」（吉田（リーダー），日高，舩木，高木，新井，小西，竹田）

「調査結果データベースの構築」（鑪水（リーダー），松丸，小西）

「既刊言語地図データベースの構築」（竹田（リーダー），吉田）

WGは，2009年11月，2010年1月，2010年3月にメンバー全員による会議を開催しながらそれぞれの作業を進めた。その中で，本調査の中核となる項目，調査結果をデータベース化するための基本方針が固められた。また，既刊言語地図のデータベース化は検索しやすい形に整えるべく，現在も作業を継続している。

WGが作業を進めるにあたり，大西はプロジェクトリーダーとして次の点に留意した。それは，WGに対して極力，手や口を出さないということである。ひとつには，この分野をこれから牽引する若手研究者に研究の根幹にあたるところを担いながら，力を発揮し，また経験してもらいたかったことにある（この規模の研究この段階はめったに経験できないものである）。もうひとつは，共同研究の私物化の回避を考慮したことである。このプロジェクトを立ち上げるにあたり，大西は解明したい大きな仮説を個人として有している。しかし，大規模に全国の研究者の力を結集するプロジェクトの中では，それを押しつけることは避けたいと考えた。自分はリーダーであるとともにプロジェクトの一員でもあることを肝に銘じた。以上の点は，明言してこなかったこともあって，作業を押しつけている，リーダーシップの欠如のように負の側面でとらえられたこともあったと推測する。真意が伝わらないのは残念なことではあるが，これくらい多くの人が集まるプロジェクトでは噛みこたえなければならないことは少なくない。

2.4. 共同研究プロジェクトの推進と事務局

ワーキンググループを中心とした作業は，2010年5月に開催した共同研究打ち合わせ会をめどにほぼ終了した（打ち合わせ会は他に2009年12月，2010年3月に開催し，WGの活動を通知している）。その後の作業的内容を伴う研究活動は，研究所のメンバーである大西・鑪水・吉田・竹田が事務局を構成することでそれを担っていくこととなった。

事前研究に位置付けられるのは，ここまでのことであり，以後は，本格的なプロジェクトの推進になるが，中間的な時期のこともあるので，簡潔に記しておく。

本調査を実施するためには，上記の全国方言調査委員会を引き継ぐメンバー（以下，「旧メンバー」）の共同研究者だけでは不足であることが指摘された。そこで，比較的広い地域を担当することを想定していた旧メンバーから県単位での新しいメンバー案を出してもらうこととした。そして旧メンバーから打診してもらうとともにプロジェクトリーダーの

大西からも電子メールや学会・研究集会等でプロジェクトへの参加依頼を行った。その際に共同研究者の形での参加と調査への協力を中心に行う調査協力者としての参加の二つに分けてプロジェクトに加わってもらうことにした。7月には共同研究のメンバー（共同研究者・調査協力者）がほぼ固まった。メンバーの一覧は，その後の若干の追加もまとめて「研究組織」として本報告書の最後に付載した

2010年7月18日には，共同研究者・調査協力者のほぼ全員が集まる調査説明会を開催した。その時に集まりきれなかった人を対象にした説明会を2010年度には5回（7月24日，7月27日，7月30日，12月6日，2011年2月15日）行った。

以後，メンバーにより調査が実施され，調査結果が報告され，その調査結果の共有化を推進しているが，ここからは事前研究の段階を終え，本格的なプロジェクトの推進になる。

3. 準備調査の概要

大西拓一郎

3.1 調査研究の目標

2009年1月から9月にかけて，本調査の実施に向けた準備調査を行った。

現在のプロジェクト（当時の言い方では「将来の全国方言調査・研究」）については，国立国語研究所に設けた全国方言調査委員会とともに2006年度から検討を進めてきた。

「将来の全国方言調査・研究」は，方言の形成過程を明らかにすることを目的とするもので，そのための全国方言の分布データを臨地調査に基づき，収集することになると想定した。

方言の形成過程の解明には以下の観点からのアプローチが求められると考えた。

(a) 言語変化と地理空間の相関把握と分析：特に分布の経年比較

(b) 地理空間が有する地域特性と言語の関係の解明

このうち(a)については，言語変化に伴う言語的変異と地理空間の関係を現在の分布として把握するとともに，過去に明らかにされた分布との間の経年的比較が重要な観点となる。従来から分布の通時的説明理論として重要な位置付けを有してきた「方言周圏論」ならびに言語地理学における「隣接分布の原則」の検証は，本研究の重要課題である。

(b)は，従来の方言分布研究が言語変化と地理空間上の分布の連続的(sequential)な関係に依存してきたのとは別に，地理空間を軸にしながら，社会・人的交流・自然などの地域特性との関係で言語変異のありかたを解明しようとするものである。方言分布や変異の伝播は，人的ネットワークを基盤として形成されたものと考えられ，地理的連続性はその結果として現れるものである。分布形成要因の本質としての地域特性との関係の分析に立ち帰ることが必要である。

項目の設定を行うにあたっては，以上の観点を拠り所とすることになるが，同時に分布調査では，これまで知られていなかった分布の解明・発見も期待される。その結果得られる分布情報は，(方言の持つ危機言語性を鑑みるなら)文化財的性質を帯びるとともに将来の分布調査への重要な手がかりともなる。項目設定には，このような観点も盛り込むこととした。

3.2 項目設定の基本方針

日本の方言学においては，これまでに全国調査・地域調査も含めて，400 冊以上の言語地図集とそこに収録された約30000枚の言語地図が作成されてきた(この量は，世界的にも突出している)。言語変化ならびにそれにともなう分布の経年比較においては，これらの先行調査研究は当然のことながら，重要な比較対象として位置付けられる。

そこで，これらの言語地図をデータベース化し，そこから①量的観点(比較的多くのデータ蓄積があること)，②質的観点(言語変化が分布の中で顕在化していること)，③分布解明

(未解明項目と新規変化項目),④地域性(特定の地域に特化されないこと;研究が全国を対象とすることによる条件であり,特定の地域の現象は個別の研究課題として扱い得る)の4観点をもとに項目を選定することとした。

以上の方針に基づきながら,本調査に向けての準備調査としては,約300項目程度を対象とし,分野別の配分は音韻1割・語彙3割・文法6割程度とすることを目安に(文法が多いのは,言語変化の理論的背景が把握しやすいことによる)項目を設定することを目指した。

3.3 項目選定の経過

分布変化を把握するための基本となる既存の言語地図の書誌ならびに項目のデータベース化からとりかかった。特に,各対象項目の内容(個々の地図が何についての分布を表そうとしたか)については,下記の経過で手分けをしながら,複数回にわたり,また(タグ付けの「ぶれ」を避けるため)複数の研究者の目で見直す形でタグ(具体的には分類分野情報や品詞情報などのデータ)を付与し,データベース化した。

言語地図集の書誌データベース整備については,吉田雅子が入力作業者と協力しながら,大西がすでに作成していたデータを整える(個々の地図の質問文データの追加や目次のない地図集の項目データの追加・確認作業等を含む)形で2007年5月から開始した。

項目タグ付けデータベース化作業は,大西がすでに作成していた言語地図集の目次データをもとにしながら,2006年8月に開始した(2006年6〜7月には語彙項目の分類案を作成し,試験運用を実施している)。この作業には,大西・三井はるみ・吉田雅子・小西いずみ・竹田晃子・新井小枝子が手分けして取り組んだ。第1回目の作業は,2006年8月〜2007年5月に行った。第1回目の作業終了後,作業上の問題点を整理するとともにデータの追加と分担範囲の再配分を行い,第2回目の作業を2007年11月〜2008年1月に実施した(2007年5〜11月は上記の書誌データベース整備に基づく質問文データの追加作業を行った)。第2回目の作業終了後,手分けして作成したデータを統合し,第3回目にあたる最終確認作業(タグ付けの統一ならびに個々の地図項目の主目的の絞り込みを含む)を2008年2月〜8月に大西と竹田が行った。

このタグ付き項目データベースをもとに,上記の調査・研究の目的・観点に基づき,大西が準備調査用の項目を選定し(2008年9〜11月),全国方言調査委員会の全委員に提示した。全国方言調査委員会の各委員は,大西の選定項目に意見を提出した(2008年12月)。

2009年1月11日〜12日に,全委員が集まる全国方言調査委員会を開き,各委員の意見を集約した項目案を委員全員で検討した。その検討結果を受けて,大西が最終選定を行い,先行研究等を参考にしながら質問文を付与し,全体の配列等を行うことで,準備調査の項目を設定した。

この準備調査の個々の項目とそれらの言語的性質ならびに目的の概要については,「10.付録」の「10.1. 全国方言準備調査 調査票」に提示している。収録項目数は,質問文べ

ースで音韻 14・語彙 124・文法 187(計 325)，分析対象項目ベースで音韻 32・語彙 143・文法 223(計 398)である(分野別の割合は,質問文ベース:音韻 4%・語彙 38%・文法 58%,分析対象項目ベース:音韻 8%・語彙 36%・文法 56%)。

この準備調査項目で全国調査を行い，その結果をともに，具体的な項目・対象話者・地点数等の検討を経て，全国方言の本調査の実施を目指すことになると計画した。

3.4 調査の実施

①調査体制・担当者

準備調査は，2 章に述べた「全国方言調査委員会」のメンバーが実施した。調査を担当した地域を括弧の中に記し，列挙する。

朝日祥之（愛知県名古屋市），新井小枝子（栃木県さくら市，埼玉県上里町），大西拓一郎（富山県砺波市，鹿児島県南九州市），沖裕子（長野県松本市，岐阜県高山市），狩俣繁久（沖縄県那覇市，沖縄県石垣市），岸江信介（徳島県徳島市，香川県東かがわ市，高知県南国市），木部暢子（鹿児島県日置市），小西いずみ（岡山県笠岡市，広島県三次市，佐賀県武雄市），小林隆（宮城県仙台市，福島県会津若松市），渋谷勝己（京都府京都市，和歌山県岩出市），杉村孝夫（福岡県福岡市，大分県豊後高田市），高橋顕志（群馬県前橋市），高木千恵（大阪府大阪市，奈良県田原本町），竹田晃子（青森県平川市，岩手県盛岡市，山形県米沢市），都染直也（兵庫県姫路市），中井精一（富山県富山市，石川県小松市），日高水穂（秋田県秋田市），舩木礼子（京都府与謝野町，山口県光市），松丸真大（滋賀県高島市），三井はるみ（東京都品川区，東京都立川市），吉田雅子（新潟県十日町市，山梨県早川町）

②話者の条件

話者の条件は次のように設定した。

・年齢　調査時点で 70 代以上(ただし，言語感覚が優れているなど余人をもって代えがたい話者においては 60 代も可)

・性別　男女は問わない

・居住歴　生え抜きを基本とするが，言語形成期(15 歳まで)を含む他地域への移動がおおむね 5～10 年以内におさまるならば可とする。なお，同一市区町村(いわゆる平成大合併以前の行政界)内での移動は移動と見なさない(ただし，同一市区町村内でも方言区画が大きく異なる等のケースについては，方言学的知見に基づき各調査者で判断する)。

③報告方法

語形の表記方法は，日本の方言学で通用しているブロードな IPA 表記に従うこととし，調査票そのもののコピーを国立国語研究所の研究室に郵送してもらうことで報告にあてることとした。

（以上は，『全国方言準備調査票』に記した「解説」「手引き」をもとに改稿したものである。）

4. 本調査の概要

大西拓一郎

4.1 プロジェクトの目的

本研究プロジェクトは，方言の形成過程を明らかにすることを目的に全国方言のデータを収集する調査・研究を実施するものであり，全国の方言研究者とデータの共有化をともなう共同研究体制で行う。

方言の形成過程の解明には以下の観点からのアプローチが求められる。

(a) 言語変化と地理空間の相関把握と分析—特に分布の経年比較

(b) 地理空間が有する地域特性と言語の関係の解明

(c) これまで知られていなかった分布の解明・発見

(a) では，言語変化と地理空間の関係を現在の分布として把握するとともに，過去に明らかにされた分布との間の経年的比較が重要な観点となる。従来から分布の通時的説明理論として重要な位置付けを有してきた「方言周圏論」「隣接分布の原則」の直接的な検証は，本研究の重要課題である。(b) は，地理空間を軸に社会・交通・自然などの地域特性との関係で言語変異のありかたを解明する。(c) は一見付随的ながら，仮説検証型の (a) (b) とは異なる成果が期待されるもので，ここから得られる分布情報は，文化財的性質を伴うとともに将来の分布調査への重要な手がかりともなる。

4.2 研究経緯

上記のプロジェクトは，国立国語研究所が大学共同利用機関法人に移管される前の独立行政法人時代において「全国方言調査委員会」とともに実施していた研究課題を引き継ぐものである。具体的には『全国方言準備調査 調査票』（国立国語研究所全国方言調査委員会，2009 年 1 月刊，以下「準備調査票」）を用いて，全国 39 地点で行った調査（以下，「準備調査」）をもとにしながら，本調査の項目・方法といった調査実施のための基盤を共同研究プロジェクトの中で構築した (2009 年 10 月～2010 年 5 月，このうち 2009 年度にあたる 2009 年 10 月～2010 年 3 月の研究は「事前研究」とも呼ばれる)。

この基盤構築にあたり，全国方言調査委員会を引き継いだ共同研究者の中の若手・中堅メンバーでワーキンググループ（以下，「WG」）を構成し，本調査を実施するための具体的な内容を固める作業を行った。WG は移管後の研究所におけるプロジェクト研究員をリーダーとしながら「調査項目の構築」「調査結果データベースの構築」「既刊行言語地図データベースの構築」を分掌し，それぞれの中を検討・実施内容によりさらに細分化したが，実際には WG が全体で作業を進めることも多かった。以下にその分担を記載する。

「調査項目の構築」（リーダー：吉田雅子）

「音韻項目」…竹田晃子，小西いずみ

「語彙項目」…吉田雅子，新井小枝子

「文法項目」…日高水穂，舩木礼子，高木千恵

「調査結果データベースの構築」（リーダー：鑓水兼貴）

「調査結果データベースの構造」…鑓水兼貴，松丸真大

「調査結果報告のコーディング構造」…鑓水兼貴，小西いずみ

「既刊行言語地図データベースの構築」（リーダー：竹田晃子）…竹田晃子，吉田雅子

WGは，2009年11月，2010年1月，2010年3月に実際に研究所に集まって作業を行ったほか，随時，電子メールを用いながらの議論・作業も実施した。その一方で，共同研究者全員が集まる打ち合わせ会（以下，「打ち合わせ会」）を，2009年12月，2010年3月，2010年5月に開催している。

4.3 調査項目

準備調査においては，これまでに作成されてきた言語地図をデータベース化し，それをもとにしながら「量的観点（データの蓄積）」「質的観点（分布における言語変化の顕在性）」「分布解明（未解明や新たな変化）」「地域性（地域的かたより）」という観点で項目を選定した。詳しくは「3.準備調査の概要」ならびに準備調査票の解説（pp.79-80）を参照してほしい。

研究経緯にもふれたように，本調査の項目はこの準備調査の結果を基盤としながら，プロジェクトの目的に照らしつつ，WGならびに共同研究者全員の合議を経て選定した。その具体的な経緯は次のとおりである。

2009年12月の打ち合わせ会で，WGより本調査の調査項目選定の方針が提示された。その詳細は「6. 調査項目の構築作業」に記載しているが，各共同研究者が準備調査をもとにしながら必須項目と希望項目に分けて各5項目以内に絞りWGに通知するということを基本とするものである。この方針を受けて各共同研究者は選定した項目をWGに通知し，WGは通知された内容を2010年1月と3月の会合で検討し，その結果はWGから2010年3月の打ち合わせ会に報告され検討された。それをさらに大西・吉田が整理した上で最終候補として2010年5月の打ち合わせ会に提示し，共同研究者の承諾を受け，項目としての確定をみた。

上記のとおり，WGでは調査結果の報告を含むデータベース化ならびに調査の方法も検討され，その結果は選定項目検討結果とほぼ同時に打ち合わせ会に報告されている。確定した項目とデータベース化ならびに調査の方法を総合して，最終的な調査票等の形（『全国方言分布調査 調査票』『全国方言分布調査 調査の手引き』『全国方言分布調査 調査票付図』『全国方言分布調査 報告票』）に整える作業は，大西とプロジェクト研究員の鑓水・吉田・竹田が共同で行った。

4.4　調査の方針

①調査体制・担当者

プロジェクトの共同研究者で都道府県を分担し，それぞれの共同研究者を調査協力者が補佐する体制をとっている。担当地域などについては，「10.6 研究組織」を参照のこと。

②調査地点数・話者の条件

全体の調査地点数は，500 地点とした。これはプロジェクトに課せられた研究期間に依拠するところが大きい。LAJ の 2400 地点，GAJ の 807 地点には及ばないが，全国の状況を大きく把握するには十分であると判断した。

本調査の対象とする話者の条件については，生年の下限を 1940 年，男女は問わないことを原則として設定した。

生年をこのように設定したのは，プロジェクトの目的である分布の経年比較の達成を目指すところによる。方言学において，日本の方言の時代区分が行われることがある（陣内正敬(2007)「若者世代の方言使用」『方言の機能』(岩波書店)など)。これを参考にすると『日本言語地図』(LAJ）や『方言文法全国地図』(GAJ)，また日本の言語地理学が大量に言語地図を刊行していた 1970～1980 年代の中心的対象話者が活躍した時期はプレモダン時代（昭和初期以前）に相当する。そして，その次の時期はモダン時代（戦前～高度成長期）に該当する（モダン時代の次は，共通語化が急速に進行するポストモダン時代の 1980 年以降であり，その共通語化のために単純な分布の経年比較が難しくなると想定される)。

以上を念頭に置き，プロジェクトの中心課題である分布の経年比較を実現するため，モダン時代に社会を支えた世代，すなわち戦後より前に義務教育を受けた経験を持つ年齢層―いわゆる「団塊」より前に該当する世代を対象とすることとした。このことにより方言学的にもまた社会的にも適切な間隔で時代を隔てた経年比較が可能になることをはかり，生年の設定を行った。

性別については，LAJ・GAJ では基本を男性としている。この点で，男女を問わないこととした今回の調査と異なる。性別を問わないこととしたもっとも大きな理由は，調査を実施するにあたり，性別を限定した場合に話者の確保に困難を伴う可能性が高くなるであろうという現実的なことにある。近年，面接による臨地調査の環境が厳しさを増していることがしばしば指摘されている。そのような状況にあって，条件を絞り込むとその状況に拍車をかけることが懸念され，この点を少しでも打開させる方策を事前に用意することが求められた。

それと同時に，男性のみに限定することに本当に意味があるのかということについての検討も必要である。経年比較というプロジェクトのねらいに照らせば，新古という観点は重要である。この点に関しては，女性から得られる言語情報は男性のそれより古いという見解（W. A. グロータース(1978)「日本言語地図(LAJ)と関東地方域方言事象分布地図(DAK)）の比較―方言地理学の方法論についての考察」『日本方言研究会第 26 回発表原稿集』，柴田

武(1978)「野外調査の言語学—野外言語学の方法」『言語』7-9）がある一方で，女性の方が変化を先取りするという考えもあり(楳垣実(1954)「関西弁と東京語のせり合い」『言語生活』33)，定説がない限り一律な判断は下せないことになる。

また，LAJ・GAJ では確かに男性に限定しているが，他の言語地図は必ずしもそのような条件を課しているわけではない。分布の経年比較の対象はLAJ・GAJ が中心になると予想されるが，それらに限るわけではない。ゆえに性別を絞り込むことの有効性はあまり問えない。

一方，経年変化とは別の問題点として，例えばGAJ では男性に限定したことにより，特に待遇表現の一部において重要な方言学上の情報がとらえきれなかった可能性が知られる。性別に関しては制限せずに情報を得た上で必要に応じて性別の関わりを見るなら，新たな観点による分布研究も期待される。

以上を総合的に勘案し，性別を絞り込まないこととした。

4.5 調査結果の報告とデータベース化

今回の調査においては，調査の現場での調査票（本冊子）への「記録」とデータベース化を目的とする「報告」を明確に区別し，調査票とは別に『全国方言分布調査 報告票』(以下，「報告票」）を用意した。確かにLAJ・GAJ においても調査票への記載と報告用のカードへの記載は作業上分かれている。しかし，その記載の実際は，基本的に機械的な「転記」に近いものであった。そのため，語形の表記方法にしても，注記の記載方法にしても調査者や調査地点ごとにかなりのばらつきがあった。従来はそれを国立国語研究所の担当部署が「編集」することで一律化の対応を行ってきたが，当然その負担は大きく，そのこともあって，結果の公表までに非常に長期間を要したことは確かである。

本プロジェクトは調査の実施のみならず，その結果の分析が重要である。そこで今回の調査では，初動段階からデータベース化を念頭に置き，研究の目的に適応させて，報告票への記載についてできる限り，語形の表記ならびに報告形式の統一をはかった（あくまでも報告票への記載であって，調査票での記録を制約するものではない)。具体的には報告票での語彙・文法項目の語形の表記において，本土方言に限られるものの，音声と対応したカタカナ表記方法を準備し，入力の際のあやまりを回避しながら迅速性を求め，さらに研究・分析の目的から逸脱しない範囲での表記方法に基づくデータベース化が実現できるようにした。

その詳細は『全国方言分布調査 調査の手引き』に記すとおりであり，おおむねGAJ の音声内容レベル（表記方法の差異を統合し，音韻的差異に寄与しない音声上の異なりまで表記するレベル）に近いものである。この表記方法は音声表記との対応を明確にしており，細大漏らさざる対応ではないにしても（項目によるが，そもそもこのことの実現はプロジェクトの主目的ではない)，研究・分析対象において必要十分であろうと考えられるレベル

での音声表記への復原は可能になっている。したがって，将来的に広く国内外にデータを公開しても過不足はないはずのものである。

現在，この調査票をもとに全国調査が展開されている。全体の目的や方法，また各項目の持つねらいの確認など，プロジェクトの実施途中で抱くであろう疑問を解決するには，ここに記したことのほか，「10. 2. 全国方言分布調査 調査票」が役立つと期待する。

（以上は，『全国方言分布調査 調査票』に記した「解説」をもとに改稿したものである。）

5. 本調査に向けた準備調査結果の分析

5.1. 音韻

小西いずみ・竹田晃子

①概要

準備調査の音韻項目は，下の表のとおり，項目数 16・質問数 32 である。いわゆる「なぞなぞ式」質問により分析対象語の発話を得るものが主だが，項目によっては弁別意識を直接問う質問もある。

	音韻項目名	No.	分析対象番号	分析対象
母音	1. 単母音（イ・エ：語頭）	(1)	JP-13-a	胃
		(2)	JP-13-b	絵
		(3)	JP-13-c	「胃」と「絵」（意識）
	2. 連母音（アイ）	(4)	JP-15 [JG-021]	(書いた)
	3. 連母音（ウイ）	(5)	JP-16 [JG-081]	(着いた)
	4. 連母音（オイ）	(6)	JP-17 [JG-028]	(研いだ)
	5. 開合	(7)	JP-14-a	楊枝(開音)
		(8)	JP-14-b	用事(合音)
		(9)	JP-14-c	「楊枝」と「用事」（意識）
子音	6. ガ行鼻濁音	(10)	JP-01	鏡
	7. 合拗音	(11)	JP-02	火事
		(12)	JP-03	元日・元旦
		(13)	JP-04	正月
	8. 語中子音の有声化（カ行）（タ行）	(14)	JP-18 [JG-020]	(書かない)
		(15)	JP-19 [JG-009]	(開けた)
	11. セ（口蓋化）	(16)	JP-06	汗
		(17)	JP-07	背中
	12. 四つ仮名	(18)	JP-08-a	富士(フジ)
		(19)	JP-08-b	藤(フヂ)
		(20)	JP-08-c	「富士」と「藤」（意識）
		(21)	JP-09	鈴(スズ)
		(22)	JP-10	水(ミヅ)
	13. 一つ仮名	(23)	JP-11-a	知事(チジ)
		(24)	JP-11-b	地図(チヅ)
		(25)	JP-11-c	「知事」と「地図」（意識）
	14. シ・ス	(26)	JP-05-a	寿司
		(27)	JP-05-b	煤
		(28)	JP-05-c	「寿司」と「煤」（意識）
	15. シ・ヒ（歯茎音・口蓋音）	(29)	JP-12-a	白い
		(30)	JP-12-b	広い
		(31)	JP-12-c	「白い」と「広い」（意識）
	16. ＊ザ行とダ行の交替	(32)	JP-20 [JG-013]	(座布団)

次項（5.5.2）では，調査結果とそれについての考察や本調査に向けての課題を項目別に記す。調査結果は，回答を記号化（例えば問(1)「胃」で，回答[i]，[i・]，[i：]を“○”とする等）した表で示し，その凡例を表の下部に記す。必要に応じて回答語形や注などを記号の右や凡例に併記する。なお，一部項目名が準備調査調査票の項目名とは異なる場合がある。

また，従来の分布が分かる資料を「参考」として示し，一部その図を転載する。参考資料の略称は次のとおりである。

「音韻総覧」…『日本方言大辞典 下巻』所収の「音韻総覧」

ＬＡＪ……『日本言語地図』

ＧＡＪ……『方言文法全国地図』

②結果概観

[1]　単母音（イ・エ：語頭）

(1) JP-13-a 胃

(2) JP-13-b 絵

(3) JP-13-c「胃」と「絵」（意識）

		胃(イ)	絵(エ)	「胃」と「絵」
01	秋田県秋田市	◎	◆	※
02	岩手県盛岡市	○	■	※
03	宮城県仙台市	●	■	※
04	山形県米沢市	●	◆	※
05	福島県会津若松市	■●◆	◆	0
06	栃木県さくら市	■	■	0
07	群馬県前橋市	○	■	※
08	埼玉県上里町	○	■	※
09	東京都品川区	○	■	※
10	東京都立川市	○	■˗	※
11	山梨県早川町	○	■	※
12	長野県松本市	○	■	※
13	富山県富山市	○	■	※
14	富山県砺波市	○	■	※
15	石川県小松市	○	■	※
16	京都府与謝野市	○	■	※
17	滋賀県高島市	○	■	※
18	京都府京都市	○	■	※
19	大阪府大阪市	○	■	※
20	和歌山県岩出市	○	■	※
21	兵庫県姫路市	○	■	※
22	徳島県徳島市	○	■	※
23	香川県東かがわ市	○	■	※
24	岡山県笠岡市	○	■	※
25	広島県三次市	○	■	※
26	山口県光市	○	■	※
27	福岡県福岡市	○	■	※
28	鹿児島県日置市	○	★	※
29	鹿児島県南九州市	○	★■	※
30	沖縄県那覇市	?○	ʼ○	0〈1 声門閉鎖あり〉
31	沖縄県石垣市	○	○	※ア
	凡例	○ i, i˗, i： ?○ ʔi： ◎ ɨ ● ɨ̞ ◆ e̞ ■ e	■ e, e˗, e： ■˗ e̞ ◆ e̞ ★ je ○ i： ʼ○ ʼi：	0 同じ ※ 違う ※ア アクセントが違う

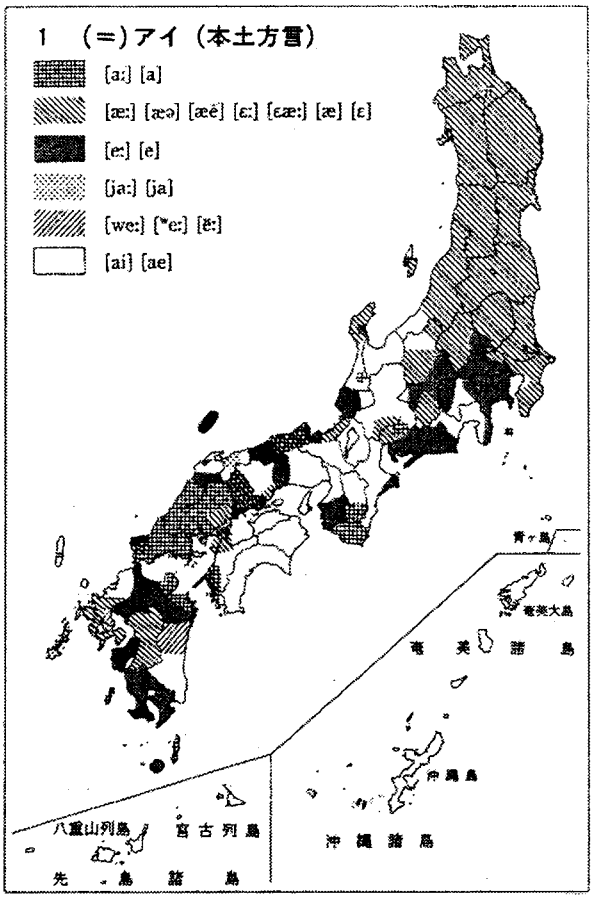
➢ 参考：「音韻総覧」イ・エ

- 「胃」「絵」の対立がないのは福島［地点 05；以下同様］，栃木［06］，沖縄県石垣市［31］。沖縄県那覇市［30］でも母音は対立せず。この結果は話者の意識（jp-13-c）と一致している。
- 秋田［01］など東北の他地点では，対立はあるが，音声的にイが広め，または，エが狭め。
- 秋田［01］で中舌のイ［ɨ］が現れる。
- 鹿児島［28, 29］でエ［je］が現れる。
- 従来は北陸でも語頭のイとエの対立が失われる（あるいは音声的に近づく）現象が見られたはずだが，今回の結果から共通語化が進んだことがうかがえる。

[2] 連母音（アイ）

(4) JP-15 [JG-021]（書いた）

		書いた（カイタ）
01	秋田県秋田市	□
02	岩手県盛岡市	○
03	宮城県仙台市	○
04	山形県米沢市	○
05	福島県会津若松市	○
06	栃木県さくら市	○
07	群馬県前橋市	○
08	埼玉県上里町	○
09	東京都品川区	○
10	東京都立川市	○
11	山梨県早川町	○
12	長野県松本市	○
13	富山県富山市	○
14	富山県砺波市	○
15	石川県小松市	○
16	京都府与謝野市	○
17	滋賀県高島市	○
18	京都府京都市	○
19	大阪府大阪市	○
20	和歌山県岩出市	○
21	兵庫県姫路市	○
22	徳島県徳島市	○
23	香川県東かがわ市	○
24	岡山県笠岡市	○
25	広島県三次市	○
26	山口県光市	○
27	福岡県福岡市	○
28	鹿児島県日置市	▲
29	鹿児島県南九州市	▲
30	沖縄県那覇市	◎ katʃan
31	沖縄県石垣市	#kakutan
	凡例	○ kai □ kae̞ ▲ ke ▼ ke̞ ◎ ka # その他



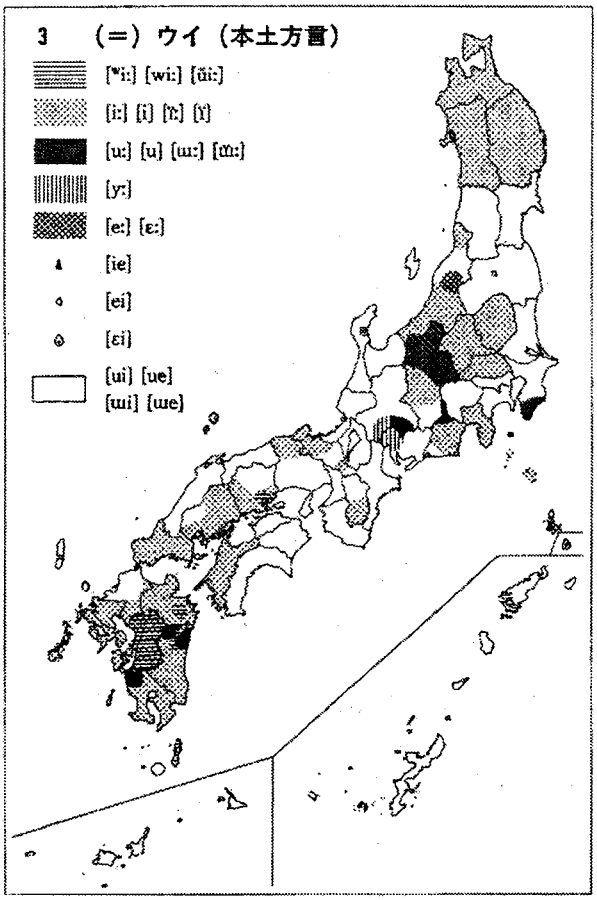
➢ 参考：「音韻総覧」図 1, GAJ41 図「書いた」

- 鹿児島 [28, 29] で融合形 [e]。(GAJでは東北～関東に広く，中部・東海にも散発的に [e：] [ɛ：] が分布。)

[3]　連母音（ウイ）

(5) JP-16 [JG-081]（着いた）

		着いた(ツイタ)
01	秋田県秋田市	▼
02	岩手県盛岡市	○
03	宮城県仙台市	○
04	山形県米沢市	○
05	福島県会津若松市	○
06	栃木県さくら市	○
07	群馬県前橋市	○
08	埼玉県上里町	○
09	東京都品川区	○
10	東京都立川市	○
11	山梨県早川町	□
12	長野県松本市	○
13	富山県富山市	○
14	富山県砺波市	○
15	石川県小松市	○
16	京都府与謝野市	○
17	滋賀県高島市	○
18	京都府京都市	○
19	大阪府大阪市	○
20	和歌山県岩出市	○
21	兵庫県姫路市	○
22	徳島県徳島市	○
23	香川県東かがわ市	○
24	岡山県笠岡市	○
25	広島県三次市	○
26	山口県光市	○
27	福岡県福岡市	○
28	鹿児島県日置市	▲
29	鹿児島県南九州市	▲
30	沖縄県那覇市	▲ tʃitʃo：N/tʃitʃaN
31	沖縄県石垣市	#sukutaN
	凡例	○ tsɯi, tsui □ tɯi ▲ tʃi, tɕi ▼ tsï・ # その他



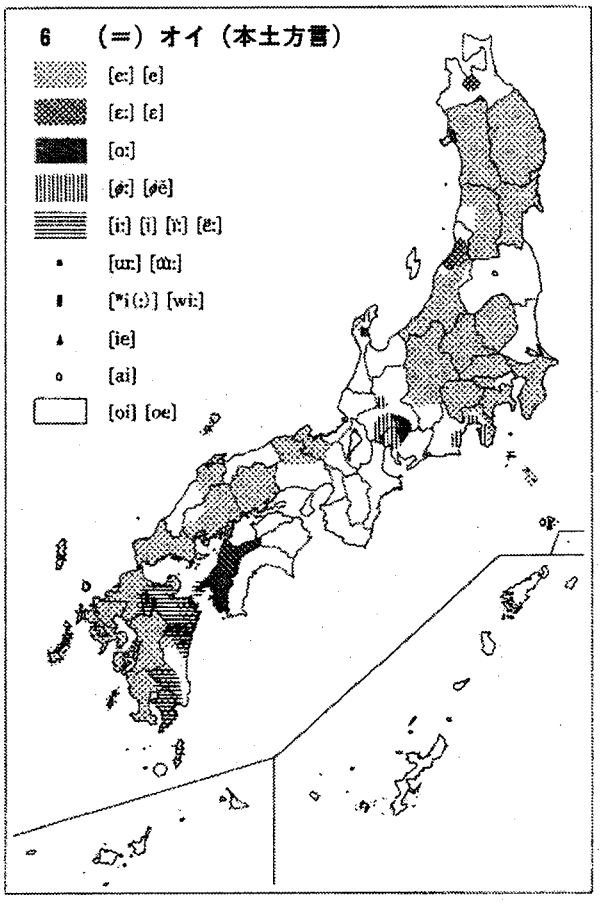
➢ 参考：「音韻総覧」図 3

- 秋田 [01]，鹿児島 [28, 29]，沖縄県那覇市 [30] で融合形 [i] [ï]。

[4]　連母音（オイ）

(6) JP-17 [JG-028]（研いだ）

		研いだ(トイダ)
01	秋田県秋田市	□
02	岩手県盛岡市	○
03	宮城県仙台市	○
04	山形県米沢市	○
05	福島県会津若松市	○
06	栃木県さくら市	○
07	群馬県前橋市	○
08	埼玉県上里町	○
09	東京都品川区	○
10	東京都立川市	○
11	山梨県早川町	○
12	長野県松本市	○◇
13	富山県富山市	○
14	富山県砺波市	☆
15	石川県小松市	○
16	京都府与謝野市	○
17	滋賀県高島市	○
18	京都府京都市	○
19	大阪府大阪市	○
20	和歌山県岩出市	○
21	兵庫県姫路市	○
22	徳島県徳島市	○
23	香川県東かがわ市	○
24	岡山県笠岡市	○
25	広島県三次市	○
26	山口県光市	○
27	福岡県福岡市	○
28	鹿児島県日置市	▲
29	鹿児島県南九州市	★
30	沖縄県那覇市	◆ tudʒaɴ
31	沖縄県石垣市	#tugutaɴ
	凡例	○ toi □ toe̞ ☆ ton ◇ toŋĩ ▲ te ★ ten ◆ tu # その他



➢ 参考：「音韻総覧」図 6，GAJ45 図「研いだ」

- 鹿児島 [28, 29] で融合形 [e]（ただし，南九州市 [29] は [tenda]）。（GAJ では岡山と九州中南部にまとまって [e(:)] が分布）
- 長野 [12] で [toɲĩda]，富山県砺波市 [14] で [tonda]（連母音とは別問題；GAJ では青森・秋田に多いほか，長野・北陸に散在）。
- 2～4 の 3 項目とも著しく共通語化が進んでいるように見えるが，名詞や形容詞基本形語末ではどうか？

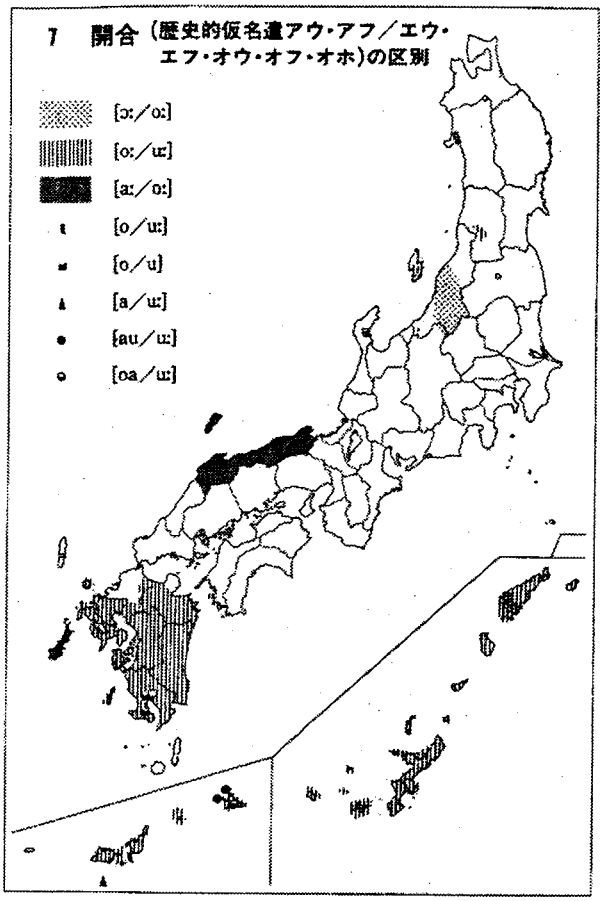
[5]　開合

(7) JP-14-a 楊枝（開音）

(8) JP-14-b 用事（合音）

(9) JP-14-c「楊枝」と「用事」（意識）

		楊枝（ヨージ）	用事（ヨージ）	「楊枝」と「用事」
01	秋田県秋田市	○	○	0
02	岩手県盛岡市	○	○	※
03	宮城県仙台市	○	○	0
04	山形県米沢市	○	○	0
05	福島県会津若松市	○	○	0
06	栃木県さくら市	○	○	0
07	群馬県前橋市	○	○	0
08	埼玉県上里町	○	○	0
09	東京都品川区	○	○	0
10	東京都立川市	○	○	0
11	山梨県早川町	○	○	0
12	長野県松本市	○	○	0
13	富山県富山市	○	○	0
14	富山県砺波市	○	○	0
15	石川県小松市	○	◇	※
16	京都府与謝野市	○	○	0
17	滋賀県高島市	○	○	0
18	京都府京都市	○	○	0
19	大阪府大阪市	○	○	0
20	和歌山県岩出市	○	○	0
21	兵庫県姫路市	○	○	0
22	徳島県徳島市	○	○	0
23	香川県東かがわ市	○	○	0
24	岡山県笠岡市	○	○	0
25	広島県三次市	○	○	※(ア)
26	山口県光市	○	○	0
27	福岡県福岡市	○	○	0
28	鹿児島県日置市	○	▲	※
29	鹿児島県南九州市	○	▲	※
30	沖縄県那覇市	○	●	※
31	沖縄県石垣市	○	●	※
	凡例	○ jo˙, jo：	○ jo˙, jo： ◇ jow ● ju： ▲ ju	0 同じ ※ 違う，ちょっと違う ※(ア) 違う（調査者注：アクセント）



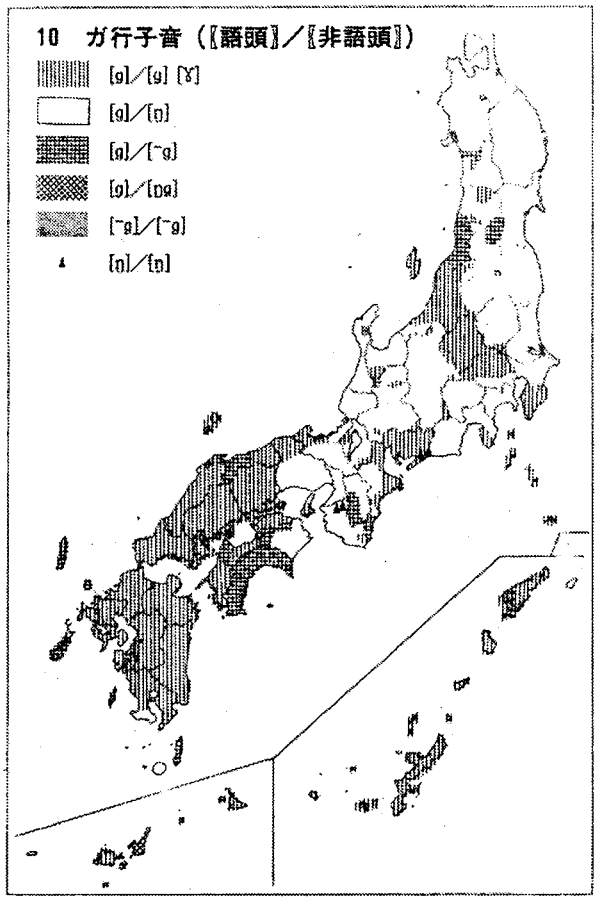
➢ 参考：「音韻総覧」図 7

- 鹿児島［28, 29］，沖縄［30, 31］で，［o：］対［u(：)］という対立がある。意識の上でも区別あり。
- 石川［15］で「用事」が二重母音［ow］となり，意識上も「ちょっと違う」とされるが，開合の区別とは無関係か。
- 岩手［02］で「違う」と意識されているのはアクセント上のことか。
- 従来対立があるとされてきた他の地域（新潟県中越地方，山陰，九州中南部）は今回対象となっていない。

[6]　ガ行鼻濁音

(10) JP-01 鏡

		鏡(カガミ) ガの子音
01	秋田県秋田市	●
02	岩手県盛岡市	●
03	宮城県仙台市	●
04	山形県米沢市	●
05	福島県会津若松市	●
06	栃木県さくら市	●
07	群馬県前橋市	○
08	埼玉県上里町	○
09	東京都品川区	●◇
10	東京都立川市	●
11	山梨県早川町	●
12	長野県松本市	●
13	富山県富山市	●
14	富山県砺波市	●
15	石川県小松市	●
16	京都府与謝野市	○
17	滋賀県高島市	○
18	京都府京都市	○
19	大阪府大阪市	◇
20	和歌山県岩出市	●
21	兵庫県姫路市	●
22	徳島県徳島市	○
23	香川県東かがわ市	●
24	岡山県笠岡市	○
25	広島県三次市	○
26	山口県光市	○
27	福岡県福岡市	○
28	鹿児島県日置市	○
29	鹿児島県南九州市	●
30	沖縄県那覇市	○
31	沖縄県石垣市	▲
	凡例	● ŋ ▲ ŋg ○ g ◇ ɣ



➢ 参考：LAJ 1 図「鏡」，同 2 図「蔭」，「音韻総覧」図 10

- 分布はおおよそ従来と変わらない。ただし近畿で非鼻音化が進んでいる。
- 南九州市 [29] の [ŋ]，石垣 [31] の [ŋg] は LAJ と一致。後者は語彙的なものか（LAJ「蔭」は [g] [ɣ]。「音韻総覧」p. 27 で，竹富島の鏡 [kaŋgaɴ] を語彙的なものとする。）

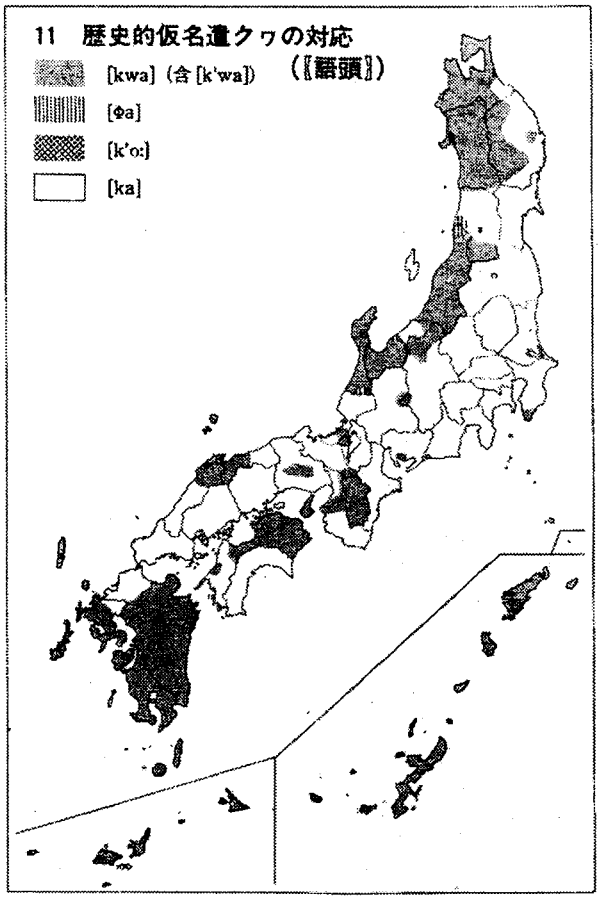
[7]　合拗音

(11) JP-02 火事

(12) JP-03 元日・元旦

(13) JP-04 正月

		火事（カジ）	元日・元旦（ガン～）	正月（ショーガツ）
01	秋田県秋田市	○	○	◎
02	岩手県盛岡市	○	○	◎
03	宮城県仙台市	○	○	◎
04	山形県米沢市	○	○	◎
05	福島県会津若松市	○	○	◎
06	栃木県さくら市	○	○	◎
07	群馬県前橋市	○	○	○
08	埼玉県上里町	○	○	○
09	東京都品川区	○	○	◇
10	東京都立川市	○	○	◎
11	山梨県早川町	○	○	◎
12	長野県松本市	○	○	◎
13	富山県富山市	○	○	◎
14	富山県砺波市	○	○	◎
15	石川県小松市	○	◎	◎
16	京都府与謝野市	○	○	○
17	滋賀県高島市	○	○	○
18	京都府京都市	○	○	○
19	大阪府大阪市	○	○	◇
20	和歌山県岩出市	○	○	◎
21	兵庫県姫路市	○	○	◎
22	徳島県徳島市	○	○	○
23	香川県東かがわ市	○	○	○
24	岡山県笠岡市	○	○	○
25	広島県三次市	○	○	○
26	山口県光市	○	○	○
27	福岡県福岡市	○	○	○
28	鹿児島県日置市	●○	●○	●○
29	鹿児島県南九州市	●	●	■
30	沖縄県那覇市	●	●	●
31	沖縄県石垣市	○	○	△
	凡例	○ ka ● kwa	○ ga ◎ ŋa ● gwa	○ ga ◇ ɤa ◎ ŋa △ ŋga ● gwa ■ ŋŋwa



➢ 参考：LAJ3 図「火事」，同 4 図「西瓜」，同 5 図「元日」，同 6 図「正月」，「音韻総覧」図 11

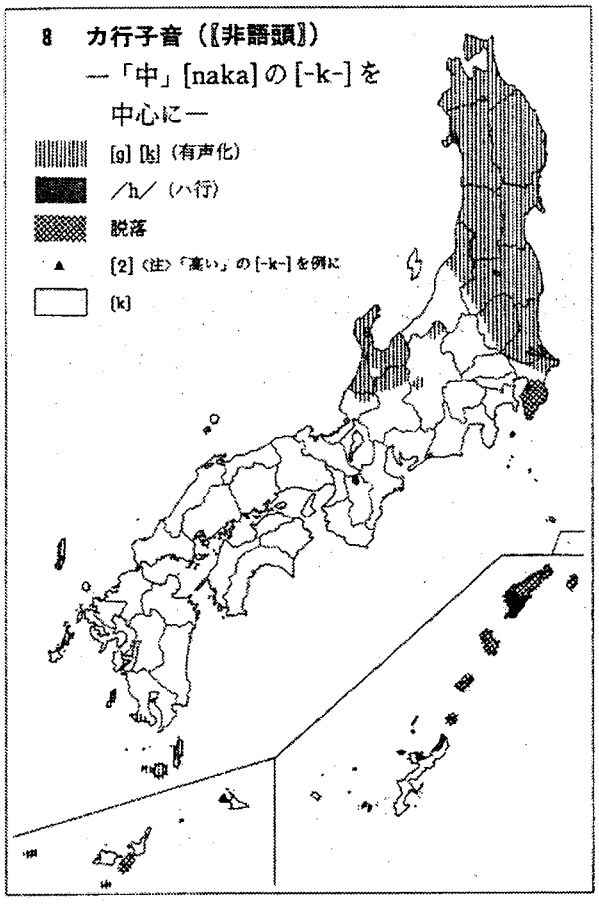
- 合拗音 [kwa] [gwa] を持つのは，鹿児島 [28, 29] と沖縄県那覇市 [30] のみ。
- LAJ で合拗音が現れる東北日本海側・北陸・山陰・近畿・四国等では現れず，共通語化が進んだことがうかがえる。

[8]　語中子音の有声化（カ行・タ行）

(14) JP-18 [JG-020]（書かない）

(15) JP-19 [JG-009]（開けた）

		書かない 2拍目の子音	開けた 2拍目の子音
01	秋田県秋田市	●	●
02	岩手県盛岡市	●	●
03	宮城県仙台市	●	〔●〕
04	山形県米沢市	●	●
05	福島県会津若松市	○◆	○
06	栃木県さくら市	●	●
07	群馬県前橋市	○	○
08	埼玉県上里町	○	○
09	東京都品川区	○	○
10	東京都立川市	○	○
11	山梨県早川町	○	○
12	長野県松本市	○	○
13	富山県富山市	○	○
14	富山県砺波市	○	○
15	石川県小松市	○	○
16	京都府与謝野市	○	○
17	滋賀県高島市	○	○
18	京都府京都市	○	○
19	大阪府大阪市	○	○
20	和歌山県岩出市	○	○
21	兵庫県姫路市	○	○
22	徳島県徳島市	○	○
23	香川県東かがわ市	○	○
24	岡山県笠岡市	○	○
25	広島県三次市	○	○
26	山口県光市	○	○
27	福岡県福岡市	○	○
28	鹿児島県日置市	○	○
29	鹿児島県南九州市	●	●
30	沖縄県那覇市	○	○
31	沖縄県石垣市	○	●
	凡例	○ k ◆ k̥ ● g	○ k ● g 〔●〕g （同席者）



➢ 参考：（カ行）「音韻総覧」図 8,（タ行）LAJ153 図「糸」，同 154「糸」「井戸」の総合図

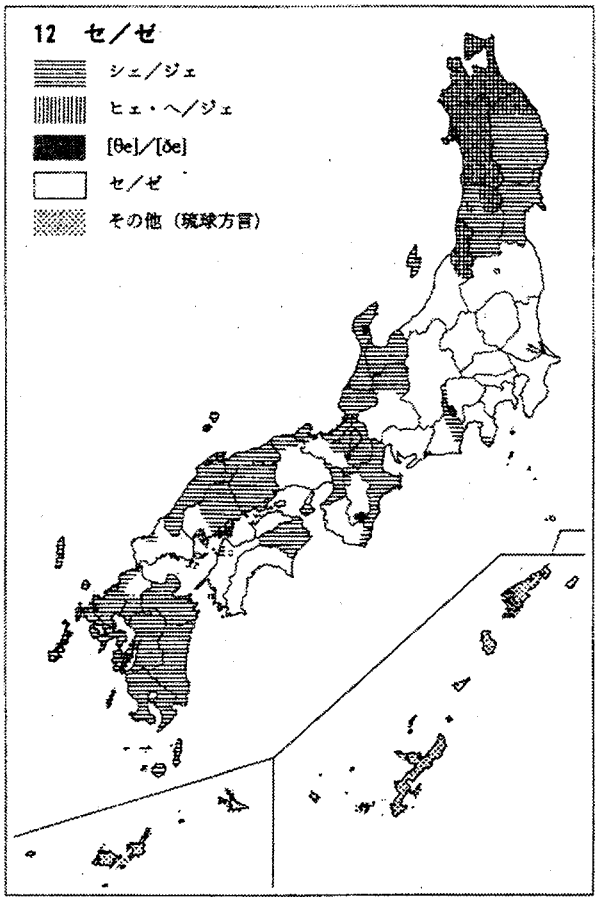
- カ行・タ行とも有声→秋田[01]，岩手[02]，宮城[03]，山形[04]，栃木[06]。鹿児島県南九州市[29]。カ行のみ→福島[5]。タ行のみ→沖縄県石垣市[31]。
- おおよそ従来どおりの結果。

[9]　セ（口蓋化）

(16) JP-06 汗

(17) JP-07 背中

		汗(アセ)	背中 (セナカ)
01	秋田県秋田市	○	▲
02	岩手県盛岡市	○	○
03	宮城県仙台市	○	○
04	山形県米沢市	○	○
05	福島県会津若松市	○	○
06	栃木県さくら市	○	○
07	群馬県前橋市	○	○
08	埼玉県上里町	○	○
09	東京都品川区	○	○
10	東京都立川市	○	○
11	山梨県早川町	○	○
12	長野県松本市	○	○
13	富山県富山市	○	○
14	富山県砺波市	○	○
15	石川県小松市	○	●
16	京都府与謝野市	○	○
17	滋賀県高島市	○	○
18	京都府京都市	○	○
19	大阪府大阪市	○	○
20	和歌山県岩出市	○	○
21	兵庫県姫路市	○	○
22	徳島県徳島市	○	○
23	香川県東かがわ市	○	○
24	岡山県笠岡市	○	○
25	広島県三次市	○	○
26	山口県光市	○	○
27	福岡県福岡市	○	●
28	鹿児島県日置市	○	▲(ヘキ)
29	鹿児島県南九州市	○	○
30	沖縄県那覇市	●	(同語形なし)
31	沖縄県石垣市	●	(同語形なし)
	凡例	● ʃi, ʃi̥ ○ se	● ʃe ○ se ▲ he



➢ 参考：「音韻総覧」図 12, LAJ：7 背中・8 汗（語頭/非語頭の違いはほとんどないとされる）

- ほぼ全域で [se] が使われる。古音の残存と言われる [ʃe] の分布が LAJ8 より衰退。
- [ʃe]：石川 [15]，福岡 [27]
- [he]：秋田 [01]
- [ʃi] [ʃi̥]：沖縄 [30・31]。[ʃi] は LAJ8 と一致。
- ただし，高知県は未調査。

[10]　四つ仮名

(18) JP-08-a 富士（フジ）

(19) JP-08-b 藤（フヂ）

(20) JP-08-c「富士」と「藤」（意識）

(21) JP-09 鈴（スズ）

(22) JP-10 水（ミヅ）

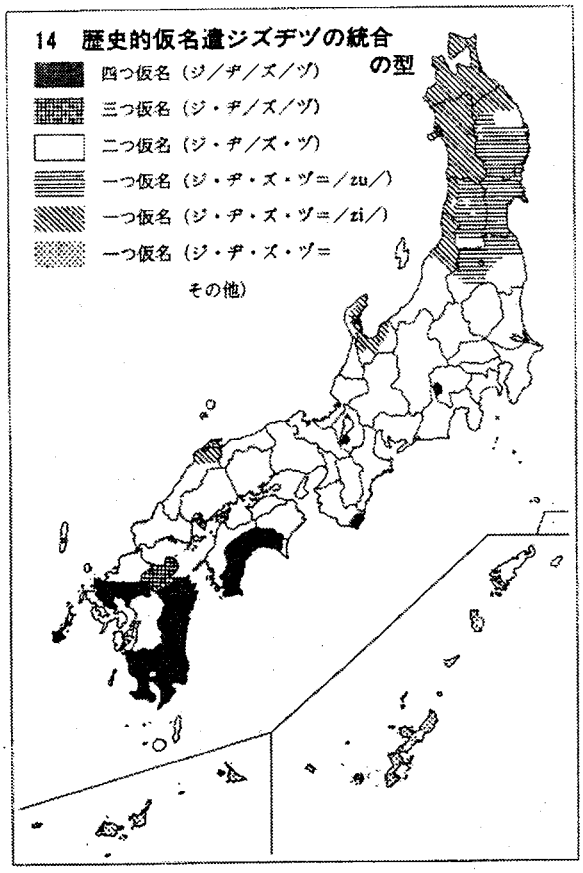
[11]　一つ仮名

(23) JP-11-a 知事（チジ）

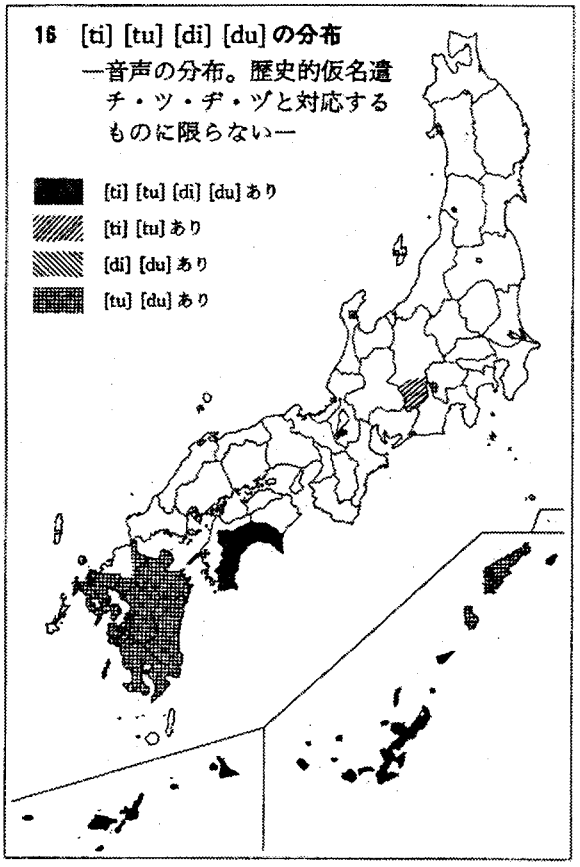
(24) JP-11-b 地図（チヅ）

(25) JP-11-c「知事」と「地図」（意識）

		四つ仮名					一つ仮名			
		富士（フジ）	藤（フヂ）	「富士」と「藤」	鈴（スズ）	水（ミヅ）	知事（チジ）	地図（チヅ）	「知事」と「地図」	
01	秋田県秋田市	▲	▲	0	▲	▲	▲	▲	※	01
02	岩手県盛岡市	□	□	※	○	○	□	○	※	02
03	宮城県仙台市	□ï	□ï	0	○	○	□dzï	○	※	03
04	山形県米沢市	□	□	0	○ɯ̈	○ɯ̈	□	○ɯ̈	※	04
05	福島県会津若松市	□	□	0	○ɯ̈	○	□dʒï	○ɯ̈	※	05
06	栃木県さくら市	□	□	0	○	○	□	○	※	06
07	群馬県前橋市	□	□	0 アク違	○	○	□	○	※	07
08	埼玉県上里町	□	□	0	○	○	□	○	※	08
09	東京都品川区	□	□	0 アク違	○	○	□	○	※	09
10	東京都立川市	■	■	0	○	○	□	○	※	10
11	山梨県早川町	■	□	※アク違	△	◎	■	◎	※	11
12	長野県松本市	■	■	0	△	△	■	△	※	12
13	富山県富山市	■	■	0 アク違	△	△	■	△	※	13
14	富山県砺波市	□	□	※アク違	○	○	□	○	※	14
15	石川県小松市	■	■	0	△	△	■	△	※	15
16	京都府与謝野市	■	■	0	●	○	■	●	※	16
17	滋賀県高島市	■	■	0	△	△	■	△	※	17
18	京都府京都市	■	■	0	△u	●ɯ	■	△	※	18
19	大阪府大阪市	■	■	0	△u	△	■	△u	※	19
20	和歌山県岩出市	■	■	0	△	△	■	△u	※	20
21	兵庫県姫路市	□	□	0	○	○	□	○	※	21
22	徳島県徳島市	■	■	0	△u	△	■	△	※	22
23	香川県東かがわ市	■	■	0	△u	△	■	△	0	23
24	岡山県笠岡市	□	□	※アク違	○u	○u	□	○	※	24
25	広島県三次市	□	□	※アク違	○u	○u	□	○	※	25
26	山口県光市	■	■	0	△	△	■	△	※	26
27	福岡県福岡市	■	■	0 アク違	△u	△	■	△	※	27
28	鹿児島県日置市	■□	■□	0	△u	?	■	△	※	28
29	鹿児島県南九州市	■	□	※	☆	?	■	●	※	29
30	沖縄県那覇市	□	□	0	○	○	□	○	※	30
31	沖縄県石垣市	■	■	0	△u	●i	■	△	※	31
	凡例	□dʒi, dʒï ■ʒi ▲zï	□dʒi, dʒï ■ʒi ▲zï	0 同じ ※違う アク違：アクセントが違うことについての注記	○dzɯ, dzɯ̈, dzu △zɯ, zu ▲zï ●ʒɯ ☆sɯ̥	○dzɯ, dzɯ̈, dzu △zɯ, zu ▲zï ●ʒɯ, ʒi ◎dɯ	□dʒi, dʒï dzï ■ʒi ▲zï	○dzɯ,, dzɯ̈, dzu △zɯ, zu ▲zï ●ʒɯ ◎dɯ	0 同じ ※ 違う	



➢ 参考:「音韻総覧」図 14



➢ 参考：「音韻総覧」図 16

《ジヂズヅの区別》　　ジ，ヂ，ズ，ヅ
富士，藤，鈴，水
知事，　　地図

		ジ/ヂ	ズ/ヅ
01	秋田県秋田市	▲	▲
02	岩手県盛岡市	□	○
03	宮城県仙台市	□	○
04	山形県米沢市	□	○
05	福島県会津若松市	□	○
06	栃木県さくら市	□	○
07	群馬県前橋市	□	○
08	埼玉県上里町	□	○
09	東京都品川区	□	○
10	東京都立川市	■	○
11	山梨県早川町	■/□	△/◎
12	長野県松本市	■	△
13	富山県富山市	■	△
14	富山県砺波市	□	○
15	石川県小松市	■	△
16	京都府与謝野市	■	○
17	滋賀県高島市	■	△
18	京都府京都市	■	△/●
19	大阪府大阪市	■	△
20	和歌山県岩出市	■	△
21	兵庫県姫路市	□	○
22	徳島県徳島市	■	△
23	香川県東かがわ市	■	△
24	岡山県笠岡市	□	○
25	広島県三次市	□	○
26	山口県光市	■	△
27	福岡県福岡市	■	△
28	鹿児島県日置市	■□/■□	△/？
29	鹿児島県南九州市	■/□	☆/？
30	沖縄県那覇市	□	○
31	沖縄県石垣市	■	△/●
	□d3, ■3, ▲z, ○dz, △z, ●3, ☆s, ◎d		

- ほぼ全国的に二つ仮名が分布
- 四つ仮名：山梨[11]，鹿児島[28・29]
- 三つ仮名：京都[18]，沖縄[31]
- 一つ仮名は，東北・北陸に分布していたが，秋田[01]のみ。
- [du]：山梨[11]
- 長野，高知は未調査，九州も未調査が多い。

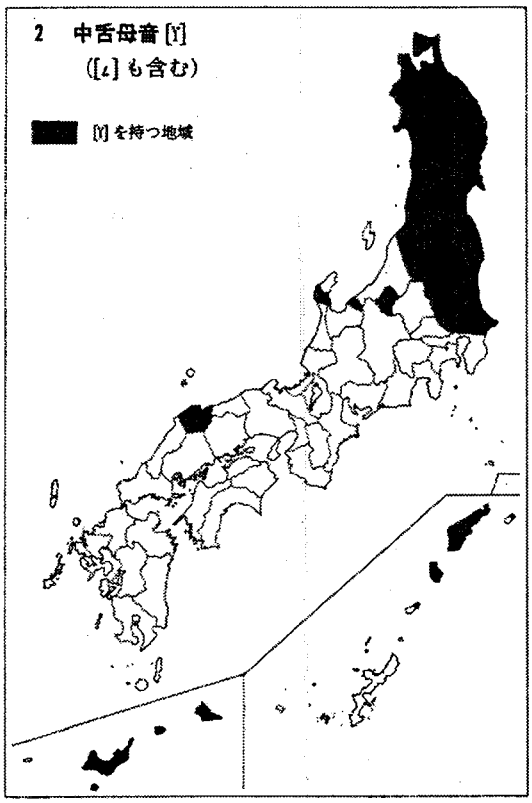
[12]　シ・ス

(26) JP-05-a 寿司

(27) JP-05-b 煤

(28) JP-05-c「寿司」と「煤」（意識）

		寿司（スシ）	煤（スス）	「寿司」と「煤」
01	秋田県秋田市	▲	▲	※
02	岩手県盛岡市	□	○	※
03	宮城県仙台市	□	△	※
04	山形県米沢市	□ï	○ɯ̈	※
05	福島県会津若松市	□ï	○ɯ̈	0
06	栃木県さくら市	□	○	※
07	群馬県前橋市	□	○	※
08	埼玉県上里町	□	○	※
09	東京都品川区	□	○	※
10	東京都立川市	□	○	※
11	山梨県早川町	□	○	※
12	長野県松本市	□	○	※
13	富山県富山市	□	○	※
14	富山県砺波市	□	○	※
15	石川県小松市	□	○	※
16	京都府与謝野市	□	○	※
17	滋賀県高島市	□	○	※
18	京都府京都市	□	○	※
19	大阪府大阪市	□	○	※
20	和歌山県岩出市	□	○	※
21	兵庫県姫路市	□	○	※
22	徳島県徳島市	□	○	※
23	香川県東かがわ市	□	○	※
24	岡山県笠岡市	□	○	※
25	広島県三次市	□	○	※
26	山口県光市	□	○	※
27	福岡県福岡市	□	○	※
28	鹿児島県日置市	□	□i̥	※
29	鹿児島県南九州市	□i̥	□i̥	0
30	沖縄県那覇市	(同語形なし)	□	(同語形なし)
31	沖縄県石垣市	□	▲	※
	凡例	□ʃi, ʃi̥, ʃï ▲sï	○sɯ, sɯ̈ ▲sï □ʃi, ʃi̥ △ʃɯ	0 同じ ※ 違う



➢ 参考：「音韻総覧」図 2

- 全体に，シ／スの対立がある
- シ／スの対立がないのは，秋田 [01]，鹿児島 [29] のみ。東北，九州に対立がない地点が残存。
- 意識において「同じ」と回答したのは，福島 [05]（発音は違う），鹿児島 [29]（発音も同じ）
- 中舌母音は，山形 [04]，福島県 [05]（その他の地点は未調査）で回答。東北・琉球にあったが，減少傾向か。

[13]　シ・ヒ（歯茎音・口蓋音）

(29) JP-12-a 白い

(30) JP-12-b 広い

(31) JP-12-c「白い」と「広い」（意識）

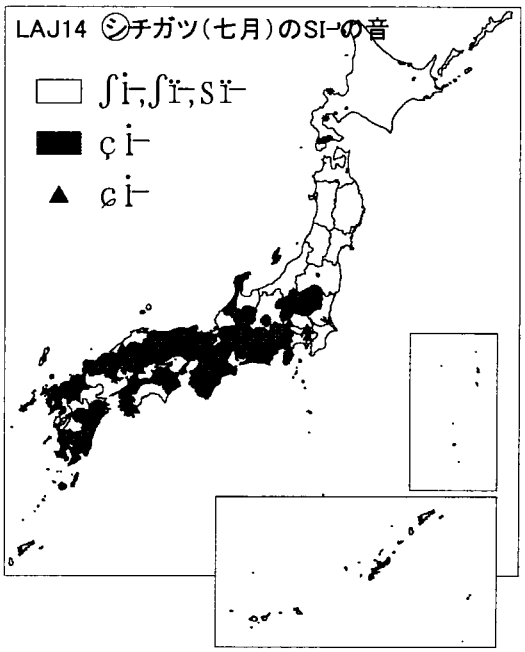
		白い（シロイ）	広い（ヒロイ）	「白い」と「広い」
01	秋田県秋田市	●	◎	※
02	岩手県盛岡市	○	◎	※
03	宮城県仙台市	○	◎	※
04	山形県米沢市	○	◎	※
05	福島県会津若松市	○	◎	※
06	栃木県さくら市	○	◎	※
07	群馬県前橋市	○	◎	※
08	埼玉県上里町	○	◎	※
09	東京都品川区	○	◎	※
10	東京都立川市	○	◎	※
11	山梨県早川町	○	◎	※
12	長野県松本市	○	◎	0
13	富山県富山市	○	▲	※
14	富山県砺波市	○	◎	※
15	石川県小松市	○	◎	※
16	京都府与謝野市	○	◎	※
17	滋賀県高島市	○	◎	※
18	京都府京都市	○	◎	※
19	大阪府大阪市	○	◎	※
20	和歌山県岩出市	○	◎	※
21	兵庫県姫路市	○	◎	※
22	徳島県徳島市	○	◎	※
23	香川県東かがわ市	○	◎	0
24	岡山県笠岡市	○	◎	※
25	広島県三次市	○	◎	※
26	山口県光市	○	◎	※
27	福岡県福岡市	○	◎	※アク違
28	鹿児島県日置市	○	◎	※
29	鹿児島県南九州市	○	◎	※
30	沖縄県那覇市	○	◆	※
31	沖縄県石垣市	▲	◇	※
	凡例	● sï ○ ʃi ▲ ssohaŋ(語全体)	◎ çi ◆ ɸi ◇ pi̥ ▲ semai(語全体)	0 同じ ※違う

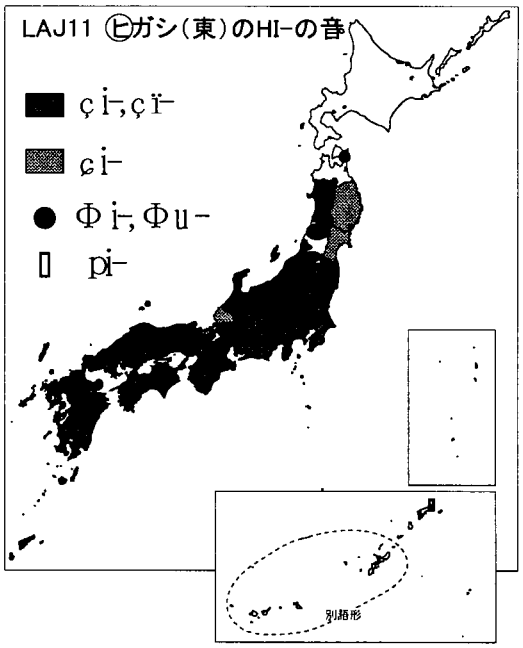
➢ 参考：LAJ 13 ヒガシ(東)-SI の音

LAJ 14 シチガツ(七月)SI-の音

LAJ 11 ヒガシ(東)HI-の音

LAJ 12 ヒゲ(鬚)HI-の音



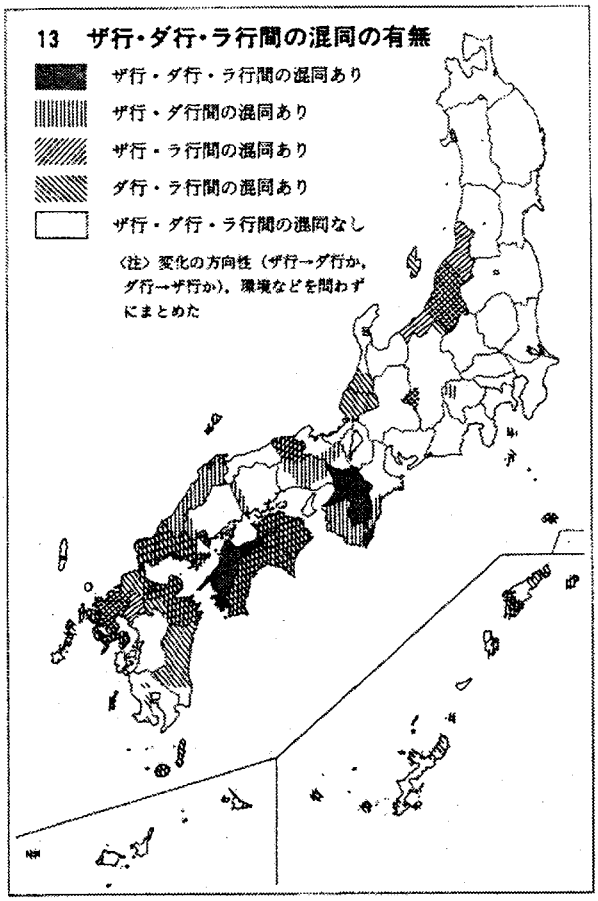


- 全地点で，シ／ヒの対立あり
- [sï]：秋田[01]（白い）：かつて東北全域に分布。
- 長野[12]，香川[23]の「同じ」は，「音声は違うが，音韻は同じ」ということか？
- 富山[13]の［semai］は，「狭い」の誤回答か？
- SI-の音：関東以南に分布した[çi]は皆無。
- HI-の音：東北全域に分布した[ʃi]は皆無。
- HI-の音：沖縄[30]の[Φi]は残存。
- 未調査：青森，島根，新潟。

[14] ザ行とダ行の交替

(32) JP-20 [JG-013] (座布団)

		座布団 (ザブトン)
01	秋田県秋田市	○
02	岩手県盛岡市	○
03	宮城県仙台市	○
04	山形県米沢市	○
05	福島県会津若松市	○
06	栃木県さくら市	△
07	群馬県前橋市	○
08	埼玉県上里町	△
09	東京都品川区	○
10	東京都立川市	○
11	山梨県早川町	△
12	長野県松本市	○
13	富山県富山市	△
14	富山県砺波市	NR
15	石川県小松市	△
16	京都府与謝野市	○
17	滋賀県高島市	△
18	京都府京都市	△
19	大阪府大阪市	△
20	和歌山県岩出市	●
21	兵庫県姫路市	○
22	徳島県徳島市	△
23	香川県東かがわ市	△
24	岡山県笠岡市	△
25	広島県三次市	○
26	山口県光市	○
27	福岡県福岡市	◆
28	鹿児島県日置市	△
29	鹿児島県南九州市	○
30	沖縄県那覇市	○
31	沖縄県石垣市	△
	凡例	○ dza △ za ● da ◆ dʒa



➢ 参考：「音韻総覧」図 13

- ほぼ全域に [dza] [za]
- ザ行・ダ行間を混同する地域は減少。
- [dza]：東北・関東に多く，西日本は京都 [16]，兵庫 [21]，広島 [25]，山口 [26]，鹿児島 [29]，沖縄 [30]
- [za]：関東北部（栃木 [06]・埼玉 [08]），富山 [13]，近畿（京都 [16]・滋賀 [17]・大阪 [19]），四国東部（徳島 [22]・香川 [23]），岡山 [24]，鹿児島 [28]，沖縄 [31]
- [da]：和歌山 [20]
- [dʒa]：福岡 [27]

5.1.3. まとめ

以上の結果を，従来の方言音韻の保持・衰退という観点から整理すると，次のようになる。

(a) 従来の方言音韻・音声の分布がほぼ保たれている項目

6. ガ行鼻濁音（注）

8. 語中子音の有声化（カ行・タ行）

注：6（ガ行鼻濁音）については，近畿で非鼻音化が進んでいる。非鼻音化を新しい「共通語」特徴とみなせば，次の(b)にも分類できる。

(b) 非共通語的な音韻・音声特徴の分布域が狭くなり，共通語化が進んだ項目

1. 単母音（イ・エ：語頭）

2〜4. 連母音アイ・ウイ・オイ

7. カ・ガ行合拗音

9. セ（口蓋化）

11〜12. 一つ仮名，シ・ス

13. シ・ヒ（歯茎音・口蓋音）

14. ザ行とダ行の交替

(c) 特徴的な方言音韻・音声特徴を持つ地域が未調査で，結論を保留せざるを得ない項目

5. 開合

10. 四つ仮名

全体的にみると(b)の項目が多く，音韻面において著しく共通語化が進んだと言える。これも意味のある結果ではあるが，本調査の項目選定に際しては，この結果を，全国500地点で調査する意義があるかという観点から見直す必要がある。また，(c)の項目が生じてしまったことは，準備調査の地点選定の反省点である。

また，質問法という点から考えると，弁別意識を直接問う質問については，アクセントなど，焦点となる音韻以外の点に着目して「区別がある」と回答された場合があること，共通語と同じ体系を持つ地域のインフォーマントにはその質問の意図・意義が伝わりにくく，調査に対する否定的な態度にもつながりかねなかったこと，などの問題があった。この点も，本調査の項目・質問法選定において検討すべき課題と言える。

5.2. 語彙

新井小枝子・吉田雅子

① 調査項目の概要

語彙項目は，全体で 143 項目（大項目では 124 項目）である。その内訳を，「分析対象の主目的」によって下位分類をすると次のようになる。

M (Movement)	言語変化に伴う分布の変動	85 項目
C (Complement)	関連項目の補完	9 項目
V (Verification)	関連項目の照合・確認	3 項目
Nv (New viewpoint)	新たな観点の導入	33 項目
Nc (New change)	新たな変化の把握	13 項目

特に，「言語変化に伴う分布の変動」をとらえようとする項目がもっとも多く，85 項目を選定している。このうちの多くの項目が LAJ の調査項目と重なる。共同研究の大きなテーマである「方言分布の経年変化の解明」をめざそうとしたものである。さらに，「関連項目の補完」「関連項目の照合・確認」として合計 12 項目，「新たな観点の導入」「新たな変化の把握」として合計 46 項目を選定し，「方言分布の形成過程の解明」をめざした。

下位分類の観点をかえて，「意味分野」に注目して分類すると次の表のようになる。ここでいう「意味分野」とは，調査項目を選定する際に設定した「語彙項目の大分類」である。それぞれの大分類の中は，さらに「中分類」「小分類」の枠組みが設定されているが，ひとまず「大分類」によって調査項目のばらつきを確認することとする。この表では，LAJ 項目と重なる項目数と，新規に設定した項目数に分けて示す。

	LAJ 項目	新規項目	合計
Ⅰ 人間関係	35	31	66
Ⅱ 生活関係	16	20	36
Ⅲ 自然関係	26	13	39
Ⅳ その他	0	2	2
合計	77	66	143

LAJ 項目と同じものを 77 項目，新規項目を 66 項目選定している。「意味分野」で項目数

を確認すると，「人間関係」の調査項目が最も多い。次いで「自然関係」39 項目，「生活関係」36 項目となっている。「その他」は〈かっぱ〉の「名称」と「形状」を問う 2 項目である。

② 結果概観

準備調査の結果は，調査項目ごとに個別の様相をみせている。そのさまざまな様相を俯瞰してみると，いくつかの傾向があることがわかる。

まず，「LAJ と同じ調査項目（以下，「LAJ 項目」）」についてみてみる。本研究では，「方言分布の経年変化の解明」が大きなテーマとして設定されているため，LAJ と比較することにより，変化が見られるかどうかを確認すると，次のようになる。

(1) a 意外と変化がない。
　　b 調査によって語形が出現している。

2010 年現在，LAJ の調査以降およそ 50 年を経ているが，70 歳以上（2009 年調査時）という年代は，意外にも伝統的な方言を保持している。これが何を意味するのかは，あらためて検討する必要があろう。

次に，新規項目の結果について，新たな知見が得られたかどうかを見てみると，概略次のようにまとめることができる。

(2) a 一般にはよく話題になることでも，全国方言分布の実態が未解明のものの，大雑把な傾向が把握できた。
　　b 若者が用いる新方言が生まれる母体とも言うべき方言形が概観できた。

新規項目は，先行研究のさまざまな成果をふまえて設定したものである。それぞれの項目における着眼点も設定している。今回の準備調査では，それらの期待に応えうる調査項目と，そうではない調査項目の選別ができたともいえる。詳細は，あとに示す調査結果として一部示した方言分布地図を参照されたい。

③ 調査結果

準備調査の結果を受けて，一つ一つの調査項目，および関連項目について，個別の検討課題が出てきた。ここでは，それら一々の詳細について論ずることをせず，本調査に向けた調査項目の選定に必要な代表的な項目について方言分布地図を作成し，それについてのコメントを記述する。その際，調査地点の少ない方言分布地図ではあってもそこから予測できること，調査項目として再検討すべきことなども含めて記述した。なお，準備調査の

対象となった語彙項目すべての結果については，「準備調査データ」を参照されたい。

（新井小枝子）

［語彙項目］全国方言準備調査結果分析

新井小枝子・吉田雅子

表の凡例

各列の内容は次のとおりである。

A　**担当**：項目の主担当者。主担当でない項目でも，相互に意見交換し分析を行っている。

B　**質問番号**：準備調査票のママ。

C　**分析対象**：表内に収まるよう，一部かっこの表記を変えているものがある。

D　**番号**：語彙項目Gの検討作業のために便宜的につけた通し番号。

E　**分析対象の主目的**：準備調査票P.82～P.83に示してある次の記号を入力。

M　言語変化に伴う分布の変動：Movement

C　関連項目の補完：Complement

V　関連項目の照合・確認：Verification

Nv　新たな観点の導入：New viewpoint

Nc　新たな変化の把握：New change

F　LAJ：準備調査票 P.82～P.83 に示してある○を入力。

G　**準備調査の結果について（コメンテイター）**：

準備調査の結果についてのコメントとコメンテイター名。

コメントについては，次の点を心がけて記した。

・LAJ の略図がある場合は、その文献とページ数を記す。

・調査結果を記す。

・調査結果から予測されることを記す。

・LAJ と比較しての気づきを記す。

・調査項目の選定をもくろんでの気づきを記す。

H　**関連項目番号**：関連する項目について，その「D　番号」を入力。

I　**質問文**：準備調査票のママ。

J　**コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）**：

「全国方言準備調査項目の問題点」の議事録のママ。

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-001	かたつむり	10	M	○	『方言の読本』p. 229／『方言の地図帳』p. 274 ・カタツムリの分布域拡大か？ツネンデロ、ダイロ、ツブラ、マイマイの地域が縮小傾向か？ ・しかし、今回の調査地点数でも出現しているところをみると、それほど縮小していないのかもしれない。 ・ナメクジはどこへ？（新井）	11・M	（絵）これを何と言いますか。からを背負ってのろのろとはって歩きます。夏，ことに雨のころ多く見掛けます。#LAJ5-236・237・238	
新井	JL-002	なめくじ	11	M	○	『方言の読本』p. 231／『方言の地図帳』p. 276 ・ナメクジの分布域拡大。ナメクジラ、ナメクジリの地域が縮小して、なおかつ他の俚言形も消失の傾向にあるか？（新井）	10・M	（絵）これを何と言いますか。〔かたつむり〕に似ているけれど，からは背負っていない。暗いじめじめした所に住んでいます。塩をかけると体が溶けるということですが。#LAJ5-239	
新井	JL-003	かまきり~~むし~~	12	M	○	『方言の読本』p. 245／『方言の地図帳』p. 290 ・カマキリの分布域か？広い分布域を持っていたイボムシは勢力を失いつつあるか？オガミ系の語は根強い？ ・ハエトリ、トカゲ、ハラタチの分布域だった関東も、カマキリにおされる傾向？（新井）	14・M 15・M	（絵）こういう虫を何と言いますか。前足が草を刈るかまに似ています。おこるとそれを振り立てて向かってきます。色は緑とか茶色など。#LAJ5-229・230	【決定事項】見出しを「かまきり」とする.
新井	JL-004	とんぼ	13	M	○	『方言の読本』p. 247／『方言の地図帳』p. 292 ・東北地域のダンブリ、アケズはどこへ？北九州地域のエンバはどこへ？ ・トンボの地域は拡大か。と見える一方、LAJ時代の俚言形も見える。（新井）		（絵）いろいろの種類がありますが，こういう虫をひっくるめて何と言いますか。#LAJ5-231	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-005	ぼうふら	14	V		・ボーフラの地域が圧倒的に広い。 ・〈南瓜〉に対するボーフラとの関連は？〈蚊の子〉：〈南瓜〉＝ボーフラ：ナンキンorボーブラ（新井）	28・M	水たまりなどにすんでいる蚊の幼虫を何と言いますか。	
新井	JL-006	蚊に：さされる	15	Nc				蚊に血を吸われることを，ササレルと言いますか，クワレルといいますか，それとも別の言い方をしますか。※「蚊に」の部分も含めて記録する。	
新井	JL-007	かぶとむし	16	Nc				（絵）オスとメスで形が違うようですが，こういう虫をひっくるめて何と言いますか。※総称を求める。	
新井	JL-008	くわがたむし	17	Nc				（絵）いろいろな種類がいて，オスとメスでも形が違うようですが，こういう虫をひっくるめて何と言いますか。※総称を求める。	
新井	JL-009	アブラムシ	18	Nc				アブラムシと言った場合，どんな虫のことを指して言いますか。いわゆるゴキブリでしょうか。それとも植木に付く小さな害虫のことでしょうか。①ゴキブリ②植木の害虫③両方④その他（　　）	竹田：アブラムシ，ゴキブリの絵が欲しい． 杉村：「植木に付く」を「植木や野菜に付く」とする方がよい． 木部：選択肢ではなく語形を求めてはどうか． 狩俣：語形がない場合はどうするか． 大西：語形がない場合はNRとし，なぜNRなのかの注記を加える．

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-010	とかげ	19	M	○	『方言の読本』p. 227／『方言の地図帳』p. 272 ・西日本のトカケがトカゲに変化？ ・関東、中部の俚言形カガミッチョはまだ勢力を保っているか。 ・関東の〈かまきり〉〈とかげ〉における語形の交替、同音衝突はまだみられるか。（新井）	15・M 12・M	（絵）これは何と言いますか。長さは５寸（15センチメートル）ぐらい。ひなたの土の上をちょろちょろ走り回ります。色は黒くてつやつや光って，鮮かな青い線があります。水の中には入りません。※いもり・やもりなどと間違えないよう。#LAJ5-224	中井：絵を見せたところ「かなへび」の絵だと言われた. 大西：その地点の方言ではトカゲとカナヘビが逆転している可能性がある. 狩俣：絵で示したものの名前が回答されたかはわからない. 琉球には大きなトカゲもいてそちらのことを思い浮かべているかもしれない. 大西：総称を引き出しやすい絵を選んでいる. 小西：「5寸ぐらい」としているので，総称を求めるとは言い難いのではないか. 大西：大西調査の場合，「いもり」と間違われやすかった.
新井	JL-011	かなへび	20	M	○	・NRの地域が多い。 ・〈とかげ〉と〈かなへび〉を区別する地域が多いか。 〈とかげ〉：〈かなへび〉＝トカゲ：NR ＝カガミッチョ：トカゲ ＝カナヘビ：トカゲ ただし、トカゲ：NRの地域を「区別している」としていいものか。 ・区別しない地域は〈とかげ〉：〈かなへび〉＝トカゲ ＝カナヘビ～トカゲ ＝カマキリ となっている（新井）	12・M 14・M	〔とかげ〕と形は似ているけれど，色が土色のがいます。やはり昼間見かけるもので，水の中には入りません。何と言いますか。※いもり・やもりとは違う。#LAJ5-225	高木：とかげ，かなへびの両方の絵があると助かる. 大西：LAJに従ってとかげの絵を用意したが，とかげとかなへびの特定化をはかる必要があろう.

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-012-a	牛馬のひかがみ：名称	21	Nv		・名称をもたない地域がほとんど。名称があったとしても〈足〉全体をあらわすアシ、ゴテがみられる。予測していたヒカガミが聞かれない様子。（新井）		a.（絵）牛や馬の膝（ひざ）の裏側を何と言いますか。※「牛・馬の」にあたる部分が回答された場合，それも含めて記録する。牛・馬で異なると報告された場合は注記する。	
新井	JL-012-b	牛馬のひかがみ：牛馬の飼育経験	22	Nv		・ほとんどの話者に？ほとんどの地域に？飼育経験がない。（新井）		b.牛や馬を飼っていた経験はありますか。①ある②ない	
新井	JL-012-c	牛馬のひかがみ：対象物への関心	23	Nv		・飼育経験のあるなしにほぼ対応している。（新井）		c.〔<牛馬の>ひかがみ〕を汚れたままにしてはいけないといったことを聞いたことはありますか。①ある（理由が報告された場合その内容を記載→　）②ない	
新井	JL-013	うろこ	24	M	○	**『方言の読本』p.225／『方言の地図帳』p.270** ・LAJにみられた東日本：西日本＝コケ：ウロコの対立がみられなくなっているか。 ・沖縄地域においても、LAJの語形がみられる中にウロコがあらわれる。（新井）	1・C 2・C 34・M？	（絵）魚の皮の上に並んでいるすきとおった薄い爪のようなもの，これを何と言いますか。#LAJ5-217	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-014	蟹のこうら	1	C		・〈うろこ〉のウロコと、〈こうら〉のウロコは、四国地域の2地点で同音衝突。 ・〈うろこ〉のコーラと、〈こうら〉のコーラは埼玉県で同音衝突。（新井）	2・C 16・M	蟹（かに）の甲羅（こうら）のことを何と言いますか。※「蟹の」にあたる部分が回答された場合，それも含めて記録する。	
新井	JL-015	ぶり	2	Nv		・段階の区別がある地域とない地域のそれぞれの分布域はつかめそうか。記述調査をおこなう必要がある地域の選定基準が得られるか。しかし、それのためだけの調査をおこなうのか。 ・段階の区別があるという地域の語形については体系記述が必要。これについては全国調査をするのか。するとした場合、どのような調査文を考え、どのような分布を期待するかを明確にする必要があるか。（新井）		（絵）この魚はブリ（鰤）です。出世魚と呼ばれ，大きくなるにつれて名前が変わると言われますが，どんな名前で呼んでいますか。※下のメモ欄に一旦記入した上で整理し，幼魚を左側，成魚を右側に配列し，「○段階×××・△△△・□□□」のように段階数とともに報告する。段階順が不明な場合は「××・△△」のように名称のみ列挙し〈段階不明〉と注記を付ける。	沖：調査項目のねらいを明らかにしてほしい. 大西：ぶりとの親近性によって語彙数に変化があるだろうこととをとらえるのがねらいである. 日高：「段階」はどのようにとらえればよいのか. 中井：ぶりには商品段階があるのでそれを把握できるとよい. 狩俣：沖縄では標準語形で理解語彙となっている.
新井	JL-016	つくし	3	M	○	**『方言の読本』p. 255／『方言の地図帳』p. 300**		（絵）これは何と言いますか。春先，川の土手などの日当りのよいところに出てきます。#LAJ5-244	
新井	JL-017	すぎな	4	M	○	**『方言の読本』p. 257／『方言の地図帳』p. 302**		（絵）〔つくし（土筆）〕が出たあとから，こういう草が生えてきます。何と言いますか。#LAJ5-243	
新井	JL-018-a	ほうせんか：名称	5	M		・語形が回答され、利用方法に「ある」が回答されるのは四国、九州の調査地。 ・他はホーセンカ（共通語形？）で利用方法の回答はない。（新井）	112・Nv	a.（絵）この植物を何と言いますか。実にさわるとはじけます。花は赤やピンク色のものが多いのですが。共通語ではホウセンカと呼ばれます。	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-018-b	ほうせんか：利用方法	6	Nv		・「ない」の地域が圧倒的。 ・「ある」の地域は四国、九州の調査地点。	19・M	b.〔ほうせんか〕の花でつめを染める遊びはありませんでしたか。①ある②ない	
新井	JL-019-a	ひがんばな：名称	7	M		・ヒガンバナが全国に分布している中に、俚言形は西日本にみられる。 ・〈彼岸花〉の伝播経路との関係は？参考資料に、有薗正一郎（1998）『ヒガンバナが日本に来た道』海青社がある。（新井）	113・Nv 114・Nv	a.（絵）秋に真っ赤な色で咲くこのような植物を何と言いますか。	
新井	JL-019-b	ひがんばな：語源意識	8	Nv		・NRの地域が多い。 ・一つの調査地点で複数語形があらわれた場合、それぞれの語形の一々についての語源意識を問う必要はないのか？（新井）	20・M 114・Nv	b.〔ひがんばな〕の語源について何かご存じですか。	
新井	JL-019-c	ひがんばな：利用方法	9	Nv		・「ある」の回答は西日本である。（新井）	20・M 113・Nv	c.昔，この地域で食べ物に困ったときに〔ひがんばな〕の根っこを食べたといった話は聞いたことがありますか。①ある②ない	
新井	JL-020	まつかさ	10	M	○	**『方言の読本』p.263／『方言の地図帳』p.308**		（絵）松にできるものですが，これを何と言いますか。#LAJ5-247改	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-021	きのこ	11	M	○	**『方言の読本』p. 265／『方言の地図帳』p. 310**		（絵）まつたけやしいたけなど，そのほか毒のあるものもありますが，こういうものをひっくるめて何と言いますか。※きのこの総称を求める。#LAJ5-245	
新井	JL-022	柿のへた	12	C		**2009. 1. 11～12の委員会資料中の「資料3」p. 29 681を参照。** ・全国で広くヘタ系の語があらわれている。「なりくち」が鹿児島に1地点。 ・JL-13〈うろこ〉、JL-14〈蟹のこうら〉との関連は確認できそうな分布が得られるか？（新井）	1・C 16・M	果物の柿のへたの部分を何と言いますか。※「柿の」にあたる部分が回答された場合，それも含めて記録する。	木部：柿のへたに限定してたずねるのか. 大西：他のものへたの名称が回答された場合は注記すること. 小林：柿以外のへたの方言形を事前に把握しておく必要がある. 三井：調査票付図を利用してもよい．なすやいちごのへたの絵も用意する.
新井	JL-023	じゃがいも	13	M	○	**『方言の読本』p. 139／『方言の地図帳』p. 162** ・LAJにはみられた俚言形の衰退が著しいか？（新井）	3・C 24・M 25・M 26・M	（絵）こういう芋を何と言いますか。夏の初めと秋と一年に二度とれます。※品種が多いが，総称を求める。#LAJ4-174・175	
新井	JL-024	さつまいも	14	M	○	**『方言の読本』p. 143／『方言の地図帳』p. 166** ・分布の状況、語形ともにほとんど変化がない？（新井）	3・C 23・M 25・M 26・M	（絵）これは何と言いますか。秋の終りに取り入れます。茎はつるになって地面に広がります。#LAJ4-176	
新井	JL-025	さといも	15	M	○	**『方言の読本』p. 141／『方言の地図帳』p. 164** ・分布の状況、語形ともにほとんど変化がない？（新井）	3・C 23・M 24・M 26・M	（絵）これは何と言いますか。茶色の毛が生えていて，皮をむくとぬるぬるします。いろいろの種類があって茎の食べられるものもありますが，ひっくるめて何と言いますか。※品種が多いが，総称を求める。#LAJ4-177・178改	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-026	やまいも	16	C		・ヤマイモの分布域が面としての広がりを持っていない？（新井）	23・M 24・M 25・M 26・M	すりおろしてねばりの出たものをご飯やそばなどにのせて食べる細長い芋を何と言いますか。いろいろの種類がありますが，ひっくるめて何と言いますか。※調理名ではなく，素材となる「山芋」の名称を聞き出すこと。なお，芋汁・芋粥など調理名が話題になった場合は，注記として記録する。	竹田：この項目では総称を求めるのか．併用回答が多く出た項目だった． 大西：総称はないという判断もあろう． 狩俣：琉球にはヤマイモという名の，共通語のやまいもとは別の芋がありそれをイモとも呼ぶ．別にヤマトイモというものもある． 小林：手のひら形のやまいももありそれはラクダイモと言った． 大西：ワーディングを再考する．LAJにない項目として要検討項目とする．
新井	JL-027	イモの意味	17	M	○	**『日本の方言地図』P.73／『方言の地図帳』p.202** ・〈さつまいも〉は西日本、〈じゃがいも〉は東日本という傾向は認められるか？ ・〈さといも〉の分布変化はあり？なし？ ・〈やまいも〉の地域はどこへ？ ・イモが指示する典型的な〈もの〉を調査する項目ゆえ、それが効果的に得られるような調査環境（イモと呼べるものにはどのようなものがあるかもたずねる必要性はないか？）と調査文が必要。→分布図を描くことは可能か？記述調査の必要性？（新井）	3・C 23・M 24・M 25・M	このあたりで普通「いも」と言ったら，どの芋（〔じゃがいも〕〔さつまいも〕〔さといも〕〔やまいも〕）のことを言いますか。芋が食べたいと言ったらどの芋のことですか。#LAJ4-179改①〔じゃがいも〕②〔さつまいも〕③〔さといも〕④〔やまいも〕⑤その他（　　）	新井：前半と後半の質問の回答が違っていた． 大西：前半が聞きたいことだと思うので，後半の質問は取ってしまってもよい． 小西：食生活習慣によって回答が変わりうる項目だと考える． 狩俣：琉球の場合はイモとウムとで指すものが違う． 沖：方言場面で言うイモと，共通語場面で言うイモとで，指すものが違っている場合がある．
新井	JL-028	とうもろこし	18	M	○	**『日本の方言地図』p.77**		（絵）これは何と言いますか。夏の終わりごろとれます。薄緑色の皮があって赤い毛のふさがついています。※品種が多いが，総称を求める。#LAJ4-182	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-029	かぼちゃ	19	M	○	**『方言の読本』p. 145／『方言の地図帳』p. 168** ・LAJ時代と比べて変化がないようにも見えるがどうか。 ・秋田のドフラ、キントはどこへ？中国・四国のボーフラはどこへ？（新井）	141・V	（絵）これを何と言いますか。夏にとれる，つるになる大きな実です。＃LAJ4-180改	
新井	JL-030	うるち	20	M	○	**『方言の読本』p. 147／『方言の地図帳』p. 170** ・中国、四国地域のタダゴメ、タダマイがコメに？ ・関東、中部地域のウルチは他地域への影響力があるか。 ・鹿児島のシャッゴメは南九州地域全体でも根強いか。（新井）		米のうち，ふだんの食事用のものをもちや赤飯用にするものと区別して，何と言いますか。＃LAJ4-168	
新井	JL-031	たく	21	M	○	**『日本の方言』p. 109** ・ニルの地域は縮小傾向。（新井）	31・M	米をおかまに入れてから火にかけてご飯にする。こうすることをご飯をどうすると言いますか。＃LAJ2-57改	
新井	JL-032	にる	22	M	○	**『方言の読本』p. 157／『方言の地図帳』p. 180／『日本の方言』p. 109** ・近畿地域でもニルが目立つようになってきている？ ・仙台の例もあることから、記述調査も必要か。（新井）	30・M	大根をなべに入れて，みそやしょうゆを加えて火にかける。こうすることを，大根をどうすると言いますか。＃LAJ2-58改	小林：ニツケルという回答が出た．この項目の注目点はタクかニルかということに絞られるのか． 大西：そればかりでなく，地域による調理方法の違いがあることも考えられる．
新井	JL-033	まないた	23	M	○	**『方言の読本』p. 171／『方言の地図帳』p. 194** ・マナイタの勢力拡大か。 ・〈魚用〉〈野菜用〉の区別もみられなくなっているか。（新井）		（絵）これを何と言いますか。野菜や魚を料理するときに使う板です。※野菜用と魚用の区別がある場合はいずれもとりあげて注記を付けるとともに，総称も聞き注記を付ける。＃LAJ4-164改	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-034	せともの	24	M	○	『方言の読本』p. 177／『方言の地図帳』p. 200		（絵）こういう土（どろ）で作ってかまで焼いたもの，いろいろありますが，ひっくるめて何と言いますか。#LAJ4-161	
新井	JL-035	ひきにく	25	Nc		・ミンチは西の語形？ ・ヒキニクが共通語？ミンチが共通語？東京と群馬にミンチ。 ・新しい変化として何を読み込むか。（新井）		肉を細かくしたもので，ハンバーグなどの材料にするものを何と言いますか。※牛肉・豚肉・鶏肉など肉の種類で区別がある場合は注記するとともに，総称も尋ねて注記する。	
吉田	JL-036	ふけ	26	M	○	『方言の読本』p. 47／『方言の地図帳』p. 52	16・M？	頭をかくと白い粉のようなものが落ちてくることがあります。その白いもののことを何と言いますか。#LAJ3-105	
吉田	JL-037	あか	27	M	○	『方言の読本』p. 81／『方言の地図帳』p. 86		長いこと体を洗わないでいて体をこすると，汚いものがぼろぼろと落ちます。この汚いもののことを何と言いますか。※垢の特殊な状態（こびりついた垢など）についての名には注記。#LAJ3-131	
吉田	JL-038-a	ものもらい：名称	28	M	○	『方言の読本』p. 55／『方言の地図帳』p. 60		a.（絵）まぶたのへりにぷつっとできる小さなできものです。何と言いますか。うみを持って赤くはれると，むずむずしてかゆいのですが，間もなく直ります。※類似のできもの・眼病とまちがえないよう注意。#LAJ3-112	
吉田	JL-038-b	ものもらい：治療方法	29	Nv				b.〔ものもらい〕はどうすれば治ると言いましたか。おなじないや言い伝えなどがあれば教えて下さい。※物をもらってきて食べる・患部を縛るまねをする等	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-039	した	30	M	○	『方言の読本』p. 54／『方言の地図帳』p. 66		（絵）これを何と言いますか。※舌先などの部分ではない。#LAJ3-117	
吉田	JL-040	みずおち	31	M	○	『方言の地図帳』p. 88		（絵）胸の骨の下の真中あたり，柔かいこのあたりのことを何と言いますか。※胃とか肝臓など内臓に関する回答はとりあげない。#LAJ3-130	
吉田	JL-041	なかゆび	32	M	○	『方言の読本』p. 73／『方言の地図帳』p. 78		（絵）この指は何と言いますか。#LAJ3-123	
吉田	JL-042	くるぶし	33	M	○	『方言の読本』p. 85／『方言の地図帳』p. 90		（絵）ここのところを何と言いますか。※内くるぶしと外くるぶしとの違いがあれば注記，その際には総称も聞き出して注記する。#LAJ3-128改	
吉田	JL-043	かかと	34	M	○	『方言の読本』p. 87／『方言の地図帳』p. 92		（絵）足のこのへんのことを何と言いますか。#LAJ3-129	
吉田	JL-044	ほくろ	35	M	○	『方言の読本』p. 88／『方言の地図帳』p. 94	36・M 37・M 38・M	体に黒いごまつぶぐらいの点のあることがありますが，その点のことを何と言いますか。※大きさや形状（ふくらみがある等）の違いにより複数の語形が使い分けると報告された場合は注記を付ける。また，そばかすやにきびなどと間違えないよう。#LAJ3-133・134改	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAI	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-045	あざ：内出血	36	M	○		36・M 37・M 38・M	身体をどこかにぶつけたときなどに，そこが青黒くなって，しばらく跡が残ることがあります。そういうふうに色の変わった所のことを何と言いますか。※身体上の場所の名称を尋ねる。「～になる」「～する」など動詞形しかない場合はその語形を記録し，「動詞形のみ」のように注記を付ける。#LAJ2-80改	
吉田	JL-046	あざ：生得	37	M	○	『方言の地図帳』p. 96	36・M 37・M 38・M	生まれつき体の一部の色が変わって，大人になるまで赤かったり青黒かったりしていることがあります。そのいつまでも消えない色の変わった所のことを何と言いますか。※大きさ・位置・色などによる使い分けがあれば注記のうえ，総称も別に聞き，注記を付ける。#LAJ3-132改	
吉田	JL-047	あざ：蒙古斑	38	C			36・M 37・M 38・M	生まれたばかりの赤ちゃんの背中からお尻にかけて，青くなっている所のことを何と言いますか。	
吉田	JL-048	かさぶた	39	C				すりむくなどのけがをした後に血が固まったものを何と言いますか。	
吉田	JL-049	しもやけ	40	M	○	『方言の読本』p. 78／『方言の地図帳』p. 84		手の指や足の指などが，冬，寒さのために赤くはれてかゆくなったり，ひどくなるとくずれたりすることがあります。そんなときどうなった，何ができたと言いますか。※ひび・あかぎれ（皮膚の裂けるもの）とは違う。凍傷のこと。#LAJ3-127	
吉田	JL-050	ゆきやけ	41	V				スキーなどに行き，晴れた雪原に長時間いたために，顔が黒くなることを何と言いますか。	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-051	服を：きる	42	Nv				服を身につけることを，服をどうすると言いますか。	
吉田	JL-052-a	靴を：はく	43	Nv				a. 靴を身につけることを，靴をどうすると言いますか。	
吉田	JL-052-b	靴下を：はく	44	Nv				b. 靴下を身につけることを，靴下をどうすると言いますか。	
吉田	JL-053	帽子を：かぶる	45	Nv				帽子を身につけることを，帽子をどうすると言いますか。	
吉田	JL-054	手袋を：はめる	46	Nv				手袋や軍手を身につけることを，手袋や軍手をどうすると言いますか。	
吉田	JL-055	おんぶする：幼児を負う	47	M	○	『方言の読本』p. 113／『方言の地図帳』p. 122		（絵）赤ん坊をこうすることを，どうすると言いますか。#LAJ2-64	
吉田	JL-056	しょう：包みを背負う	48	M	○	『方言の読本』p. 111／『方言の地図帳』p. 120		（絵）荷物をこうすることを，どうすると言いますか。※両肩で風呂敷包みを～。#LAJ2-65	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-057	かつぐ：片方の肩で包を担ぐ	49	M	○			（絵）こうすることは，どうすると言いますか。※片方の肩で風呂敷包みを～。＃LAJ6-294	沖：カケルが出てもよいか. 小林：カケルは，デ格でたずねると出にくく，ニ格でたずねると出やすい. 大西：※以下は，聞きやすい文例としてLAJ調査票に示されているものである. 沖：この絵では「何か軽いものを包んだ風呂敷を肩に引っかけている」というとらえ方しかできないと思われる．「かつぐ」という語が指せるのは，人の姿勢が前傾し重いものを方で支えていることがわかるような状態に対してである．この絵では人はまっすぐに立っており，荷物が重そうに見えないため，回答に迷いが出る.
吉田	JL-058	かつぐ：材木を担ぐ	50	M	○	『方言の読本』p. 115／『方言の地図帳』p. 124		（絵）こうすることは，どうすると言いますか。※材木を～。＃LAJ2-66	
吉田	JL-059	かつぐ：天秤棒を担ぐ	51	M	○			（絵）これはどうすると言いますか。※てんびん棒を～。＃LAJ2-67	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-060	かつぐ・二人で担ぐ	52	M	○			（絵）これは，どうすると言いますか。※二人で～。#LAJ2-68	
吉田	JL-061	はこぶ	53	C				掃除のために教室などを片付けるときに，二人で机の両側を持ち上げて運ぶことを，机をどうすると言いますか。	
吉田	JL-062	すてる	54	M	○	『方言の読本』p. 116／『方言の地図帳』p. 126		いらなくなったものを，ごみ箱にどうすると言いますか。#LAJ2-62改	
吉田	JL-063	なげる	55	C				キャッチボールをするとき相手にボールをどうすると言いますか。	
吉田	JL-064	いく・くる	56	Nv				玄関先から友達に声を掛けられたとき，その友達に，自分は今すぐイクと言いますか，それとも自分は今すぐクルと言いますか。それとも別の言い方をしますか。	
吉田	JL-065	あぐらをかく	57	M		『方言の読本』p. 108／『方言の地図帳』p. 118		（絵）こういうふうに足を組んで座につくことを，どうすると言いますか。※動詞形を求める。#LAJ2-52改	
吉田	JL-066	ふすま	58	M	○			（絵）部屋と部屋との境にする，こういう紙を張った引き戸を何と言いますか。#LAJ4-192	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-067-a	いど：名称	59	M	○			a. 地面に深い穴を掘って，つるべやポンプで飲み水などを汲み出す所があります。それを何と言いますか。底に水がわいてきます。※特殊な構造のものについては注記。#LAJ4-197	
吉田	JL-067-b	いど：物の存否	60	Nv				b. この地域にこのような物はありましたか。【a. で語形が回答された場合】①あった。④なかった。【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは，話者の様子で判断する。】②あったが名前を忘れた。③あったが名前を知らない。④なかった。	
吉田	JL-068-a	いろり：名称	61	M		・イロリの分布域が広く、全国的に変化がないようにみえる。多様性に富んだ語形の分布をみるのであれば、部分名称を調査する必要があるか。→調査地域を限定した記述調査をおこなう？（新井）	123・Nv 124・Nv 125・NV	a.（絵）家の中にあって，火をたくこのような場所を何と言いますか。	
吉田	JL-068-b	いろり：物の存否	62	Nv		・ABA分布のようにもみえるが……。（新井）	56・M	b. この地域にこのような物はありましたか。【a. で語形が回答された場合】①あった。④なかった。【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは，話者の様子で判断する。】②あったが名前を忘れた。③あったが名前を知らない。④なかった。	
吉田	JL-068-c	いろり：利用経験	63	Nv			56・M	c.（a. で語形が回答され場合）〔いろり〕を使った生活の経験はありますか。①ある②ない	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-068-d	いろり：利用方法	64	Nv			56・M	d.（c.で①の場合）〔いろり〕は煮炊きに使いましたか，それとも暖をとるために使いましたか。※「その他」としては，「ぬれた物を乾かす」などもあるが，話者が積極的に報告した場合のみ記録する。①煮炊き②暖をとる③煮炊きと暖をとるの両方④その他（）	
吉田	JL-069-a	かまど：名称	65	M		・カマド系、クド系のABA分布にみえる？ヘッツイはどうか？ ・〈囲炉裏〉とあわせて、調査地域を限定した記述調査の必要性を求められるのかも？（新井）	126・Nv	a.（絵）煮炊きに使うこのような場所を何と言いますか。	
吉田	JL-069-b	かまど：物の存否	66	Nv		・存在したという地域がほとんどであるが、東北の2地点に存在しなかったという回答がみられる。 ・〈囲炉裏〉の機能には地域差がある？〈竈〉の存在とあわせて。（新井）	57・M	b.この地域にこのような物はありましたか。【a.で語形が回答された場合】①あった。④なかった。【a.で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは，話者の様子で判断する。】②あったが名前を忘れた。③あったが名前を知らない。④なかった。	
吉田	JL-070-a	しちりん：名称	67	M				a.（絵）やかんで湯を沸かすとき，こんなものに火をおこしたと思います。こんなふうに土で作った，持ち運びのできるものを何と言いますか。	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-070-b	しちりん：物の存否	68	Nv				b. この地域にこのような物はありましたか。【a. で語形が回答された場合】①あった。④なかった。【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは，話者の様子で判断する。】②あったが名前を忘れた。③あったが名前を知らない。④なかった。	
吉田	JL-071-a	からさお：名称	69	M				a. （絵）麦や豆を脱穀するのには，こんなものを使ったようです。これをふり回し，ムシロの上の麦や豆をたたいて，からと実を分ける道具です。これを何と言いますか。	
吉田	JL-071-b	からさお：物の存否	70	Nv				b. この地域にこのような物はありましたか。【a. で語形が回答された場合】①あった。④なかった。【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは，話者の様子で判断する。】②あったが名前を忘れた。③あったが名前を知らない。④なかった。	
吉田	JL-072	つらら	71	M	○	『方言の読本』p. 6／『方言の地図帳』p. 6		（絵）冬のことですが，軒先などにさがる氷の棒です。これを何と言いますか。＃LAJ6-262	
吉田	JL-073	けむり	72	M	○			（絵）こういうふうに，煙突から出るものを何と言いますか。＃LAJ6-265	
吉田	JL-074	じてんしゃ	73	Nc				（絵）このような自分でこぐ乗り物を何と言いますか。いろいろな種類のものがありますが，ひっくるめて何と言いますか。	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-075	じょうぎ	74	Nc				（絵）このような長さをはかる道具を何と言いますか。竹やプラスチックできたかたいものです。※材質で名称が異なる場合は注記する。	
吉田	JL-076	こくばんけし	75	Nc				（絵）学校や公民館にあるもので，黒板にチョークで書いた字を消すのに使うこのような道具を何と言いますか。	
吉田	JL-077	まご	76	V				子供の子供は何と言いますか。	
吉田	JL-078	ひまご	77	M	○	『方言の読本』p. 37／『方言の地図帳』p. 42		〔孫〕の子供は何と言いますか。#LAJ3-139	
吉田	JL-079	長男	78	Nv				男のきょうだいの一番年上の人のことを何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。	
吉田	JL-080	次男以下	79	Nv				男のきょうだいの二番目から下の人のことをまとめて何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。また，次男・三男など特定のきょうだいが回答された場合は注記を付けた上で，総称を求めて注記を付ける。	
吉田	JL-081	長女	80	Nv				女のきょうだいの一番年上の人のことを何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。	
吉田	JL-082	次女以下	81	Nv				女のきょうだいの二番目から下の人をまとめて何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。また，次女・三女など特定のきょうだいが回答された場合は注記を付けた上で，総称を求めて注記を付ける。	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-083	本家	82	Nv		『現代日本語方言大辞典』p. 4667		例えば，「○○：話者の名字」家の一番中心になる血筋の家のことを何と言いますか。	
吉田	JL-084-a	分家：名称	83	Nv				a.〔本家〕から分かれた家のことを何と言いますか。	
吉田	JL-084-b	分家：話者の所属	84	Nv				b.「○○：話者の名字」さん御自身は〔本家〕〔分家〕のどちらに該当しますか①〔本家〕②〔分家〕③分からない④その他（　）。	
吉田	JL-084-c	分家：上下意識	85	Nv				c.〔本家〕と〔分家〕の間に上下関係の意識はありますか。※上下とは別に区別の認識が報告された場合は④に記載する。①ある(本家が上)②ある(分家が上)③ない④その他（　）	
新井	JL-085	おそろしい	86	M	○	『方言の読本』p. 103／『方言の地図帳』p. 112 ・岐阜、愛知のオソガイが気になるところ。 ・LAJ時代の分布をほぼ留めているか。（新井）		大きな犬が何匹もほえかかって，いまにもかみつきそうになる。そんなときの感じをどんなだと言いますか。＃LAJ1-42	
新井	JL-086	びっくりする	87	M	○	『方言の読本』p. 101／『方言の地図帳』p. 110 ・LAJ時代の分布をほぼ留めているか。 ・オドケルはどこへ？（新井）		急にうしろから大きな声をかけられてドキンとすることをどうすると言いますか。＃LAJ2-77	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-087-a	とても	88	Nc		・語形の多様性がみられる。 ・トテモ系は東日本に広がりのある語形か。 ・新たな変化としては何をもくろむか。（新井）		あの人の話はとても面白いと言うとき，「とても面白い」のところをどのように言いますか。※a.「とても」とb.「面白い」を分けて記録する。	
新井	JL-087-b	おもしろい	89	Nc				あの人の話はとても面白いと言うとき，「とても面白い」のところをどのように言いますか。※a.「とても」とb.「面白い」を分けて記録する。	
新井	JL-088-a	ぜんぜん	90	Nc		・造語の発想に注目すると分布域が面になるか。 ・調査文は「〈全然〉おもしろくない」だけでよいか。「〈全然〉平気」や「〈全然〉大丈夫」のような表現の場合と違いはないか。→記述調査で？（新井）		あの人の話はぜんぜん面白くないと言うとき，「ぜんぜん面白くない」のところをどのように言いますか。※a.「ぜんぜん」とb.「面白くない」を分けて記録する。	
新井	JL-088-b	おもしろくない	91	Nc				あの人の話はぜんぜん面白くないと言うとき，「ぜんぜん面白くない」のところをどのように言いますか。※a.「ぜんぜん」とb.「面白くない」を分けて記録する。	
新井	JL-089	おおきい	92	M	○			（絵）二つの箱ですが，両方を比べて（大きい方をさし）こちらの方が（小さい方をさし）こちらよりもどうだと言いますか。※非常に大きいことを表す形には注記。#LAJ1-17・18・19	
新井	JL-090	ちいさい	93	M	○	『日本の方言地図』p. 46／『方言の地図帳』p. 226		（絵）それでは（小さい方をさし）こちらは（大きい方をさし）こちらよりもどうだと言いますか。※非常に小さいことを表す形には注記。#LAJ1-22・23	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-091	ふとい	94	M	○	『方言の地図帳』p. 231		（絵）二本の棒があります。長さは同じですが，両方を比べて（太い方をさし）こちらの方が（細い方をさし）こちらに比べてどうだと言いますか。※非常に太いことを表す形には注記。#LAJ1-20	
新井	JL-092	ほそい	95	M	○	『日本の方言地図』p. 47／『方言の地図帳』p. 240		（絵）それでは（細い方をさし）こちらの方が（太い方をさし）こちらよりもどうだと言いますか。※非常に細いことを表す形には注記。#LAJ1-24	
新井	JL-093	あらい	96	M	○	『方言の地図帳』p. 229		（絵）二つのふるいがあります。大きさは同じですが，ただ網の目が違います。両方を比べたとき（あらい方をさし）こちらの目は（細かい方をさし）こちらの目よりもどうだと言いますか。※非常に粗いことを表す形には注記。#LAJ1-21	
新井	JL-094	こまかい	97	M	○	『日本の方言地図』p. 47／『方言の地図帳』p. 241		（絵）それでは（細かい方をさし）こちらの目は（あらい方をさし）こちらの目よりもどうだと言いますか。※非常に細かいことを表す形には注記。#LAJ1-25	
新井	JL-095	しおからい	98	M	○	『方言の読本』p. 163／『方言の地図帳』p. 186／『日本の方言地図』p. 47 ・シオハイー、クドイはどこへ？ ・西日本：東日本＝ショッパイ：カライは根強い。 ・シショッカライは以前から？新しい？混淆？（新井）		塩の味はどんなだと言いますか。薬は「苦い」などと言いますが，そんな言い方で言うと塩は……。#LAJ1-39	
新井	JL-096	からい	99	M	○			唐辛子の味はどんなだと言いますか。#LAJ1-40	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-097	すっぱい：梅干しの味	100	M	○	**『方言の読本』p. 161／『方言の地図帳』p. 184** ・LAJ時代の分布が意外と保たれているか。 ・詳細調査票による記述調査の必要はないか。（新井）	8・C	梅干しの味はどんなだと言いますか。#LAJ1-41改	
新井	JL-098	すっぱい：レモンの味	101	C		・〈梅干しの味〉と区別する地域と区別しない地域がつかめそうか。 ・詳細調査票による記述調査が必要か。 ・補完項目には〈発酵した臭い？〉のようなものも必要か。秋田の例。（新井）	73・M	レモンの味はどんなだと言いますか。	
新井	JL-099	あまい	102	M	○	**『方言の読本』p. 159／『方言の地図帳』p. 182** ・ウマイは消えたか？（新井）	76・M 75・M	砂糖の味はどんなだと言いますか。#LAJ1-37	
新井	JL-100	塩味が：うすい	103	M	○	**『方言の読本』p. 165／『方言の地図帳』p. 188** ・日本列島＝アマイ－ミズクサイ－アマイの分布は保持されているか。 ・句で表現される地域は分布域を持つか。（新井）	74・M	しる（つゆ）などを作ったとき塩の味の足りないのを言うのに，しる（つゆ）の味がどんなだと言いますか。#LAJ1-38	
新井	JL-101	おいしい	104	M	○	・オイシーは西日本に広がる語形？ウマイと共にある。東日本はウマイ？ ・〈甘い〉のウマイは消えたように見えているが、それとの関連はどうなっているか。（新井）	9・C 74・M	味の良い食べものを食べて，「ああオイシイ」と言いますか。「ああウマイ」と言いますか。それとも別の言い方をしますか。#LAJ6-291	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-102	味が：まずい	105	C		・－ナイ、ナカ、ネ（〈美味or〈味〉＋否定表現〉）の造語が広くおこなわれている。 ・関東と中部地域にマズイのみの地域がみられる。 ・関連項目〈美味しい〉の補完項目として機能するか？（新井）	76・M	それでは〔美味しい〕の反対は何と言いますか。	
新井	JL-103	おてだまあそび	106	M	○	『方言の読本』p. 126／『方言の地図帳』p. 150		（絵）女の子の遊びです。何と言う遊びですか。この子どもは何をして遊んでいると言ったらよいでしょう。遊ぶ時に使う小さな袋には，あずきや小石などを入れて作ります。※遊びの名称を聞き出す。遊びと道具の名称が違うことが報告された場合は〈遊びの名称〉〈道具の名称〉のように注記を付ける。#LAJ3-145・146改	
新井	JL-104	おはじき	107	M	○			おもに女の子の遊びで，ガラスなどでできている丸くて薄いものを指ではじいて遊ぶ道具を何と言いますか。※道具の名称を聞き出す。道具と遊びの名称が異なることが報告された場合は，〈道具の名称〉〈遊びの名称〉のように注記を付ける。	
新井	JL-105	かたあしとびをする	108	M	○	『方言の読本』p. 135／『方言の地図帳』p. 158		（絵）こういうふうに片方の足だけで飛ぶことを何をする，どうすると言いますか。※「片脚跳びをする」にあたる動詞形が出ない場合は，別に片脚跳びに対する名詞も聞いてみる。なお，石蹴りや二人で倒し合う遊びの名とは違う。ただ，ピョンピョンと跳ぶこと。#LAJ2-54・55	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-106	めんこ	109	Nc				おもに男の子の遊びで，力士や役者などの絵が描かれた紙を地面でたたきつけあい，裏返すなどして遊ぶ道具を何と言いますか。土地によってはメンコと呼ばれたりするものです。※道具の名称を聞き出す。道具と遊びの名称が異なることが報告された場合は，〈道具の名称〉〈遊びの名称〉のように注記を付ける。	
新井	JL-107	かたぐるま	110	M	○	『方言の読本』p. 132／『方言の地図帳』p. 156		（絵）こういうふうに，こどもを首にまたがらせて肩に乗せることを何と言いますか。※「肩車」にあたる名詞形を聞き出す。名詞形がない場合は，動詞形も聞いてみる。＃LAJ3-149・150	
新井	JL-108	ふろ：児童語	111	Nv				風呂のことを孫など幼い子供に言う場合，何と言いますか。例えば，「もう風呂に入ったか」「早く風呂に入れ」などと言う場合です。	舩木：ここでは育児語を求めればよいのか. 大西：その通りで，児童語というよりは育児語に近いものを求める. 吉田：＜児童語＞となっているのを＜育児語＞と直すか.
新井	JL-109	かみ・ほとけ：児童語	112	Nv				神様や仏様のことを孫など幼い子供に言う場合，何と言いますか。例えば，「神様に水をあげろ」「仏様に手を合わせろ」などと言う場合です。	吉田：JL-108同様，＜児童語＞となっているのを＜育児語＞と直すか.
新井	JL-110-a	かっぱ：名称	113	M		・カッパの地域が圧倒的に広い。 ・姿の回答はほとんどみられない。（新井）	139・Nv	a. 川や池に住むと言われる架空の生き物で，水の中に人を引き込むといった昔話に出てくるものを何と言いますか。	小西：かっぱとは言い難いようなものでもここに書いてよいか. 大西：書いてよい.

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
新井	JL-110-b	かっぱ：形状	114	Nv		・回答はほとんどみられない。（新井）	81・M	b. この地域では〔かっぱ〕はどのような姿をしていると言われていますか。（頭に皿がある，甲羅がある，手が抜けるなど）※地域に「かっぱ」の伝承がない場合は，NRとする。	
吉田	JL-111	一昨日	115	M	○	**『方言の読本』**p. 31／**『方言の地図帳』**p. 32		きのうの前の日のことは何と言いますか。#LAJ6-276	
吉田	JL-112	一昨々日	116	M	○			〔おととい〕の前の日のことは何と言いますか。#LAJ6-275	
吉田	JL-113	しあさって：明明後日	117	M	○	**『方言の読本』**p. 27／**『方言の地図帳』**p. 28 ・LAJ時代の語形と体系を意外と保持？（新井）	85・M	あさっての次の日のことは何と言いますか。#LAJ6-285	
吉田	JL-114	やのあさって：明明明後日	118	M	○	**『方言の読本』**p. 29／**『方言の地図帳』**p. 30 ・LAJ時代の語形と体系を意外と保持？（新井）	84・M	〔しあさって〕の次の日のことは何と言いますか。#LAJ6-286	
吉田	JL-115	いくつ：個数	119	M	○	**『方言の地図帳』**p. 244		物の数を尋ねるときには何と言いますか。箱の中にある物の数を尋ねるとき「この中にまんじゅうが～」それから何と言いますか。※「何個」などと答えた場合は，あらたまった言い方ではないか確かめること。#LAJ1-49	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-116	いくつ：何歳	120	M	○			人の年齢を尋ねるとき，何と言って聞きますか。「年は～」それから何と言いますか。※「何歳」などと答えた場合は，あらたまった言い方ではないか確かめること。#LAJ6-293	
吉田	JL-117	いくら：値段	121	M	○			物の値段を尋ねるときには何と言いますか。「このまんじゅうはひとつ～」それから何と言いますか。※「何円」などと答えた場合は，あらたまった言い方ではないか確かめること。#LAJ1-50改	
吉田	JL-118	かぞえる：数える	122	M	○	『方言の読本』p. 119／『方言の地図帳』p. 128		たとえば鉛筆なら鉛筆を，一本二本と（手つきを示す）調べることをどうすると言いますか。※「調べる」「確かめる」などはとらない。また，お金の場合は別の言い方をすると報告された場合は注記を付ける。#LAJ2-69改・6-296改	
吉田	JL-119	つゆ：梅雨	123	M	○	『方言の読本』p. 15／『方言の地図帳』p. 14		夏の初めごろ雨の長く降り続く時期があります。その雨の時期のことを何と言いますか。※時期ではなく，その時期に降る雨であることが報告された場合は注記を付ける。#LAJ6-254改	
吉田	JL-120	じしん：地震	124	M	○	『方言の読本』p. 13／『方言の地図帳』p. 12		地面が急にぐらぐらっと揺れて，ひどいときには大木や家が倒れたりすることがあります。その地面の揺れること，それを何と言いますか。#LAJ6-263	

担当	質問番号	分析対象	番号	分析対象の主目的	LAJ	準備調査の結果について（コメンテイター）	関連項目番号	質問文	コメント欄（調査項目の問題点としてのコメント）
吉田	JL-121	やま	125	Nv		・「実感がない」にあたる地点は，もっと多くなるのではないか．（吉田）	126・M 127・M	材木のための木を植えて育てる場所のことを何と言いますか。※この項目で求めているのは，共通語の「山」と同じではない。生活の中での実感が伴わない様子であれば，そのことを注記で記す。	
吉田	JL-122	もり	126	M	○	**『方言の地図帳』** p. 16 ・時間が伴わない地点と，数回等が出る地点とで，分かれるようである．大阪では「やま」に比べ，すぐ回答されたとのこと． ・ハヤシが現れない．（吉田）	125・Nv 127・M	お宮の境内などがあって，木が一か所に集ってこんもりと生えている場所のことを何と言いますか。※※この項目で求めているのは，共通語の「森」と同じではない。生活の中での実感が伴わない様子であれば，そのことを注記で記す。#LAJ4-198改	
吉田	JL-123	はやし	127	M	○	**『方言の地図帳』** p. 27 ・ヤマの分布が意外と多い．（吉田）	125・Nv 126・M	木がたくさん生えていて，たきぎを拾ったり〔きのこ〕や山菜を採る場所のことを何と言いますか。※この項目で求めているのは，共通語の「林」と同じではない。生活の中での実感が伴わない様子であれば，そのことを注記で記す。#LAJ4-199改	大西：薪を取るところと茸を採るところで名称の違いがあることがあった．
吉田	JL-124	たいよう	128	M	○	**『方言の読本』** p. 11 ／ **『方言の地図帳』** p. 10 ・ニチリン系，ニッテン系，コンニチ系の語形が現れていない． ・幼児語としてナンナンサンが出ている．鹿児島県日置．（吉田）		朝東の方から出て，夕方西の方に沈む，昼間空に輝いているものを何と言いますか。※特別の敬称や児童語には注記。#LAJ6-251改	

［語彙項目］全国方言準備調査結果分析－地図

新井小枝子・吉田雅子

地図について

原則として，次の通り提示する。

●見開き左ページ：先行研究モノクロ全国方言地図の転載。主に LAJ の略図。

転載文献

佐藤亮一監修・小学館辞典編集部編 2002

『お国ことばを知る　方言の地図帳』小学館

徳川宗賢編 1979『日本の方言地図』中央公論社（中公新書 533）

●見開き右ページ:準備調査 31 地点の結果を地図化したもの。作業記録としての地図。

先行研究モノクロ全国方言地図がない場合は，準備調査結果の地図のみ提示する。

※調査結果をもとに，以下の観点から，今後さらに検討を加える必要がある。

①「分析対象の主目的」ごとに調査項目の意義を検討する。

M －〈変化のないもの〉の把握

－〈変化のあるもの〉の把握

－変化の詳細は？共通語の台頭？予測しなかった動き？

C　関連項目補完に足りうる調査項目か？

V　関連項目照合・確認に足りうる調査項目か？

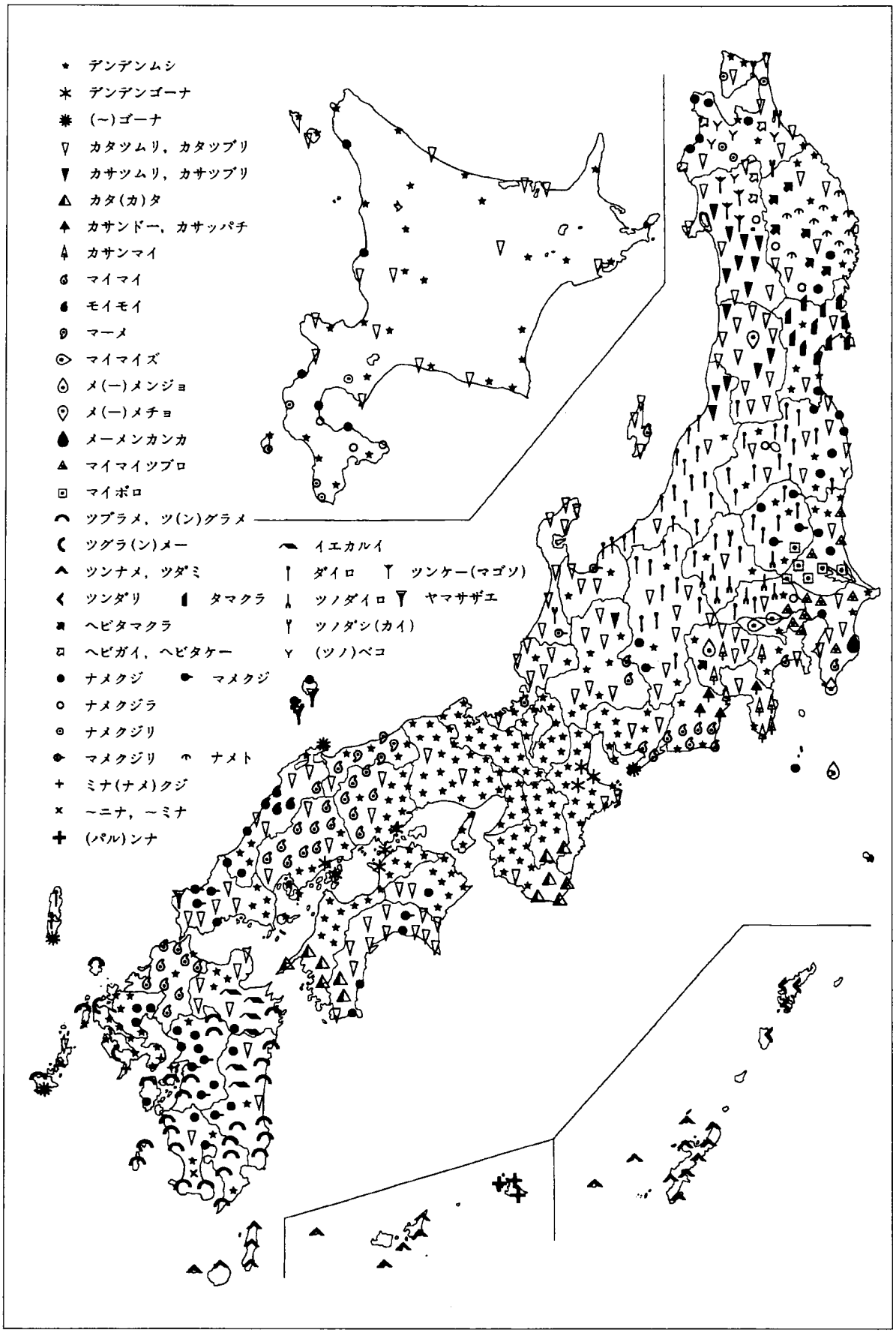
Nv　調査項目としての価値は？

Nc　予備調査の結果としての実態は？調査項目としての価値は？

②分布から何を読み取るか，分布に何を読み込むかを，具体的に確認する。

275

かたつむり（蝸牛）


デンデンムシ
デンデンゴーナ
(ー)ゴーナ
カタツムリ，カタツブリ
カサツムリ，カサツブリ
カタ(カ)タ
カサンドー，カサッパチ
カサンマイ
マイマイ
モイモイ
マーメ
マイマイズ
メ(ー)メンジョ
メ(ー)メチョ
メーメンカンカ
マイマイツブロ
マイボロ
ツブラメ，ツ(ン)グラメ
ツグラ(ン)メー
ツンナメ，ツダミ
ツンダリ
タマクラ
ヘビタマクラ
ヘビガイ，ヘビタケー
ナメクジ
マメクジ
ナメクジラ
ナメクジリ
マメクジリ
ナメト
ミナ(ナメ)クジ
ーニナ，ーミナ
(パル)ンナ
イエカルイ
ダイロ
ツンケー(マゴツ)
ツノダイロ
ヤマサザエ
ツノダシ(カイ)
(ツノ)ベコ

JL-001　かたつむり

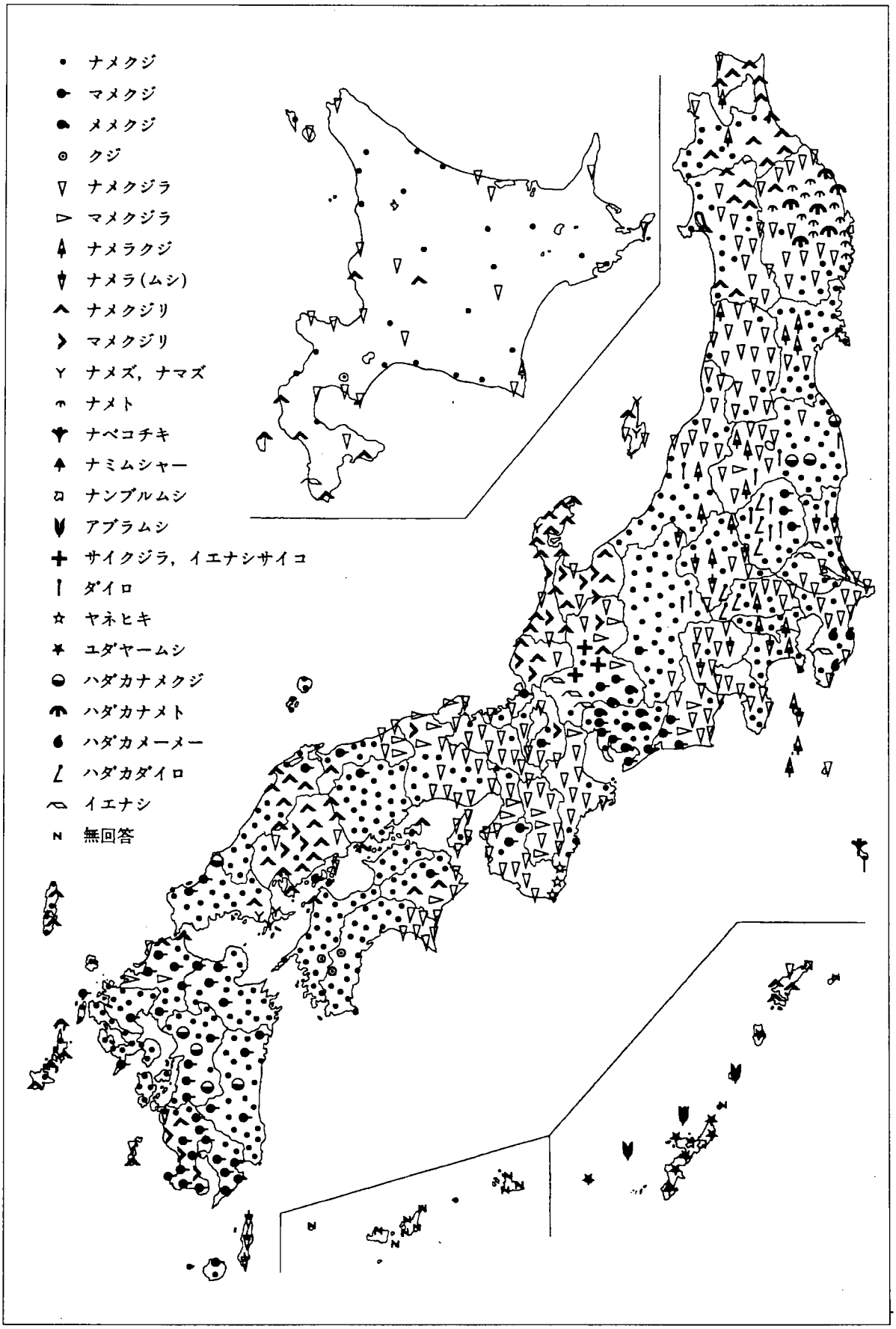
★ デンデンムシ
▽ カタツムリ
マイマイ
● マメクジ
ツネンデロ
ツブラメ
チンチン
シタミ

『方言の読本』p. 229
・カタツムリの分布拡大か。
　ツネンデロ・ダイロ系，ツブラ系，
マイマイ系の地域は縮小？
　とは言っても，今回の調査地点には
出現しているところをみると，
それほど縮小していないのかも？
・鹿児島にみられるマメクジはどこへ？
他地域に分布していたナメクジ系の
語はどこへ？

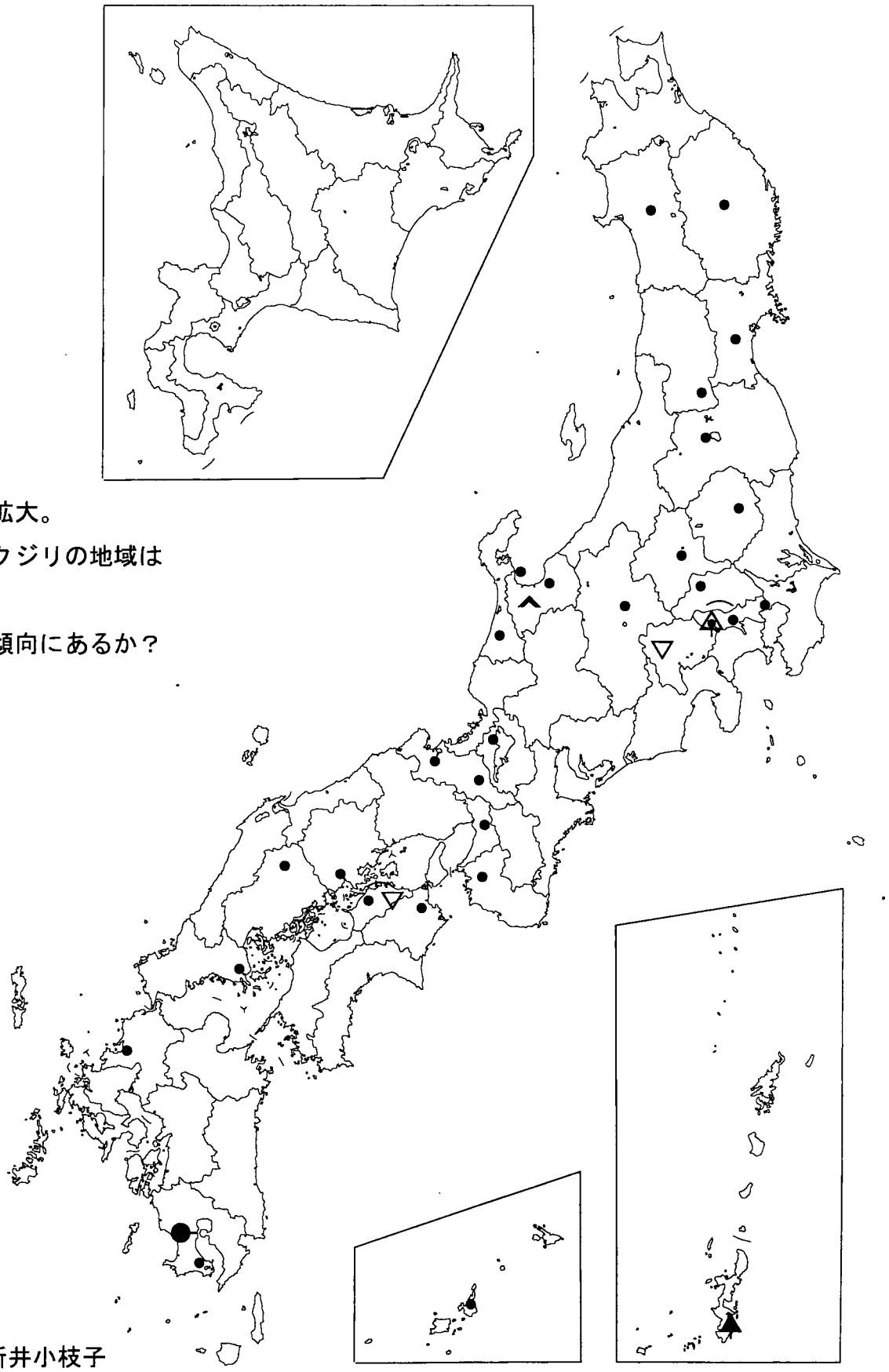
作図：新井小枝子

277

なめくじ（蛞蝓）


ナメクジ
マメクジ
メメクジ
クジ
ナメクジラ
マメクジラ
ナメラクジ
ナメラ(ムシ)
ナメクジリ
マメクジリ
ナメズ，ナマズ
ナメト
ナベコチキ
ナミムシャー
ナンブルムシ
アブラムシ
サイクジラ，イエナシサイコ
ダイロ
ヤネヒキ
ユダヤームシ
ハダカナメクジ
ハダカナメト
ハダカメーメー
ハダカダイロ
イエナシ
無回答

JL-002　なめくじ

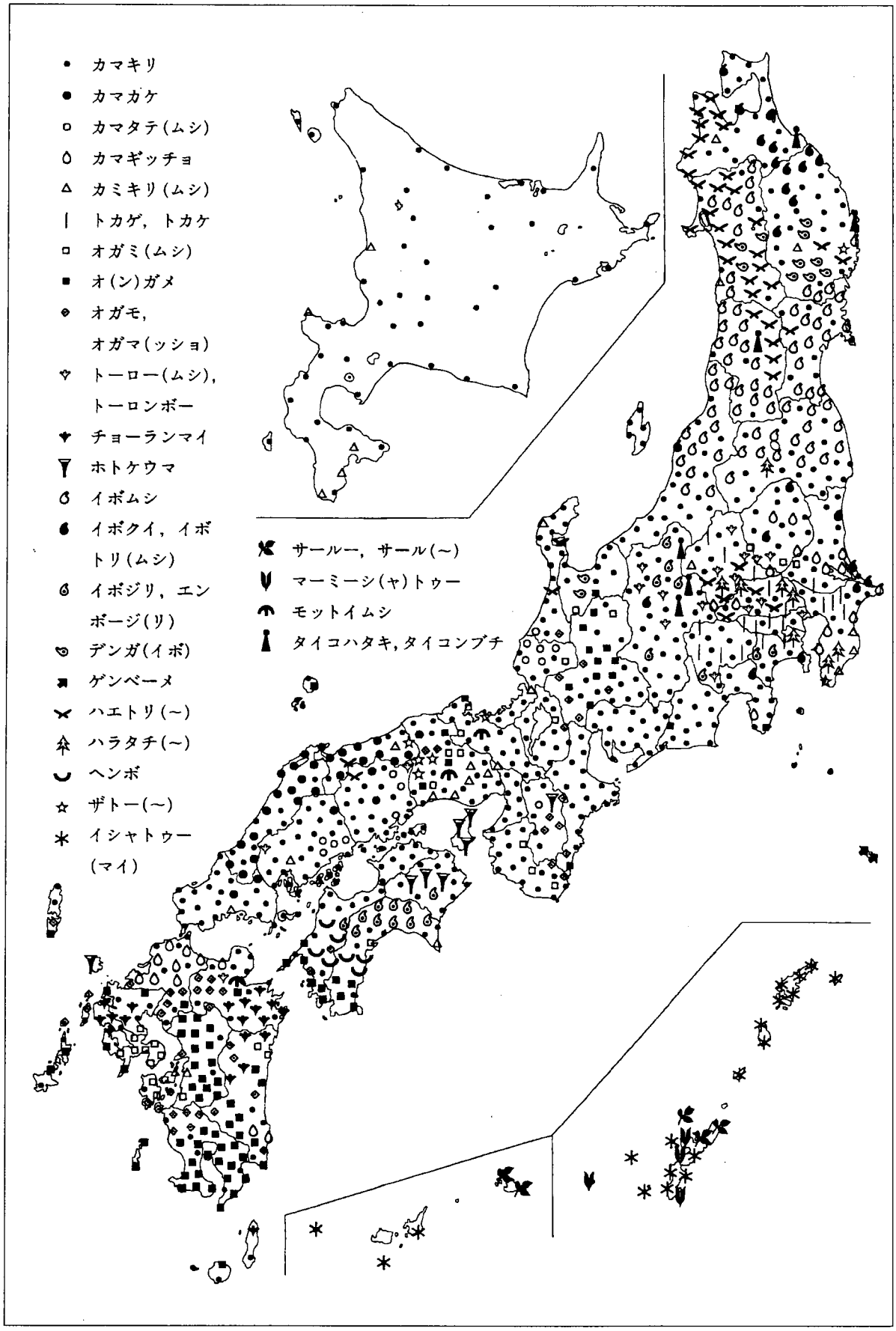


・ナメクジの分布域拡大。
ナメクジラ，ナメクジリの地域は
縮小傾向？
他の俚言形も消失傾向にあるか？

作図：新井小枝子

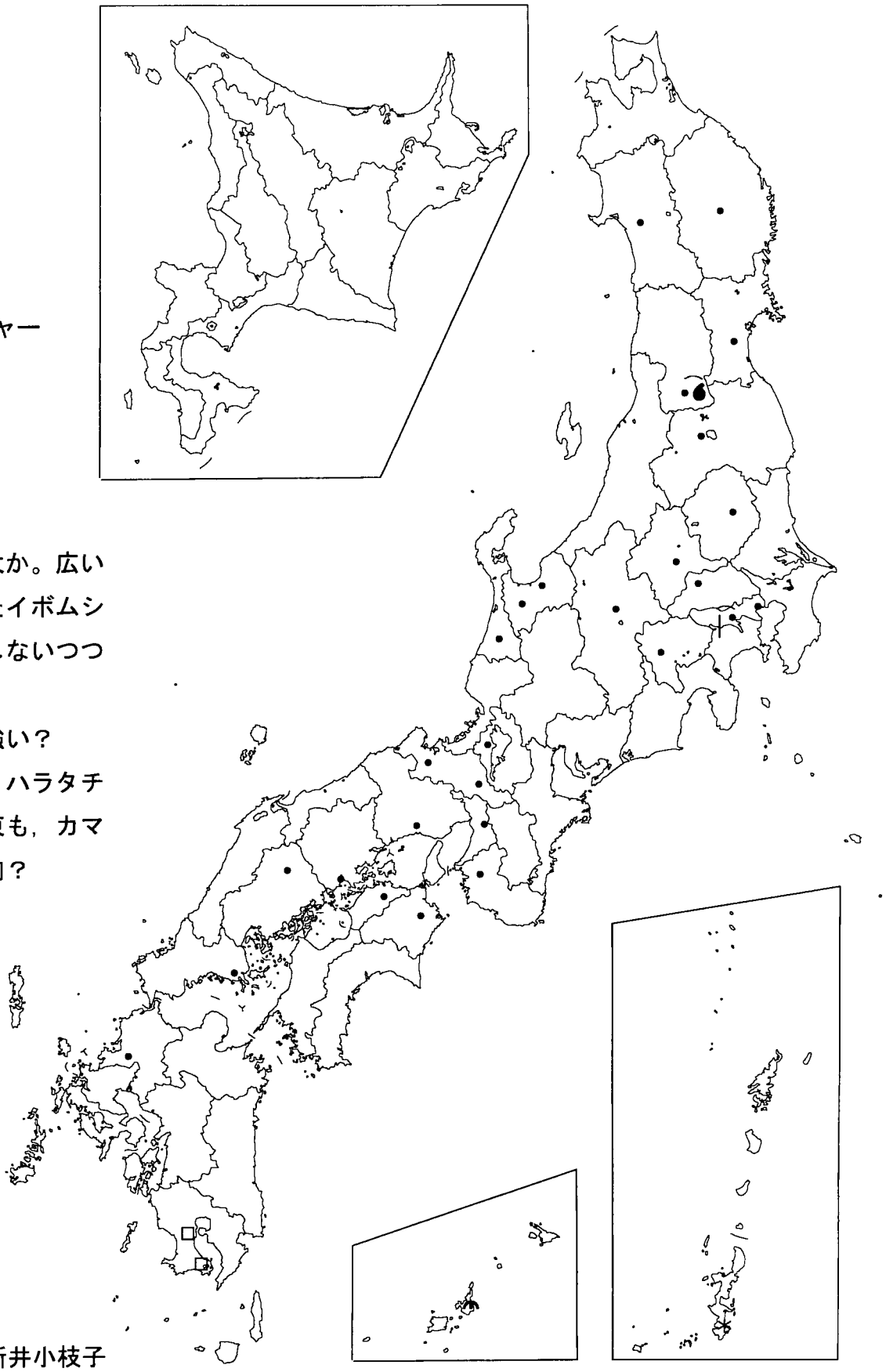
291

かまきり（螳螂）


カマキリ
カマカケ
カマタテ(ムシ)
カマギッチョ
カミキリ(ムシ)
トカゲ，トカケ
オガミ(ムシ)
オ(ン)ガメ
オガモ，
オガマ(ッショ)
トーロー(ムシ)，
トーロンボー
チョーランマイ
ホトケウマ
イボムシ
イボクイ，イボ
トリ(ムシ)
イボジリ，エン
ボージ(リ)
デンガ(イボ)
ゲンベーメ
ハエトリ(～)
ハラタチ(～)
ヘンボ
ザトー(～)
イシャトゥー
(マイ)
サールー，サール(～)
マーミーシ(ヤ)トゥー
モットイムシ
タイコハタキ，タイコンブチ

JL-003　かまきり

- • カマキリ
- | トカゲ
- □ オガミ
- ● イボムシ
- ＊ イサトゥー
- ⌒ サントゥリシャー

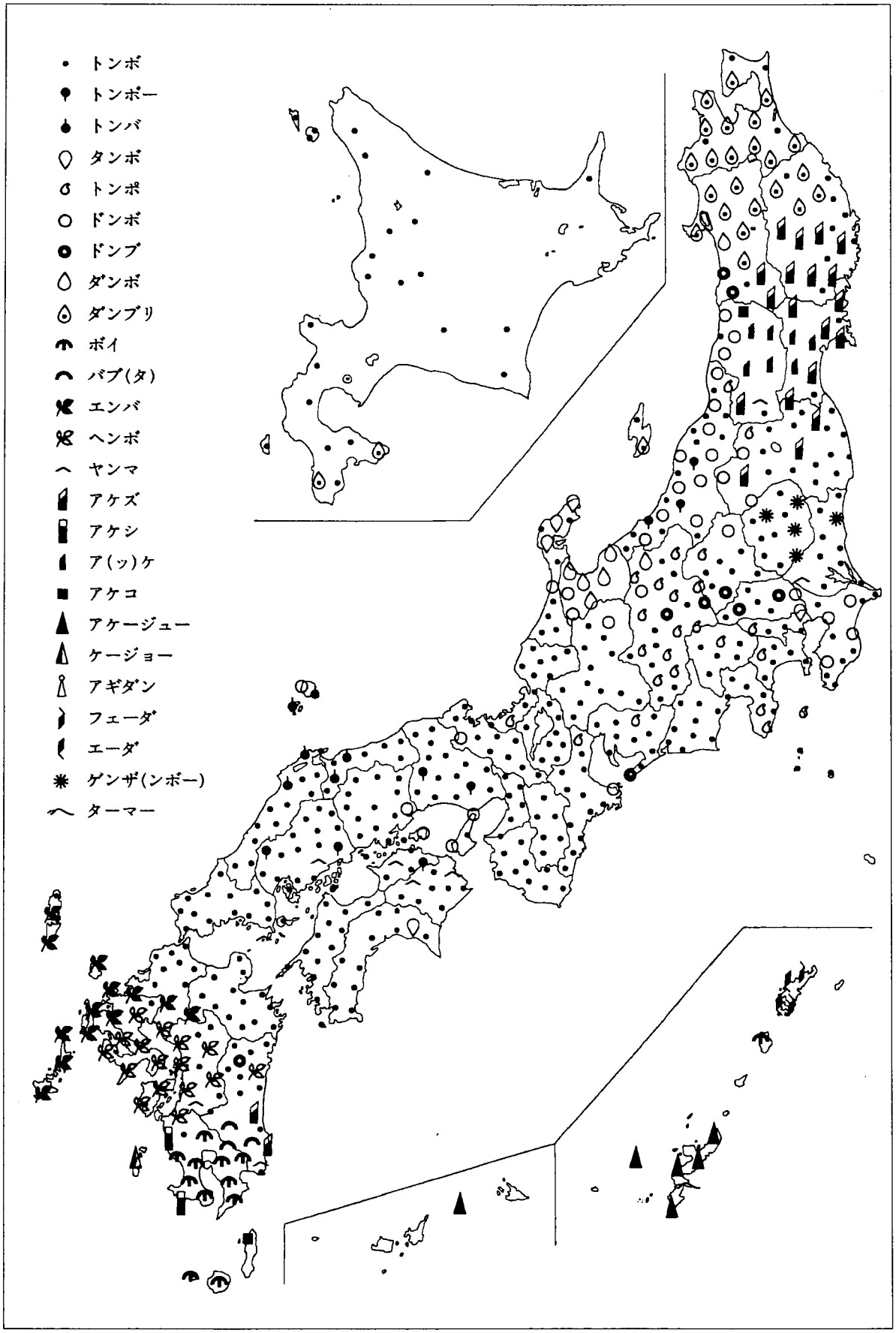


・カマキリの勢力拡大か。広い分布域をもっていたイボムシ系の語は勢力をうしないつつあるか。
オガミ系の語は根強い？
ハエトリ，トカゲ，ハラタチの分布域だった関東も，カマキリにおされる傾向？

作図：新井小枝子

293

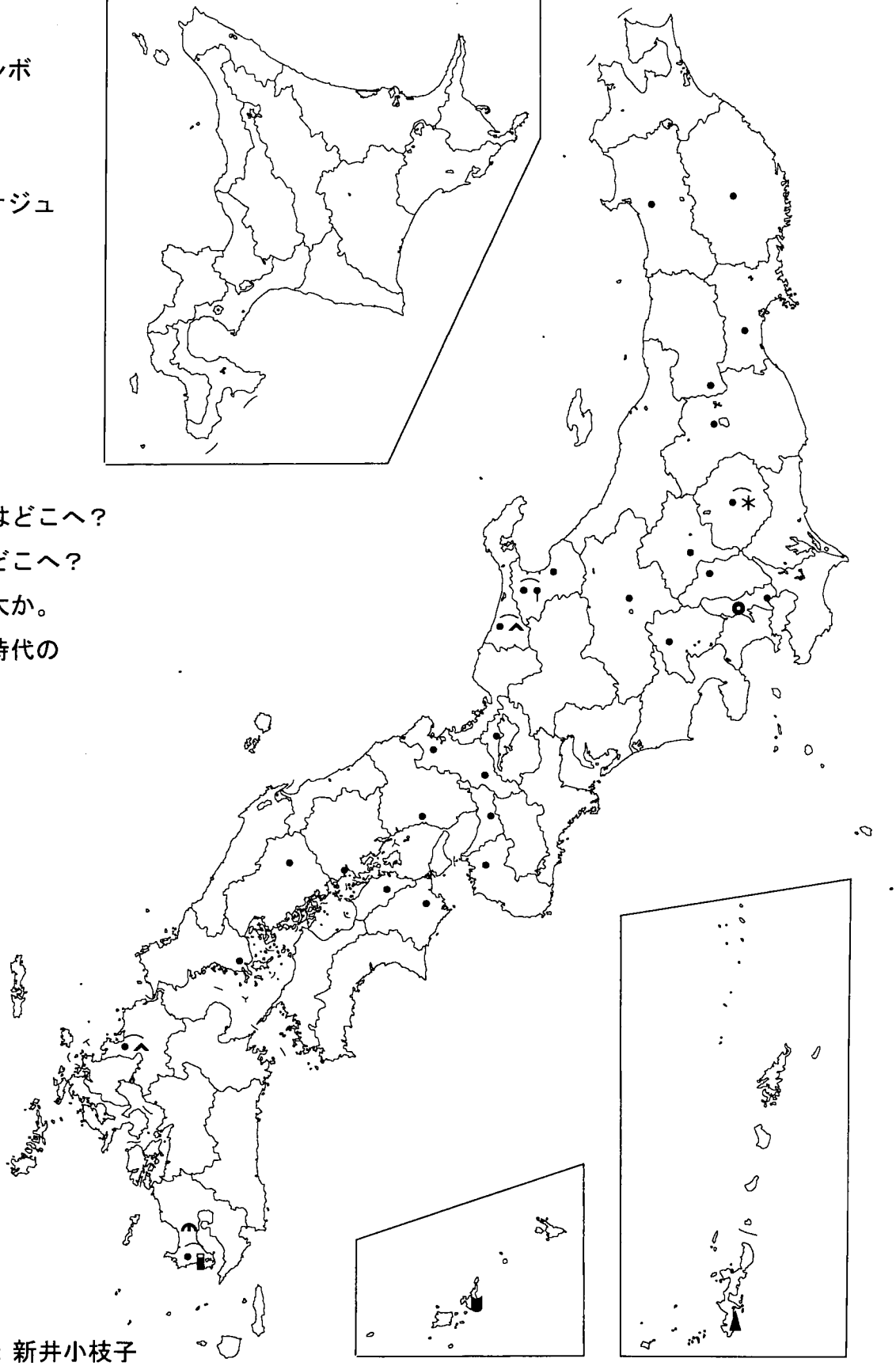
とんぼ（蜻蛉）


トンボ
トンボー
トンバ
タンボ
トンポ
ドンボ
ドンブ
ダンボ
ダンブリ
ボイ
バブ(タ)
エンバ
ヘンボ
ヤンマ
アケズ
アケシ
ア(ッ)ケ
アケコ
アケージュー
ケージョー
アギダン
フェーダ
エーダ
ゲンザ(ンボー)
ターマー

JL-004　とんぼ

• トンボ　　ドンボ
ドンブ
ヤンマ
アケシ　　アケジュ
ボイ
アヤジ
＊ ゲンザンボ

・東北の{ダンブリ／アケズ}はどこへ？
北九州のエンバはどこへ？
・トンボの地域は拡大か。
と同時に，ＬＡＪ時代の
俚言形もみえる。



作図：新井小枝子

JL-005　ぼうふら

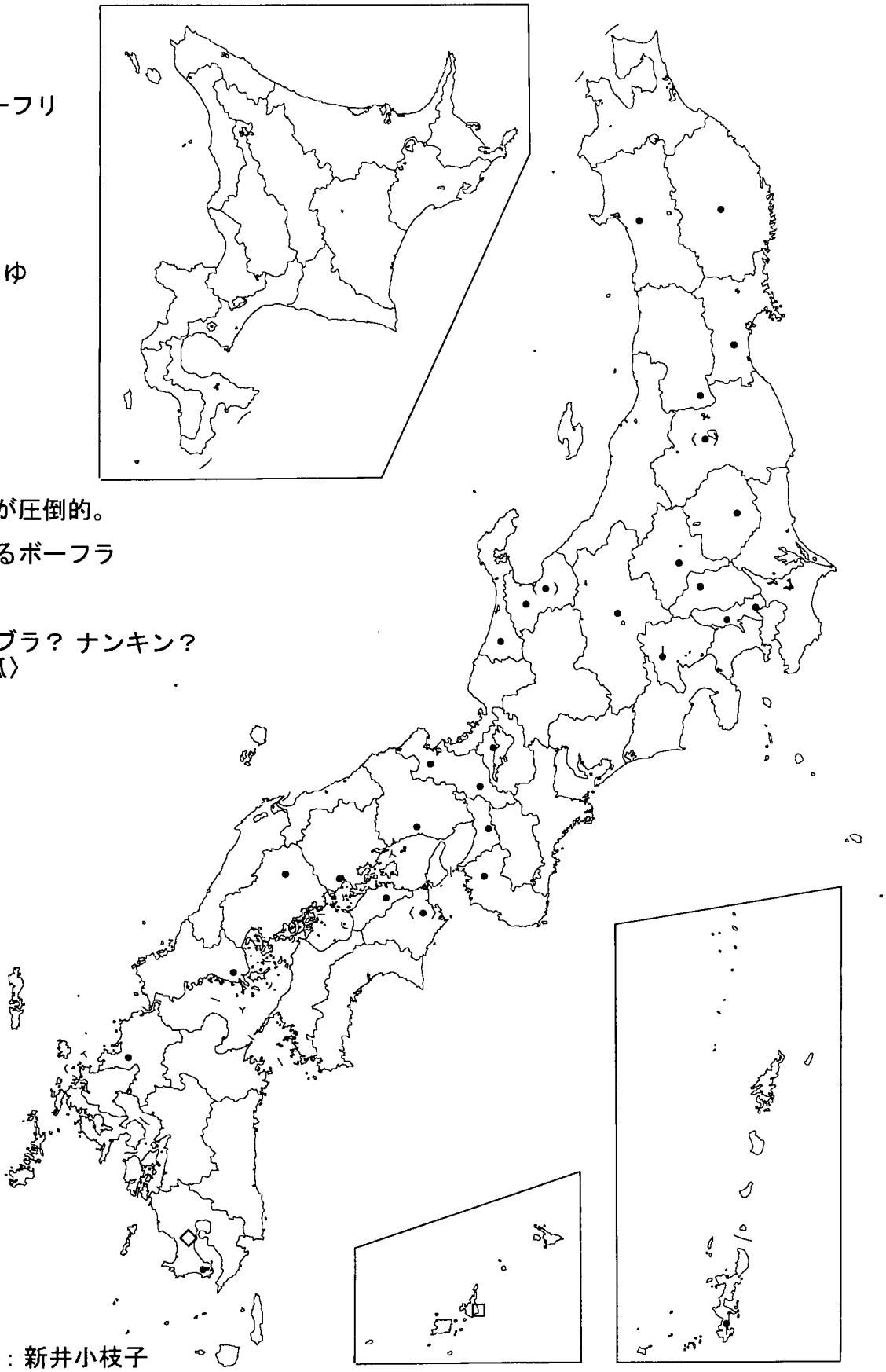
• ボーフラ　　↓ ボーフリ

↑ ボーフヤ

◇ カノコ

□ ミジヌファー

〈 〉ゆ



・ボーフラの地域が圧倒的。

・〈南瓜〉に対するボーフラ

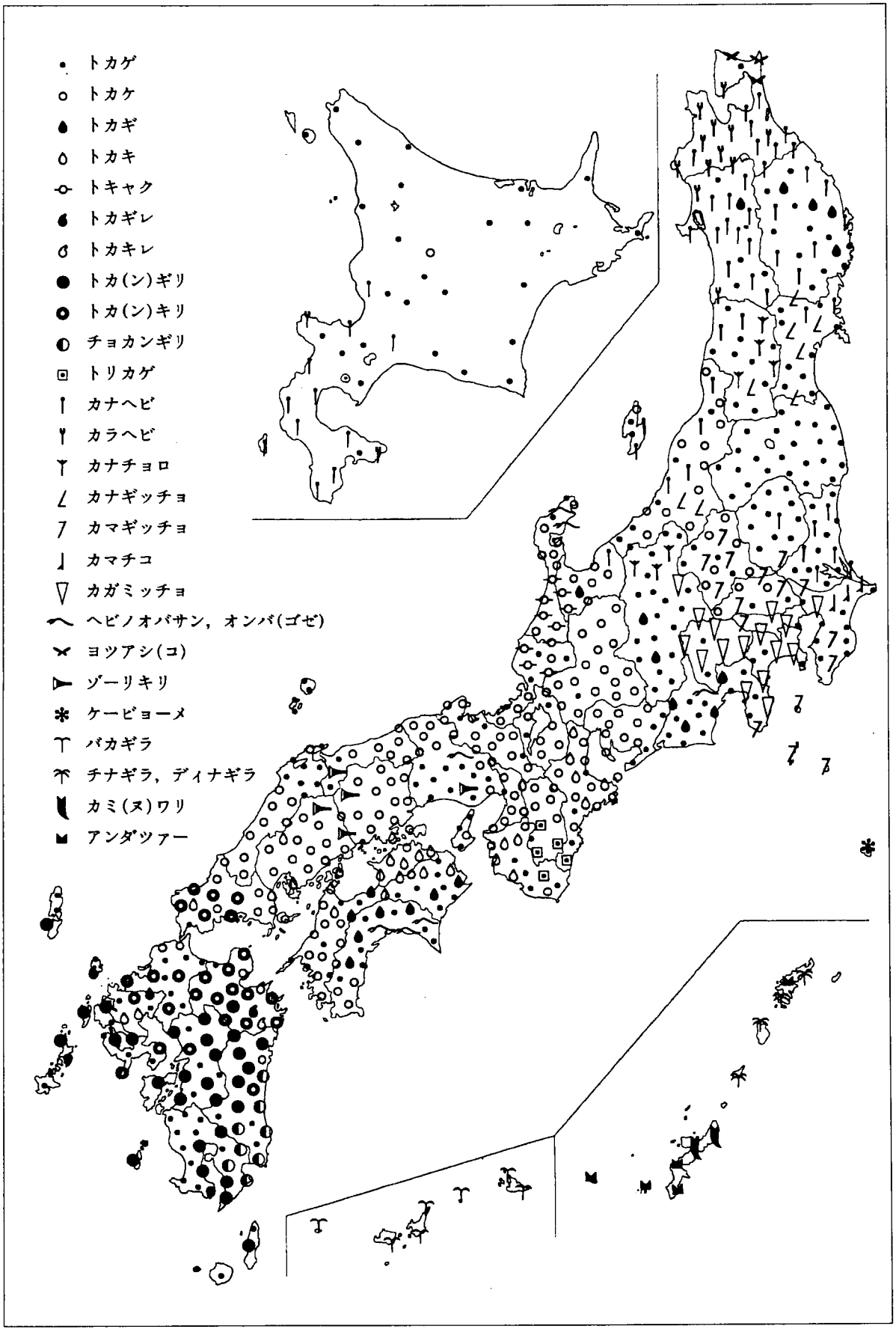
との関連は？

ボーフラ／ボーブラ？ ナンキン？
〈蚊の子〉〈南瓜〉

作図：新井小枝子

273

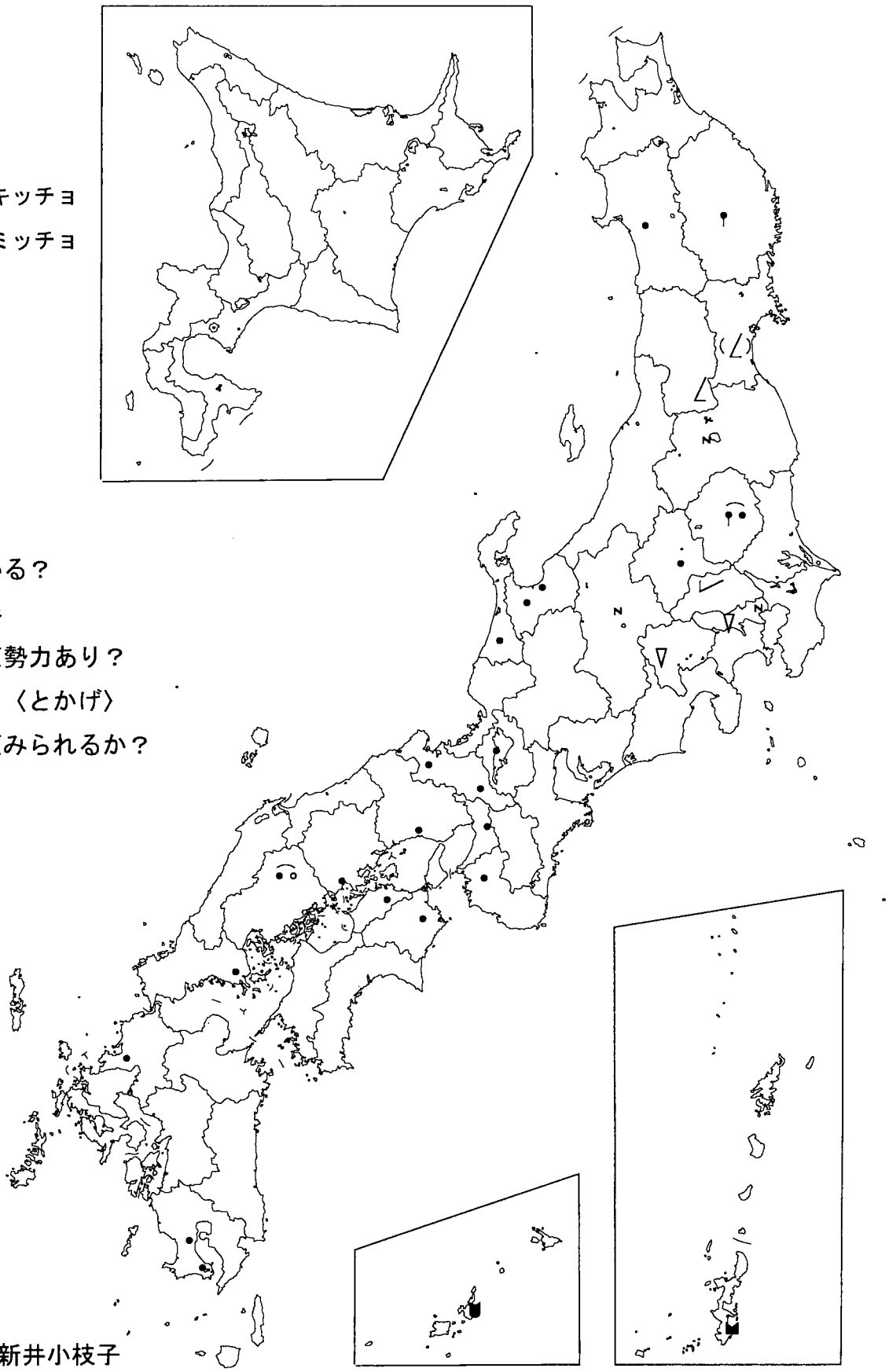
とかげ（蜥蜴）


トカゲ
トカケ
トカギ
トカキ
トキャク
トカギレ
トカキレ
トカ(ン)ギリ
トカ(ン)キリ
チョカンギリ
トリカゲ
カナヘビ
カラヘビ
カナチョロ
カナギッチョ
カマギッチョ
カマチコ
カガミッチョ
ヘビノオバサン，オンバ(ゴゼ)
ヨツアシ(コ)
ゾーリキリ
ケービョーメ
バカギラ
チナギラ，ディナギラ
カミ(ヌ)ワリ
アンダツァー

JL-010　とかげ

- ● トカゲ
- ○ トカケ
- カナヘビ　　カナキッチョ
- カマキリ　　カガミッチョ
- アンダッチャー
- ヤマフタシミ
- N NR

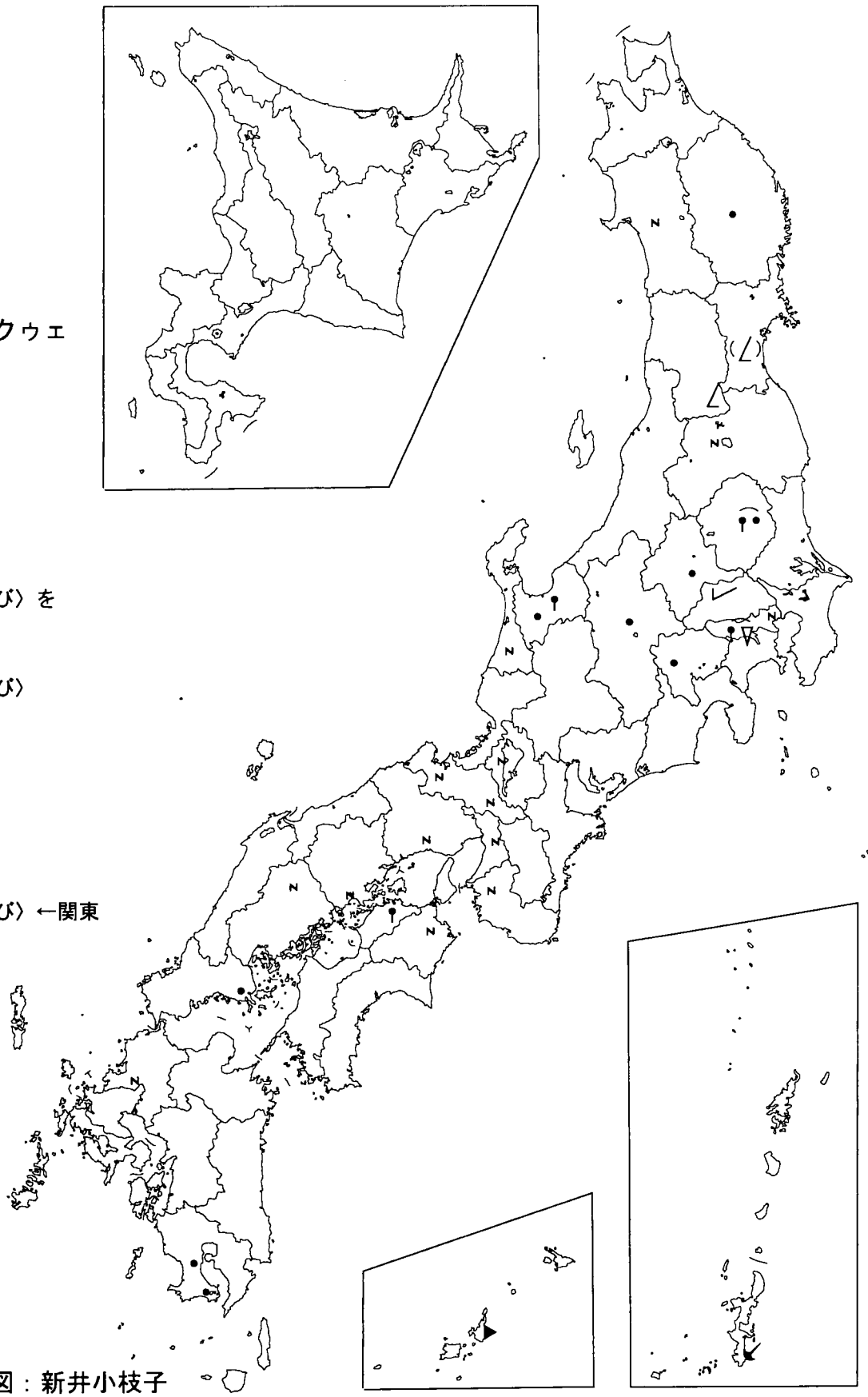
・西日本のトカケが
　トカゲに変化している？
・関東，中部の俚言形
　カガミッチョはまだ勢力あり？
・関東の〈かまきり〉〈とかげ〉
　の語形の交替はまだみられるか？
『方言の読本』p. 227



作図：新井小枝子

JL-011　かなへび

- • トカゲ
- ↑ カナヘビ
- ∠ カナキッチョ
- ∨ カマキリ
- ▽ カガミッチョ
- ↙ コーレーグスクゥェ
- ▶ バカビラ
- N ＮＲ



・ＮＲの地域多。

・〈とかげ〉と〈かなへび〉を
　区別する地域が多。

　〈とかげ〉：〈かなへび〉

＝　トカゲ　：　　ＮＲ

＝カガミッチョ：トカゲ

＝　カナヘビ：　トカゲ

・区別しない地域

　〈とかげ〉：〈かなへび〉←関東

＝　　トカゲ

　カナヘビ～トカゲ

　　カマキリ

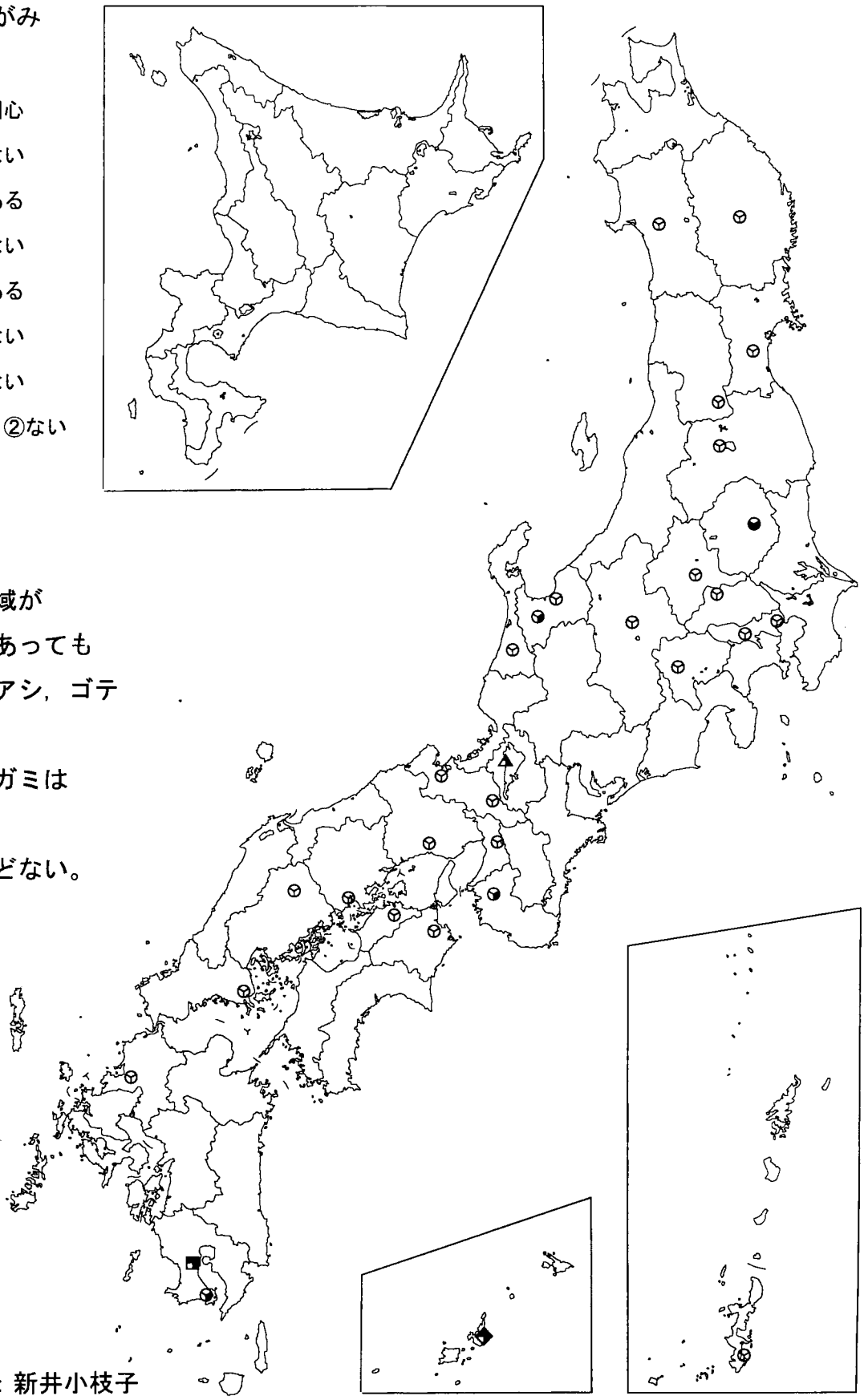
作図：新井小枝子

JL-012　牛馬のひかがみ

名称	飼育経験	関心
⊕ NR	②ない	②ない
⊕ NR	②ない	①ある
⊕ NR	①ある	②ない
⊕ NR	①ある	①ある
▲ アシ	①ある	②ない
■ ゴテ	①ある	②ない
◆ パンヌバッタ	①ある	②ない

・名称をもたない地域がほとんど。名称があっても〈足〉全体を表すアシ，ゴテのみがみられる。予測していたヒカガミはみられない。

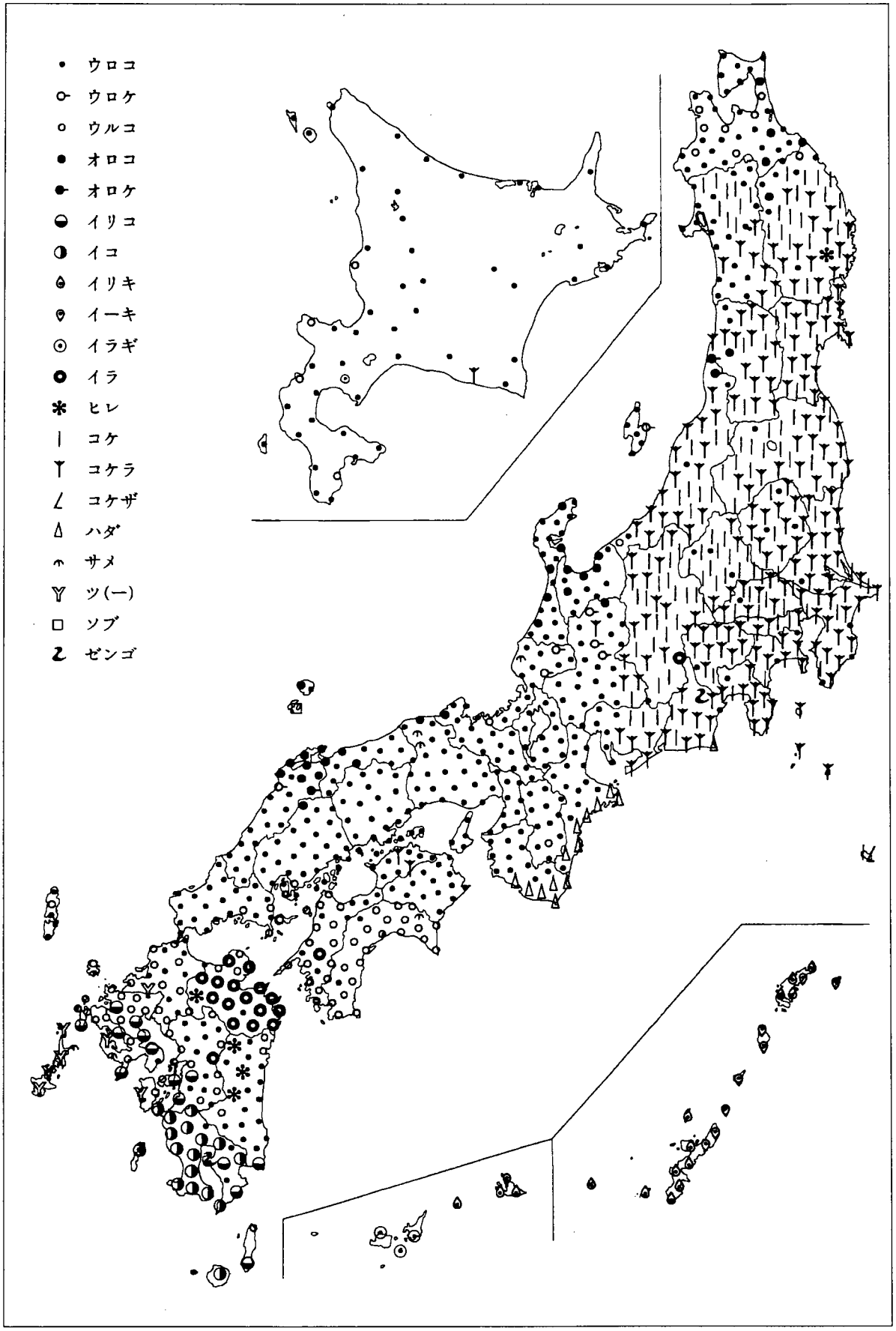
・飼育経験もほとんどない。



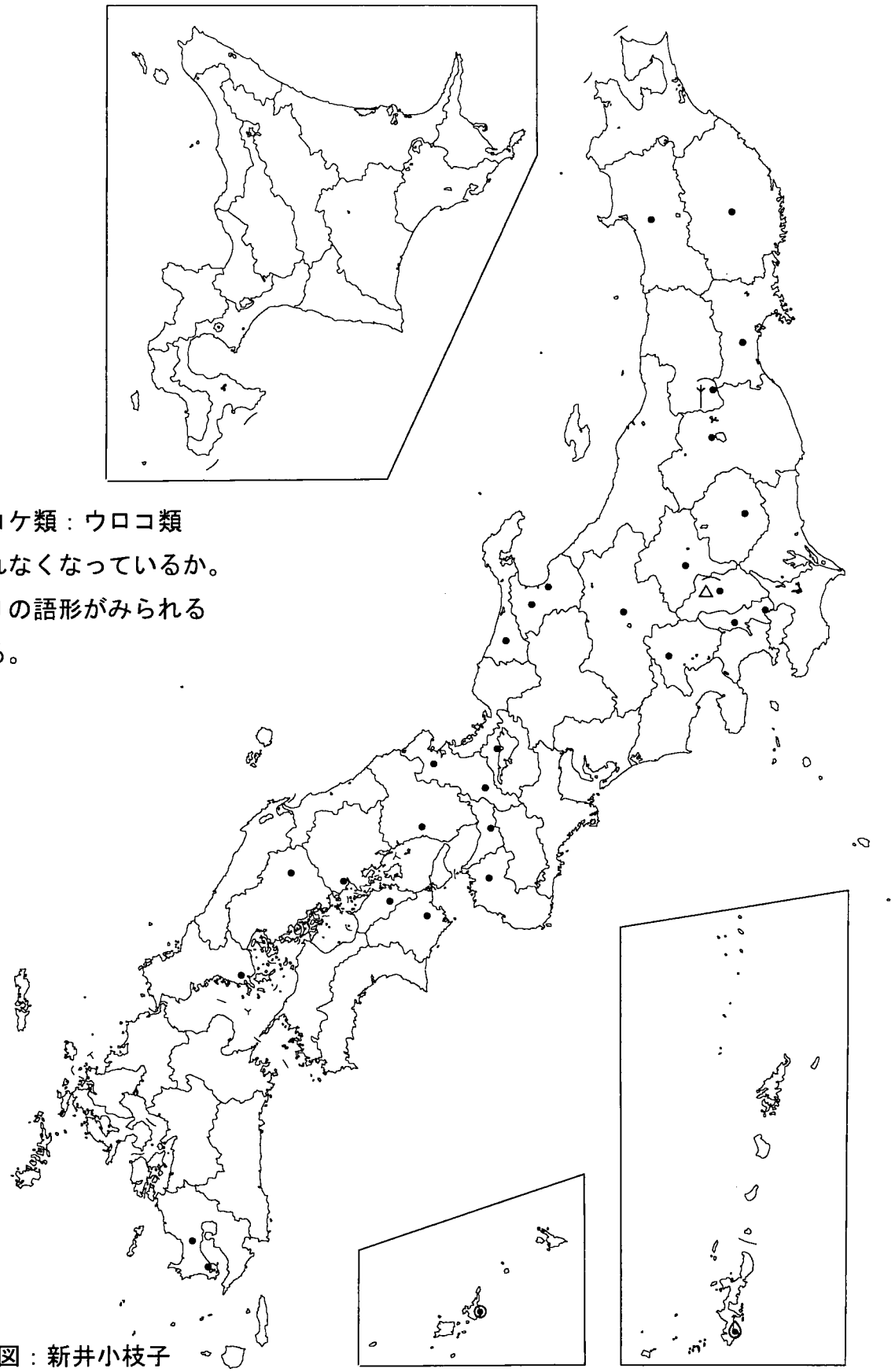
作図：新井小枝子

271

うろこ（鱗）


ウロコ
ウロケ
ウルコ
オロコ
オロケ
イリコ
イコ
イリキ
イーキ
イラギ
イラ
ヒレ
コケ
コケラ
コケザ
ハダ
サメ
ツ(一)
ソブ
ゼンゴ

JL-013　うろこ



・東日本：西日本＝コケ類：ウロコ類
　の対立分布がみられなくなっているか。
・沖縄地域でもＬＡＪの語形がみられる
　中にウロコがみえる。
『方言の読本』p. 225

作図：新井小枝子

JL-014　蟹のこうら

• コーラ　◉ カニノ　コーラ

◙ カニノ　カラ

◎ カニノ　コー

◍ ガニェンチュ

＊ セコ°

❾ グル

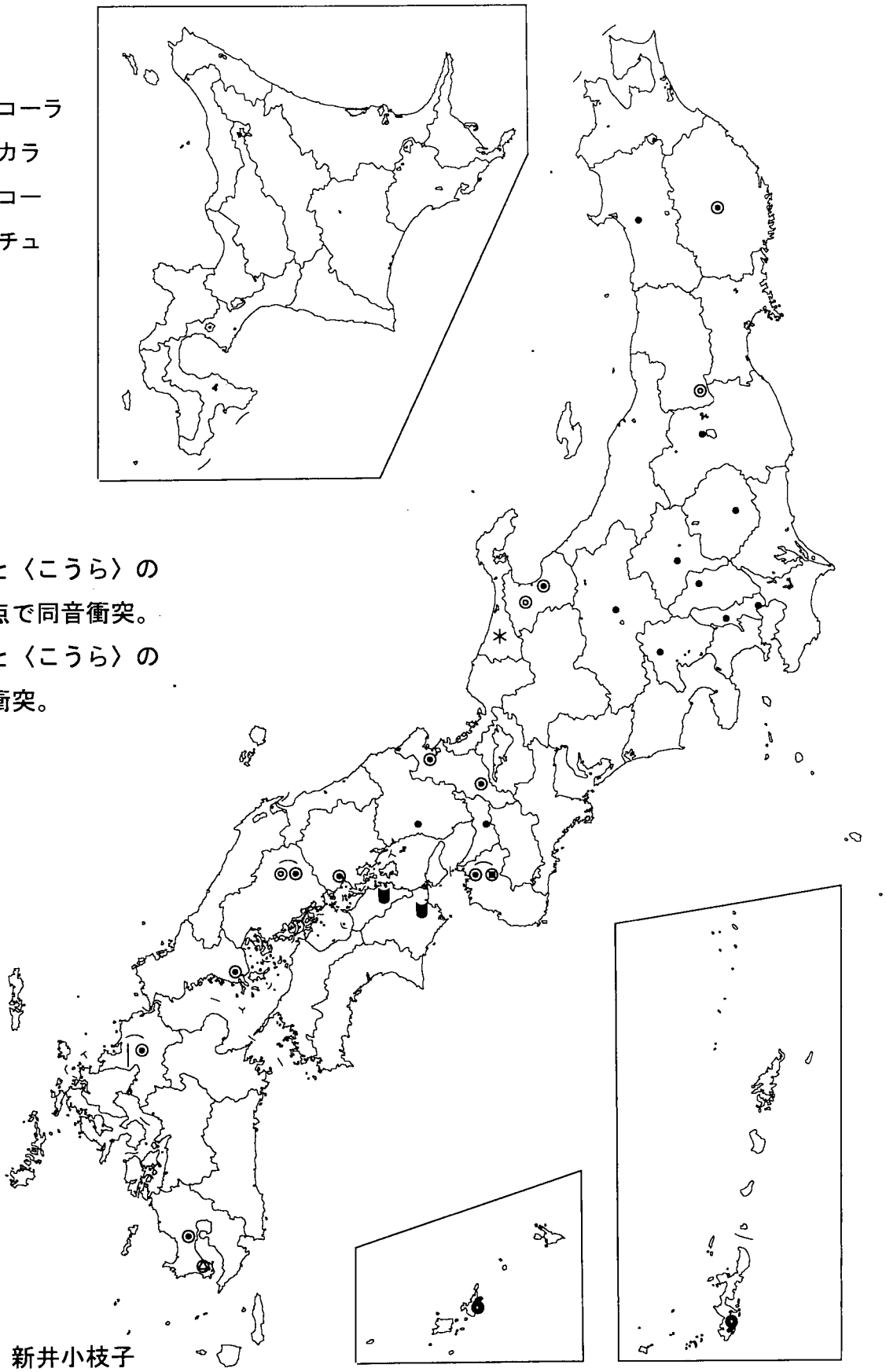
❻ カミヌクー

ᴗ ウロコ

| ガニ

・〈うろこ〉のウロコと〈こうら〉のウロコは四国の２地点で同音衝突。

・〈うろこ〉のコーラと〈こうら〉のコーラは埼玉で同音衝突。



作図：新井小枝子

JL-015　ぶり

段階の区別	名称
• ない	ブリ
× ない	ＮＲ
■ ある	３段階
	４段階
	５段階
	８段階
	段階数？

・段階の区別がある地域とない地域の分布域はつかめそう。
・段階の区別がある地域の語形については体系記述が必要。その先に描ける分布図とは？

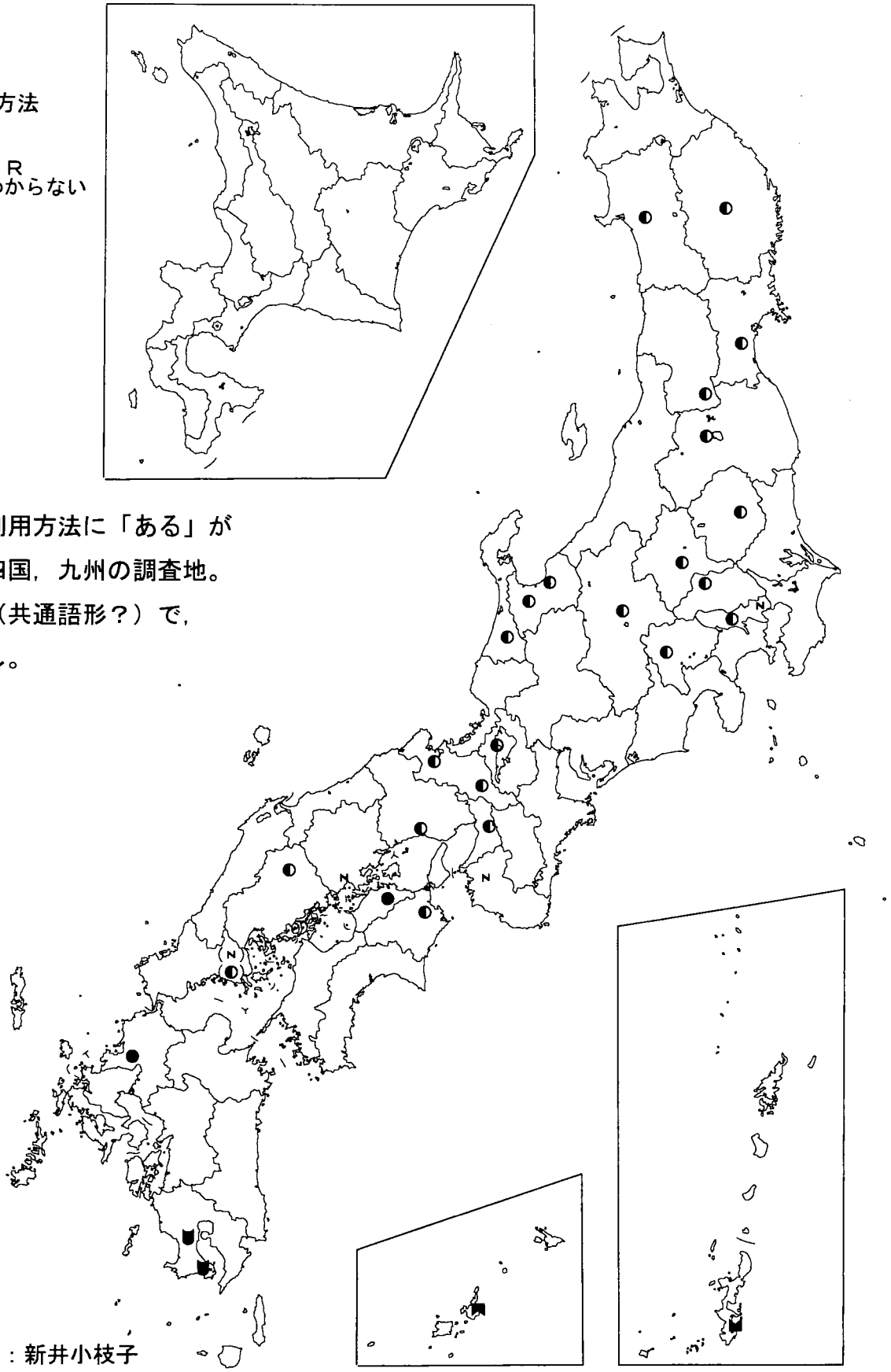
作図：新井小枝子

JL-018　ほうせんか

a 名称	b 利用方法
◐ ホーセンカ	ない or ＮＲ or わからない
● ホーセンカ	ある
■ トッサゴ	ある
■ チンサグ	ある
■ キンジャク	ある
N ＮＲ	

・語形が回答され，利用方法に「ある」が回答されるのは，四国，九州の調査地。

・他は，ホーセンカ（共通語形？）で，利用方法の回答なし。



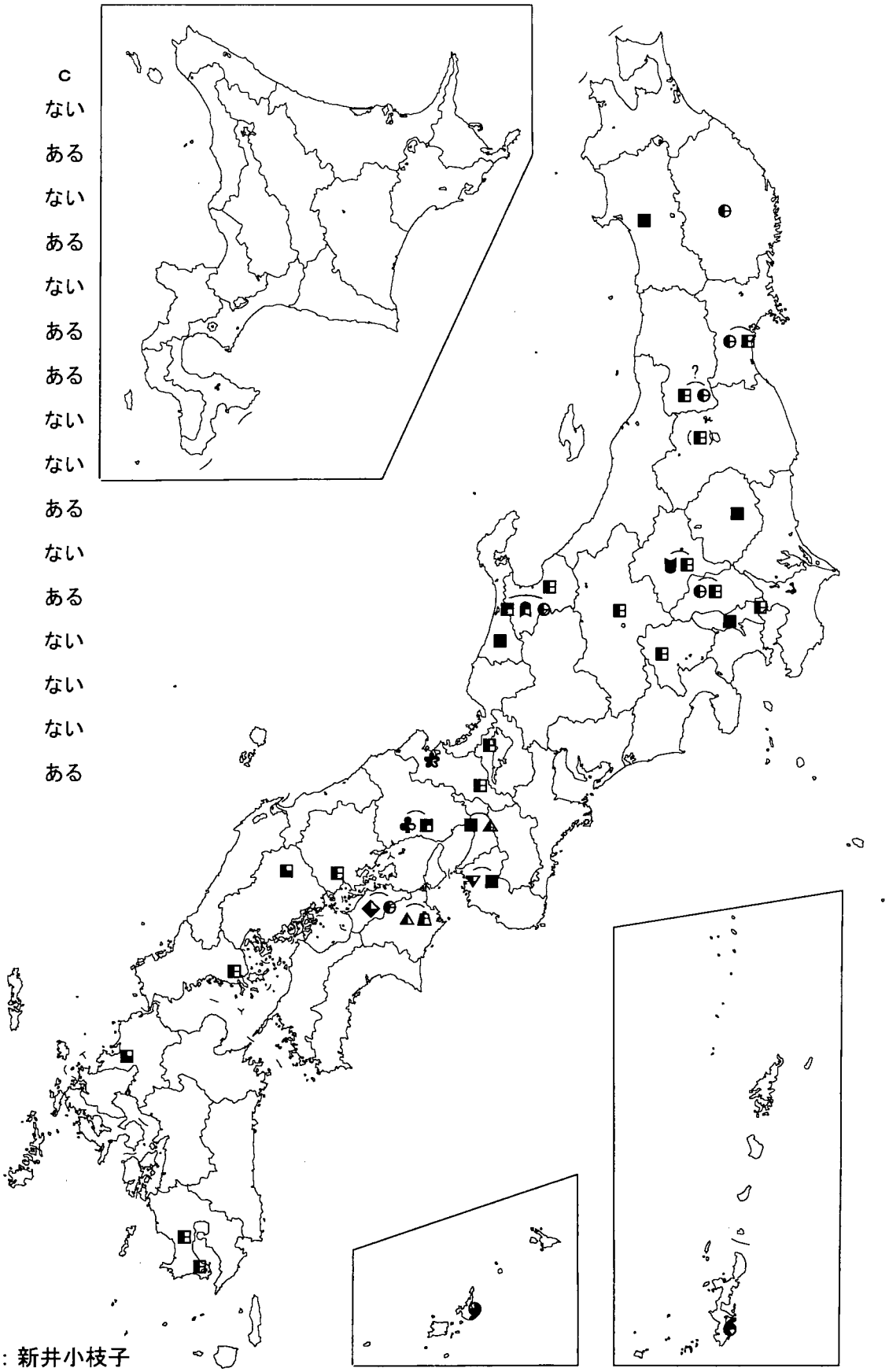
作図：新井小枝子

JL-019　ひがんばな

a	b	c
■ ヒガンバナ	NR	ない
■ ヒガンバナ	NR	ある
■ ヒガンバナ	○	ない
■ ヒガンバナ	○	ある
● マンジュシャゲ	NR	ない
● マンジュシャゲ	○	ある
■ カジバナ	○	ある
■ オイランバナ	○	ない
▲ ソーレンバナ	NR	ない
▼ レンゲ	?	ある
● グソーヌハナ	○	ない
● ビッツァ	NR	ある
✿ キツネノヨメイリ	○	ない
♣ テクサレ	○	ない
■ ホトケサンノハナ	NR	ない
◆ マンサキ	NR	ある

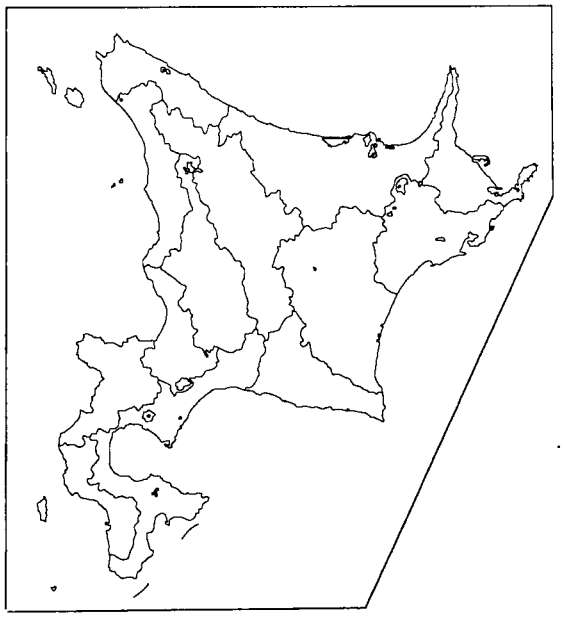
・球根でふえる植物。
・中国から直接九州へ
　渡ってきた。
『ヒガンバナが日本に来た道』
有薗正一郎（1998）海青社

a・ヒガンバナが全国に分布
　している中に，俚言形が
　西日本にあらわれる？
b・NRの地域が多い。
b・各語形についての語源意識
　を問う必要があるか？
c・「ある」の回答は西日本。



作図：新井小枝子

JL-022　柿のへた



・ヘタ　　◎カキノヘタ

▪ホッタ

■ナイクッ（成り口）

ᴺＮＲ

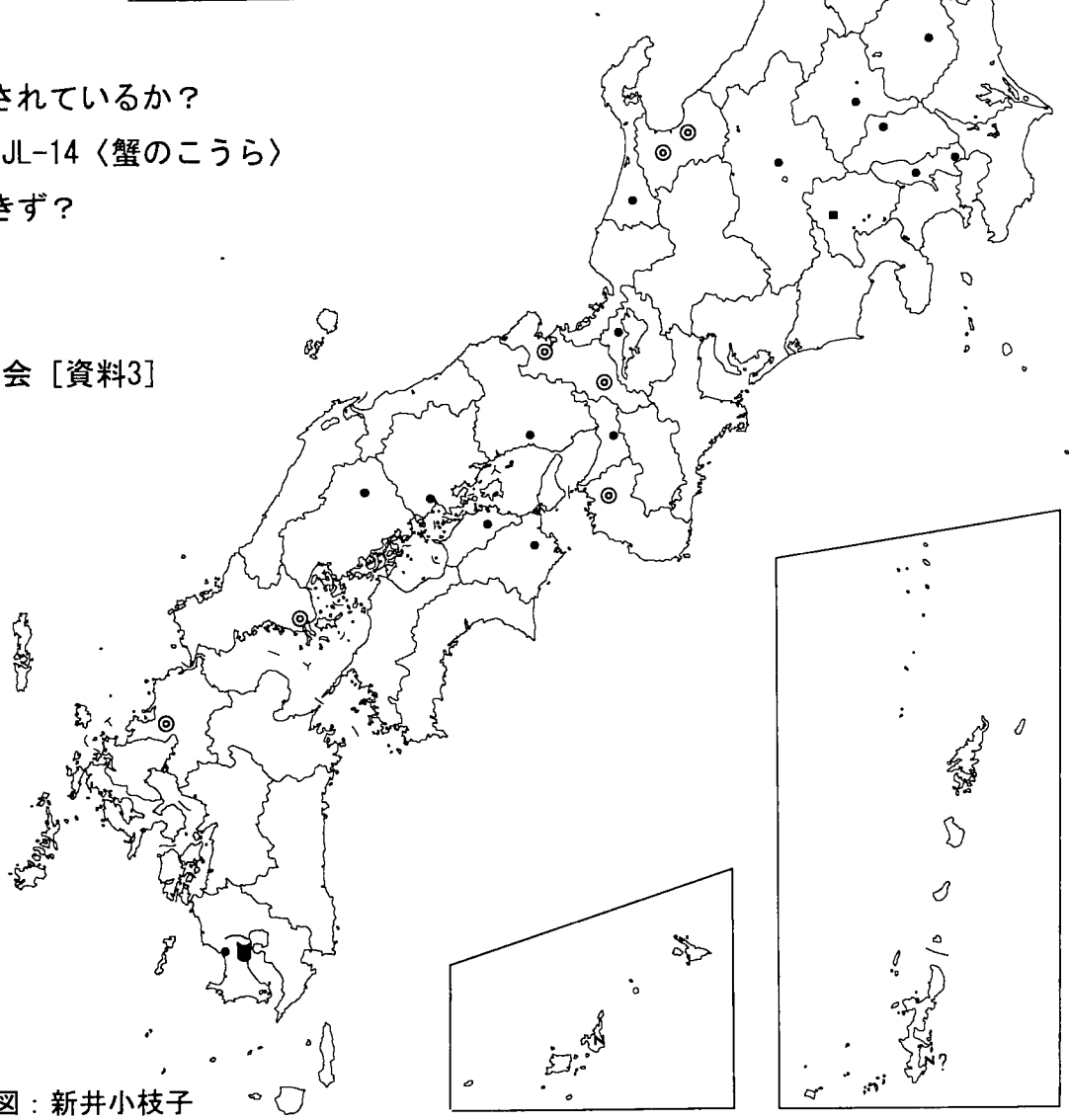
・ヘタ系の語で統一されているか？

・JL-13〈うろこ〉，JL-14〈蟹のこうら〉
　との関連を確認できず？
　確認できている？

・「なりくち」は？

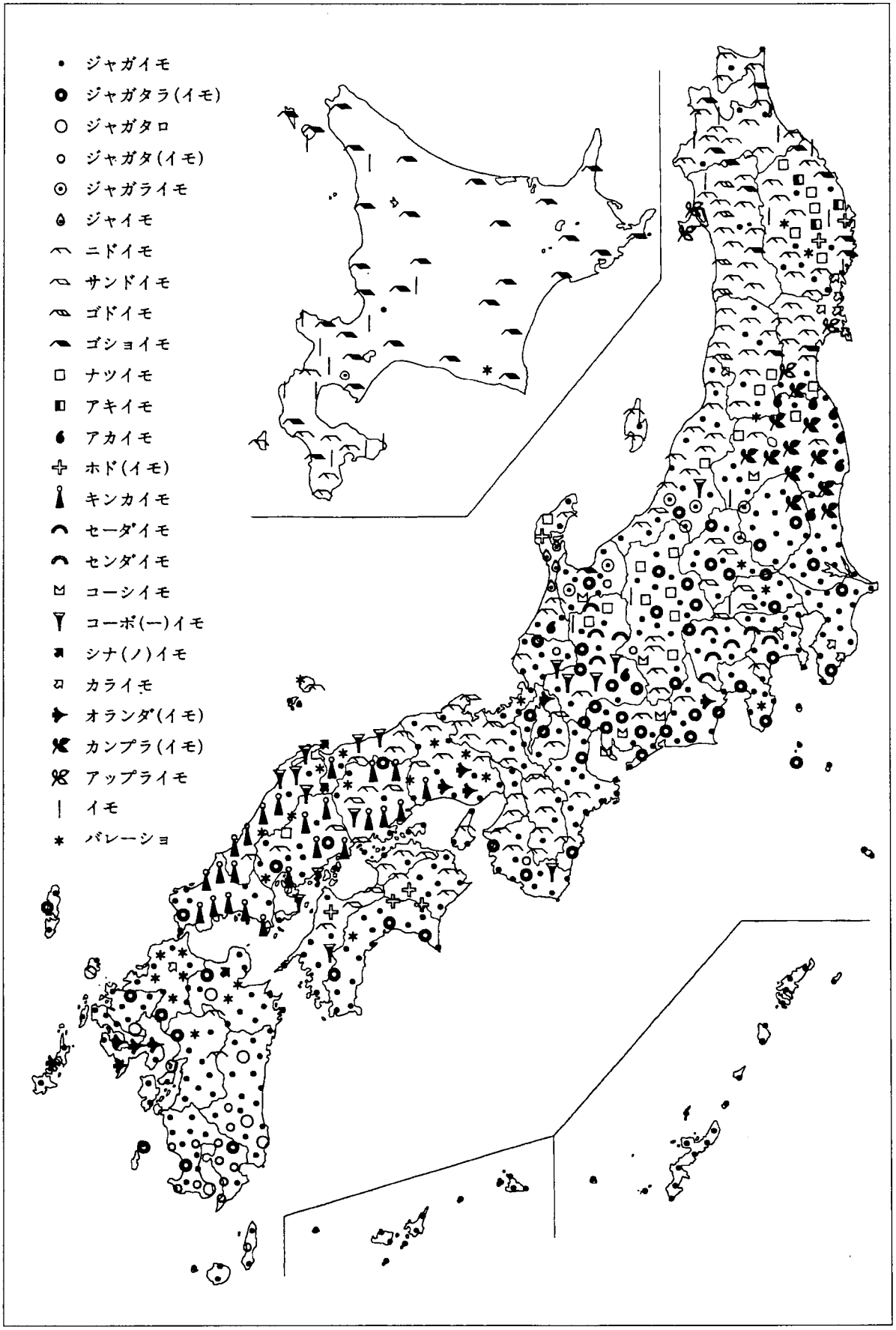
2009.1.11～12の委員会［資料3］

p.29 No.681（参）



作図：新井小枝子

ジャガいも（一芋）

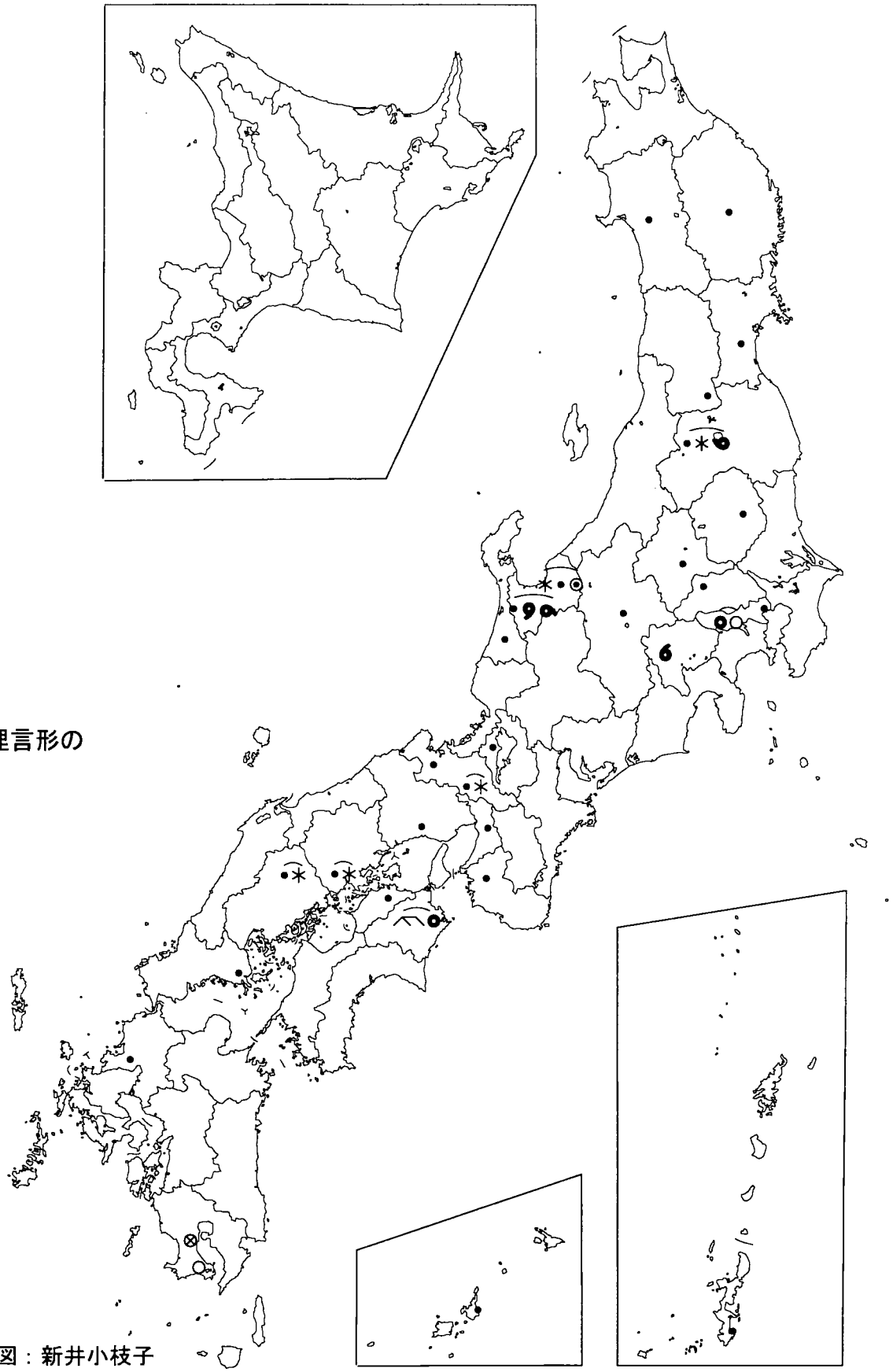

ジャガイモ
ジャガタラ(イモ)
ジャガタロ
ジャガタ(イモ)
ジャガライモ
ジャイモ
ニドイモ
サンドイモ
ゴドイモ
ゴショイモ
ナツイモ
アキイモ
アカイモ
ホド(イモ)
キンカイモ
セーダイモ
センダイモ
コーシイモ
コーボ(ー)イモ
シナ(ノ)イモ
カライモ
オランダ(イモ)
カンプラ(イモ)
アップライモ
イモ
バレーショ

JL-023　じゃがいも

- ジャガイモ
- ジャガタラ（イモ）
  - ○ジャガタ
  - ⊗ジャガタロ
- ジャガラ
- ニドイモ

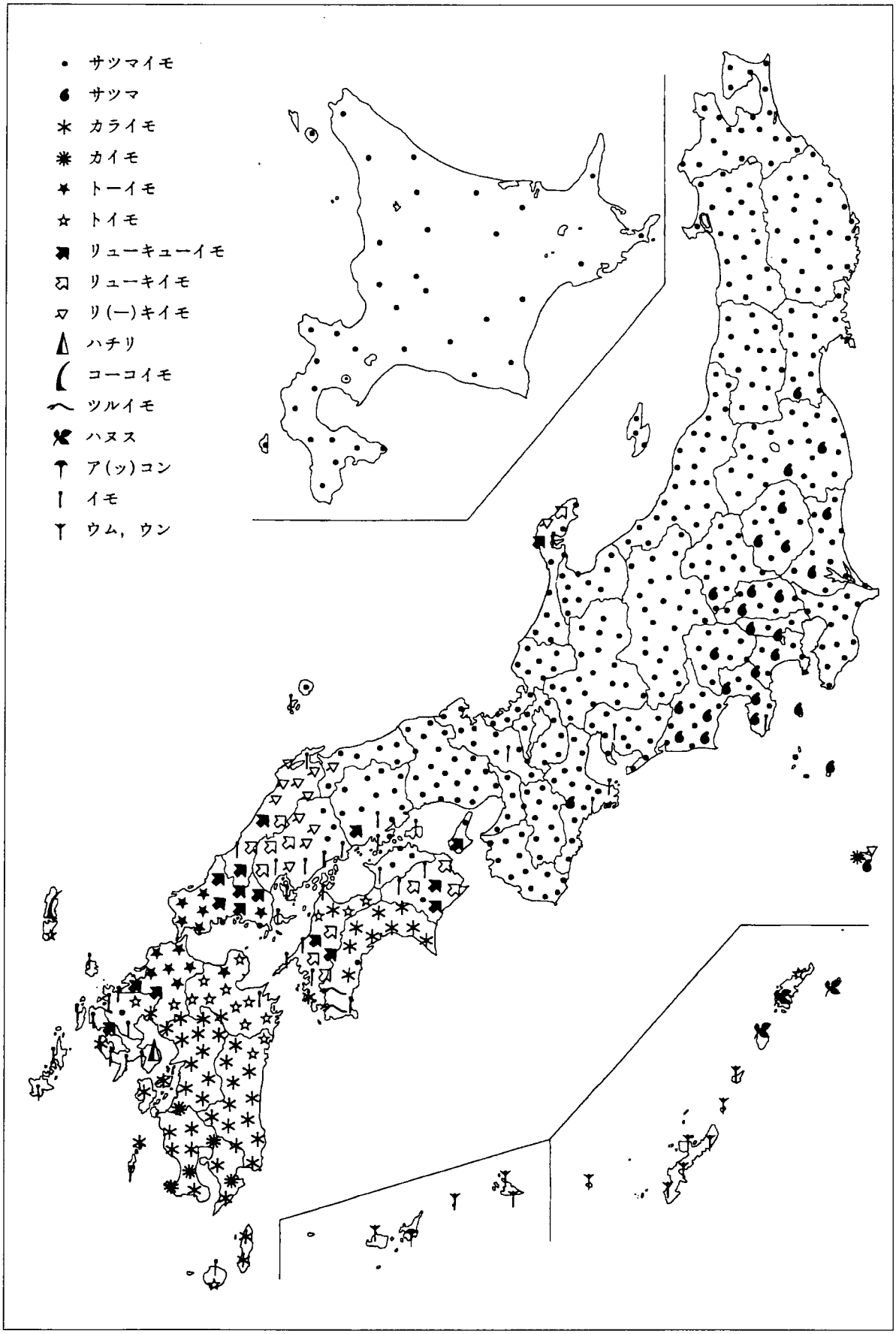
- カンプラ
- テンテコイモ
  - テンコロイモ
- ノトロ
- ＊ バレーショ

・ＬＡＪにみられる俚言形の
衰退が著しいか？
『方言の読本』p. 139



作図：新井小枝子

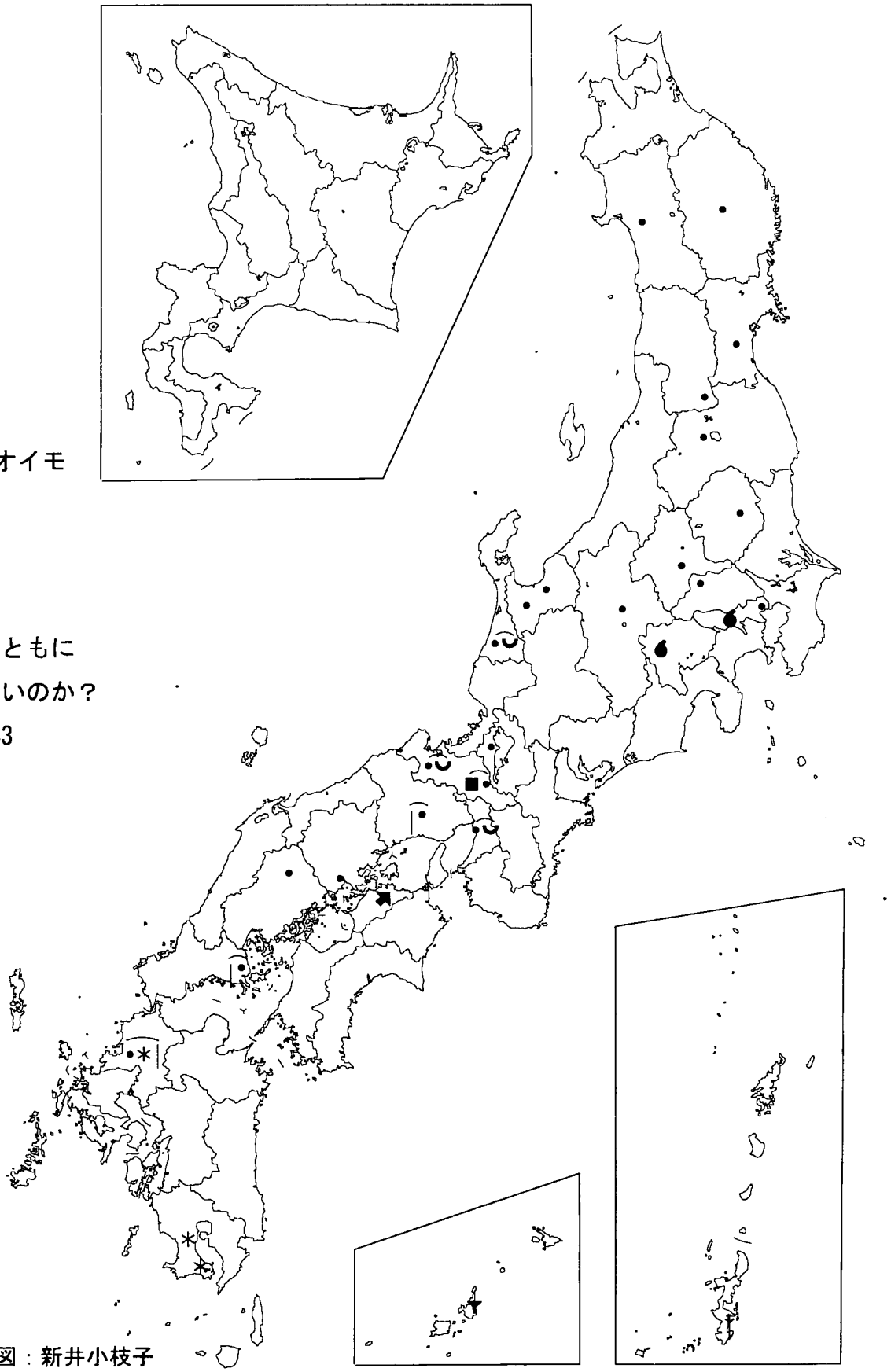
さつまいも（甘藷）


サツマイモ
サツマ
カライモ
カイモ
トーイモ
トイモ
リューキューイモ
リューキイモ
リ(ー)キイモ
ハチリ
コーコイモ
ツルイモ
ハヌス
ア(ッ)コン
イモ
ウム，ウン

JL-024　さつまいも

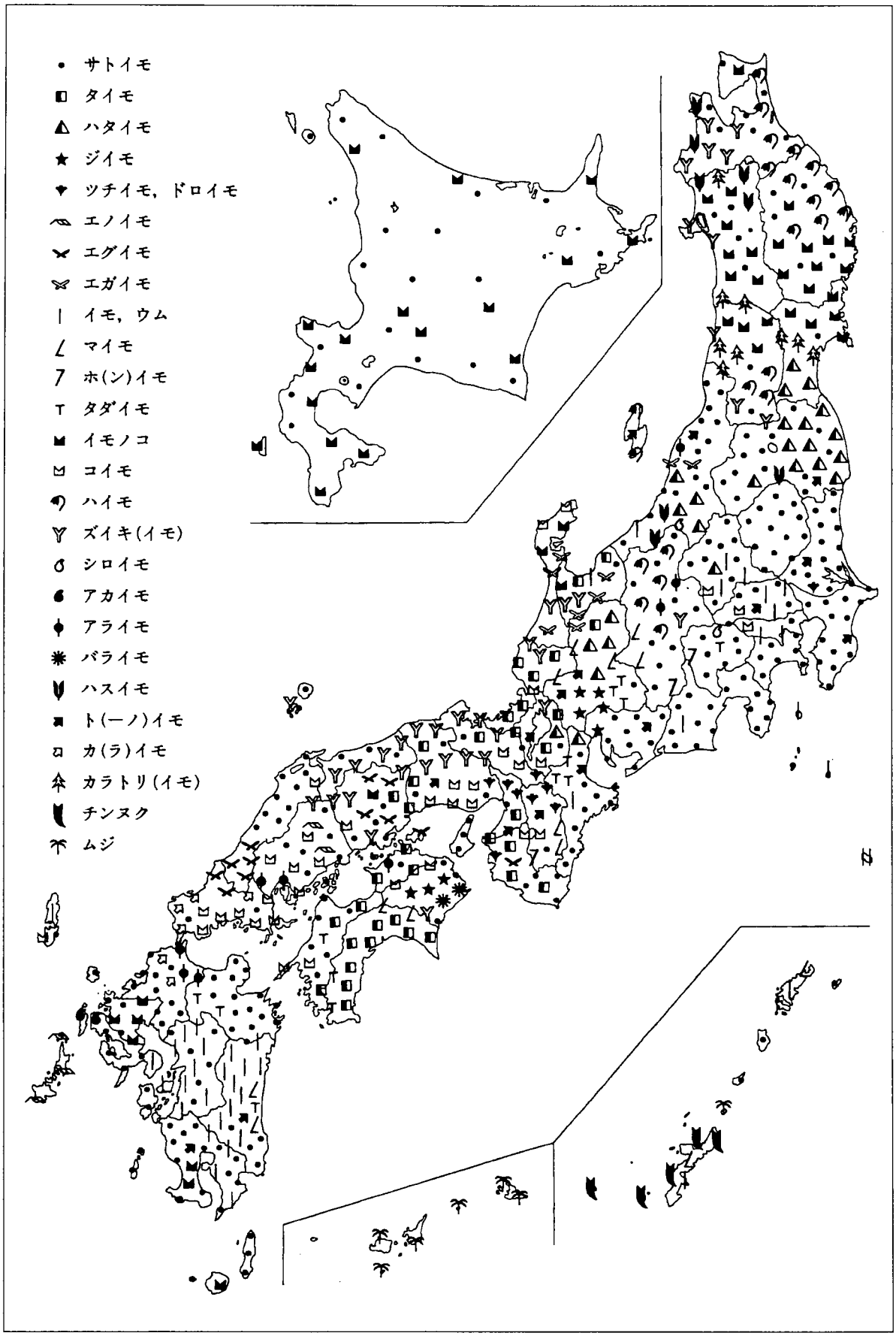
- • サツマイモ
- サツマ
- ＊ カライモ
- リューキイモ
- ウム
- イモ
- ■ オイモサン・オイモ
- アンガ
- カンショ

・分布の状況・語形ともに
ほとんど変化がないのか？
『方言の読本』p. 143

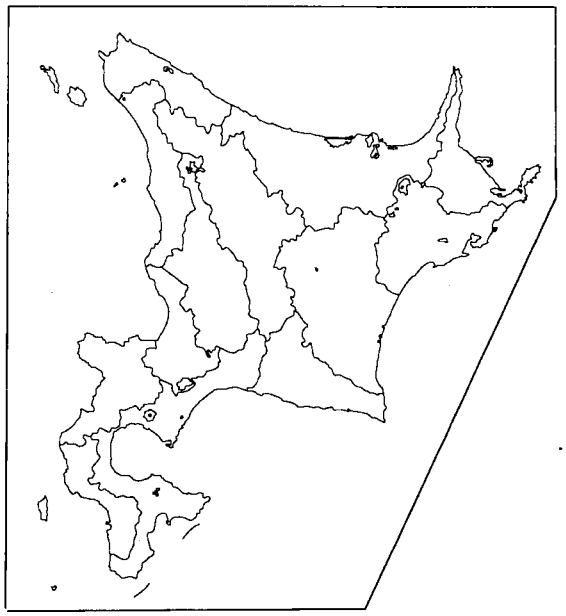


作図：新井小枝子

さといも（里芋）


サトイモ
タイモ
ハタイモ
ジイモ
ツチイモ，ドロイモ
エノイモ
エグイモ
エガイモ
イモ，ウム
マイモ
ホ(ン)イモ
タダイモ
イモノコ
コイモ
ハイモ
ズイキ(イモ)
シロイモ
アカイモ
アライモ
バライモ
ハスイモ
ト(ーノ)イモ
カ(ラ)イモ
カラトリ(イモ)
チンヌク
ムジ

JL-025　さといも



• サトイモ　　⊕ イモコ

◧ タイモ

◩ イモノコ　　◨ マゴイモ

⊠ コイモ・ホイモ

Y ズイキ（イモ）　★ジーモ

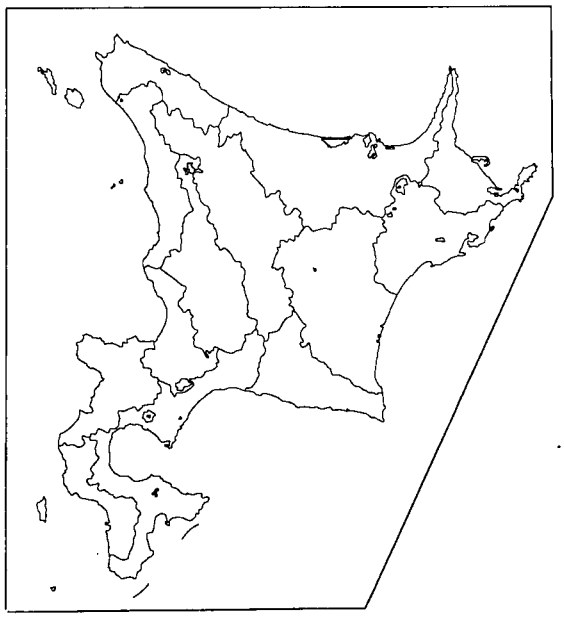
◖ チンヌク

⚘ ムジ

・分布の状況・語形ともに
　ほとんど変化がないのか？
『方言の読本』p. 141

作図：新井小枝子

JL-026　やまいも



- ヤマイモ
- タロイモ
- トロロ（イモ）　トロイモ
- ナガイモ　トロ
- ラクダイモ
- ダイゴンイモ
- トックリイモ
- ツクネイモ

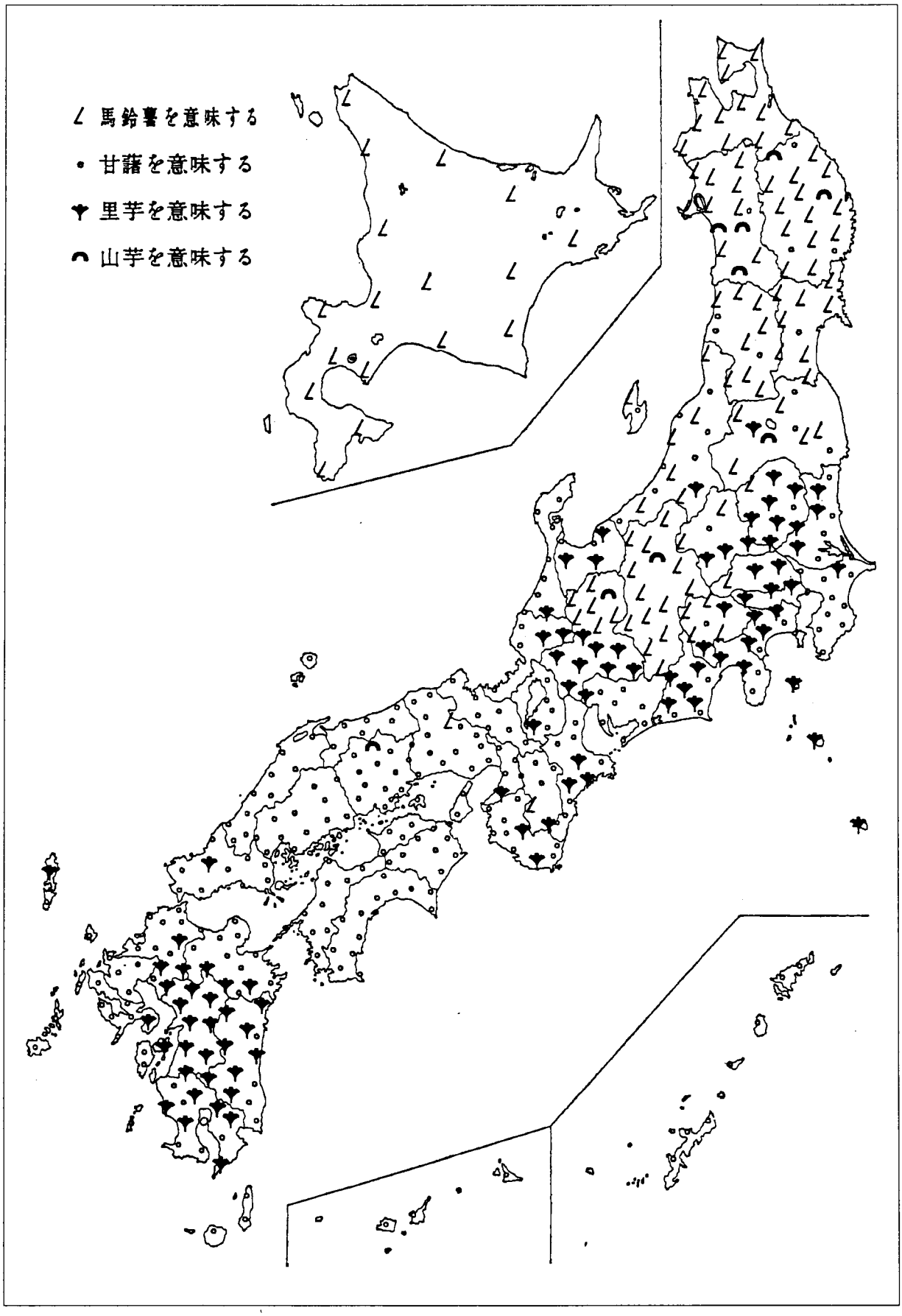
- ヤマウンム
- ウン

- ジネンジョ
- NR

・ヤマイモの分布域が
意外と広がりをもっていない？
共通語らしい分布の仕方を
している？

作図：新井小枝子

イモの意味

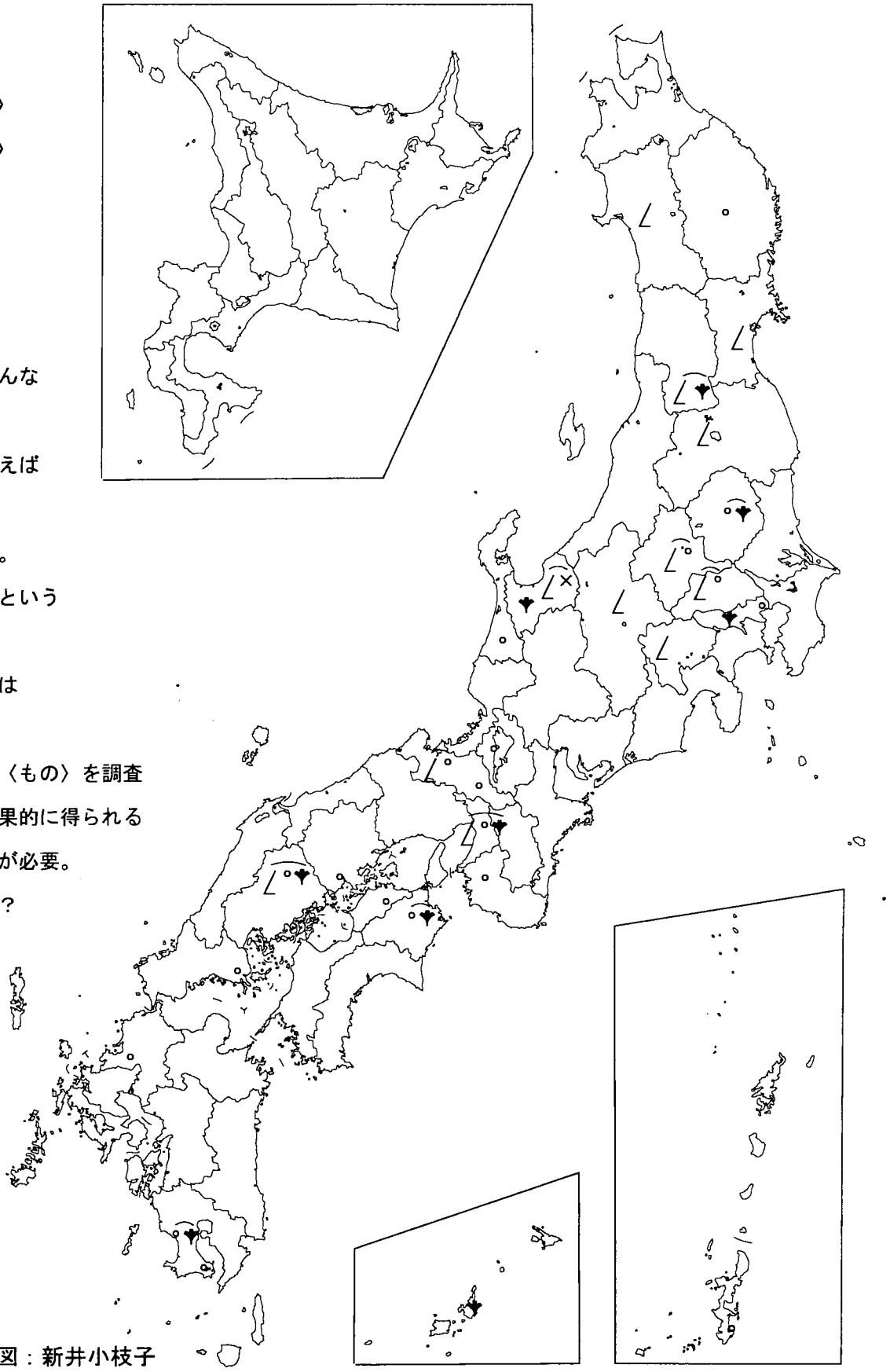


JL-027　イモの意味

∠〈じゃがいも〉
∘〈さつまいも〉
〈さといも〉
〈やまいも〉
×　その他

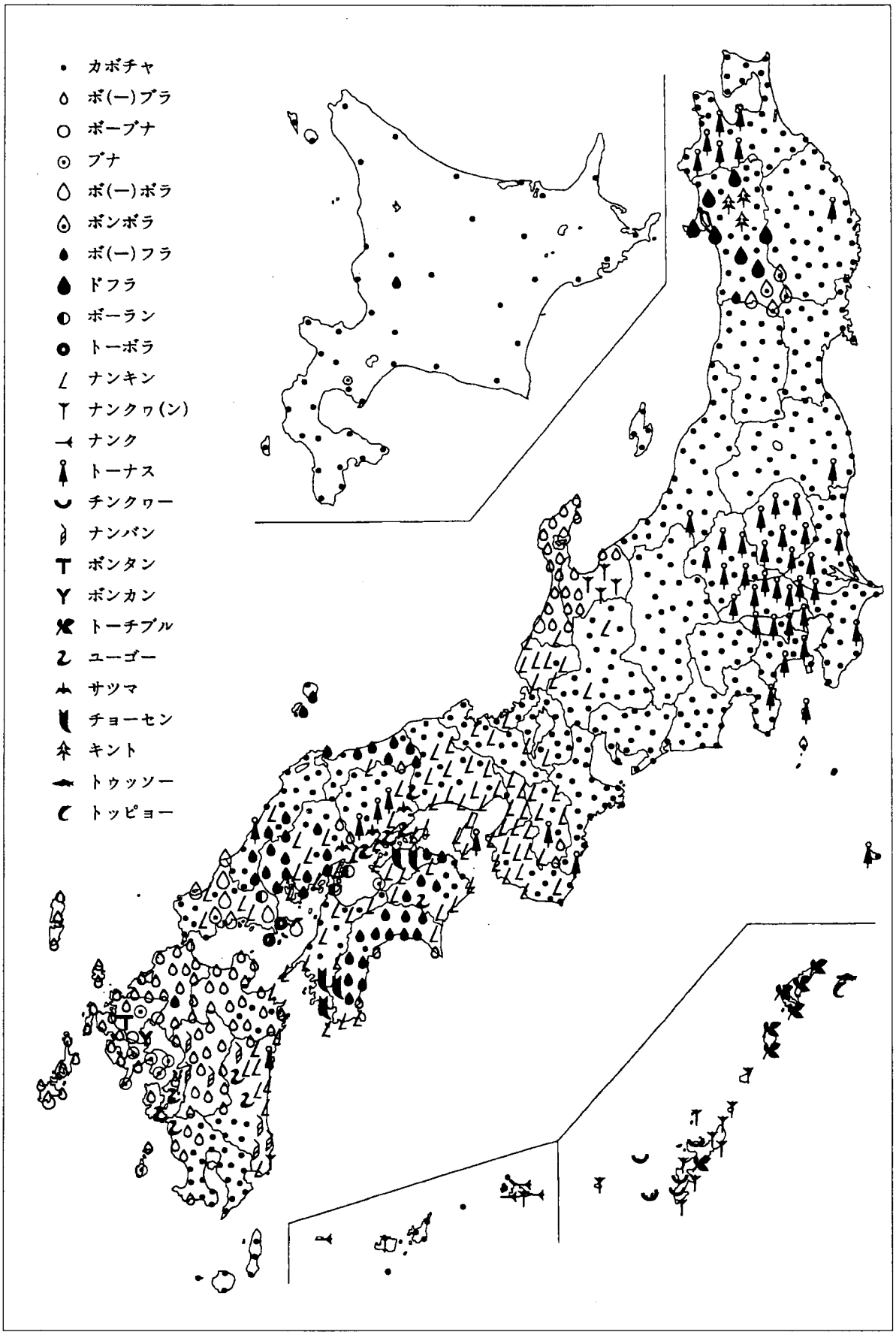
・イモと呼べるものにはどんなものがあるか。
その中で，「イモ」といえば何か？
・〈さつまいも〉は西日本。
〈じゃがいも〉は東日本という傾向は認められるか？
・〈さといも〉の分布変化はあり？　なし？
・イモが指示する典型的な〈もの〉を調査する項目ゆえ，それが効果的に得られるような調査環境と調査文が必要。
→分布図はえがきにくい？
記述調査へ

『日本の方言地図』p. 73



作図：新井小枝子

カボチャ（南瓜）


カボチャ
ボ(ー)ブラ
ボーブナ
ブナ
ボ(ー)ボラ
ボンボラ
ボ(ー)フラ
ドフラ
ボーラン
トーボラ
ナンキン
ナンクヮ(ン)
ナンク
トーナス
チンクヮー
ナンバン
ボンタン
ボンカン
トーチブル
ユーゴー
サツマ
チョーセン
キント
トゥッソー
トッピョー

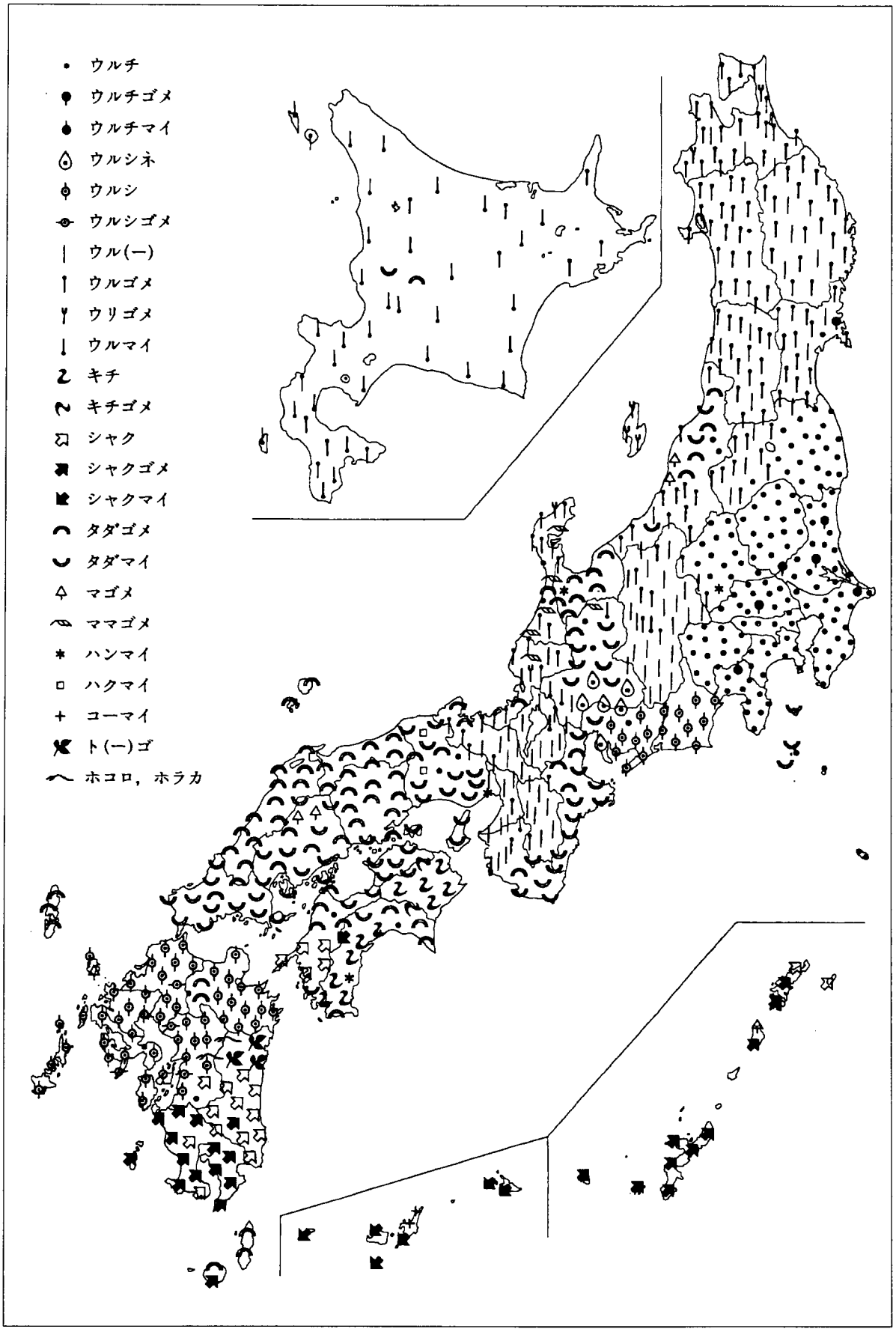
JL-029　かぼちゃ

・JL-005〈ぼうふら〉は関連項目。
・ＬＡＪ時代と比較して変化が小さいようにみえるが…。
・秋田のドブラ，キントはどこへ？
　中国，四国のボーフラはどこへ？

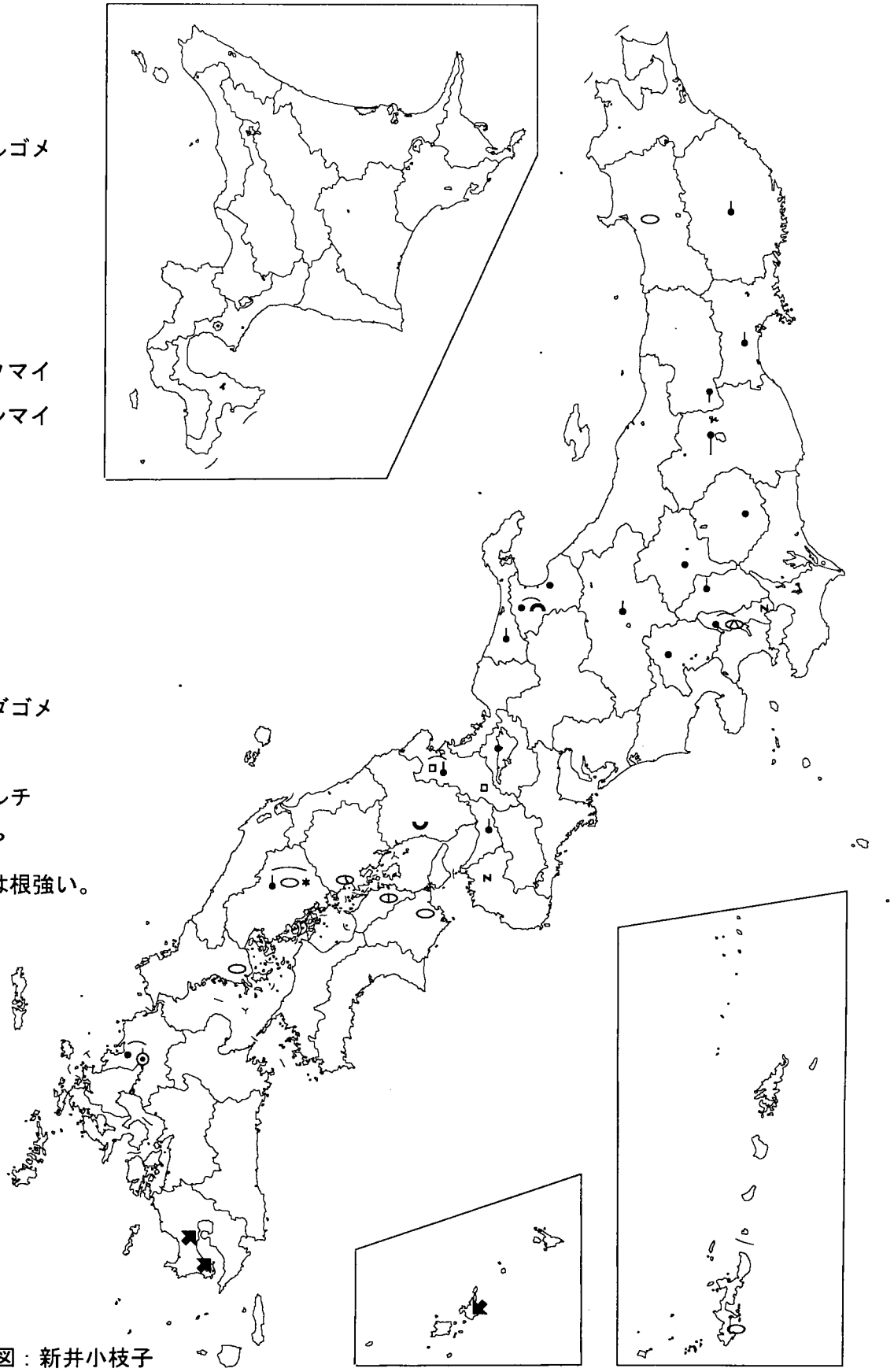
『方言の読本』p. 145

作図：新井小枝子

うるち（粳）


ウルチ
ウルチゴメ
ウルチマイ
ウルシネ
ウルシ
ウルシゴメ
ウル(ー)
ウルゴメ
ウリゴメ
ウルマイ
キチ
キチゴメ
シャク
シャクゴメ
シャクマイ
タダゴメ
タダマイ
マゴメ
ママゴメ
ハンマイ
ハクマイ
コーマイ
ト(ー)ゴ
ホコロ，ホラカ

JL-030　うるち



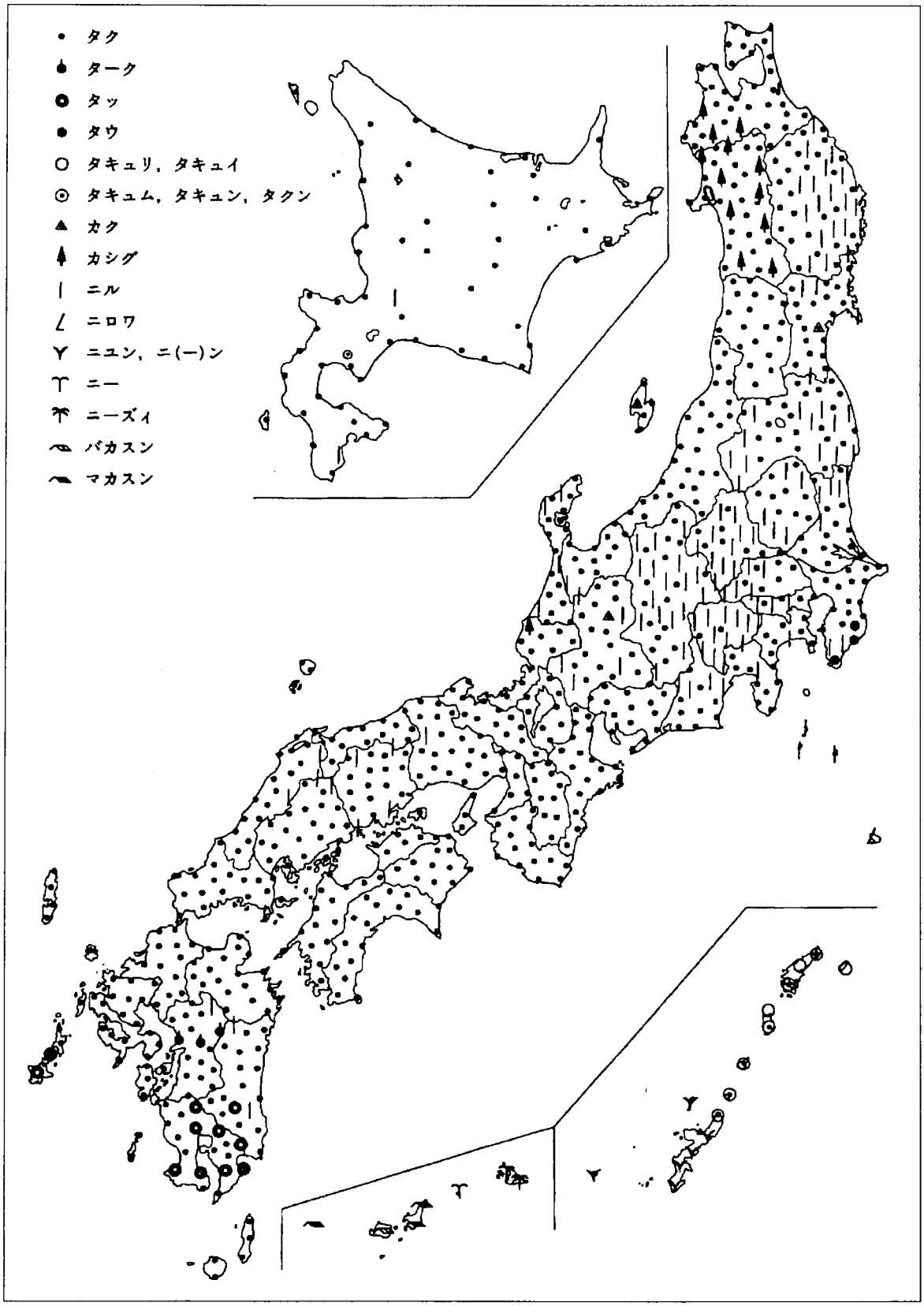
・中国，四国地域のタダゴメ
　タダマイがコメに？
・関東，中部地域のウルチ
　の影響力は大きいか？
・南九州のシャッゴメは根強い。

『方言の読本』p. 147

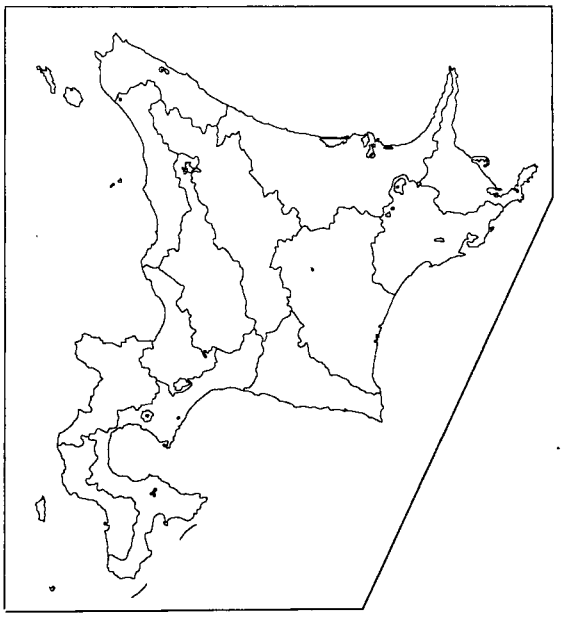
作図：新井小枝子

204

たく（炊）


タク
ターク
タッ
タウ
タキュリ，タキュイ
タキュム，タキュン，タクン
カク
カシグ
ニル
ニロワ
ニユン，ニ(ー)ン
ニー
ニーズィ
バカスン
マカスン

JL-031　たく



• タク　　⊙ タッ

| ニル　　Y ニユン

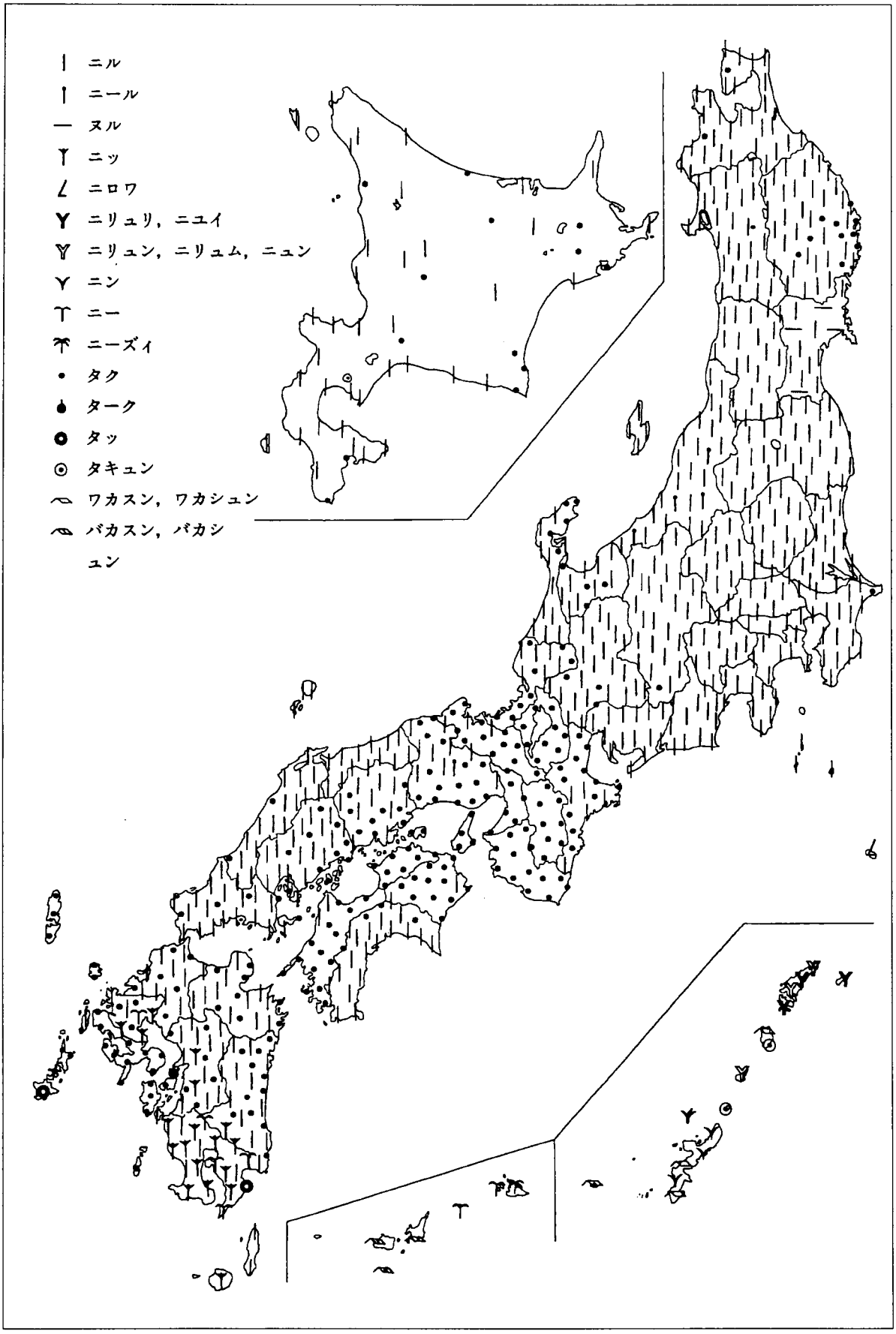
♥ イーユバガフン

・ニルの地域縮小傾向。

平山『日本の方言』p. 109

作図：新井小枝子

にる（煮）


ニル
ニール
ヌル
ニッ
ニロワ
ニリュリ，ニユイ
ニリュン，ニリュム，ニュン
ニン
ニー
ニーズィ
タク
タック
タッ
タキュン
ワカスン，ワカシュン
バカスン，バカシュン

JL-032　にる

| ニル　　† ニッ　　■ ネースン

Y ニユン

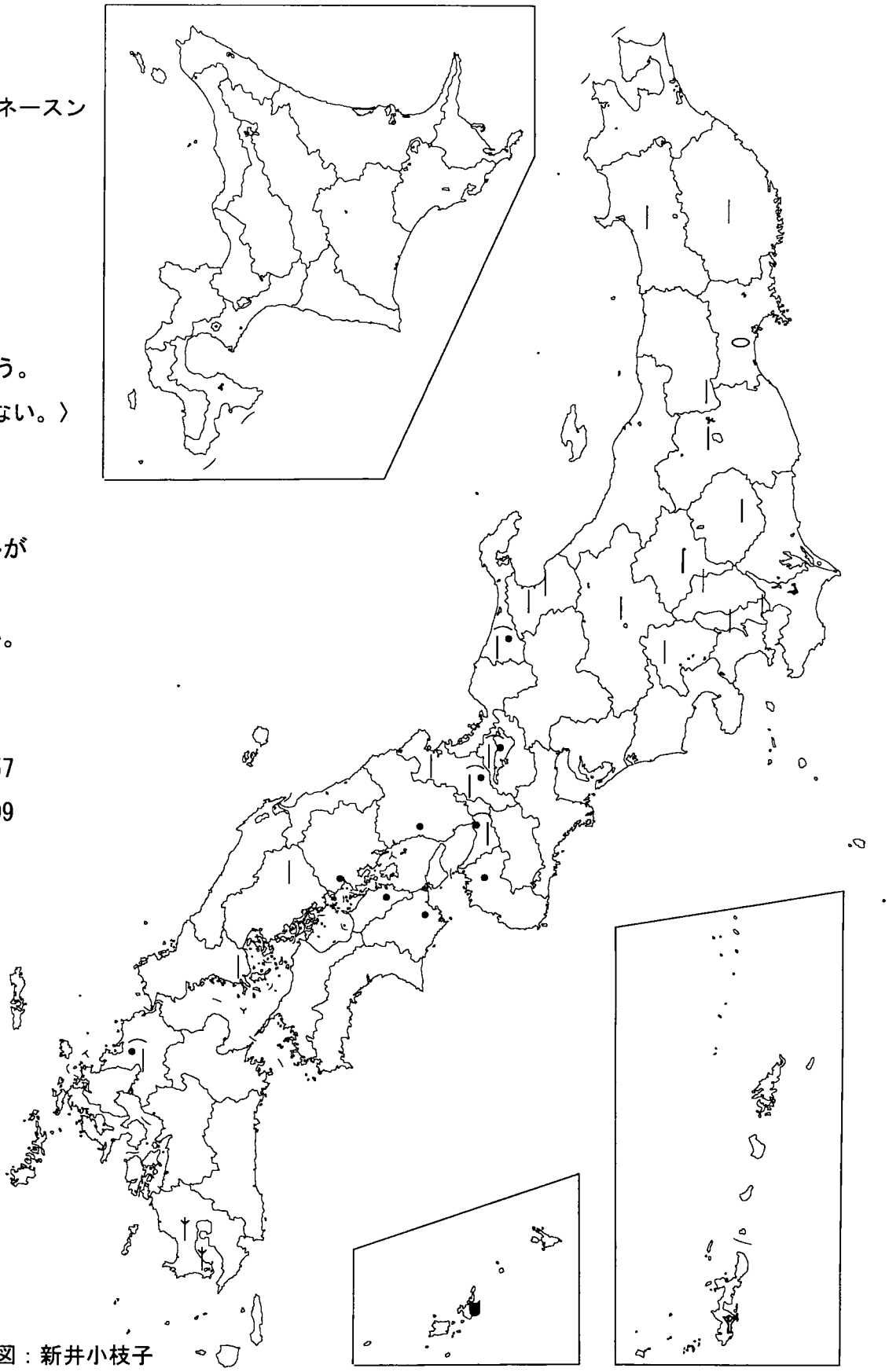
• タク

○ ニツケ
　ニツケニスル

〈水からniruとは言う。
ニルはあまり使わない。〉

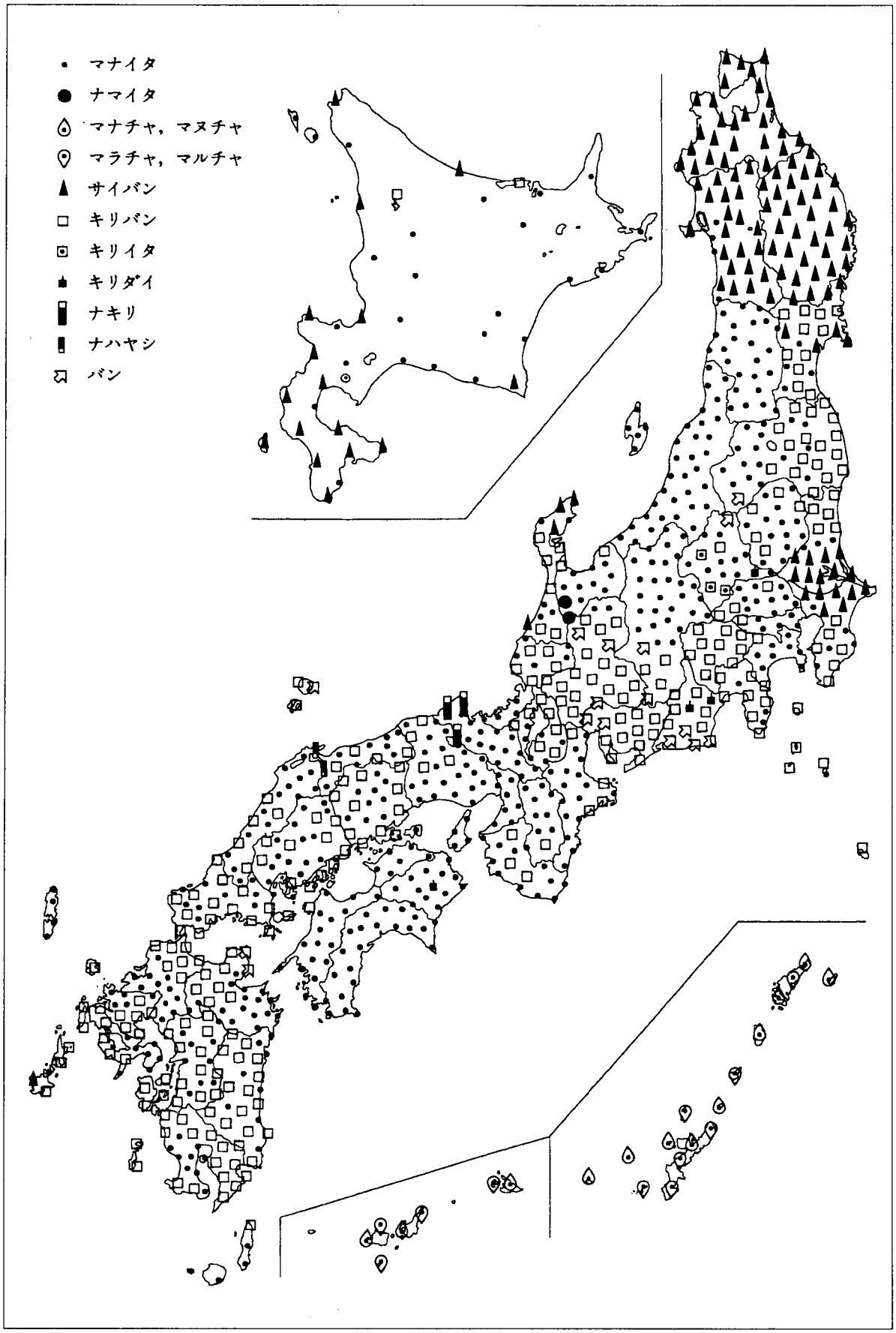
・近畿地域にもニルが
使用される。
・記述調査も必要か。
ex. 仙台の例。

『方言の読本』p. 157
『日本の方言』p. 109



作図：新井小枝子

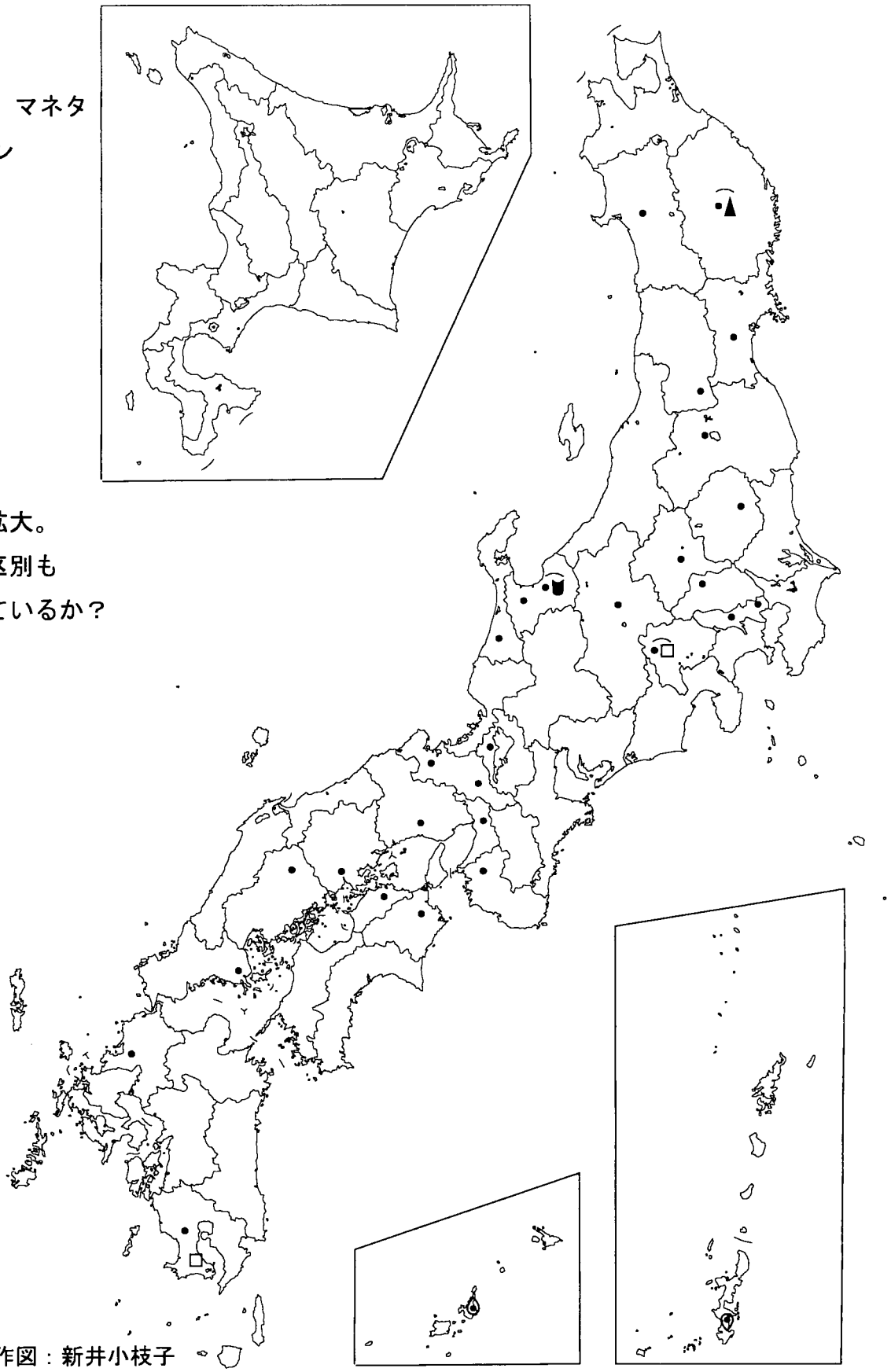
まないた（真魚板）



JL-033　まないた

- ● マナイタ，マナエダ，マネタ
- ▲ サイバン，シャーバン
- □ キリバン
- ⊙ マルチャ
- ◎ マニッツァ
- ■ ナマグ

・マナイタの勢力拡大。
・魚用，野菜用の区別も
　みられなくなっているか？

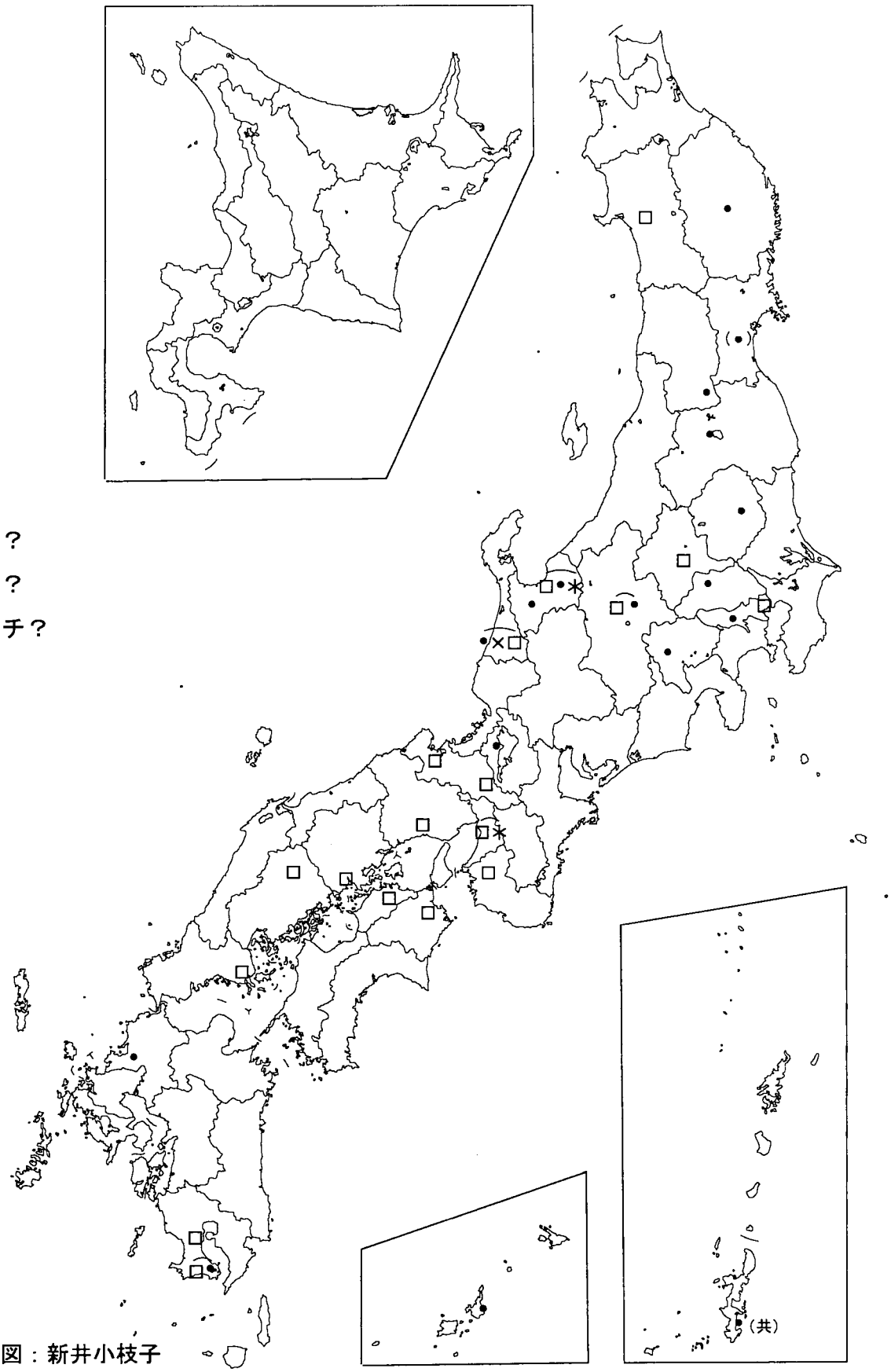


作図：新井小枝子

JL-035　ひきにく

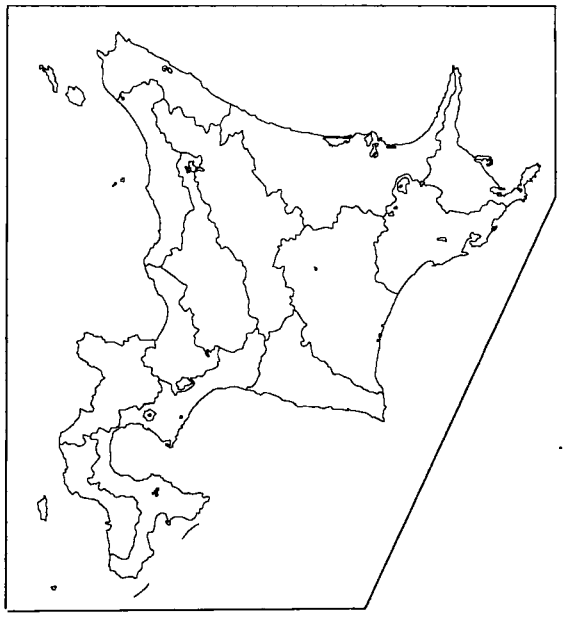
• ヒキニク
□ ミンチ
× コマギレ
＊ アイビキ

・ミンチは西の語形？
・ヒキニクが共通語？
　しかし東京はミンチ？
　群馬にもミンチ？
・新しい変化とは？
　何を読み込むか。



作図：新井小枝子

JL-068　いろり



- ● イロリ
- ○ イロバタ
- △ ロバタ
- ▲ ロ
- ヒジロ
- ジール
- エンナカ
- N NR

・〈いろり〉の有・無はＡＢＡ分布？

・イロリの分布域が広く，全国的に変化がないようにみえる。多様性に富んだ語形の分布を確認するのであれば，部分名称を調査する必要があるか？

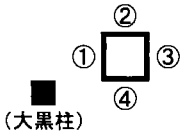
→重点調査による体系記述にまわす？

ある

ない

ある

作図：新井小枝子



（群馬）①ヨコザ／②キジリ オカミサンザシキ ヘヤノザ／③×／④キャクザ　②に名称が多い。

JL-069　かまど

069-a

• カマド　　∘カマ

□ クド

▨ オクドサン

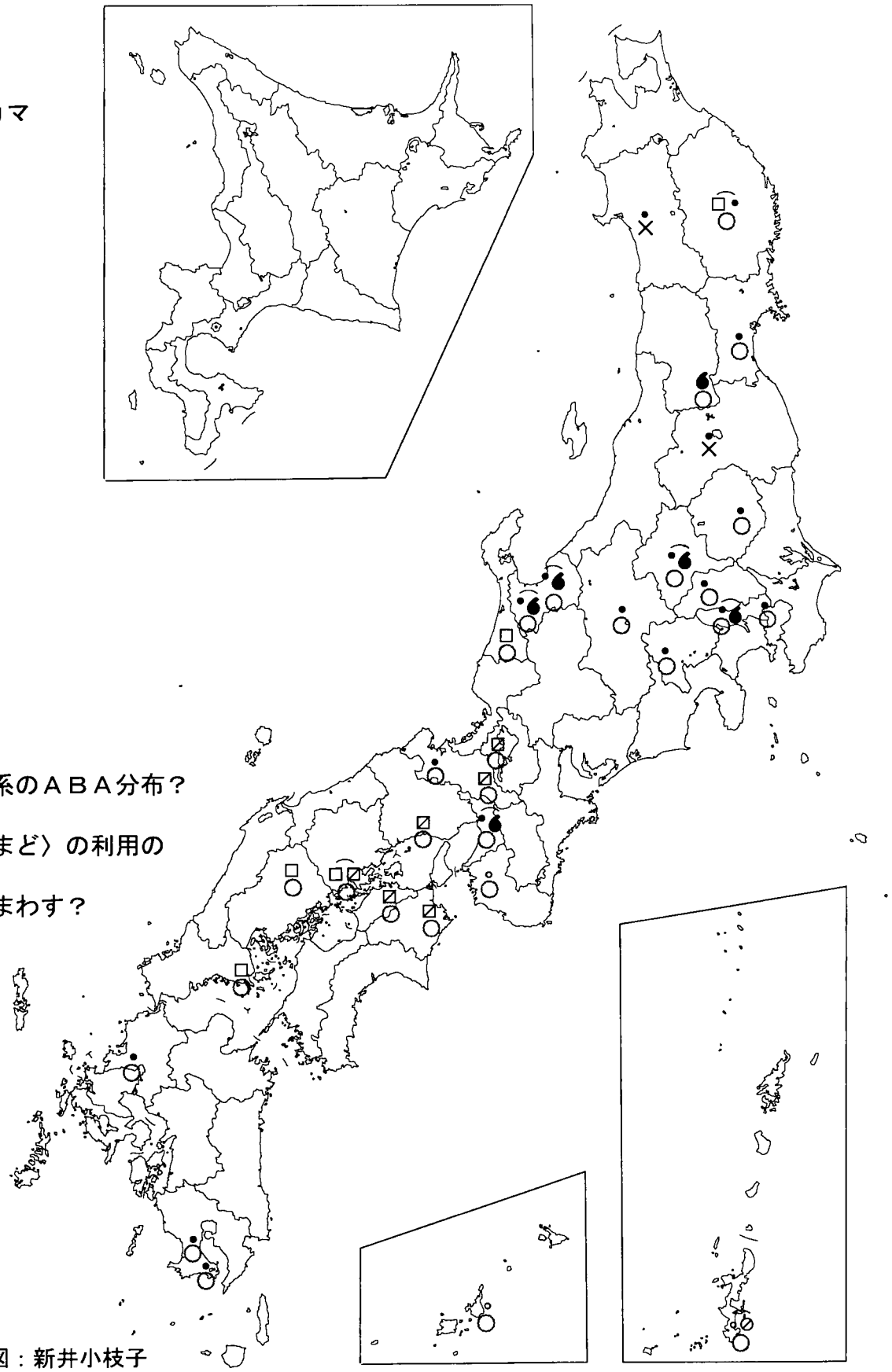
● ヘッツイ

⊘ ンーチャガマ

069-b

○ あった

× なかった

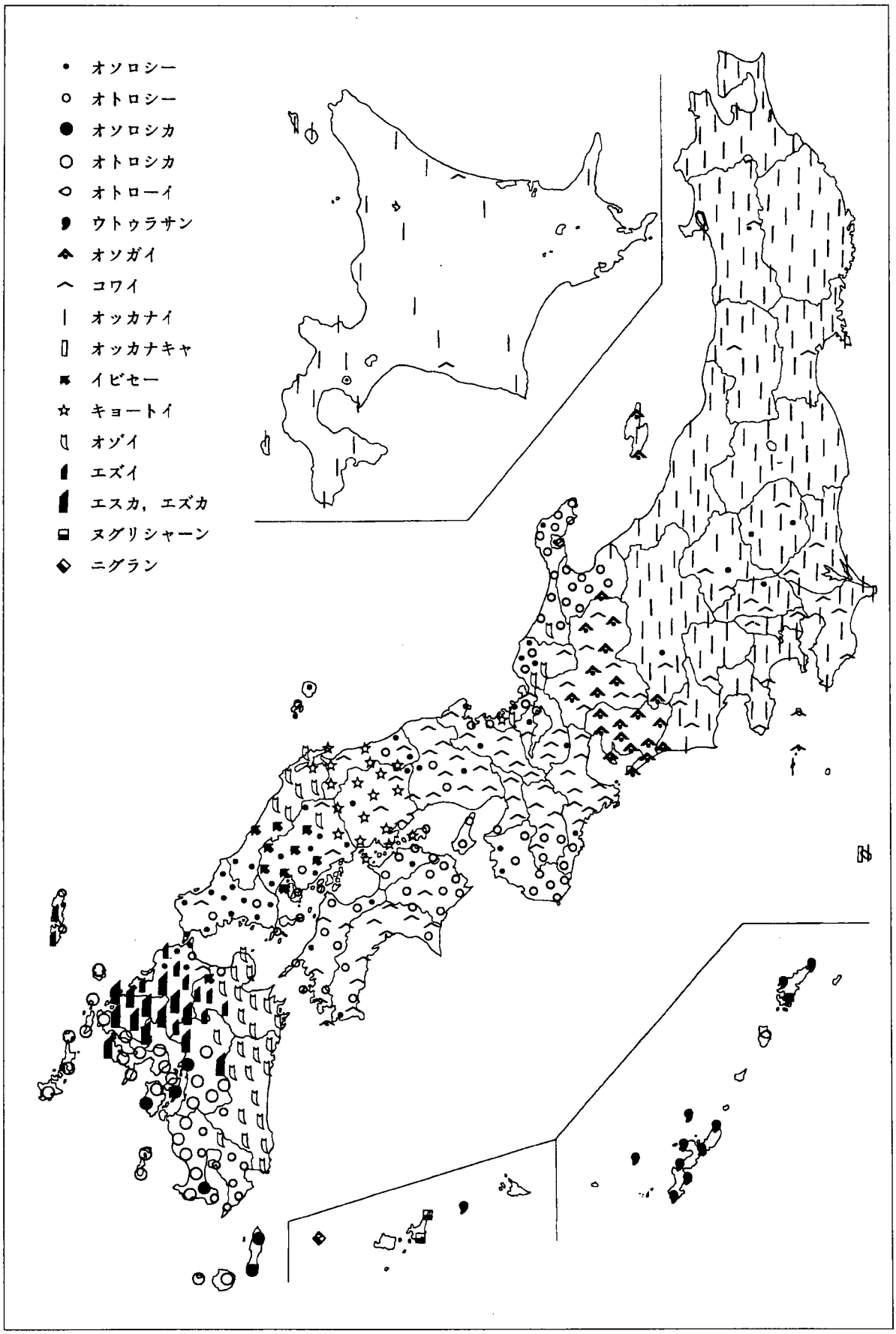


・カマド系，クド系のＡＢＡ分布？
　ヘッツイは？
・〈いろり〉〈かまど〉の利用の
　区別は？
　　→詳細調査へまわす？

作図：新井小枝子

113

おそろしい（恐）


オソロシー
オトロシー
オソロシカ
オトロシカ
オトローイ
ウトゥラサン
オソガイ
コワイ
オッカナイ
オッカナキャ
イビセー
キョートイ
オゾイ
エズイ
エスカ，エズカ
ヌグリシャーン
ニグラン

JL-085　おそろしい

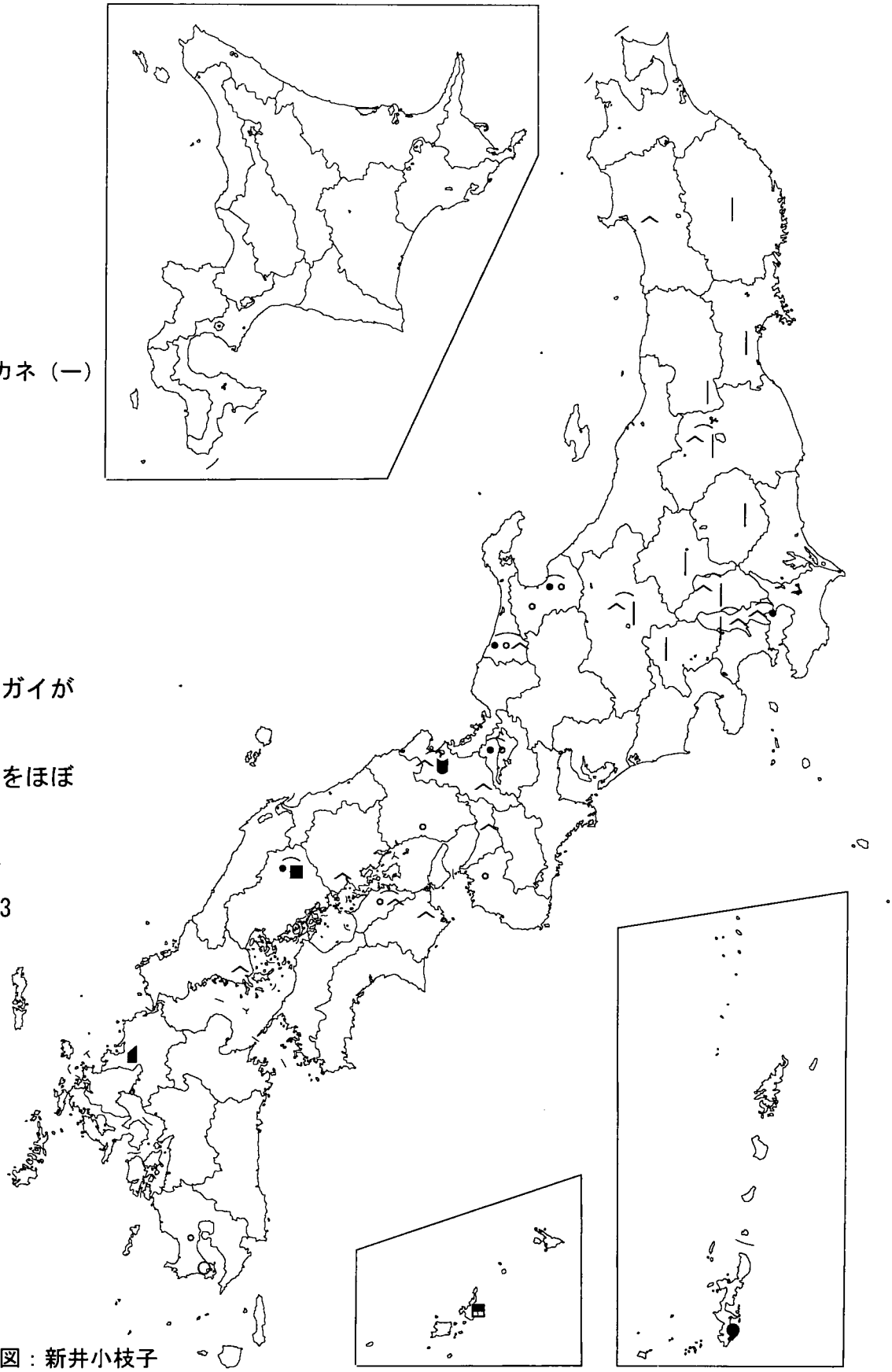
• オソロシー
◦ オトロシー
○ オドロシカ

ウトゥラサン
へ コワイ，コエ（ー）
| オッカナイ，オッカネ（ー）

ビックリスル
■ イビセー
エズカッタ
ヌグシャン

・岐阜，愛知のオソガイが気になるところ。
・ＬＡＪ時代の分布をほぼとどめているか。

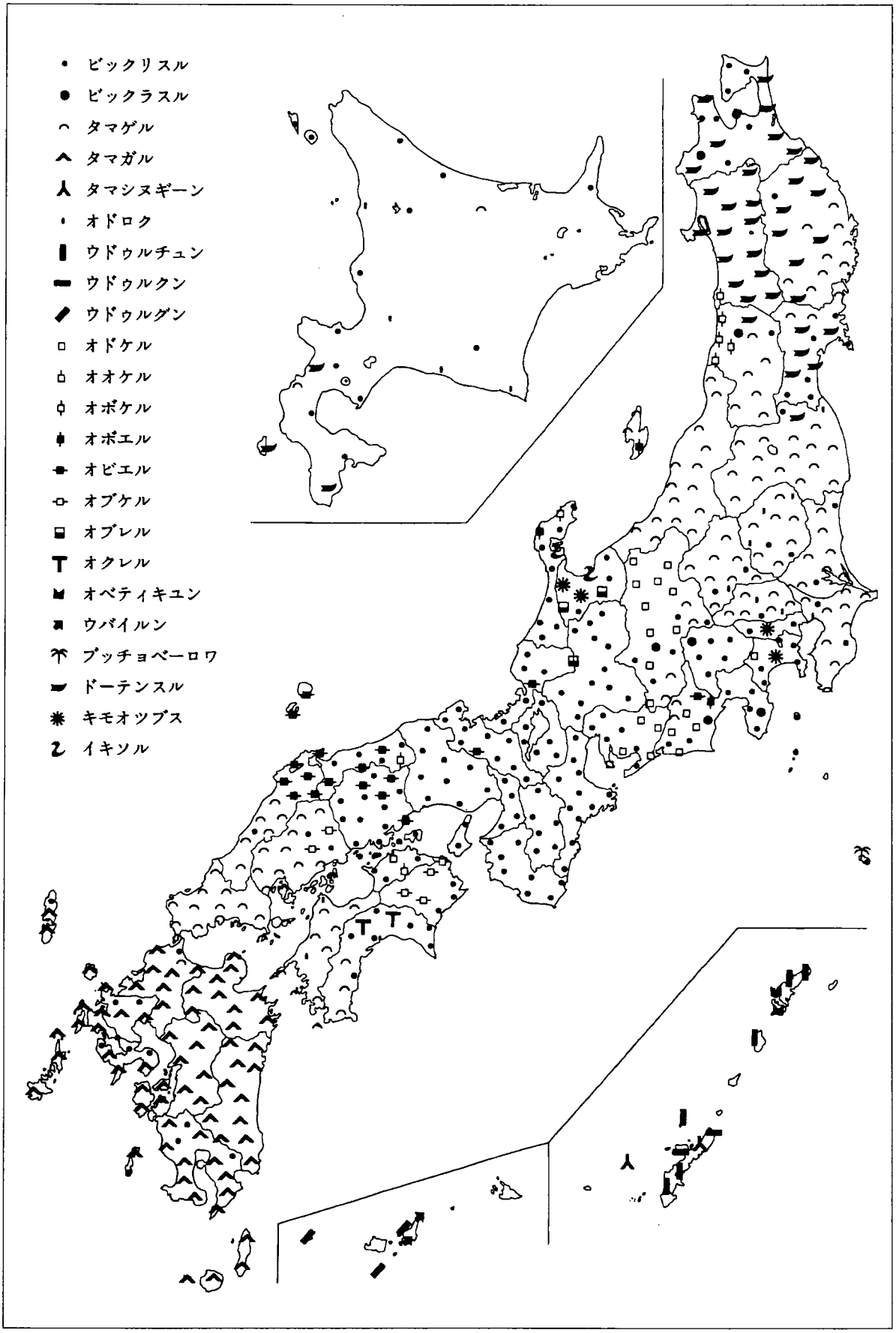
『方言の読本』p. 103



作図：新井小枝子

111

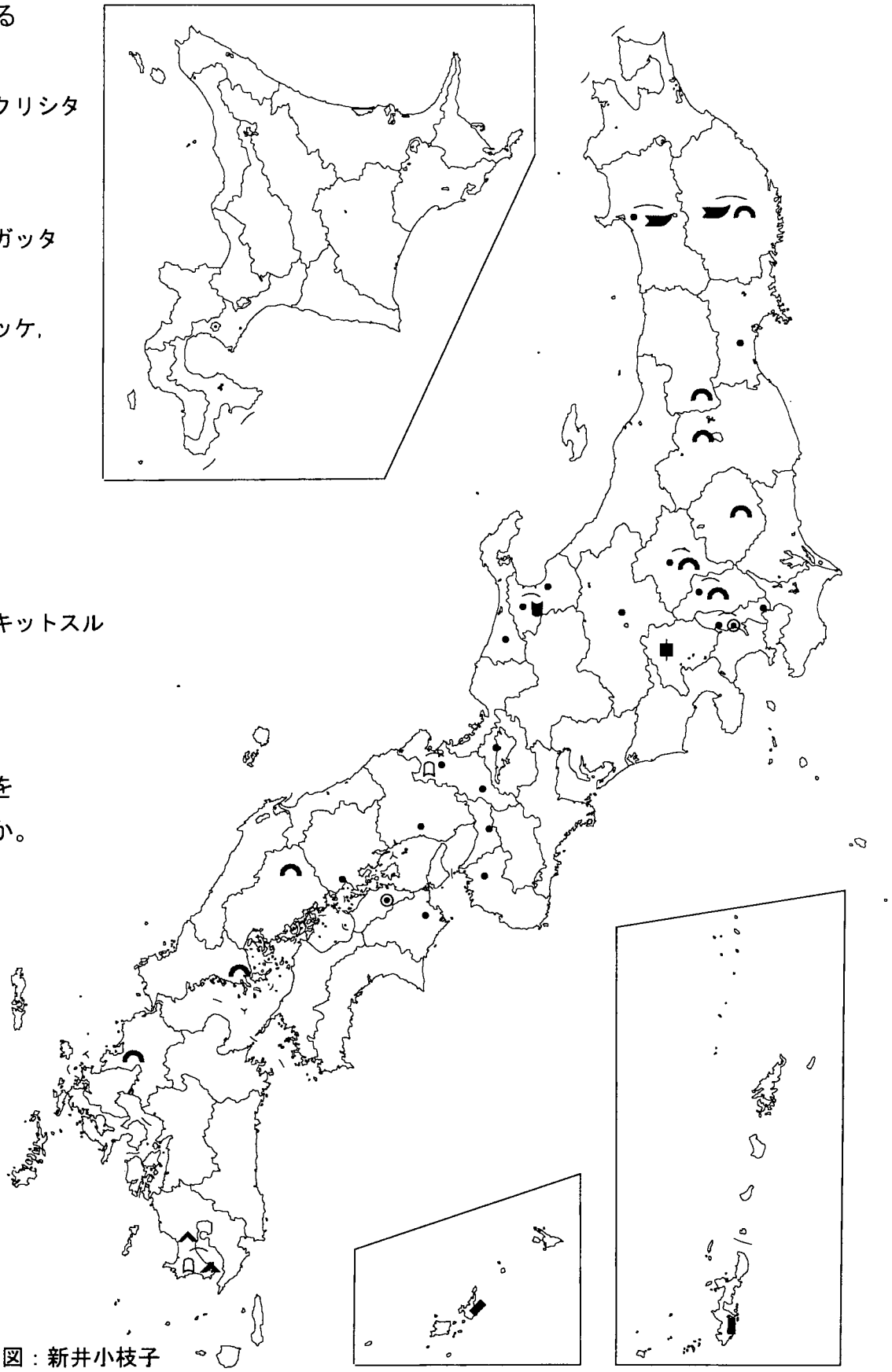
びっくりする


ビックリスル
ビックラスル
タマゲル
タマガル
タマシヌギーン
オドロク
ウドゥルチュン
ウドゥルクン
ウドゥルグン
オドケル
オオケル
オボケル
オボエル
オビエル
オブケル
オブレル
オクレル
オベティキユン
ウバイルン
ブッチョベーロワ
ドーテンスル
キモオツブス
イキソル

JL-086　びっくりする

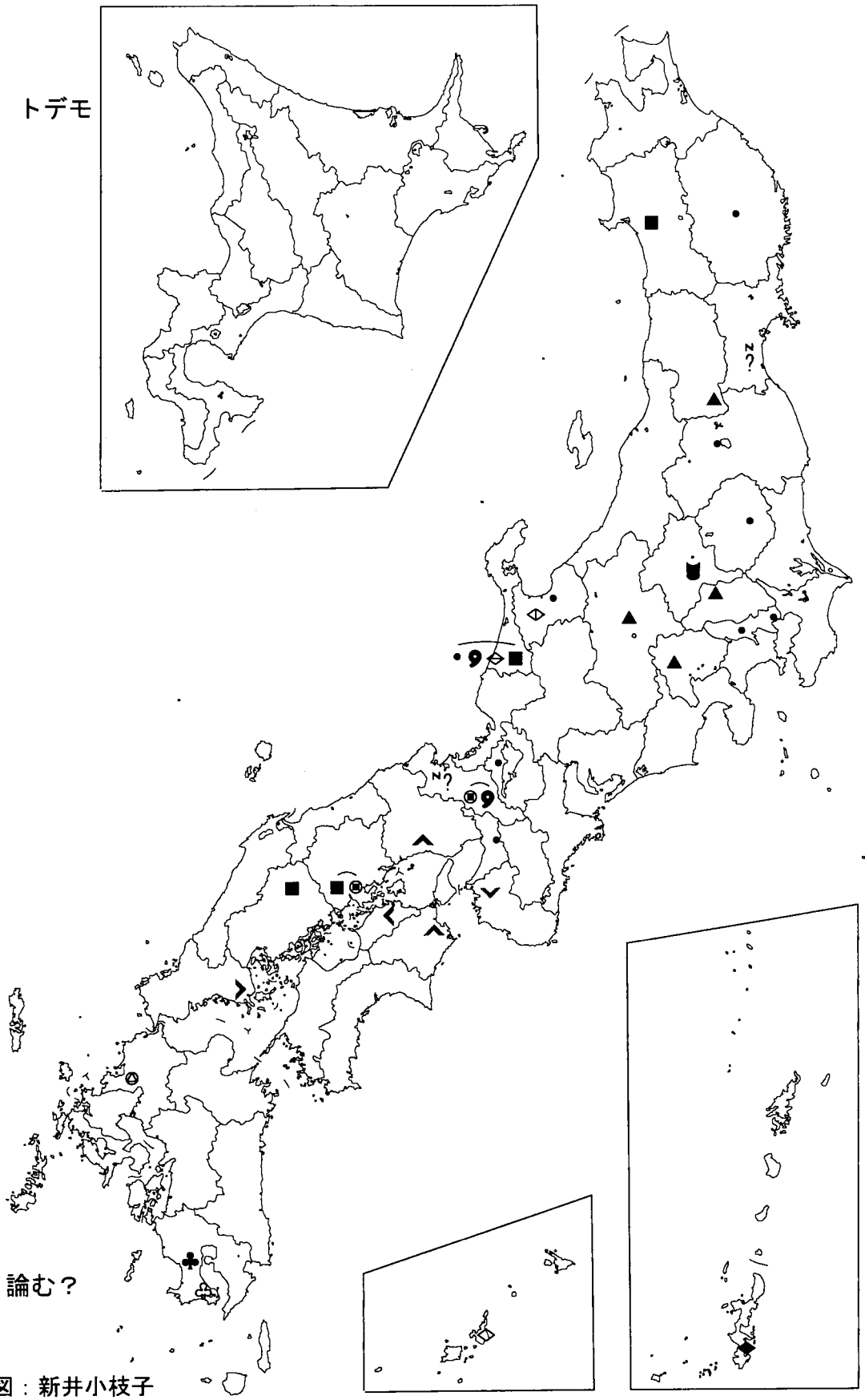
- ビックリスル，ビックリシタ
- ビックリコク
- タマゲル
- タマガル，タマガッタ
- オドロク
- オボエル，オベータッケ，オベータ
- ウドゥラチュン
- ウドゥルグン
- ドデンスル
- イクソッタ
- ドキッチュスッ，ドキットスル

・オドケルはどこへ。
・ＬＡＪ時代の分布をほぼとどめているか。



作図：新井小枝子

JL-087-a　とても



・語形の多様性が顕著？
・トテモ系は東日本に広がりのある語形？
・新たな変化は，何を目論む？

作図：新井小枝子

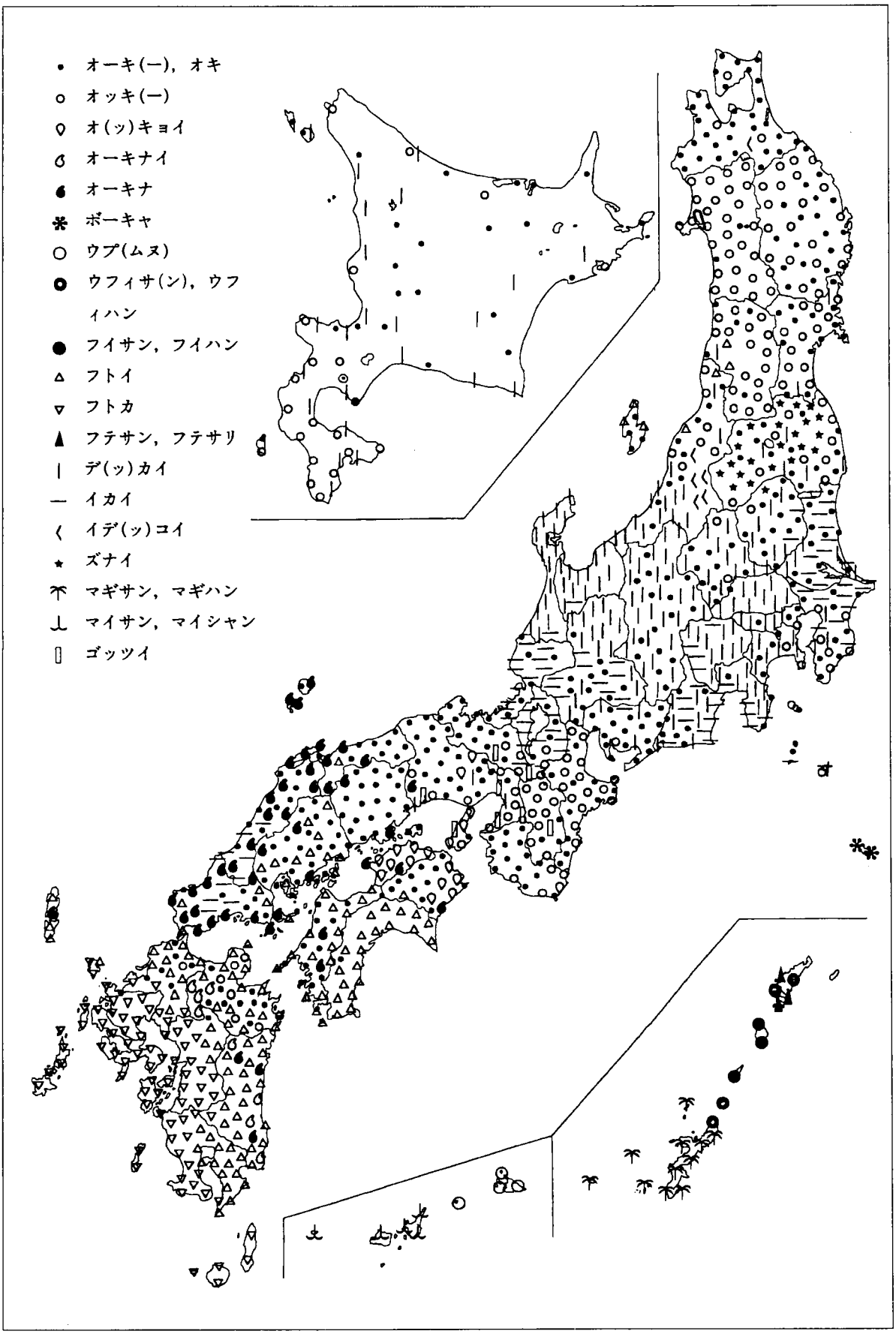
JL-088-a　ぜんぜん

・「〈全然〉おもしろくない」
　だけでよいか？
・「〈全然〉べき」とか
　「〈全然〉だいじょうぶ」との
　違いはどうか？
・造語の発想の仕方に目をむけると
　分布域が面になる？

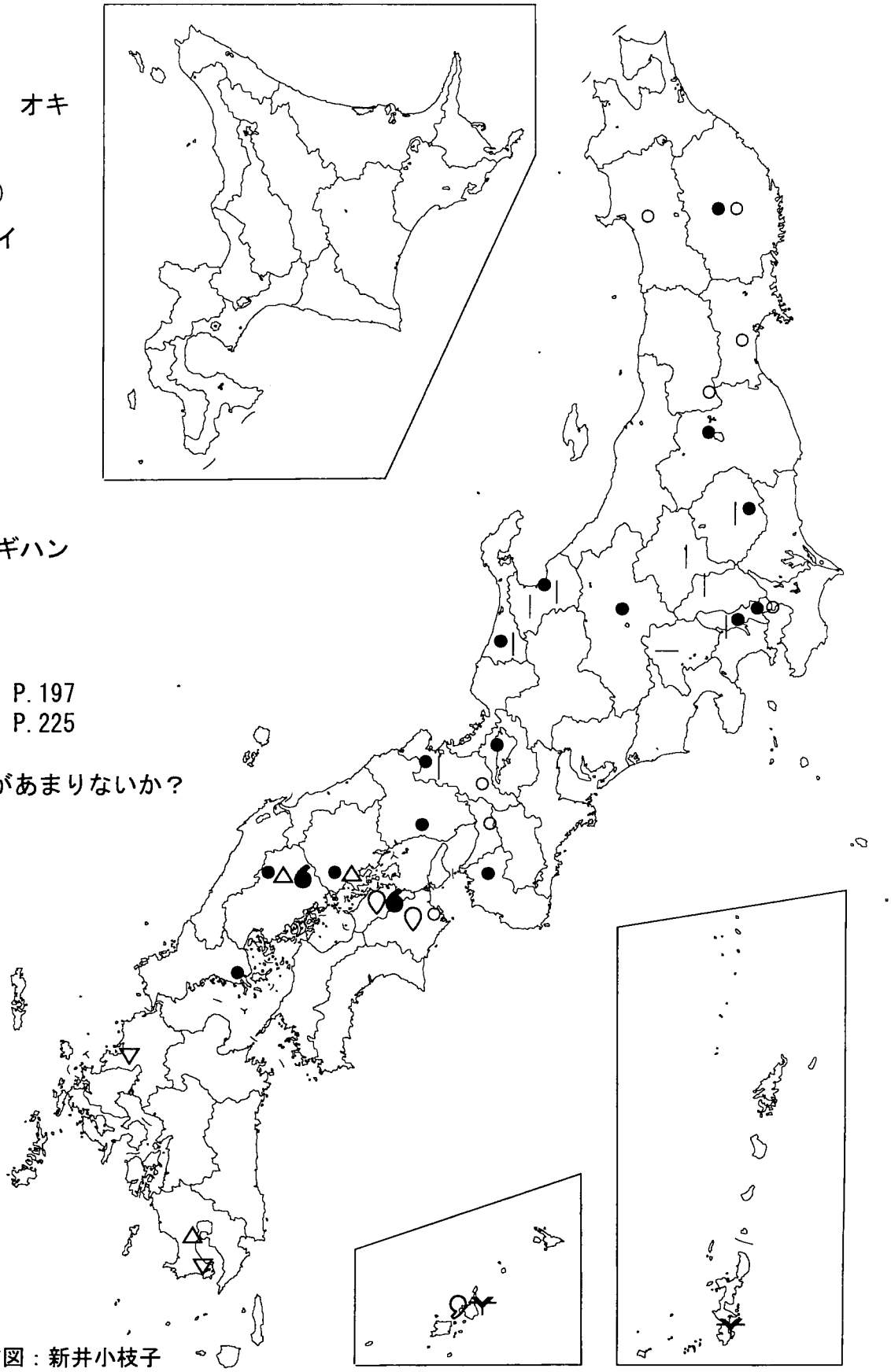
作図：新井小枝子

225

おおきい（大）


オーキ(ー)，オキ
オッキ(ー)
オ(ッ)キョイ
オーキナイ
オーキナ
ボーキャ
ウプ(ムヌ)
ウフィサ(ン)，ウフィハン
フイサン，フイハン
フトイ
フトカ
フテサン，フテサリ
デ(ッ)カイ
イカイ
イデ(ッ)コイ
ズナイ
マギサン，マギハン
マイサン，マイシャン
ゴッツイ

JL-089　おおきい



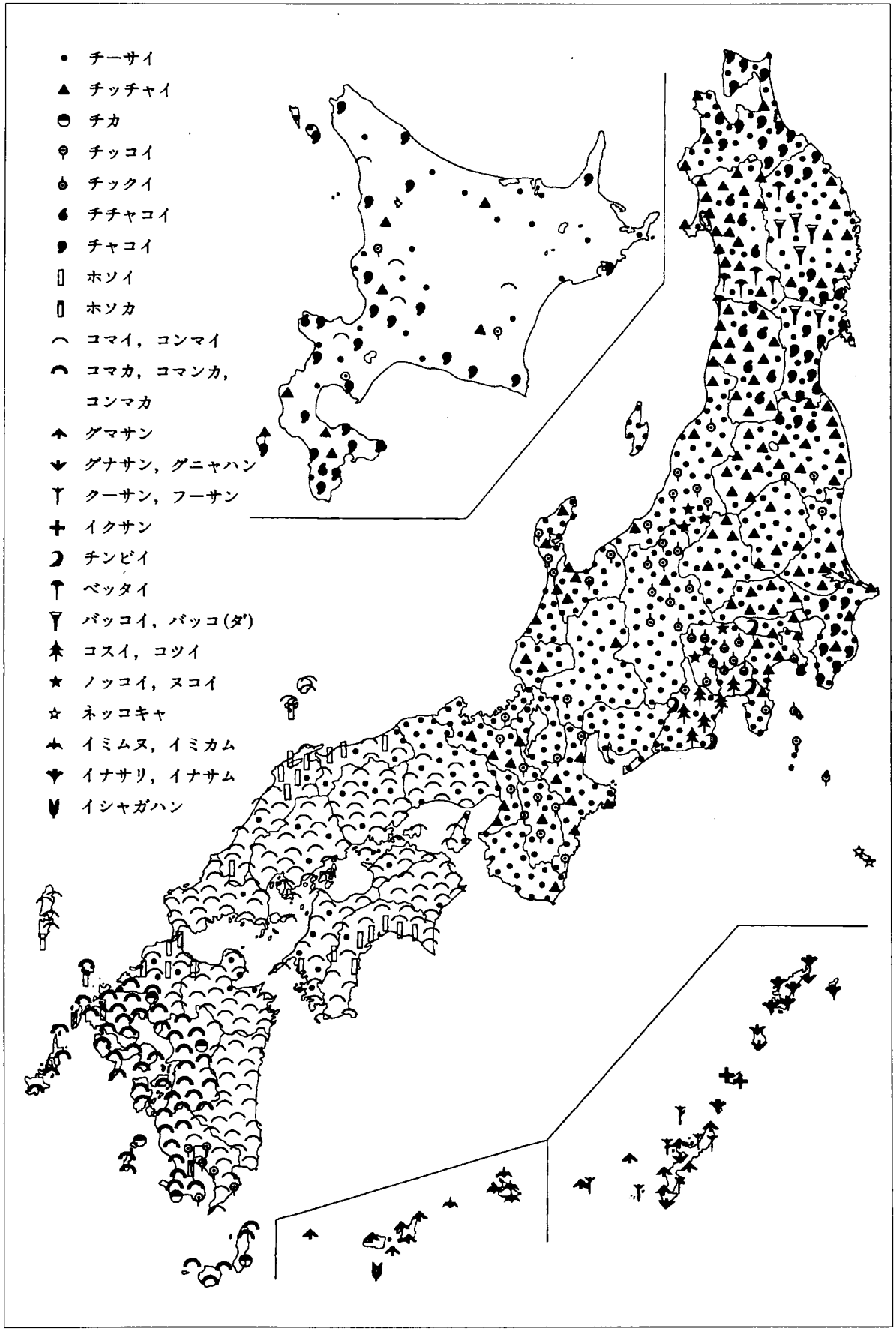
『方言の読本』　P. 197
『方言の地図帳』P. 225

分布状況は変化があまりないか？

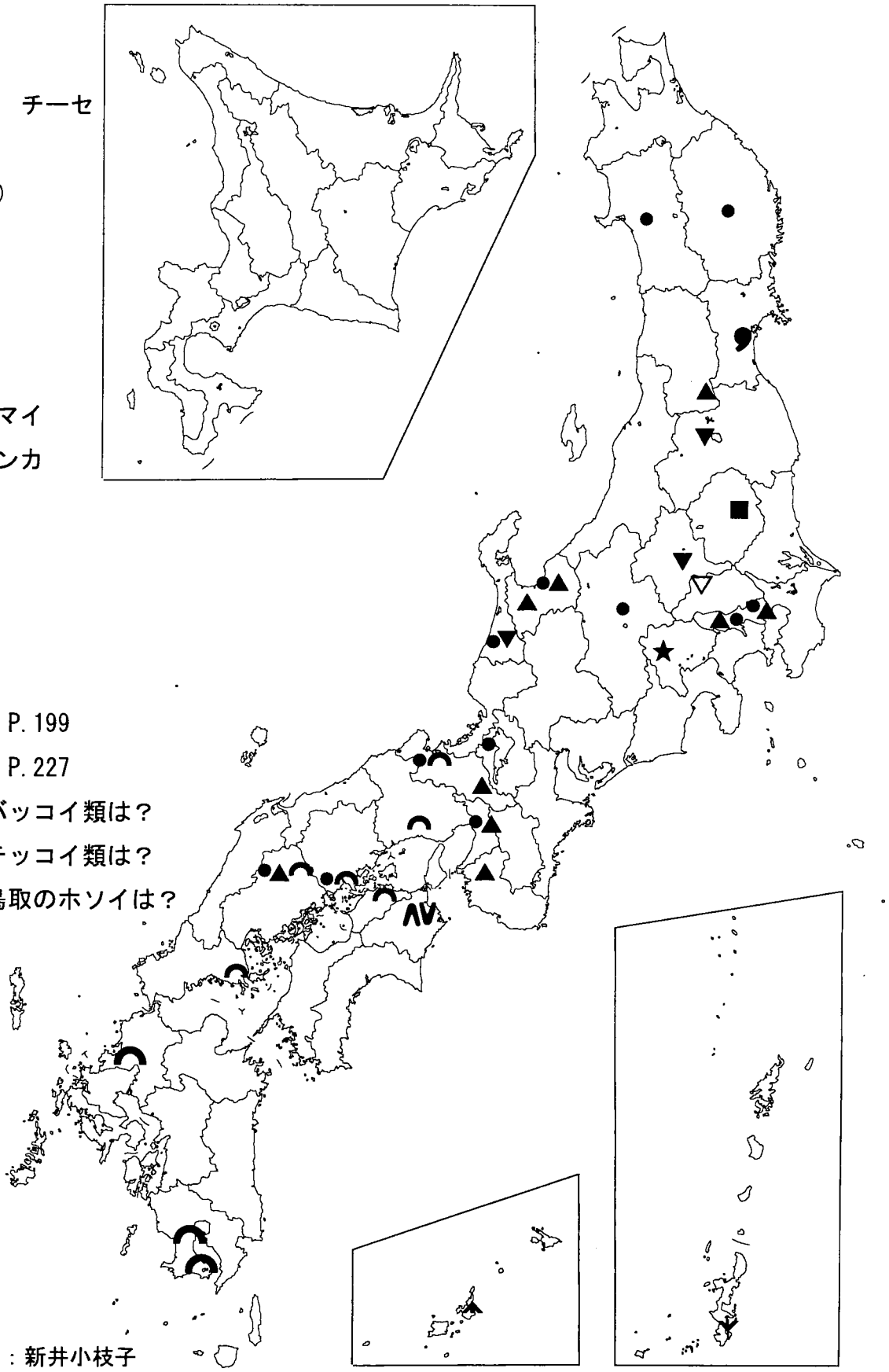
作図：新井小枝子

227

ちいさい（小）


チーサイ
チッチャイ
チカ
チッコイ
チックイ
チチャコイ
チャコイ
ホソイ
ホソカ
コマイ，コンマイ
コマカ，コマンカ，
コンマカ
グマサン
グナサン，グニャハン
クーサン，フーサン
イクサン
チンビイ
ベッタイ
バッコイ，バッコ(ダ)
コスイ，コツイ
ノッコイ，ヌコイ
ネッコキャ
イミムヌ，イミカム
イナサリ，イナサム
イシャガハン

JL-090　ちいさい



『方言の読本』　P. 199

『方言の地図帳』P. 227

・岩手，宮城のバッコイ類は？

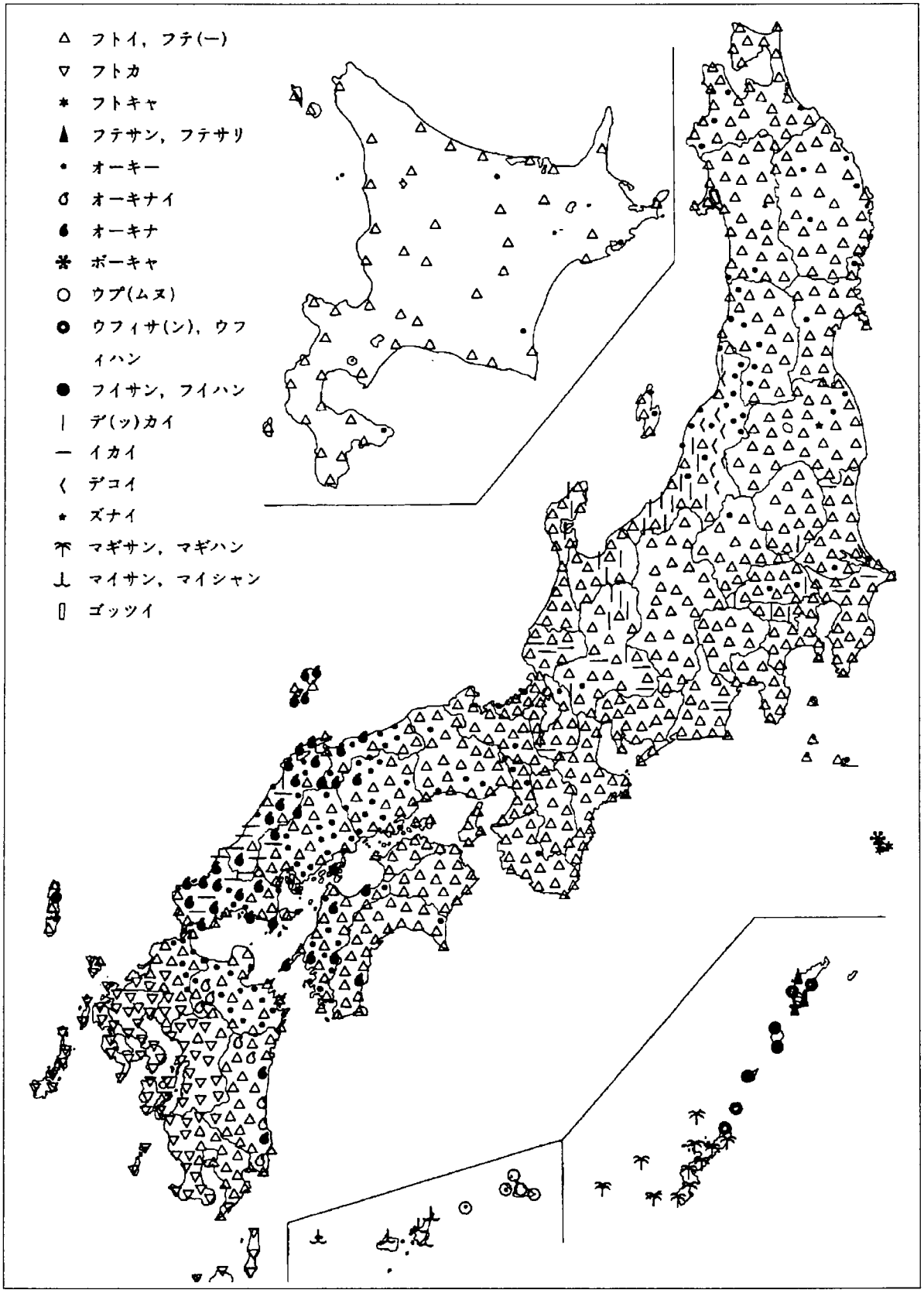
・新潟，長野のチッコイ類は？

・高知，島根，鳥取のホソイは？

作図：新井小枝子

231

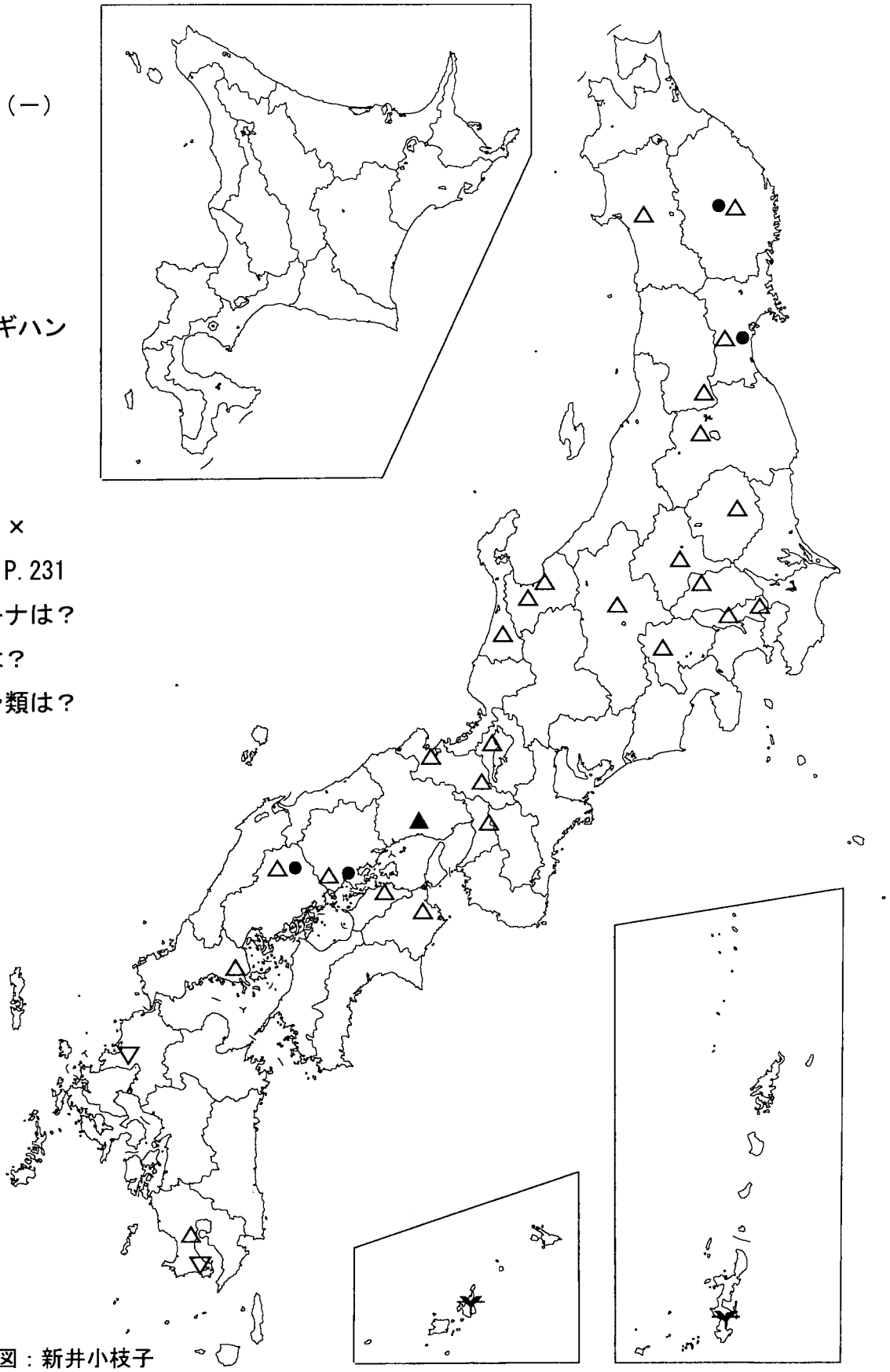
ふとい（太）


フトイ，フテ(ー)
フトカ
フトキャ
フテサン，フテサリ
オーキー
オーキナイ
オーキナ
ボーキャ
ウブ(ムヌ)
ウフィサ(ン)，ウフィハン
フイサン，フイハン
デ(ッ)カイ
イカイ
デコイ
ズナイ
マギサン，マギハン
マイサン，マイシャン
ゴッツイ

JL-091　ふとい

△ フトイ，フテ（ー）
　　，フットイ
▽ フトカ
▲ ブットイ
● オーキー
✈ マギサン，マギハン

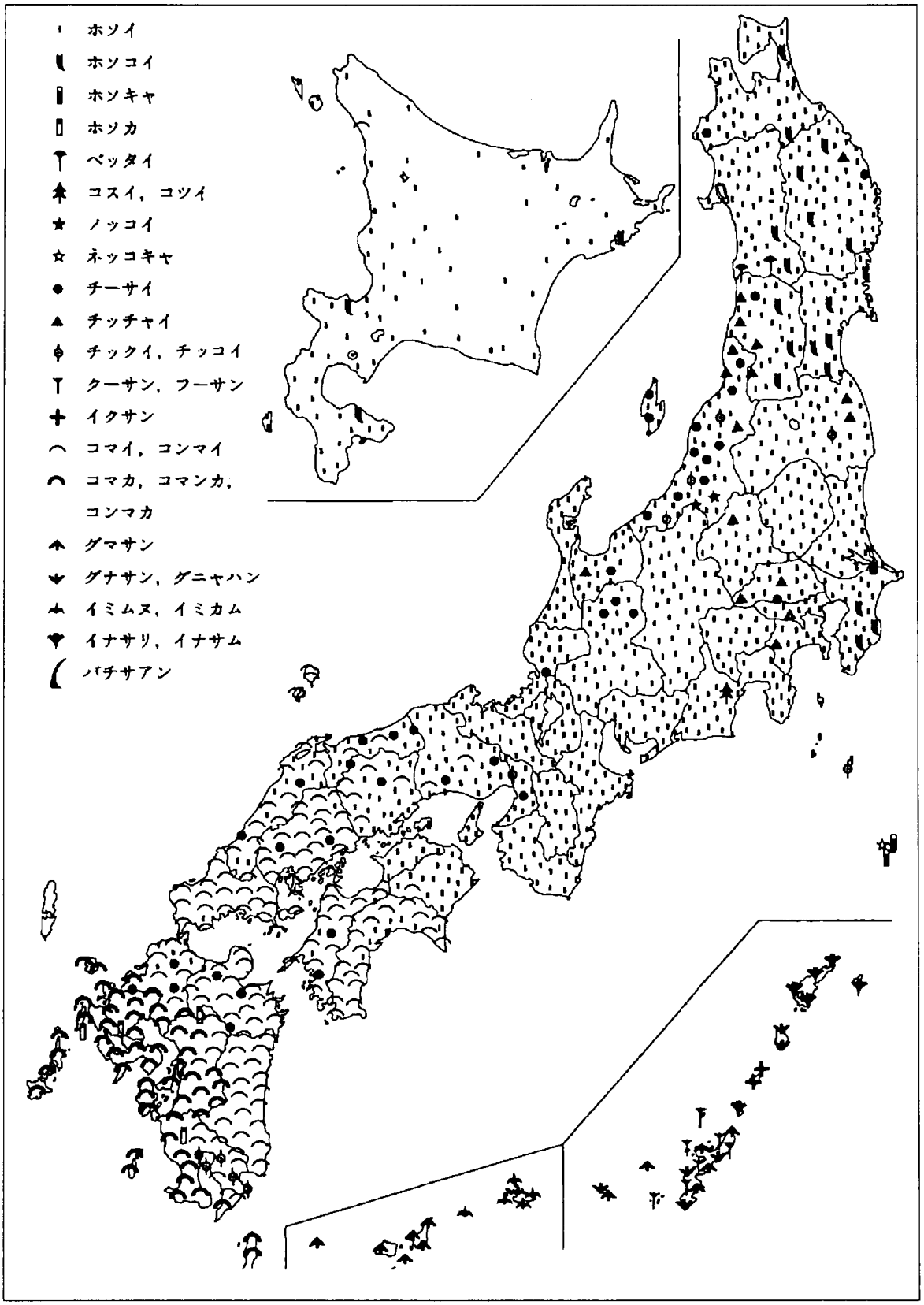
『方言の読本』　×
『方言の地図帳』P. 231
・山陰の　オーキナは？
・山陰のイカイは？
・琉球のフイサン類は？
・変化は小さい？



作図：新井小枝子

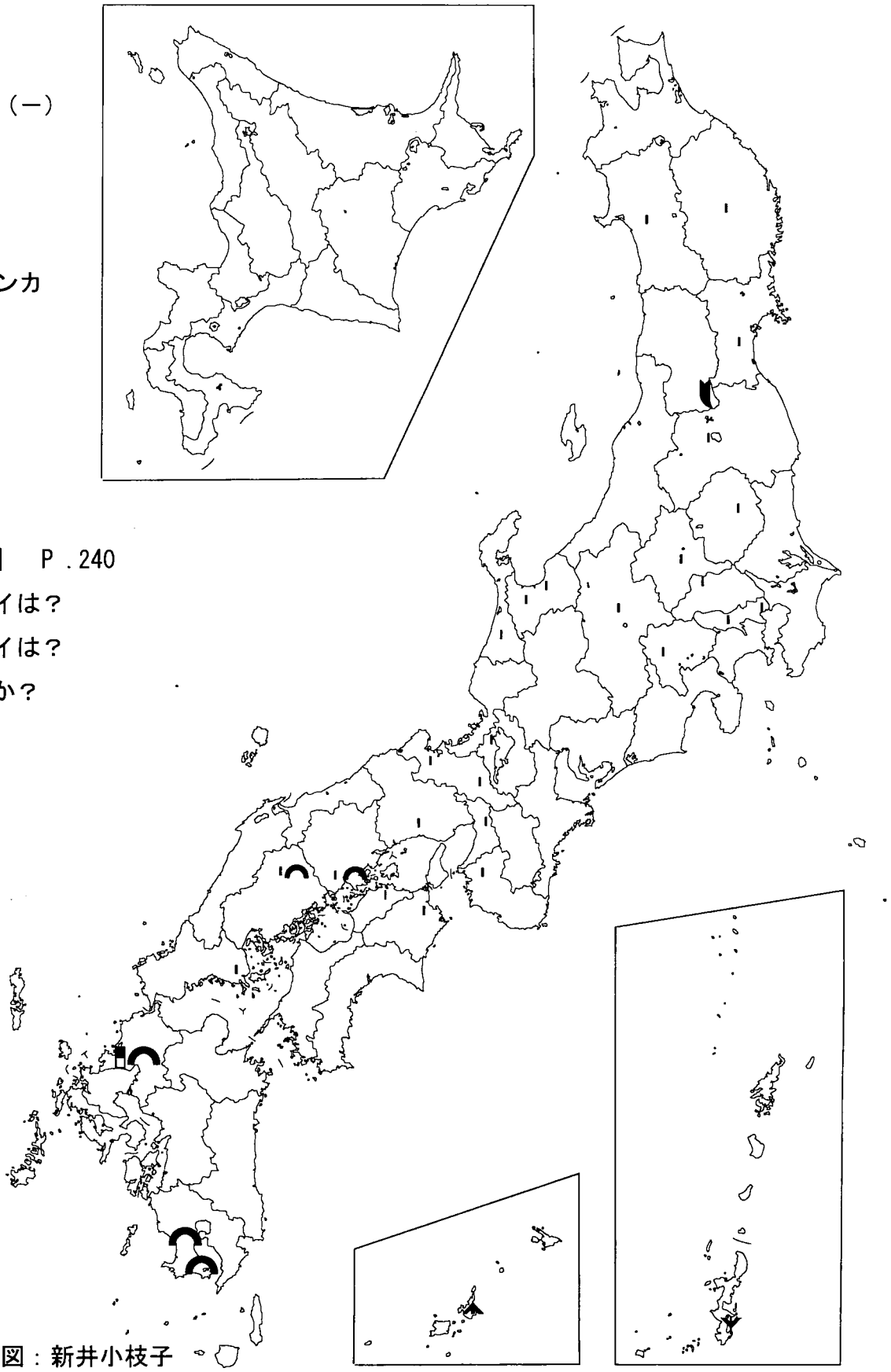
240

ほそい（細）


ホソイ
ホソコイ
ホソキャ
ホソカ
ベッタイ
コスイ，コツイ
ノッコイ
ネッコキャ
チーサイ
チッチャイ
チックイ，チッコイ
クーサン，フーサン
イクサン
コマイ，コンマイ
コマカ，コマンカ，
コンマカ
グマサン
グナサン，グニャハン
イミムヌ，イミカム
イナサリ，イナサム
バチサアン

JL-092　ほそい

- ホソイ，オセ（ー）
- ホソコイ
- ホソカ
- コマイ
- コマカ，コマンカ
- クーサン
- グマハン



『方言の地図帳』　P．240

・東北のホソコイは？

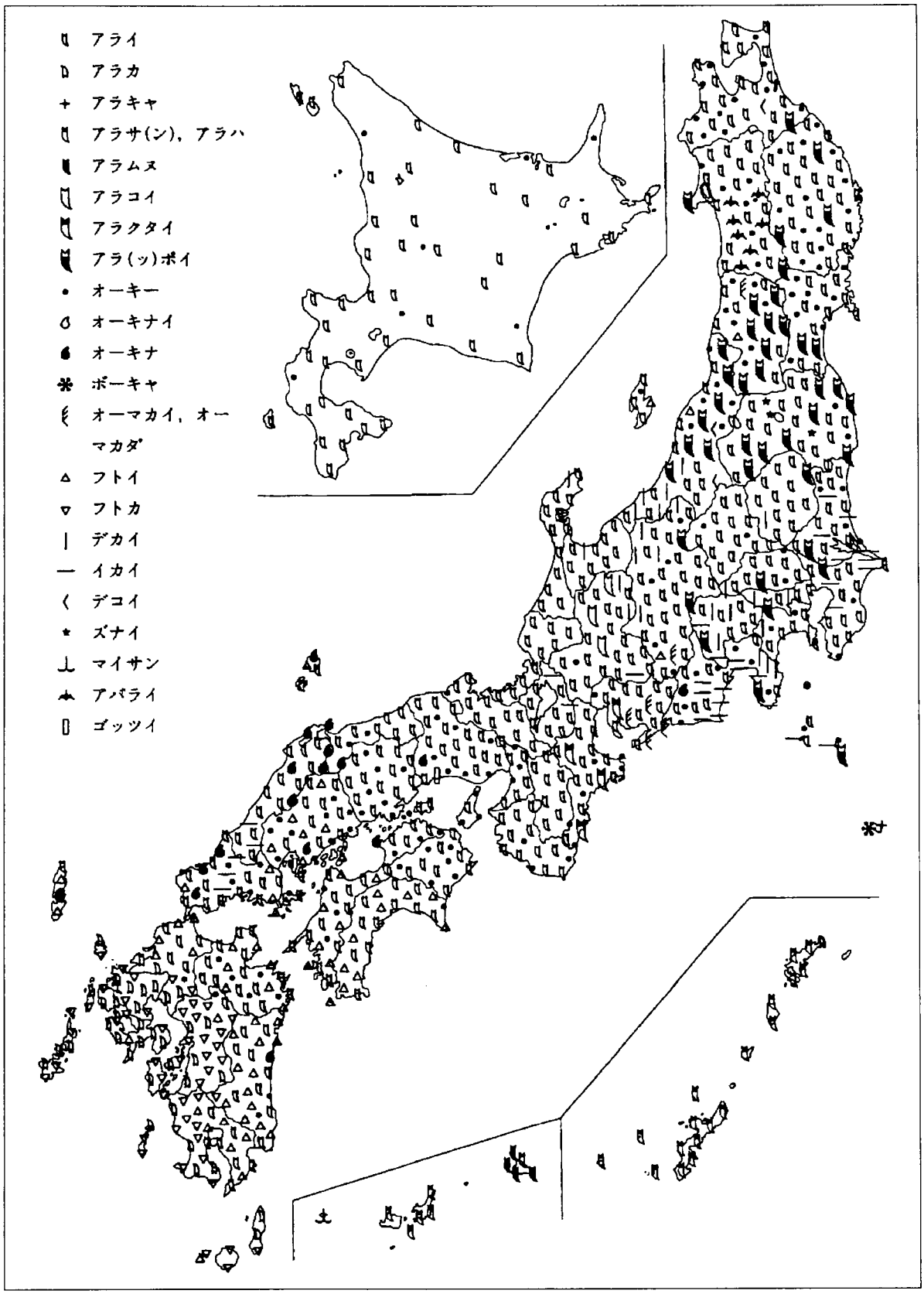
・新潟のノッコイは？

・変化は小さいか？

作図：新井小枝子

229

あらい（粗）

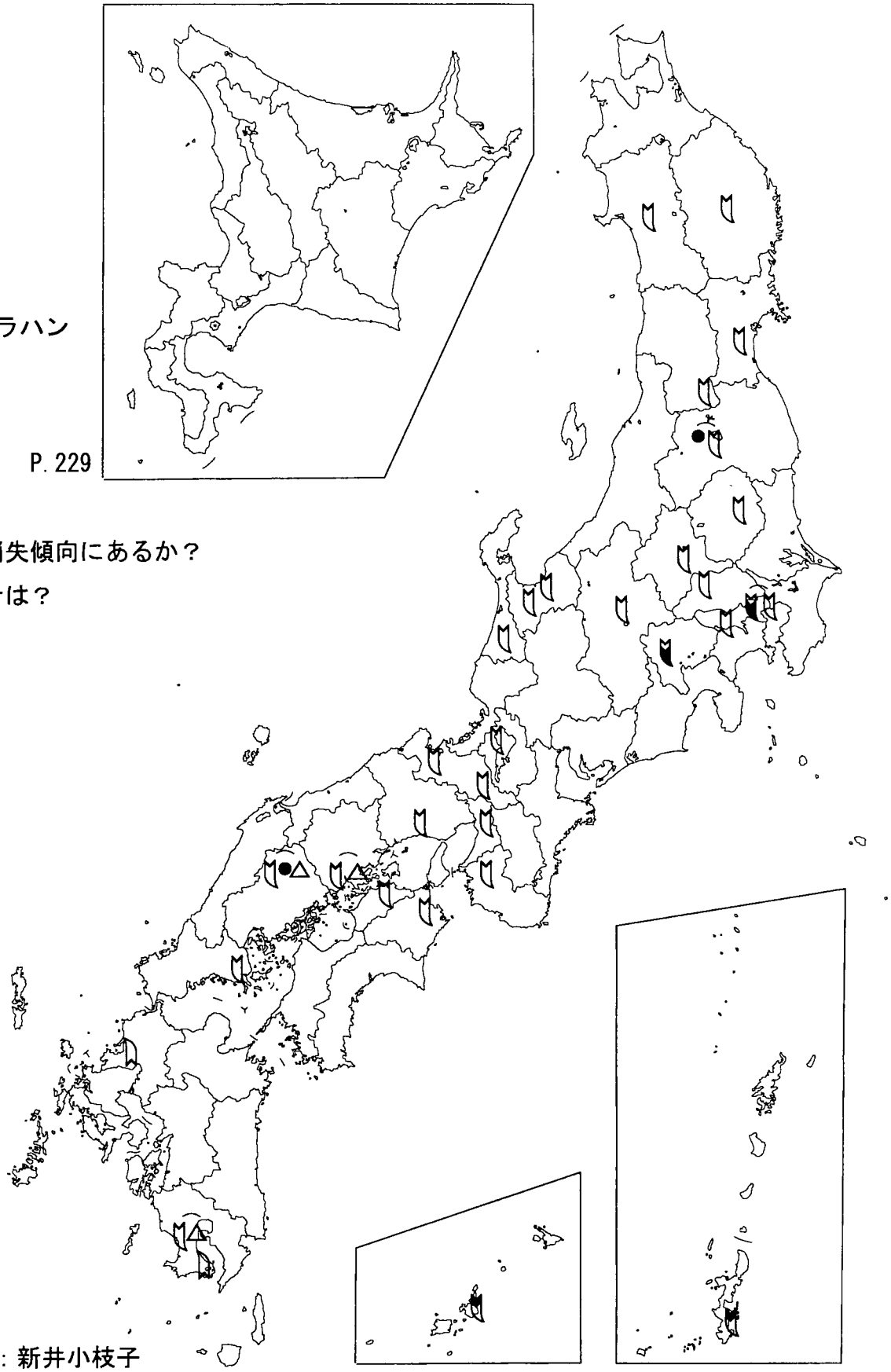

アライ
アラカ
アラキャ
アラサ(ン)，アラハ
アラムヌ
アラコイ
アラクタイ
アラ(ッ)ポイ
オーキー
オーキナイ
オーキナ
ボーキャ
オーマカイ，オーマカダ
フトイ
フトカ
デカイ
イカイ
デコイ
ズナイ
マイサン
アバライ
ゴッツイ

JL-093　あらい

アライ
アラカ
アラッポイ
● オーキー
△ フトイ
アラサン，アラハン

『方言の地図帳』　P. 229

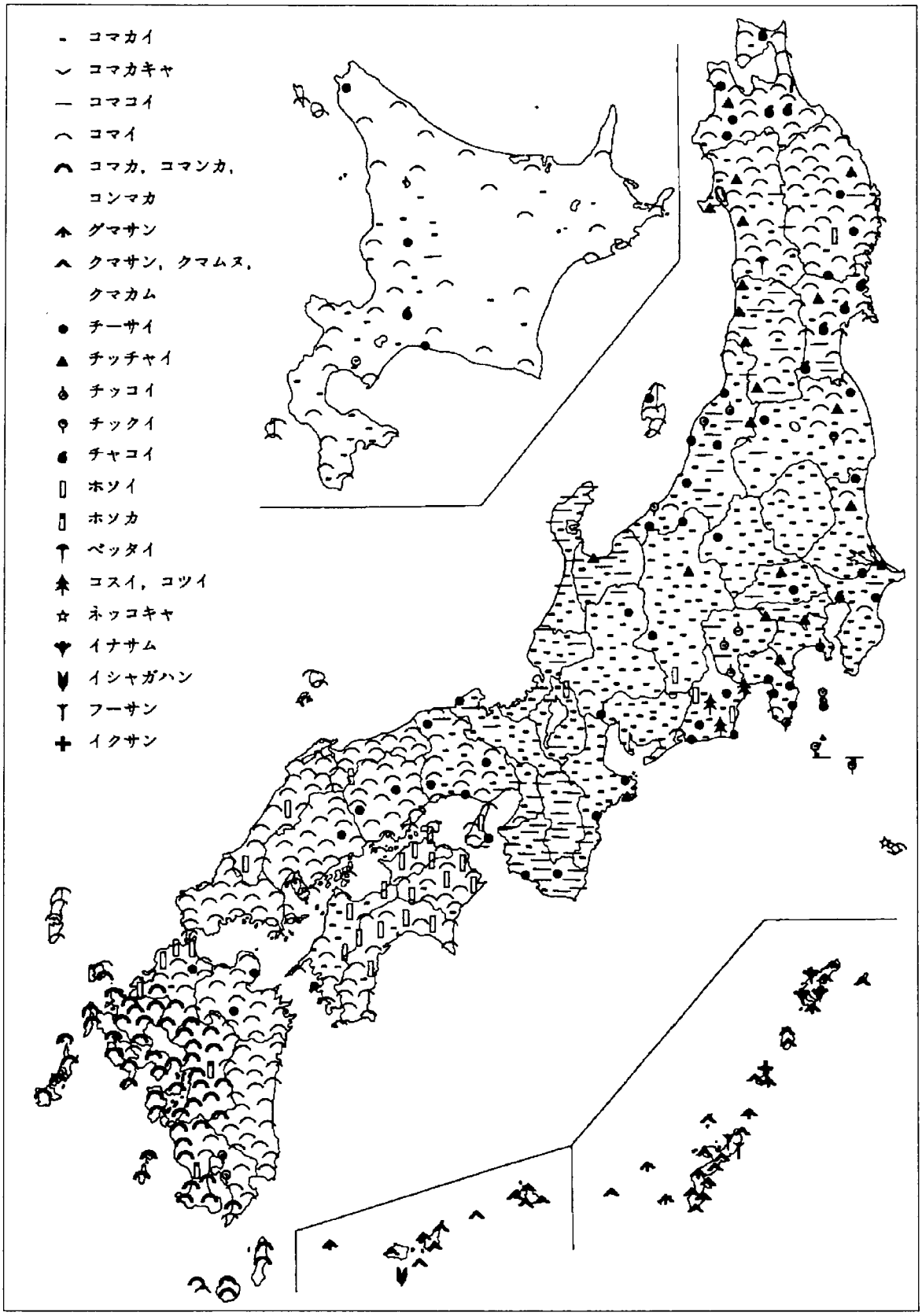
・アラッポイは消失傾向にあるか？
・山陰のオーキナは？



作図：新井小枝子

241

こまかい（細）

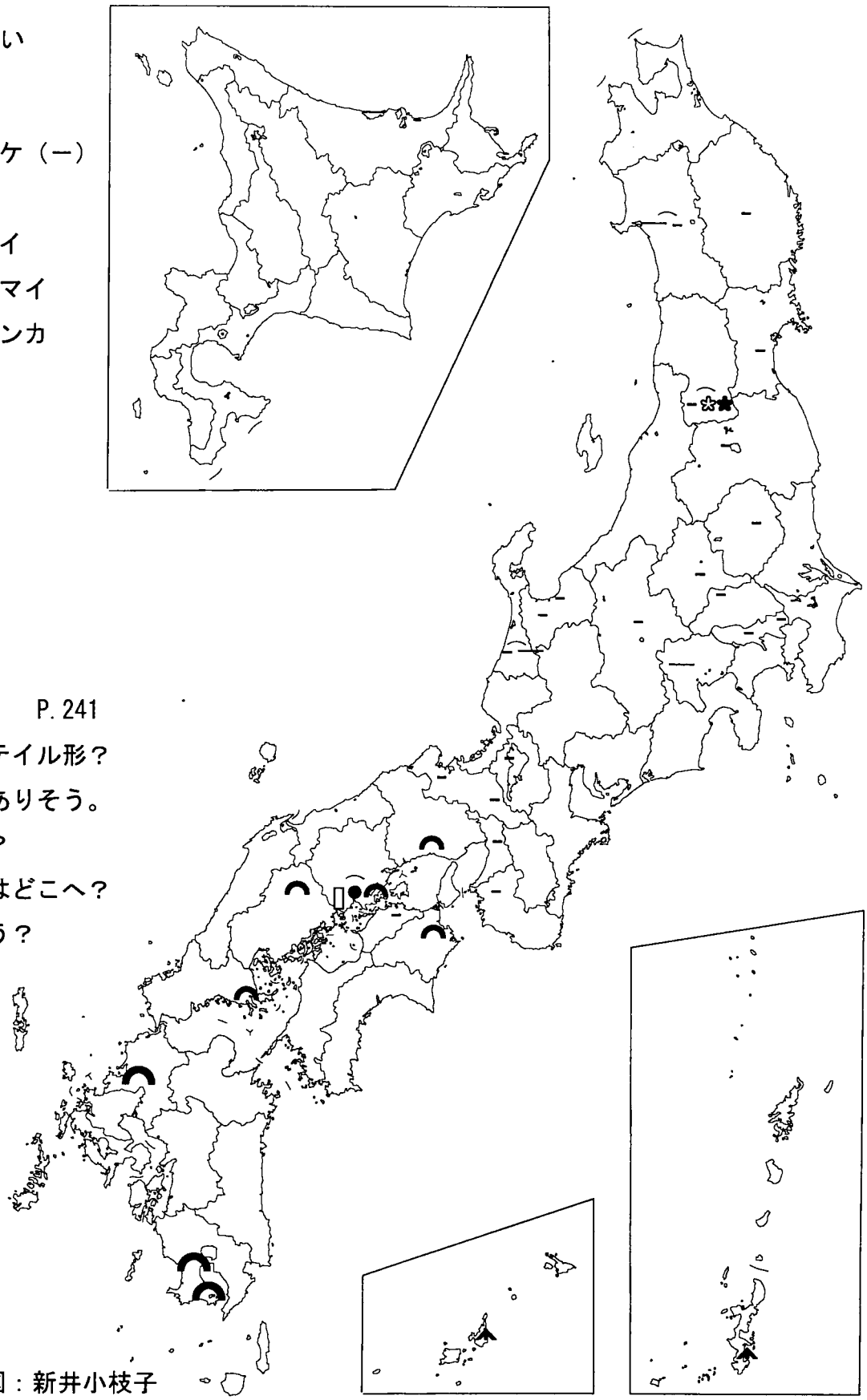

コマカイ
コマカキャ
コマコイ
コマイ
コマカ，コマンカ，
コンマカ
グマサン
クマサン，クマムヌ，
クマカム
チーサイ
チッチャイ
チッコイ
チックイ
チャコイ
ホソイ
ホソカ
ペッタイ
コスイ，コツイ
ネッコキャ
イナサム
イシャガハン
フーサン
イクサン

JL-094　こまかい

- コマカイ
  コマ（ッ）ケ（ー）
  コマガイ
— コマ（ッ）コイ
◠ コマイ，コンマイ
◠ コマカ，コマンカ
● チーサイ
▯ ホソイ
▲ グマサン
▲ クマハン
☆ コンデル
★ ツンデル

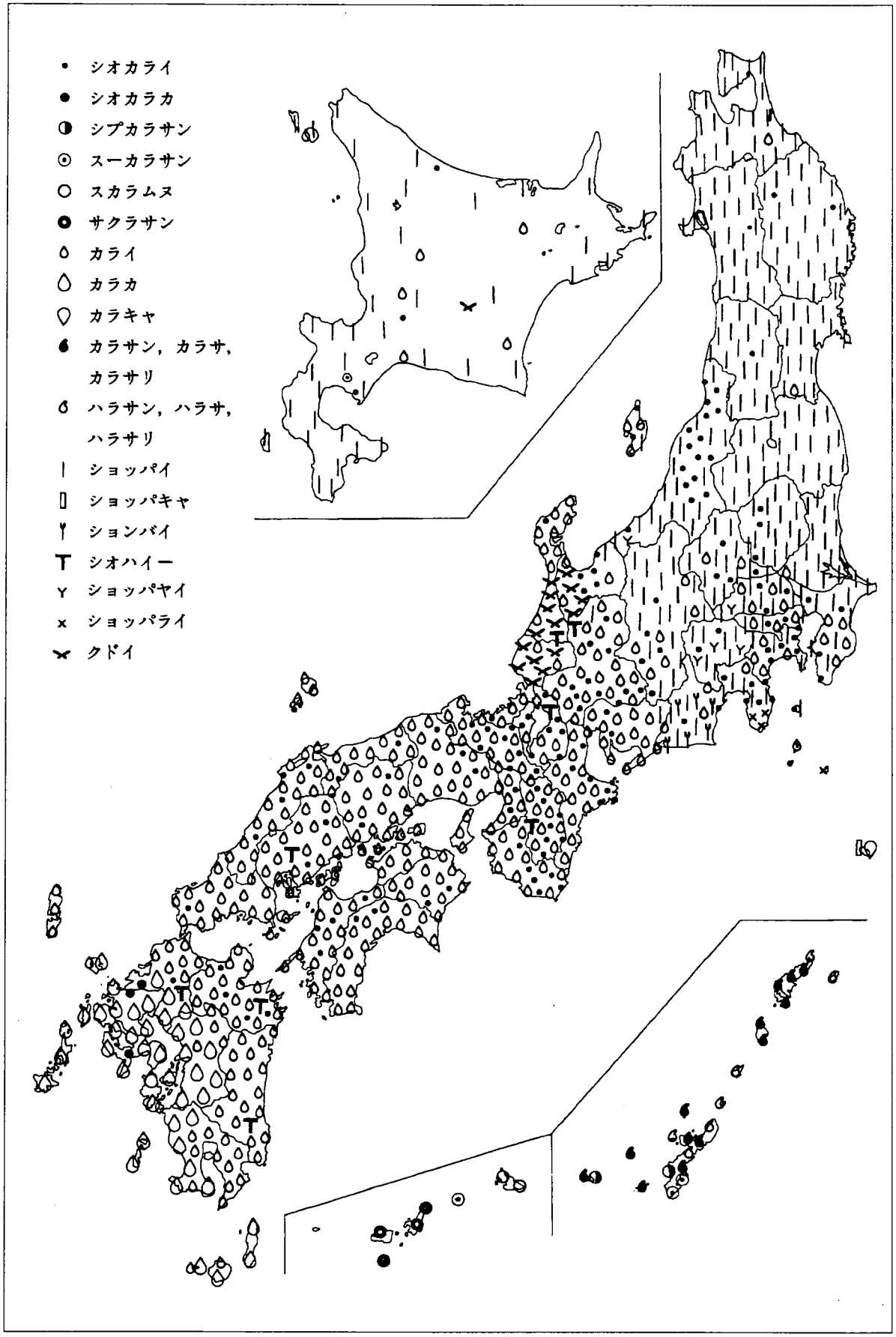
『方言の地図帳』　P. 241

・山形は動詞のテイル形？
　他の地域でもありそう。
　回答を求める？
・東北のコマイはどこへ？
　変化がありそう？



作図：新井小枝子

しおからい（塩辛）


シオカライ
シオカラカ
シプカラサン
スーカラサン
スカラムヌ
サクラサン
カライ
カラカ
カラキャ
カラサン，カラサ，カラサリ
ハラサン，ハラサ，ハラサリ
ショッパイ
ショッパキャ
ションパイ
シオハイー
ショッパヤイ
ショッパライ
クドイ

JL-095　しおからい

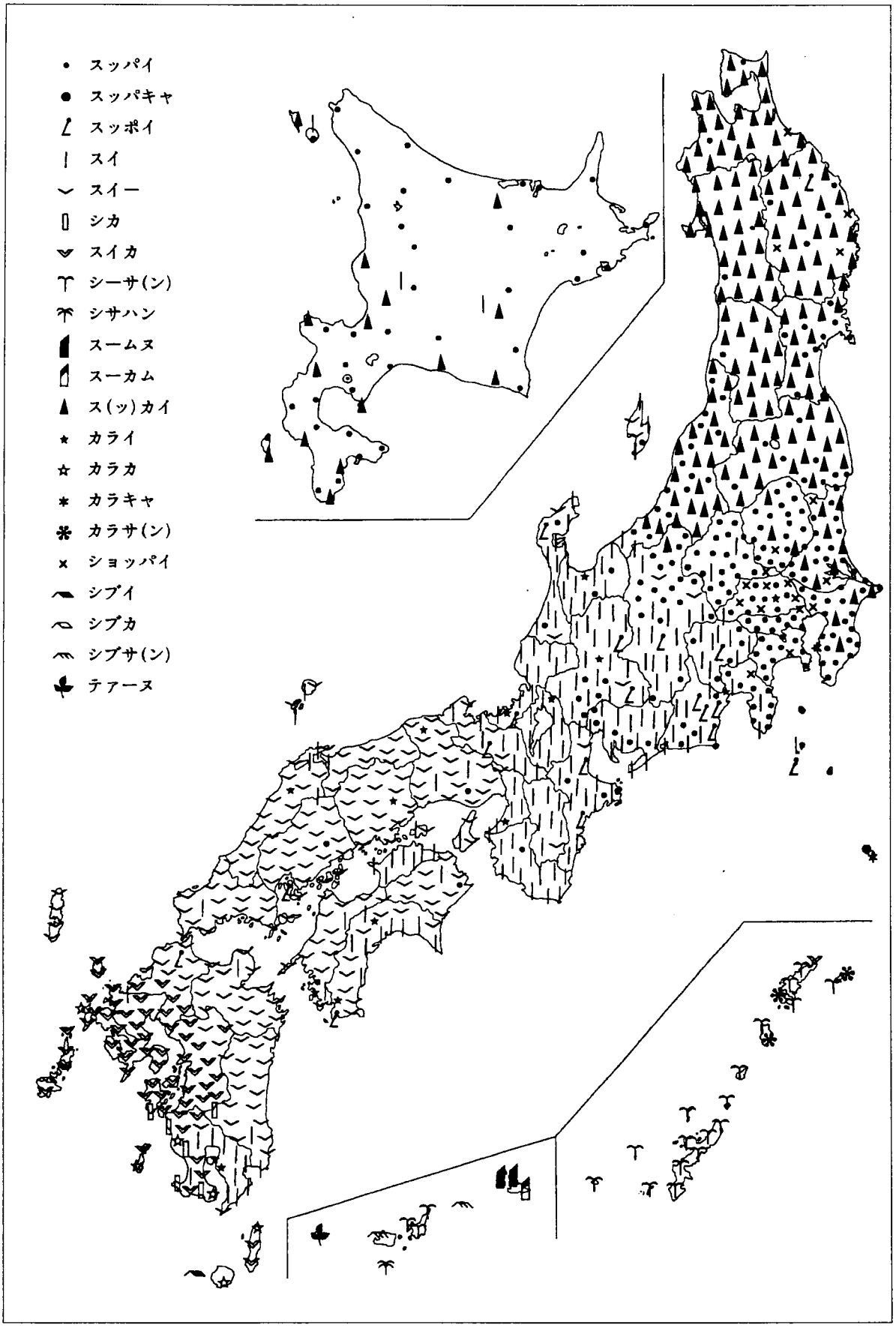
- ● シオカライ
- ◑ シプカラサン
- ◉ スーフェーサン
- ⊗ スージューサン
- ◊ カライ
- ◊ カラガ
- ◊ カラハン
- | ショッパイ
- Y ショッパヤイ
- ⋔ スッパイ
- ◊ シショッカライ

『方言の読本』　p. 163

・シオハイー，クドイはどこへ？
・東日本：西日本
　＝ショッパイ：カライ
　は根強い
・シショッカライは新しい？
　混淆？以前から？

作図：新井小枝子

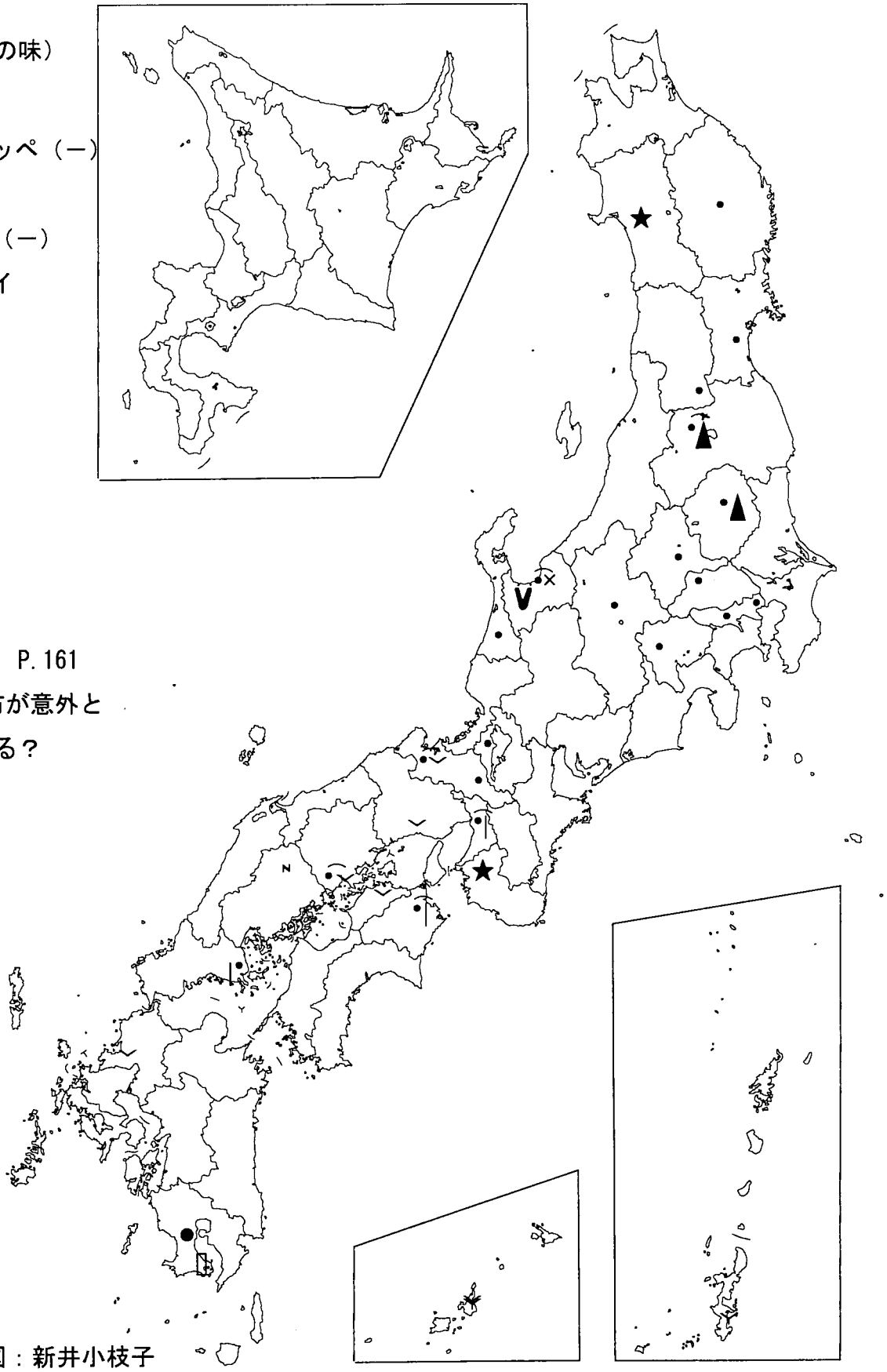
すっぱい（酸）


スッパイ
スッパキャ
スッポイ
スイ
スイー
シカ
スイカ
シーサ(ン)
シサハン
スームヌ
スーカム
ス(ッ)カイ
カライ
カラカ
カラキャ
カラサ(ン)
ショッパイ
シブイ
シブカ
シブサ(ン)
テァーヌ

JL-097　すっぱい
（梅干しの味）

● スッパカ
• スッパイ，スッペ（ー）
▲ ス（ッ）カイ
★ カライ，カレ（ー）
V シショッカライ
| スイ
⌣ スイー
▯ シガ
× ショッパイ
Y シーサン
Y スポハン
N NR

『方言の読本』　P.161
・LAJ時代の分布が意外とたもたれている？



作図：新井小枝子

JL-098　すっぱい
（レモンの味）

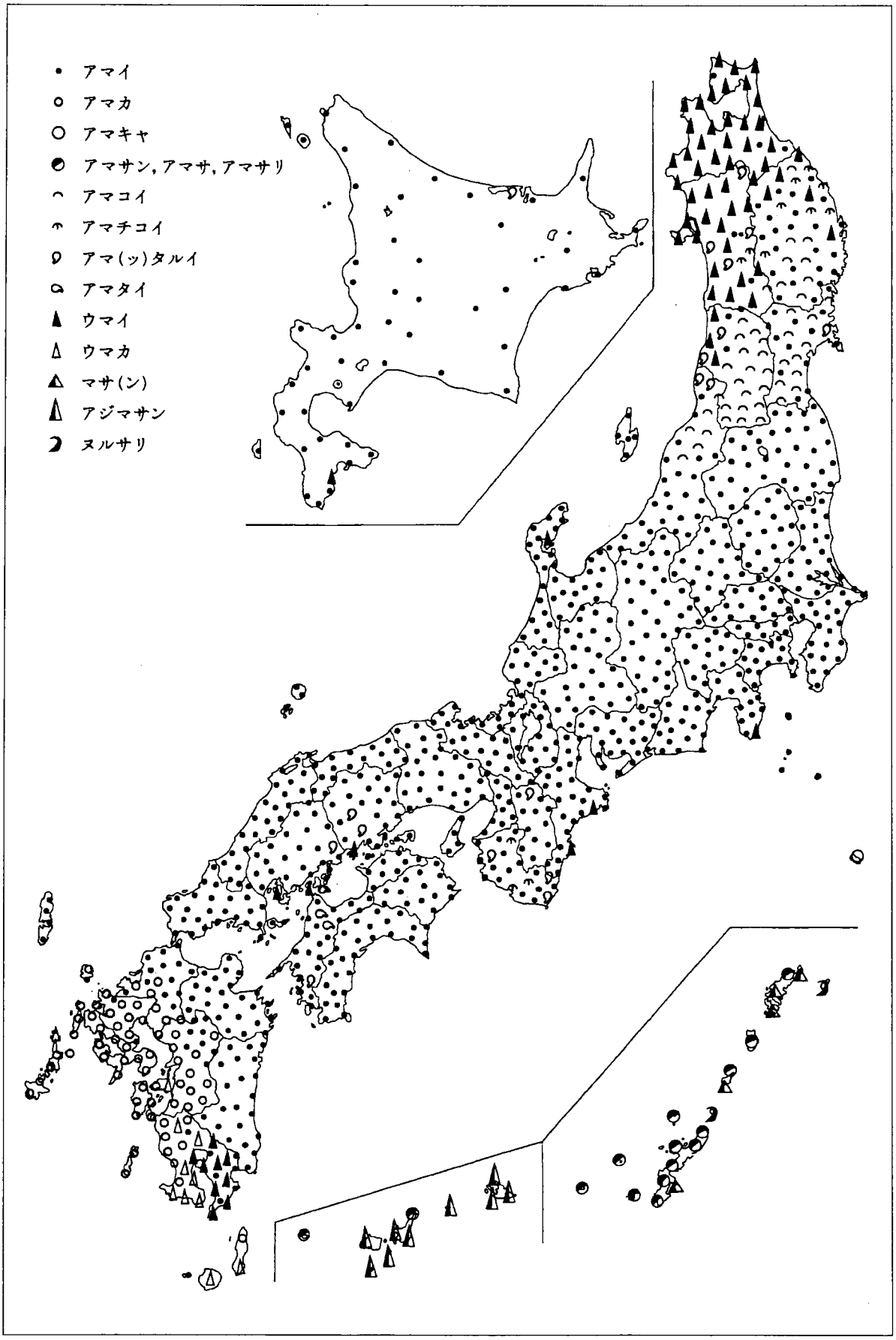
- • スッパイ
- ，スッペ（ー）
- ，シッペ（ー）
- ● スッパカ
- | スイ
- ﹀ スイー
- ▯ シガ
- ⋎ シーサン
- ⋎ スポハン

秋田：くさったにおいの感じにスッカイ，スッケー
栃木：〈梅干しの味〉に使えるスッカイは使えない。

・〈梅干しの味〉と区別する地域と
　区別しない地域がつかめそうか。
・詳細調査票による記述調査が必要か。
　補完項目には発酵した臭いも？

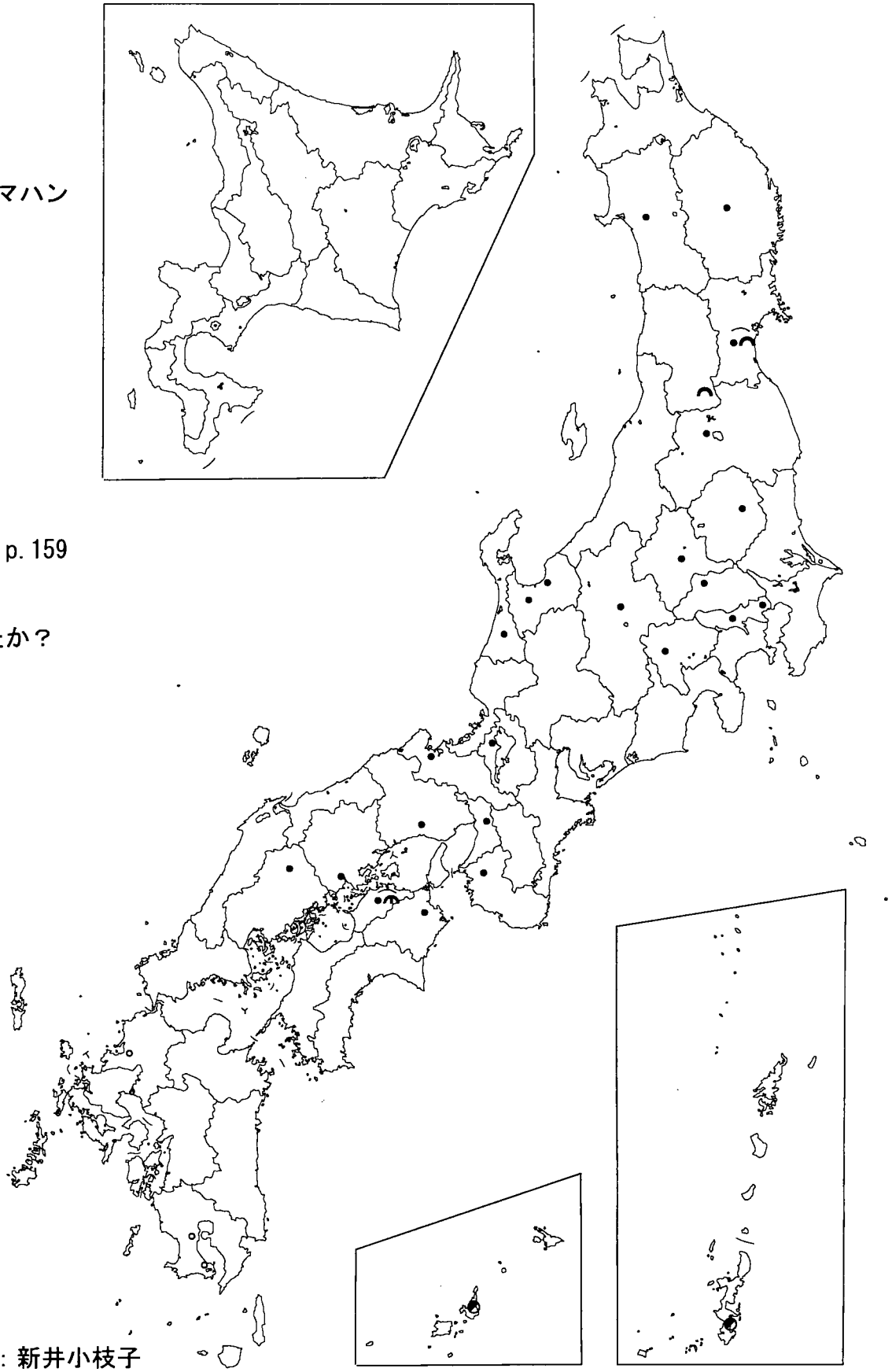
作図：新井小枝子

あまい（甘）


アマイ
アマカ
アマキャ
アマサン，アマサ，アマサリ
アマコイ
アマチコイ
アマ(ッ)タルイ
アマタイ
ウマイ
ウマカ
マサ(ン)
アジマサン
ヌルサリ

JL-099　あまい

- ● アマイ
- ○ アマカ
- ◐ アマサン，アマハン
- ◠ アマコイ
- ◠ アマチコイ

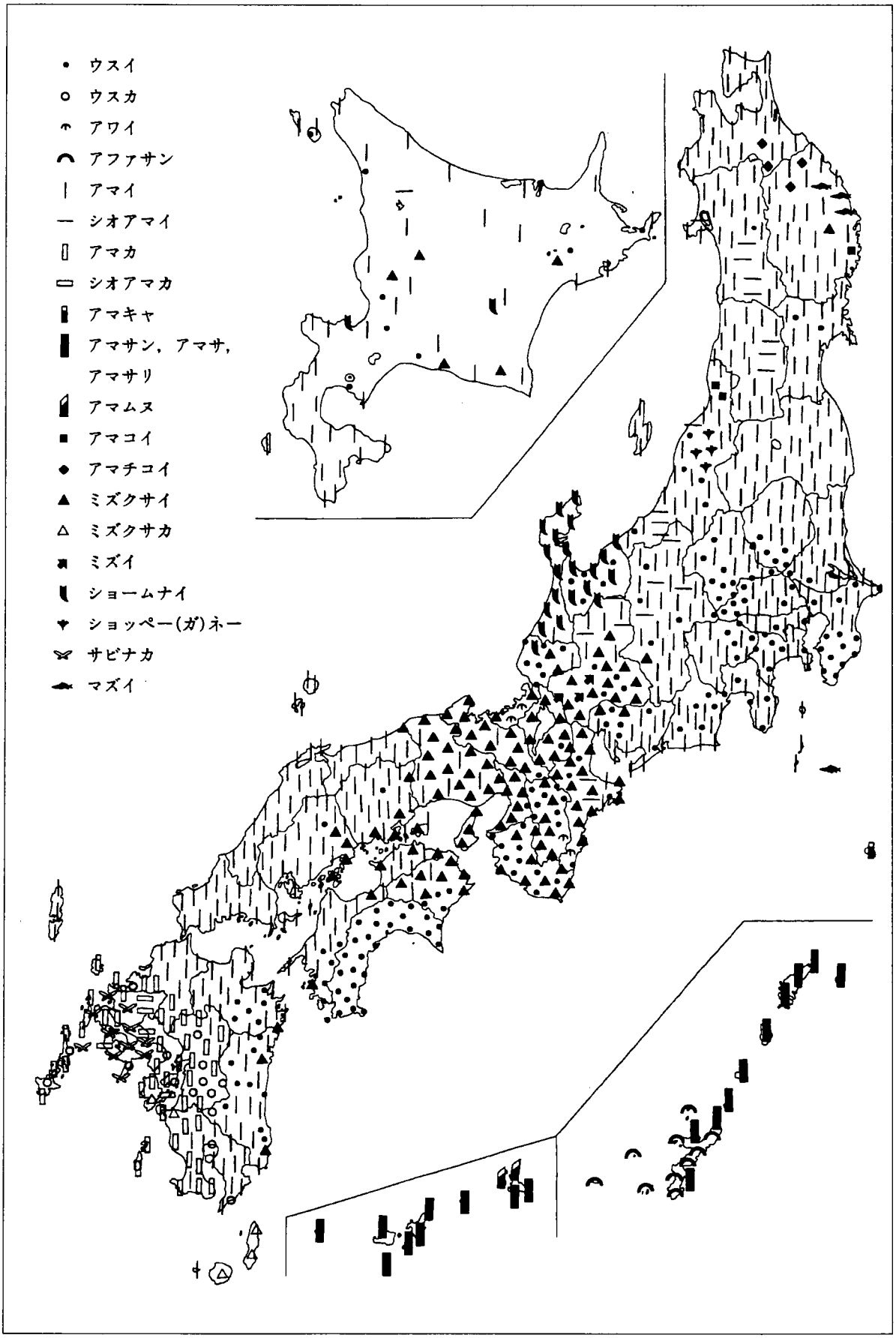


『方言の読本』　p. 159

・ウマイは消えたか？

作図：新井小枝子

（塩味が）うすい（薄）


ウスイ
ウスカ
アワイ
アファサン
アマイ
シオアマイ
アマカ
シオアマカ
アマキャ
アマサン，アマサ，アマサリ
アマムヌ
アマコイ
アマチコイ
ミズクサイ
ミズクサカ
ミズイ
ショームナイ
ショッペー(ガ)ネー
サビナカ
マズイ

JL-100　塩味がうすい

『方言の読本』p. 165

日本列島

・アマイー，ミズクサイー，アマイの分布は健在。

・句で表現される地域も分布域をもつか？

作図：新井小枝子

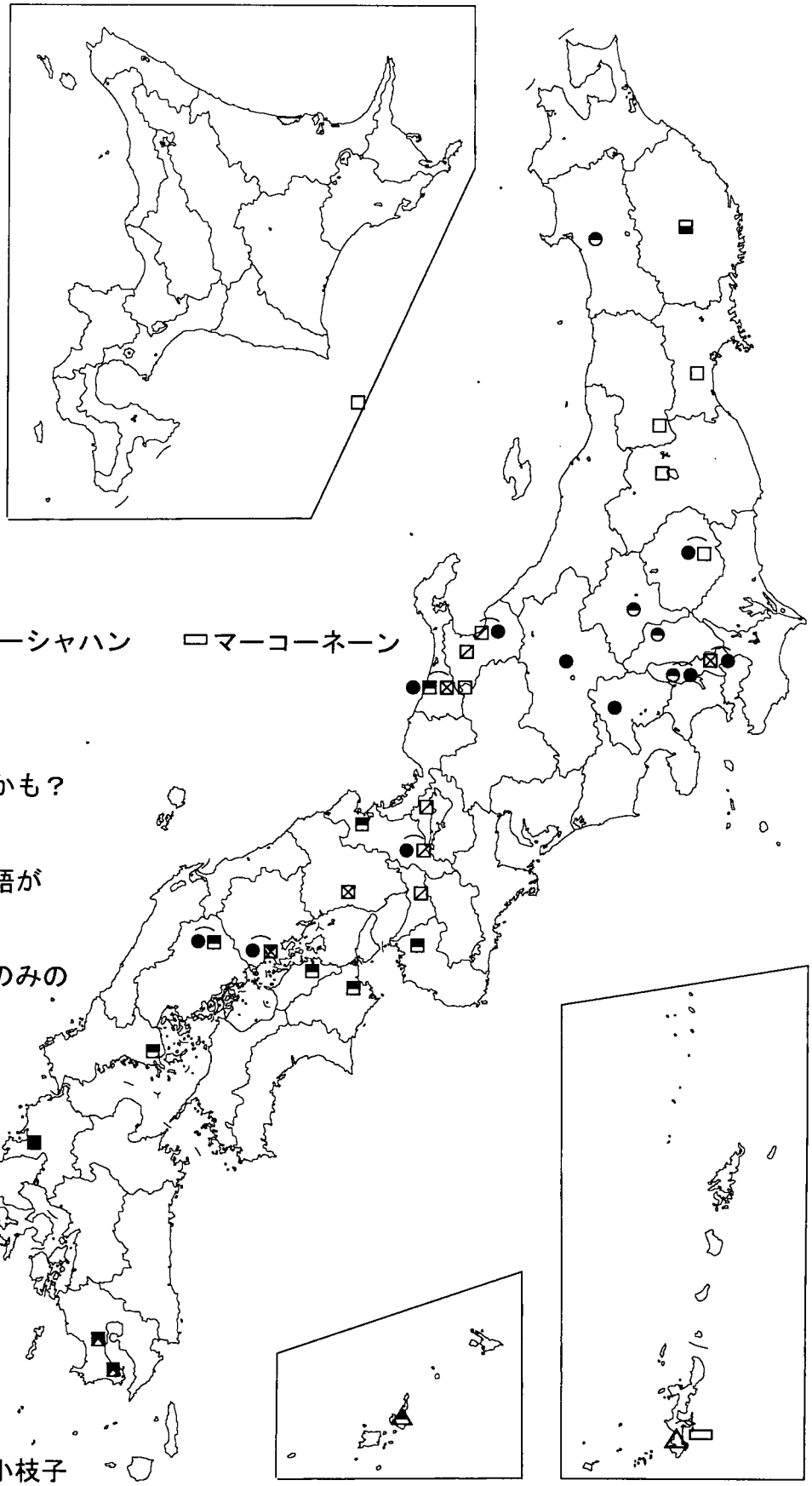
JL-101　おいしい

- • ウマイ
- ⊙ ウンマイ
- □ オイシー
- ☆ ステキナアジダ
- ◦ ウマカ
- ◔ ウメ（ー）
- ◉ ウンメー
- ▲ マーサン
- ▲ マーハン

・オイシーは西に広がる語形？
　ウマイと共にある。東はウマイ？
・〈甘い〉のウマイは消えたようにみえているが，
　それとの関連は？

作図：新井小枝子

JL-102　味がまずい



新たな分布がみられるのかも？

〈美味〉〈味〉＋否定

・ーナイ，ナカ，ネの造語が広くおこなわれている。

・関東・中部にはマズイのみの地域が目立つ。

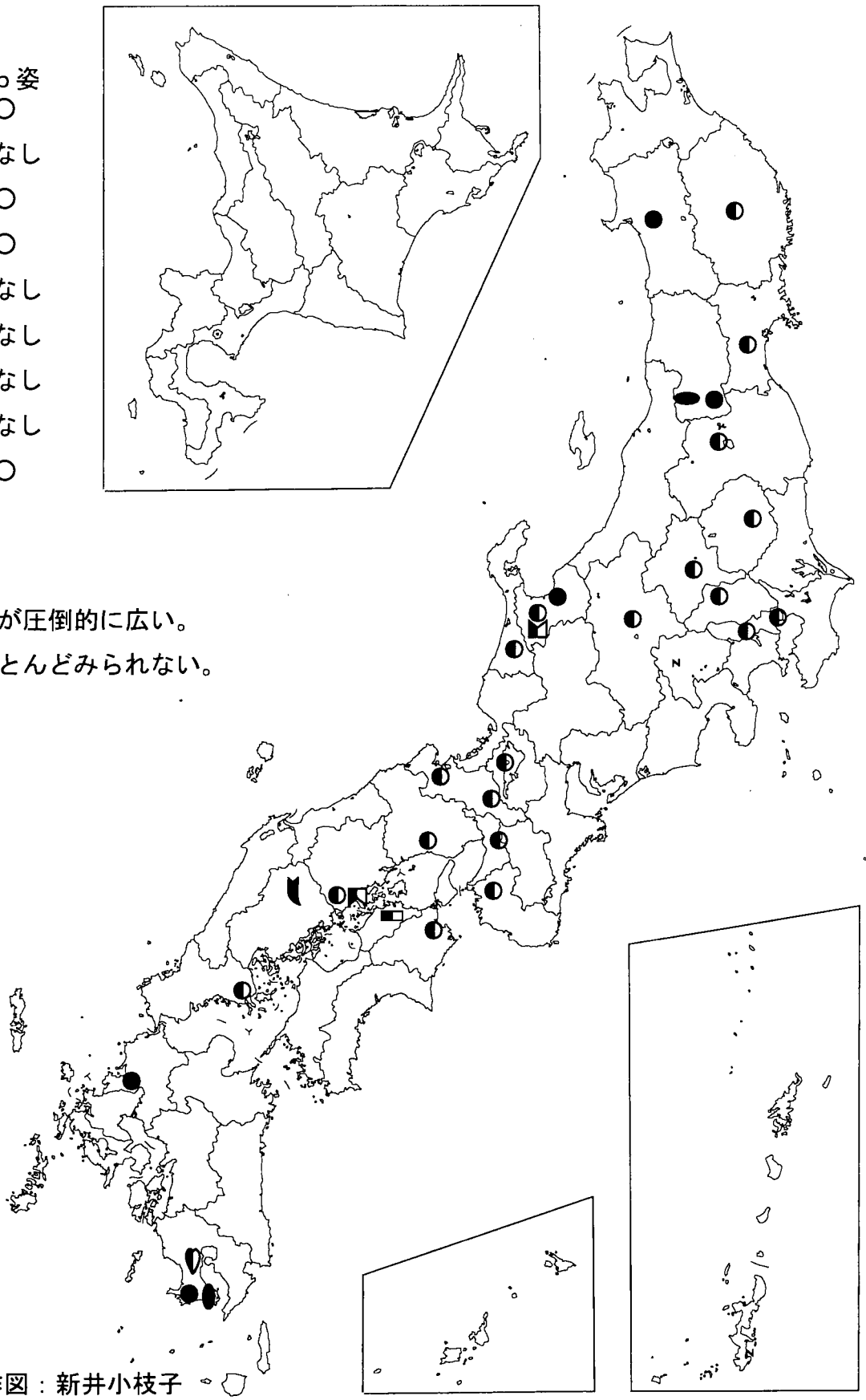
作図：新井小枝子

JL-110　かっぱ

a名称	b姿
● カッパ・	○
◐ カッパ・	なし
⬬ カッパコ・	○
⬮ カッパドン・	○
◪ ムジナ・	なし
◪ カワウソ・	なし
◖ ガラッパ・	なし
▭ ガタロー・	なし
◖ エンコー・	○
N NR	

・カッパの地域が圧倒的に広い。

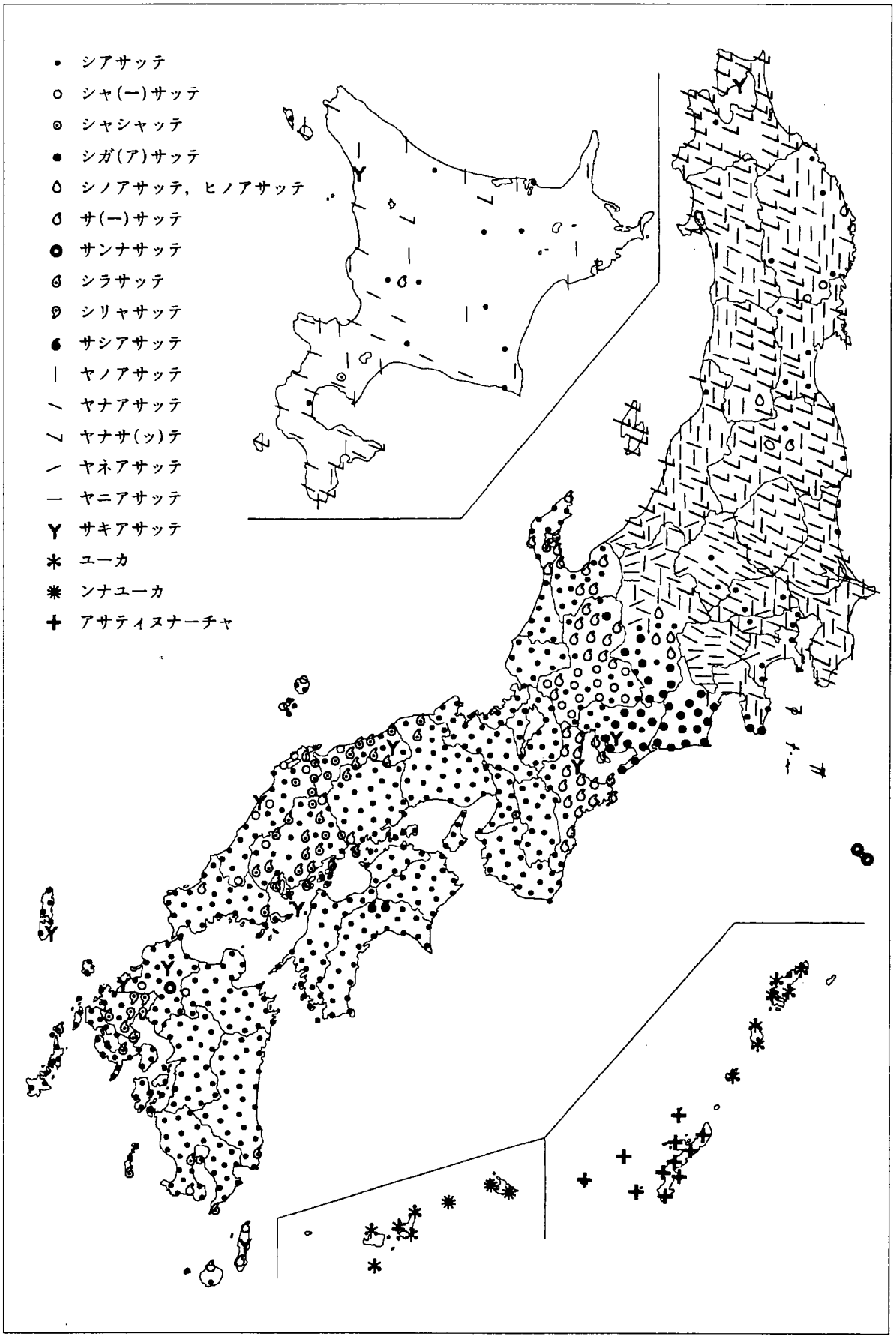
・姿の回答がほとんどみられない。



作図：新井小枝子

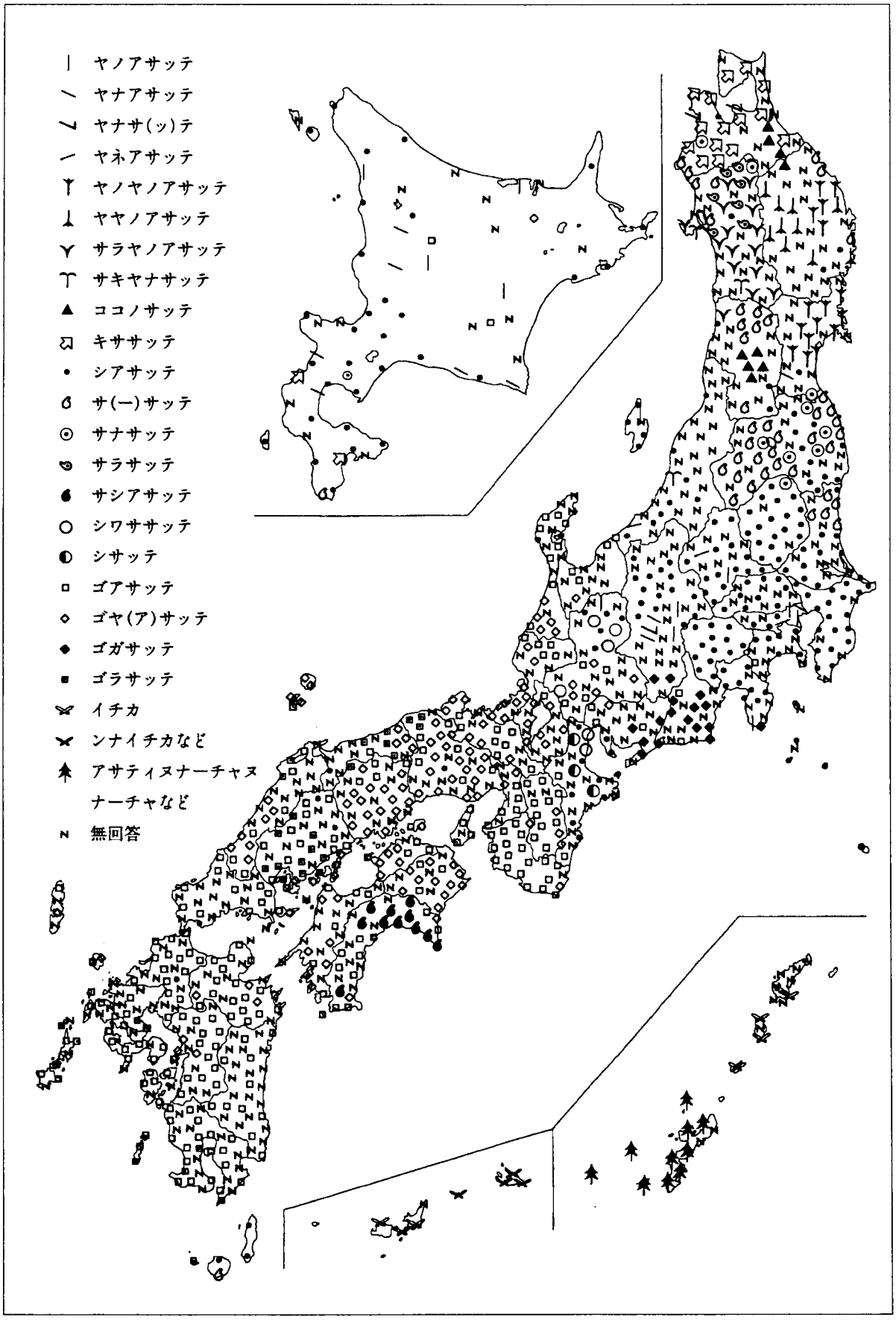
29

しあさって（明明後日）



31

やのあさって（明明明後日）

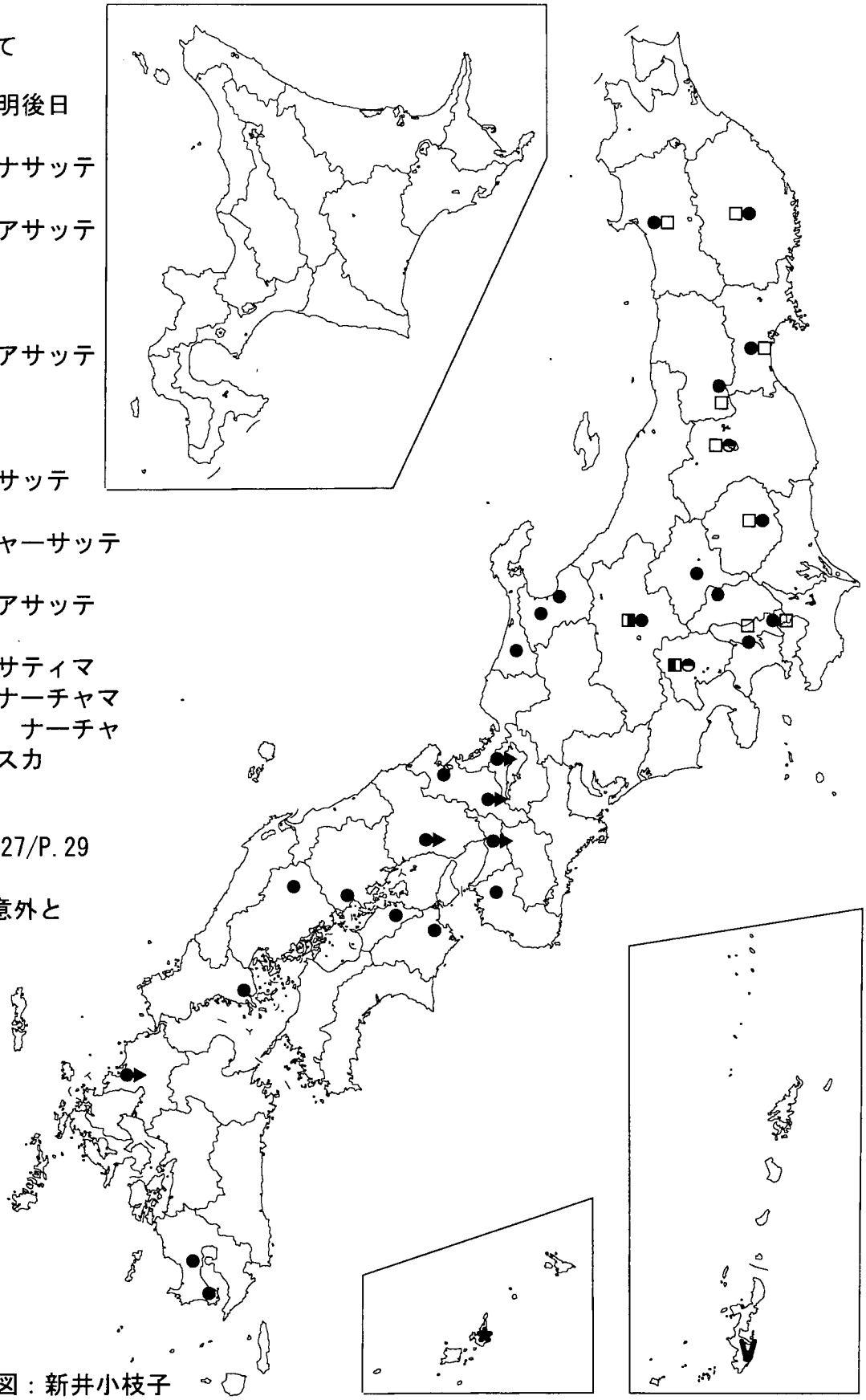


JL-113　しあさって
JL-114　やのあさって

明明後日	明明明後日
●□ シアサッテ	ヤナサッテ
□● ヤノアサッテ	シアサッテ
● シアサッテ	NR
◐ ヒアサッテ	NR
●▶ シアサッテ	ゴアサッテ
□ ヤナサッテ	NR
□◐ ヤナサッテ	ササッテ
◧◐ ヤニアサッテ	シャーサッテ
◧● ヤネアサッテ	シアサッテ
V アサティヌ ナーチャ	アサティマ ナーチャマ ナーチャ
★ ユーガ	イスカ

『方言の読本』　P.27/P.29

・LAJ時代の体系を意外と保持している？



作図：新井小枝子

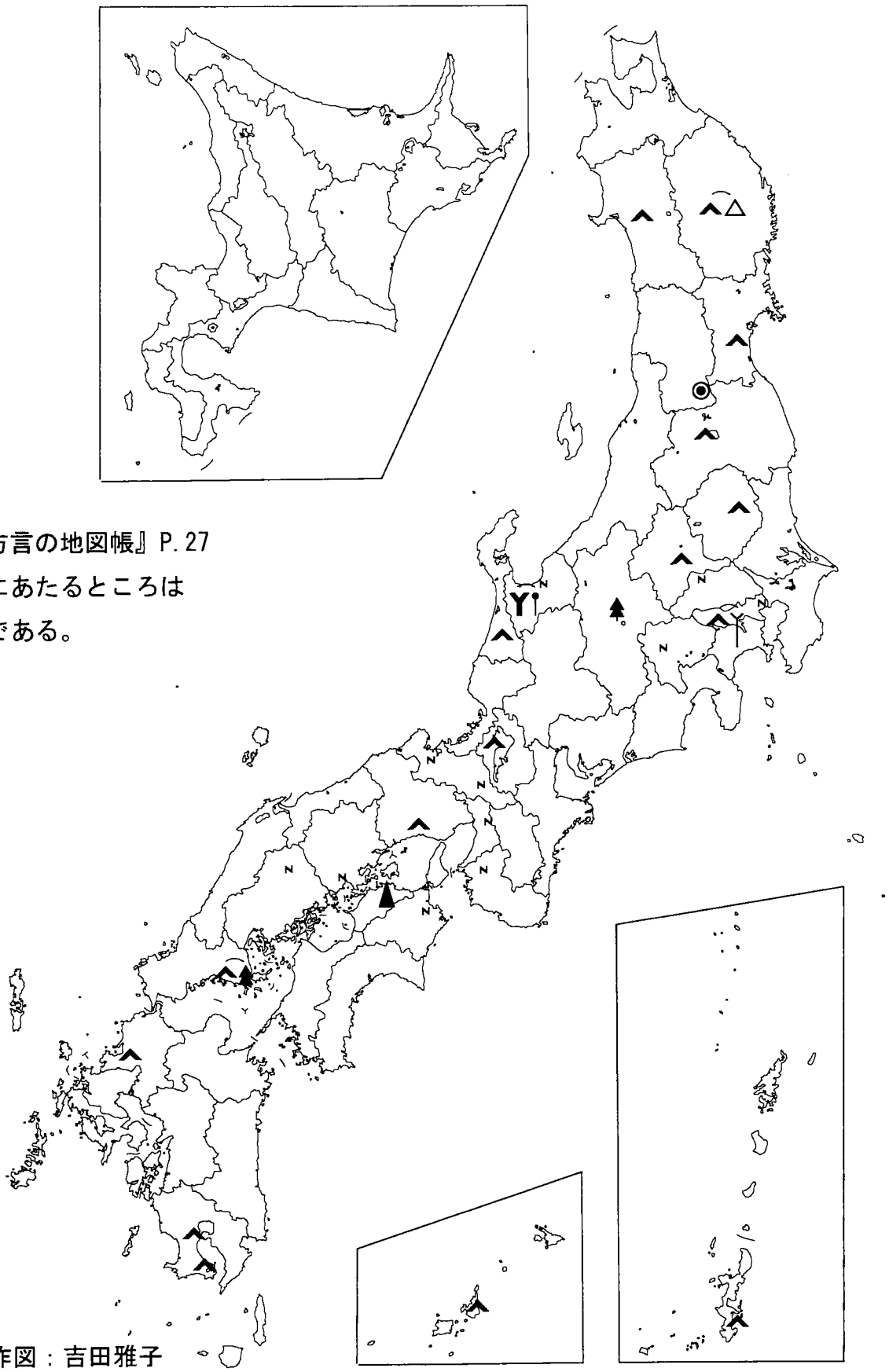
JL-121　やま(山)

- ヤマ
- △ サトヤマ
- ▲ ヤサン(野山)
- ◉ ハヤシ
- Y ヤブ
- ♠ サンリン
- Y ヨーザイリン
- ♦ ヤシキリン
- N 無回答

参考「はやし」『方言の地図帳』P.27

・「実感がない」にあたるところは
　もっと多そうである。

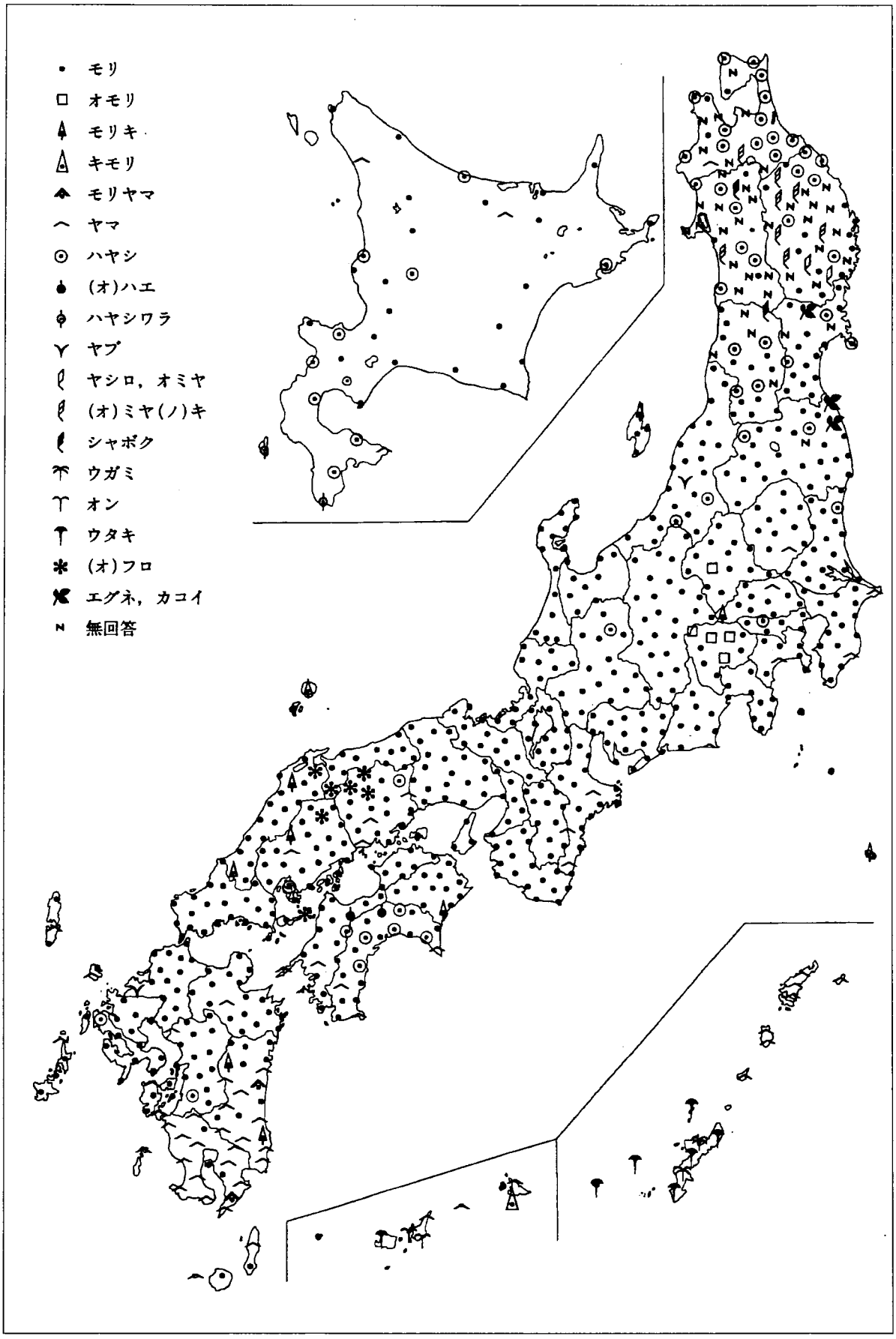
？　実感がない



作図：吉田雅子

17

もり（森）

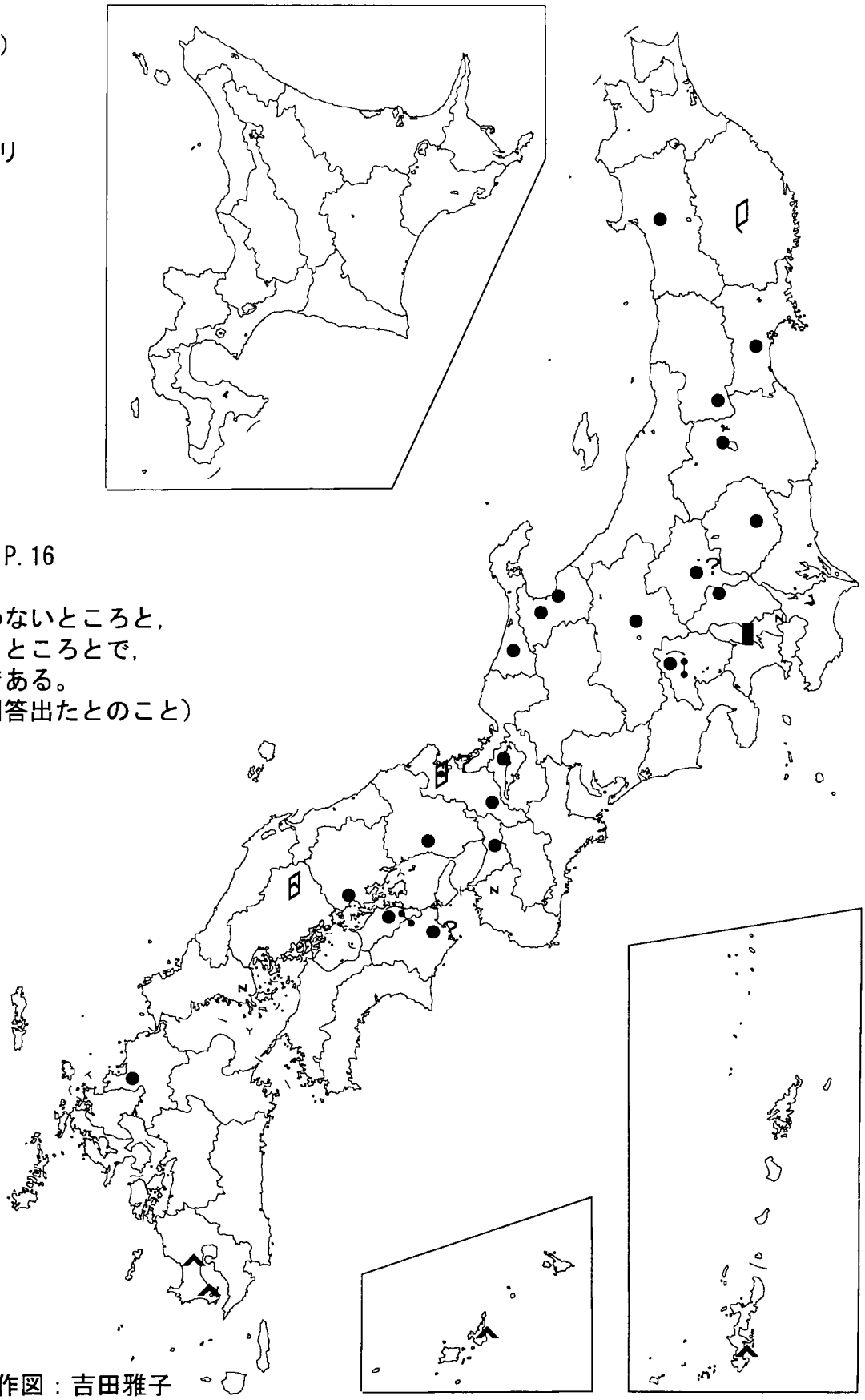

モリ
オモリ
モリキ
キモリ
モリヤマ
ヤマ
ハヤシ
(オ)ハエ
ハヤシワラ
ヤブ
ヤシロ，オミヤ
(オ)ミヤ(ノ)キ
シャボク
ウガミ
オン
ウタキ
(オ)フロ
エグネ，カコイ
無回答

JL-122　もり（森）

● モリ
ジンジャノモリ
ノリ
オミヤノモリ
ジンジャバエ
ヤマ
ミヤヤマ
ヤシロ
N 無回答

『方言の地図帳』P.16

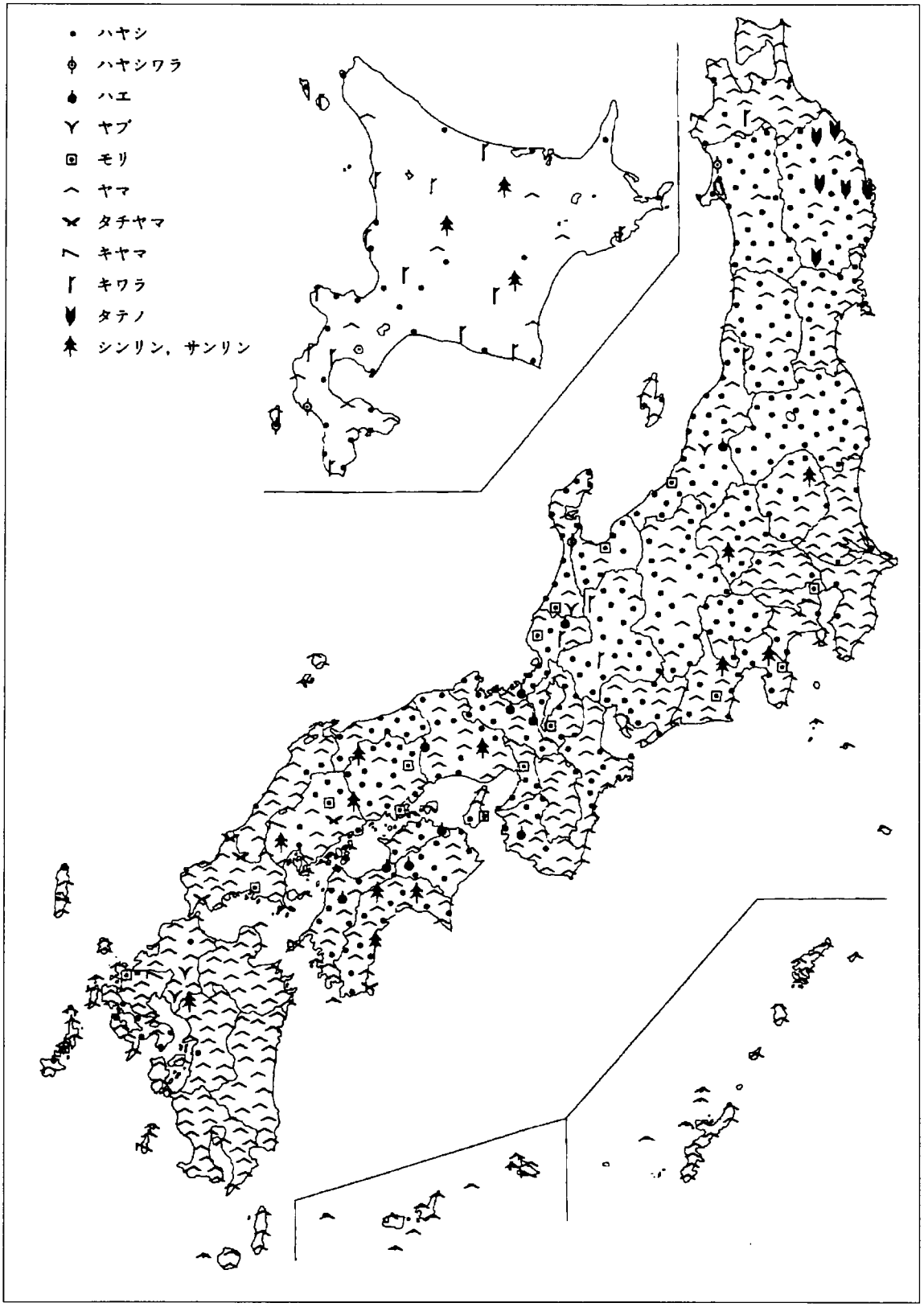
・実感がともなわないところと，
　すぐ回答が出るところとで，
　分かれるようである。
　（大阪．すぐ回答出たとのこと）
・ハヤシ現れず。
？実感がない



作図：吉田雅子

27

はやし（林）

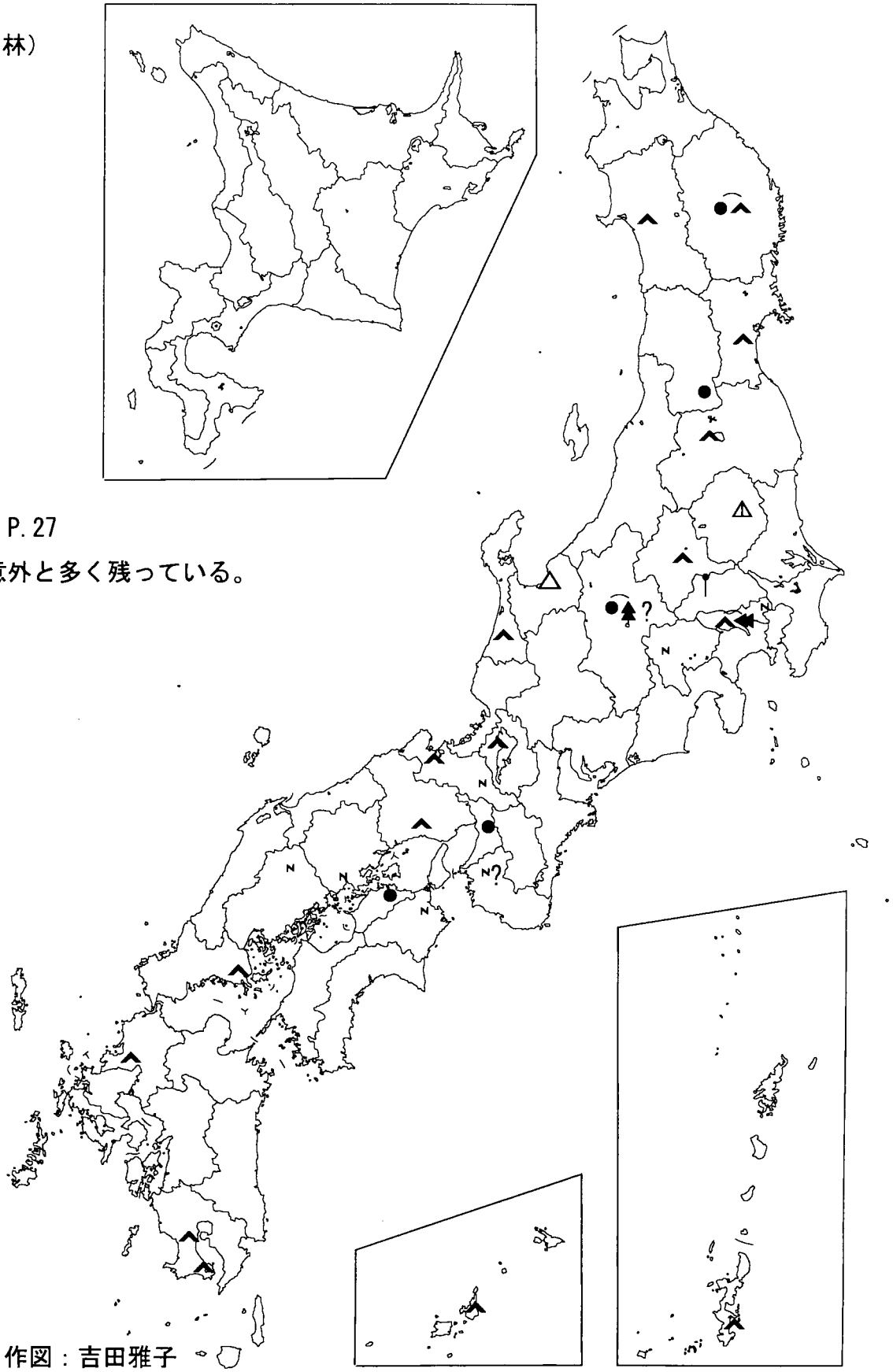


JL-123　はやし（林）

● ハヤシ
^ ヤマ
△ サトヤマ
⚠ ゾーキヤマ
ゾーキバヤシ
サンリン
ヘーチリン
N 無回答
? 実感がない

『方言の地図帳』P.27

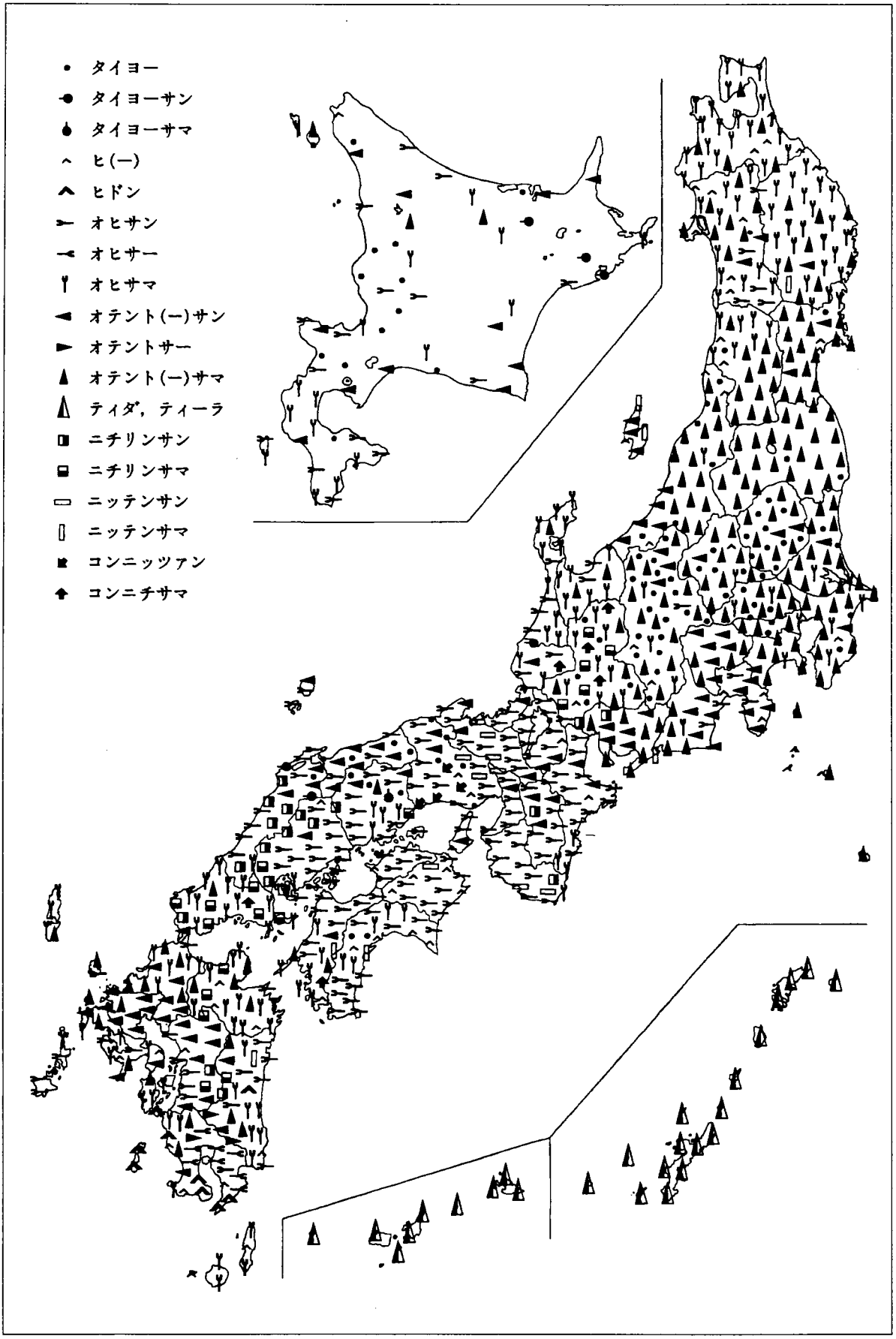
・ヤマの分布が意外と多く残っている。



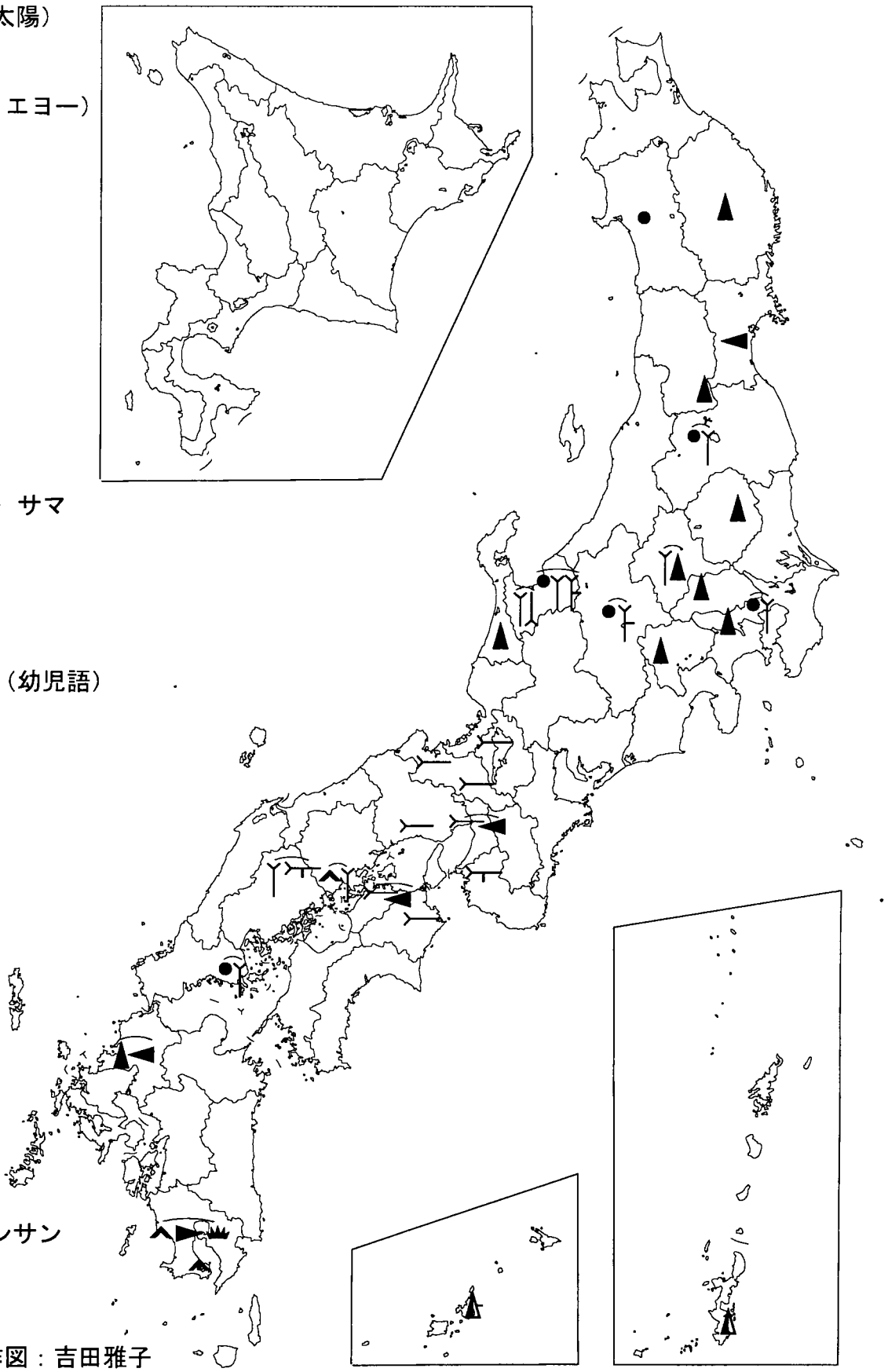
作図：吉田雅子

11

たいよう（太陽）


タイヨー
タイヨーサン
タイヨーサマ
ヒ(ー)
ヒドン
オヒサン
オヒサー
オヒサマ
オテント(ー)サン
オテントサー
オテント(ー)サマ
ティダ，ティーラ
ニチリンサン
ニチリンサマ
ニッテンサン
ニッテンサマ
コンニッツアン
コンニチサマ

JL-124　たいよう（太陽）



『方言の地図帳』P. 11

・ニチリン系

　ニッテン系

　コンニチ系

　出現せず。

・幼児語としてナンナンサン

　28　鹿児島県　日置

作図：吉田雅子

5.3. 文法

日高水穂・舩木礼子・高木千恵

①資料の概要

この資料は、2009年に実施した「全国方言準備調査」31地点の調査結果のうち、下記の文法関連項目について、回答語形を整理し、記号を付したものである。

Ⅰ　活用関係(72項目)

Ⅱ　名詞句・接続句関係：格・とりたて・条件表現など(61項目)

Ⅲ　述語句関係：授受・ヴォイス・アスペクト・テンス・モダリティ(44項目)

Ⅳ　談話・待遇関係(47項目)

項目の配列は、上記の分類に従って配列を改めたため、質問番号順とは必ずしも一致しない。また、回答語形欄は原則として、調査項目の該当形式のみを記載し、質問文の対象外の要素が回答されていた場合には、これを削除してある(例：JG-001「起きる」hajagɯ ogirɯ→ogirɯ)。採用しなかった語形には「×」を付した。記号化は、高木、日高、舩木が担当した。

②調査項目の構成

「全国方言準備調査」の文法項目は、『方言文法全国地図』(GAJ)で取り上げられている項目(質問文等に若干の変更があるものも含む)と、新たに設定した項目からなる。それぞれの項目数は以下の通りである。

	GAJ項目	新規項目	合計
Ⅰ　活用関係	46	26	72
Ⅱ　名詞句・接続句関係	41	20	61
Ⅲ　述語句関係	27	17	44
Ⅳ　談話・待遇関係	17	30	47

以下の項目名に[G]を付したものが、GAJ項目である。

Ⅰ　活用関係
JG-001　起きる[G]
JG-002　起きる人
JG-003　起きない[G]
JG-004-b　起きた
JG-005　起きれば[G]
JG-006　起きろ[G]
JG-007　開ける[G]
JG-008　開けない[G]
JG-009　開けた
JG-010-b　開けろ[G]
JG-011　寝る[G]
JG-012　寝ない[G]
JG-013-b　寝た
JG-014　寝ろ
JG-015　見る
JG-016　見た
JG-017-b　見ろ[G]
JG-018-b　書く[G]
JG-019　書く人[G]
JG-020　書かない[G]
JG-021　書いた
JG-022　書けば[G]
JG-023-b　書け
JG-024-b　切らない
JG-025-b　切った
JG-026-b　切れ
JG-027　出した[G]
JG-028　研いだ[G]
JG-029　飛んだ[G]
JG-030-b　飲んだ[G]
JG-031　買った[G]
JG-032-b　来る[G]

JG-033-b　来ない[G]
JG-034-b　来た
JG-035-b　来い[G]
JG-036　する[G]
JG-037　しない[G]
JG-038　した
JG-039　しろ[G]
JG-040　死ぬ[G]
JG-041　高い
JG-042　高い物[G]
JG-043　高くなる[G]
JG-044　高くて[G]
JG-045　高く
JG-060　高くない[G]
JG-061　高くはない
JG-046　高かった[G]
JG-047　高ければ[G]
JG-048　静かだ[G]
JG-049　静かな所[G]
JG-050　静かでない[G]
JG-051　静かだった[G]
JG-052　静かなら[G]
JG-053　足りない[G]
JG-056　知らない
JG-057　知りはしない
JG-058　見ない[G]
JG-059　見はしない[G]
JG-063　見なかった
JG-054　行かない
JG-055　行きはしない
JG-062　行かなかった[G]
JG-064　行かなくなる
JG-065　行かなければ[G]
JG-066　行かなくて[G]
JG-079-b　行かないで[G]
JG-080-b　行く
JG-077-b　行った[G]
JG-078-b　行け
JG-081-b　着いた
JG-093-b　ない(否定形)[G]

Ⅱ　名詞句・接続句関係：格・とりたて・条件表現など

JG-018-a　おれが[G]
JG-023-a　おまえが[G]
JG-032-a　が：どろぼうが[G]
JG-168-a　が：先生が[G]
JG-033-a　が：台風が[G]
JG-034-a　が：バスが
JG-067-b　の：おれの[G]
JG-069　の：おまえの
JG-070　の：バスの
JG-071　の：台風の
JG-072　の：先生の[G]
JG-074　の：どろぼうの[G]
JG-075　の：長男の
JG-076　の：次男の
JG-068　の：おれのだ[G]
JG-073　のだ：先生のだ
JG-083-b　あるのは[G]
JG-067-a　は：それは
JG-010-a　を：窓を[G]
JG-017-a　を：先生を
JG-024-a　を：木を
JG-025-a　を：指を
JG-026-a　を：髪を
JG-030-a　を：酒を[G]
JG-077-a　に：学校に
JG-078-a　へ：東の方へ[G]
JG-079-a　に：仕事に[G]
JG-080-a　に：見に[G]
JG-081-a　に：東京に[G]
JG-082　に：大工に[G]
JG-083-a　に：ここに[G]
JG-162-a　に：家に
JG-004-a　に：五時に
JG-141-a　に：孫に(本をやる)[G]
JG-086　に：息子に(手伝ってもらった)[G]
JG-087-a　に：友達に(助けられた)
JG-088-a　に：犬に(追いかけられた)[G]
JG-013-a　座布団で(寝た)
JG-035-a　で：車で(来い)[G]
JG-084　で：運動場で(遊ぶ)[G]
JG-085　で：一万円で(お願いします)[G]
JG-089　と：田中という人[G]
JG-090　と：来ると言っていた
JG-091　ばかり：雨ばかり[G]
JG-092　ごと：皮ごと[G]
JG-093-a　しか：百円玉しか(ない)[G]
JG-095　だけ：皮だけ(食べた)[G]
JG-096　だけ:百円玉だけ(ない)
JG-097　でも：お茶でも[G]
JG-094-a　ながら：食いながら[G]
JG-098　から：降っているから[G]
JG-099　けれども:寒いけれども[G]
JG-108　降れば(出ないだろう)[G]
JG-106　降ったら(行かない)[G]
JG-102　行ったら(終わっていた)[G]
JG-103　行くと(だめになりそうだ)[G]
JG-104　行ったら(電話しろ)
JG-105　書くなら(きれいに書いてくれ)[G]
JG-107　高いなら(買わない)[G]
JG-100　ても：行かなくても[G]
JG-101　たって:行ったってだめだ[G]

Ⅲ　述語句関係：授受・ヴォイス・アスペクト・テンス・モダリティ

JG-141-b　やる
JG-142　やった
JG-143　読んでやる
JG-144　読んでやった
JG-145　来させる[G]
JG-087-b　助けられた
JG-088-b　追いかけられた
JG-109　走っている(進行)
JG-110　散っている(進行)[G]
JG-111　読んでしまった(完了)[G]
JG-112-a　食べかける・食べかけている(始動a)

JG-112-b　食べかける・食べかけている(始動 b)
JG-113　いるか(非過去：あいさつ)[G]
JG-114　いた(過去-体験)[G]
JG-115-a　行ったなあ(過去-共有体験)[G]
JG-115-b　行った(過去-体験)
JG-115-c　行った(過去-非体験)
JG-116-a　強かった(過去-他)[G]
JG-116-b　強かった(過去-自)
JG-117　いたそうだ(伝聞過去-非体験)[G]
JG-118　読むことができない(能力可能)[G]
JG-119　読むことができる(能力可能)[G]
JG-120　読むことができない(状況可能)[G]
JG-121　読むことができる(状況可能)[G]
JG-122　着ることができない(能力可能)[G]
JG-123　着ることができる(能力可能)[G]
JG-124　着ることができない(状況可能)[G]
JG-125　着ることができる(状況可能)[G]
JG-126　雨だ
JG-127　雨だった
JG-128　雨だろう[G]
JG-129　行くだろう[G]
JG-130　行くのだろう[G]
JG-131　行っただろう[G]
JG-132　行ったのだろう
JG-133　あるじゃないか
JG-134　あるんじゃないか
JG-135　行かなければならない[G]
JG-136　書こう(意志)[G]
JG-137　起きよう(意志)[G]
JG-138　行くまい(意志)[G]
JG-139　行きたいなあ[G]
JG-140　行ってもらいたい[G]
JG-094-b　歩くな(禁止)[G]

Ⅳ　談話・待遇関係

JG-146　(飲むのか)いや,飲まない
JG-147　(飲むのか)うん，飲む
JG-148　(飲まないのか)うん,飲まない
JG-149　(飲まないのか)いや,飲む
JG-150　(自分が)来る：A 場面[G]
JG-151　(自分が)来る：B 場面[G]
JG-152　(聞き手が)書くか：0 場面
JG-153　(聞き手が)書くか：A 場面[G]
JG-154　(聞き手が)書くか：B 場面[G]
JG-155　(聞き手が)書くか:父親に
JG-156　(聞き手が)書くか:配偶者に
JG-157　(聞き手が)書くか：本家・分家の主人に
JG-158　(聞き手が)行くか：A 場面
JG-159　(聞き手が)行くか：B 場面[G]
JG-160　(聞き手が)来るか：A 場面
JG-161　(聞き手が)来るか：B 場面[G]
JG-162-b　(聞き手が)いるか：0 場面
JG-163　(聞き手が)いるか：A 場面[G]
JG-164　(聞き手が)いるか：B 場面[G]
JG-165　(聞き手が)いるか:父親に[G]
JG-166　来い：A 場面
JG-167　来い：B 場面[G]
JG-168-b　先生が来る：0 場面
JG-169　先生が来る：A 場面
JG-170　先生が来る：父親に
JG-171　近所の知り合いが来る：0 場面
JG-172　友達が来る：0 場面
JG-173　自分の父親が来る：0 場面
JG-174　自分の父親が来る：A 場面[G]
JG-175　自分の父親が来る：B 場面[G]
JG-176　自分の父親が来る:母親に
JG-177　自分の配偶者が来る：0 場面
JG-178　雨だ：A 場面[G]
JG-179　雨だ：B 場面[G]
JG-180　太陽がのぼった
JG-181　おはよう(近所の目上に)[G]
JG-182　おはよう(友達に)[G]
JG-183-a　おはよう(家族(配偶者)に)
JG-183-b　おはよう(家族(孫)に)
JG-184　ありがとう[G]
JG-185-a　いただきます(言語行動)
JG-185-b　いただきます(非言語行動)
JG-186-a　ごちそうさま(言語行動)
JG-186-b　ごちそうさま(非言語行動)
JG-187-a　感覚(熱い)
JG-187-b　感情(恐い)
JG-187-c　状態(高い)

Ⅰ 活用

番号	調査票	地点	JG-001 起きる	JG-002 起きる人	JG-003 起きない	JG-004-b 起きた	JG-005 起きれば
1	08日高	秋田県 秋田市	○ okirɯ	○ okirɯçito	◎ okine	○ okida	○ okire[ɴba
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ ogirɯ	○ ogirɯ çito	◎ ogine	○ ogida	○ ogireba
3	08小林	宮城県 仙台市	○ okirɯ	○ oḳirɯçito	◎ ogine	○ ogita	○ ogireba
4	08竹田	山形県 米沢市	○ ogirɯ	○ ogirɯ çito	◎ ogine	○ ogida	△ ogitto
5	09小林	福島県 会津若松市	○ okirɯ	○ okirɯçito	○ 1 okinai ◎ 2 okinena:	○ okita	△ ogitto
6	09新井	栃木県 さくら市	○ ogirɯ	○ ogirɯ çito	◎ ogine:	○ okita	○ ogireba
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ okirɯ	○ okirɯ ʃito	◎ okine:	○ okita	○ 1 okireba ♀ 2 okiria
8	08新井	埼玉県 上里町	○ okirɯ	○ okirɯçito	○ okinai	○ oḳita	○ okireba
9	09三井	東京都 品川区	○ okirɯ	○ okirɯçito	○ okinai	○ oḳita	○ okireba
10	08三井	東京都 立川市	○ okirɯ	○ okirɯçito	◎ okine:	○ oḳita	● 1 okiroba ♀ 2 okiria:
11	09吉田	山梨県 早川町	○ okirɯ	N × hajaokino çitoda	@ 1 okino: 2 okino:do:de	@ okito:do:jo	※ 1 okirɯ datto:ga ○ 2 okireba
12	08沖	長野県 松本市	○ okirɯ	○ okirɯ çito	○ okinai	○ okita	♀ okirja
13	08中井	富山県 富山市	○ okirɯ	○ 1 okirɯçito 2 × hajaokisɯrɯcito	△ okiɴ	○ okita	♀ okirja
14	09大西	富山県 砺波市	◎ okkerɯ	◎ okkerɯçito	▽ okkeŋ	◎ okketa	◎ 1 okkerja ♀ 2 okkiria
15	09中井	石川県 小松市	○ okirɯ	○ okirɯ	△ okiɴne	○ okita	# 1 okire ♀ 2 okiria
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ okirɯ	○ okirɯ çitoda	△ okiɴna:	○ okitado:	♪ okitara
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ okirɯ	○ okirɯ çito	△■ 1 okiɴ , 2 okiçiɴ , $ 3 okijoraɴ , 4 okitoraɴ	○ okita	♪ okitara
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ okirɯ	○ 1 okirɯ ♀ 2 okiharɯ	■ 1 okihiɴ 2 × okitekiharaheɴ	○ okita ɴ e	♪ okitara
19	08高木	大阪府 大阪市	○ okiru	○ okiru	□ 1 okiheɴ ◇ 2 okeheɴ	○ okita	♪ okita:
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ okirɯ	○ okirɯ	▼ 1 okijaɴ ◇ 2 okeheɴ	○ okita	♪ okitara
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ okiru	○ okirumoɴ	■ okiiɴ	○ okita	♪ okitara
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ okiru	○ okiruçito	□ 1 oki:heɴ △ 2 okiɴ	○ okita	♪ okitara
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ okiru	○ okiru	△ okiɴ	○ okita	♪ okitara
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ okiru	○ okiruçito	△ okiɴ	○ okita	♪ okitara
25	08小西	広島県 三次市	○ okiru	○ okiruçito	△ okiɴ	○ okita	♀ okirja:
26	08舩木	山口県 光市	○ okirɯ	○ okirɯçito	△ okiɴ	○ okita	♀ okirja:
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ 1 okiru ● 2 okuru	○ okiruçito	△ okiɴ	○ okita	♀ okirja:
28	08木部	鹿児島県 日置市	△ 1 okit ▽ 2 oki:	▽ oki: ɸito	▲ okiraɴ	○ okita	○ okireba
29	08大西	鹿児島県 南九州市	▽ 1 ogi: △ 2 ogi?	▽ 1 ogi:çito 2 ogi:ia?	▲ ogiraɴ	▲ ogitta	○ ogireba
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	☆ 1 ʔukijuɴ ★ 2 ʔuki:ɴ	◇ ʔukijuru ttʃu	☆ ʔukiraɴ	☆ ʔukitaɴ	★ ʔukire:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	* ugiruɴ	◆ ugiru pitu	★ ugiranu	* ugirutaɴ	☆ ugiriba
【凡例】			○ オキル類 ◎ オッケル ● オクル △ オキッ類 ▽ オキー類 ☆ ウキユン ★ ウキーン * ウギルン	○ オキル類 ◎ オッケル △ オキッ ▽ オキー類 ◇ ウキユル ◆ ウギル * ウギルン ♀ オキハル N 無回答・無効回答	○ オキナイ ◎ オキネー類 @ オキノー △ オキン ▽ オッケン ■ オキヒン・オキイン □ オキヘン・オキーヘン ◇ オケヘン ▲ オキラン・オギラン ▼ オキヤン ☆ ウキラン ★ ウギラヌ $ オキヨラン・オキトラン	○ オキタ類 @ オキトー ◎ オッケタ ▲ オギッタ ☆ ウキタン * ウギルタン	○ オキレバ類 ♀ オキリャ類 ● オキロバ ◎ オッケリャ類 △ オギット ♪ オキタラ類 ★ ウキレー ☆ ウギリバ ※ オキル # オキレ
記号化担当			日高水穂	日高水穂	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-006 起きろ	JG-007 開ける	JG-008 開けない	JG-009 開けた	JG-010-b 開けろ
1	08日高	秋田県 秋田市	● okire	○ agerɯ	◎ agene	○ ageda	● agere
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	● 1 ogire ○ 2 ogiro	○ agerɯ	◎ agene	○ ageda	○ 1 agero † 2 agede kede
3	08小林	宮城県 仙台市	○ ogiro	○ akerɯ	○ akenai	○ ageta	♀ 1 akesaiɴ ○ 2 akero
4	08竹田	山形県 米沢市	○ ogiro	○ agerɯ	◎ agene	○ ageda	○ agero
5	09小林	福島県 会津若松市	○ okiro	○ akerɯ	◎ agene	○ aketa	○ akero
6	09新井	栃木県 さくら市	○ ogiroja	○ agerɯ	○ 1 agenai ◎ 2 agene	○ 1 ageta 2 ageda	○ akero
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ okiro	○ akerɯ	◎ akene:	○ aketa	○ akero
8	08新井	埼玉県 上里町	○ okiro	○ akerɯ	○ akenai	○ aketa	■ 1 akena ○ 2 akero
9	09三井	東京都 品川区	□ 1 okinasai ○ 2 okiro	○ akerɯ	○ akenai	○ aketa	# 1 aketehoʃii ○ 2 akero
10	08三井	東京都 立川市	○ 1 okiro 2 okiroi	○ akerɯ	○ 1 akenai ◎ 2 akene:	○ aketa	○ akero
11	09吉田	山梨県 早川町	○ okiro:	○ akerɯ	@ akeno:	@ aketo:jo	○ akero
12	08沖	長野県 松本市	■ okina	○ akerɯ	○ akenai	○ aketa	= akete
13	08中井	富山県 富山市	♂ okirare	○ akerɯ	△ akeɴ	○ aketa	○ akero
14	09大西	富山県 砺波市	∀ 1 okkeŋnja △ 2 okkenkai	○ akerɯ	△ akeŋ	○ aketa	∀ 1 akennja △ 2 akenkai
15	09中井	石川県 小松市	▽ 1 okiɴŋaka ◇ 2 okiia	○ akerɯ	△ 1 akeɴ ○ 2 akenai	○ aketa	▽ 1 akeɴŋaka ◇ 2 akeia
16	09松木	京都府 与謝野町	○◎ 1 okiro , 2 okijo: , ≦ 3 okina akaɴdo:	○ akerɯ	◇ akehendo:	○ aketado:	◎ akejo
17	08松丸	滋賀県 高島市	◎ okijo	○ akerɯ	△ 1 akeɴ ◇ 2 akehen	○ aketa	◇ 1 akeja = 2 akete
18	09渋谷 A	京都府 京都市	◇ okijoʃi	○ akerɯ	◇ akehen	○ aketa	◇ akejoʃi
19	08高木	大阪府 大阪市	◇ 1 okija , △ 2 okiɴkaina , 3 okiɴ	○ akeru	◇ akehen	○ aketa	○ = 1 akero , 2 aketeja , 3 akeɴ △ kaina , 4 × aketekurena akaɴ
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	◎ okijo	○ akerɯ	◇ akehen	○ aketa	◎ akejo
21	08都染	兵庫県 姫路市	◇ oki:	○ akeru	◇ akehen	○ aketa	◇ ake
22	08岸江	徳島県 徳島市	◎ okijo	○ akeru	◇ akehen	○ aketa	◇ ake
23	09岸江	香川県 東かがわ市	◇△ 1 oki: , 2 okiɴka , ◎ 3 okiio:	○ akeru	△ akeɴ	○ aketa	◇ 1 ake: ◎ 2 akejo
24	09小西	岡山県 笠岡市	△ 1 okiɴka ◇ 2 oki:	○ akeru	△ akeɴ	○ aketa	◇ ake:
25	08小西	広島県 三次市	◇ oki:	○ akeru	△ akeɴ	○ aketa	◇ 1 ake: , 2 ake:ja , 3 ◆ akenaija
26	08松木	山口県 光市	◇△ 1 oki , 2 okiɴka , ○ 3 okiro	○ 1 akerɯ 2 × tatsɯ	△ akeɴ	○ aketa	◇ ake:ja
27	08杉村	福岡県 福岡市	● okire	○ 1 akeru ● 2 akuru	△ akeɴ	○ aketa	○ 1 akero ● 2 akere
28	08木部	鹿児島県 日置市	● 1 okire ∝ 2 okiiai	▼ 1 akɯi ▲ 2 akɯt	△ akeɴ	○ aketa	◇ 1 ake: ∝ 2 akeiai
29	08大西	鹿児島県 南九州市	● ogire	▼ 1 agui ▲ 2 agu?	△ ageɴ	○ ageda	◇ age
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	★ 1 ?ukirani ☆ 2 ?ukire:	☆ 1 ?akijuɴ ★ 2 ?aki:ɴ	☆ ?akiraɴ	☆ ?akitaɴ	☆ ?akire:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	☆ ugiri	* agiruɴ	★ agiranu	☆ agitaɴ	☆ agiri
【凡例】			○ オキロ類 ◎ オキヨ ● オキレ類 □ オキナサイ ■ オキナ ♂ オキラレ ≦ オキナアカン △ オキンカ類 ▽ オキンガナ ∀ オッケンニャ ◇ オキ・オキヨシ ∝ オキヤイ ★ ウキラニ ☆ ウキレー・ウギリ	○ アケル類 ● アクル ▼ アクイ ▲ アクッ ☆ ッアキユン ★ ッアキーン * アギルン	○ アケナイ類 ◎ アケネー類 @ アケノー △ アケン類 ◇ アケヘン ☆ アキラン ★ アギラヌ	○ アケタ類 @ アケトー ☆ アキタン・アギタン	○ アケロ類 ◎ アケヨ ● アケレ類 ■ アケナ △ アケンカ類 ▽ アケンガナ ∀ アケンニャ ◇ アケ類 † アゲテケデ # アケテホシー = アケテ ♀ アケサイン ∝ アケヤイ ◆ アケナイヤ ☆ アキレー・アギリ
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-011 寝る	JG-012 寝ない	JG-013-b 寝た	JG-014 寝ろ	JG-015 見る
1	08日高	秋田県 秋田市	○ nerɯ	◎ nene	○ neda	● nere	○ mirɯ
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ nerɯ	◎ 1 nene ○ 2 nenai	○ neda	○ nero	○ mirɯ
3	08小林	宮城県 仙台市	○ nerɯ	◎ nene	○ neta	♀ nesaiɴ	○ mirɯ
4	08竹田	山形県 米沢市	○ nerɯ	◎ nene	○ neda	○ nero	○ mirɯ
5	09小林	福島県 会津若松市	♂ nembena:	○ 1 nenai ◎ 2 nenena:	○ netana:	○ 1 nero 2 nerojo:	○ mirɯ
6	09新井	栃木県 さくら市	○ nerɯ	◎ nene:	○ neda	○ neroja	○ mirɯ
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ nerɯ	○ nenai	○ neta	○ 1 nero , 2 neroja , 3 ■ nena	○ mirɯ
8	08新井	埼玉県 上里町	○ nerɯ	○ nenai	○ neta	○ nero	○ mirɯ
9	09三井	東京都 品川区	○ nerɯ	○ nenai	○ neta	□ 1 nenasai ○ 2 nero	○ mirɯ
10	08三井	東京都 立川市	○ nerɯ	◎ nene:	○ neta	○● 1 nero , 2 nere , 3 netʃe: ♯	○ mirɯ
11	09吉田	山梨県 早川町	∞ ɯnnerɯ	@ 1 neno:jo ∞ 2 ɯnneno:	@ 1 neto: ∞ 2 ɯnneto:	∞ ɯnnero	○ mirɯ
12	08沖	長野県 松本市	○ 1 nerɯ , 2 netara , ♪ 3 × jasɯndara	○ nenai	○ neta	□ 1 ×jasɯmina 2 nenasai	○ mirɯ
13	08中井	富山県 富山市	○ nerɯ	△ neɴ	○ neta	♂ nerare	○ mirɯ
14	09大西	富山県 砺波市	○ nerɯ	△ neŋ	○ neta	▽△ 1 neʃʃaŋka , 2 neŋka , 3 ∀ nennja	○ mirɯ
15	09中井	石川県 小松市	○ nerɯwa	△ naɴwa	○ neta	○ 1 nero ◇ 2 ne:	○ mirɯ
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ nerɯ	△ 1 neɴ ◇ 2 ne:heɴ	○ netaɺa	◇○ 1 ne:jo , 2 nero , 3 ≦ nenaakaɴdo:	○ mirɯ
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ nerɯ	△ 1 neɴ ◇ 2 ne:heɴ	○ neta	◇ 1 ne:na , 2 ne: , 3 ne:ja	○ mirɯ
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ nerɯ	◇ ne:heɴ	○ neta	◇ nejoʃi	○ mirɯ
19	08高木	大阪府 大阪市	○ neru	◇ ne:heɴ	○ neta	△ neɴkaina	○ miru
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ nerɯ	▼ 1 nejaɴ ◇ 2 ne:heɴ	○ neta	◎ nejo	○ mirɯ
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ neru	◇ ne:heɴ	○ neta	◇ ne:	○ miru
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ neru	◇ ne:heɴ	○ neta	△ 1 neɴkai ◇ 2 ne:	○ miru
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ neru	△ neɴ	○ neta	◇ 1 ne: , 2 ne:jo , △ 3 neɴka	○ miru
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ neru	△ neɴde	○ neta	◇ ne:jo	○ miru
25	08小西	広島県 三次市	○ neru	△ neɴ	○ neta	◇ 1 ne:ja 2 ne:	○ miru
26	08舩木	山口県 光市	○ nerɯ	△ neɴ	○ neta	◇ ne:	○ mirɯ
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ neru	△ 1 neɴ ▲ 2 neraɴ	○ neta	▲△ 1 neraŋka , 2 neŋka , 3 ● nere	○ miru
28	08木部	鹿児島県 日置市	▽ nei	▲ neraɴ	▲ netta	● 1 hajo nere ∝ 2 hajo ne:jai	△ mit
29	08大西	鹿児島県 南九州市	▲▼ 1 nju? , 2 njui , △▽ 3 nje? , 4 njei	▲ njeraɴ	○ 1 njeda ▲ 2 njetta	● 1 njere ▲ 2 nieranka	▽ 1 mi: △ 2 mi?
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	☆ niɴdʒuɴ	☆ niɴdaɴ	☆ niɴtaɴ	☆ 1 niɴde: ★ 2 niɴdani	☆ ˈnːdʒuɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	※ nuɸuɴ	★ nuɸanu	* nuɸɥtaɴ	* nuɸɸi	★ mi:ruɴ
【凡例】			○ ネル △ ニェッ ▽ ネイ・ニェイ ▲ ニュッ ▼ ニュイ ☆ ニンジュン ※ ヌフン ∞ ウンネル ♂ ネンベナー ♪ ネタラ	○ ネナイ ◎ ネネ・ネネー @ ネノー ∞ ウンネノー △ ネン ◇ ネーヘン ▼ ネヤン ▲ ネラン・ニェラン ☆ ニンダン ★ ヌファヌ	○ ネタ類 @ ネトー ∞ ウンネトー ▲ ネッタ・ニェッタ ☆ ニンタン * ヌフタン	○ ネロ ∞ ウンネロ ◎ ネヨ ● ネレ・ニェレ □ ネナサイ ■ ネナ ◇ ネー・ネヨシ ♯ ネチェー △ ネンカ類 ▲ ネランカ ▽ ネッシャンカ ∀ ネンニャ ≦ ネナアカン類 ♂ ネラレ ♀ ネサイン ∝ ネーヤイ ☆ ニンデー ★ ニンダニ * ヌッフィ	○ ミル △ ミッ ▽ ミー ☆ ンージュン ★ ミールン
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-016 見た	JG-017-b 見ろ	JG-018-b 書く	JG-019 書く人	JG-020 書かない
1	08日高	秋田県 秋田市	○ mida	● mire	○ kagɯ	○ kagɯçito	◎ kagane
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ mida	○= 1 miro , 2 mite , 3 miɯ & mose	○ kagɯ	○ kagɯçito	◎ kagane
3	08小林	宮城県 仙台市	○ mita	♀ misaiɴ	○ kakɯɻara	○ kagɯçito	◎ kagane
4	08竹田	山形県 米沢市	○ mida	○ miro	○ kagɯ	○ kagɯ çito	◎ kagane
5	09小林	福島県 会津若松市	○ mitana:	○ mirojo:	○ kakɯkarana:	○ kakɯçito	○ 1 kakanai ◎ 2 kaɻanena:
6	09新井	栃木県 さくら市	○ mida	○ miro	○ kakɯ	○ 1 kagɯ çito 2 kakɯ çito	○ kaganai
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ mita	○ miro	○ 1 kakɯjo 2 kakɯdzo	○ kakɯ ʃito	○ kakanai
8	08新井	埼玉県 上里町	○ mita	○ miro	○ kakɯ	○ kakɯçito	○ kakanai
9	09三井	東京都 品川区	○ mita	♪ 1 mitara ○ 2 miro	♀ 1 kakimasɯ ○ 2 kakɯ	○ kakɯçito	○ kakanai
10	08三井	東京都 立川市	○ mita	○ miro	○ kakɯ	○ kakɯçito	○ kakanai
11	09吉田	山梨県 早川町	@ mito:jo	= 1 miteidejo ○ 2 miro:	# 1 kaka:	○ kakɯ çito	@ kakano:
12	08沖	長野県 松本市	○ mita	■○ 1 mina , 2 miro , 3 miroja	○ kakɯ	○ 1 kakɯ ʃito 2 kakɯ çito	○ kakanai
13	08中井	富山県 富山市	○ mita	♂ mirare	○ kakɯ	○ kakɯçito	○ 1 kakanai △ 2 kakaɴ
14	09大西	富山県 砺波市	○ mita	♂ 1 mitorarejo ∀ 2 minnja	○ kakɯttʃa	○ kakɯçito	△ 1 kakaŋ 2 kakaɴwa
15	09中井	石川県 小松市	○ mita	■ 1 minasai ◇ 2 mi:ja	○ kakɯwa	○ kakɯçito	△ 1 kakaɴ ○ 2 kakanai
16	09鮫木	京都府 与謝野町	○ mita	% 1 mitore:ja ≦ 2 mitoranaakaɴdo:	○ kakɯ	○ kakɯçito	△= 1 kakaɴ , 2 kakeheɴ , ＋ 3 jo:kakaɴ
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ mita	◇ 1 mi:jo , 2 mi:ja , 3 mi:	○ kakɯ	○ kakɯ çito	■ 1 kakaheɴ △ 2 kakaɴ
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ mita	◇ mijoʃi	○ kakɯ wa	○ kakɯçito	■ kakaheɴ
19	08高木	大阪府 大阪市	○ mita	○ miro	$ kaitokuwa:	○ kaku çito	◇ kakeheɴ
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ mita	◎ mijo	○ kakɯ	○ kakɯ	◇ kakeheɴ
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ mita	◇ mi:	○ kaku	○ kakuçito	■ 1 kakaheɴ ◆ 2 kakaeɴ
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ mita	■ minajo	○ kaku	○ kakuçito	◇ kakeheɴ
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ mita	◇ mi:	% kaita	○ kaku çito	△ kakaɴ
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ mita	◇ mi:	○ kaku	○ kakuçito	△ kakaɴ
25	08小西	広島県 三次市	○ mita	◇ 1 mi: 2 mi:ja	○ kaku	○ kakuçito	△ kakaɴ
26	08鮫木	山口県 光市	○ mita	◇$ 1 mi: , 2 mitsokejo: , ○ 3 miro	○ kakɯ	○ kakɯçito	△ kakaɴ
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ mita	▲▽ 1 miraŋka , 2 mijoraŋka , ● 3 mire	○ kaku	○ kaku çito	△ kakaɴ
28	08木部	鹿児島県 日置市	○ mita	● 1 mire ∝ 2 mijai	△ kat	△ ka? çito	△ kakaɴ
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ mida	● 1 mire ▲ 2 miraŋka	△ ka?	△ ka?ja?	△ kagaɴ
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	★ ˈnːtʃaɴ	☆ 1ˈnːde: ★ 2ˈnːdani	＊ 1 katʃusa ☆ 2 katʃuɴ	◇ katʃuru tʃu	△ kakaɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	☆ mirutaɴ	＊ mi:ri	★ kaɸuɴ	◆ kaɸɥ pitu	★ kaɻanu
【凡例】			○ ミタ類 @ ミトー ★ ンーチャン ☆ ミルタン	○ ミロ ◎ ミヨ ● ミレ ∞ ミトレ □ ミナサイ ■ ミナ・ミナヨ ♂ ミラレ・ミトラレヨ ≦ ミトラナアカン類 ▲ ミランカ ▽ ミヨランカ ◇ ミー・ミヨシ ∀ ミンニャ ∝ ミヤイ = ミテ・ミテイデヨ & ミルモセ ♀ ミサイン ♪ ミタラ ☆ ンーデー ★ ンーダニ ＊ ミーリ $ ミチョケヨ	○ カク類 △ カッ ☆ カチュン ★ カフン ＊ カチュサ # カカー $ カイトク % カイタ ♀ カキマス	○ カク類 △ カッ ◇ カチュル ◆ カフ	○ カカナイ類 ◎ カカネ類 @ カカノー △ カカン類 ★ カカヌ ■ カカヘン ◇ カケヘン ◆ カカエン = カケヘン（不可能） ＋ ヨーカカン（不可能）
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-021 書いた	JG-022 書けば	JG-023-b 書け	JG-024-b 切らない	JG-025-b 切った
1	08日高	秋田県 秋田市	○ kaẹta	○ kage[ɴba	○ kage	◎ kïrane	○ kïtta
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ kaida	○ kageba	○ kage	◎ kirane	○ 1 × kinnaŋɯtta 2 kitta
3	08小林	宮城県 仙台市	○ kaita	○ kageba	♀ 1 kagaiɴ ♪ 2 kaitaraittʃa	♀ kiɴne	○ kitta
4	08竹田	山形県 米沢市	○ kaida	♪ 1 kaidara ○ 2 kageba	○ kage	♀ kiɴne	○ kitta
5	09小林	福島県 会津若松市	○ kaita	○ kakeba	○ kake	○ 1 kiranai ♀ 2 kinnedzo:	○ 1 kitta = 2 kʲçïttsuïmattana:
6	09新井	栃木県 さくら市	○ kaita deja	○ kageba egatta	○ kage ja	● 1 kiɴnai ○ 2 kiranai	= kittʃatta
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ kaita	○ 1 kakeba ♀ 2 kakia	○ 1 kake † 2 kaitokɯre	○ kiranai de	○ kitta
8	08新井	埼玉県 上里町	○ kaita	○ 1 kakeba ♀ 2 kakia:iokatta	○ kake	○ 1 kiranai ♀ 2 kiɴne:	○ kitta
9	09三井	東京都 品川区	○ kaita	○ kakeba	† 1 kaitekɯrereba ○ 2 kake	○ kiranai	○ ķitta
10	08三井	東京都 立川市	○ kaita	♀ 1 kakja: 2 kakia	○ kake	○ kiranai	○ kitta
11	09吉田	山梨県 早川町	@ kaito:	○ kakeba	† kaitekɯrjo:	@ 1 × kittʃanaranɯ 2 kiraɴdai	@ çikkitto:
12	08沖	長野県 松本市	○ kaita	♀ kakja	♪ 1 kaitara , 2 kaite , 3 = kaiteio	○ kiranai	○ kitta
13	08中井	富山県 富山市	○ kaita	$ 1 kaitokja ♀ 2 kakia	♂ kakare	△ kiraɴ	○ kitta
14	09大西	富山県 砺波市	○ kaita	♀ kakja	♂ 1 kakare ○ 2 kake	△ kirantʃa	○ kitta
15	09中井	石川県 小松市	○ kaita	○ 1 kakeba ♀ 2 kakia	○ kake	○ 1 kiranai △ 2 kiraɴ	○ kitta
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ kaitado:	♪ kaitara	○ kake:ja	△ kiraɴdo	○ kitta
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ kaita	♪ kaitara	○ 1 kake , 2 kakeja , 3 kakeio	■ 1 kiraheɴ △ 2 kiraɴ	○ kitta
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ kaita	♪ kaitara	◇ 1 kakijoʃi = 2 kaite:na	■ kiraheɴ	○ kitta
19	08高木	大阪府 大阪市	○ kaita	% kaitoita	=◇ 1 kaitoiteja: , 2 kaitoki: ◎ na , 3 kaitoke:	◇ kireheɴwa	= 1 kitteʃimota ○ 2 kitta
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ kaita	♪ kaitara	○ kake	◇ kireheɴ	○ 1 kitta 2 × hatsɯtta
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ kaita	♪ kaitara	○ kake	■ kiraheɴ	○ kitta
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ kaita	♪ kaitara	○ kake	◇ kireheɴ	○ kitta
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ kaita	♪ kaitara	○ kake	△ kiraɴ	○ kitta
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ kaita	♪ kaitara	○ kake	△ kiraɴ	○ kitta
25	08小西	広島県 三次市	○ kaita	♀ kakja:	○ 1 kake 2 kakeia	△ kiraɴ	○ kitta
26	08舩木	山口県 光市	○ kaita	♀ kakja:	○ kake:ja	△ kiraɴ	○ kitta
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ kaita	$ 1 kaitokja ♀ 2 kakia:	∝ 1 kaitʃarijai ○ 2 kake	△ kiranto	○ kitta
28	08木部	鹿児島県 日置市	◎ keta	○ kakeba	○ 1 kake ∝ 2 kakkiai	△ kiraɴ	○ kitta
29	08大西	鹿児島県 南九州市	◎ keda	○ kageba	○ kage	△ kiraɴ	○ kitta
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	★ katʃaɴ	☆ katʃo:ke:	○ kake:	▲ tʃiraɴ	★ tʃittʃaɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	☆ kạkutaɴ	＊ kạkettʃa	◇ kạki	★ ķisanu	☆ ķiʃitaɴ
【凡例】			○ カイタ類 ◎ ケタ・ケダ ★ カチャン ☆ カクタン	○ カケバ類 ♀ カキャ類 $ カイトキャ ♪ カイタラ類 % カイトイタ(ラ) ☆ カチョーケー ＊ カケッチャ	○ カケ・カゲ ◇ カキ・カキヨシ □ カイトキーナ ◎ カイトケー ♀ カガイン ♂ カカレ ∝ カッキャイ・カイチャリヤイ † カイテクレ類 = カイテ・カイトイテ ♪ カイタラ・カイタライッチャ	○ キラナイ ● キンナイ ◎ キラネ ♀ キンネ @ キランダイ △ キラン ▲ チラン ■ キラヘン ◇ キレヘン ★ キサヌ	○ キッタ @ チッキットー ★ チッチャン ☆ キシタン = キッテシマッタ類
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-026-b 切れ	JG-027 出した	JG-028 研いだ	JG-029 飛んだ	JG-030-b 飲んだ
1	08日高	秋田県 秋田市	○ kïre	○ dasïta	○ toe̯[ɴda	○ toɴda	○ noɴda
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	● kiro	○ daʃita	○ toida	○ tonda	○ nonda
3	08小林	宮城県 仙台市	♀ 1 kittegaiɴ 2 kiraiɴ	○ daʃita	○ toida	○ tonda	○ nonda
4	08竹田	山形県 米沢市	○ kire	○ daʃita	○ toida	○ tonda	○ nonda
5	09小林	福島県 会津若松市	○ kire	○ daʃita	○ toida	○ tonda	○ nonda
6	09新井	栃木県 さくら市	○ kire	○ daʃita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
7	08高橋	群馬県 前橋市	□ 1 kirinasai ○ 2 kire	○ daʃita	○ toida	○ toɴda	○ 1 noɴda 2 noɴda
8	08新井	埼玉県 上里町	○ kire	○ daʃita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
9	09三井	東京都 品川区	○□ 1 kire , 2 kirinasai , ♪ 3 kittara	○ daʃita	○ toida	○ tonda	○ nonda
10	08三井	東京都 立川市	○ kire	○ daçita	○ toida	○ tonda	○ 1 nonda , 2 çinnonda , 3 ∞ × kɯratta
11	09吉田	山梨県 早川町	○ kire:	@ daito:	@ toido:	@ toɴdo:jo	○ 1 noɴda @ 2 noɴdo:
12	08沖	長野県 松本市	♪ 1 × midʒikakɯʃitara 2 kittara	○ daʃita	○ 1 toida ▲ 2 tonĩda	○ tonda	○ nonda
13	08中井	富山県 富山市	♂ kirare	△ daita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
14	09大西	富山県 砺波市	♂ kirarema	△ daita	■ tonda	○ tonda	○ nonda
15	09中井	石川県 小松市	○ kire	○ 1 daʃita △ 2 daita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ kire:ja	○ daʃita	○ 1 toida ◎ 2 toidoita	○ toɴda	○ noɴda
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ kire	○ daʃita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
18	09渋谷 A	京都府 京都市	◇ kirijoʃi	○ daʃita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
19	08高木	大阪府 大阪市	○ 1 kire 2 × kittoideja:	○ daʃita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ kire	○ daʃita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ kire	○ daʃita	○ toida	○ tonda	○ nonda
22	08岸江	徳島県 徳島市	□ 1 kirijo ■ 2 kiɴna	○ daʃita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ 1 kire 2 × tsume:	○ daʃita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ kire	○ daʃita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
25	08小西	広島県 三次市	○ kire	▽○ 1 dæ:ta , 2 daʃita , 3 △ daita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
26	08舩木	山口県 光市	○ kire	○ daʃita	○ toida	○ toɴda	○ noɴda
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ kire	△ 1 daita ○ 2 daʃita	○ toida	○ tonda	■ 1 no:da ○ 2 nonda
28	08木部	鹿児島県 日置市	○ 1 kire ∝ 2 ki:jai	▲ deta	● hotʃoo teda	○ 1 toɴda ▲ 2 tsɯda	○ noɴda
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ kire	▲ deda	□ tenda	○ tonda	○ nonda
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	☆ 1 tʃimire: ∞ 2 tʃire:	★ ʔɴdʒatʃaɴ	★ tudʒaɴ	* tudaɴ	* nudaɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	* 1 ɸu̟tsaçi ☆ 2 ʃimiri	☆ ndaɸu̟taɴ	☆ tugutaɴ	☆ tu̟pu̟taɴ	☆ numutaɴ
【凡例】			○ キレ ∞ チレー ● キロ □ キリナサイ ■ キンナ ◇ キリ・キリヨシ ♀ ｷｯﾃｶﾞｲﾝ･ｷﾗｲﾝ ♂ キラレ ∝ キーヤイ ☆ チミレー・シミリ * フツァヒ ♪ キッタラ	○ ダシタ・ダヒタ @ ダイトー △ ダイタ ▽ デァータ ▲ デタ・デダ ★ ンジャチャン ☆ ンダフタン	○ トイダ @ トイドー ● テダ ▲ トギダ ■ トンダ □ テンダ ◎ トイドイタ ★ トゥジャン ☆ トゥグタン	○ トンダ @ トンドー ▲ ツダ * トゥダン ☆ トゥプタン	○ ノンダ ∞ ヒノンダ @ ノンドー ■ ノーダ * ヌダン ☆ ヌムタン
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-031 買った	JG-032-b 来る	JG-033-b 来ない	JG-034-b 来た	JG-035-b 来い
1	08日高	秋田県 秋田市	○ katta	○ kɯrɯ	◎ kone	○ kĩta	† 1 kĩtekere ○ 2 koe
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ katta	○ kɯrɯ	◎ kone	○ kita	◎= † 1 ko˙ , 2 kite , 3 kitekede
3	08小林	宮城県 仙台市	○ katta	○ kɯrɯ	◎ kone	○ kita	♀ godzaiɴ
4	08竹田	山形県 米沢市	○ katta	○ kɯrɯ	◎ kone	○ kita	○ koi
5	09小林	福島県 会津若松市	○ katta	○ 1 × haindzo 2 kɯndzo:	◎ konena:	○ kita	# $ 1 kiranʃo , 2 kɕĩsejo: , 3 ○ koi
6	09新井	栃木県 さくら市	○ katta	○ kɯrɯ	◎ kone: na	○ kita deja	◎ ko:
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ katta	○ kɯrɯ	○◎ ● 1 konai , 2 kone: , 3 kine:	○ kita	＋ 1 kitekɯreɯ ○ 2 koi
8	08新井	埼玉県 上里町	○ katta	○ kɯrɯjo	♂ kinai	○ kʲita	○ koi
9	09三井	東京都 品川区	○ katta	○ kɯrɯ	○ konai	○ kʲita	○□ ♪ 1 koi , 2 kinasai , 3 kʲitara
10	08三井	東京都 立川市	○ katta	○ 1 kɯrɯ 2 kɯndzo	◎ ● 1 kone: 2 kine:	○ kita	○ 1 koi ■ 2 kinajo
11	09吉田	山梨県 早川町	○ 1 katta @ 2 katto:	○ 1 kɯrɯ 2 kɯrɯde	@ 1 × kodejoi 2 kono:dejoijo:	@ kito:jo:	◎ ▽ 1 ko: 2 koɴna
12	08沖	長野県 松本市	○ katta	○ kɯrɯ	○ konai	○ kita	= kite
13	08中井	富山県 富山市	■ ko:ta	○ kɯrɯ	△ koɴ	○ kita	♂ korare
14	09大西	富山県 砺波市	■ ko:ta	○ kɯrɯ	△ koŋ	○ kita	△< ♂ 1 koŋka , 2 konnja , 3 ko rare
15	09中井	石川県 小松市	■ ko:ta	N × hairɯ	○ △ 1 konai 2 koɴna:	○ kita	○ koija
16	09舩木	京都府 与謝野町	■ ko:ta	N × haittekɯrɯdo:	□ ke:heɴdo:	○ kitana:	○ koija
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ katta	$ 1 kijorɯ 2 kjorɯ	△▽◇ ■◆ 1 koɴ , 2 kiteɴ , 3 ko:he ɴ , 4 ki:hiɴ , 5 kja:heɴ	○ kita	○ = 1 koi , 2 koijo , 3 kite , 4 kiteja
18	09渋谷 A	京都府 京都市	■ ko:ta	○ kɯrɯ	◆ kijaheɴ	○ kita	‡ = 1 kite okɯrejasɯ 2 kiteja
19	08高木	大阪府 大阪市	# 1 ko:tekita ○ 2 katta	○ 1 × hairareɴde: 2 kuru	□ ke:heɴ	○ kita	= kiteja:
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	■ ko:ta	N × hairɯ	□ ke:heɴ	○ kita	○ koi
21	08都染	兵庫県 姫路市	■ ko:ta	○ kuru	◆ kijaheɴ	○ kita	○ koi
22	08岸江	徳島県 徳島市	■ ko:ta	○ kuru	△ □ 1 kon 2 ke:heɴ	○ kita	= kitejo
23	09岸江	香川県 東かがわ市	■ ko:ta	○ kuru	△ koɴ	○ 1 kita $ 2 kijotta	◇ ○ 1 ki: , 2 koi , 3 ki:jo
24	09小西	岡山県 笠岡市	■ ko:ta	○ kuru	△ koɴ	○ kita	○ koi
25	08小西	広島県 三次市	■ ko:ta	○ kuru	△ koɴ	○ kita	○ 1 koi 2 koija
26	08舩木	山口県 光市	■ ko:ta	○ 1 × hairɯjo 2 kɯrɯdo	△ koɴno:	○ kitadejo	○ koija
27	08杉村	福岡県 福岡市	■ ko:ta	N × hairu	△ koŋgotoarura	○ kʲita	○ koi
28	08木部	鹿児島県 日置市	□ kota	△ 1 kut 2 kuddo	△ koɴ	○ kita	● ∝ 1 ke 2 kijai
29	08大西	鹿児島県 南九州市	□ koda	△ ▽ 1 ku? 2 kui	△ koɴ	○ kʲita	● ke
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	* ko:taɴ	★ tʃu:ɴ	☆ ku:ɴ	★ tʃaɴ	※ 1 ku:jo: , 2 ku: , 3 ku:wa
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	☆ kettaɴ	★ ku:ɴ	★ ku:nu	☆ kuttaɴ	※ ku:
【凡例】			○ カッタ @ カットー ■ コータ □ コタ・コダ ＃ コーテキタ ＊ コータン ☆ ケッタン	○ クル △ クッ ▽ クイ ★ クーン・チューン $ キヨル・キョル、キトル N 無回答・無効回答	○ コナイ ◎ コネ・コネー ● キネー @ コノー ♂ キナイ △ コン ▽ キテン □ ケーヘン ■ キーヒン ◆ キヤヘン類 ◇ コーヘン ☆ クーン ★ クーヌ	○ キタ @ キトー ★ チャン ☆ クッタン $ キヨッタ	○ コイ ◎ コ・コー ● ケ □ キナサイ ■ キナヨ ◇ キー < コンニャ ▽ コンナ △ コンカ ♂ コラレ ♀ ゴジャイン ＃ キランショ $ キセヨー ∝ キヤイ † キテケレ・キテケデ ＋ キテクレル ＝ キテ ‡ キテオクレヤス ※ クー ♪ キタラ
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-036 する	JG-037 しない	JG-038 した	JG-039 しろ	JG-040 死ぬ
1	08日高	秋田県 秋田市	○ sïrɯ	● 1 sane ◎ 2 sïne	○ sïta	◎ se	○ sïnɯ
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ sɯrɯ	◎ mada ʃine	◎ sɯta	◎ se	@ sɯ̈nɯ
3	08小林	宮城県 仙台市	○ sɯrɯ	◎ ʃine	○ ʃita	○ ʃiro	○ ʃinɯ
4	08竹田	山形県 米沢市	○ sɯrɯ	◎ ʃine	○ ʃita	○ ʃiro	○ ʃinɯ
5	09小林	福島県 会津若松市	○ sɯrɯ	◎ ʃïne	○ ʃita	○ 1 ʃiro 2 ʃirojo	◎ ʃiŋɯ
6	09新井	栃木県 さくら市	○ 1 sɯrɯ ♂ 2 sɯppeja	◎ ʃine:	○ ʃita	○ ʃiro	◎ 1 ʃiŋɯ ○ 2 ʃinɯ
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ sɯrɯ	◎ ʃine:	○ ʃita	○ ʃiro	○ ʃinɯ
8	08新井	埼玉県 上里町	○ sɯrɯ	◎ ʃine:	○ ʃita	○ ʃiro	○ ʃinɯ
9	09三井	東京都 品川区	○ sɯrɯ	○ ʃinai	○ 1 ʃita 2 × oeta	○+ 1 ʃiro , 2 ʃitekɯdasai , 3 ʃitara ♪ = , 4 ʃite	○ ʃinɯ
10	08三井	東京都 立川市	○ sɯrɯ	◎ ʃine:	○ ʃita	○ ʃiro	○ ʃinɯ
11	09吉田	山梨県 早川町	○ sɯrɯ	@ ʃino:	@ ʃito:	† ʃitekɯrjo:	∞ ɯttʃinɯ
12	08沖	長野県 松本市	○ sɯrɯ	○ ʃinai	○ ʃita	= ʃite	○ ʃinɯ
13	08中井	富山県 富山市	○ sɯrɯ	† 1 ʃitekɯrɛn △ 2 sɛn	○ ʃita	↑ ʃirare	○ ʃinɯ
14	09大西	富山県 砺波市	○ sɯrɯ	△ seŋ	○ ʃita	♂→ 1 serarema , 2 seʃʃaima , △> 3 seŋka , 4 sennja	○ ʃinɯ
15	09中井	石川県 小松市	○ 1 sɯrɯ ● 2 ʃirɯ	〒 1 ʃitenai $ 2 ʃitoraɴ	○ ʃita	◎ ʃe:	○ ʃinɯ
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ sɯrɯ	◇ 1 se:hɛɴ = 2 jo:sɛɴ	○ ʃita	◎ se:ja	○ ʃinɯ
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ sɯrɯ	△○ 1 sɛɴ , 2 sinai , ◇■ 3 se:hɛɴ , 4 ʃi:çiɴ	○ ʃita	◎ 1 se: , 2 se:jo , = 3 site , 4 siteja	○ ʃinɯ
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ sɯrɯ	◇ 1 se:hɛɴ ■ 2 ʃi:hiɴ	○ 1 ʃita 2 × jatta	◇ ʃijoʃi	○ ʃinɯ
19	08高木	大阪府 大阪市	○ suru	$ 1 ʃijorehɛɴ ◇ 2 se:hɛɴ	○ ʃita	◇▽ 1 ʃi:ja: , 2 ʃiɴkaina , 3 sɛɴ △◎ kaina , 4 se:	○ ʃinu
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ sɯrɯ	◇ se:hɛɴ	○ ʃita	◎ se:	○ ʃinɯ
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ suru	◇ 1 se:hɛɴ ◆ 2 ʃijahɛɴ	○ ʃita	◎ se:	○ ʃinu
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ suru	◇ se:hɛɴ	○ ʃita	∝ 1 ʃinai ◎ 2 se	○ ʃinu
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ suru	△ sɛɴ	○ ʃita	◎ se:	○ ʃinu
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ suru	△ sɛɴ	○ ʃita	△ 1 sɛɴkai ◎ 2 se:	○ 1 ʃinu ● 2 ʃinuru
25	08小西	広島県 三次市	○ suru	△ 1 sɛɴ # 2 sitɛɴnae	○ ʃita	◎ 1 se: 2 se:ja	● ʃinuru
26	08舩木	山口県 光市	○ ʃigoto:sɯrɯ	△ sɛɴ	○ ʃita	◎ se:	○ ʃinɯ
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ suru	$ 1 ʃitoraɴ △ 2 ʂɛɴ	○ ʃita	△● 1 seŋka , 2 sere , @ 3 sero	○ 1 ʃnu ● 2 ʃinuru
28	08木部	鹿児島県 日置市	▽ sui	△ sɛɴ	○ ʃita	◎∝ 1 se: 2 sijai	▲ keʃiɴ
29	08大西	鹿児島県 南九州市	▽ 1 sui △ 2 su?	△ sɛɴ	● seda	◎△ 1 se: 2 seŋka	▲ keʃiɴ
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	★ suɴ	☆ saɴ	* saɴ	★ 1 sani ◎ 2 ʃe:	★ ʃinuɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	★ su:ɴ	★ sanu	☆ sutaɴ	◇ ʃi:	★ sʏŋuɴ
【凡例】			○ スル類 ● シル △ スッ ▽ スイ ★ スン・スーン ♂ スッペヤ	○ シナイ ◎ シネ・シネー ● サネ @ シノー △ セン ▽ シタン ◇ セーヘン ■ シーヒン ◆ シヤヘン ☆ サン ★ サヌ 〒 シテナイ # シテンナエ $ シヨレヘン・シトラン † シテクレン = ヨーセン	○ シタ ◎ スタ ● セダ @ シトー * サン ☆ スタン	○ シロ ◎ セ・セー・シェー ● セレ @ セロ ■ シナイ ◇ シー・シヨシ △ センカ類 ▽ シンカイナ < センニャ ★ サニ ∝ シヤイ ↑ シラレ ♂ セラレマ → セッシャイマ + シテクダサイ † シテクリョー = シテ ♪ シタラ	○ シヌ @ スヌ ◎ シグ ● シヌル ★ シヌン・スヌン ▲ ケシン ∞ ウッチヌ
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-041 高い	JG-042 高い物	JG-043 高くなる	JG-044 高くて	JG-045 高く
1	08日高	秋田県 秋田市	● tage	● tagemoN	● tagekɯnattekitana:	∞ 1 tage[ɴdomo ● 2 tagekɯte	● tagekɯ
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	● 1 tage , 2 take , ○ 3 takai	● 1 tage mono 2 tage no	● tagegɯnarɯ	● tagekɯte	● 1 tagegɯ 2 tagekɯ
3	08小林	宮城県 仙台市	● tagettʃa	● take:mono	○ takakɯnarɯ	● tagekɯte	○ tak̩akɯ
4	08竹田	山形県 米沢市	○ bɯkka tagaj	○ tagaimono	○ tagagɯnarɯ	○ tagakɯte	○ tagagɯ
5	09小林	福島県 会津若松市	● tak̩ena:	○ 1 tak̩aimono ● 2 takemono	○ tak̩akɯnanna:	○ tak̩agɯte	○ takakɯ
6	09新井	栃木県 さくら市	○ 1 tagai ● 2 tage:	● tage: mono	○ tagagɯnarɯ	○ tagakɯtte	○ tagagɯ
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ takai	○ takai mono	○ takakɯnarɯ	○ takakɯte	N NR
8	08新井	埼玉県 上里町	○ 1 takai ● 2 take:	○ takaimono	○ takakɯnarɯ	○ takakɯ̞te	○ takakɯ̞
9	09三井	東京都 品川区	○ takai	○ takaimono	○ takakɯnarɯ	○ takakɯ̞te	○ takakɯ
10	08三井	東京都 立川市	● take:	● take:moN	○ takakɯnarɯ	○ takakɯ̞te	○ takakɯ
11	09吉田	山梨県 早川町	○ takaina:	○ takaimono	○ takakɯnarɯna:	○ takakɯte	○ takakɯ
12	08沖	長野県 松本市	○ takai	○ takai moN	○ takakɯnarɯ	○ takakɯte	○ takakɯ
13	08中井	富山県 富山市	○ takai	○ 1 takaimoN 2 takaina	▲ takanarɯ	ǂ 1 takatemo , 2 takakɯ ○ temo , 3 takakɯte	○ takakɯ
14	09大西	富山県 砺波市	○ takai	○ takaimoŋ	▲ takanarɯ	▲ takate	◆ 1 takarato ▲ 2 taka
15	09中井	石川県 小松市	○ takai	○ takaimono	▼ 1 × aŋattorɯ 2 takonarɯ	○ 1 takakɯte ▽ 2 tako:te	▽ tako:
16	09舩木	京都府 与謝野町	@ takja:do	@ takja:moN	▼ takonarɯdo	▽ tako:te	▽ tako:
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ takai	○ takai moN	▽▼ 1 tako:narɯ , 2 takonar ▲ ɯ, 3 takanarɯ	▽ tako:te	▽ tako:
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ takai	○ takai moN	▽ tako:narɯ	▽ tako:te	▽ tako:
19	08高木	大阪府 大阪市	○ takai	○ takai moN	▼ takonaru	▼ takote	▽ tako:ni
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ takai	○ takai moN	▲ taka narɯ	▼ takote	▼ tako
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ takai	○ takaimoN	▼ takonaru	▽ tako:te	▽ tako:
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ takai	○ takaimoN	▽ tako:naru	△ taka:te	▽ tako:
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ takai	○ takaimoN	▽ tako:naru	▽ tako:te	▽ tako:
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ takai	○ takaimoN	▽ tako:naru	▽ tako:te	▽ tako:
25	08小西	広島県 三次市	◎ 1 takæ: ○ 2 takai	◎ takæ:mono	▽ tako:naru	▽ tako:te	▽ tako:
26	08舩木	山口県 光市	○ takai	○ takaimoN	▽ tako:narɯ	▽ tako:te	▽ tako:
27	08杉村	福岡県 福岡市	○■ 1 takai , 2 tako∫ ◇ itedesuna: ,	◇ 1 takka moN ○ 2 takai moN	▽ tako:naru	□ tako:∫ite	▽ tako:
28	08木部	鹿児島県 日置市	● take	● take moN	◿ tako nat	♪ takedoN	▼ tako
29	08大西	鹿児島県 南九州市	◇ 1 takka ● 2 tage	◇ 1 takkamuN ● 2 tagemuN	◇ 1 tagonai ◿ 2 tagona?	◇ tagoʃi	▼ tago
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	☆ takasaN	※ 1 takasaru muN ǂ 2 takamuN	☆ takaku najuN	N (形容詞のテ形は出て来なかった。)	○ takaku
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	★ tak̩ahaN	* tak̩ahanu munu	★ tak̩aha naruN	★ tak̩ahanu	★ tak̩aha
【凡例】			○ タカイ類 ● タケ類 ◎ タケァ @ タキャー ◇ タカカ・タッカ ☆ タカサン ★ タカハン ■ タコシテデスナー	○ タカイ類 ● タケ類 ◎ タケァ @ タキャー ◇ タッカ ※ タカサル * タカハヌ ǂ タカ	○ タカクナル類 ● タケクナル類 ▲ タカナル ▼ タコナル ▽ タコーナル ◿ タコナッ・タゴナッ ◇ タゴナイ ☆ タカクナユン ★ タカハナルン	○ タカクテ類 ● タゲクテ ∞ タゲドモ △ タカーテ ▽ タコーテ □ タコーシテ ▲ タカテ ▼ タコテ ◇ タゴシ ★ タカハヌ ǂ タカクテモ ǂ タカテモ ♪ タケドン N 無回答・無効回答	○ タカク類 ● タゲク ◆ タカラト ▽ タコー・タコーニ ▲ タカ ▼ タコ類 ★ タカハ N 無回答・無効回答
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-060 高くない	JG-061 高くはない	JG-046 高かった	JG-047 高ければ	JG-048 静かだ
1	08日高	秋田県 秋田市	◎ 1 takakɯne ● 2 tagekɯne	● tagekɯne	● tagegatta	● tage[ɴba	○ si̇[ɴzi̇ka[ɴda
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	● tagegɯne	● tagegɯne	● tagegatta	● tageba	○ ʃidzɯka da
3	08小林	宮城県 仙台市	◎ tagagɯne	♪ tagegɯwane:	○ 1 tagakatta 2 tagagatta	○ tagagereba	○ ʃidzɯ̨kada
4	08竹田	山形県 米沢市	○ tagagɯnai	♀ 1 tagagɯwanai ♭ 2 tagagɯ nanka nai	○ tagagatta	○ 1 tagagereba □ 2 tagagattara	○ ʃidzɯgada
5	09小林	福島県 会津若松市	◎ ta̧kakɯne:na:	◎ ta̧kakɯne:na:	○ 1 takakatta 2 takagatta	□ takagattara	○ ʃi̇[ɴdzɯ̈gadana:
6	09新井	栃木県 さくら市	◎ tagagɯ ne: na	ϕ tagaganekatta	○ tagagatta	○ tagagereba	○ ʃidzɯgada
7	08高橋	群馬県 前橋市	∞ takakane:	∝ takakja ne:	○ takakatta	○ takakereba	○ ʃidzɯkada
8	08新井	埼玉県 上里町	◎ takakɯne:	∞ takaka:ne:	○ takakatta	○ takakereba	○ ʃidzɯkada
9	09三井	東京都 品川区	○ takakɯnai	♀ takakɯwanai	○ takakatta	○ takakereba	○ 1 ʃi[dzɯkada $ 2 ʃi[dzɯkadesɯne
10	08三井	東京都 立川市	◎ takakɯne:	∞ takakane:	○ takakatta	◎ 1 takakja: @ 2 takakerja:	○ ʃi[dzɯkada
11	09吉田	山梨県 早川町	♂ takaka:nai	♂ takaka:nai	○ 1 takakattajo @ 2 takakatto:jo	○ takakereba	@ 1 × ʃidɯkadejoi 2 ʃidɯkado:jo
12	08沖	長野県 松本市	○ takakɯnai	○ 1 takakɯnai ∞ 2 takakanai	○ takakatta	@ takakerja	○ ʃizɯkada
13	08中井	富山県 富山市	▲ takanai	▲ takanaitʃa	○ takakatta	@ takakerja	○ ʃizɯkada
14	09大西	富山県 砺波市	▲ takanai	▲ takanai	○ takakatta	@ takakerja	□ ʃi[dzɯka:ja
15	09中井	石川県 小松市	▼ takonai	○ 1 takakɯnai ▼ 2 takonai	○ takakatta	♀ 1 takekereba @ 2 takakerja	◆ ʃizɯkajaɴne
16	09舩木	京都府 与謝野町	▲ takanai	≦ takonakatta	○ takakatta	□ takakattara	○ ʃizɯkadana:
17	08松丸	滋賀県 高島市	▼▽ 1 takonai , 2 tako:nai , ▲ 3 takanai	V 1 takowanai ∀ 2 tako:wanai	○ takakatta	□ takakattara	○ 1 ʃizɯkada ■ 2 ʃizɯkaja
18	09渋谷 A	京都府 京都市	▲ takanai na:	♀▼ 1 takakɯwanai , 2 takonaina: ◿ , 3 tako arahewna:	○ takakatta	□ takakattara	◇ ʃizɯkae
19	08高木	大阪府 大阪市	▼ takonai	▼ takonai	○ takakatta	□ takakatta	■ ʃizukaja
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	▲ takanai	▲ takanai	○ takakatta	□ takakattara	■ ʃizɯkaja
21	08都染	兵庫県 姫路市	▲ takanai	▲ takanai	○ takakatta	□ takakattara	■ ʃidzukaja
22	08岸江	徳島県 徳島市	▽ tako:nai	▽ tako:nai	○ takakatta	□ takakattara	# 1 ʃizukana ■ 2 ʃizukaja
23	09岸江	香川県 東かがわ市	▽ tako:nai	▽ 1 tako:nai ∀ 2 tako:wanai	○ takakatta	□ takakattara	# 1 ʃizukana ■ 2 ʃizukaja
24	09小西	岡山県 笠岡市	▽ tako:nai	▽ tako:nai	○ takakatta	□ takakattara	▲ 1 ʃidzukadʒa # 2 ʃidzukana
25	08小西	広島県 三次市	▽ tako:nai	▽ 1 tako:nai ∀ 2 tako:wa nai	○ takakatta	@ takakerja:	○# 1 ʃidzukada , 2 ʃidzukana , 3 ʃ ▲ idzukadʒano: , 4 ʃidzukanano : , 5 ʃidzukadano:
26	08舩木	山口県 光市	▽ tako:nai	▽ 1 tako:nai ∀ 2 tako:wanai	○ takakatta	□ 1 takakattara @ 2 takakerja:	▲ ʃizɯkaʒano:
27	08杉村	福岡県 福岡市	◇ tako:naka	◆ 1 tako:naka < 2 tako:monaka	○ takakatta	○ 1 takakereba @ 2 takakerja:	■ ʃizukajane:
28	08木部	鹿児島県 日置市	◆ takonaka	◇ takonaka	● takekatta	♂ 1 takekareba ♭ 2 takekarja:	▲ 1 ʃizɯka ʒa ▼ 2 ʃizɯka ʒaraina:
29	08大西	鹿児島県 南九州市	◆ tagonaga	# tagowanaga	◎ takkatta	∞# 1 takkareba , 2 tagagaja $, 3 tageja	N NR
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	☆ takako: ne:raɴ	☆ takako: ne:raɴ	☆ takasataɴ	☆ takasatare:	☆ ʃidʒikajaɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	★ ta̧kaha ne:nu	★ ta̧kahaja ne:nu	★ ta̧kahataɴ	★ ta̧kahattʃa	★ ʃizuka
【凡例】			○ タカクナイ類 ◎ タカクネ類 ● タゲクネ類 ∞ タカカネー ♂ タカカーナイ ▽ タコーナイ ◇ タコーナカ ▲ タカナイ ▼ タコナイ ◆ タコナカ類 ☆ タカコーネーラン ★ タカハネーヌ	○ タカクナイ ♀ タカクワナイ類 ◎ タカクネー ● タゲクネ類 ♪ タゲクワネー ∞ タカカーネー類 ∝ タカキャネー ϕ タガガネガッタ ♂ タカカーナイ類 ▽ タコーナイ ∀ タコーワナイ ◇ タコーナカ < タコーモナカ ▲ タカナイ ▼ タコナイ ◿ タコアラヘン V タコワナイ ◆ タコナカ # タゴワナカ ☆ タカコーネーラン ★ タカハヤネーヌ ≦ タコナカッタ ♭ タガクナンカナイ	○ タカカッタ類 ◎ タッカッタ ● タケカッタ類 @ タカカットー ☆ タカサタン ★ タカハタン	○ タカケレバ類 ◎ タカキャー @ タカケリャー類 ∞ タッカレバ ● タゲバ ♂ タケカレバ ♭ タケカリャー ♀ タケケレバ □ タカカッタラ類 # タガガヤ $ タゲヤ ☆ タカサタレー ★ タカハッチャ	○ シズカダ類 @ シズカドー ■ シズカヤ ◆ シズカヤンネ ◇ シズカエ □ シズカーヤ ▲ シズカジャ ▼ シズジャラナイナー # シズカナ ☆ シジカヤン ★ シズカ $ シズカデス N 無回答・無効回答
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-049 静かな所	JG-050 静かでない	JG-051 静かだった	JG-052 静かなら	JG-053 足りない
1	08日高	秋田県 秋田市	● sï[ɴzïka[ɴdadog o[ɴda	◎ 1 × ɯrɯse 2 sï[ɴzïka[ɴdene	○ sï[ɴzïka[ɴdatta	♪ sï[ɴzïka[ɴda[ɴba	◎ tarine
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	# sɯdzɯga na dog oroda	○ 1 sɯdzɯkade nai ◎ 2 sɯdzɯkade ne	○ sɯdzɯka datta	♪ sɯdʒɯga daba	◎ tarine
3	08小林	宮城県 仙台市	# ʃidzɯ̥kanadokoro	○ ʃidzɯ̥kadenai	○ ʃidzɯ̥kadatta	∞ ʃidzɯ̥kadato	♀ tanne
4	08竹田	山形県 米沢市	# ʃidzɯgana dogoda	◎ ʃi[ndzɯgadene	○ ʃi[ndzɯgadatta	● ʃi[ndzɯga dara	♀ taɴnẹ
5	09小林	福島県 会津若松市	# ʃi[ɴdzɯ̥̈kanatog orodana:	N 1 ×ɯrɯ setokorodana:	○ ʃidzɯ̈kadatta	∞ ʃidzɯkadato	◎ ♀ 1 × sɯkɯnakɯttena: , 2 tarine:na: , 3 tannɲina:
6	09新井	栃木県 さくら市	# ʃidzɯganadogo	◎ 1 ʃidzɯkade ne: ϕ 2 ʃidzɯkadʒa ne:	○ ʃidzɯkadatta	◎ ʃidzɯkadattara	♀ taɴne:
7	08高橋	群馬県 前橋市	# 1 ʃidzɯkana tokoro ダヨ 2 ʃidzɯkana toko ダヨ	ϕ ʃidzɯkadʒa ne:	○ ʃidzɯkadatta	● ʃidzukadara	♀ taɴne: ヤ
8	08新井	埼玉県 上里町	# ʃidzɯkanatokoro	∞ ʃidzɯkadʒanai	○ ʃidzɯkadatta	● 1 ʃidzɯkadara ○ 2 ʃidzɯkanara	♀ taɴne:
9	09三井	東京都 品川区	# ʃi[dzɯkana tokoro desɯne	♀ 1 ʃi[dzɯkadewanai ∞ 2 ʃi[dzɯka[dʒanai	○ 1 ʃi[dzɯkadatta $ 2 ʃi[dzɯkadeʃita	○ ʃi[dzɯkanara	○ tarinai
10	08三井	東京都 立川市	= ʃi[dzɯkantoko	§ ʃi[dzɯka[dʒa:ne:	○ ʃi[dzɯkadatta	○ ʃi[dzɯkanara	♀ tanne:
11	09吉田	山梨県 早川町	# ʃidɯkana tokodo:	@ ʃidɯkadeno:	@ ʃidɯkadatto:	@ ʃidɯkaʒa	@ tarino:
12	08沖	長野県 松本市	# ʃizɯkanatoko	∝ ʃizɯkadʒa:nai	○ ʃizɯkadattawa	◎ 1 ʃizɯkadattara ○ 2 ʃizɯkanara	○ tarinai
13	08中井	富山県 富山市	# ʃizɯkanatoko	○ 1 ʃizɯkadenai ∞ 2 ʃizɯkaʒanai	○ ʃizɯkadatta	○ ʃizɯkanara	▲ taraɴ
14	09大西	富山県 砺波市	# ʃi[dzɯkanatokoro	○ ʃi[dzɯkadenai	◆ ʃi[dzɯka:jatta	○ ʃi[dzɯkanara	▲ taraŋ
15	09中井	石川県 小松市	# ʃizɯkanatoko	※ 1 ʃizɯkaɴnaɴ ■ 2 ʃizɯkajanai	■ ʃizɯkajatta	○ ʃizɯkanara	▲ taraɴ
16	09舩木	京都府 与謝野町	# ʃizɯkanatokodana:	○ ʃizɯkadenai	○ ʃizɯkadattana:	◎ ʃizɯkadattara	◆ 1 tareheɴdo: ▲ 2 taraɴdo:
17	08松丸	滋賀県 高島市	# 1 ʃizɯkana tokoro 2 ʃizɯkana toko	■ 1 ʃizɯkajanai & 2 ʃizɯkatotʃaɯ	■ ʃizɯkajatta	○ 1 ʃizɯkanara ■ 2 ʃizɯkajattara	▲△□◇∀ 1 taraɴ , 2 tariɴ , 3 tariheɴ , 4 tariçiɴ , 5 taraheɴ
18	09渋谷 A	京都府 京都市	# ʃizɯkana toko e	○ ʃizɯkade nai e	■ ʃizɯkajatta	■ ʃizɯkajattara	▲ taraɴ
19	08高木	大阪府 大阪市	# 1 ʃizukana tokoro 2 ʃizukana toko	■ ʃizukajanai	■ ʃizukajatta	■ ʃizukajattara	▲ taraɴ
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	# ʃizɯkana toko	○ 1 ʃizɯkadenai & 2 ʃizɯkatʃigaɯ	■ ʃizɯkajatta	■ ʃizɯkajattara	▲ taraɴ
21	08都染	兵庫県 姫路市	# ʃidzukanatoko	■ ʃidzukajanai	■ ʃidzukajatta	■ ʃidzukajattara	∀ 1 taraheɴ ▲ 2 taraɴ
22	08岸江	徳島県 徳島市	# ʃizukanatoko	○ ʃizukadenai	○ ʃizukadatta	◎ ʃizukadattara	∀ taraheɴ
23	09岸江	香川県 東かがわ市	# ʃizukanatoko	○ ʃizukadenai	■ ʃizukajatta	○ ʃizukanara	▲ taraɴ
24	09小西	岡山県 笠岡市	# ʃidzukana tokoro	○ ʃidzukade nai	▲ ʃidzukadʒattawa	◎ ʃidzukadattara	▲ taraɴ
25	08小西	広島県 三次市	# ʃidzukana toko	∝ ʃidzukadʒa:nai	○▲# 1 ʃidzukadatta , 2 ʃ idzukazjatta , 3 ʃ idzukanakatta	○ ʃidzukanara	▲ taraɴ
26	08舩木	山口県 光市	# ʃizɯkanatokoʒano:	∞ ʃizɯkaʒanaino:	▲ ʃizɯkaʒatta	○ ʃizɯkanara	△ 1 tariɴ ▲ 2 taraɴ
27	08杉村	福岡県 福岡市	# ʃizukana tokoro	∞ ʃizukadʒanai	■ ʃizukajatta	○ 1 ʃizukanara ■ 2 ʃizukajattara	▲ taraɴ
28	08木部	鹿児島県 日置市	# ʃizɯkana tokoi	ϕ ʃizɯkaʒane	■ 1 ʃizɯka jatta ▲ 2 ʃizɯka ʒatta	▲ ʃizɯka ʒareba	▲ taraɴ
29	08大西	鹿児島県 南九州市	N NR	N NR	N NR	N NR	▲ taraɴ
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	# ʃidʒikana tukuru	☆ ʃidʒika ʔaraɴ	☆ ʃidʒika jataɴ	☆ ʃidʒika jare:	☆ tara:ɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	# ʃizukana tukuru	★ ʃizuka aranu	☆ ʃizuka jataɴ	★ ʃizuka jarettʃa	★ tạranu
【凡例】			# シズカナ類 ● シジカダ = シズカン 〒 シジカナ N 無回答・無効回答	○ シズカデナイ類 ◎ シズカデネー類 @ シズカデノー ♀ シズカデワナイ ∞ シズカジャナイ ∝ シズカジャーナイ ϕ シズカジャネー類 § シズカジャーネー ■ シズカヤナイ ※ シズカンナン & シズカトチャウ類 ☆ シジカアラン ★ シジカアラヌ N 無回答・無効回答	○ シズカダッタ類 @ シズカダットー ■ シズカヤッタ ◆ シズカーヤッタ ▲ シズカジャッタ # シズカナカッタ ☆ シジカヤタン類 $ シズカデシタ N 無回答・無効回答	○ シズカナラ ● シズカダラ ♪ スズカダバ類 ∞ シズカダト @ シズカジャ ◎ シズカダッタラ ■ シズカヤッタラ ▲ シズカジャレバ ☆ シジカヤレー ★ シズカヤレッチャ N 無回答・無効回答	○ タリナイ ◎ タリネ ♀ タンネ類 @ タリノー △ タリン ▲ タラン ■ タリヒン ∀ タラヘン □ タリヘン ◆ タレヘン ◇ タリヒン ☆ タラーン ★ タラヌ
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-056 知らない	JG-057 知りはしない	JG-058 見ない	JG-059 見はしない	JG-063 見なかった
1	08日高	秋田県 秋田市	◎ sïrane	◎ sïrane	◎ mine	◎ mine	◎ minegatta
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	◎ 1 sɯrane ● 2 ʃane	N × wagane	◎ mine	◎ mine	◎ minegatta
3	08小林	宮城県 仙台市	● ʃʃane	● ʃʃane	◎ mine	◎ 1 mine 2 minendato	◎ minegatta
4	08竹田	山形県 米沢市	● ʃane	●% $ 1 ʃʃane̩ , 2 ʃiʃʃane̩ , 3 ʃiʃ ane	◎ mine	≐ ◎ 1 midaɾinaɴka ʃine , 2 miruna ɴte godo ʃine , 3 mine	◎ minegatta
5	09小林	福島県 会津若松市	◎ ʃïraneora:	◎ 1 ʃïranena: 2 ʃïraneora:	◎ 1 mine 2 minena:	◎ 1 minena: = 2 mitarisïnena:	○ minakatta
6	09新井	栃木県 さくら市	♀ ʃiɴne	♀ ʃiɴne:	◎ mine:	◎ mine:	◎ minegatta
7	08高橋	群馬県 前橋市	◎ ʃirane: ヨ	♂ ʃirja:ʃine:	◎ mine: ヨ	♂ mijaʃine:	○ minakatta
8	08新井	埼玉県 上里町	◎ ʃirane:	♂ ʃirja:ʃine:	◎ mine:	♂ mija:ʃine:	○ minakatta
9	09三井	東京都 品川区	○ ʃiranai	& ʃiriwaʃinai	○ minai	& miwaʃinai	○ minakatta
10	08三井	東京都 立川市	♂◎ ♀∞ 1 ʃirene: , 2 ʃirane: , 3 × dzondʒine. , 4 ʃinne: , 5 ɯtʃirane:	♂ 1 ʃirja:ʃine: ∮ 2 ʃittʃa:ine:	◎ mine:	∝ mija:ʃinai	○ minakatta
11	09吉田	山梨県 早川町	@ ʃirano:jo	@ ʃirade:te	@ mino:jo	† mitaka:nai	@ midejorito:
12	08沖	長野県 松本市	△ ʃiraɴ	∝ ʃirja:ʃinai	○ minai	& 1 miwaʃinai ∞ 2 mirjaʃinai	○ 1 minakatta △ 2 minanda
13	08中井	富山県 富山市	△ ʃiraɴ	△ ʃiraɴtʃa	△ miɴ	△ miɴtʃa	† miɴkatta
14	09大西	富山県 砺波市	△ 1 ʃiraɴ 2 ʃirantʃa	N NR	△ miɴ	N NR	▲ miranda
15	09中井	石川県 小松市	△ ʃiraɴzo	△ 1 × wakaraɴ 2 ʃiraɴwa	△ miɴ	△ miɴ	♪ miɴdo
16	09舩木	京都府 与謝野町	△ ʃiraɴdo:	N NR	△ 1 miɴ □ 2 mi:heɴdo:	N NR	□ mi:henaɴda
17	08松丸	滋賀県 高島市	■ 1 ʃiraheɴ △ 2 ʃiraɴ	△ 1 ʃiraɴ ■ 2 ʃiraheɴ	■△ ◆ 1 mi:çiɴ , 2 miɴ , 3 mijaheɴ	$ 1 mijoraɴ ◿ 2 miwasjo:raɴ	△# †∀ 1 minaɴda , 2 mi:çiɴkatta , 3 miɴkatta, 4 mijahenaɴda
18	09渋谷 A	京都府 京都市	■ 1 × wakaraheɴ 2 ʃiraheɴ	■ 1 wakaraheɴ 2 ʃiraheɴ	■ mi:hiɴ	% mijaharaheɴ	# mi:hiɴkatta
19	08高木	大阪府 大阪市	△ ʃiraɴ	△ ʃiraɴ	□ 1 mi:heɴ ◇ 2 mieheɴ	$ 1 mijoreheɴ ◇ 2 mieheɴ	◆ mieheɴkatta
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	△ ʃiraɴ	△ ʃiraɴ	◇ me:heɴ	◇ me:heɴ	◇ me:henaɴda
21	08都染	兵庫県 姫路市	△ ʃiraɴ	△ ʃiraɴ	■ 1 mi:çiɴ , ◆ 2 mijaheɴ , 3 mijaeɴ	◆ mijaheɴ	△ 1 minanda ■ 2 mijahenkatta
22	08岸江	徳島県 徳島市	△ ʃiraɴ	△ ʃiraɴ	□ mi:heɴ	□ mi:heɴ	□ mi:henaɴda
23	09岸江	香川県 東かがわ市	△ ʃiraɴ	▽ 1 ʃirijaseɴ , 2 ʃirjaseɴ , ▼ 3 ʃiriwaseɴ	△ miɴ	▽ mijaseɴ	◿ 1 minanaɴda † 2 miɴkatta
24	09小西	岡山県 笠岡市	△ ʃiraɴ	△ ʃiraɴ	△ miɴ	△ miɴde	◿ 1 minaɴda % 2 midzatta
25	08小西	広島県 三次市	△ ʃiraɴ	▽ ʃirja:seɴ	△ miɴ	▽ 1 mijaseɴ 2 mia:seɴ	† 1 miɴkatta △ 2 minaɴda
26	08舩木	山口県 光市	△ ʃiraɴ	▽ ʃirja:seɴ	△ miɴ	△ isso miɴ	† miɴkatta
27	08杉村	福岡県 福岡市	△ ʃiraɴ	△ 1 ʃiraɴbai ▽ 2 ʃirja:seɴ	▲ 1 miraɴ △ 2 miɴ	%▲ ▽ 1 miraʃʃareɴ , 2 miraɴbai , 3 mija:seɴ	♂ 1 miɴjatta ♀ 2 miraɴjatta
28	08木部	鹿児島県 日置市	▲ ʃitaɴ	# ʃittʃoraɴ	▲ miraɴ	▲ miraɴ	‡ 1 miraɴkatta ⊃ 2 miraɴʒatta
29	08大西	鹿児島県 南九州市	▲ ʃitaɴ	N NR	▲ miraɴ	▼ 1 miraseɴ ▽ 2 mijaseɴ	⊃ mirandʒatta
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	△ ʃiraɴ	△ ʃiraɴ	☆ 'ɴ:daɴ	☆ 'ɴ:daɴ	☆ 'ɴ:daɴtaɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	★ ssanu	★ ʃi:ja sa:nu	★ miranu	＊ mirija sa:nu	★ miranataɴ
【凡例】			○ シラナイ ◎ シラネ・スラネ類 ♀ シンネ @ シラノー ● サネ・シャネ類 ♂ シレネー ∞ ウッチラネー △ シラン ▲ シタン ■ シラヘン ★ ッサヌ	○ シラナイ ◎ シラネ・スラネ類 ♀ シンネー ● ッシャネ % シッシャネ $ シシャネ ♂ シリャーシネー & シリワシナイ ∮ シッチャーイネー @ シラデーテ ∝ シリャーシナイ △ シラン ■ シラヘン ▽ シリヤセン類 ▼ シリワセン ★ シーヤサーヌ # シッチョラン N 無回答・無効回答	○ ミナイ ◎ ミネ・ミネー @ ミノー △ ミン ■ ミーヒン ◆ ミヤヘン・ミヤエン □ ミーヘン ◇ ミエヘン・メーヘン ▲ ミラン ☆ ンーダン ★ ミラヌ	◎ ミネ類 ♂ ミヤシネー類 & ミワシナイ ∞ ミリャシナイ ∝ ミヤーシナイ △ ミン ▲ ミラン ◿ ミワショーラン $ ミヨラン・ミヨレヘン ◆ ミヤヘン ◇ ミエヘン・メーヘン □ ミーヘン ▽ ミヤセン類 ▼ ミラセン % ミラッシャレン・ミヤハラヘン ☆ ンーダン ＊ ミリヤサーヌ = ミダリナンカシネ類 † ミタカーナイ N 無回答・無効回答	○ ミナカッタ ◎ ミネガッタ @ ミデヨリトー △ ミナンダ ▲ ミランダ ◿ ミナナンダ □ ミーヘナンダ ◇ メーヘナンダ ∀ ミヤヘナンダ % ミザッタ ♂ ミンヤッタ ♀ ミランヤッタ ⊃ ミランジャッタ † ミンカッタ ‡ ミランカッタ ■ ミヤヘンカッタ ◆ ミエヘンカッタ # ミーヒンカッタ ☆ ンーダンタン ★ ミラナタン ♪ ミンド
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-054 行かない	JG-055 行きはしない	JG-062 行かなかった	JG-064 行かなくなる	JG-065 行かなければ
1	08日高	秋田県 秋田市	◎ ęgane	◎ ęgane	◎ ęganegatta	◎ ęganegɯnarɯ	> ęgane[ɴba
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	◎ ikane	◎ ikane	◎ iganegatta	◎ iganegɯnarɯ	> iganeba
3	08小林	宮城県 仙台市	◎ ęgane	◎ ęŋane	◎ iŋanegatta	◎ iganegɯnarɯ	◎ iŋanegere
4	08竹田	山形県 米沢市	◎ iganę	= 1 ittari nanka ʃine 2 iŋɯ nantewa ʃine	◎ iŋanegatta	◎ iŋanegɯnarɯ	◎ iŋanegereba
5	09小林	福島県 会津若松市	∞ 1 iŋannjdzo: ◎ 2 iŋane	◎ iŋanena:	○ iŋanakatta	○ iŋanakɯnarɯ	● iŋanehoŋa
6	09新井	栃木県 さくら市	◎ egane:	◎ egane:	○ eganakatta	◎ iganegɯnarɯ	◎ iganegɯreba
7	08高橋	群馬県 前橋市	◎ igane: ∃	♂ 1 ikja:ʃine: 2 igja:ʃine:	○ iganakatta	○ iganakɯnaru	♀ iganakja
8	08新井	埼玉県 上里町	◎ igane:	♂ 1 ikja:ʃine: 2 igja:ʃine:	○ iganakatta	○ iganakɯnarɯ	@ iganakerja:
9	09三井	東京都 品川区	● 1 jɯkanai ○ 2 ikanai	& ikiwaʃinai	○ ikanakatta	○ ikanakɯnarɯ	○ ikanakereba
10	08三井	東京都 立川市	○ 1 ikanai ◎ 2 ikane:	♀ 1 ika:ʃine:jo ∞ 2 ika:ʃinai	○ ikanakatta	○ ikanakɯnarɯ	♀ ikanakja
11	09吉田	山梨県 早川町	@ ikano:jo	@ arikano:de	@ ika:no:datto:	@ ikano:	# ikanaiba
12	08沖	長野県 松本市	○ ikanai	○ 1 ikanainonine: ∝ 2 ikja:ʃinai	○ 1 ikanakatta △ 2 ikananda	○ 1 ikanakɯnarɯjone ● 2 ikanaiwa	♀ ikanakja
13	08中井	富山県 富山市	△ ikaɴ	△ ikaɴ	▼ ikaɴda	△ ikaɴjo:ninarɯ	< ikaɴnja
14	09大西	富山県 砺波市	△ ikantʃa	N NR	▲ ikaranda	△ ika:jo:ɲinarɯ	< ikannja
15	09中井	石川県 小松市	△ ikaɴwa	○ ikanai	▼ ikaɴda	△ ikaɴjo:ninarɯ	∀ 1 ikana ○ 2 ikanakereba
16	09舩木	京都府 与謝野町	△ 1 ikaɴdo: = 2 ikehen	▽ ikja:seɴ	◇ 1 ikehenaɴda ♪ 2 ikenaɴda	△ 1 ikaɴjo:natta ◇ 2 ikehenjo:natta	▲ 1 ikanaɴde ◇ 2 ikehenaɴdara
17	08松丸	滋賀県 高島市	△ 1 ikaɴ ■ 2 ikahen	$ ikkjoraŋ	△■ 1 ikananda , 2 ikahen † katta , 3 ikaɴkatta	△ 1 ikaɴjo:ni naɾɯ 2 ikaɴjo: naɾɯ	△ 1 ikanaɴdara ▽ 2 ikaɴkattara
18	09渋谷 A	京都府 京都市	■ ikahen	% ikaharahen	■ ikahenkatta	■ ikahenjo:ninarɯ	■ ikahenkattara
19	08高木	大阪府 大阪市	◇ ikehen	◇ ikehen	◆ ikehenkatta	◇ ikehenjo:ninaru	◆ ikehenkatta
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	◇ ikehen	◇ ikehen	□ ikihenaɴda	◇ ikehenjo:ninarɯ	△ 1 ikanaɴdara ◇ 2 ikehenaɴdaʃika
21	08都染	兵庫県 姫路市	■ 1 ikahen ◆ 2 ikaen	■ 1 ikahen ◆ 2 ikaen	■ 1 ikaheŋkatta △ 2 ikananda	△ ikanjo:ninaru	■ 1 ikaheŋkattara △ 2 ikanaɴdara
22	08岸江	徳島県 徳島市	◇ ikehen	◇ ikehen	◇ ikehenaɴda	◇ ikehenjo:ninaru	△ ikanaɴdara
23	09岸江	香川県 東かがわ市	△ ikaɴ	△ ikaɴ	△ ikanaɴda	△ ikaɴjo:ninaru	△ ikanaɴdara
24	09小西	岡山県 笠岡市	△ ikaɴ	△ ikaɴ	△ 1 ikanaɴda % 2 ikadzatta	△ ikaɴjo:ninaru	△ 1 ikanaɴdara > 2 ikanja:
25	08小西	広島県 三次市	△ ikaɴ	▽ ikja:seɴ	† 1 ikaɴkatta △ 2 ikanaɴda	△ ikaɴjo:ni naru	> ikanja:
26	08舩木	山口県 光市	△ ikaɴ	▽ ikja:seɴ	† ikaɴkatta	△ ikaɴjo:naɾɯ	> ikaɴnja:
27	08杉村	福岡県 福岡市	△ ikaɴ	▽ ikja seɴ	♂ ikaɴjatta	▲ ikaŋgotonaru	$ 1 ikannokja 2 ikandokja
28	08木部	鹿児島県 日置市	△ ikaɴ	▼ ikaseɴ	⊂ ikaɴ ʒatta	▼ ikaɴgoʔ nat	∀ ikana
29	08大西	鹿児島県 南九州市	△ igaɴ	▼ igaseɴ	⊂ igandʒatta	▼ igaŋŋoʔnaʔ	< igannja
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	△ ʔikaɴ	△ ʔikaɴ	☆ ʔikaɴtaɴ	☆ ʔikaɴ naiɴ	☆ ʔikaɴke:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	★ ŋganu	★ ŋgija sa:nu	★ ŋganataɴ	★ ŋgana naɾuɴ	★ ŋgana nareba
【凡例】			○ イカナイ ● ユカナイ ◎ イカネ類 ∞ イガンニ @ イカノー △ イカン類 ■ イカヘン ◇ イケヘン ◆ イカエン ★ ンガヌ = イケヘン(不可能)	○ イカナイ ◎ イカネ類 @ アリカノー ♂ イキャーシネー類 ♀ イカーシネー & イキワシナイ ∞ イカーシナイ ∝ イキャーシナイ △ イカン ▽ イキャーセン類 ▼ イカセン類 $ イッキョラン % イカハラヘン ◇ イケヘン ■ イカヘン ◆ イカエン ★ ンギヤサーヌ = ｲｯﾀﾘﾅﾝｶｼﾈ類 N 無回答・無効回答	○ イカナカッタ類 ◎ イガネガッタ類 @ イカノーダットー △ イカナンダ ▲ イカランダ ▼ イカンダ □ イキヘナンダ ◇ イケヘナンダ % イカザッタ ♂ イカンヤッタ ⊂ イカンジャッタ類 † イカンカッタ ■ イカヘンカッタ ◆ イケヘンカッタ ☆ イカンタン ★ ンガナタン ♪ イケナンダ	○ イカナクナル類 ◎ イガネグナル類 @ イカノー △ イカンヨーナル類 ■ イカヘンヨーニナル ◇ イケヘンヨーナル ▲ 類 ▼ イカンゴトナル ☆ イカンゴッナッ ★ イカンナイン ● ンガナナルン イカナイ	○ イカナケレバ ♀ イカナキャ類 > イガネバ類 < イカニャ類 ◎ イガネゲレバ類 @ イガナケリャー # イカナイバ ∀ イカナ △ イカナンダラ ▲ イカナンデ □ イカヘナンダラ ◇ イケヘナンダラ類 ■ イカヘンカッタラ ◆ イケヘンカッタ ▽ イカンカッタラ $ イカンノキャ ☆ イカンケー ★ ンガナナレバ ● イガネホガ
記号化担当			高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵	高木千恵

番号	調査票	地点	JG-066 行かなくて	JG-079-b 行かないで	JG-080-b 行く	JG-077-b 行った	JG-078-b 行け
1	08日高	秋田県 秋田市	♂ ęgane·site	● ęgane[ɴde	○ ęgɯ	○ ętta	○ ęge
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	● iganeɪnde	● iganede	○ igɯ	○ itta	○ 1 ike = 2 itte
3	08小林	宮城県 仙台市	○ 1 iŋanakɯte ● 2 inanede	● iŋanede	○ iŋɯ	○ itta	♀ iŋaiɴ
4	08竹田	山形県 米沢市	◎ iŋanekɯ̞te	● iŋanede	○ iŋɯ	○ itta	○ iŋe
5	09小林	福島県 会津若松市	○ iŋanagɯte	♂ iŋaede	○ 1 ikɯ 2 igɯ	○ itta	% ikɯtoi:da
6	09新井	栃木県 さくら市	● iganede	● iganeɴde	○ iŋɯ	○ itta	○ iŋe ja
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ iganakɯte	● igane:de	○ 1 igɯ 2 igɯɴdaio	○ itta	○ 1 ike 2 ige
8	08新井	埼玉県 上里町	○ 1 iganakɯ̞te ● 2 igane:de	● igane:de	○ igɯ	○ itta	○ ige
9	09三井	東京都 品川区	○ ikanakɯ̞te	∞ ikanaide	○ ikɯ	○ itta	○ 1 ike + 2 ittekɯdasai
10	08三井	東京都 立川市	○ ikanakɯ̞tte	● ikane:de	○ ikɯ	○ itta	○ ike
11	09吉田	山梨県 早川町	▼ ikade	@ ikade:de	○ ikɯdo:jo	@ itto:	○ ike
12	08沖	長野県 松本市	△ ikanande	△ ikanande	○ ikɯ	○ ittajo	⊂ 1 ikɯda 2 ikɯno
13	08中井	富山県 富山市	▽ ikaɴde	◿ ikaɴto	○ ikɯ	○ itta	♂ ikare
14	09大西	富山県 砺波市	▽ ikande	◿ ikanto	○ ikɯ	○ itta	♂ ikare
15	09中井	石川県 小松市	▽ ikaɴde	◿ ikaɴto	○ ikɯ	○ itta	○ ike
16	09舩木	京都府 与謝野町	◆ 1 ikeheɴde △ 2 ikanaɴde	◿ ikaɴto	○ ikɯ	○ itta	○ ike:ja:
17	08松丸	滋賀県 高島市	▽ 1 × ikkjoraɴkara , 2 ikaɴde , ■ 3 ikaheɴde , ×4 ikijoraɴde	◿ 1 ikaɴto ▽ 2 ikaɴde	○ ikɯ	○ itta	○ ike
18	09渋谷 A	京都府 京都市	$ 1 ikaheɴ node □ 2 ikaheɴ katte	▽ ikaɴde	○ ikɯ	○ itta	◆ 1 oikijasɯ ◇ 2 ikiiofiia
19	08高木	大阪府 大阪市	◆ 1 ikeheɴde △ 2 ikanaɴde	◿ 1 × ikijoraɴde 2 ikaɴto	○ 1 iku ♀ 2 ikimaɴneɴ	○ itta	〒 ikinahareja:
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	◇ 1 ikehenaɴdaɴde $ 2 ikeheɴnode	▽ ikaɴde	○ ikɯ	○ itta	○ ike
21	08都染	兵庫県 姫路市	$ 1 ikaennode ▲ 2 ikaide	◿ ikanto	○ iku	○ ita	○ ike
22	08岸江	徳島県 徳島市	▽ ikaɴde	◿ ikaɴto	○ iku	○ itta	■ ikina
23	09岸江	香川県 東かがわ市	# 1 ikaɴnode ▽ 2 ikaɴde	◿ ikaɴto	○ iku	○ itta	○ ike
24	09小西	岡山県 笠岡市	▲ ikaide	◿ ikaɴto	○ iku	○ ita	○ ike
25	08小西	広島県 三次市	▽ ikaɴde	▽# 1 ikaɴde , 2 ikaɴko:ni , < 3 ika:de	○ iku	○ itta	□# 1 ikiɴsai , 2 ikinae , ○ 3 ike
26	08舩木	山口県 光市	▽ isso ikaɴdeno:	▽ ikaɴde	○ ikɯ	○ itta	○ ike:ja
27	08杉村	福岡県 福岡市	# 1 ikaŋkeɴ ▽ 2 ikande	▽ ikande	○ iku	○ itta	# 1 ikinai □ 2 ikiɴsai
28	08木部	鹿児島県 日置市	▽ ikaɴʒi	▽ ikaɴʒi	△ it	○ itta	○ 1 ike ∝ 2 ikkiai
29	08大西	鹿児島県 南九州市	▽ iganʒi	▽ iganʒi	△ i?	○ ida	○ ige
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	☆ ?ikaɴ	☆ ?ikaɴ	★ ?itʃuɴ	★ ?ɴdʒaɴ	○ ?ike:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	★ ŋganariki	★ ŋganu	★ ŋguɴ	☆ ŋgutaɴ	◇ ŋgi
【凡例】			○ イカナクテ類 ♂ エガネーシテ ∞ イカナイデ類 ◎ イガネクテ ● イガネデ類 △ イカナンデ ▽ イカンデ類 ▲ イカイデ ▼ イカデ ■ イカヘンデ ◆ イケヘンデ # イカンノデ類・イカンケン $ イカヘンノデ類 ◇ イケヘナンダンデ □ イカヘンカッテ ☆ イカン ★ ンガナリキ	∞ イカナイデ類 ● イガネデ類 ♂ イガエデ @ イカデーデ △ イカナンデ ▽ イカンデ類 < イカーデ ◿ イカント # イカンコーニ ☆ イカン ★ ンガヌ	○ イク類 △ イッ ★ イチュン・ングン ♀ イキマンネン	○ イッタ類 @ イットー ★ ンジャン ☆ ングタン	○ イケ類 □ イキンサイ 〒 イキナハレ # イキナイ・イキナエ ■ イキナ ◇ イキヨシ・ンギ ◆ オイキヤス ♀ イガイン ♂ イカレ ∝ イッキャイ + イッテクダサイ = イッテ % イクトイー ⊂ イクダ・イクノ
記号化担当			高木千恵	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-081-b [JP-16] 着いた	JG-093-b ない（否定形）
1	08日高	秋田県 秋田市	○ tsi˙ta	◎ ne
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ tsɯida	◎ ne
3	08小林	宮城県 仙台市	○ 1 tsɯita 2 tsɯita	◎ nettʃa
4	08竹田	山形県 米沢市	○ tsɯida	○ nai
5	09小林	福島県 会津若松市	○ tsɯita	○ nai
6	09新井	栃木県 さくら市	○ tsɯida	◎ ne
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ tsɯita	◎ ne: ヨ
8	08新井	埼玉県 上里町	○ tsɯita	◎ ne:
9	09三井	東京都 品川区	○ tsɯita	○ nai
10	08三井	東京都 立川市	○ tsɯita	○ nai
11	09吉田	山梨県 早川町	○ 1 tɯitajo: @ 2 tɯito:io	○ nai
12	08沖	長野県 松本市	○ tsɯita	○ 1 naiwa 2 × dawa
13	08中井	富山県 富山市	○ tsɯita	○ nai
14	09大西	富山県 砺波市	○ tsɯita	○ naiwa
15	09中井	石川県 小松市	○ tsɯita	○ nai
16	09松木	京都府 与謝野町	○ tsɯita	○ naido:
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ tsɯita	○ 1 nai ■ 2 arahen
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ tsɯita	■ arahen
19	08高木	大阪府 大阪市	○ tsuita	○ 1 nai ■ 2 arehen
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ tsɯita	○ nai
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ tsuita	○ nai
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ tsuita	○ nai
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ tsuita	○ nai
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ tsuita	○ nai
25	08小西	広島県 三次市	○ tsuita	○ nai
26	08松木	山口県 光市	○ tsɯita	○ nai
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ tsuitabai	○ nai
28	08木部	鹿児島県 日置市	○ tʃita	● naka
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ tʃida	● naga
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	＊ 1 tʃitʃo:ɴ ★ 2 tʃitʃaɴ	☆ ne:ɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	☆ skutaɴ	N × aru
【凡例】			○ ツイタ類 @ ツイトー ＊ チチョーン ★ チチャン ☆ スクタン	○ ナイ ◎ ネー類 ● ナカ類 ☆ ネーン ■ アラヘン N 無回答・無効回答
記号化担当			日高水穂	日高水穂

Ⅱ　名詞句・接続句関係：格・とりたて・条件表現など

番号	調査票	地点	JG-018-a おれガ	JG-023-a おまえガ	JG-032-a ガ：どろぼうガ	JG-168-a ガ：先生ガ	JG-033-a ガ：台風ガ
1	08日高	秋田県 秋田市	@ orea	φ ɯme	N NR	φ sɴse	φ taɸɸɯ:
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	φ 1 watasɯ , 2 ore , 3 wataswra	φ 1 ome 2 omehaɴ	φ dorobo	φ sɴse	φ taiφɯ
3	08小林	宮城県 仙台市	φ ore	φ anda	○ dorobo:ŋa	○ sense:ŋa	φ taiφɯ:
4	08竹田	山形県 米沢市	φ ore	φ omae	φ dorobo:	φ sense	φ taiφɯ:
5	09小林	福島県 会津若松市	○ oreŋa	○ omeŋa	○ dorobo:ŋa	○ sense:ŋa	○ taiφɯ:ŋa
6	09新井	栃木県 さくら市	○ oreŋa	○ om[ie:ŋa	○ dorobo: ŋa	○ sɴse:ŋa	○ taiφɯ:ŋa
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ 1 wataʃi ga 2 ore ga	○ ome: ga	○ dorobo: ga	φ sɴse:	○ taiφɯ: ga
8	08新井	埼玉県 上里町	○ orega	○ omaega	○ dorobo:ga	○ sense:ga	○ taiφɯ:ga
9	09三井	東京都 品川区	○ wataʃiŋa	○ 1 kimiŋa 2 ~ saŋŋa	○ dorobo:ŋa	○ seĩse:ŋa	○ taiφɯ:ŋa
10	08三井	東京都 立川市	○ oreŋa	φ ome:	○ dorobo:ŋa	φ seĩse:	φ taiφɯ:
11	09吉田	山梨県 早川町	○ oreŋa	φ ware	○ dorobo:ŋa	○ sɴse:ŋa	○ taiφɯŋa
12	08沖	長野県 松本市	○ 1 oreŋa , 2 atai , 3 φ ataʃi	○ 1 anataŋa , 2 (名前+)tʃ aŋŋa , 3 (名前+)tʃaŋ φ	○ dorobo:ŋa	○ 1 sense:ŋa φ 2 sense:	○ taiφɯ:ŋa
13	08中井	富山県 富山市	○ waʃiŋa	φ aɴta	φ dorobo:	φ sɴse:	φ taiφɯ:
14	09大西	富山県 砺波市	φ ora	φ anta	φ dorobo:	○ sẽ:se:ŋa	φ taiφɯ:
15	09中井	石川県 小松市	φ 1 ɯra 2 wataʃi	φ ware	○ dorobo:ŋa	○ sɴse:ŋa	○ taiφɯ:ŋa
16	09松木	京都府 与謝野町	○ waʃiga	φ 1 omja: 2 oɴmja:	○ dorobo:ga	(未調査)	φ taiφɯ:
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ 1 waʃiga φ 2 waʃi	○ 1 omaɴga , 2 omaɴ , 3 φ omaega , 4 omae	○ dorobo:ga	○ sɴse:ga	○ taiφɯ:ga
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ ɯtʃi ga	φ aɴta	○ dorobo: ga	○ sɴse: ga	○ taiφɯ: ga
19	08高木	大阪府 大阪市	φ oto:saɴ	φ 1 oka:saɴ , 2 omae , 3 aɴta	φ dorobo:	φ sɴse	φ taiφu:
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	φ wae	φ omae	φ dorobo:	φ sense:	φ taiφɯ:
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ waʃiŋa	○ omaeŋa	○ dorobo:ŋa	○ seũseŋa	○ taiφu:ŋa
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ utʃiga	○ 1 omaega φ 2 omahaɴ	○ 1 dorobo: ga 2 nusutto ga	○ sɴse: ga	○ taiφu: ga
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ 1 orega 2 waʃiga	○ omae ga	○ dorobo: ga	○ sɴse:ga	○ 1 ʃike ga 2 taiφu: ga
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ 1 waʃiga , 2 bokuga , 3 uraga	○ 1 warega 2 omaega	○ 1 nusutoga 2 nusitoga	○ sɴsega	○ 1 taiφu:ga , 2 ʃikega , 3 o:ʃikega
25	08小西	広島県 三次市	○ waʃiga	& 1 warja: , 2 aɴtaga , ○ 3 omæ:ga	○ dorobo:ga	○ sɴse:ga	○ taiφu:ga
26	08松木	山口県 光市	○ waʃiga	○ 1 omaega φ 2 omae	○ 1 dorobo:ga 2 obakega	φ sɴse:	○ taiφɯ:ga
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ orega	○ omaega	○ dorobo:ga	■ sen: no	■ taiφu:no
28	08木部	鹿児島県 日置市	○ ataiga	○ ojaɴga	○ nɯidogoroga	○ sɴse:ga	○ ɯkazega
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ oŋa 2 oiŋa	○ waiŋa	○ njuʃitoŋa	○ sense:ŋa	○ ugazeŋa
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	○ waɴga	φ ʔja:	◆ nusudunu	○ ʃiɴʃi:ga	φ kadʒe:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	＊ bandu	＊ da:du	◆ nuʃiturunu	◆ ʃiɴʃi:nu	＋ kạtʃiφɥkija
【凡例】			○ ガ @ ア ＊ ドゥ φ 無助詞	○ ガ & （ワリャー） ＊ ドゥ φ 無助詞	○ ガ ◆ ヌ φ 無助詞 N 無回答・無効回答	○ ガ ■ ノ ◆ ヌ φ 無助詞	○ ガ ■ ノ ＋ ヤ φ 無助詞
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-034-a ガ：バスガ	JG-067-b の：おれの	JG-069 の：おまえの	JG-070 の：バスの	JG-071 の：台風の
1	08日高	秋田県 秋田市	ϕ basɯ	■ oẹno	■ ɯneno	■ basïno	■ taẹϕɯ:no
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	ϕ basɯ	■ 1 oreno 2 wadasɯ no	■ omehaɴ no	■ basɯ no	■ taiϕɯ: no
3	08小林	宮城県 仙台市	○ basɯŋa	■ wadaʃino	■ aṇtano	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
4	08竹田	山形県 米沢市	ϕ basɯ	■ oreno	■ omae no	■ basɯ no	■ taịϕɯ: no
5	09小林	福島県 会津若松市	○ basɯŋa	■ oreno	■ omɛ:no	■ basɯno	■ タイフーノ
6	09新井	栃木県 さくら市	ϕ 1 basɯ ○ 2 basɯ ŋa	■ oreno	■ omʃie:no	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ basɯ ga	■ 1 oreno 2 wataʃino	■ omeno	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
8	08新井	埼玉県 上里町	○ basɯga	■ oreno	■ ome:no	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
9	09三井	東京都 品川区	○ basɯŋa	■ wataʃino	■ 1 kimino 2 anatano	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
10	08三井	東京都 立川市	○ basɯŋa	■ oreno	■ ome:no	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
11	09吉田	山梨県 早川町	○ basɯŋa	○ oreŋa	■ oiʃino	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
12	08沖	長野県 松本市	○ basɯŋa	■ 1 wataʃino 2 ataʃino	■ 1 anatano 2 (名前+)tʃanno	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
13	08中井	富山県 富山市	ϕ basɯ	■ waʃino	■ anɪtano	■ basɯno	■ taiϕɯno
14	09大西	富山県 砺波市	ϕ basɯ	■ orano	■ antano	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
15	09中井	石川県 小松市	○ basɯŋa	■ wataʃino	■ omaeno	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
16	09鮫木	京都府 与謝野町	ϕ basɯ	■ waʃino	■ omja:no	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ basɯga	■ waʃino	■ 1 omaeno 2 omahaɴno	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ basɯ ga	■ ɯtʃino	■ anta no	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
19	08高木	大阪府 大阪市	ϕ basu	■ 1 waʃino , 2 bokuno , 3 oreno	■ omaeno	■ basuno	■ ju:datʃino
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	ϕ basɯ	■ waeno	■ omae no	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ basuŋa	■ waʃino	■ omaeno	■ basuno	■ taiϕu:no
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ basu ga	■ utʃino	■ anta no	■ basu no	■ taiϕu: no
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ basu ga	■ 1 oreno 2 waʃino	■ 1 omaino , 2 anɪtano , 3 omahaɴno	■ basuno	■ taiϕu:no
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ ϕunega	■ 1 urano 2 waʃino	■ wareno	■ basuno	■ 1 taiϕu:no 2 ʃikeno
25	08小西	広島県 三次市	○ basuga	■ waʃino	■ anɪtano	■ basuno	■ taiϕu:no
26	08鮫木	山口県 光市	○ basɯga	■ waʃino	■ omaeno	■ basɯno	■ taiϕɯ:no
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ 1 basuga ■ 2 basuno	■ oreno	▼ 1 omaento ■ 2 omaeno	■ basuno	■ 1 taiϕu:no 2 o:kazeno
28	08木部	鹿児島県 日置市	○ basɯga	★ ataigo	○ 1 omaɴsa:ga 2 ohaɴga	■ basɯno	▲ ɯkazeɴ
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ basuŋa	○ 1 oŋa 2 oiŋa	○ waiŋa	▲ basuɴ	▲ ugazeɴ
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	◆ basunu	ϕ wa:	ϕ ʔja:	◆ basunu	◆ te:ϕu:nu
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	◆ basunu	ϕ ba:	ϕ da:	◆ basunu	◆ u:katʃinu
【凡例】			○ ガ ■ ノ ◆ ヌ ϕ 無助詞	○ ガ ■ ノ ★ ゴ ϕ 無助詞	○ ガ ■ ノ ▼ ント ϕ 無助詞	■ ノ ▲ ン ◆ ヌ	■ ノ ▲ ン ◆ ヌ
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-072 の：先生の	JG-074 の：どろぼうの	JG-075 の：長男の	JG-076 の：次男の	JG-068 の：おれのだ
1	08日高	秋田県 秋田市	■ ʃeɴʃe·no	■ dorob·no	■ aɴtʃano	■ oɴtʃano	■ oẹno[ɴda
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	■ sense: no	■ dorobo·no	■ tʃo·ke·no	■ o[ndʒi no	■ 1 oreno da 2 wadasɯ no da
3	08小林	宮城県 仙台市	■ sense:no	■ dorobo·no	N taro:no	N dʒiro:no	■ orendatʃa
4	08竹田	山形県 米沢市	■ sense: no	■ dorobo: no	■ adotorimɯsɯko no	■ ʃa[nde no	◇ oren na da
5	09小林	福島県 会津若松市	■ sense:no	■ dorobo:no	■ 1 senano 2 antʃano	N dʒiro:no	■ オレノダ
6	09新井	栃木県 さくら市	■ sense no	■ dorobo: no	■ anikino	■ ʃade· no	□ 1 oreɴnoda ■ 2 orenoda
7	08高橋	群馬県 前橋市	■ sense:no	■ nɯsɯtto no	■ so:rjo: no	N NR	■ 1 wataʃinoda ヨ 2 oɴnoda ヨ
8	08新井	埼玉県 上里町	■ sense:no	■ dorobo:no	■ tʃo:naɴ no	N (固有名を用いる)	■ orenoda
9	09三井	東京都 品川区	■ seĩse:no	■ dorobo:no	■ tʃo:nanno	■ oto:tono	■ wataʃinodesɯ
10	08三井	東京都 立川市	■ seĩse:no	■ 1 dorobo:no , 2 jato:no , 3 joto:no	■ so:rjo:no	■ ʃate·no	■ orenda
11	09吉田	山梨県 早川町	■ sense:no	■ dorobo:no	■ tʃo:naɴno	■ ʃate:no	● oreŋado:ŋa
12	08沖	長野県 松本市	■ sense:no	■ dorobo:no	N NR	N NR	□ 1 wataʃinno(da) 2 ataʃinno(da)
13	08中井	富山県 富山市	■ sense:no	■ dorobo:no	■ aɴmano	■ oʒʒano	○ waʃinoŋadatʃa
14	09大西	富山県 砺波市	■ sense:no	■ dorobo:no	■ 1 aɲikino 2 antʃanno	■ ossamano	○ oranoŋaja
15	09中井	石川県 小松市	■ sense:no	■ nɯsɯttono	■ aɴkano	■ ossano	○ ɯranoŋa
16	09舩木	京都府 与謝野町	■ sense:no	■ dorobo:no	■ tʃo:naɴno	■ ʒinaɴno	■ waʃinodado:
17	08松丸	滋賀県 高島市	■ sense:no	■ dorobo:no	■ aniki no	■ oto:to no	■ waʃinoja
18	09渋谷 A	京都府 京都市	■ sense:no	■ dorobo:no	N (区別なし)	N (区別なし)	■ ɯtʃino e
19	08高木	大阪府 大阪市	■ sense:no	■ dorobo:no	■ boɴ no	■ nakaboɴ no	□ 1 waʃinoɴja 2 oreɴoɴja
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	■ senseno	■ dorobo:no	N NR	N NR	■ wae no ja
21	08都染	兵庫県 姫路市	■ seũseno	■ dorobo:no	■ so:rjo:no	N NR	□ waʃinoũja
22	08岸江	徳島県 徳島市	■ sense: no	■ dorobo:no	■ tʃo:naɴ no	N NR	■ utʃiɴʒa
23	09岸江	香川県 東かがわ市	■ sense:no	■ dorobo:no	■ aɴtʃaɴ no	N NR	■ 1 oraɴja 2 waʃiɴja
24	09小西	岡山県 笠岡市	■ sense:no	■ nusuttono	■ tʃo:naɴ no	■ dʒinaɴ no	■ 1 uranodʒa 2 waʃinodʒa
25	08小西	広島県 三次市	■ sense:no	■ 1 dorobo:no 2 nusuttono	■ tʃo:naɴno	■ dʒinaɴno	■ 1 waʃinoda 2 waʃiɴda
26	08舩木	山口県 光市	■ sense:no	■ dorobo:no	■ tʃo:naɴno	N NR	■ waʃinoʒa
27	08杉村	福岡県 福岡市	■ sense:no	■ dorobo:no	■ 1 tʃo:nanno 2 so:rjo:no	■ 1 dʒinanno 2 ɲibammeno	▽ orentobai
28	08木部	鹿児島県 日置市	■ sense:no	▲ nuidogoroɴ	N NR	N NR	● ataiga ta
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ sense:ŋa	▲ njuʃitoɴ	N (未調査)	N (未調査)	● 1 oŋata? ◎ 2 oŋatoʒa?
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	ϕ ʃiɴʃi:	◆ nusudunu	◆ tʃo:naɴnu	N NR	★ wa: muɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	◆ ʃiɴʃi:nu	◆ nusturinu	ϕ buʃama	ϕ nakaʃama	★ ba: munu
【凡例】			○ ガ ■ ノ ◆ ヌ ϕ 無助詞	■ ノ ▲ ン ◆ ヌ	■ ノ ◆ ヌ ϕ 無助詞 N 無回答・無効回答	■ ノ ϕ 無助詞 N 無回答・無効回答	■ ノ・ン ● ガ □ ノン・ノウ・ンノ ◇ ンナ ○ ノガ ▽ ント ◎ ガト ★ ムン・ムヌ
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-073 のだ：先生のだ	JG-083-b あるのは	JG-067-a は：それは	JG-010-a を：窓を	JG-017-a を：先生を
1	08日高	秋田県 秋田市	□ ʃeɴʃeˑnoʃɴda	■ arɯnoa	● sorea	φ maʃɴdo	φ seɴse
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	■ sense no da	□ arɯno	φ soidʒɯ	φ mado	φ 1 seɴseˑ ○ 2 seɴseˑ o
3	08小林	宮城県 仙台市	■ sense:nodattʃa	■ annowa	● soi̯tsɯwa	φ mado	○ sense:o
4	08竹田	山形県 米沢市	◇ sense:n na da	◆ 1 anna 2 anna wa	φ so̯idzɯ	φ maʃndo	▲ seɴse ɴ dogo
5	09小林	福島県 会津若松市	■ sense:nodana:	□ anno	● sorewa	φ mado	○ 1 senseo ▲ 2 sensendoko
6	09新井	栃木県 さくら市	■ seɴse ɴ da	■ aɴnowa	● sorewa	◎ mado:	○ seɴse: o
7	08高橋	群馬県 前橋市	■ seɴse:noda ヨ	■ arɯnowa	φ sore	◎ mado:	○ seɴse: o
8	08新井	埼玉県 上里町	■ sense:noda	■ arɯnowa	● sorewa	○ madoo	○ seɴse:o
9	09三井	東京都 品川区	■ seĩse:noda	■ arɯnowa	● sorewa	○ madoo	○ seĩse:o
10	08三井	東京都 立川市	■ seĩse:noda	■ annowa	● so͡rea	◎ madoˑ	φ seĩse:
11	09吉田	山梨県 早川町	N × seɴse:no kasada	■' ara:	● sorewa	◎ mado:	○ seɴse:o
12	08沖	長野県 松本市	■ 1 sense:nodajo □ 2 sense:nnodajo	■ arɯnowa	● sorewa	φ mado	○ sense:o
13	08中井	富山県 富山市	○ seɴse:noŋadawa	○ arɯŋa	φ sore	φ mado	○ 1 seɴse:noho:o 2 seɴse:o
14	09大西	富山県 砺波市	○ sẽːse:noŋaja	○ aŋŋa	φ sore	φ mado	φ sense:
15	09中井	石川県 小松市	○ seɴse:noŋaja	● arɯŋawa	● sorewa	○ madoo	○ seɴse:o
16	09舩木	京都府 与謝野町	■ seɴse:ɴda	■ arɯɴwa	● soreʃa	φ mado	φ seɴse:
17	08松丸	滋賀県 高島市	■ seɴse:noja	■ arɯnowa	● 1 sorewa φ 2 sore	φ mado	○ 1 seɴse:o φ 2 seɴse:
18	09渋谷 A	京都府 京都市	N 1 × sense:no kasa dosɯ e 2 × sense:no kasa e	■ arɯnowa	● sore wa	○ mado o	○ sense: o
19	08高木	大阪府 大阪市	□ sense:noɴ	□ aɴnoɴ	● 1 sorewa φ 2 sore	◎ mado:	φ seɴse
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	■ senseno ja	□ aɴno	φ sore	φ mado	φ seɴse:
21	08都染	兵庫県 姫路市	□ seɯ̃senoɯ̃ja	■ annowa	● soiwa	φ mado	φ seɯ̃se
22	08岸江	徳島県 徳島市	■ 1 seɴse:ɴʒa 2 seɴseɴʒa	■ aruɴwa	φ sore	◎ mado:	φ seɴse
23	09岸江	香川県 東かがわ市	■ seɴse:noja	■ aruɴwa	● sorewa	◎ mado:	○ seɴse: o
24	09小西	岡山県 笠岡市	■ seɴse:nodʒaga	■ arunowa	●■◆ 1 sorewa , 2 sorja: , 3 sa:	○ madoo	○ seɴse:o
25	08小西	広島県 三次市	■ 1 seɴse:nodʒa , 2 seɴse: noda , 3 seɴse:ɴdʒa	◆ aruna:	■ sorja:	◎ mado:	○ seɴse:o
26	08舩木	山口県 光市	■ seɴse:noʒa:	■ arɯnowa	■ sorja:	◎ mado:	φ seɴse:
27	08杉村	福岡県 福岡市	▽ seɴse:notoʒaro	▲ aratowa	● sorewa	◎ 1 mado: ◆ 2 madoba	◆ sense:ba
28	08木部	鹿児島県 日置市	■ seɴse:noʒa	▲ atta	▲ soja	φ mado	○ seɴse:o
29	08大西	鹿児島県 南九州市	◎ 1 sense:ŋatoʒaʔ 2 sense:ŋataʔ	▲ atta	▼ sonta	◎ mado:	★ senseju
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	★ ʃi:ʃi:muɴ	▼ ʔaʃe:	★ ʔure:	φ 1 takadugwa: 2 takabaʃiru	φ ʃiɴʃi:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	N NR	★ aru munuja	★ ure	★ maduju	★ ʃiɴʃi:ju
【凡例】			■ ノ・ン ● ガ □ ノン・ノウ・ンノ ◇ ンナ ○ ノガ ▽ ント・ノト ◎ ガト ★ ムン・ムヌ N 無回答・無効回答	■ ノワ・ノア・ンワ ■' （アラー） ◆ ナ・ナー・ナワ ● ガワ ▲ トワ・タ ▼ シェー ★ ムヌヤ □ ノ・ノン ○ ガ	● ワ・ア ■ （ソリャー） ◆ （サー） ▲ （ソヤ） ▼ （ソンタ） ★ （ウレー・ウレ） φ 無助詞	○ オ ◎ （マドー） ◆ バ ★ ユ φ 無助詞	○ オ ◆ バ ★ ユ ▲ トコ類 φ 無助詞
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-024-a を：木を	JG-025-a を：指を	JG-026-a を：髪を	JG-030-a を：酒を	JG-077-a に：学校に
1	08日高	秋田県 秋田市	φ ki	φ jɯ[ɴbi	φ kami	φ sage	▲ gakko:sa
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	◎ ki:	φ jɯbi	φ kami	φ sage	▲ gakko sa
3	08小林	宮城県 仙台市	◎ ki:	φ 1 jɯbio 2 jɯbi	φ kami	φ saɲe	○ 1 gakko:ni ▲ 2 gakkosa
4	08竹田	山形県 米沢市	φ ki	φ jɯ[nbi	φ kami	φ sage	▲ gakko sa
5	09小林	福島県 会津若松市	○ kio	φ 1 jɯbio 2 jɯbi	○ atamanokeo	φ sake	○ 1 gakkoni ▲ 2 gakkosa
6	09新井	栃木県 さくら市	◎ 1 ki: ○ 2 ki o	φ jɯbi	◎ 1 ke: φ 2 adama	φ 1 sage ○ 2 sage o	▲ gakko: sa
7	08高橋	群馬県 前橋市	◎ ki:	◎ jɯbi:	φ atamano ke	○ 1 sake o φ 2 sake	◎ gakko: i
8	08新井	埼玉県 上里町	○ kio	○ jɯbio	○ 1 okamio 2 kaminokeo	○ sake o	○ gakko:ni
9	09三井	東京都 品川区	○ kio	○ jɯbio	○ kamio	○ sakeo	○ gakko:ɲi
10	08三井	東京都 立川市	◎ ki:	φ jɯbi	φ kami	φ sake	φ gakko
11	09吉田	山梨県 早川町	○ 1 kiwo 2 kio	○ jɯbio	○ keo	■ sakjo:	◇ gakko:e
12	08沖	長野県 松本市	○ kiwo	○ jɯbiwo	φ 1 okami ○ 2 kamio	○ sakewo	◇ kino:na gakko:e
13	08中井	富山県 富山市	φ ki	φ jɯbi	φ ke	φ sake	φ gakko:
14	09大西	富山県 砺波市	◎ ki:	φ jɯbi	φ atamanoke	φ sake	○ 1 gakko:ɲi ◇ 2 gakko:e
15	09中井	石川県 小松市	○ 1 kio ◎ 2 ki:	○ jɯbio	○ kamio	○ 1 sakeo φ 2 sake	◇ ŋakko:e
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ kio	○ jɯbio	φ kami	φ sake	○ 1 gakko:ni ◇ 2 gakko:e
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ 1 ki:o ◎ 2 ki:	○ 1 jɯbio φ 2 jɯbi	○ 1 kamio φ 2 kami	φ 1 sake ○ 2 sakeo	○ 1 gakko:ni φ 2 gakko:
18	09渋谷 A	京都府 京都市	◎ ki:	φ jɯbi	φ kami	φ osake	◇ gakko e
19	08高木	大阪府 大阪市	◎ ki:	φ jubi	φ kami	φ sake	φ 1 gakko: ◇ 2 gakko:e
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	◎ ki:	φ jɯbi	φ kami	φ sake	○ gakko:ni
21	08都染	兵庫県 姫路市	◎ ki:	φ jubi	◎ ke:	φ sake	φ gakko
22	08岸江	徳島県 徳島市	◎ ki:	◎ te:	◎ ke:	φ sake	◎ 1 gakkoi 2 gakko:i
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ ki: o	○ jubi o	○ kami o	φ sake	◇ 1 gakko e ○ 2 gakkoni
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ kio	○ jubio	φ kami	φ 1 sake ○ 2 sakeo	○ 1 gakko:ni ◇ 2 gakko:e
25	08小西	広島県 三次市	● kju:	● jubju:	● kamju:	○ 1 sakeo ■ 2 sakjo:	◇ gakko:e
26	08舩木	山口県 光市	○ kio	■ jɯbjo:	φ 1 kami ■ 2 kamjo:	■ sakjo:	○ gakko:ni
27	08杉村	福岡県 福岡市	◆ 1 kiba ○ 2 ki o	◆ jubiba	○ 1 kamio ◆ 2 kamiba	◆ sakeba	◎ 1 gakko:i ○ 2 gakko:ɲi
28	08木部	鹿児島県 日置市	○ kio	○ jɯbio	○ kaɴnokeo	○ ʃotʃuo	○ gakko:ni
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ kiwo	φ ibu	○ bintawo	○ 1 sagewo 2 soʒuwo	□ gakke
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	◎ 1 ki: ＋ 2 ki:ja	φ ʔi:bi	φ karadʒi	φ saki	★ gakko:kai
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	★ ki:ju	★ ubiju	★ amaʒiju	★ sąkiju	☆ gakko:go
【凡例】			○ オ ◎（キー） ●（キュー） ◆ バ ★ ユ ＋ ヤ φ 無助詞	○ オ ◎（ユビー・テー） ●（ユビュー） ■（ユビョー） ◆ バ ★ ユ φ 無助詞	○ オ ◎（ケー） ●（カミュー） ■（カミョー） ◆ バ ★ ユ φ 無助詞	○ オ ■（サキョー） ◆ バ ★ ユ φ 無助詞	○ ニ ◎ イ ◇ エ □（ガッケー） ▲ サ ★ カイ ☆ ゴ φ 無助詞
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-078-a へ：東の方へ	JG-079-a に：仕事に	JG-080-a に：見に	JG-081-a に：東京に	JG-082 に：大工に
1	08日高	秋田県 秋田市	▲ çiŋasïsa	▲ sïŋodosa	○ mini	▲ to·kjo·sa	○ de·gɯni
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	▲ çigaʃi sa	▲ ʃigodosa	○ 1 mini ▲ 2 misa	▲ tokjo· sa	○ daikɯ ni
3	08小林	宮城県 仙台市	▲ çiŋaʃinoho:sa	▲ ʃiŋo̯tosa	▲ missa	▲ to·kyo·sa	● 1 de:gɯɴ ○ 2 de:gɯni
4	08竹田	山形県 米沢市	▲ çiŋaʃino ho:sa	▲ ʃigodo sa	○ mi ni	▲ to·kjo sa	○ daigɯ ni
5	09小林	福島県 会津若松市	▲ 1 çiŋaʃinoho·sa 2 çiŋaʃinoho·ni	○ 1 ʃiŋotonimo ▲ 2 シコ゜トサ	○ 1 mini ▲ 2 misa	▲ tokjo·sa	○ daikɯni
6	09新井	栃木県 さくら市	▲ çiŋaʃino ho: sa	▲ ʃiŋoto sa	○ mini	▲ to:kjo:sa	○ daikɯni
7	08高橋	群馬県 前橋市	ϕ çigaʃino ho:	○ ʃigoto ɲi	○ mi ɲi	○ to:kjo:ɲi	○ de:kɯɲi
8	08新井	埼玉県 上里町	◇ çigaʃinoho:e	○ ʃigotoni	○ mini	○ to:kjo:ni	○ daikɯni
9	09三井	東京都 品川区	◇ çiŋaʃinoho:e	○ ʃiŋotoɲi	○ miɲi	○ to:kjo:ɲi	○ daikɯɲi
10	08三井	東京都 立川市	◇ çiŋaʃinoho:e	○ ʃiŋotoɲi	□ mi:	ϕ to:kyo:	● de:kɯn
11	09吉田	山梨県 早川町	▲ çiŋaʃino ho:sa	○ ʃiŋoto ni	□ mi:	◇ 1 to:kjo:e ▲ 2 to:kjo:sa	○ daikɯni
12	08沖	長野県 松本市	◇ ʃiŋaʃino ϕo:e	◎ ʃiŋotoi	□ mi:	◎ to:kjo:i	● daikɯɴ
13	08中井	富山県 富山市	ϕ çiŋaʃinoho:	○ ʃiŋotoni	○ mini	○ to:kjo:ni	○ daikɯsaɴni
14	09大西	富山県 砺波市	◇ 1 çiŋaʃimuite 2 çiŋaʃinoho:e	○ ʃiŋotoɲi	○ miɲi	○ to:kjo:ɲi	○ daikɯsaɲi
15	09中井	石川県 小松市	◇ çiŋaʃinoho:e	○ ʃigotoni	○ mini	○ to:kjo:ni	● daikɯɴ
16	09鮫木	京都府 与謝野町	◇ çigaʃinoho:e	○ ʃigotoni	○ mini	ϕ to:kjo:	● 1 daikɯɴ ○ 2 daikɯni
17	08松丸	滋賀県 高島市	◇○ϕ 1 çigaʃinoho: e , 2 çigaʃinoho: ni , 3 çigaʃinoho:	○◇ϕ 1 ʃigoto ni , 2 ʃigoto e , 3 ʃigoto	○ mini	○ to:kjo:ni	○ daikɯni
18	09渋谷 A	京都府 京都市	◇ çigaʃi e	ϕ ʃigoto	○ mini	◇ to:kjo: e	○ daikɯsaɴ ni
19	08高木	大阪府 大阪市	◇ϕ 1 çigaʃinoho:e , 2 çigaʃ ie , 3 çigaʃi	ϕ ʃigoto	○ mini	○ to:kjo:ni	○ daikuni
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	◇ çiɣaʃino ho:e	○ 1 ʃiŋoto ni ◇ 2 ʃiŋoto e	○ mini	◇ to:kjo: e	○ daikɯni
21	08都染	兵庫県 姫路市	ϕ çiŋaʃinoho:	○ ʃiŋotoni	○ mi:ni	◎ to:kjo:i	● daikuɴ
22	08岸江	徳島県 徳島市	◎ çigaʃi no ho:i	○ ʃigoto ni	○ mini	◎ tokjo:i	ϕ daiku
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ çigaʃino ho:ni	○ ʃigotoni	○ mini	○ tokjo ni	○ daiku ni
24	09小西	岡山県 笠岡市	◇ çigaʃinoho:e	○ ʃigotoni	□ mi:	◇ to:kjo:e	○ daikuni
25	08小西	広島県 三次市	◇ çigaʃinoho:e	○ 1 ʃigotoni ◇ 2 ʃigotoe	○ 1 mini □ 2 mi:	◇ to:kjo:e	○ daikuni
26	08鮫木	山口県 光市	◇ çigaʃinoho:e	○ ʃigotoni	○ mini	○ to:kjo:ni	○ 1 daikɯni ● 2 daikɯɴ
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ 1 çigaʃinoho:ɲi ▼ 2 igaʃinoho:sae	> ʃigotoɲa	○ 1 miɲi ♪ 2 mige	○ to:kjo:ɲi	◎ daikui
28	08木部	鹿児島県 日置市	□ 1 çigasse: ○ 2 çigainoho:ni	□ 1 ʃigote < 2 ʃigotena	♪ mike	ϕ to:kjo:	◎ daikɯi
29	08大西	鹿児島県 南九州市	▼ çiŋassame	§ ʃiŋoʒi	♪ mige	● to:kjoɴ	○ 1 deddonni □ 2 degi
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	★ ʔagariɴkai	★ ʃikutʃikae:	# ˈɴ:dʒi:ga	★ to:kjo:ɴkai	★ 1 ʃe:kuɴkai ϕ 2 ʃe:ku
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	☆ antago	☆ ʃigutugo	$ mi:ri	☆ to:kjo:go	☆ ʃe:gugo
【凡例】			○ ニ ◎ イ ◇ エ □ （ヒガッセー） ▲ サ ▼ サエ・サメ ★ ンカイ ☆ ゴ ϕ 無助詞	○ ニ ◎ イ ◇ エ □ （シゴテ） ▲ サ ★ カエー ☆ ゴ > ナ < （シゴテナ） § （シゴジ） ϕ 無助詞	○ ニ □ （ミー） ▲ サ ♪ ケ・ゲ # ガ $ リ ϕ 無助詞	○ ニ ◎ イ ◇ エ ● ン ▲ サ ★ ンカイ ☆ ゴ ϕ 無助詞	○ ニ ◎ イ ● ン □ （デギ） ★ ンカイ ☆ ゴ ϕ 無助詞
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-083-a に：ここに	JG-162-a に：家に	JG-004-a に：五時に	JG-141-a に：孫に（本をやる）	JG-086 に：息子に（手伝ってもらった）
1	08日高	秋田県 秋田市	▲ kogosa	▲ ẹsa	○ go[ɴzïni	○ 1 maŋoni ▲ 2 maŋosa	△ mɯsïkokara
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	▲ kogo sa	▲ isa	○ godʒi ni	▲ mago sa	▲ 1 mɯsɯgo sa 2 mɯsɯko sa
3	08小林	宮城県 仙台市	○ 1 kogoni ▲ 2 kogosa	▲ utʃisa	○ godʒini	▲ maŋosa	○ mɯsɯkoni
4	08竹田	山形県 米沢市	▲ 1 kosa , 2 kogo sa , ○ 3 kogo ni	▲ 1 ɯtʃi sa 2 ɯttʃa	○ godʒini	▲ maŋo sa	○ mɯsɯko ni
5	09小林	福島県 会津若松市	○ 1 kokoni ▲ 2 kokosa	○ 1 ieni 2 ɯtʃini	○ godʒini	○ 1 maŋoni ▲ 2 maŋosa	○ mɯsɯkoni
6	09新井	栃木県 さくら市	○ kokoni	○ ɯdʒini	○ godʒini	○ maŋoni	○ seŋareni
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ kokoɲi	○ uʃiɲi	○ godʒiɲi	○ mago ɲi	○ mɯsɯkoɲi
8	08新井	埼玉県 上里町	○ kokoni	○ utʃini	○ godʒini	○ magoni	○ mɯsɥkoni
9	09三井	東京都 品川区	○ kokoɲi	○ 1 ieɲi 2 ɯtʃiɲi	○ go[dʒiɲi	○ maŋoɲi	○ mɯsɥkoɲi
10	08三井	東京都 立川市	○ kokoɲi	○ ɯtʃiɲi	○ goʒiɲi	○ maŋoɲi	○ seŋareɲi
11	09吉田	山梨県 早川町	○ kokoni	○ je:ni	○ goʒini	○ maŋoni	○ terɯmini
12	08沖	長野県 松本市	○ kokoni	○ 1 ieni 2 ɯtʃini	○ goʒini	○ maŋoni	○ 1 mɯsɯkoni 2 (名前+)ni
13	08中井	富山県 富山市	○ kokoni	○ ɯtʃini	○ goʒini	○ maŋoni	○ mɯsɯkoni
14	09大西	富山県 砺波市	○ kokoɲi	○ ieɲi	○ go[dʒiɲi	○ maŋoɲi	○ mɯsɯkoɲi
15	09中井	石川県 小松市	○ kokoni	○ ɯtʃini	○ goʒini	○ magoni	ϕ 1 aɴsa 2 mɯsɯko
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ 1 koɴni 2 kokoni	(未調査)	○ goʒini	○ magoni	○ mɯsɯkoni
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ kokoni	○ 1 ieni 2 ɯtʃini	○ goʒini	○ magoni	○ mɯsɯkoni
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ kokoni	○ ɯtʃini	○ goʒini	○ maŋoni	○ mɯsɯko ni
19	08高木	大阪府 大阪市	○ kokoni	○ ieni	○ goʒini	○ magoni	○ musukoni
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ kokoni	○ ie ni	○ goʒini	○ maŋo ni	○ mɯsɯko ni
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ kokoni	○ ieni	○ godʒini	○ maŋoni	○ musukoni
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ koko ni	○ ie ni	○ goʒini	○ mago ni	○ musuko ni
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ kokoni	○ ieni	○ goʒini	○ mago ni	○ musuko ni
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ kokoni	□ 1 ie: ○ 2 ieni	○ godʒini	○ magoni	○ musukoni
25	08小西	広島県 三次市	□ koke:	○ ieni	○ godʒini	◇ 1 magoe □ 2 mage:	○ musukoni
26	08舩木	山口県 光市	○ 1 kokoni 2 koɴni	○ ieni	◎ 1 goʒi: ○ 2 goʒihaɴni	○ magoni	○ mɯsɯkoni
27	08杉村	福岡県 福岡市	◇ kokoe	○ utʃiɲi	○ 1 goʒini ◎ 2 goʒi:	◎ magoi	◎ musukoi
28	08木部	鹿児島県 日置市	□ koke	◇ wagaje	ϕ goʒi	◎ magoi	◎ musɥkoi
29	08大西	鹿児島県 南九州市	□ koge	◇ waŋaje	● 1 goʒiɴ ϕ 2 goʒi	●□ 1 maŋoɴ , 2 maŋe , ▼ 3 maŋosame	● miçikoŋ
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	★ kumaɴkai	★ ja:ɴkai	○ godʒini	★ ʔɴmagaɴkai	★ kkwaɴkai
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	% kɥmana	% çi:na	% goʒina	☆ ma:go	☆ ko:ne:go
【凡例】			○ ニ ◎ イ ◇ エ □ （コケ(ー)・コゲ） ▲ サ ★ ンカイ % ナ ϕ 無助詞	○ ニ ◇ （ワガイェ） □ （イエー） ▲ サ ★ ンカイ % ナ	○ ニ ◎ （ゴジー） ● ン % ナ ϕ 無助詞	○ ニ ◎ イ ● ン ◇ エ □ （マゲー・マゲ） ▲ サ ▼ サメ ★ ンカイ ☆ ゴ	○ ニ ◎ イ ● ン ◇ エ ▲ サ ★ ンカイ ☆ ゴ △ カラ ϕ 無助詞
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-087-a に：友達に（助けられた）	JG-088-a に：犬に（追いかけられた）	JG-013-a［JP-20］ 座布団で（寝た）	JG-035-a で：車で（来い）	JG-084 で：運動場で（遊ぶ）
1	08日高	秋田県 秋田市	△ 1 tomo[ɴdatsīkara ♭ 2 tomo[ɴdatsīgate	△ 1 ẹnɯkara ♭ 2 ẹnɯgate	＋ dza[ɴbɯdoɴde	＋ kɯrɯma[ɴde	＋ gɯraɴdo[ɴde
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ tomodatʃi ni	○ inɯ ni	＋ 1 dzapɰton de 2 ɸɯton de	＋ kɯrɯma de	＋ ɯndo·dʒode
3	08小林	宮城県 仙台市	○ tomodatsïni	○ inɯni	＋ dzabɯtonnde	＋ kɯrɯmade	＋ 1 ɯndo:dʒo:de 2 ko:te:de
4	08竹田	山形県 米沢市	○ tomodadʒi ni	○ inu ni	N dzabɯdoɴsa jog oninatte	＋ kɯrɯma de	＋ undo·ba de
5	09小林	福島県 会津若松市	○ 1 ome·ni 2 tomodatʃïni	○ inɯni	＋ dzaḅɯtonde	＋ kɯrɯmade	＋ ɯndo:dʒo:de
6	09新井	栃木県 さくら市	○ tomodatʃini	○ inɯni	＋ zabɯtoɴ de	＋ kɯrɯmade	＋ ɯɴdo:dʒo:de
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ tomodatʃiɲi	○ inu ɲi	＋ dzabɯtoɴ de	＋ kɯrɯmade	＋ ɲiwade
8	08新井	埼玉県 上里町	○ tomodatʃini	○ inuni	＋ zabɯtoɴde	＋ kɯrɯmade	＋ ɯɴdo:dʒo:de
9	09三井	東京都 品川区	○ tomodatʃiɲi	○ inɯɲi	ϕ d[zabɯtoɴ	＋ kɯrɯmade	＋ ɯndo:[dʒo:de
10	08三井	東京都 立川市	○ tomodatʃiɲi	○ inɯɲi	＋ dzabɯtonde	＋ kɯrɯmade	＋ ɯndo:bade
11	09吉田	山梨県 早川町	｜ tomodatʃiŋa	｜ inɯŋa	＋ zabɯtoɴde	＋ kɯrɯmade	＋ ɯɴdo:bade
12	08沖	長野県 松本市	○ tomodatʃini	○ inɯni	＋ dzabɯtonde	＋ kɯrɯmade	＋ ɯndo:ʒo:de
13	08中井	富山県 富山市	○ tomodatʃini	○ inɯni	＋ zabɯtoɴde	∞ 1 kɯrɯmanitsɯkete ＋ 2 kɯrɯmade	＋ ɯɴdo:ʒo:de
14	09大西	富山県 砺波市	○ tomodatʃiɲi	○ inɯɲi	N NR	＋ kɯrɯmade	＋ ɯndo:[dʒo:de
15	09中井	石川県 小松市	○ tomodatʃini	○ inɯni	＋ zabɯtoɴde	＋ kɯrɯmade	＋ ɯɴdobade
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ tomodatʃini	○ inɯni	＋ dzabɯtoɴde	＋ kɯrɯmade	＋ ɯɴdo:ʒo:de
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ 1 tomodatʃi ni △ 2 tomodatʃi kara	○ inɯni	＋ zabɯtoɴde	＋ kɯrɯmade	＋ ɯɴdo:ʒo:de
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ tomodatʃini	○ inu ni	＋ zabɯtoɴ de	＋ kɯrɯmade	＋ ɯɴdo:ʒo:de
19	08高木	大阪府 大阪市	○ tomodatʃini	○ inuni	＋ 1 zabutoɴde 2 kotatude	＋ kurumade	＋ undo:ʒo:de
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ tomodatʃi ni	○ inɯ ni	＋ dabɯtoɴ de	＋ kɯrɯmade	＋ ɯɴdo:ʒo: de
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ tomodatʃini	○ inuni	＋ dzabutonde	＋ kurumade	＋ undo:dʒo:de
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ tomodatʃi ni	○ inu ni	＋ zabutoɴde	＋ kurumade	＋ uɴdo:ʒo: de
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ tomodatʃini	○ inuni	＋ zabutoɴ de	＋ kuruma de	＋ uɴdoʒo:de
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ tomodatʃini	○ inuni	＋ zabutoɴde	＋ kurumade	＋ uɴdo:dʒo:de
25	08小西	広島県 三次市	○ tomodatʃini	○ inuni	＋ dzabutoɴde	＋ kurumade	＋ uɴdo:dʒo:de
26	08舩木	山口県 光市	○ tomodatʃini	○ inɯni	＋ dzabɯtoɴde	＋ kɯrɯmade	＋ ɯɴdo:ʒo:de
27	08杉村	福岡県 福岡市	◎ tomadatʃii	◎ 1 inui ○ 2 iɴɲi	＋ dʒabutonde	＋ kurumade	＋ undo:ʒo:de
28	08木部	鹿児島県 日置市	ϕ tomodatʃi	○ iɴni	＋ zabɯtoɴde	＋ kɯimade	＋ n:do:bade
29	08大西	鹿児島県 南九州市	ϕ doʃi	○ 1 inni △ 2 iŋkara	＊ dzabutonʒe	＊ kuimaʒe	＊ undo:badʒe
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	★ duʃiɴkai	★ ʔinuɴkai	★ dzabutoɴkai	@ kurumasa:ni	＝ ʔuɴdo:dʒo:ɴdʒi
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	☆ duʃigo	☆ inugo	& zabutoɴʃi	& kurumaʃi	¥ undobanattʃi
【凡例】			○ ニ ◎ イ ★ ンカイ ☆ ゴ △ カラ ｜ ガ ♭ ガテ ϕ 無助詞	○ ニ ◎ イ ★ ンカイ ☆ ゴ △ カラ ｜ ガ ♭ ガテ	＋ デ ＊ ジェ ★ ンカイ & シ ϕ 無助詞 N 無回答・無効回答	＋ デ ＊ ジェ @ サーニ & シ ∞ ニツケテ	＋ デ ＊ ジェ ＝ ンジ ¥ ナッチ ϕ 無助詞
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-085 で：一万円で（お願いします）	JG-089 と：田中という人	JG-090 と：来ると言っていた	JG-091 ばかり：雨ばかり	JG-092 ごと：皮ごと
1	08日高	秋田県 秋田市	＋ ẹtsïmaɴẹɴde	▽ tanakattejɯ·çito	△ kɯrɯdoja	● ◎ 1 amebakkari , 2 amebari , 3	○ kawaŋodo
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	＋ itʃimaɴen de	◎ 1 tanaga dzɯ çito △ 2 tanaga do jɯ· çito	△ 1 kɯrɯ to jɯtta ◎ 2 kɯrɯ dzɯ	◎ ame bari	※ kawa mɯdzɯra
3	08小林	宮城県 仙台市	＋ 1 itʃimande 2 itʃimaɴende	▽ tanakattejɯ:çito	▽ kɯrɯtte[uittetajo	◎ amebari	▲ kawamamma
4	08竹田	山形県 米沢市	＋ idʒimaneɴ de	▽ tanaga ttejɯ: çito	▽ kɯrɯtte jɯtteda	● 1 ame bakkari 2 ame bakkaʃi	※ kawaŋarami
5	09小林	福島県 会津若松市	＋ 1 itʃimaɴende 2 o:ki:node	▽ 1 × tanakasaŋŋa 2 kobajaʃisantejɯ:çito	▽ kɯrɯkaranatte jɯttegatta	● amebakari	○ kawaŋoto
6	09新井	栃木県 さくら市	＋ itʃimaɴeɴde	◎ tanakattʃi çito	◎ kɯrɯttʃitta	● amebakkari	◎ kawaŋɯtʃi
7	08高橋	群馬県 前橋市	＋ itʃimaɴeɴde	△ tanaka to ju: ʃito	▽ kɯrɯtte itteta ヨ	○ ame be:	▲ kawanomaɴma
8	08新井	埼玉県 上里町	＋ itʃimaɴeɴde	△ tanakatojɯ:çito	▽ kɯrɯttejɯtteta	○ amebe:	○ kawagoto
9	09三井	東京都 品川区	＋ itʃimaĩende	△ tanakatojɯ:çito	△ 1 × kɯrɯso:desɯ 2 kɯrɯtoittemaʃita	● 1 amebakari 2 amebakkari	○ kawaŋoto
10	08三井	東京都 立川市	＋ 1 itʃimaẽende 2 korede	▽ tanakattʃɯ:çito	▽ kɯrɯttejɯtteta	○ amebe:	△ kawamaʃi
11	09吉田	山梨県 早川町	＋ itʃimaɴjeɴde	○ tanakasaɴtʃɯ: ʃito	△ kɯrɯjo: to itteni	＜ 1 × ameŋa ɸɯttekkirido:de 2 amekkiri	○△ 1 ka:ŋoto , 2 kawama:ʃi , 3 kawamɯkade:de marɯŋoto kɯtte
12	08沖	長野県 松本市	N o:ki: okanede sɯ imaseɴ	△ tanakatoiɯçitoŋa	▽ kɯrɯtte itteta	● 1 amebakkari 2 amebakka	※ kawasara
13	08中井	富山県 富山市	＋ itʃimaɴeɴde	N × tanakasaɴŋa	ɸ 1 kɯrɯjɯ:torareta 2 kɯrɯjɯ:totta	● amebakka	○ 1 kawaŋoto ※ 2 kawamotte
14	09大西	富山県 砺波市	N NR	▲ tanakajɯ:çito	ɸ kɯrɯjɯ:tejatta	● 1 amebakkari 2 amebakkaʃi	※ kawatomoɲi
15	09中井	石川県 小松市	＋ koredeoneŋai		tanakanoçito	△ kɯrɯtoitteta	● amebakkari	○ kawagoto
16	09舩木	京都府 与謝野町	＋ itʃimaɴeɴde	△ tanakatojɯ:çito	△ kɯrɯtojɯ:tottado:	● amebakkari	◆ kawanari
17	08松丸	滋賀県 高島市	＋ itʃimaɴeɴde	△○▲ 1 tanaka tojɯ: çito , 2 tanaka tʃɯ: çito , 3 tanaka jɯ: çito	△ɸ○ 1 kɯrɯ to itteta , 2 kɯrɯ jɯ:teta , 3 kɯrɯ tʃɯteta	● 1 ame bakkari 2 ame bakka	○ kawa goto
18	09渋谷 A	京都府 京都市	N 1 NR, 2 o:ki:noʃika nainode	▲ tanakasaɴ jɯ:hito	▽ 1 kɯrɯ te jɯ:tehatta 2 kɯrɯ te jɯ:tahatta	● amebakkaʃi	◎ kawagɯtʃi
19	08高木	大阪府 大阪市	N 1 o:ki:okanede kaɴniɴna: 2 o:ki:okanede gomeɴna:	△ 1 tanaka toju: çito ▲ 2 tanaka ju:çito	△ 1 kuruto ju:te ita ɸ 2 kuru: ju:teta	● 1 × ame , 2 ame ba:kkari , 3 ame bakkari	◎ kawagutʃi
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	＋ itʃimaɴeɴ de	○ tanaka tʃɯ: çito	○ kɯrɯ [ttʃɯ: teta	● 1 ame bakkari 2 ame bakkaʃi	◎ kawa goʃi
21	08都染	兵庫県 姫路市	＋ itʃimaɯ̃ende	▲ tanakaju:çito	ɸ kuruijotta	● amebakkari	◆ kawanari
22	08岸江	徳島県 徳島市	＋ itʃimaɴeɴ de	▲ tanakju:çito	○ kuruttʃu:totta	● amebakkaʃi	○ 1 kawagoto ◎ 2 kawagoʃi
23	09岸江	香川県 東かがわ市	＋ itʃimaɴeɴde	○ tanaka ttʃu çito	△ 1 kuru to i:jotta 2 kuruto ju:totta	● ame bakkari	◎ kawagoʃi
24	09小西	岡山県 笠岡市	＋ itʃimaɴeɴde	▽ 1 tanakatteju:çito ▲ 2 takanaju:çito	ɸ kuruju:tottadzo	○ ameba:	● 1 kawagome ○ 2 kawagoto
25	08小西	広島県 三次市	＋ itʃimaɴeɴde	▲ tanakaju:çito	ɸ 1 kuruju:te ju:tottʃatta	● amebakkari	○ kawagoto
26	08舩木	山口県 光市	＋ itʃimaɴeɴde	○ tanakattʃɯ:çito	○ kɯrɯtʃɯ:tei: jottade	● 1 amebakkaʃi 2 amebakkari	○ kawagoto
27	08杉村	福岡県 福岡市	＋ 1 itʃimaɴde △ 2 itʃimaɴkara	▽ 1 tanakatteju:çito 2 tanakateju:çito	▽ kurutei:g ozattajana	● amebakkari	○ 1 kawagoto ● 2 kawagomi
28	08木部	鹿児島県 日置市	＋ itʃimaɴjeɴde	○ tanakatʃɯ çito	◎ kɯ̥ttʃi ijatta	● amebakkai	▲ ka:ɴmama
29	08大西	鹿児島県 南九州市	* itʃimã:endʒe	○ tanakatʃu:jaʔ	◎ kuʔtʃiju:ʒotta	● amebakkai	※ 1 kawatome ◎ 2 kawaŋoʒi
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	& 1 ʔitʃimaɴeɴʃi @ 2 ʔitʃimaɴeɴsa:ni	▽ 1 tanakaɴdi ʔiru ttʃu * 2 tanakasuru ttʃu	▽ tʃu:ɴdi ʔitʃo:taɴ	● 1 ʔamibaka:ɴ 2 ʔamibike:ɴ	※ ka: ʃi:ti kamutaɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	& itʃimaɴeɴʃi	▽ tanakattenu pi̥tu	☆ ku:nteni enita	● amika:ʃi	※ ka:ʃikena hottaɴ
【凡例】			＋ デ * ジェ @ サーニ & シ △ カラ N 無回答・無効回答	△ トイウ・トユー ▽ (ッ)テユー類 ○ (ッ)チュー ◎ ッチ・ズ ▲ ユー * スル | ノ N 無回答・無効回答	△ ト ▽ (ッ)テ・ディ ○ ((ッ)チュー) ◎ (ッ)チ・ズ ☆ テニ ɸ 無助詞	● バカリ・バッカリ・バーッカリ・バッカシ・バッカイ・バッカ・バカーン・ビケーン・カーシ ◎ バリ・バシ ○ バー・ベー ＜ キリ	○ ゴト・ゴド ◎ グチ・ゴシ・ゴジ ● ゴメ・ゴミ ▲ マンマ・ノマンマ・ンママ △ マ(ー)シ ※ その他
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-093-a しか：百円玉しか（ない）	JG-095 だけ：皮だけ（食べた）	JG-096 だけ：百円玉だけ（ない）	JG-097 でも：お茶でも	JG-094-a ながら：食いながら
1	08日高	秋田県 秋田市	◆ çagɯe̥ɴdamasïka	△ 1 kawa[ɴdage , 2 ◎ kawa[ɴbari , 3 kawa[ɴ	ϕ çagɯe̥ɴdama	○ otʃa[ɴdemo	○ kɯe̥naŋara
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	◆ çagɯen ʃika	◎ kawabari	ϕ çagɯeɴwa	○ otʃa demo	○ kɯi naŋara
3	08小林	宮城県 仙台市	◆ çakɯenʃika	△ kawadake	△ çakɯendake	○ otʃademo	○ kɯinaŋara
4	08竹田	山形県 米沢市	◆< ● 1 çagɯeɴdama ʃika , 2 çagɯeɴdama kiri , 3 çagɯeɴ dama bari	● 1 kawa bakkaʃi ◎ 2 kawa bari	◎ çagɯeɴdama bari	○ odʒa demo	○ kwi naŋara
5	09小林	福島県 会津若松市	◆ çakɯenʃika	△ kawadake	※ 1 çakɯeŋŋa △ 2 çakɯendamadake	○ otʃademo	○ kɯinaŋara
6	09新井	栃木県 さくら市	◆ çjakɯeɴdamʃika	△ kawadake	△ çjakɯeɴ damadake	○ otʃademo	○ kɯinaŋara
7	08高橋	群馬県 前橋市	◆ çjakɯeɴdamaʃika	△ kawadake	△ çjakɯeɴ damadake	○ otʃa demo	○ 1 tabenagara 2 kɯinagara
8	08新井	埼玉県 上里町	< çjakɯeɴdamakkiri	△ kawadake	△ çjakɯeɴ damadake	○ otʃademo	○ kɯinagara
9	09三井	東京都 品川区	◆ [ʔa çakɯendamaʃ ika	△ kawadake	△ çakɯendamadake ŋa	○ otʃademo	○ tabenaŋara
10	08三井	東京都 立川市	< çakɯendamakkiri	△ kawadake	△ çakɯendamadake	○ otʃademo	○ kɯinaŋara
11	09吉田	山梨県 早川町	< 1 çakɯeɴdamakkiri ◆ 2 çakɯeɴdamaʃika:	△ ka:dake	※ çakɯeɴŋaçitotsɯ mo	● otʃademma	○ kɯinaŋara
12	08沖	長野県 松本市	◆ 1 çakɯendamaʃika < 2 çakɯendamakkiri	< 1 nakakkiri 2 × kawakkiriʃ ika (tabenakatta)	※ 1 çakɯeŋŋa 2 çakɯendamaŋa	N × otʃa nomanai	○ tabenaŋara
13	08中井	富山県 富山市	◆ çakueɴdamaʃika	△ kawadake	△ çakueɴdamadake	○ otʃademo	○ tabenaŋara
14	09大西	富山県 砺波市	◆ 1 çakɯeːʃika 2 çakɯendamaʃika	△ kawadake	△ çakɯendamadake	○ otʃademo	○ 1 kɯinaŋara 2 tabenaŋara
15	09中井	石川県 小松市	◆ çakɯeɴdamaʃika	△ kawadake	△ çakɯeɴdamadake	○ otʃademo	○ 1 kɯinaŋara 2 tabenaŋara
16	09舩木	京都府 与謝野町	◆ çakɯeɴʃika	△ kawadake	ϕ çakɯeɴdama	○ otʃademo	○ kɯinagara
17	08松丸	滋賀県 高島市	◆ 1 goçakɯeɴdama ʃika ◇ 2 goçakɯeɴdama ka	△ kawa dake	△ çakɯeɴdama dake	○ otʃa demo	○ kɯinaŋara
18	09渋谷 A	京都府 京都市	◆ çakɯeɴdama ʃika	△ kawa dake	△ çakɯeɴ dama dake	○ otʃademo	○ 1 tabenaŋara ◆ 2 tabemotte
19	08高木	大阪府 大阪市	◆ 1 çakueɴʃika 2 çakueɴdamaʃika	△ kawadake	ϕ 1 çakueɴdama △ 2 çakueɴdama dake	○ 1 × otʃa 2 otʃademo	○ tabenagara
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	◆ çakɯeɴdama ʃika	△ kawa dake	△ çakɯeɴdama dake	○ 1 otʃa demo ◆ 2 otʃa naito	◆ kɯimote
21	08都染	兵庫県 姫路市	| çakuendama jori	△ kawadake	△ çakuendamadake	○ otʃademo	◆ tabemotte
22	08岸江	徳島県 徳島市	◆ çakueɴdamaʃika	△ kawadake	△ çakueɴdamadake	○ otʃademo	◆ 1 tabemotte 2 kuimotte
23	09岸江	香川県 東かがわ市	< çjakueɴdamakiri	△ kawadake	△ çjakueɴdamadake	◆ otʃa nato	◆ kuimotte
24	09小西	岡山県 笠岡市	◆ çakueɴʃika	△ 1 kawadake ○ 2 kawaba:	△ çakueɴdamadake	○ otʃademo	♪ 1 kuikui ◆ 2 kuimotte
25	08小西	広島県 三次市	◆ 1 çakueɴdamaʃika ■ 2 çakueɴdamakenja:	△ 1 kawadake $ 2 kawahodo	△ 1 çakueɴdamadake $ 2 çakueɴdamahodo	○ otʃademo	○ 1 kuinagara ♪ 2 ku:ku:
26	08舩木	山口県 光市	◆ çakɯeɴʃika	△ kawadake	△ çakɯeɴdake	○ otʃademo	○ kɯinagara
27	08杉村	福岡県 福岡市	◆ çakuendamaʃika	△ 1 kawadake 2 gawadake	△ 1 çakuendamadake ※ 2 çakuenna	○ otʃademo	○ kuinagara
28	08木部	鹿児島県 日置市	◆ çakɯjeɴdamaʃika	● ka:bakkai	● çakɯjeɴ damabakkai	◎ tʃadeɴ	○ tamoinagara
29	08大西	鹿児島県 南九州市	◆ çaguendamaʃika	● kawabakkai	● çag uendamabakkaiŋa	◎ tʃaden	* kukadaʒe
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	◆ çakueɴmi:ʃika	● ka:baka:ɴ	● çakueɴmi:baka:no :	△ 1 ʔutʃa jatiɴ □ 2 tʃa:ɴde:	△ kamagatʃina:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	★ çakueɴo:bidu	★ ka:o:bi	★ çakueɴo:bi	▽ tʃa: jarabaɴ	▽ hentʃana
【凡例】			◆ シカ・シカー ◇ カ ● バリ < キリ | ヨリ ■ ケニャー ★ オービドゥ(～アル)	△ ダケ・ダゲ ● バカリ・バッカシ・バッカイ・バカーン ◎ バリ・バシ ○ バー < キリ $ ホド ★ オービ	△ ダケ・ダケガ ● バッカイ(ガ)・バカーノー ◎ バリ $ ホド ★ オービ ϕ 無助詞 ※ その他(ガ・ガヒトツモ・ナ)	○ デモ ◎ デン ● デンマ ◆ ナイト・ナト △ ヤティン □ ンデー ▽ ヤラバン	○ ナガラ ◆ モ(ッ)テ * カダジェ △ ガチナー ▽ チャナー ♪ (クイクイ・クークー)
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-098 から：降っているから	JG-099 けれども：寒いけれども	JG-108 降れば（出ないだろう）	JG-106 降ったら（行かない）	JG-102 行ったら（終わっていた）
1	08日高	秋田県 秋田市	○ ɸɯtterɯgara	● sa[ɴbi[ɴdomo	○ ɸɯre[ɴba	▲ 1 ɸɯttara ○ 2 ɸɯre[ɴba	△ ɛ̣ttakke
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ 1 ɸɯtteda gara ◇ 2 ɸɯttedandasɯ	● samɯidomo	○ ɸɯreba	▲ ɸɯttara	△ ittakke
3	08小林	宮城県 仙台市	○ 1 × ɸɯttennoni 2 ɸɯttekkara	○ 1 samɯigento 2 samɯigentomo	▲ ɸɯttara	▲ ɸɯttara	△ ittakke
4	08竹田	山形県 米沢市	○ ɸɥttekkara	○ 1 samui gendo 2 samui gendomo	▲ 1 ɸɯttara ♪ 2 ɸɯtto	▼ 1 ɸɯttaraba ▲ 2 ɸɯttara	▲ ɟittara
5	09小林	福島県 会津若松市	○ ɸɯtekkara	○ samɯiḵendʒo	▲ ɸɯttara	▲ ɸɯttara	▲ ittara
6	09新井	栃木県 さくら市	○ ɸɯtekkara	○ sami:kitto	▲ ɸɯttara	▲ ɸɯttara	▲ ittara
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ ɸɯterɯkara	○ samɯikedo	◎ ɸɯrja:	▲ ɸɯttara	▲ ittara
8	08新井	埼玉県 上里町	○ ɸɯterɯkara	○ sami:keredomo	◎ 1 ɸɯrja: ○ 2 ɸɯreba	◎ 1 ɸɯrja: ▲ 2 ɸɯttara	N × ittakeɴdo
9	09三井	東京都 品川区	○ 1 ɸɥteirɯkara 2 ɸɥterɯkara	○ 1 samɯikeredomo 2 samɯikedo	○■▲◆ 1 ɸɥreba , 2 ɸɥrɯnara , 3 ɸɥttara , 4 ɸɯttanara	▲ 1 ɸɥttara 2 ɸɥttetara	▲ ittara
10	08三井	東京都 立川市	○ ɸɯteŋkara	○ 1 sabɯikedo 2 sab[ɯ̈ikedo	♪ 1 ɸɯnto ◎ 2 ɸɯrja:	▲ ɸɯttara	▲ ittara
11	09吉田	山梨県 早川町	■ 1 ɸɯrido:de 2 ɸɯtte:rɯde	＋ sabɯido:ŋa	○ ɸɯreba	○ ɸɯreba	▼ ittemitaiba
12	08沖	長野県 松本市	■ ɸɯterɯde	○ sabɯikedo	◎ ɸɯrja	▲ 1 ɸɯttara ◎ 2 ɸɯrja	▲ ittara
13	08中井	富山県 富山市	○ ɸɯttokkara	○ samɯkeredo	◎ ɸɯrja	▲ ɸɯttara	▲ 1 ittara 2 ittemitara
14	09大西	富山県 砺波市	○◆ 1 ɸɯttokkara , 2 ɸɯttorɯsakai , 3 ɸɯttorɯsakaide	○ samɯkaredo	◎ ɸɯrja	◎ ɸɯrja	▲ ittara
15	09中井	石川県 小松市	◆ 1 ɸɯttossakeni 2 ɸɯttossakaini	○ 1 samɯikedo 2 samɯikeɴdo	○ 1 ɸɯreba ▲ 2 ɸɯttara	▲ ɸɯttara	▲ ittara
16	09舩木	京都府 与謝野町	■ ɸɯttorɯde	○ samɯikedo	▲ ɸɯttara	▲ ɸɯttara	▲ ittara
17	08松丸	滋賀県 高島市	○◆# 1 ɸɯterɯ kara , 2 ɸɯterɯsake , 3 ɸɯterɯ hake , 4 ɸɯterɯ sakai , 5 ɸɯterɯ ʃi	○ samɯi keɴdo	○▲◎♪ 1 ɸɯreba , 2 ɸɯttara , 3 ɸɯrja: , 4 ɸɯrɯto	♪▲◎ 1 ɸɯrɯto , 2 ɸɯttara , 3 ɸɯrja:	▲ ittara
18	09渋谷 A	京都府 京都市	# 1 ɸɯterɯʃi ◆ 2 ɸɯterɯsakai	○ samɯi kedo	▲ ɸɯttara	▲ ɸɯttara	▲ ittara
19	08高木	大阪府 大阪市	○ 1 ɸɯterukara ◆ 2 ɸɯterusakai	○ samɯikedo	▲ ɸuttara	▲ ɸuttara	▲ ittara
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ 1 ɸɯterɯ kara ◆ 2 ɸɯterɯ sakai	○ samɯi kedo	▲ ɸɯttara	▲ ɸɯttara	▲ ittara
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ 1 ɸuto:kara 2 ɸurrjo:kara	○ samɯikedo	▲ ɸuttara	▲ ɸuttara	▲ itara
22	08岸江	徳島県 徳島市	▲ ɸuto:keɴ	○ 1 samɯikedo 2 samɯikeɴdo	▲ ɸuttara	▲ ɸuttara	▲ ittara
23	09岸江	香川県 東かがわ市	▲ ɸurrjorukeɴ	○ samɯikeɴdo	▲ 1 ɸuttara 2 ɸurrjottara	▲ 1 ɸuttara 2 ɸurrjottaro	▲ ittara
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ 1 ɸuttorukara 2 ɸurrjorukara	○ 1 samɯikeɴdo 2 samɯikedo	▲ ɸuttara	▲ ɸuttara	▲ itara
25	08小西	広島県 三次市	▲ ɸuttoruke:	| samɯiga	◎ ɸurja:	◎ ɸurja	▲ ittara
26	08舩木	山口県 光市	▲ ɸurijorɯke:	○ samɯikedo	◎ ɸɯrja:	▲ ɸɯttara	▲ ittara
27	08杉村	福岡県 福岡市	▲ ɸurijoruke̞ɴ	◆ samukabatteɴ	▲ 1 × amenara 2 ɸuttara	▲ ɸuttara	▲ 1 × ittabatteɴ 2 ittara
28	08木部	鹿児島県 日置市	■ ɸɯttʃodde	● samɯkadoɴ	◎ ɸɯrja:	▲ ɸɯttara	# itajamo
29	08大西	鹿児島県 南九州市	■ ɸuttʃoʒʒe	◆ çijagaba?	○ ɸureba	○ ɸureba	# idaja
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	★ ɸɥto:kɥtu	¥ ɸi:saʃiga	¢ 1 ɸuine: @ 2 ɸure:	¢ ɸuine:	＊ 1 ʔndʒakutu ☆ 2 ʔndʒare:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	▲ ɸɸe:riki	$ pi:ʃa:ru soŋga	★ ɸɸutʃa	★ ɸɸutʃa	★ ŋgutʃara
【凡例】			○ カラ・ガラ ■ デ類 ◆ サカイ類 ◇ ンダス # シ ▲ ケー・ケン・キ ★ クトゥ	● ドモ ○ ケレドモ類 ◆ バッテン類 | ガ ＋ ドーガ ¥ シガ $ ソンガ	○ フレバ ◎ フリャー @ フレー ¢ フイネー ▲ フッタラ ♪ フルト ■ フルナラ ◆ フッタナラ ★ ッフチャ	○ フレバ ◎ フリャー ¢ フイネー ▲ フッタラ ▼ フッタラバ ♪ フルト ■ フルナラ ◆ フッタナラ ★ ッフチャ	▲ イッタラ ▼ イッテミタイバ △ イッタッケ # イダヤ・イタヤモ ★ ングチャラ ☆ ッンジャレー ＊ ッンジャクトゥ N 無回答・無効回答
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-103 行くと（だめになりそうだ）	JG-104 行ったら（電話しろ）	JG-105 書くなら（きれいに書いてくれ）	JG-107 高いなら（買わない）	JG-100 ても：行かなくても
1	08日高	秋田県 秋田市	○ ęgeɴba	▲ ęttara	□ kagɯgottara	| 1 tageɴba □ 2 tagegottara	○ ęganettemo
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ igeba	▼ ittaraba	◆ kagɯndara	| tageba	○ iganekɯtemo
3	08小林	宮城県 仙台市	♪ iŋɯto	▲ ittara	◆ kagɯndara	◆ tage:ndara	○ iŋanekɯtemo
4	08竹田	山形県 米沢市	♪ iŋɯdo	▲ ittara	□ 1 kagɯgoɴdʒa ♭ 2 kagɯdogja	□ 1 tagaigondjara 2 tagaigondja	● 1 iŋantatte 2 iŋantattemo
5	09小林	福島県 会津若松市	♪ iŋɯdo	▲ ittara	■ kakɯnara	■ 1 tagɛ:nara 2 tagɛnara	● iŋanedatte
6	09新井	栃木県 さくら市	♪ igɯto	▲ ittara	◆ kakɯɴdara	◆ tagaiɴdara	● iganakɯttatte
7	08高橋	群馬県 前橋市	♪ igɯto	▲ ittara	▲ kakɯɴdattara	■ takeɴnara	# iganakɯte
8	08新井	埼玉県 上里町	♪ igɯto	▲ ittara	◆ kakɯɴdara	| takakereba	$ igatto
9	09三井	東京都 品川区	♪ jɯkɯto	▲ 1 ittara 2 tsuitara	■ 1 kakɯnara △ 2 kakɯtoʃitara	■ 1 takainara ＝ 2 takakattara	○ 1 ikanakɯtemo 2 ikanaidemo
10	08三井	東京都 立川市	☆ ittʃa:	▲ ittara	■ kakɯnara	■ take:nara	● 1 ikanakɯttatte ○ 2 ikanakɯttemo
11	09吉田	山梨県 早川町	○ ikeba	▲ ittara	% 1 kakɯʒa: ▼ 2 kakɯdaiba	| takakereba	○ ikademo
12	08沖	長野県 松本市	▲ ittara	▲ ittara	▲ kakɯndattara	| 1 takakja 2 takakja:	○ ikanandemo
13	08中井	富山県 富山市	▲ ittara	▲ ittara	■ kakɯŋanara	■ takaiŋanara	○ ikaɴdemo
14	09大西	富山県 砺波市	◎ ikja	▲ ittara	■ kakɯŋanara	■ 1 takaiŋanara | 2 takakerja	○ ikandemo
15	09中井	石川県 小松市	♪ ikɯto	▲ ittara	■ kakɯnara	■ 1 takainara 2 takeŋanara	○ ikaɴdemo
16	09舩木	京都府 与謝野町	▲ ittara	▲ ittara	■ kakɯnara	■ 1 takja:ɴnara ＝ 2 takakattara	○ ikaɴdemo
17	08松丸	滋賀県 高島市	♪ 1 ikɯto ▲ 2 ittara	▲ ittara	N NR	■ 1 takainara 2 takaiɴnara	○ ikaɴdemo
18	09渋谷 A	京都府 京都市	▲ ittara	▲ ittara	▲ kakɯɴjattara	▲ takaiɴjattara	○ ikaheɴdemo
19	08高木	大阪府 大阪市	▲ ittara	▲ ittara	▲ kakunoɴjattara	＝ 1 takakattara ▲ 2 takainojattara	○ ikaɴdemo
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	▲ ittara	▲ ittara	▲ kakɯɴjattara	▲ 1 takaiɴjattara ＝ 2 takakattara	○ ikaɴdemo
21	08都染	兵庫県 姫路市	▲ itara	▲ itara	⊜ kakuɯ̃kattara	＝ takakattara	○ 1 ikandemo 2 ikaidemo
22	08岸江	徳島県 徳島市	▲ ittara	▲ ittara	▲ kakuɴdattara	＝ takakattara	○ ikaɴdemo
23	09岸江	香川県 東かがわ市	▲ ittara	▲ ittara	■ kakuɴnara	＝ takakattara	○ ikaɴdemo
24	09小西	岡山県 笠岡市	▲ itara	▲ itara	■ kakuɴnara	■ takaiɴnara	○ 1 ikaɴdemo 2 ikaidemo
25	08小西	広島県 三次市	♪ ikuto	▲ ittara	■ kakuɴnara	■ takæ:ɴnara	○ 1 ikaɴdemo 2 ika:demo
26	08舩木	山口県 光市	▲ ittara	▲ ittara	■ kakɯɴnara	＝ 1 takakattara ☆ 2 tako:tʃa:	○ ikaɴdemo
27	08杉村	福岡県 福岡市	▲ ittara	▲ tsuitara	■ kakutonara	■ 1 takakatorara , 2 takkatonara , 3 takakatonara , 4 takakerja |	# ikande
28	08木部	鹿児島県 日置市	♪ itto	# 1 itaja ▲ 2 ittara	■ kaʔnara	| takekaja	○ ikaɴdeɴ
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ igeba	♭ idatoga	■ kannara	| 1 takkaja 2 takkareba	○ igantʃen
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	¢ ʔitʃine:	★ ʔɴdʒara:	★ katʃura:	★ takasara:	○ ʔikaɴtiɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	★ ŋgutʃa	★ ŋgutʃara	★ kakutʃa	＝ tąkahattʃa	○ ŋganatatʃiɴ
【凡例】			○ イケバ ◎ イキャー ▲ イッタラ ♪ イクト ☆ イッチャー ★ ングチャ ¢ ッイチネー	▲ イッタラ ▼ イッタラバ ♭ イダトガ # イタヤ ★ ンジャラー・ングチャラ	■ (ノ)ナラ類 ◆ ンダラ □ ゴッタラ・ゴンジャ類 ▲ ノダッタラ類 ⊜ カッタラ △ トシタラ ♭ ドガ % ジャ ▼ ダイバ ★ チュラー・チャ N 無回答・無効回答	■ (ノ)ナラ類 ◆ ンダラ □ ゴッタラ・ゴンジャ類 ▲ ノダッタラ類 ☆ チャー ★ サラー | バ類 ＝ カッタラ類	○ テモ類 ● タッテ類 # テ $ ト
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂

番号	調査票	地点	JG-101 たって：行ったってだめだ
1	08日高	秋田県 秋田市	● ẹttatte
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	● 1 ittatte 2 ittattatte
3	08小林	宮城県 仙台市	● ittatte
4	08竹田	山形県 米沢市	● ɟittate
5	09小林	福島県 会津若松市	● ittatte
6	09新井	栃木県 さくら市	● ittatte
7	08高橋	群馬県 前橋市	● ittatte
8	08新井	埼玉県 上里町	○ ittemo
9	09三井	東京都 品川区	○ 1 ittemo ● 2 ittatte
10	08三井	東京都 立川市	● ittatte
11	09吉田	山梨県 早川町	● itto:tte
12	08沖	長野県 松本市	● ittatte
13	08中井	富山県 富山市	● 1 ittatte ○ 2 ittemo
14	09大西	富山県 砺波市	○ ittemo
15	09中井	石川県 小松市	◆ ittakatte
16	09舩木	京都府 与謝野町	● ittatte
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ 1 ittemo ◆ 2 ittakate
18	09渋谷 A	京都府 京都市	● 1 ittatte ◆ 2 ittakate
19	08高木	大阪府 大阪市	○ 1 ittemo ◆ 2 ittakate
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	● ittate
21	08都染	兵庫県 姫路市	● itatte
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ 1 ittemo ● 2 ittatte
23	09岸江	香川県 東かがわ市	● 1 ittate ○ 2 ittemo
24	09小西	岡山県 笠岡市	● itatte
25	08小西	広島県 三次市	○ ittemo
26	08舩木	山口県 光市	○ ittemo
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ 1 itemo ● 2 ittatɟa
28	08木部	鹿児島県 日置市	● itatɟi
29	08大西	鹿児島県 南九州市	# idatɟu
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	○ ʔndʒiɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	○ 1 ŋgutatɟiɴ | 2 ŋgabaɴ
【凡例】			○ テモ類 ● タッテ類 ◆ カテ類 # チュ | バン
記号化担当			日高水穂

Ⅲ　述語句関係：授受・ヴォイス・アスペクト・テンス・モダリティ

番号	調査票	地点	JG-141-b やる	JG-142 やった	JG-143 読んでやる	JG-144 読んでやった	JG-145 来させる
1	08日高	秋田県 秋田市	○● 1 jarɯ , 2 kerɯ , 3 ◎ kedejarɯ , 4 kedekerɯ	○● 1 jatta , 2 keda , 3 ◎ kedejatta	○ 1 jɔndejarɯ ● 2 jɔndekerɯ	○ 1 jɔndejatta ● 2 jɔndekeda	N NR
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ jarɯ	○ 1 jatta 2 jattatta	○ jonde jarɯ	○ 1 jonde jatta 2 jonde jattatta	● koraserɯ
3	08小林	宮城県 仙台市	● kerɯttʃa	● ketattʃa	● jondekerɯ	● jondeketa	● koraserɯ
4	08竹田	山形県 米沢市	● kɯrerɯ	● kettʃa	● jonde kerɯ	● jonde kettʃa	○ kosaserɯ
5	09小林	福島県 会津若松市	○ 1 jarɯ , 2 janda: , 3 kɯ ● renda:	○ 1 jatta ● 2 kɯreta	○ 1 jondejarɯ ● 2 jondekɯrerɯ	○ 1 jondejatta ● 2 jondekɯreta	○ 1 kosaserɯ ● 2 koraserɯ
6	09新井	栃木県 さくら市	○ jarɯ	○ jatta	○ jɔnɗejarɯ	○ jɔnɗe jatta	● koraserɯ
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ 1 jarɯ ● 2 kɯrerɯ	● kɯreta	● 1 jɔndekɯrerɯ ○ 2 jɔndejarɯ ∃	● jɔndekɯreta	○ kosaserɯ
8	08新井	埼玉県 上里町	● 1 kɯrerɯ ○ 2 jarɯ	● 1 kureta ○ 2 jatta	○ jɔnɗejarɯ	○ 1 jɔndejatta ● 2 jɔndekɯretanoni	★ kisaserɯ
9	09三井	東京都 品川区	◇ aŋerɯ	◇ aŋeta	◇ jondeaŋerɯ	◇ jondeaŋeta	● 1 kosaserɯ ◇ 2 ki̥temoraɯ
10	08三井	東京都 立川市	◎ 1 kɯretejarɯ ● 2 kɯrerɯ	● 1 kɯreta ○ 2 jatta	○ jondejarɯ	○ jondejatta	★ 1 kisaserɯ ○ 2 kosaserɯ
11	09吉田	山梨県 早川町	○ 1 jarɯ ● 2 kɯrerɯ	● 1 kɯreto: ○ 2 jatto:do:	● jɔndekɯrerɯ	● jɔndekɯretadaiso	○ 1 kosaserɯ 2 kosasetai
12	08沖	長野県 松本市	○ jarɯ	○ 1 jatta ◇ 2 aŋeta	○ jondejarɯ	○ jondejatta	○ kosaserɯ
13	08中井	富山県 富山市	○ jarɯ	○ jatta	○ jɔnɗejarɯ	○ jɔnɗejatta	○ kosaserɯ
14	09大西	富山県 砺波市	◇ 1 aŋettʃa: ○ 2 jattʃa:	◇ 1 aŋeta ○ 2 jatta	○ jondejarɯ	○ jondejatta	◎ kosasɯ
15	09中井	石川県 小松市	○ 1 jarɯ ◇ 2 agerɯ	○ jatta	○ jɔnɗejarɯ	○ jɔnɗejatta	○ kosaserɯ
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ jarɯ	○ jatta	○ jɔnɗarɯdo:	○ jɔnɗattado:	○ kosaserɯ
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ jarɯ	○ jatta	○ jɔnɗejarɯ	○ jɔnɗejatta	◎ 1 kosasɯ ○ 2 kosaserɯ
18	09渋谷 A	京都府 京都市	◇ agerɯ	◇ ageta	◇ jɔnɗagerɯ	◇ jɔnɗageta	◇ kitemoraɯ
19	08高木	大阪府 大阪市	○ jaru	○ jatta	○ 1 jɔnɗejaru 2 jɔnɗaru	○ jɔnɗatta	◎ kosasu
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ jarɯ	○ jatta	○ jɔnde jarɯ	○ jɔnɗʒatta	○ 1 kosaserɯ ★ 2 kisaserɯ
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ jaru	○ jatta	○ jondaru	○ jondatta	○ kosaseru
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ 1 jaru ◇ 2 ageru	○ 1 jatta ◇ 2 ageta	○ jɔnɗejaru	○ jɔnɗejatta	◎ kosasu
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ 1 jaru ◇ 2 ageru	○ jatta	○ 1 jɔnɗejaru 2 jɔnʒaru	○ jɔnɗejatta	○ 1 kosaseru ◎ 2 kosasu
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ jaru	○ jatta	○ jɔnɗejaru	○ jɔnɗejatta	◎ kosasu
25	08小西	広島県 三次市	○ jaru	○ 1 jatta ◇ 2 ageta	○ jɔnɗejaru	○ jɔnɗejatta	○ 1 kosaseru ◎ 2 kosasu
26	08舩木	山口県 光市	○ jarɯ	○ jatta	○ jɔnɗʒarɯ	○ jɔnɗʒatta	● 1 koraserɯ ○ 2 kosaserɯ
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ jaru	○ jatta	○ 1 ×jonde 2 jo:dejaru	○ 1 jo:dejatta 2 jondejatta	● koraseru
28	08木部	鹿児島県 日置市	○ ja?	○ jatta	# 1 jɔn kikasɯ? 2 ×(kaseo)si? ja?	# 1 jɔnkikaseta 2 ×(kaseo)si? jatta	☆ kisasɯ?
29	08大西	鹿児島県 南九州市	● kurui	● kureda	# jonkikasu	# jonkikaseda	☆ kisasui
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	● kwijuɴ	● kwitaɴ	★ judi turasuɴ	★ judi turatʃaɴ	● ku:rasuɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	● çi:ɴ	● çirutaɴ	● jumi çi:ruɴ	● jumi çittaɴ	■ ki:ʃim̩iruɴ
【凡例】			○ ヤル類 ● クレル類 ◇ アゲル類 ◎ クレテヤル・クレテクレル類	○ ヤル類 ● クレル類 ◇ アゲル類 ◎ クレテヤル類	○ ヤル類 ● クレル類 ★ トラス類 ◇ アゲル類 # （ヨンデキカセル類）	○ ヤル類 ● クレル類 ★ トラス類 ◇ アゲル類 # （ヨンデキカセタ類）	○ コサセル類 ◎ コサス類 ● コラセル類 ★ キサセル類 ☆ キサス類 ◇ キテモラウ類 ■ キーシミルン N 無回答・無効回答
記号化担当			日高水穂	日高水穂	日高水穂	日高水穂	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-087-b 助けられた	JG-088-b 追いかけられた	JG-109 走っている（進行）	JG-110 散っている（進行）	JG-111 読んでしまった（完了）
1	08日高	秋田県 秋田市	○ tasïkeraẹda	○ bokkakeraẹda	○ 1 hasïtteɯ , 2 hasïtter a , 3 hasïtteda ■	○ 1 tsïtteɯ , 2 tsïttera, 3 tsïtteda ■	○ joɴdesïmatta
2	09竹田A	岩手県 盛岡市	○ taswkerareda	○ okkakerareda	○ 1 hasedeɯ , 2 hasededa , 3 hasedera ■	■ 1 tʃitteda 2 tʃittera	◇ 1 jonda ○ 2 jondeʃimatta
3	08小林	宮城県 仙台市	◎ taswkeratta	◎ okkakeratta	○ hasetterɯttʃa	○ tʃitterɯ	◇ jondattʃawa
4	08竹田	山形県 米沢市	◎ taswkerattʃa	◎ okkagerattʃa	■ 1 haʃitteda 2 haʃitterɯ	■ tʃitteda	○ 1 jondeʃimatta ＊ 2 jomiowatta
5	09小林	福島県 会津若松市	★ tasɯ ketemorattejokatta	○ okkakerarete	○ haʃitteirɯ	○ tʃitterɯ	○ 1 jondeʃimatta , 2 jondʒatta , 3 jontsɯmatta ●
6	09新井	栃木県 さくら市	★ taswketemoratta	○ okkakerareta	○ haʃitterɯ	○ tʃitterɯ	● joɴdʒatta
7	08高橋	群馬県 前橋市	★ taswketemoratta	○ okkakerareta	○ haʃitterɯ	○ tʃitterɯ	● joɴdʒatta ∃
8	08新井	埼玉県 上里町	○ taswkerareta	○ okkakerareta	○ 1 kaketerɯ 2 haʃitterɯ	○ tʃitterɯ	● joɴdʒatta
9	09三井	東京都 品川区	○ 1 taswkerareta ★ 2 taswketemoratta	○ 1 oikakerareta 2 oikakeraretefimatta	○ haʃitterɯ	○ 1 tʃitteirɯ 2 tʃitterɯ	○ 1 jondeʃimatta ● 2 jondʒatta
10	08三井	東京都 立川市	○ 1 taswkerareta ★ 2 taswketemoratta	○ okkakerareta	○ 1 haʃitterɯ 2 tsɯppaʃitterɯ	○ tʃitterɯ	● jon[dʒatta
11	09吉田	山梨県 早川町	● taswketekɯrete ɯɴ to ɯreʃikatto:	＊ okkakete okkanakatta	○ toɴde:rɯ	○ tʃitte:rɯ	○ joɴde çittʃimatto:de
12	08沖	長野県 松本市	○ 1 taswkerareta ,2 tasɯ ketemoratte ɯreʃikatta ★	○ oikakerareta	○ 1 tobikkɯraʃiterɯ 2 tonderɯ	○ 1 tʃitterɯ ＊ 2 tʃiridaʃita	● jondʒatta
13	08中井	富山県 富山市	○ taswkerareta	○ oikakerareta	★ haʃittorɯ	★ tʃittorɯ	○ joɴdeʃimota
14	09大西	富山県 砺波市	★ taswketemorota	★ boitsɯkerareta	★ haʃittorɯ	★ tʃittorɯ	○ jondeʃimo:ta
15	09中井	石川県 小松市	★ taswketemorota	◇ 1 bowareta ○ 2 oikakerareta	★ 1 haʃittorɯ ☆ 2 haʃitteorɯ	★ tʃittorɯ	○ joɴdeʃimota
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ taswkerareta	○ 1 okkakerareta ◇ 2 bowareta	★ haʃittorɯ	★ tʃittorɯ	◇ 1 joɴdado: ★ 2 joɴdoɯdo:
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ 1 taswkerareta ★ 2 taswketemorota	○ oikakerareta	★ haʃittorɯ	○ tʃitterɯ	○ 1 joɴde mo:ta , 2 joɴde mota , 3 joɴde ʃimota
18	09渋谷A	京都府 京都市	★ taswketemorotaɴ e	○ oikakerareta	＊ haʃittaharɯ	○ tʃitterɯ	○ 1 joɴdeʃimo:ta ＊ 2 jomiowatta
19	08高木	大阪府 大阪市	★ tasuketemo:teɴ	◇ owareta	○● 1 haʃitteɴna: , 2 haʃirijo ru , 3 haʃittoru ★	○● 1 tʃitteɴna: , 2 tʃitteru , 3 tʃirijoru , 4 tʃittoru ★	○ 1 joɴdeʃimota ◇ 2 joɴda
20	09渋谷B	和歌山県 岩出市	★ taswketemo:ta	○ oikakeraeta	○ haʃitterɯ	○ tʃitterɯ	○ joɴdemota
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ tasukeraita	○ owairaita	● haʃinrjo:	● tʃinrjo:	○ jondemota
22	08岸江	徳島県 徳島市	★ tasuketemo:ta	○ 1 okkakerareta 2 owaerareta	● haʃiɴrjo:	● tʃiɴrjo:	○ 1 joɴdeʃimota ★ 2 joɴdoru
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ tasukerareta	○ okkakerareta	★ 1 haʃittoru ● 2 haʃirrjoru	● 1 tʃirrjoru ★ 2 tʃittoru	○ joɴdeʃimo:ta
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ tasukerareta	○ oikakerareta	● 1 haʃirijoru , 2 haʃittoru ★ , 3 haʃirrjoru	● 1 tʃirijoru , 2 tʃirrjoru , 3 tʃittoru ★	○ joɴdeʃimo:ta
25	08小西	広島県 三次市	○ tasukerareta	○ okkakerareta	● haʃirjo:ru	● tʃirjo:ru	○ joɴde ʃimo:ta
26	08舩木	山口県 光市	★ taswketemoro:ta	○ okkakerareta	★ 1 haʃittʃorɯ ● 2 haʃirijorɯ	● tʃirijorɯ	◇○ 1 joɴdazo , 2 joɴdeʃimo:ta , 3 joɴʒorɯ ★
27	08杉村	福岡県 福岡市	★ tasɥketemoro: taio	○ oikakerareta	● haʃirijoru	● tʃirijoru	○ 1 jondeʃimo:ta ★ 2 jondoru
28	08木部	鹿児島県 日置市	★ tasɥke? morota	○ ɯkkakerareta	★ haʃittʃot	★ tʃittʃoi	○ joɴʃimota
29	08大西	鹿児島県 南九州市	★ tasukemmoroda	○ ukageraeda	★ 1 haʃittʃoi , 2 haʃittʃo? , 3 haʃi:go? ◇	★ 1 tʃittʃoi , 2 tʃittʃo? , 3 tʃi: go? ◇	○ 1 jonʃimoda ＊ 2 jontotta
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	○ taʃikirattaɴ	◇ ?wa:ttaɴ	☆ ha:e:so:ɴ	＊ ?uti:ɴ	＊ 1 judi ?uwataɴ ☆ 2 judi ne:ɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	○ tạʃikiraren	＊ ɸudamidare:ɴ	☆ kạʃikirun	☆ tʃireɴ	☆ jumeɴ
【凡例】			○ タスケラレタ類 ◎ タスケラッタ類 ● タスケテクレタ類 ★ タスケテモラッタ類	○ オイカケラレタ類（オワエラレタ含む） ◎ オイカケラッタ類 ◇ オワレタ類 ★ ボイツケラレタ ＊ その他	○ テイル・テル類 ● ヨル類 ★ トル類 ☆ テオル類(o：ɴ・uɴ含む) ■ テタ類・テラ類 ◇ ゴッ ＊ その他	○ テイル・テル類 ● ヨル類 ★ トル類 ☆ エン類 ■ テタ類・テラ類 ◇ ゴッ ＊ その他	○ デシマッタ類 ● ジャッタ類 ◇ タ類（ヨンダ） ★ トル類 ☆ ユディネーン・ユメン ＊ その他（ヨミオワッタ・ヨントッタ）
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-112-a 食べかける・食べかけている（始動a）	JG-112-b 食べかける・食べかけている（始動b）	JG-113 いるか（非過去：あいさつ）	JG-114 いた（過去-体験）	JG-115-a 行ったなあ（過去-共有体験）
1	08日高	秋田県 秋田市	○ sakini kɯtterɯ	○ sakini kɯtterɯ	○ 1 ęrɯga ● 2 ędaga	● 1 ęda , 2 ędatta , 3 ■ ędeatta	○ 1 ętana: ■ 2 ęttattana:
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ sagi tabederɯjo	○ sagi tabederɯjo	● 1 idaga 2 ondeʃattaga	■ 1 idatta ▼ 2 idakke	■ 1 ittattana ▼ 2 ittakkena
3	08小林	宮城県 仙台市	○ saiʃoni tabetekkarawane	○ saiʃoni tabetekkarawane	＊ ippeḳa	○ itaittʃa i̯tattʃa	○ ittattʃane:
4	08竹田	山形県 米沢市	○ 1 osagini tabederɯ jo , 2 osagini tabede kkara na , 3 osagini kɯtterɯ jo , 4 osag ini kɯtte kkara na	○ 1 osagini tabederɯ jo , 2 osagini kɯtterɯ jo , 3 osag ini gottzɯo ni natterɯ jo	● 1 idaga 2 oidatta gai	○ 1 ida , 2 idatta , 3 ■ idakke ▼	■ 1 ittatta na: 2 ittakke na: ▼
5	09小林	福島県 会津若松市	○ 1 sakiɴ tabetekkara: 2 tabetekkara:	○ sakinitabetekkara:	＊ irakkajo:	○ itadakara:	▼ ittakkena:
6	09新井	栃木県 さくら市	■ 1 kɯttʃaɯdeja ＊ 2 kɯ:deja	■ 1 kɯttʃaɯdeja ＊ 2 kɯ:deja	○ 1 ekke 2 ekkana	○ idaɴda	○ ittajona:
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ tabeterɯ jo	■ saki: tabetʃaɯjo	○ irɯkai	○ ita	○ itta jo ne:
8	08新井	埼玉県 上里町	＊ 1 sakini tabehadʒimerɯjo , ○ 2 sakini tabehadʒimeterɯjo , 3 sakini tabehadʒimeterɯ jo	＊ sakini tabehadʒ imerɯjo	○ irɯkai	○ itajo	▼ ittakkena:
9	09三井	東京都 品川区	＊ 1 osakiɲi itadakimaʃo:ka , 2 ○ saki itadaitemasɯ , 3 osaki ɲi itadaitemasɯ	○ itadaitemasɯkara	◎ iraʃʃaimasɯ̨ka	○ itandakeredomo	○ ittana:
10	08三井	東京都 立川市	■ sakiɲi kɯttʃaɯ[dzo	■ sakiɲi kɯttʃaɯ[dzo	○ 1 irɯ ＊ 2 innokajo	○ itajo	▼ ittakkena:
11	09吉田	山梨県 早川町	＊ kɯihana:terɯnina:	＊ kuihana:teirɯdaiso	＊ iteka:	＊ ito:do:ŋa	★ itto:
12	08沖	長野県 松本市	＊ 1 sakini jarɯjo jarɯwane , 2 ○ sakini jaridasɯjo , 3 sakini haʒimerɯjo , 4 sakini haʒ imeterɯne:	○ 1 ×jɯkkɯri ittoidene 2 sakini haʒimeterɯne :	○ ○○tʃaɴ irɯ:	○ itajo	1 ittajone: ○ 2 ittawane:
13	08中井	富山県 富山市	★ 1 sakinitabetottʃa 2 tabekaketorɯtʃa	★ 1 sakinitabetottʃa ＊ 2 sakinitabettʃa	◎ orarerɯ:	◎ 1 orareta ○ 2 otta	○ ittane:
14	09大西	富山県 砺波市	★ matʃimjatʃitabetorɯne	★ sakiɲitabetottʃa:	◎ oiderɯ:	◎ ottattaŋaɲi:	＊ 1 ittekitane: 2 ittekitatʃa:
15	09中井	石川県 小松市	★ sakinitabetorɯ	＊ 1×sakinitabetemoiika 2 sakinitaberɯzo	○ 1 orɯka ◎ 2 otteka	○ otta	○ ittana:
16	09舩木	京都府 与謝野町	△ saki tabetokɯde	★ saki tabetorɯde	○ ima orɯkae:	○ ottado:	○ 1 ittana: ● 2 ittottana:
17	08松丸	滋賀県 高島市	＊ 1 sakini taberɯde , 2 sakini △ jobarerɯde , 3 sakini tabetokɯde	△ 1 sakini tabetokɯde ■ 2 sakini tabeteʃimaɯde	○ 1 irɯka 2 orɯka	＊ 1 ijotta , 2 otta , 3 ita ○	○ ittana:
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ tabeterɯ e	○ tabeterɯ e	◎ iharimasɯka	◎ ihatta	○ ittana:
19	08高木	大阪府 大阪市	＊ saki tabemasse:	＊ 1 saki tabemasse: △ 2 saki susumetokimasse	★ iteruka:	★ iteta	○ ittana:
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	▼ tabekaketokɯ	△ tabetokɯ	★ iterɯkai	★ iteta	○ ittana:
21	08都染	兵庫県 姫路市	● 1 saki tabejoddo: 2 saki tabejorudo:	△ saki tabetokudo:	◎ otteka:	○ otta	○ itana:
22	08岸江	徳島県 徳島市	● tabejo:jo	● tabejo:jo	○ orɯɴe	○ otta	● ikkjottana:
23	09岸江	香川県 東かがわ市	● 1 tabejoru ★ 2 tabetoru	● 1 tabejoru ★ 2 tabetoru	○ 1 orɯɴka 2 orɯɴdeka	○ otta	● ikkjottana:
24	09小西	岡山県 笠岡市	● saki tabejoruwa	N NR	○ oruka	○ otta	○ 1 ittano: 2 itano:
25	08小西	広島県 三次市	● 1 saki: tabjo:rude , 2 saki: jobarejoruke:no: , 3 saki: kuijo:rude	● 1 saki: jobarejo:ruke:no: 2 saki: tabjo:rude	◎ 1 ottekaino:ottedesuotteno , 2 ottekaino: , 3 ottedesu , 4 otteno	○ otta	○ 1 ittaeno: 2 ittajono:
26	08舩木	山口県 光市	● 1 sakini janjorɯke: , 2 sakini ★ tabejorɯke: , 3 tabetʃorɯke:	● 1 sakini janjottemo e:kaino: △ 2 sakini tabetʃokɯke:no:	○ orɯkaino:	○ ottazo	● ikijottano:
27	08杉村	福岡県 福岡市	● tabejorubai	● tabejorubai	◎ 1 oraʃʃaruna 2 mo:ʃi	○ 1 ottatobattenna: 2 otta	○ ittana:
28	08木部	鹿児島県 日置市	▽ tamoikaketʃot	★ saki tamottʃodde na:	◎ oijai na:	◎ oijatta	＊ iggottai na:
29	08大西	鹿児島県 南九州市	◇ sagikugoddo	◇ sagikugoddo	◎ oika	○ otta	○ idani:
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	＊ kado:tʃɯɴ	＊ kado:tʃɯɴ	○ 'umi	○ 'utaɴdo:	△ ʔɴdʒaɴdo:ja:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	＊ honteni se:ɴ	＊ honteni se:ɴ	○ urɯɴ	○ butaɴ	○ ŋgutara:
【凡例】			○ テイル・テル類 ● ヨル類 ★ トル類（カケトル含む） △ トク類 ▼ カケトク ■ チャウ類 ◇ ゴッ類 ＊ その他	○ テイル・テル類 ● ヨル類 ★ トル類 △ トク類 ■ チャウ・テシマウ類 ◇ ゴッ類 ＊ その他 N 無回答・無効回答	○ イル・オル類 ◎ イル・オル＋敬語（オイデル含む） ● イダ・オイダッタ類 ★ イテル類 ＊ その他	○ イタ・オッタ類 ◎ イル・オル＋敬語＋タ類 ■ イタッタ・イテアッタ類 ▼ イタッケ類 ★ イテタ類 ＊ その他（イトードーガ・イヨッタ）	○ イッタ類 ● イキヨッタ・イットッタ類 ■ イッタッタ類 ★ イットー ▼ イッタッケ類 △ ッンジャン ＊ その他
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-115-b 行った（過去-体験）	JG-115-c 行った（過去-非体験）	JG-116-a 強かった（過去-他）	JG-116-b 強かった（過去-自）	JG-117 いたそうだ（伝聞過去-非体験）
1	08日高	秋田県 秋田市	■ ẹttattana:	■ ẹttattakana:	○ 1 tsïegatta ▼ 2 tsïegattakkena:	○ tsïegatta	○ ẹdadoja
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	▼ 1 ittakena ■ 2 ittattana	■ 1 ittatta eɴga 2 ittatta:	○ 1 tsɯegatta ▲ 2 tsɯegakke	○ tsɯegatta	○ idatta do
3	08小林	宮城県 仙台市	○ ittattʃane:	▼ ittakkega:	○ 1 tsɯjokattane: 2 tsɯjokattattʃane:	○ tsɯjoḳattandadzo	○ itandado:
4	08竹田	山形県 米沢市	■ 1 iʃʃoni ittatta ▼ 2 iʃʃoni ittakke	○＊ 1 ittaga , 2 ittattega , 3 ▼■ ittakega , 4 ittattakega	○ tɯjogatta	○ tsɯjogatta	○ 1 idatta do , 2 idatta ke do , ◎ 3 idakke do , 4 ida do
5	09小林	福島県 会津若松市	▼ ittakkena:	▼ ittakkegare:	○ tsɯjokattana:	○ tsɯjokattana:	○ itadạto:
6	09新井	栃木県 さくら市	▼ ittakke	▼ ittakkeka	○ tsɯ'egatta	○ tsɯ'egatta	○ idaɴdato
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ itta	○ ittaka ネー	○ tsɯjokattajona:	○ tsɯjokattaɴdajo	□ itaɴdatte
8	08新井	埼玉県 上里町	○ ittajo	○ ittakana:	○ tsɯjokatta	○ tsɯjokatta	▼ itaso:da
9	09三井	東京都 品川区	N 1 ×iʃʃodattajone 2 NR	○ ittakana:	○ tsɯjokattane:	○ 1 tsɯjokattajo 2 tsɯjokattane	＊ itatojɯ:kotodesɯ
10	08三井	東京都 立川市	○ itta	○ ittakajo	○ tsɯ'okatta	○ tsɯ'okatta	○ 1 itandatojo 2 ita:datojo
11	09吉田	山梨県 早川町	★ itto:dojo:	★ itto:dakkeka	★ tɯjokatto:na:	★ 1 tɯjokatto: ○ 2 tɯjokattajo	★ ito:daɲeno:ɲa
12	08沖	長野県 松本市	○ ittawane:	○ ittakane:	○ tsɯjokattawa:	○ tsɯjokattajo	□ itatte
13	08中井	富山県 富山市	○ itta	○ ittake:	○ tsɯjokatta	○ tsɯjokatta	▼ ottaso:na
14	09大西	富山県 砺波市	● 1 ittottane: 2 ittottatʃa:	● 1 ittottakane: 2 maɟdʒitottakane:	○ kitsɯkattatʃa:	NR	○ ottato
15	09中井	石川県 小松市	○ itta	○ 1 ittakane 2 ittakaɴne	○ tsɯjokatta	○ tsɯjokatta	▼ ottaso:da
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ 1 ittana: ● 2 ittottana:	○ 1 ittakana: ● 2 ittottakana:	○ tsɯjokattana:	○ tsɯjokattado:	＊ 1 ottado: ★ 2 ottagena
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ 1 itta ● 2 ikkjotta	○ 1 ittaka ● 2 ikkjottaka	○ tsɯjokatta	○ tsɯjokatta	▼ 1 itaso:da , 2 ottaso:na , 3 ijottaso:na
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ 1 itta ＊ 2 ikahatta	○ ikahattaka	○ tsɯjokatta	○ tsɯjokatta e	□ itaɴjate
19	08高木	大阪府 大阪市	○ itta	○ 1 ittaka: ● 2 ikijottaka:	○ tʃujokatta	○ tʃujokatta	＊ itetatokaki:teru
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ ittana:	○ ittaka	○ tsɯjokattana:	○ tsɯjokatta	▼ itaso:ja
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ ita	○ ita	○ tsujokatta	○ tsujokatta	■ ottaraʃi:
22	08岸江	徳島県 徳島市	● ikkjottana:	● ikkjottana:	○ tsujokatta	○ tsujokatta	□ ottaɴjatte
23	09岸江	香川県 東かがわ市	● ikkjotta	● 1 ittottaɴka 2 ikkjottaɴka	○ tʃujokatta	○ tʃujokatta	＊ ottaɴde
24	09小西	岡山県 笠岡市	● itotta	● ittottaka	○ tsujokattano:	○ tsujokatta	□ ottaɴdʒatte
25	08小西	広島県 三次市	○ ittajono:	○ ittakaino:	○ tsujokatta	○ tsujokatta	★ 1 ottaɴdʒagena 2 ottagena
26	08舩木	山口県 光市	● ikijottano:	● ikijottakano:	○ tsɯjokattano:	○ tsɯjokatta	■ 1 ottaraʃi:do ○ 2 ottaɴto
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ ittana:	○ 1 ottakaina: 2 ittakaina:	○ tsujokattana	○ tsujokatta	★ ottagena
28	08木部	鹿児島県 日置市	○ 1 itta ＊ 2 ikkjatta	○ 1 itta na: 2 ikkjatta na:	○ tsɯekatta	○ tsɯekatta	◇ otta tʃi jo:
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ idani:	○ idage:	○ tʃijogattane:	○ tʃijogatta	＊ ottatʃuhanaʒʒa
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	△ ʔɴdʒaɴdo:	△ ʔɴdʒagaja:	◎ tʃu:sataɴ	◎ tʃu:sataɴ	○ 'utaɴrindo:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	○ ŋgutaɴ	○ ŋgetakaja	◎ tsu:sataɴ	◎ tsu:sataɴ	◇ butatʃo
【凡例】			○ イッタ類 ● イキヨッタ・イットッタ類 ■ イッタッタ類 ▼ イッタッケ類 ★ イットー △ ッンジャン ＊ その他 N 無回答・無効回答	○ イッタカ・イッタナ類 ● イキヨッタカ・イットッタカ類 ■ イッタッタカ類 ▼ イッタッケ（カ）類 ★ イットーダッケカ △ ッンジャガヤー ＊ その他	○ タ類 ★ トー ◎ タン ▲ ケ類 ▼ タッケ類	○ タ類 ★ トー ◎ タン ▼ タッケ類	□ 過去＋（ンダッ）テ類 ○ 過去＋（ン）ト・ド類 ◎ ケ＋ド ◇ 過去＋チュ・チョ類 ★ 過去＋ゲナ類 ■ 過去＋ラシー ▼ 過去＋ソーダ類 ＊ その他
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-118 読むことができない（能力可能）	JG-119 読むことができる（能力可能）	JG-120 読むことができない（状況可能）	JG-121 読むことができる（状況可能）	JG-122 書くことができない（能力可能）
1	08日高	秋田県 秋田市	○ jomene	○ jomerɯ	○ 1 jomene ■ 2 jomaęne	○ 1 jomerɯ □ 2 jomɯnię:	○ kirene
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ 1 jomene 2 jomenai	○ jomerɯ	■ jomarene	□ jomɯni i:	○ kirene
3	08小林	宮城県 仙台市	○ jomaɴendajo	■ jomarendawa jomarendajo	■ jomanne	□ jomɯnii:	■ kirannendadzo
4	08竹田	山形県 米沢市	■ jommanne	■ jomarerɯ	■ 1 jomannię 2 jomanne	■ jomarerɯ	■ 1 kirannię 2 kiranne
5	09小林	福島県 会津若松市	■ jomanɲida:	# 1 jomattʃi i:koto: ■ 2 jomarerɯjo:	■ 1 jomanni 2×mienai	# jomattʃi i:na:	■ kiranni
6	09新井	栃木県 さくら市	○ jomene:ɴda	○ jomeɴda	○ jomene:ɴda	○ jomenda	▼ kikkotoŋa degine:ɴ da
7	08高橋	群馬県 前橋市	* jomane:	○ jomerɯ	○ jomene: ヨ	○ ヨク jomerɯ ヨ	■ kirarene: ヨ
8	08新井	埼玉県 上里町	○ 1 jomenai 2 jomene:	○ jomerɯ	○ jomene:	○ jomerɯ	■ kiraɴne:
9	09三井	東京都 品川区	▼ 1 jomɯkotoŋadekinai ○ 2 jomenai	▼ 1 jomɯkotoŋadekimasɯ , 2 jomerɯ , 3 jomemasɯ ○	▼ 1 jomɯkotoŋadekinai , 2 jomɯkotoŋadekimaseɴ , 3 jomenai ○	▼ 1 jomɯkotoŋadekimasɯ 2 jomerɯ ○	▼○■ 1 kirɯkotoŋadekimaseɴ , 2 kirenai , 3 kirarenai
10	08三井	東京都 立川市	○ jomene: ndawa	○ jomerɯ	○ jomene nda	○ jomerɯ	■ 1 kiranne: 2 kirarenai
11	09吉田	山梨県 早川町	○ jomeno:	○ jomerɯ	○ jomeno:ni	○ jomerɯdo:jo	● 1 kieno:jo 2×çikkirɯ
12	08沖	長野県 松本市	○ jomenaindawane	○ 1 hõo jomerɯndawane 2 hõo jomerɯnne	○ 1 jomenaiwano 2 jomenainne	○ jomerɯ	○ 1 kirenaiwane , 2 kirenainne , 3 kire:nai
13	08中井	富山県 富山市	▼ 1 jomɯkotodekiɴ ○ 2 jomeɴ	* 1 jomɯ ○ 2 jomerɯ	▼ 1 jomɯkotodekiɴ ○ 2 jomeɴ	○ jomerɯ	▼* 1 kirɯkotodekiɴ , 2 ki:iwaɴ , ●○ 3 kireeɴ , 4 kireɴ
14	09大西	富山県 砺波市	▼○ 1 jomɯkotodekĩ:wa , 2 ● jome:̃wa , 3 jomereŋ	○ jomerɯ	▼○ 1 jomɯkotodekiŋ , ● 2 jomeŋ , 3 jomere	○ 1 jomerɯ ● 2 jomererɯ	▼○ 1 kirɯkotodekĩ:wa , 2 ● kireŋ , 3 kirereŋ
15	09中井	石川県 小松市	▼ 1 jomɯkotodekiɴ ○ 2 jomeɴ	▼ 1 jomɯkotadekirɯ ○ 2 jomerɯ	■ 1 jomaɴ 2 jomeɴ	○ 1 jomerɯ ■ 2 jomarerɯ	▼○ 1 kirɯkotoʃiraɴ , 2 kireɴ ■ , 3 kiraɴ
16	09舩木	京都府 与謝野町	◇ jo: jomehɴdo:	* jo: jomɯjo:nattado:	○ jomɴdo:	○ jomerɯdo:	○ 1 mada kirɴdo ◇ 2 jo: ki:hɴdo:
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ 1 jomeɴ , 2 jo:jomaɴ , ◇ 3 jo: jomijoraɴ	○ jomerɯ	○ 1 jomeɴ ◇ 2 jo: jomeɴ	◇ jo: jomerɯ	▼■ 1 kirɯkotogadekiɴ , 2 □ kiraɴ , 3 kirarehɴ
18	09渋谷 A	京都府 京都市	◇ jo: jomahɴ	○ 1 jomerɯ ◇ 2 jo:jomɯ	○ jomehɴ	○ jomerɯ	◇ jo:ki:hiɴ e
19	08高木	大阪府 大阪市	◇ 1 jo:jomijorehɴ □ 2 jomarehɴ	◇ 1 umaikoto jomijoru , 2 jo: ○ jomu , 3 jomeru	□ jomarehɴ	○ jomeru	◇ 1 jo: kijorehɴ , 2 jo: □ ke:hɴ , 3 kirarehɴ
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	◇ jo:jomehɴ	◇ jo:jomɯ	♭ 1 jomejaɴ ▼ 2 jomɯkotodekehɴ	○ jomerɯ	♭ jo:kijaɴ
21	08都染	兵庫県 姫路市	◇ jo: jomahɴ	◇ jo: jomu	□ jomarehɴ	○ jomeru	◇ jo: kirahɴ
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ 1 jomeɴ ◇ 2 jo:jomaɴ	○ 1 jomeru ◇ 2 jo:jomu	○ jomeɴ	○ jomeru	◇ jo:kiɴ
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ 1 jomeɴ ◇ 2 jo:jomaɴ	○ 1 jomeru ◇ 2 jo:jomu	○ jomeɴ	○ jomeru	◇ jo:kiɴ
24	09小西	岡山県 笠岡市	◇ jo:jomaɴ	◇ 1 jo:jomu ○ 2 jomeru	○ 1 jomeɴ ■ 2 jomaɴ	○ 1 jomeru ■ 2 jomaɴru	■ 1 kiraɴ ◇ 2 jo:kiɴwa
25	08小西	広島県 三次市	◇ jo:jomaɴ	▼ 1 jomukotogadekiru , 2 ◇ jo:jomu , 3 jomeru ○	▼ 1 jomukotogadekiɴ , 2 ○ jomeɴ , 3 jo:jomaɴ ◇	○ jomeru	■ 1 kiraɴ ◇ 2 jo:kiɴ
26	08舩木	山口県 光市	○ jomeɴ	* 1 jomɯjo:natta ○ 2 jomerɯjo:natta	○ jomeɴ	○ jomerɯ	▼ 1 kirɯkotogadekiɴ ○ 2 kireɴ
27	08杉村	福岡県 福岡市	▲ jomikiraɴ	▲ jomikirubai	■ jomaɴ	■ jomareru	▲ kikiraɴ
28	08木部	鹿児島県 日置市	★ joɴga naraɴ	★ 1 joɴganai 2 joɴgana?	★ joɴga naraɴ	★ 1 joɴga nai 2 joɴga na?	★ ki:ga naraɴ
29	08大西	鹿児島県 南九州市	★ joŋŋanaraɴ	★ joŋŋana?	★ joŋŋanaraɴ	★ joŋŋana?	★ ki:ŋanaraɴ
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	☆ jumiju:saɴ	☆ jumiju:suɴ	■ jumaraɴ	■ jumari:ɴ	☆ tʃi:ju:saɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	■ 1 jumaranu ☆ 2 jumibusanu	■ 1 jumariɴ ☆ 2 jumibusuɴ	■ jumarunu	■ jumariɴ	☆ ʃi:busanu
【凡例】			○ ヨメネー・ヨメン類 ● ヨメレン ■ ヨマンネ・ユマラヌ □ ヨマレヘン ◇ ヨーヨマン類 ▲ ヨミキラン ★ ヨンガナラン ☆ ユミユーサン・ユミブサヌ ▼ ヨムコトガデキン類 * ヨマネー	○ ヨメル類 ■ ヨマレル・ユマリン類 ◇ ヨーヨム類 ▲ ヨミキル ★ ヨンガナッ類 ☆ ユミユースン・ユミブスン ▼ ヨムコトガデキル類 * ヨム・ヨムヨーナッタ # ヨマッチイーコトー	○ ヨメネー・ヨメン・ヨメヘン類 ● ヨメレン ■ ヨマンネ・ヨマレン・ユマラン・ユマルヌ類 □ ヨマレヘン ◇ ヨーヨマン類 ▲ ヨミキラン ★ ヨンガナラン ♭ ヨメヤン ▼ ヨムコトガデキン類	○ ヨメル類 ● ヨメレル ■ ヨマレル・ユマリン類 ◇ ヨーヨム類 ▲ ヨミキル ★ ヨンガナッ類 □ ヨムニイー # ヨマッチイー ▼ ヨムコトガデキル類 * ヨム・ヨムヨーナッタ	○ キレネー・キレン類 ● キレレン・キレエン ■ キランネ・キラレン類 □ キラレヘン ♭ ヨーキヤン ◇ ヨーキン・ヨーケーヘン類 ▲ キキラン ★ キーガナラン ☆ チーユーサン類 ▼ キルコトガデキン類 * キーイワン
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-123 着ることができる（能力可能）	JG-124 着ることができない（状況可能）	JG-125 着ることができる（状況可能）	JG-126 雨だ	JG-127 雨だった
1	08日高	秋田県 秋田市	○ kïrerɯ	○ 1 kïrene ■ 2 kïraẹne	□ kïrɯnię	○ ame[ɴda	○ 1 ame[ɴdatta 2 ame[ɴdeatta
2	09竹田A	岩手県 盛岡市	○ kirerɯ	■ kirarene	□ kirɯni i:	○ ame da	○ ame datta
3	08小林	宮城県 仙台市	□ kinnii:	■ kirannewa:	■ kirarenndajo	○ amedattʃa:	○ amedattana:
4	08竹田	山形県 米沢市	■ kirarerɯ	■ 1 kirannię 2 kirannę	■ kirarerɯ	○ ameda	○ ame datta
5	09小林	福島県 会津若松市	■ kirarerɯ	■ kiranni	■ kirarerɯ	○ amedana:	○ amedattana:
6	09新井	栃木県 さくら市	▼ kikkoto degirɯ	■ kiraɴ ne	■ kirarerɯ	○ ameda	○ amedatta
7	08高橋	群馬県 前橋市	■ kirarerɯ	■ kirarene:	■ kirarerɯ ヨ	○ ameppɯrida	○ amedatta ネー
8	08新井	埼玉県 上里町	■ kirarerɯ	■ kiraɴne:	■ kirarerɯ	○ ameda	○ amedatta
9	09三井	東京都 品川区	▼ 1 kirɯkotoŋadekimasɯ ■ 2 kirarerɯ	■○ 1 kirarenai , 2 kirenai , 3 kirɯkotoŋadekimasɴ ▼	▼ 1 kirɯkotoŋadekimasɯ ■ 2 kirarerɯ	○ ameda	○ amedatta
10	08三井	東京都 立川市	■ kirarerɯ	■ kiranne:	■ kirarerɯ	○ 1 ameda 2×bɯkkondʒatta	○ amedatta
11	09吉田	山梨県 早川町	○ kirerɯjo	○ kireno:jo	○ kirerɯjo	◎ amedo:ni	◎ 1 amededo:ɲa 2 amedatto:do:
12	08沖	長野県 松本市	○ 1 kirerɯndane , 2 kirerɯndawane , 3 kire:ɯnne	○ mo: kirenaiwane:	○ 1 kirerɯnne 2 kirerɯwane	○ amedane	○ amedatta
13	08中井	富山県 富山市	○ 1 kirerɯ ■ 2 kirarerɯ	● 1 kireeɴ ○ 2 kireɴ	○ kirerɯ	N ×ameφɯttottʃa	○ 1 amedatta 2×ameφɯttotta
14	09大西	富山県 砺波市	○ 1 kirerɯ ● 2 kirererɯ	○ 1 kireɴ ● 2 kirereŋ	○ 1 kirerɯ ● 2 kirererɯ	▲ ameja	▲ amejatta
15	09中井	石川県 小松市	○ kirerɯ	▼○ 1 kirɯkotoŋadekiɴ , 2 kireɴ , 3 kiraɾeɴ ■	○ 1 kirerɯ ■ 2 kirarerɯ	▲ amejaɴne	▲ amejatta
16	09舩木	京都府 与謝野町	◇ jo: kirɯjo:nattado:	○ 1 kireɴjo:ɴnattana: , 2 kirehɴ , 3 kirarehɴ □	○ kirerɯwaja	○ amedado:	○ amedattado:
17	08松丸	滋賀県 高島市	■ kirarerɯ	○ 1 kirehɴ □ 2 kirarehɴ	■ kirarerɯ	▲ ameja	▲ amejatta
18	09渋谷A	京都府 京都市	◇ jo: kirɯ	□ kirarehɴ wa	■ kirarerɯ	▲ ame ja	▲ ame jatta
19	08高木	大阪府 大阪市	▼ 1 kirukotoga dekiru , 2 ◇ jo: kijoru , 3 jo: kiru	□ kirarehɴ	○ kireru	▲ ameja	＊ 1 amedeʃita ▲ 2 amejatta
20	09渋谷B	和歌山県 岩出市	◇ 1 jo:kirɯ ○ 2 kirerɯ	♭ kijarejaɴ	◇ kijarerɯ	▲ ameja	▲ amejatta
21	08都染	兵庫県 姫路市	◇ jo: kiru	□ kirarehɴ	■ kirareru	▲ ameja	▲ amejatta
22	08岸江	徳島県 徳島市	◇ jo:kiru	○ kireɴ	○ kireru	▲ 1 ameja □ 2 ameʒa	○ amedatta
23	09岸江	香川県 東かがわ市	◇ jo:kiru	○ kireɴ	○ kireru	▲ ameja	▲ amejatta
24	09小西	岡山県 笠岡市	■ 1 kirareru ◇ 2 jo:kiru	■ 1 kiraɾeɴ ○ 2 kireɴ	○ 1 kireru ■ 2 kirareru	□ amedʒa	□ amedʒattaga
25	08小西	広島県 三次市	○ 1 kireru ◇ 2 jo:kiru	○ kireɴ	■ kirareru	□ 1 amedʒa ○ 2 ameda	□ 1 amedʒatta ○ 2 amedatta
26	08舩木	山口県 光市	○ kirerɯ	○ kireɴjo:natta	○ kirerɯ	□ ameʒano:	□ ameʒatta
27	08杉村	福岡県 福岡市	▲ kikirubai	■ kiraɾeɴ	■ kirareru	★ 1×amenoφuɾijoru , 2 amebai , 3 ameʒa □	□ ameʒatta
28	08木部	鹿児島県 日置市	★ 1 ki:ga nai 2 ki:ga na?	★ ki:ga naraɴ	★ 1 ki:ga nai 2 ki:ga na?	□ ame ʒa	□ ame ʒatta
29	08大西	鹿児島県 南九州市	★ ki:ŋana?	★ ki:ŋanaraɴ	★ ki:ŋana?	□ ameʒa	□ ameʒatta
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	☆ tʃi:ju:sɴ	■ tʃiraraɴ	■ tʃirari:ɴ	▲ ?ami jaɴ	▲ ?ami jataɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	☆ ʃi:busɴ	■ ssarunu	■ ssariɴ	★ 1 ami ○ 2 amidara	▲ ami jataɴ
【凡例】			○ キレル類 ● キレレル ■ キラレル ◇ ヨーキル類 ▲ キキル ★ キーガナッ類 ☆ チーユースン・シーブスン □ キンニイー ▼ キルコトガデキル類 ＊ その他	○ キレネー・キレン類 ● キレレン・キレエン ■ キランネ・キラレン・チララン・ッサルヌ類 □ キラレヘン ♭ キヤレヤン ★ キーガナラン ▼ キルコトガデキン類 ＊ キーイワン	○ キレル類 ● キレレル ■ キラレル・チラリーン・ッサリン類 ◇ キヤレル ★ キーガナッ類 □ キルニイー ▼ キルコトガデキル類 ＊ キル・キルヨーナッタ	○ アメダ・アメダラ類 ◎ アメドー ▲ アメヤ・アメヤン類 □ アメジャ類 ★ アメ（＋終助詞）類 N 無回答・無効回答	○ アメダッタ類 ◎ アメデドー・アメダットー ▲ アメヤッタ・アメヤタン類 □ アメジャッタ類 ＊ その他
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-128 雨だろう	JG-129 行くだろう	JG-130 行くのだろう	JG-131 行っただろう	JG-132 行ったのだろう
1	08日高	秋田県 秋田市	◆ 1 ame[ɴda[ɴbe ◇ 2 ame[ɴda[ɴbjoɴ	◆ 1 ɐgɯ[ɴbe ◇ 2 ɐgɯ[ɴbjoɴ	◎ ɐgɯɴdenega	◎ 1 ɐttɴdene:ga ◆ 2 ɐtta[ɴbe	◆ 1 ɐttɴda[ɴbe ◎ 2 ɐttɴdene:ga
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	☆ ame da gotta	☆ igɯgotta	☆ igɯndago tta	☆ ittagotta	☆ 1 ittandagotta 2 ittagotta
3	08小林	宮城県 仙台市	＊ amedattʃane:	◎ iŋɯndeneswka:	◎ iŋɯndene:no	◎ ittandene:no	◎ ittandene:no
4	08竹田	山形県 米沢市	◆ amedabe:	◆ 1 iŋɯbe: 2 iŋinaɴ be:	◆ 1 iŋɯnada be: 2 iŋinanna da be:	◆ tabɯɴ itta be	◆ 1 ittanadabe , 2 ittandabe , 3 itte oidattanadabe , 4 itte
5	09小林	福島県 会津若松市	＊ 1 amegana: , 2 amega ◆ : , 3 amedabena:	◆ iŋɯbena:	◆ iŋɯndabena:	＊ 1 ittadoomo:kedo , 2 ◆ ittabe: , 3 ittabeʃita	◆ 1 ittandabena: 2 ittabe:
6	09新井	栃木県 さくら市	＊ amedado	◎ igɯɴdane:ka	◆ igɯɴdaɴbe	◎ ittaɴdane:ga	＊ ittaɴdamitaida
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ amedaro:	◎ ikɯɴdʒane:kai	◆ 1 ikɯɴdaɴbe: ◎ 2 ikɯɴdʒane:kai	◆ 1 ittaɴbe:kane ◎ 2 ittaɴdʒane:kai	○ ittaɴdaro:
8	08新井	埼玉県 上里町	◆ 1 amedaɴbe: ◎ 2 amedʒane:kana:	○ 1 igɯdaro: ◎ 2 igɯɴdʒane:kana	◆ 1 igɯɴdaɴbekana: ◎ 2 igɯɴdʒane:kana:	◎ 1 ittaɴdʒane:kana: ◆ 2 ittadaɴbe:	◎ 1 ittaɴdʒane:kana: ◆ 2 ittaɴdaɴbe:
9	09三井	東京都 品川区	○ 1 amedaro: ＊ 2 amedeʃo:	＊ ikɯdeʃo:	＊ 1 jɯkɯndeʃo: 2 jɯkɯnodeʃo:	◎ ittandʒanaideʃo: ka	＊ ittandeʃo:
10	08三井	東京都 立川市	◆ amedambe:	◎ 1 ikɯ[dʒane:ka , 2 ikɯtōmo ＊ :jo , 3 ikɯdambe: , 4 ikɯ[dʒ ◆ ane:jo , 5 ikɯdambekajo	◆ ikɯdambejo	＊ 1 itta:datojo: , 2 ◆ ittekitadatojo: , 3 ittadambe:	◆ ittandambe:
11	09吉田	山梨県 早川町	▼ 1 amedɯraka 2 amedɯra	▲ ikɯra	▼ ikɯdɯra	▼ 1 ittɯrajo 2 itto:dɯrajo	▼ 1 ittekito:dɯrajo 2 itto:dɯrajo
12	08沖	長野県 松本市	○ 1 amedaro: , 2 amedajone: ＊ , 3 amedawane: , 4 amezɯ ▼ ra	▼ 1 ikɯnzɯraka , 2 ikɯzɯ ◎ raka , 3 ikɯndʒanai , 4 ikɯ ＊ deʃo: , 5 ikɯkane:	▼ 1 jakɯbae ikɯzɯra , 2 ikɯ ◎ ndʒanai , 3 ikɯndʒane:	◎ ittandʒanai	◎ 1 ittandʒanai ▼ 2 ittazɯra
13	08中井	富山県 富山市	○ amedaroŋaine	◎ 1 ikareɴŋadenaʃi △ 2 ikɯjaro:	○ 1 ikɯŋadaro:kane ◎ 2 ikareɴŋanaʃi	■ ittekitaro:	○ ittekitaŋadaroŋaine:
14	09大西	富山県 砺波市	△ amejarone:	♪ 1 iko: , 2 ikaʃʃaro: , 3 ik △ ɯjaro:	△ 1 ikaʃʃaɾɯŋajaro 2 ikɯŋajaro	△ ittajaro	△ ikahattaŋajaro
15	09中井	石川県 小松市	△ amejaro:	△ ikɯjaro:	△ ikɯɴjaro:	△ ittajaro:	△ ittaɴjaro:
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ amedaro:na:	○ ikɯdaro:na:	○ ikɯɴdaro:	○ ittaɴdaro:de:	○ ittaɴdaro:
17	08松丸	滋賀県 高島市	△ amejaro:	△ ikɯjaro:	△ 1 ikɯnojaro: 2 ikɯɴjaro:	△ 1 ittajaro: 2 ittaɴjaro:	△ ittaɴjaro:
18	09渋谷 A	京都府 京都市	＊ 1 ame jato omoɯ △ 2 ame jaro	△ ikaharɯjaro	△ ikaharɯɴjaro	△ ikahattajaro	△ ikahattaɴjaro
19	08高木	大阪府 大阪市	＊ 1 ame tʃauka: , 2×ame deɴ △ na: , 3×amejade: , 4 amejar o:	＊ 1×ikijoɴde: , 2 ikanaakaɴnot △ ʃigau , 3 ikujaro:	△ 1×ikijoɴde: , 2×ikijorude: , 3 ＊ × ikiharude: , 4 ikɯɴjaro: , 5 ikiharimaʃʃaro	＊ 1 ittekihattaɴtʃigau , 2 ittajar △ o: , 3 ittekitaɴtʃigau	△ 1 ittekihatteɴjarona , 2 ＊ ittekihattaɴtʃau , 3 ikihattaɴ totʃigau
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	△ amejaro	△ ikɯjaro	△ ikɯɴjaro	△ ittajaro	△ ittaɴjaro
21	08都染	兵庫県 姫路市	△ amejaro:	△ ikujaro	△ ikuɯ̃jaro	△ itajaro	△ itettaɯ̃jaro
22	08岸江	徳島県 徳島市	△ 1 amejaro ○ 2 amedaro	○ ikudaro	○ ikuɴdaro	○ ittadaro	○ ittaɴdaro
23	09岸江	香川県 東かがわ市	△ amejaro:	△ ikujaro:	○ ikkjoɴdaro:	＊ 1 ittaɴto tʃauka △ 2 ittaɴjaro:	＊ 1 ittaɴto tʃaudeka △ 2 ittaɴjaro:
24	09小西	岡山県 笠岡市	□ amedʒaro	□ ikudʒaro:	□ ikuɴdʒaro:	♪ itoro:ga	♪ itoro:ga
25	08小西	広島県 三次市	□ 1 amedʒaro: ○ 2 amedaro:	□ 1 ittedʒaro: , 2 ikudaro: ○ , 3 ikudʒaro:	□ 1 ikuɴdʒaro: ○ 2 ikuɴdaro:	○ ittadaro:	○ ittaɴdaro:
26	08舩木	山口県 光市	□ ameʒaro:	□ ikɯʒaro:	□ ikɯɴdʒaro:	□ 1 ittaɴdʒaro: 2 ittaʒaro:	□ ittaɴdʒaro:
27	08杉村	福岡県 福岡市	□ ameʒaro:	◎ 1 ikutoʒanakaro:ka □ 2 ikuʒaro:	□ ikijottʃaro:	◎ ittatoʒanakato	◎ ittatoʒanakato
28	08木部	鹿児島県 日置市	＊ 1 amekamo na: □ 2 ame ʒaro na:	＊ ikkamo	□ 1×ikkata ʒattaiga , 2× ikkjattai ga , 3 ittaro	＊ ittakamo	＊ 1 ittakamo , 2 ♭ itakkitataja seɴdokai
29	08大西	鹿児島県 南九州市	□ ameʒaro	□ 1 i?ʒaro , 2 i?kamo , 3 i ＊ ?tʃomo	□ ittaro	□ 1 idaʒaro 2 idakamo	□ idataro
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	★ ?ami jara hadʒido	★ ?itʃuru hadʒido:	● ?itʃue:sani	★ ?ɴdʒaru hadʒido:	★ 1 ?ɴdʒaru hadʒido: ● 2 ?ɴdʒae:sani
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	★ ami jaru hatʃido:	★ ŋgu hatʃido:	★ ŋgu hatʃido:	★ ŋgeta hatʃi	＊ ŋgeta aranukaja
【凡例】			◆ ダベ・ダンベー類 ◇ ダビョン ☆ ダゴッタ ▼ ヅラ・ズラ ★ ハジドー類 ○ ダロー類 △ ヤロー類 □ ジャロー類 ◎ ジャネーカナー ＊ その他(デショー・チャウカ・カナ・カモ・ヤトオモウ)	◆ ベー・タンベー類 ◇ ビョン ☆ ゴッタ ▲ ラ ▼ ズラ ★ ハジドー類 ○ ダロー類 △ ヤロー類 □ ジャロー類 ♪ イコー・イカッシャロ ◎ ンデネーノ・ンジャナイカ・トジャナカローカ類 ＊ その他(デショー・チガウ・カナ・カモ・トオモウ)	◆ ンダベー・ンダンベ類 ☆ ンダゴッタ ▼ ヅラ・ズラ ★ ハチドー ● エーサニ ○ ンダロー・ガダロー類 △ ンヤロー類 □ ンジャロー類(チャロ・タロ) ◎ ンデネーノ・ンジャナイカ類 ＊ その他(ンデショー・マッシャロ)	◆ タベー・タンベ類 ☆ タゴッタ ▼ ツラ・トーヅラ ★ タハジドー類 ■ タロー ○ タ(ン)ダロー類 △ タ(ン)ヤロー類 □ タ(ン)ジャロー類 ◎ タンデネーノ・タンジャナイカ類 ＊ その他(チガウ・カナ・カモ・トオモウ) ♪ トロー	◆ タンダベー類 ☆ タゴッタ・タンダゴッタ ▼ トーヅラ・タズラ ★ ハジドー類 ● エーサニ ○ タンダロー類 △ タンヤロー類 □ タンジャロー類(タロ) ◎ タンデネーノ・タンジャナイカ類 ♭ センドーカイ ＊ その他(チガウ・カモ) ♪ トロー
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-133 あるじゃないか	JG-134 あるんじゃないか	JG-135 行かなければならない	JG-136 書こう（意志）	JG-137 起きよう（意志）
1	08日高	秋田県 秋田市	□ 1 arɯ[Nbe , 2 arɯ[Ndenega ◎ , 3 arɯnega $	◎ 1 arɯanDenega 2 arɯNdenega	★ ęgane[Nbane	◎ kagɯgana:	◎ ogirɯgana:
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	◎ arɯndene ga	◎ arɯndenega	★ iganebane	○ kagɯ	○ ogirɯ
3	08小林	宮城県 仙台市	◎ andene:no	◎ arɯndene:no	◆ iŋanegenendaḳedo:	◆ kaganagene	▼ 1 ogippe ◆ 2 oginagene
4	08竹田	山形県 米沢市	□ ambeʃita	* arɯhonnega	□ iŋananne	▼ kagɯbe	▼ ogimbe
5	09小林	福島県 会津若松市	□ 1 ambeʃita 2 ambe:	◎ andenɛ:no:	□ iŋannaneda:	◆ 1 kakannanena: ▼ 2 kakɯbena:	▼ 1 okimbe ◆ 2 okinnanena:
6	09新井	栃木県 さくら市	□ appe	◎ aNdʒane:ga	◇ iganakɯtʃananne	◎ kagɯgana	◎ 1 ogikkana ▼ 2 ogippe
7	08高橋	群馬県 前橋市	◎ arɯdʒane:	◎ arɯNdʒane:kai	◆ iganakjananne:	▽ kako カナー	▽ okijo カナー
8	08新井	埼玉県 上里町	◎ arɯdʒane:ka	◎ arɯNdʒane:ka	◇ iganakɯtʃananne:	◎ 1 kakɯkana: ▼ 2 kakɯbe:	◎ 1 okirɯkana ▼ 2 okibe:
9	09三井	東京都 品川区	□ 1 arɯdeʃo: * 2 arimasɯjo	◎ arɯndʒanaikana:	◆ 1 ikanakerebanaranai 2 ikanakerebaikenai	△ kako:	* 1 okimaʃo: △ 2 okijo:
10	08三井	東京都 立川市	○ andʒaŋka	◎ andʒane:no	◆ ikanakjananne:	△ 1 kako: ▼ 2 kakɯbe:kana:	▼ 1 okibe: 2 okimbe:
11	09吉田	山梨県 早川町	◎ arɯʒa:naikajo	◎ arɯʒa:nai	N ×ittekɯrɯdo:jo	▲ kakasɯka	* okide:tʃado:jo
12	08沖	長野県 松本市	○ arɯdʒaN	◎ arɯndʒanai	◆ 1×ittekɯrɯwa , 2×ikɯwa , 3 ikanakja ikeNwa	○ 1 kakɯwa ◆ 2 kakanakɯtʃa	△ 1 okijo: ◆ 2 okinakja
13	08中井	富山県 富山市	$ aNnekaine	◎ arɯŋadenai	■ ikaNnjanaNŋajaze	▽ kakokane:	△ okkjo
14	09大西	富山県 砺波市	$ arɯnaike:	◎ arɯŋanaiŋake	■ 1 ikannaŋŋaja[dze 2 ikannaŋ	△ kako:	△ okkjo
15	09中井	石川県 小松市	□ 1 arɯjaro ◆ 2 arɯŋaija	◎ arɯŋaNdenaika	■ ikaNnaraN	◎ kakka	◎ okikka
16	09舩木	京都府 与謝野町	◎ arɯdana:kja:	△ araheNkae:	■ ikaNnaNde:	△ 1 kako:e: ◆ 2 kakanaakaNna:	△ okijo:de:
17	08松丸	滋賀県 高島市	■ arɯjaNka	★ 1 arɯNtʃaɯka 2 arɯnotʃaɯka	▼ 1 ikanaikaN ■ 2 ikaNnaN	△ kako:	△ okijo:
18	09渋谷 A	京都府 京都市	■ arɯjaNka	★ arɯNtotʃigaɯka	▼ ikana akaheN ʃi	● 1 kaitoko △ 2 kako	△ okijo
19	08高木	大阪府 大阪市	▼ 1 arimaNgana , 2 arugana , 3 arujanaika	★ 1 arunotʃaimakka: , 2 arunotʃau , 3 arɯNtʃigauka:	▼ 1 ikana akaNneN 2 ikana akimaheNneN	○ 1 kakuwa , 2 ● kaitokuwa , 3 kako:ka: ▽	◆ okinaakaNna
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	◎ arɯNjanaika	★ arɯNtʃaɯka	▼ 1 ikanaakaN ■ 2 ikaNnaN	△ kako	△ okijo
21	08都染	兵庫県 姫路市	◎ arujanaika	★ annotʃauka	▼ ikana akaN	△ kako	★ okiro
22	08岸江	徳島県 徳島市	* 1 arude: ☆ 2 arudenaide	★ aruNtotʃauN	▼ ikaNto akaN	▽ 1 kakoka △ 2 kako:	▽ 1 okijoka △ 2 okijo
23	09岸江	香川県 東かがわ市	☆ arudenaideka	★ 1 aruNtotʃaudeka ☆ 2 arɯNdenaideka	▼ 1 ikanaikaN 2 ikanaakaN	△ kako:	△ okijo
24	09小西	岡山県 笠岡市	◆ 1 aruga 2 aro:ga	◎ arɯNdʒanaika	△ ikanaananNodʒa	△ kako:	○ 1 okiruwa 2 okirudzo
25	08小西	広島県 三次市	◎ arudʒanaino	◎ arɯNdʒa:naino	△ 1 ikanja:naraN ▲ 2 ikanja:ikeN	○ 1 kakude △ 2 kako:	△ 1 okjo: , 2 okju: , 3 okju ♪ :te
26	08舩木	山口県 光市	◎ 1 arɯʒanaika * 2 arɯʒa:	◎ arɯNdʒanaika	▲ ikaNnjaikeN	△ kako:	△ okijo:
27	08杉村	福岡県 福岡市	◆ aro:ga	◎ arutoʒanaina	△ ikananarantʃ amonna	◆ 1 kakanaikan , 2 kakannarantʃamonna , 3 △ kakanaikantotaina , 4 kako:	◆ 1 okinaikaN 2 okiro: ★
28	08木部	鹿児島県 日置市	● aja seN na:	● aja seN ja:	△ ikana naraN	◆ kakaNnara	◆ okiraNnara
29	08大西	鹿児島県 南九州市	* arahora	● araseŋka	▽ 1 igannjasumaN △ 2 igannjanaraN	○ 1 kaddo △ 2 kago	★ 1 ogiro ○ 2 ogiddo
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	* ʔaʃe:	◇ ʔae:sani	△ ʔikaNto: naraN	○ 1 katʃuN ☆ 2 kaka	○ ʔukijuN
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	◆ aro:ja	◆ aro aranu	◆ ŋganatʃa naranu	☆ kaka	☆ ugira
【凡例】			◎ アルジャナイカ類 ○ アルジャン類 ■ アルヤンカ類 ● アリャセンナー ☆ アルデナイデ類 $ アルネガ・アルナイケー類 □ 推量類（ヤロ・ベー） ◆ 推量・終止＋ガ類 ▼ アルガナ類 * その他	◎ アルンジャナイカ類 ● アラセンカ・アリャセンヤー ★ アルントチガウカ類 ☆ アルデナイデ類 △ アラヘンカ ◇ ッアエ―サニ ◆ アロ―アラヌ * その他	◆ イカナキャナンネー類 ◇ イカナクチャナンネ □ イガナンネー ■ イカンナン・イカンニャナン・イカンナラン ★ イカネバネ ▼ イカナアカン（イカン）・イカントアカン ▲ イカ（ン）ニャイケン △ イカナナラン・イカントナラン類 ▽ イガンニャスマン * その他 N 無回答・無効回答	○ カク（＋終助詞） ◎ カク＋カ（ナ） △ カコ（＋終助詞） ▽ カコ＋カ（ナ） ▲ カカス ▼ カクベ ☆ カカ ◆ 義務形式 ● カイトク・カイトコ	○ オキル（＋終助詞） ◎ オキル＋カ（ナ） △ オキヨ―（＋終助詞） ▽ オキヨ―＋カ（ナ） ★ オキロ（―） ♪ オキュー ▼ オキッペ・オキンベ ☆ ウギラ ◆ 義務形式 * その他
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-138 行くまい（意志）	JG-139 行きたいなあ	JG-140 行ってもらいたい	JG-094-b 歩くな（禁止）
1	08日高	秋田県 秋田市	○ ẹgane	○ ẹkĩte·na:	* 1 ẹgane·[ɴbegana: ☆ 2 ẹttekenegana:	○ arɯgɯna
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	○ igane	○ ikitena	■ ittemoraite	○ arɯgɯna
3	08小林	宮城県 仙台市	○ iŋanettʃa	○ iŋitena:	■ ittemoraitena:	○ arɯk̬ɯna
4	08竹田	山形県 米沢市	○ 1 iŋanẹ 2 iŋanẹ	○ iŋidai na:	■ itte moraidạ̣i	○ arɯgɯna
5	09小林	福島県 会津若松市	○ 1 iŋane 2 iŋane:dzo	○ ikit̬ɛna:	■ 1 ittemoraitaina: 2 ittemoraitɛna:	○ arɯttenna
6	09新井	栃木県 さくら市	■ igame	○ 1 igitaina: 2 igitena:	■ ittemoraidena:	○ arɯgɯna
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ ikanai ヨ	○ igite:na:	■ ittemoraite:	○ 1 arɯkɯna ◇ 2 arɯkɯɴdʒane:
8	08新井	埼玉県 上里町	○ iganai	○ igite:na:	■ ittemoraite:na:	○ arɯkɯna
9	09三井	東京都 品川区	○ ikanai	○ 1 ikitaina: 2×iketarana:	□ 1 ittemoraetarana: 2 ittemoraerɯkana:	@ * ○ 1 arɯitewaikenai , 2 arɯ kanaijo:ɲi , 3 arɯkɯna
10	08三井	東京都 立川市	○ ikane:	○ ik̬ite:na:	■ 1 ittemoraite: ○ 2 ittehoʃi:	○ arɯkɯna
11	09吉田	山梨県 早川町	○ 1 ikanɯjo 2 ikano:jo	○ ittemitai	* itteɯketaido:ŋa	★ arittʃo:
12	08沖	長野県 松本市	○ ikanai	○ ikitai	○ ittehoʃi:na:	○ 1 arɯkɯna ▲ 2 arɯkanande
13	08中井	富山県 富山市	○ ikaɴtʃa	○ 1 ikitaine: 2 ikitaina:	* 1 ikaɴkane: ■ 2 ittemoraitaijai:	■ arɯkareɴna
14	09大西	富山県 砺波市	○ ikã:wa	○ ittaina:	■ ittemoro:tai	○■◎☆ 1 arɯkɯna , 2 arɯkarentʃa , 3 arɯkaʃʃannama , 4 arɯ komaitʃa
15	09中井	石川県 小松市	● ikaɴtoko	○ ikitaina:	○ ittehoʃi:	○ arɯkɯna
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ ● 1 ikeheɴde: , 2 ikeheɴdo: , 3 ikaɴtoko:de:	○ ikitainæ[a	○ ittehoʃi:næ[a	◆ 1 arɯitaraakaɴdo: ○ 2 arɯkɯna
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ ikaɴ	○ ikitaina:	■ 1 ittemoraitai ○ 2 ittehoʃi:	○ 1 arɯkɯna ▼ 2 arɯkaɴtoke
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ ikaheɴ	○ ikitaina:	○ 1 ittehoʃi: ■ 2 ittemoraitai	◆ arɯitara akaɴ
19	08高木	大阪府 大阪市	○ 1 ikeheɴ ☆ 2 ikukaina:	○ ikitaina:	○ ittehoʃi:neɴkedona:	▼ arukaɴtokija:
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ ikaɴ	○ ikitai na:	■ ittemoraitai	◆ arɯitara akaɴ
21	08都染	兵庫県 姫路市	● ikantoko	○ ikitaina:	■ itemoraitai	○ arukuna
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ ikeheɴ	○ ikitaina:	■ 1 ittemoraitai ○ 2 ittehoʃina:	■ 1 arukareɴ ○ 2 arukuna
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ ikaɴde	○ ikitaina:	* itteita	○ arukuna
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ ikaɴdzo	○ ikitaina:	○ 1 ittehoʃi: ■ 2 itemoraitai	○ arukuna
25	08小西	広島県 三次市	○ ■ 1 ikaɴde , 2 ikuma: , 3 ikuma:te	○ 1 ikitaino: 2 ikitæ:no:	■ ittemoraitai	○ 1 arukuna 2 arukinaɴna
26	08舩木	山口県 光市	○ ikaɴ	○ ikitaino:	■ 1×ikitaino: 2 ittemoraitai	○ arɯkɯnaija
27	08杉村	福岡県 福岡市	■ 1 ikime: ▲ 2 ikamme:	○ ikitakane:	☆ ittekureŋkaina:	○ arukuna
28	08木部	鹿児島県 日置市	○ ikaɴ	▲ ikogottʃaʔ	▲ itaʔmoroogoʔaʔ	○ sareʔna
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ 1 igando ■ 2 iʔme	▲ igoŋodʒa:	▲ idamoro:ŋodʒa	○ ajunna
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	○ ʔikaɴ	☆ ʔitʃibusaɴja:	☆ ʔɴdʒikwire:ja:ɴdi ʔ umujuɴ	○ ʔakkuna
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	○ ŋganu	☆ 1 ŋgibahara 2 ŋgibohara	★ ŋgiço:rabara:	○ araguna
【凡例】			○ イカナイ・イガネー・イカン・イケヘン類 ■ イクメー・イクマー・イガメー・イキメー類 ▲ イカンメー ● イカントコ ☆ イクカイ	○ イキタイ・イキテー類 ▲ イコゴチャ類 ☆ イチブサン・ンギババハラ類	○ イッテホシー類 ■ イッテモライタイ類 □ イッテモラエルカ類 ▲ イタッモローゴチャ類 ☆ イッテクレンカイナー類 ★ ンギヒョーラバラー * その他	○ アルクナ類 ◎ アルカッシャンナマ ★ アリッチョー ■ アルカレン類 ▲ アルカナンデ ☆ アルコマイチャ ◆ アルイタラアカン ▼ アルカントケ・トキヤ ◇ アルクンジャネー @ アルイテワイケナイ * その他
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

Ⅳ 談話・待遇関係

番号	調査票	地点	JG-146（飲むのか）いや，飲まない	JG-147（飲むのか）うん，飲む	JG-148（飲まないのか）うん，飲まない	JG-149（飲まないのか）いや，飲む	JG-150（自分ガ）来る：A場面
1	08日高	秋田県 秋田市	○ eja nomane	○ ɯɴ nomɯ	○ ɯɴ nomane	○ eja nomɯ	# kimasï
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	★ 1 ɯ̃:ɯ̃ nomane 2 ɯ̃:ɯ̃ nomanai	○ ɯ̃n nomɯ	○ ɯ̃n nomane	○ 1 ija nomɯ ★ 2 ɯ̃:ɯ̃ nomɯ	※ kiansɯ
3	08小林	宮城県 仙台市	○ ija: nomanettʃa	○ 1 ɴ: nomɯttʃa 2 ɴ: nomɯjo	○ ɴ: nomane:jo	◆ a:: nomɯttʃa	* kɯkkarane:
4	08竹田	山形県 米沢市	○ ija: nomane	○ ɯm nomɯ	○ ɯm nomane	○ ija: nomɯ:	* 1 kɯrɯjoi ♪ 2 kɯrɯ joʃi
5	09小林	福島県 会津若松市	* 1 nomanekara 2 nomaneda	○ 1 ɴ nomakkara: 2 ɴ nomɯkara:	○ 1×nomanedene:beka 2 ɴ nomanejo:	○ ija nomɯjo:	* 1 kɯrɯkendo i:kajo: , 2 kɯkkara: , 3× kitei:kajo:
6	09新井	栃木県 さくら市	○ ija nomane	○ ɯɴ nomɯɴ dadeja	○ ɯɴ nomanejo	○ ija nomɯjo	* kɯkkaɴne
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ ja: nomane: ∃	◆ a: nomɯ ∃	◆ a: nomane: ∃	◆ a: nomɯ ∃	# kimasɯ ∃
8	08新井	埼玉県 上里町	○ ja:Q nomane:	○ ɯɴ nomujo	○ ɯ:ɴ nomane:jo	○ ja: nomujo	# kimasɯ
9	09三井	東京都 品川区	* 1 so:kana: karewa nomanaindʒanainoka（2・3 略）	* so:deʃo:ne nomɯdeʃo:	* so:dane: tabɯn nomanaindaro:ne:	■ n: nomɯndʒanaikana:	& 1 ɯkaŋaimasɯ # 2 kimasɯ
10	08三井	東京都 立川市	○ 1 ija nomane:jo 2 ja: nomane:jo	○ ɴ: nomɯjo	○ ɴ: nomane:jo	○ 1 ija nomɯjo 2 ja: nomujo	# kimasɯjo
11	09吉田	山梨県 早川町	* so:ʒanaijo nomade:de	○ o: nomɯjo	○ o: nomadejo	○ iɴnja: nomarerɯ io	* kɯrɯni
12	08沖	長野県 松本市	○ ija nomanai	○ ɯɴ nomɯjo	○ 1 ɯɴ nomanaiwa 2 ɯɴ nomenaine:	○ ija nomɯndʒanai	& ɯkaŋaimasɯ
13	08中井	富山県 富山市	△ 1 na:ɴ nomaɴna 2 na:ɴ nomareɴna	▽ e: nomarerɯ	△ na:ɴ nomaɴna	▽ 1 e: nomarerɯ , 2 ija: nomarettʃa , 3 na:ɴ nomɯtʃa	* kɯttʃa
14	09大西	富山県 砺波市	△ na:n nomaɴ	○ ɯn non[dzo	△ 1 na:n nomaʃʃaraŋ 2 na:n nomaŋ	○ ija nomɯto	* kɯttʃa
15	09中井	石川県 小松市	* 1 nomaɴ 2 iraɴ	* nomɯ	* nomaɴjo	* nomɯzo	* kɯrɯzo
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ [ija: nomeheɴdo:	○ ɯɴ arja nomɯde	* nomeheɴdo	○ ija: nomeheɴdo	* 1 kɯrɯdae: 2 kɯrɯdo:
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ 1 ija nomijoraɴ 2 ija nomaheɴ	○ ɯɴ nomijorɯ	○ ɯɴ nomijoraɴ	○ ija nomijorɯ	* 1 kɯrɯ & 2 josetemoraɯ
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ ija nomaharaheɴ	* sojana nomaharɯ	* so:ja nomaharaheɴ	○ ija nomaharɯ e	&# 1 josetemoraimasɯ , 2 kimasɯ , 3 mairimasɯ ♭
19	08高木	大阪府 大阪市	♪ nomeheɴ nomeheɴ	♪ nomijoru nomijoru	♪ nomeheɴ nomeheɴ	* jo: nomu jattʃa:	# kimasse:
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ ija nomeheɴ	○ ɯɴ nomɯ	○ ɯɴ nomeheɴ	○ ija nomɯ	* kɯrɯ
21	08都染	兵庫県 姫路市	○ ija nomaheɴ	□ ha: nomu	○ uɯ̃ nomaheɴ	○ ija nomɯ	# kimasu
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ ija nomeheɴ	○ uɴ nomu	○ uɴ nomeheɴ	○ ija nomujo	# kimasu
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ ija nomaɴ	* 1 hora nomude 2 sora nomude	* nomaɴ	○ ija nomu	* kurude
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ ija nomaɴdʒa	○ 1 uɴ nomujo , 2 o: nomudzo , 3 o: noma:	○ 1 uɴ nomaɴdzo 2 o: nomaɴdzo	○ ija nomudzo	# kimasu
25	08小西	広島県 三次市	○ 1 i:ja nomaɴ , 2 ija nomaɴ , 3 iɴja nomaɴ , 4 inja nomaɴ	○ uɴ nomu	○ uɴ nomiɴsaraɴ	○ 1 ija nomu 2 i:ja nomu	# kimasu
26	08舩木	山口県 光市	○ ija nomaɴdo	○ o: nomɯdo	○ o: nomeɴno:	○ i[nja nomerɯdo	# kimasɯ
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ 1 ija: nomambai □ 2 ʔuŋŋa nomambai	○ ʔuɴ nomu	○ 1 ʔuɴ nomangotaruna: 2 ʔuɴ nomambai	○ 1 ija: nomugotaru , 2 ija: nomubai , 3 ʔuŋŋa □	# kimasujana:
28	08木部	鹿児島県 日置市	□ 1 nnja nommohaɴ 2 nnja nomaɴ	□ 1 hai noɴmoɴ do: ○ 2 n: noɴ do:	□ 1 hai noɴmohaɴ ○ 2 n: nomaɴ	□ 1 nnja noɴ 2 nnja noɴ	* 1 kɯdde 2 kɯʔ
29	08大西	鹿児島県 南九州市	□ n:nja nomando	○ n: nondo	○ n: nomando	□ n:nja nondo	* kuddo
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	# ʔi:ʔi: numaɴ	# ʔi: numuɴdo:	# ʔi: numaɴdo:	# ʔi:ʔi: numuɴdo:	◎ tʃa:bi:ɴdo:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	◎ ai numanu	○ uɴ numuɴ	○ uɴ numanu	◎ ai numuɴ	@ kuɴju:
【凡例】			○ イヤ＋ノマナイ類 △ ナーン＋ノマン □ ウンニャ＋ノマナイ類 ★ ウンウン＋ノマナイ類 # ツイーツイー＋ヌマン ◎ アイ＋ヌマヌ * 応答詞なし ♪ 応答詞なし・繰り返し	○ ウン（ンー・オー）＋ノム類 ◆ アー＋ノム ▽ エー＋ノム □ ハー（ハイ）＋ノム類 # ツイー＋ヌムン * 応答詞なし ♪ 応答詞なし・繰り返し	○ ウン（ンー・オー）＋ノマナイ類 ◆ アー＋ノマネー △ ナーン＋ノマン □ ハー（ハイ）＋ノマン類 # ツイー＋ヌマン * 応答詞なし ♪ 応答詞なし・繰り返し	○ イヤ＋ノム類 ◆ アー＋ノム類 ▽ エー＋ノマレル △ ナーン＋ノム □ ウンニャ＋ノム類 ★ ウンウン＋ノム類 ■ ンー＋ノムンジャナイカ # ツイーツイー＋ヌムン ◎ アイ＋ヌムン * 応答詞なし	* クル（＋終助詞など） # キマス ♪ クルヨシ ※ キアンス ◎ チャービーン @ クンユー ♭ 謙譲語＋マス & その他（ヨセテモラウなど）
記号化担当			船木礼子	船木礼子	船木礼子	船木礼子	船木礼子

番号	調査票	地点	JG-151 （自分が）来る：B場面	JG-152 （聞き手が）書くか：O場面	JG-153 （聞き手が）書くか：A場面	JG-154 （聞き手が）書くか：B場面	JG-155 （聞き手が）書くか：父親に
1	08日高	秋田県 秋田市	# kïmasï	* kagɯga:	♪ kagɯsïga:	♪ kagɯsïga:	* kagɯ:
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	※ kiansɯ	* kagɯ ᴇɴ	※ kagianse ᴇɴ	※ 1 okakjansɯka 2 okagjansɯka	※ okagensɯka
3	08小林	宮城県 仙台市	& 1 ɯkaŋaitaito omoimasɯ 2 odʒamaʃitaito omoimasɯ	* kaŋɯno:	* kaŋɯno:	♭ okakininarimasɯka	* kaŋɯno:
4	08竹田	山形県 米沢市	♪ 1 kɯrɯ joʃi ♭ 2 sandʒo:sɯrɯjoʃi	* 1 kagɯna § 2 kaginanna	§ 1 kaginannajoi 2 kaginannajoʃi	§ 1 kaginanna joi 2 okagininanna joi	* 1 kagɯna § 2 kaginanna joi
5	09小林	福島県 会津若松市	N × matakitemo i:kajo:	* kakɯno·	□ kakanno	□ kakanno	* 1 kaitenno: 2 kakɯno
6	09新井	栃木県 さくら市	# kimasɯkarane	* kakɯᴎdai	* kakɯᴎdai	# kakimasɯka	* kakɯᴎdai
7	08高橋	群馬県 前橋市	# kimasɯ ヨ	* kakɯ	* kakɯ	# kakimasɯka	* kakɯ
8	08新井	埼玉県 上里町	♭ 1 odʒamaʃimasɯ 2 mairimasɯ	☆ kakɯ̧kaja	# kakimasɯ̧ka	♭ okakini narimasɯ ka	* kakɯ̧kai
9	09三井	東京都 品川区	♭ ɯkaŋaimasɯ （前置き表現省略）	# kakimasɯka	♭ okakiɲinarimasɯka	♭ okakiɲinaṁasɯka （前置き表現省略）	# kakimasɯ̧ka
10	08三井	東京都 立川市	♭ mairimasɯ	* kakɯ	# kakimasɯ̧ka	♭ okakiɲinarimasɯ̧ka	* kakɯno
11	09吉田	山梨県 早川町	* kɯɾɯjo	* kakɯ:	* kaite:ɾɯ	* kakɯ:	* kaiterɯ:
12	08沖	長野県 松本市	♭ ɯkaŋaimasɯ	* kakɯ:	# kakimasɯka	■ 1 kakaremasɯka ♭ 2 okakinnaṁasɯka	* kakɯno
13	08中井	富山県 富山市	# kimasɯ	* kakɯ:	■ kakarerɯ:	■ kakarerɯ	* kakɯ:
14	09大西	富山県 砺波市	# kimasɯ	* kakɯ:	* kakɯ	■ kakaremasɯka	* kakɯ:
15	09中井	石川県 小松市	# 1 kimasɯ 2× kitemoiidesɯka	* 1 kakɯka ☆ 2 kakɯŋakaja	ɾ 1 kakɯmaʃʃarɯ # 2 kakimasɯka	◇ kakinasarɯka	* kakɯŋaka
16	09舩木	京都府 与謝野町	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)
17	08松丸	滋賀県 高島市	& josetemoraɯ	* kakɯka	◆ 1 kakaharimasɯka 2 kakaharɯ	◆ kakaharimasɯka	* 1 kakɯka 2 kakɯ
18	09渋谷 A	京都府 京都市	& 1 joseteitadakimasɯ ♭ 2 mairimasɯ	* 1 kakɯno e , 2 kakaharimasɯka , 3 kakaharɯno e ◆	■ 1 kakaremasɯka ◆ 2 kakaharimasɯka	♭ 1 okakininarimasɯka 2 okakininararemasɯka	◆ kakaharimasɯka
19	08高木	大阪府 大阪市	# 1 kimasu 2 kimasse	* kakuka	# 1 kakimakka ♭ 2 okakidekka	# kakimakka	# 1 kakimaᴎᴎᴇᴎ 2 kakimaᴎᴎoᴎdekka:
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	# kimasɯ	* kakɯ	# kakɯᴎdesɯka	♭ 1 okakininarimasɯ ■ 2 kakarerɯᴎdesɯka	* kakɯᴎjo
21	08都染	兵庫県 姫路市	& kosaʃitemoraimasu	☆ kakuɯ̃ja	● kaitedekka	● kaitedesuka	* kakuᴎoᴎ
22	08岸江	徳島県 徳島市	# kimasu	≒ kakuᴎe	# kakimasuka	■ kakaremasuka	≒ kakuᴎe
23	09岸江	香川県 東かがわ市	♭ mairimasu	* 1 kakuᴎde ≒ 2 kakuᴎᴎa	≒ kakuᴎᴎa	◇ kakinasaᴎᴎa	≒ kakuᴎᴎa
24	09小西	岡山県 笠岡市	# kimasu	* 1 kakukana: ★ 2 kakja:i:	# kakimasuka	■ kakaremasuka	* (dasukano:)
25	08小西	広島県 三次市	# kimasu	* 1 kaku: △ 2 kakja:	◇ 1 kakiᴎsarja: 2 kakiᴎsaru:	■ kakaremasuka	* 1 kaku: , 2 kaiteno , 3 kaiteᴎᴎo
26	08舩木	山口県 光市	# kimasɯ̧	* kakɯᴎᴎka	● kaiteᴎkane:	● kaiteᴎdesɯ̧ka	* kakɯᴎᴎkaino:
27	08杉村	福岡県 福岡市	# 1 kimasujana: ♭ 2 mairimasu	* 1 (dasu) ☆ 2 (dasuja)	■ (dasaremasuna)	■ (dasaremasuna)	■ (dasaremasuna)
28	08木部	鹿児島県 日置市	★ kimoᴎdena:	☆ ka? ja:	★ kakkjai na:	★ kakkjai na:	☆ 1 ka? ja: ★ 2 kakkjai na:
29	08大西	鹿児島県 南九州市	* 1 kuddʒena: ★ 2 kimoddʒena:	* kakka	★ kakkana:	★ 1 kakkjaina: 2 kakkjaikana:	★ 1 kakkana: * 2 kakka
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	◎ jusirijabi:sa	* katʃuga	◎ 1 katʃimiʃe:bi:ga @ 2 ?ukatʃimiʃe:ga	◎ 1 ?ukatʃimiʃe:bi:ga 2 ?ukatʃi nato:miʃe:bi:ga	◎ katʃimiʃe:bi:ga
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	@ kuᴎju:	△ 1 kąkiba ▽ 2 kąkero	▲ kąko:riba	▼ kąkio:ro:	▼ kąko:ro:
【凡例】			* クル＋終助詞 ♪ クルヨシ # キマス ※ キアンス @ クンユ― ★ キモンデナー類 ♭ 謙譲語＋マス ◎ ユシリヤビーサ & その他（ヨセテモラウ、ウカガイタイトオモウなど） N 無回答・無効回答	* カク・カクカ・カクノ類 # カキマスカ類 ☆ カクヤ・カクカヤ ★ カキャーイー § カキナンナ ≒ カクネ・カクンナ ◆ カカハリマスカ類 △ カキャー、カキバ類 ▽ カケロ	* カク・カクカ・カクノ類 ≒ カクンナ ♪ カグシガー # カキマスカ類 ◆ カカハリマスカ・カカハル ■ カカレマスカ・カカレル □ カカンノ ● カイテデッカ・カイテンカネー ◇ カキンサル・カキンサリャー ɾ カクマッシャル ※ カギアンセエン § カギナンナヨイ・シ ★ カッキャイナー・カッカナー ◎ カチミシェ―ビ―ガ @ ツウカチミシェ―ガ ▲ カコ―リバ ♭ オカキニナリマスカ類	* カクー・カカンノ ♪ カグシガー # カキマスカ類 ◆ カカハリマスカ・カカハル ■ カカレマスカ □ カカンノ ● カイテデスカ・カイテンデスカ ◇ カキナサルカ・カキンサンナ ※ オカギアンスカ § カギナンナヨイ類 ★ カッキャイ(カ)ナー ◎ ツウカチミシェ―ビ―ガ ▼ カキオ―ロ― ♭ オカキニナリマスカ類	* カクー・カクカ・カクノ類 # カキマスカ類 ≒ カクネ・カクンナ ☆ カクヤ・カッヤー ◆ カカハリマスカ・カカハル ■ カカレマスカ ● カイテデスカ・カイテノ ※ オカゲンスカ § カギナンナヨイ ★ カッキャイナー・カッカナー ◎ カチミシェ―ビ―ガ ▼ カコ―ロ―
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-156 (聞き手が)書くか： 配偶者に	JG-157 (聞き手が)書くか： 本家・分家の主人に	JG-158 (聞き手が)行くか： A場面	JG-159 (聞き手が)行くか： B場面	JG-160 (聞き手が)来るか： A場面
1	08日高	秋田県 秋田市	* kagɯ:	* kagɯ:	♪ ẹgɯsïga:	♪ ẹgɯsïga:	* kɯrɯga:
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	♪ kagɯsɯ	※ kagiansɯ	※ odeɴsɯ̥ eɴ	※ odeɴsɯ̥ ka	※ odeɴsɯ̥ eɴ
3	08小林	宮城県 仙台市	* kaŋɯno:	♭ okakininarimasɯka	* ■ ♪ 1 iŋɯno , 2 iŋarennosɯka , 3 iŋɯnosɯka	& iraʃʃaimasɯka ■ ikaremasɯka	♪ 1 kɯrɯsɯka ■ 2 korarerɯsɯka
4	08竹田	山形県 米沢市	* 1 kagɯnnajo § 2 kaginanna	§ 1 kaginanna 2 kaginanna joi	§ iŋinanna	※ 1 oidanna joi̥ 2 oidanna joʃi̥	* 1 kɯnnaga 2 kɯnnajoi̥
5	09小林	福島県 会津若松市	* kakɯno	* kakɯno	□ 1 iŋanno * 2 iŋɯno	□ iŋandaʃi	* kɯnnokajo:
6	09新井	栃木県 さくら市	* kakɯɴda	* 1 kakɯɴdai 2 kakɯɴda	* igɯɴdai	# ikɯɴdesɯka	* kɯkke
7	08高橋	群馬県 前橋市	* kakɯ	* kakɯ	* ikɯ ɴkai	# ikimasɯka	* kɯrɯ
8	08新井	埼玉県 上里町	☆ kakɯ̥kaja	* kakɯ̥kai	# igimasɯ̥ka	■ ikaremaʃɯka	# kimasɯ̥ka
9	09三井	東京都 品川区	# kakimasɯ̥ka	# kakimasɯ̥ka	■ ikarerɯnodesɯ̥ka	& odekakedesɯ̥ka	■ koraremasɯ̥ka
10	08三井	東京都 立川市	* kakɯno	N NR	# 〒 ◇ 1 ikimasɯ̥ka , 2 ikaʃʃarɯndai , 3 ikinasarɯndesuka	◇ ikinasaimasɯ̥ka	■ 1 korarerɯka ◇ 2 kinasaimasɯ̥ka
11	09吉田	山梨県 早川町	* kaiterɯ:	* kaite:rɯ	* ikɯ:	* bɯɴdasɯ:	* kɯrɯkajo
12	08沖	長野県 松本市	* kakɯno	■ 1 kakaremasɯka 2 dasaremasɯka	& iraʃʃaimasɯka	& iraʃʃaimasɯka	& iraʃʃaimasɯka
13	08中井	富山県 富山市	■ kakarerɯ:	■ kakarerɯ	■ ikarerɯ:	■ ikaremasɯ:	■ korarerɯ:
14	09大西	富山県 砺波市	* kakɯ:	■ kakaremasɯ:	* ikɯŋa:	■ ikaremasɯ:	& oiderɯ:
15	09中井	石川県 小松市	* kakɯŋaka	* 〆 1 kakɯno , 2 kakimaʃʃarɯ , 3 kakɯŋaka	* 1 ikɯɴja 2 ikɯŋaka	◇ ikinasarɯ	* kɯrɯɴka
16	09舩木	京都府 与謝野町	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)
17	08松丸	滋賀県 高島市	* 1 kakɯka 2 kakɯ	◆ kaka:rimasɯka	* 1 ikɯno ◆ 2 ikaharɯ	◆ ikaharimasɯka	# 1 kimasɯka * 2 kɯrɯka
18	09渋谷 A	京都府 京都市	◆ kakahanne	N NR	& okoʃijasɯno e	& okoʃijasɯno e	◆ kiharɯka
19	08高木	大阪府 大阪市	* kakunoɴ	♭ 1 okakiɴnarimakka 2 okakiɴnarimaɴno:ɴ	■ 1 ikaremaɴnoɴ ◆ 2 ikiharimaɴno:	■ ◆ 1 ikaremaɴnoɴ , 2 ikaremaɴnoɴka , 3 ikiharimaɴno:	■ 1 koraremakka ◆ 2 kiharimasuka
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	* kakɯ	N NR	* (dekakerɯɴ)	■ ikaremasɯka	■ koraremasɯ
21	08都染	兵庫県 姫路市	* kakundoi	* kakundoi	● itenoɴ	● itendesu	● kiteka
22	08岸江	徳島県 徳島市	* kakuɴ	■ 1 kakaremasuka 2 kakaremasuka	* ikuɴ	■ ikaremasuka	# kimasuka
23	09岸江	香川県 東かがわ市	* kakuɴzo	◇ kakinasaɴna	& oideruɴna	◇ ikinasaɴnoka	& oideruɴna
24	09小西	岡山県 笠岡市	★ kakja:i:	# kakimasuka	# ikimasuka	# ikimasuka	# kimasuka
25	08小西	広島県 三次市	* 1 kakuɴno ◇ 2 kakiɴsarja:	* 1 kakuɴno , 2 kakiɴsar ◇ ja: , 3 kakuɴno	* ◇ 1 ikuɴno , 2 ikiɴsarja: , ● 3 itteɴno	■ ikaremasuka	● 1 kitedesuka ◇ 2 kiɴsaruka
26	08舩木	山口県 光市	* kakɯɴka	* kakɯɴkaino:	● itteɴdesɯ̥ka	■ ikarerɯɴdesɯ̥ka	● kiteɴdesɯ̥ka
27	08杉村	福岡県 福岡市	☆ kakuja	〒 1 (dasaʃʃa:desu) 2 (dasaʃʃa:na)	⇒ 1 ikigoza:todesura 2 ikigozarutodesura	■ ikijoraremasutodesuna	〒 koraʃʃaru
28	08木部	鹿児島県 日置市	☆ 1 kaʔ ja: ★ 2 kakkjai na:	N NR	★ ikkjai na:	★ ikkjai na:	★ kijai na:
29	08大西	鹿児島県 南九州市	* kakka	★ 1 kakkana: * 2 kakka	★ ikkana:	★ 1 ikkjattokoina: , 2 ikkjaikana: , 3 ikkjaimoçika , 4 ikkjaimoçikana:	★ kuikana:
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	* 1 katʃuga 2 katʃo:ga	N NR	@ meɴʃe:ri:	@ ʔimeɴʃe:ri:	@ meɴʃe:mi
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	▽ 1 kḁkero △ 2 kḁkiba	▼ kḁko:ro:	▼ 1 o:ro: ▲ 2 o:riba	▲ o:riba	▼ o:ro:
【凡例】			* カク・カクカ・カクノ類 # カキマスカ類 ♪ カグス ☆ カクカヤ・カクヤ類 ◆ カカハンネ ■ カカレルー ◇ カキンサリャー § カギナンナ ★ カッキャイナー・カキャーイー ▼ カチョーガ ▽ カケロ △ カキバ	* カク・カクカ・カクノ類 ★ カッカナー # カキマスカ類 ◆ カカーリマスカ ■ カカレマス(カ)・カカレル ◇ カキナサンナ・カキンサリャー 〒 カカッシャル類 〆 カキマッシャル ※ カギアンス § カギナンナ(ヨイ) ▼ カコーロー ♭ オカキニナリマスカ類 N 無回答・無効回答	* イク・イクカ・イクノ類 ♪ エグシガー # イキマスカ類 ⇒ イキゴザートデスラ類 ◆ イキハリマンノ・イカハル ■ イカレマスカ・イカレル □ イガンノ ● イテノン・イッテンデスカ類 ◇ イキナサル類 〒 イカッシャルンダイ § イギナンナ ★ イッキャイナー・イッカナー @ メンシェーリー ▼ オーロー ▲ オーリバ ※ オデンスエン & その他尊敬語	* ブンダスー ♪ エグシガー # イキマスカ・イクンデスカ類 ◆ イキ(カ)ハリマンノ類 ■ イカレマスカ類 ● イテンデス ◇ イキナサル類 □ イガンダシ ※ オデンスカ・オイダンナヨイ・オイダンナヨシ ★ イッキャイ類 @ ツイメンシェーリー ▲ オーリバ & その他尊敬語	* クル・クルカ・クルノ類 ♪ クルスカ # キマスカ類 ◆ キハリマンノ・キハル ■ コラレマスカ・コラレル ● キテカ・キテンデスカ類 ◇ キナサル類 〒 コラッシャル ★ キヤイナー・クイカナー @ メンシェーミ ▼ オーロー ※ オデンスエン & その他尊敬語
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-161 (聞き手が)来るか： B場面	JG-162-b (聞き手が)いるか： O場面	JG-163 (聞き手が)いるか： A場面	JG-164 (聞き手が)いるか： B場面	JG-165 (聞き手が)いるか： 父親に
1	08日高	秋田県 秋田市	# kïmas̥ika	* ẹrɯga:	# ẹmas̥ika	# orimas̥ika	* ẹrɯga
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	※ odeɴsɯ̥ ka	♪ irɯsɯ̥ka	$ oderɯ inga	※ odeɴsɯ̥ ka	♪ irɯsɯ̥ka
3	08小林	宮城県 仙台市	& oideninarïmasɯka	* irɯ:	# orimasɯka	& 1 iraʃʃaimasɯka 2 oideninarimasɯka	* irɯno:
4	08竹田	山形県 米沢市	※ 1 oidanna gai̥ 2 oidanna kkaʃʃi̥	* 1 irɯ: , 2 ikkai̥ , 3 idakka	* 1 innaga 2 idakkai̥	※ 1 oidannagai , 2 oidennakkaʃʃi , 3 oideninakkai̥	* idakka
5	09小林	福島県 会津若松市	□ 1 kirannokajo * 2 kɯnnokajo	* ikkajo:	□ irakkajo:	□ irakkajo:ʃi	* ikkajo:
6	09新井	栃木県 さくら市	# kimasɯka	* ikke	* ikke	# imasɯka	* ikke
7	08高橋	群馬県 前橋市	# kimasɯka	* 1 irɯ 2 irɯkai	# imasɯka	# imasɯka	* irɯkai
8	08新井	埼玉県 上里町	£ oideitadakemasɯ̥ka	* irɯkai	# imasɯ̥ka	& iraʃʃaimasɯ̥ka	* irɯkai
9	09三井	東京都 品川区	■ & 1 korarernasɯka , 2 iraʃʃaimasɯ̥ka , 3 omieɲinarimasɯ̥ka	# imasɯ̥ka	& godʒaitakɯdeʃo:ka	& 1 iraʃʃaimasɯ̥ka 2 godʒaitakɯdeʃo:ka (前置き表現省略)	# imasɯdeʃo:ka
10	08三井	東京都 立川市	& £ 1 iraʃʃaimasɯ̥ka , 2 kitekɯdasaimasɯ̥ka , 3 kiteitadakemasɯ̥ka	* 1 ibe:ka , 2 irɯka , 3 irɯkajo:	■ 1 iraremasɯ̥ka 2 oraremasɯ̥ka	& iraʃʃaimasɯ̥ka	* 1 innokajo , 2 irɯ˙ , 3× jo:ŋaarɯkajo
11	09吉田	山梨県 早川町	* kɯrɯkajo	* irɯkajo:	* irɯkajo:	* irɯkajo	* irɯka:
12	08沖	長野県 松本市	& omieninarimasɯka	* irɯ	& iraʃʃaimasɯka	& iraʃʃaimasɯka	* irɯ
13	08中井	富山県 富山市	$ oiderɯ:	* orɯ:	■ orarerɯ:	$ oiderɯ:	* oɴŋa:
14	09大西	富山県 砺波市	$ oidemasɯka	$ oiderɯ:	$ oiderɯ:	$ oidemasɯka	* orɯ:
15	09中井	石川県 小松市	〒 kimaʃʃarɯka	* orɯka	$ oiderɯka	〒 oraʃʃarɯka	* 1 orɯka ● 2 otteka
16	09舩木	京都府 与謝野町	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)
17	08松丸	滋賀県 高島市	◆ 1 kiharimasɯka 2 kjarimasɯka	* 1 irɯka 2 orɯka	* 1 irɯka ◆ 2 ijaharɯka	◆ ijaharɯka	* irɯka
18	09渋谷 A	京都府 京都市	& okoʃininarimasɯka	◆ iharɯka	■ oraremasɯka	& oideninarimasɯka	◆ iharɯka
19	08高木	大阪府 大阪市	■ koraremasuka	* 1 itaheɴka , 2 ◆ itemakka , 3 itehar	■ oraremasuka	■ oraremasuka	◆ itaharu
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	■ 1 koraremasɯka 2 korarerɯɴdesɯka	* iteɴno	* 1 iteɴno # 2 iterɯɴdesɯka	■ 1 orarerɯɴdesɯka 2 orarerɯ	* 1 iterɯka 2 iteɴno
21	08都染	兵庫県 姫路市	● kitedesuka	* oruka	● otteka	● ottedesuka	* oruka
22	08岸江	徳島県 徳島市	■ koraremasuka	≒ oruɴe	$ oidemasuka	$ oidemasuka	* oruɴ
23	09岸江	香川県 東かがわ市	$ oideruɴna	* oruɴka	$ oideruɴna	$ oideruɴna	≒ oruɴna
24	09小西	岡山県 笠岡市	£ kiteitadakemasuka	* orukai	* 1 oruka: # 2 orimasuka	■ orarerukana:	* 1 oruka: 2 oreruka:
25	08小西	広島県 三次市	■ 1 koraremasuka ◇ 2 kinasaruka	* oru:	* ● 1 oru: , 2 otte , 3 ottedesuka ◇ , 4 oriɴsaru:	■ oraremasuka	* 1 oruɴno 2 oruɴ
26	08舩木	山口県 光市	& iraʃʃarɯɴdesɯ̥ka	* orɯɴka	● ottedesɯ̥ka	& iraʃʃarɯɴdesɯ̥ka	* orɯkaino:
27	08杉村	福岡県 福岡市	& 1 oideninarimasuʒaro:ka ■ 2 koraremasuʒaro:ka	☆ oruje	■ oraremasuna	■ oraremaʃʃo:ka	■ 1 oraremasuna 2 oraremaʃʃo:ka
28	08木部	鹿児島県 日置市	★ kijai na:	☆ oi ja:	★ oijai na:	★ oijai na:	☆ 1 oi ja: ★ 2 oijai na:
29	08大西	鹿児島県 南九州市	★ 1 kijaina , 2 kijaikana: , 3 kijaimoçika , 4 kijaimoçikana:	* oika	* oikana:	★ 1 oijaimoçika , 2 oijaimoçikana: , 3 oijaikana:	* oika
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	◎ meɴʃe:bi:mi	* 'umi	@ meɴʃe:mi	@ 1 meɴʃe:mi ◎ 2 meɴʃe:bigaja:	@ meɴʃe:mi
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	▽ 1 o:ruɴ ▼ 2 o:ro:ruɴ	* buruɴ	▽ o:ruɴ	▼ o:ro:ruɴ	▽ o:ruɴ
【凡例】			* クル・クルカ・クルノ類 # キマスカ類 ◆ キハリマスカ類 ■ コラレマスカ・コラレル類 □ キランノカヨ ● キテデスカ類 ◇ キナサル類 〒 キマッシャル ★ キヤイナー類 ◎ メンシェービーミ ▼ オーロールン ▽ オールン & その他尊敬語 ※ オデンスカ・オイダンナガイ $ オイデル類 £ 謙譲語	* イル・オル・イルカ・オルカ類 ♪ イルスカ # イマスカ類 ◆ イテハリマッカ・イハルカ ≒ オルネ ☆ オルイェ・オイヤー $ オイデル類	* イル・オル・イルカ・オルカ類 # イマスカ・オリマス類 ◆ イヤハルカ ■ オラレマスカ類 □ イラッカヨー ● オッテ・オッテデスカ類 ◇ オリンサル ★ オイヤイナー @ メンシェーミ ▽ オールン & その他尊敬語 $ オイデル類	* イルカヨ # イマスカ・オリマス類 ♪ 〜シ・〜ス類 ◆ イヤハルカ ■ オラレマスカ類 □ イラッカヨーシ ● オッテデスカ 〒 オラッシャルカ ★ オイヤイナー類 @ メンシェーミ ◎ メンシェービガヤー ▼ オーロールン & その他尊敬語 ※ オデンスカ・オイダンナガイ $ オイデル類	* イル・オル・イルカ・オルカ類 # イマスカ・オリマス類 ♪ イルスカ ◆ イハルカ・イタハル ■ オラレマスカ類 ● オッテカ ≒ オルンナ ☆ オイヤー ★ オイヤイナー @ メンシェーミ ▽ オールン & その他尊敬語 $ オイデル類
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-166 来い：A場面	JG-167 来い：B場面	JG-168-b 先生が来る：O場	JG-169 先生が来る：A場面	JG-170 先生が来る：父親
1	08日高	秋田県 秋田市	□ kitekɯremaʂika	□ kitekɯremaʂika	＊ kɯrɯ	■ koraremaʂi	＊ kɯrɯ
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	□ kite okɯrense	$ odettekɯnaɴse	$ oderɯ	$ odeɴsɯ	$ oderɯ
3	08小林	宮城県 仙台市	□ kitekesaiɴ	& 1 iraʃitekɯdasai $ 2 oidekɯdasai	＊ kɯrɯndadzo·	■ korareɾɯndato	＊ kɯrɯndato
4	08竹田	山形県 米沢市	□ kʲite kɯdaʲi	$ oidette kɯdaʲi	$ 1 oidarɯ 2 idarɯ	$ 1 oidarɯ 2 idarɯ	$ 1 oidarɯ 2 idarɯ
5	09小林	福島県 会津若松市	‡ kiranʃo	‡ kiranʃo	□ 1 kirakkara ＊ 2 kɯrɯjo	□ 1 kirakkara ＊ 2 kɯrɯjo	＊ kɯrɯjo:
6	09新井	栃木県 さくら市	□ kitokoreja	NR	＊ kɯkkara	＊ 1 kɯɴdato 2 kɯrɯ	＊ 1 kɯɴdato 2 kɯrɯttʃittade
7	08高橋	群馬県 前橋市	$ oidejo	＊ konaikai	＊ kɯrɯ ∃	¶ mierɯ	＊ kɯrɯ ∃
8	08新井	埼玉県 上里町	□ kitekɯrerɯ	# kʲitekɯdasai	& oideɴnarɯ	& oideɴnarɯ	＊ kɯrɯjo
9	09三井	東京都 品川区	# kʲitekɯdasai	& 1 iraʃʃattekɯdasai , 2 iraʃʃ atteitadakemasɯʲka , 3 iraʃʃ atteitadakemasendeʃo:ka	■ 1 koraremasɯnode , 2 iraʃʃ aimasɯnode , 3 omieɲinar & imasɯnode	¶ 1 miemasɯ & 2 iraʃʃaimasɯ	¶ 1 miemasɯ , 2 korar ■ emasɯ , 3 kimasɯ #
10	08三井	東京都 立川市	# & 1 kʲitekɯdasai , 2 kʲisar ＊ imaseɲka , 3 koijo:	£ 1 kʲiteitadakenaideʃo:ka ■ 2 koraremasɯʲka	＊ 1 kɯrɯ ■ 2 korareɾɯ	＊ 1 kɯrɯ ■ 2 korareɾɯ	＊ 1 kɯra: 2 kɯrɯjo
11	09吉田	山梨県 早川町	※ kodejo:	※ kodejo:	＊ kɯrɯdo:ɲa	＊ kɯrɯdo:de	＊ kɯrɯdo:de
12	08沖	長野県 松本市	& iraʃitekɯdasai	£ iraʃiteitadakemaseɲka	¶ 1 mierɯ 2 mierɯjo	¶ omiennarɯ	¶ mierɯjo
13	08中井	富山県 富山市	■ korare	# kitekɯdasai	■ korareɾɯ	■ korareɾɯ	■ korareɾɯ
14	09大西	富山県 砺波市	$ 1 oideoide ■ 2 korare	$ 1 oidemase ■ 2 koraremase	$ oiderɯ	$ oiderɯ	$ oiderɯ
15	09中井	石川県 小松市	$ 〒 1 oide , 2 goze , 3× kinasar ⇒ ɯka , 4 kimaʃʃi	& 1 iraʃʃarɯʲka 2 iraʃʃai	＊ 1 kɯrɯ ¶ 2 mierɯ	〒 kimaʃʃarɯ	¶ mierɯ
16	09舩木	京都府 与謝野町	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)
17	08松丸	滋賀県 高島市	# kitekɯdasai	# kitekɯdasai	◆ kijaharɯ	★ kja:rɯ	★ kja:rɯ
18	09渋谷 A	京都府 京都市	□ kitokɯrejasɯ	£ okoʃinegaemasɯka	◆ kiharɯ	◆ kiharɯ	◆ kiharɯ
19	08高木	大阪府 大阪市	◆ kitokuɴnahare	◆ 1 kitokuɴnahare # 2 kitekudasai	＊ kuru	■ koraremasu	◆ 1 kihaɴde ■ 2 korareru
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	& kitera do:	£ kiteitadakemasɯka	＊ kɯrɯ	■ korareɾɯ	& kitekɯrerɯ
21	08都染	兵庫県 姫路市	◆ kina:re	● 1 kitedesuka 2 kitattaradonaidesuka	● kiteja	● kiteja	● kiteja
22	08岸江	徳島県 徳島市	□ kitekuremasuka	£ oideitadakemasuka	＊ kurukeɴna	$ oideru	$ oideru
23	09岸江	香川県 東かがわ市	$ oidemai	$ oidenahaɴse	＊ kijoru	＊ kijoru	＊ 1 kijoru ◇ 2 oidenaharjoru
24	09小西	岡山県 笠岡市	□ kitekureru	£ 1× kitehoʃi: 2 kitemoraemaseɴka	＊ kuru	＊ kuru	＊ kuru
25	08小西	広島県 三次市	◇ kiɴsai	# 1 kitekudasai $ 2 oidekudasai	■ 1 korareru ● 2 kite	■ 1 korareru , 2 kite , 3 ● kitedesu	■ 1 korareru ● 2 kite
26	08舩木	山口県 光市	# kitekɯdasai	& iraʃitekɯdasai	＊ kɯrɯdo	● kitezo:	● kitezo:
27	08杉村	福岡県 福岡市	♭ kitetsuka:sai	£ 1 kitemoraemassendeʃo:ka ♭ 2 kitetsuka:sai	〒 karaʃʃarubai	■ koraremasubai	■ koraremasubai
28	08木部	鹿児島県 日置市	□ 1 kikkɯijai ★ 2 kijai	★ 1 kikkɯijai 2 kʲite kwijai	★ kijaddo:	★ kijaddo:	★ kijaddo:
29	08大西	鹿児島県 南九州市	& koŋkana:	☆ 1 kijaranna 2 kijarankana:	＊ kuddo	＊ kuddo:	＊ kuddo
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	○ 1 meɴso:re: 2 meɴso:raɴna:	◎ 1 meɴʃe:biraɴgaja: 2 meɴʃe:bire:	@ meɴʃe:ɴdo:	@ 1 meɴʃe:ɴdo: ◎ 2 mi:jabiːɴdo:	@ 1 meɴʃe:ɴdo: ◎ 2 meɴʃe:biːɴdo:
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	▼ o:ri çijo:ri	▼ o:ri çijo:ri	▽ o:ruɴ	▽ o:ruɴju:	▽ o:ruɴdara
【凡例】			＊ コイ＋終助詞類 # キテクダサイ類 ♭ キテツカーサイ ◆ キトクンナハレ・キナーレ □ キテクレ・キテオクレ類 ‡ キランショ ■ コラレ ⇒ キマッシ ※ コデヨー ◇ キンサイ ★ キヤイ類 ○ メンソーレ類 ▼ オーリヒヨーリ $ オイデ・オイデマイ 〒 ゴゼ & その他	＊ コナイカイ # キテクダサイ類 ♭ キテツカーサイ ◆ キトクンナハレ類 □ キテクレマシカ ‡ キランショ ■ コラレマスカ類 ※ コデヨ ★ キックイヤイ類 ☆ キヤランナ類 ◎ メンシェービレ類 ▼ オーリヒヨーリ $ オイデ～類 & 尊敬語＋クダサイ類 £ その他(～イタダク・ネガウ・モラウ類)	＊ クル類 ◆ キハル・キヤハル類 ■ コラレル類 □ キラッカラ ● キテ類 〒 カラッシャル ★ キヤッドー @ メンシェーンドー ▽ オールン & その他尊敬語 $ オイデル類 ¶ ミエル類	＊ クル類 ◆ キハル・キヤハル類 ■ コラレル類 □ キラッカラ ● キテ類 〒 キマッシャル ★ キヤル類 @ メンシェーンドー ◎ ミーヤビーンドー ▽ オールンユー & その他尊敬語 $ オイデル類 ¶ ミエル類	＊ クル類 # キマス類 ◆ キハル・キヤハル類 ◇ オイデナハッリョル ■ コラレル類 □ キラッカラ ● キテ類 ★ キヤッドー @ メンシェーンドー ◎ メンシェービーンドー ▽ オールンダラ $ オイデル類 ¶ ミエル類 & その他
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-171 近所の知り合いが来る：O場面	JG-172 友達が来る：O場面	JG-173 自分の父親が来る：O場面	JG-174 自分の父親が来る：A場面	JG-175 自分の父親が来る：B場面
1	08日高	秋田県 秋田市	* kɯrɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ	# kïmaṣï
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	* kɯrɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ	※ kiansɯ̞jo	※ kiaɴsɯ̞
3	08小林	宮城県 仙台市	* 1 kɯrɯndajo 2 kɯrɯndato	* 1 kɯrɯndajo 2 kɯrɯndato	* kɯrɯndajo	# kɯrɯndesɯjo	# kimasɯ
4	08竹田	山形県 米沢市	* kɯrɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ	& sandʒo:sɯrɯʃʃi
5	09小林	福島県 会津若松市	* kɯrɯjo:	* 1 kɯrɯjo: 2× kɯmbe:	* kɯrɯjo:	* kɯrɯjo:	# kimasɯ
6	09新井	栃木県 さくら市	* kɯrɯɴdajo	* kɯrɯɴdajo	* kɯrɯ	* kɯrɯ	# kimasɯjo
7	08高橋	群馬県 前橋市	* kɯrɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ	# kimasɯ
8	08新井	埼玉県 上里町	¶ mierɯ	* kɯrujo	* kɯrujo	# kimasɯjo	& mairimasɯ̞
9	09三井	東京都 品川区	■ koraremasɯ	# kimasɯ	# kimasɯ	& mairimasɯ	& mairimasɯ （前置き表現省略）
10	08三井	東京都 立川市	* 1× kɯbe:ja , 2× kɯrɯbe:ja , 3 kɯrɯjo , 4 kɯrɯjo:	* 1× kɯbe:ja , 2× kɯrɯbe:ja , 3 kɯrɯjo , 4 kɯrɯjo:	* 1× kɯbe:ja , 2× kɯrɯbe:ja , 3 kɯrɯjo , 4 kɯrɯjo: , 5 kɯra:	* 1 kɯrɯjo # 2 kimasɯjo	# kimasɯjo
11	09吉田	山梨県 早川町	* kɯrɯde	* kɯrɯdo:de	* kɯrɯdo:ni	* kɯrɯdo:jo	* kɯrɯdo:de
12	08沖	長野県 松本市	* kɯrɯjo	* kɯrɯ	* kɯrɯ	# kimasɯ	# kimasɯ
13	08中井	富山県 富山市	* kɯrɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ
14	09大西	富山県 砺波市	$ oiderɯ	$ oiderɯ	* kɯrɯɲaja[dze	* kɯrɯɲaja[dze	# kimasɯ
15	09中井	石川県 小松市	* kɯrɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ	¶ 1 mierɯ ■ 2 korarerɯ	¶ mierɯ
16	09舩木	京都府 与謝野町	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)
17	08松丸	滋賀県 高島市	* kɯrɯ	* 1 kɯrɯ ↓ 2 kijorɯ	↓ kijorɯ	* kɯrɯ	* kɯrɯ
18	09渋谷 A	京都府 京都市	◆ kiharɯ	◆ kiharɯ	◆ kiharɯ	◆ kiharɯ	# kimasɯ
19	08高木	大阪府 大阪市	◆ kihaɴde:	* 1 kurɯ ↓ 2 kijoru	# 1 kimaɴnen , 2 kɯnnen * , 3 kuru	# kimaɴnen	# kimasuwa
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	* kɯrɯ	* jattekɯrɯ	* jattekɯrɯ	# kimasɯ	# jattekimasɯkara
21	08都染	兵庫県 姫路市	* kurude	* 1 kuru do· 2 kundo·	* kundo·	* kurude	# kimasu
22	08岸江	徳島県 徳島市	* kuru	* kuru	* kuru	* kuru	# kimasu
23	09岸江	香川県 東かがわ市	* kijoru	* kijoru	* kijoru	* kijoru	# kijorimasu
24	09小西	岡山県 笠岡市	* kuru	* kuru	* kurukara	* kurukara	* kurukara
25	08小西	広島県 三次市	● 1 kite 2 kitede	* kurude	# 1 kimasu * 2 kuru	# kimasu	# 1 kimasu & 2 mairimasu
26	08舩木	山口県 光市	* kɯrɯdo:	* kɯrɯdo	* kɯrɯdo:	# kimasɯ̞ke:	N NR
27	08杉村	福岡県 福岡市	* kurubai	* kurubai	* kurubai	# kimaʃʃo:ja	# 1 kimasu & 2 mairimas
28	08木部	鹿児島県 日置市	★ kijaddo:	★ kijaddo:	* kɯddo:	* kɯddo:	☆ kimoɴde
29	08大西	鹿児島県 南九州市	* kuddo	* kuddo:	* kuddo	* kuddo	☆ 1 kimoido 2 kimosɯ̞do
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	@ meɴʃe:ɴdo:	* tʃu:ɴdo:	@ meɴʃe:ɴ	□ tʃa:bi:ɴ	□ tʃa:bi:ɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	* ku:ɴ	* ku:ɴ	▽ o:ruɴ	▽ o:ruɴ	▽ o:ruɴ
【凡例】			* クル類（東かがわ市のキヨルを含む） ↓ キヨル ◆ キハル類 ■ コラレマス ● キテ類 ★ キヤル類 @ メンシェーンドー $ オイデル類 ¶ ミエル類	* クル類（東かがわ市のキヨルを含む） ↓ キヨル # キマス ◆ キハル類 ★ キヤル類 $ オイデル類 ¶ ミエル類	* クル類（東かがわ市のキヨルを含む） ↓ キヨル # キマス ◆ キハル類 @ メンシェーン ▽ オールン	* クル類 # キマス・クルンデス類 ※ キアンスヨ ◆ キハル類 ■ コラレル □ チャービーン ▽ オールン ¶ ミエル & マイリマス	* クル類 # キマス類 ※ キアンス ☆ キモス類 □ チャービーン ▽ オールン ¶ ミエル & その他謙譲語（マイリマス・サンジョウスルッシ） N 無回答・無効回答
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-176 自分の父親が来る：母親に	JG-177 自分の配偶者が来る：○場面	JG-178 雨だ：A場面	JG-179 雨だ：B場面	JG-180 〔太陽〕がのぼった
1	08日高	秋田県 秋田市	＊ kɯrɯ	＊ kɯrɯ	＊ ame[ɴda	# ame[ɴdesï	○ nobotta
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	＊ kɯrɯ	＊ kɯrɯ	※ 1 ameda nahaɴ § 2 ameda nassɯ	§ 1 ameda nassɯ ● 2 amede gozaɴsɯ	○ nobotta
3	08小林	宮城県 仙台市	＊ kɯrɯndajo	＊ kɯrɯndajo	# amedesɯne:	# amedesɯne:	○ detekita
4	08竹田	山形県 米沢市	＊ kɯrɯ	＊ kɯrɯ	♪ 1 ameda joʃi § 2 ameda naʃi	§ 1 amedanaʃi @ 2 ameda nai	○ no[nbotta
5	09小林	福島県 会津若松市	＊ kɯkkara:	＊ kɯrɯjo:	＊ amedana:	＊ amedana:	○ 1 -ŋa aŋatta 2 -ŋa nobotta
6	09新井	栃木県 さくら市	＊ 1 kɯɴdato 2 kɯkkara	＊ 1 kɯrɯ 2 kɯkkara	＊ ame da	# ame desɯjo	○ -ŋa deta
7	08高橋	群馬県 前橋市	＊ kɯrɯ	＊ kɯrɯ	@ ame mitaida	N × amega ɸɯ ttekitamitaidesɯjo	○ 1 -ga nobottekita 2 -ga nobotta
8	08新井	埼玉県 上里町	＊ kɯrujo	＊ kɯrujo	# amedesɯjo	# amemojo:desɯjo	○ nobotta
9	09三井	東京都 品川区	# kimasɯ	# kimasɯ	# 1 amedesɯne: 2× ameŋaɸɯttemasɯkedo	# 1 amedesɯkeredomo , 2× ameŋaɸɯtteimasɯker edomo	● 1 -no deda 2 -ŋa nobotta
10	08三井	東京都 立川市	＊ kɯra:	＊ kɯrɯjo	＊ 1 amedane: 2× ameppɯridana:	# 1 amedesɯne ＊ 2 amedane:	○ 1 deta , 2 -ŋa deta , 3 -ŋa nobotta
11	09吉田	山梨県 早川町	¢ waserarerɯde	¢ waserarerɯjo	＊ 1× ɸuttekito:jo 2 amedo:jo	＊ amedo:jo	○ 1 -ŋa detejo ★ 2 -ŋa odejattejo
12	08沖	長野県 松本市	＊ kɯrɯ	＊ kɯrɯwa	＊ amedane:	# amedesɯne:	○ -ŋa deta
13	08中井	富山県 富山市	■ korarerɯ	＊ kɯrɯ	N × ame ɸɯttorɯ	N × ame ɸɯttorɯ	◆ 1 aŋarareta ○ 2 nobotta
14	09大西	富山県 砺波市	＊ 1 kɯrɯŋaja[dze 2 kaettekɯrɯwa	＊ 1 kɯrɯŋaja[dze 2 kaettekɯrɯ	＊ amejawa	# amedesɯ	○ deta
15	09中井	石川県 小松市	＊ kɯrɯ	＊ kɯrɯ	N × ɸɯttorɯzo	＊ 1 ja # 2 desɯjo	○ nobotta
16	09舩木	京都府 与謝野町	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)	(未調査)
17	08松丸	滋賀県 高島市	＊ kɯrɯde	＊ kɯrɯde	＊ ameja	# amedesɯna	○ -ga nobotta
18	09渋谷 A	京都府 京都市	◆ kiharɯ	＊ kɯrɯ	＊ ameja	# amedesɯ	▲ 1 -ga dehatta 2 -ga noborahatta
19	08高木	大阪府 大阪市	＊ kurude:	＊ 1 kurude 2 kuruwa	# 1 ame desuna: 2 amedeɴna:	# amedesuna:	○ 1 -ga detekita , 2 ▲ detekihatta , 3 detekita
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	＊ kɯrɯ	＊ kɯrɯ	＊ 1 amejade # 2 amedesɯ	# amedesɯ	○ nobottade
21	08都染	兵庫県 姫路市	＊ kurudo·	＊ kurudo·	＊ ameja	# amedesu	○ aŋatta
22	08岸江	徳島県 徳島市	＊ kuru	＊ kuru	＊ amejo	# amedesu	○ -ga nobotta
23	09岸江	香川県 東かがわ市	＊ 1 kijoru 2 kurude	＊ kijoru	＊ ameja	# amedesu	○ -ga agatta
24	09小西	岡山県 笠岡市	＊ kuru	＊ kuru	# 1 amedesu ＊ 2 amedʒa:	# amedesu	○ -ga nobotta
25	08小西	広島県 三次市	＊ kuru	＊ kuru	# amedesu	# amedesu	○ 1 -ga deta 2 -ga nobotta
26	08舩木	山口県 光市	＊ kɯrɯdo	＊ 1 kaettekɯrɯdo , 2 kɯ ɯdo , 3 kɯrɯke:	＊ 1× amega ɸɯrɯke: , 2 ameʒa: , 3 amede	N × amega ɸɯrɯke:	○ -ga nobotta
27	08杉村	福岡県 福岡市	＊ 1 kaettekurubai 2 kurubai	＊ kurujana:	＊ 1× ameno ɸuridaʃimaʃitajana : , 2× amei narimaʃitajana: , 3 amejana:	＊ 1× ameno ɸuridaʃimaʃitajana : , 2× amei narimaʃitajana: , 3 amejana:	■ 1 -no detekoraʃʃatta , 2 nobaraʃʃatta , 3 -no kaodasaʃʃatta
28	08木部	鹿児島県 日置市	＊ kɯddo:	＊ kɯddo:	＊ ame ʒaɴ do:	@ ame ʒaɴ sai na:	○ 1 -ga nobotta 2 -ga agatta
29	08大西	鹿児島県 南九州市	＊ kuddo	＊ kuddo	＊ amedʒaddo	☆ amedʒaimoido	○ 1 -ŋa dʒeda 2 -ŋa nobotta
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	□ 1 tʃa:biːɴ @ 2 meɴʃeːɴ	＊ tʃuːɴdo:	N × ʔami nato:ibi:ssa :	N × ʔami nato:ibi:ssa :	● -nu ʔagataɴ
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	▽ oːrɴ	＊ kuːɴ	★ ami	@ 1 amidara ＊ 2 amido:	● -nu nuburen
【凡例】			＊ クル類 # キマス ◆ キハル ■ コラレル @ メンシェーン □ チャービーン ▽ オールン ¢ ワセラレル	＊ クル類 # キマス ¢ ワセラレル	＊ アメ＋ダ・ジャ・ヤ（＋終助詞など）類 ★ アメのみ # アメデス類 ♪ アメダヨシ § アメダナッス類 ※ アメダナハン @ その他 N 無回答・無効回答	＊ アメ＋ダ・ジャ・ヤ（＋終助詞など）類 # アメデス類 ♪ アメダヨシ § アメダナッス類 ● アメデゴザンス ☆ アメジャイモイド @ その他 N 無回答・無効回答	◆ アガラレタ ▲ (−ガ)デハッタ類 ■ −ノ ～ラッシャッタ類 ● −ノ デタ・−ヌ ッアガタン ○ (−ガ)ノボッタ・デタ・アガッタ類 ★ −ガ オデヤッテヨ
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-181 おはよう（近所の目上に）	JG-182 おはよう（友達に）	JG-183-a おはよう（家族（配偶者）に）	JG-183-b おはよう（家族（孫）に）	JG-184 ありがとう
1	08日高	秋田県 秋田市	● ohajo:ŋo[ɴzaẹmaşi	○ ohajo:	■ ogidaga	■ ogidekïdaga	* 1 me:ɰagɯkagede , 2 naɴ mo kïˑtsïkaɰanettatte:[ɴ domojo: , 3 gote:ne:ni
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	◎ ohajagansɯ	○ ohajoˑ	○ ohajoˑ	○ ohajoˑ	◎ 1 oarigatoˑ gozaɴsɯ 2 arigato gozaɴsɯ
3	08小林	宮城県 仙台市	● ohajo:godzaimasɯ	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	◎ ariŋato:godzaimasɯ
4	08竹田	山形県 米沢市	○ * ohajo kjo:wa i: odeɴ kidanại	○ * 1 ohajo: teɴki i:nai , 2 ohajo: kawari nai kai , 3 ohajo: okawari nai kaʃi（以下, 4略）	○ ohajo:	◆ ○ 1 o: o: 2 ohajo:	◆ oʃo:ʃina nại
5	09小林	福島県 会津若松市	● ohajo: dzaijasɯ	● ohajo: dzaijasɯ	○ ohajo:	○ ohajo:	◎ ariŋato:godzaimasɯ
6	09新井	栃木県 さくら市	○ 1 ohajo: ● 2 ohajo:ŋozaimasɯ	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	◎ ariŋato:gozaimasɯ
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ ohajo:	○ ohajo:	N 言わない	○ ohajo:	○ arigato:ne:
8	08新井	埼玉県 上里町	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	◎ arigato:gozaimasɯ̯
9	09三井	東京都 品川区	● * 1 ohajo:go[dzaimasɯ , 2 samɯidesɯne: , 3 atsɯidesɯne:	◆ 1 ja: ○ 2 ohajo:	○ * 1 ohajo: , 2 geŋki , 3 dai[dʒo:bɯ	○ * 1 ohajo: , 2 geŋki , 3 dai[dʒo:bɯ	▼ sɯmimaseɴ
10	08三井	東京都 立川市	* 1 osamɯkɯnattane , 2 asakarasami:na: , 3 i:jo:kiɲ inarimaʃitane（以下, 4、5略）	* 1 osamɯkɯnattane , 2 asakarasami:na: , 3 i:jo:kiɲ inarimaʃitane（以下, 4、5略）	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ▼ ◎ 1 ariŋato: , 2 ariŋato:sɯmmasendeʃita , 3 ariŋato:gozaimaʃita , 4 sɯmimasenne
11	09吉田	山梨県 早川町	◎ ohajo:ŋoisɯ	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	● oŋosso:dattajo
12	08沖	長野県 松本市	● ohajo:gozaimasɯ	○ ohajo:	N しない	○ ohajo:	○ do:mo ariŋato:
13	08中井	富山県 富山市	● ohajo:ŋozaimasɯ	● ohajo:ŋozaimasɯ	○ ohajo:	○ ohajo:	◎ ● ▲ 1 ariŋato:ŋozaimasɯ , 2 gottso:sama , 3 kinodokɯna
14	09大西	富山県 砺波市	● ohajo:ŋo[dzaimasɯ	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	◎ 1 ariŋato ŋo[dzaimasɯ ● 2 gottso:samana
15	09中井	石川県 小松市	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	△ ohajo:saɴ	● ○ ▲ 1 gottsosaɴ , 2 ariŋato: , 3 kinodokɯna:
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	□ o:kini
17	08松丸	滋賀県 高島市	▲ ohajo:saɴdesɯ	△ ohajo:saɴ	△ ohajo:saɴ	○ 1 ohajo: △ 2 ohajo:saɴ	□ 1 o:kini ○ 2 arigato:
18	09渋谷 A	京都府 京都市	▲ 1 ohajo:sandosɯ ● 2 ohajo:gozaimasɯ	○ ohajo:	N NR	○ ohajo:	□ 1 o:kini ○ 2 arigato:
19	08高木	大阪府 大阪市	○ 1 ohajo: ● 2 ohajo:gozaimasu	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	○ arigato:
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	○ ohajo:	○ ohajo:	N NR	NR NR	▼ 1 sɯmaɴna □ 2 o:kini
21	08都染	兵庫県 姫路市	△ ohajo:saɴ	○ ohajo:	N NR	○ ohajo:	□ ○ ◎ 1 o:kini , 2 ariŋato: , 3 ariŋato:godzaimasu
22	08岸江	徳島県 徳島市	● ohajo:gozaimasu	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	○ arigato:
23	09岸江	香川県 東かがわ市	◎ 1 ohajo:gozansu 2 ohajo:gozanʃita	◆ ○ ossu ohajo:	N NR	○ ohajo	○ ▼ ▲ 1 arigato , 2 sumanna , 3 kinodokuna
24	09小西	岡山県 笠岡市	◎ ohajo:godzaɴsu	○ ohajo:	N NR	○ ohajo:	○ 1 arigato: □ 2 o:kini
25	08小西	広島県 三次市	● 1 ohajo:godzaimasu ○ 2 ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	○ ohajo:	○ 1 arigato: ◎ 2 arigato:godzaimasu
26	08舩木	山口県 光市	● ohajo:gozaimasɯ̯	◆ # 1 oi geɴki jattʃorɯka: , 2 erai hajo: gaɴbattʃorɯno: , 3 hajaiʒa:	N NR	○ ohajo:	◎ arigato:gozaimasɯ̯
27	08杉村	福岡県 福岡市	● ohajo:gozaimasu	○ ohajo:	N NR	○ ohajo:	◇ ○ □ ◎ 1 dandaɴ , 2 arigato: , 3 o:kini , 4 arigato:gozaimaʃita
28	08木部	鹿児島県 日置市	* 1 nɯki wai na: , 2 nɯkkakoʔ ʒana: , 3 nɯkikoʔ ʒana:	# haena:	N NR	○ ohajo:	◎ 1 aigato goaʃita * 2 aigato moʃiagemoʃita
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ ohajo:	○ ohajo:	N NR	○ ohajo:	□ ○ # 1 o:kini , 2 ariŋato: , 3 mentaʃi
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	N NR	N NR	■ □ 1 ʔukimiso:tʃi: , 2 ʔukiti: , 3 ʔukimiʃe:biti:	■ ʔukiti:	★ niɸe:de:biru
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	N NR	N NR	N NR	N NR	☆ ɸukora:ju:
【凡例】			○ オハヨー ● オハヨーゴザイマス類 ◎ オハヨーガンス・ゴザンス・ゴイス △ オハヨーサン ▲ オハヨーサンドス・デス * 天候・気温に関する表現 N 言わない・決まった挨拶表現がない	○ オハヨー # ハヤイナ類 ● オハヨーゴザイマス類 △ オハヨーサン ◆ オー・オッス・ヤー類 * 天候・気温・安否・激励に関する表現 N 言わない・決まった挨拶表現がない	○ オハヨー △ オハヨーサン ■ オキタカ類 □ ツウキミソーチ・ツウキミシェービティー * ゲンキ・ダイジョーブ N 言わない・決まった挨拶表現がない	○ オハヨー △ オハヨーサン ◆ オー ■ オキタカ類 * ゲンキ・ダイジョーブ N 言わない・決まった挨拶表現がない	○ アリガトー類 ◎ アリガトーゴザイマス類 ● ゴッツォーサマ類 ▼ スミマセン・スマン類 ▲ キノドクナ ◆ オショーシナイ □ オーキニ ◇ ダンダン # メンタシ ★ ニフェーデービル ☆ フコラーユー * その他
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-185-a いただきます（言語行動）	JG-185-b いただきます（非言語行動）	JG-186-a ごちそうさま（言語行動）	JG-186-b ごちそうさま（非言語行動）	JG-187-a 感覚（熱い）
1	08日高	秋田県 秋田市	○ ẹta[ɴdakïmas̥i̥	● ②合わせない	N NR	● ②合わせない	○ attsï:
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	◎ itadaki aɴsɯ	● ②合わせない	●◎ ○ 1 gottsaɴ , 2 gottso ni nariaɴʃita , 3 gottso˙ sa	● ②合わせない	■ 1 adzɯ godo 2 attsɯ godo
3	08小林	宮城県 仙台市	○ itadakimasɯ	● ②合わせない	○ gotʃiso:sama	● ②合わせない	# ○ a: atsɯ:
4	08竹田	山形県 米沢市	○ idadagimasɯ̥	△ * ①;②;③その他の非言語行動をとる(具体的内容→外では,手を合わせておじぎをする。)	○ ◆ gotʃiso: sama deʃita mmagatta	● * ②;③その他の非言語行動をとる(具体的内容→軽く頭を下げる。)	# 1 u˙ atʃitʃi ◎ 2 u˙ adzɯi ○
5	09小林	福島県 会津若松市	○ itadakimasɯ	○ ①合わせる。	○ 1 gotʃiso:sama 2 gotʃiso:sa:ɴ	● ②合わせない	# ○ wa: atsɯi
6	09新井	栃木県 さくら市	○ itadakimasɯ	● ②合わせない	○ gotʃiso:saɴ	● ②合わせない	○ addzi
7	08高橋	群馬県 前橋市	○ itadakimasɯ	● ②合わせない	◎ gosso:samadeʃita	● ②合わせない	○ attʃi:
8	08新井	埼玉県 上里町	N NR	● ②合わせない	N NR	● ②合わせない	○ attʃi:na
9	09三井	東京都 品川区	○ itadakimasɯ	○ ①合わせる	○ 1 gotʃiso:sama ◆ 2 oiʃikattadesɯ	△ ①合わせる;②合わせない	◎ 1 atʃitʃi ● 2 atsɯʔ
10	08三井	東京都 立川市	○ itadakimasɯ	● * ②;③その他の非言語行動をとる(具体的内容→親指と人差指の間に箸を乗せる。)	○ gotʃiso:sama	● ②合わせない	○ 1 atʃi:na: , 2 atʃiatʃi , ◎ 3 atʃi
11	09吉田	山梨県 早川町	○ itadakimasɯ	● ②合わせない	● gossaɴ	● ②合わせない	# ○ ma: atɯi
12	08沖	長野県 松本市	○ itadakimasɯ	● ②合わせない	△ 1 itadakimaʃita 2 tʃo:daiʃimaʃita	● ②合わせない	● 1 アツッ 2 ʔatʃɯʔ
13	08中井	富山県 富山市	○ itadakimasɯ	○ ①合わせる	◎ gotʃiso:samadeʃita	● ②合わせない	○ attsɯi
14	09大西	富山県 砺波市	○ itadakimasɯ	● ②合わせない	◎ gottsosandeʃita	● ②合わせない	○ 1 a:ttsɯi ◎ 2 atʃitʃi
15	09中井	石川県 小松市	○ itadakimasɯ	○ ①合わせる	○ gotʃiso:sama	○ ①合わせる	○ 1 atsɯi 2 atsɯ
16	09舩木	京都府 与謝野町	○ itadakimasɯ	○ ①合わせる	(未調査)	(未調査)	(未調査)
17	08松丸	滋賀県 高島市	○ itadakimasɯ	○ ①合わせる	◎ 1 gottsosaɴdeʃita 2 gotʃiso:samadeʃita	○ ①合わせる	● atsɯʔ
18	09渋谷 A	京都府 京都市	○ itadakimasɯ	○ ①合わせる。	N NR	● ②合わせない。	● atsɯQ
19	08高木	大阪府 大阪市	○ itadakima:su	△ ①合わせる;②合わせない	N NR	△ ①合わせる;②合わせない	● atsuʔ
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	N NR	● ②合わせない	N NR	● ②合わせない	○ atsɯi
21	08都染	兵庫県 姫路市	■ 1 jobaremasɯ ○ 2 itadakimasu	● ②合わせない	○ gotʃiso:saɴ	● ②合わせない	# ○ a: atsu
22	08岸江	徳島県 徳島市	○ itadakimasu	● ②合わせない	○ 1 gotʃiso:sama 2 gotʃiso:saɴ	○ ①合わせる	● atsuʔ
23	09岸江	香川県 東かがわ市	○ itadakimasu	○ ①合わせる	● gottsandesu	○ ①合わせる	◎ 1 atsutsutsu * 2 aitatata
24	09小西	岡山県 笠岡市	○ itadakimasu	△ ①合わせる;②合わせない	○ gotʃiso:sama	● ②合わせない	● atsuʔ
25	08小西	広島県 三次市	○ itadakimasu	● ②合わせない	○ gotʃiso:sama	● ②合わせない	○ 1 atsui ● 2 atsut
26	08舩木	山口県 光市	N NR	● ②合わせない	N NR	● ②合わせない	● atsɯt
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ itadakimasu	○ ①合わせる	◎ 1 gotʃiso:samadeʃita 2 arigato:gozaimaʃita	● ②合わせない	○ atsu:
28	08木部	鹿児島県 日置市	N NR	△ ①合わせる;②合わせない	◆ 1 mmakatta 2 mmekatta	● ②合わせない	● atʃiʔ
29	08大西	鹿児島県 南九州市	○ itadakimasu̥	○ ①合わせる	○ gotʃiso:saɴ	○ ①合わせる	* adadada idaga idaga idaga
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	◆ kwattʃi:sabiráu:	○ * ①;③その他の非言語行動をとる(具体的内容→箸を両手でもってあわせる。)	■ kwattʃi:sabitaɴ	○ * ①;③その他の非言語行動をとる(具体的内容→箸を両手でもってあわせる。)	# ★ ʔaɴʃi ʔatʃisaru
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	◇ tabo:rariju:	● ②合わせない	◆ mahataŋ	● ②合わせない	★ attsahanu
【凡例】			○ イタダキマス ◎ イタダキアンス ■ ヨバレマス ◆ クワッティーサビラウー ◇ タボーラリユー N 言わない・決まった挨拶表現がない	○ ①合わせる ● ②合わせない △ ①と② * 具体的非言語行動	○ ゴチソーサマ・サン ◎ ゴチソーサマデシタ類 ● ゴッツァンデス・ゴッツァン ■ クワッティーサビタン ◆ ウマカッタ・オイシカッタデス類 △ イタダキマシタ・チョーダイシマシタ N 言わない・決まった挨拶表現がない	○ ①合わせる ● ②合わせない △ ①と② * 具体的非言語行動	○ アツイ・アチー・アツ・アチ類 ◎ アチチ・アツアツ類 ● アツッ・アチッ類 ■ アヅゴト類 ★ ッアチサル・アッツァハヌ # ウー・アー・マー類 * その他
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子	舩木礼子

番号	調査票	地点	JG-187-b 感情（恐い）	JG-187-c 状態（高い）
1	08日高	秋田県 秋田市	□ 1 okkane:na: ■ 2 okkanegodo	○ tagena:
2	09竹田 A	岩手県 盛岡市	# aɴ̀ja okkanegodo ■	# aja tagegodo ■
3	08小林	宮城県 仙台市	#○ 1 a: kowai , 2 a: okkane , 3 □■ okkanegoda:	#○ 1 wa: takai #■ 2 a: tagegoda:
4	08竹田	山形県 米沢市	# u· okkane godo: ■	# u· tagai godo: ■
5	09小林	福島県 会津若松市	# 1 a: okkanena: □ 2 a: okkane:	* 1 takedenebeka 2 ta:gedenebeka ora:
6	09新井	栃木県 さくら市	☆ mɯŋoina:	○ tagaina:
7	08高橋	群馬県 前橋市	#□ a okkane:	# a: take: ○
8	08新井	埼玉県 上里町	□○ 1 okkane:na: , 2 △ kowaina: , 3 osoroʃi:na:	○ takke:na:
9	09三井	東京都 品川区	1 osoroʃ: , 2 jadesɯne: , 3 △ komarimaʃitane: , 4 kor * ewataihenda , 5 do:ʃitarai: ndaro:	1 are? , 2 korewadameda , 3 e? , 4 takasɯŋiru # *
10	08三井	東京都 立川市	□ 1 okkane:na: ○ 2 kowe:na:	○ 1 take:na: * 2 jasɯkane:na:
11	09吉田	山梨県 早川町	□ 1 okkanai 2 okkanaide ijano:	○ korewa takaini
12	08沖	長野県 松本市	N 言わない	# 1 o:? 2 e:
13	08中井	富山県 富山市	△ otoroʃi	○ takaine:
14	09大西	富山県 砺波市	# a: otoroʃʃi: △	# a: takaiwa ○
15	09中井	石川県 小松市	△ osoroʃi:	# ara taka:i ○
16	09舩木	京都府 与謝野町	(未調査)	(未調査)
17	08松丸	滋賀県 高島市	● 1 kowa? △ 2 otoroʃi?	● taka?
18	09渋谷 A	京都府 京都市	● kowaQ	● takaQ
19	08高木	大阪府 大阪市	○ kowaikotojana:	○ 1 takaina: 2 takkaina:
20	09渋谷 B	和歌山県 岩出市	N NR	N NR
21	08都染	兵庫県 姫路市	△ otoroʃi:	○ 1 taka: 2 takaina:
22	08岸江	徳島県 徳島市	# a: kowa ○	○ taka:
23	09岸江	香川県 東かがわ市	# uwa? otoroʃa △	# ma taka: ○
24	09小西	岡山県 笠岡市	● kowa?	○ takaino:
25	08小西	広島県 三次市	△ osoroʃi:	○ takæ:no:
26	08舩木	山口県 光市	# o:	#* 1 o: korja: do:ka #○ 2 o: takaino:
27	08杉村	福岡県 福岡市	○ 1 kowaihanaʃijane: ◆ 2 ezukane:	○ takka:
28	08木部	鹿児島県 日置市	△ osoroʃike	○ take
29	08大西	鹿児島県 南九州市	# abe:odoroçikaodor △ oçikaodoroçika	○ waddze:ga takkaʃina takkaʃina
30	08狩俣	沖縄県 那覇市	# ʔaɴʃi ʔuturasaru ▲	# ʔaɴʃi takasaru ▲
31	09狩俣	沖縄県 石垣市	★ nugurʃa:	# ibi: takahanu ▲
【凡例】			○ コワイ類 ● コワッ △ オソロシー・オソロシカ類 ▲ ツウトゥラサル □ オッカネー類 ■ オッカネーゴド類 ☆ ムゴイナー ★ ヌグリシャー ◆ エズカネー # ウー・アー類 N 言わない * その他	○ タカイ・タカー・タケー類 ● タカッ類 ■ タカイゴト類 ▲ タカサル・タカハヌ # ウー・アー類 * その他
記号化担当			舩木礼子	舩木礼子

6．調査項目の構築作業

吉田　雅子

本章では，国立国語研究所共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」（略称「方言分布」，以下「方言分布P」）において実施される「全国方言分布調査」の調査項目構築について，その経緯と内容を報告する。調査項目構築の実際の作業がどのように行われたかということを記録すること，どのような研究意図をもって作成された調査項目であるかという説明と解説をすること，この調査項目による調査結果の仮説提示と分析観点提示が本章の目的である。調査項目構築について報告することは，この共同研究プロジェクトの目的や方法を明確に説明することにつながるであろう。また同時に，この規模の方言研究プロジェクトの実施に際してかかるコスト（時間，人員，金額，付帯状況等）について報告することにつながり，今後同様のことを実行するときの一つの指標となるであろう。

以下，次の順に述べる。作業の概要（6.1.），調査項目選定の基本方針（6.2.），共同研究者による項目選定（6.3.），調査項目候補の検討内容（6.4.），調査票付図の作成（6.5.）。これは，実際の作業の時系列にも重なるものである。

6.1. 作業の概要

① 作業体制

調査項目の検討は，全国方言調査委員会を引き継いだ共同研究者が行った。氏名を以下に列記する（五十音順）。

朝日祥之，新井小枝子，大西拓一郎，沖裕子，狩俣繁久，岸江信介，木部暢子，小西いずみ，小林隆，渋谷勝己，杉村孝夫，高橋顕志，高木千恵，竹田晃子，都染直也，中井精一，日高水穂，舩木礼子，松丸真大，三井はるみ，鑓水兼貴，吉田雅子。

この中から，プロジェクトリーダーの大西より指名された者がワーキンググループ（以下「WG」）を構成し，本調査を実施するための具体的な内容を固める作業を行うこととなった。WGでは作業内容に応じて細分化した班を設け，主担当を決めた。その構成は以下の通りである。

事前研究WGメンバー（複数班所属あり）

・調査項目構築班（リーダー：吉田雅子）

　音韻項目：小西いずみ，竹田晃子

　語彙項目：新井小枝子，吉田雅子

　文法項目：高木千恵，日高水穂，舩木礼子

・調査結果データベース構築班（リーダー：鑓水兼貴）

　調査結果データベースの構造：松丸真大，鑓水兼貴

調査結果報告のコーディング構造：小西いずみ，鑓水兼貴

・言語地図データベース構築班（リーダー：竹田晃子）：竹田晃子，吉田雅子

このように各人の主担当を決めているが，実際の作業はWG全員で作業を行うことがほとんどであった。調査項目構築についても，WG全員で項目選定の基本方針を検討し，項目候補の内容検討を行った。

② 作業スケジュール概要

作業スケジュールにそって作業概要を述べると以下のようになる。

(1) WG組織（2009(平成21)年7月12日）

・今後の作業計画についての打ち合わせ

(2) WG打ち合わせ会の開催（2009(平成21)年11月28日～29日）

・WG作業についての打ち合わせ

・調査項目構築　基本方針案の検討

・データベース構築　基本方針案の検討

・言語地図データベース構築　作業内容の確認

・全体打ち合わせ会での提案準備

・準備調査結果の分析

・WG用メールアカウントの獲得

(3) 全体打ち合わせ会での提案と検討（2009(平成21)年12月20日）

・WG打合会の提案内容を全体会で検討

・調査項目案提出についての検討

(4) 共同研究者による項目選定（2009(平成21)年12月21日～2010(平成22)年1月6日）

・共同研究者による項目選定と，WGへの報告

・共同研究者による，項目選定についてのMLでの議論と検討

(5) WG打ち合わせ会の開催（2010(平成22)年1月30日～31日）

・提出された調査項目案の内容検討

・調査担当者の位置付けについての検討

・話者への対応についての検討

(6) WG打ち合わせ会の開催（2010(平成22)年3月1日～2日）

・提出された調査項目案の内容検討

(7) 全体打ち合わせ会での提案と検討（2010(平成22)年3月22日～23日）

・調査項目内容の検討

(8) 全体打ち合わせ会での提案と検討（2010(平成22)年5月22日～23日

・調査項目内容・調査票構成についての検討

調査項目について全体で検討するのは(8)の機会が最終となった。(1)から(7)までは，WGが主体となって検討を行い，その検討内容を共同研究者の全体打合会に提案するという作

業状況であった。

2010(平成22)年5月24日（月）以降，調査項目構築については全国方言分布調査事務局が作業を引き取り，とりまとめは全国方言分布調査事務局のメンバーである大西，竹田，鑓水，吉田が作業を行った。竹田，鑓水，吉田はWGと事務局とに所属しているので引き続き作業をする形になった。

2010(平成22)年6月～7月にかけて，調査票の整形，校正，印刷をおこなった。また2010(平成22)年9月までかけて，調査票付図の作成作業を行った。調査票付図については6.5.で詳しく述べる。

以上のスケジュールで作業進行する中，随時WGメンバー，共同研究者どうしでメールや電話を用いて議論や作業を実施し，事務局は研究事務・作業事務に従事した。

印刷会社より『全国方言分布調査　調査票』が納品されたのは2010(平成22)年7月26日，『全国方言分布調査　調査票付図』が納品されたのは2010(平成22)年9月28日であった。

③ 調査項目構築について

「方言の形成過程解明」という研究目的に照らして構築すべき調査項目であるが，その研究目的の他に考慮しなければならなかったのは，研究期間と外部評価である。設けられていた研究実施期間に遂行可能な調査を設計することがまず最初に求められた。また方言学界から必要とされ高い評価を得る研究成果を追究するほかに，現実問題として外部評価機関からの一律的一元的評価基準にも対応せざるを得ない事情から，研究計画に盛り込まれた事項もあった。

「方言の形成過程解明」という研究の価値と現実問題の相克に悩まされつつも，調査項目構築作業はWGの知を結集して行い，共同研究者が全力をかけて行っていると言っても過言ではない。

調査項目構築作業は，方言研究遂行の大きな作業の一つである。研究目的に照らして，構想の段階から温め醸成するものである。全国方言分布調査の準備調査である「全国方言準備調査」の調査項目を選定して「全国方言準備調査調査票」を作成し全国方言準備調査を実施したこと，その結果分析を併行しつつ本調査である全国方言分布調査の調査項目を構築したことをふまえると，WG組織よりずっと前から調査項目構築作業は始まっていたと言える。

全国方言分布調査は先行研究の『日本言語地図』（以下「LAJ」），『方言文法全国地図』（以下「GAJ」）と同じ調査項目も盛り込んでいるが，先行研究と同じ項目を調査するにしても，今回の研究目的に照らし合わせて，現在の研究水準を充たす，研究遂行可能な，意義のある調査項目とするために，一つ一つ検討を行った。今回の調査で採用した新規項目についても同様の観点から検討を行った。

また，「最良の調査票は調査終了後にできる」という方言研究のテーゼの通り，本調査実

施中の現在も，共同研究者は常に調査項目の観察・考察を続けている。調査項目はただ調査すればよい事項ではなく，研究の視点・研究テーマが調査項目という形で現れているものである。この調査項目にただ安住することはなく，常に研究意識を持って，最良の調査項目であるかを検討分析していることを考えると，調査項目構築作業は現在も形を変えて進行中であると言えよう。先に「調査項目構築作業はWGの知を結集して行い，共同研究者が全力をかけて行った」ではなく「行っている」と記したのはそのような理由による。

調査項目構築作業は調査の根幹に関わる大きな作業ゆえ，実際の作業負担も比例して非常に大きい。いちばん作業負担がかかるのは調査実施前の準備期間だが，本調査項目の具体的な構築作業ということに限っても2009(平成21)年7月から2010(平成22)年9月まで1年以上，WGの作業に限っても2009(平成21)年7月から2010(平成22)年5月まで10ヶ月という長い時間を要した。その間個人研究ではなく共同研究として，共同研究者同士が意を汲み，意見や見解の相違について説明に意を尽くしながら作業を進めることが必要だった。

調査項目構築に関わったWG，そして共同研究者も，その作業だけに注力できるわけではなかったのは当然で，別の研究業務や，大学での教育業務といった他の仕事も併行させているし，その間生活の常として病気や怪我や冠婚葬祭や引っ越しなどが生じ，大変な忙しさであった。十分な人員と時間が確保されれば言うことはないが，時間，人員，経費，作業環境にある程度の保障がなければ大規模調査の実施は困難であることも実感した。

大きな制約のある中，限られた時間で調査設計，調査項目構築を行うのは大変な作業だったが，研究そのものに取り組み，研究についてWGメンバーで語り合うのは誠に充実した時間でもあった。

6.2. 調査項目選定の基本方針

6.1.で述べたように，調査項目選定の基本方針についてはWGが2009(平成21)年11月に2日間にわたって行った打ち合わせ会で検討し，その内容を同年12月20日に実施された共同研究者全体打合会で発表し全体での検討を経て確定した。

6.2.では主に，2009(平成21)年11月に行ったWG打ち合わせ会の内容にそって，調査項目選定の基本方針が作られた経緯を述べる。

「方言の形成過程解明のための全国方言調査」事前研究WG打合会

・日時：2009(平成21)年11月28日（土）13:00～18:40
　　2009(平成21)年11月29日（日）9:30～17:00

・会場：国立国語研究所　419打ち合わせ室

【1日目：2009(平成21)年11月28日（土）13:00～18:40】

出席者は新井，小西，高木，竹田，日高，松丸，鑓水，吉田の8名。検討内容は，大きく分けると次の5点であった。方言分布プロジェクトのスケジュールと概要の確認，本調

査の概要（地点数，調査項目数，話者条件等），本調査項目の選定基本方針（目的，選定方法等），調査結果データベースの概要と構築方法，言語地図データベースの内容と構築方法。

① 方言分布プロジェクトのスケジュールと概要の確認

最初に，WG 作業全体について吉田が説明し，WG で検討した。内容については以下の通りである。

WG が「事前研究」に従事するにあたり，グループに分けてはいるが WG 全員で調査項目を構築し，調査結果データベースを構築するという方針で取り組むという体制を提案した。担当を細かく分掌するよりは，調査の全体像を見据えながら全員で意見を出し合い作業をする方がよいと思われたためである。この提案には全員の賛同が得られ，以後この体制で作業を進めることとした。

調査項目構築と調査結果データベース構築については WG が方針案を決め全体に提案説明する役割を担うということを説明した。1ヶ月後の 12 月 20 日に開催される全体打合会の時には，WG より，本調査の調査票構築案について，調査結果データベースのシステム設計について，言語地図データベースについて，の3点を報告するので，それに備えて，今回の打ち合わせでは，大西リーダーに確認すべきことをまとめ，その後，準備調査の結果を見ながら，調査項目選定構築・調査結果 DB 設計構築の検討作業を行うこととした。

また，全体のスケジュールを確認した。2009（平成 21）年度内に，本調査調査票が完成し，調査結果データベースシステムが完成していることが望ましいこと，2010（平成 22）年 4～6 月には調査担当者の決定と委嘱，調査担当者向けの講習会開催などが見込まれ，7 月以降夏休みの時期から本調査に入れることが望ましいことを説明した。

年度ごとの大枠としては次のようになる。

2009（平成 21）年度：準備調査結果の検討，本調査準備

2010（平成 22）年度：4～6 月本調査準備。7 月～本調査開始

2011（平成 23）年度：本調査実施

2012（平成 24）年度：本調査実施

2013（平成 25）年度：総括的な記述と分析のまとめ。報告書作成とデータ公開。論文執筆。

2013 年度より前の 2010～2012 年度にも，共同研究者は論文執筆が求められることも確認した。

また特に事前研究従事期間となる 2009（平成 21）～2010（平成 22）年度のスケジュールは，細かく立てた。この時点では，次のような計画であった。

- 2009（平成 21）年 10 月：方言分布 P 開始
- 2009（平成 21）年 11 月 28 日～12 月 14 日：WG による本調査項目構築作業，調査結果データベース構築作業
- 2009（平成 21）年 12 月 14 日締め切り：調査項目構築グループ毎に決めた項目構築案を吉田までメール送信。吉田はそれをとりまとめ，12 月 20 日の全体打合会で報告。な

お鑓水は調査結果データベースについて，竹田は言語地図データベースについて報告。

・2009(平成21)年12月20日：国研にて方言分布P全体打合会

・2009(平成21)年12月21日～2010(平成22)年1月7日：方言分布P全体打合会の内容検討

・2010(平成22)年1月7日～6月：本調査項目の決定，調査票印刷，調査実施準備，調査担当者の決定と委嘱，調査担当者向けの講習会開催，など

・2010(平成22)年7月～：本調査の実施

スケジュールを検討する中で，方言分布Pにかけられるエフォートについての議論があった。各人大学での勤務が忙しく，学生指導や入試業務など仕事が多くなり，自分の研究や論文執筆にすらまともに取り組めない状況になったと感じている昨今，当初計画にある1500地点分もの話者を確保し，他の人に調査に行ってもらえるよう依頼し，自分でも調査に行く，となると，想像を絶する忙しい状況になるであろうことが推測された。

次に，大西リーダーが記述した「共同研究プロジェクト概要」，「共同研究プロジェクト提案書」を読み，本プロジェクトの研究目的，研究計画・方法，期待される研究成果等について確認し，意見交換した。議論した例を挙げると次のようなものがある。

・現代の分布を調査して，方言周圏論を検証することは可能か。

・威光のある特定地域が周辺地域にどのように影響を与えているか，その影響がどのように分布に反映されているか，を読みとる調査と考えるべきか。

・研究目的をより明確にする必要があるのではないか。現時点では二つの目的，①LAJの分布がどう形成されたか，②実時間の分布パターンの解明，が混在しているといえないか。また，古い分布を再調査したいのか，それとも変化した分布を見たいのか，そのことも明確にすべきではないか。

・調査項目の選定にあたり，廃物語彙は対象とすべきか否か。

② 本調査概要（地点数，調査項目数等）の検討

スケジュールを把握し，研究目的・内容についての問題意識も共有した上で，次に本調査の大枠について，吉田が作成した【表１：調査の大枠について】をもとに検討した。

検討の観点は４つある。

ａ．調査地点総数は

ｂ．１地点の調査にかける日は

ｃ．調査項目数は

ｄ．調査規模は

これら４点について，それぞれに３～４個の選択肢を設けた。選択の参考になる事象として主に参照したのは，LAJ，GAJ，全国方言準備調査である。先行する全国規模の言語地理学的調査であるこれら３つの調査の事例を参考にしてWGで検討し，本調査の大枠については次のように計画した。

a. 調査地点総数については，全国方言調査委員会での検討段階で提案されていた 1500 地点を基準に選択肢を設けたが，スケジュールと共同研究者のエフォートを考慮した末，500 地点とした。これは，共同研究者と調査協力者を含む調査員が 50 人程度と見込まれると，各自が研究期間に調査に行ける地点数が 10 地点程度となり，この数ならば遂行可能と試算したことによる。また，2 年 8 ヶ月すなわち 32 ヶ月の調査期間で単純に割ると概算で初年度 8 ヶ月間が 116 地点，２年目と３年目は 192 地点ずつとなりこれも臨地調査遂行可能範囲と試算した。当初考案されていた 1500 地点は，継続のプロジェクトでこの数に到達させようという先々の計画も見越して立てた。

b. 1 地点の調査にかける日数については，a と同じくスケジュールと共同研究者のエフォートを勘案し，１日というものを選択した。

c. 調査項目数については，b と関わることであるが 1 日の調査と設定すると，200 項目というものを選択した。これは準備調査分析対象項目数の 50％にあたるものであり，準備調査結果を分析した後にこの項目数に絞り込むことも適正と考えた。

d. 調査規模については，「方言の形成過程解明」という研究目的に照らして，またその内容について共有した問題意識をふまえて，選択肢①と②の双方にわたるものを選択した。すなわち，今期と来期以降に分けて，質的に違いを設けた調査票を設計することを計画した。

【表：調査の大枠について】

	選択肢	参考
a. 調査地点総数は 2010(平成 22)年 7 月～2013(平成 25)年 3 月の 2 年 8 ヶ月の間に	①1500 地点 ②1500 地点以上 （具体的に＿＿＿＿＿地点） ③1500 地点以下 （具体的に＿＿＿＿＿地点）	・LAJ：1957(昭和 32)年-1964(昭和 39)年の 8 年間に 2403 地点， 1 年平均 300 地点。 ・GAJ：1976(昭和 51)年-1983(昭和 58)年の 8 年間に 807 地点， 1 年平均 100 地点。 ・本調査：6 年間で 1500 地点の場合， 初年度 8 ヶ月は 346 地点， 2 年度と 3 年度はそれぞれ 577 地点。
b. 1 地点の調査にかける日は	①2 日 ②1 日 ③半日 ④その他（具体的に＿＿日）	・LAJ：平均 1:30～2:30（LAJ 解説-方法-p30）。 ・GAJ：第 1 調査票と第 2 調査票それぞれに 1 日，合計 2 日。
c. 調査項目数は	①準備調査分析対象項目数 50%の 200 項目 ②200 項目以上 （具体的に＿＿＿＿＿項目） ③200 項目以下 （具体的に＿＿＿＿＿項目）	・準備調査： 質問文ベースで 音韻 14＋語彙 124＋文法 187＝325 項目 （音韻 4%，語彙 38%，文法 58%） 分析対象項目ベースで 音韻 32＋語彙 143＋文法 223＝398 項目 （音韻 8%，語彙 36%，文法 56%） ・LAJ：質問文ベースで 285 項目 ・GAJ：質問文ベースで 267 項目
d. 調査規模は	①全地点で全項目を調査 ②全地点調査項目と，要地調査項目とに分ける ③その他 （具体的に　　）	・LAJ：地点毎に調査項目の違いあり ・GAJ：全地点で全項目を調査 ・準備調査：全地点で全項目を調査

今期（調査期間は 2010(平成 22)年 7 月～2013(平成 25)年 3 月の 2 年 8 ヶ月）は，500 地点で一律 200 項目を調査する調査票を設計する。この調査票では，1 地点における調査日数を 1 日と想定する。

来期以降は，今期の調査結果をもとに地域区分や調査項目を選定した調査票を設計する。

地点数を加えていき，今期調査地点数と合わせゆくゆくは1500地点となることを目指す。調査項目数は200項目以下とし，全国一律調査項目と，地域別調査項目とを設ける。

以上の調査計画を図示すると，次のようになる。

今期

500地点／200項目

来期以降（今期の調査結果をもとに地域区分・調査項目を選定）

1000地点？／200項目以下？			
①全国	地域A	地域B	地域C
	地域別		

地域Aの例：助詞サの類…東北・九州地方のみ

本調査の大枠案決定を受け，次に本調査項目の選定基本方針（目的，選定方法等）の検討に入った。吉田が以下のような原案の説明を行った。

調査項目選定の基本方針として，次の２点を挙げる。

（1）方言の形成過程解明を目的とする項目を選定する。

方言の形成過程を解明する定理理論は帰納的説明によるものと思われる。これまでの先行研究を分析し，帰納的に説明するための補強材料となるようなものを調査項目として選定したい。

（2）共同研究者が論文作成しうる項目を選定する。

共同研究者各自に，

A：必ず入れる調査項目　５項目以内

B：入れてほしい調査項目　５項目以内

合計10項目以内の調査項目候補を挙げてもらう。A，Bの各項目について，それを全国全地点で調査希望か，要地のみで調査希望かを報告してもらう。Aは必ず採用し，その調査規模（全国調査か要地調査か）も必ず採用する。全部異なりとして，最大５項目×共同研究者22人＝110項目となる。

この原案について，WGで検討した。

（1）については，方言の形成過程解明のためには話者の行動範囲や指向等をも調査する必要性があるという意見が出され，それらをフェイスシートで調べられるようにする，またはそれらについての質問項目を設けることが提案された。全国規模の社会調査で得られている各種統計データを利用することも考えたが，統計データと話者が一致するとは限らないため，本調査内でそれらも調べるということにした。

（2）については，先の検討で今回の調査では全国一律調査を実施することとしたため，項目についての調査規模提案は自動的になしということになった。

また1つの調査項目に複数の調査観点を盛り込むことをやめ，1項目1観点のシンプルな質問事項とすることにした。これは準備調査の検討もふまえてのことである。準備調査においては，調査時間と項目数の兼ね合いから1項目に複数の調査観点を盛り込んだワーディングを作成したものもあったが，複数観点を盛り込んだ調査項目採用によっての大幅な時間削減も見込めないことから，これはやめることとした。よってAB各項目の数え方もそれに即するものとすることにした。

ABには，準備調査にはなかった新規項目を入れることも可能とした。選定される項目は準備調査と同じ項目が多いであろうが，準備調査項目の中からと限定することはせず，（1）かつ（2）の条件を満たすものを採用することにした。

以上の方針を2009(平成21)年12月20日開催の全体打合会で説明し，その後共同研究者各自にABを選定し，2010(平成22)年1月6日17:00締め切りでWGに提出してもらうこととした。WG用のメールアドレスを取得し，そのアドレス宛にメール送信してもらい，そのメールがWGの9名に転送されWG全員が確認できるシステムを整えることにした。メールアドレス取得は鑓水担当とした。提出された選定調査項目のとりまとめは吉田が担当し，2010(平成22)年1月7日より本調査項目候補の検討を開始することにした。

続けて，2009(平成21)年7月11日～12日にかけて，全国方言調査委員会全体会議で検討した「全国方言準備調査の問題点」の内容を再検討した。「全国方言準備調査の問題点」は準備調査の項目を1つずつ検討し問題点をまとめたものである。これを見直し，以下の方針案を決めた。

・LAJやGAJと比較する項目は，基本的に調査文は変更しない。
・文法項目において，格を調査する項目は，調査目的の格が出やすいようワーディングを変更可にする方向で検討する。
・前項のようなワーディング操作によって，GAJと比較できない項目が出てくる可能性について，Aとして出された項目については問わない。
・項目選定の参考にするために，共同研究者全員に電子ファイル（エクセルファイル）の「全国方言準備調査の問題点」を送信する。

④ 調査結果データベース・言語地図データベースの概要と構築方法の検討

次に，調査結果データベースの概要と構築方法について，鑓水より基本方針の提案がされ，その内容について検討した。詳細は「7.調査結果データベースの構築」にゆずり，ここでは打ち合わせ時に出た調査項目構築に関わる点を抜粋して記述する。

データベース構築にあたり，まず最初に検討すべき点としては，本調査回答の入力形式，データベースのデータ形式がある。準備調査回答の入力及びデータベース構築は国研の事務局が行ったが，本調査ではどうするか。データベースを分析に適した形式にするにはど

うしたらよいか。これまでの検討と同様，スケジュールとエフォートを考慮し，かつ調査結果を調査終了後すみやかに分析のために使用できるようにするための方策を考えた。

この日の段階で決めた方針案は以下のようになる。

・調査票の形式は，片面のＡ４版で，綴じない形式を取る。これはコピーの際の利便を考えてのことである。また PDF データでの配布も予定する。
・調査票清書用の形式を，入力に即したものにする。
・調査票の提出方法は，調査者が，調査票のコピーを所持し，国研には調査票原本を提出する。
・提出用調査票には上質紙を使用し，再生紙は避けて，長期保存に備える。
・回答の入力については入力会社を利用する。共同研究者が分析や論文執筆等，研究に時間を取るための方策である。
・データ形式は GAJ データと同様にする。
・併用形式については，回答が複数あることがわかるフィールドを設ける。１回答が１レコードにすることになるが，注記との対応に考慮が必要であり，重複した注記があることを示す。
・１調査票を１ファイルに入力し，順次公開できるようにする。また分析の際の利便性を考えて，項目ごとに回答を切り出せるようにする。
・データベースは，データ更新の履歴が明確に表示されるようにする。これも分析の際の利便性の考慮である。
・記号については，「誘導語形を使わない」と回答したときの記号を設ける。また，誘導語形を使わないと回答かつ類似語形を回答した場合の記号を設ける。
・回答採用方針を設け，調査員によるばらつきがないようにする。
・採用回答語形の頭に〇囲み数字をつけることで，不採用・誘導語形を区別する。

言語地図データベースの内容と構築方法については，竹田より現場の作業報告がなされ，今後の構築の構想と見通しについての発表があった。詳細は「8. 言語地図データベースの概要」にゆずる。

ここまで調査項目と調査結果データベース・言語地図データベースについて検討したことを受けて，次に問題になったことは，調査で得られたデータをどの範囲の人まで利用可能とするかということである。共同研究者以外の人，例えば調査実施者がその調査データを，どの範囲で利用できるのかということを確認しなければならないということになった。

また，共同研究者が国研の事物をどの程度利用できるのかを確認する必要があるという意見が出された。例えば図書室の利用などである。これらについては，大西リーダーに確認することとして，2009(平成 21)年 11 月 28 日の検討を終了した。

【2 日目：2009(平成 21)年 11 月 29 日（日）10:00～17:00】

出席者は前日と同様 WG の新井，小西，高木，竹田，日高，松丸，鑓水，吉田。これにリ

ーダーの大西が加わり，９名で検討を行った。検討内容は，大きく分けると次の３点であった。大西への前日検討内容報告，前日検討内容をふまえての調査票・調査項目検討，2009(平成21)年12月20日開催全体打合会の場での提案準備。

最初に吉田が，大西リーダーに前日の検討内容を報告した。本調査概要案，調査項目選定方針案以下全ての検討内容について異論は出されなかった。

確認事項であった，調査データの利用範囲については，大西より，調査データ利用範囲は各プロジェクトで個別に決めることになっているとの回答を得た。大西は，調査データは時期を決めて公開するのがいいという考えを述べ，一案として調査協力者への公開2013(平成25)年，一般公開2016(平成28)年というものが出された。

また，共同研究者を除く調査員への作業謝金と旅費は確保できる見込みであることも大西より報告され，地点数と調査員人数と１地点分の経費を考えて年度ごとの概算も試算した。共同研究プロジェクトには年に一回，公開の研究発表会が義務づけられていること，2009(平成21)年度内の研究発表会は，所内限定開催でよいことになっていることも，このときに情報を得た。

共同研究者が，国研の事物をどの程度利用できるのかという点については，詳細不明であったため，所外の共同研究者も国研図書室閉架書庫に入れるようにしてほしいという要望をWGから提出した。

また，大西リーダーも交えて，研究目的についてさらに検討した。WGからは，方言の形成過程の解明のためのアプローチとして挙げられている，

(a) 言語変化と地理空間の相関把握と分析―特に分布の経年比較

(b) 地理空間が有する地域特性と言語の関係の解明

(c) これまで知られていなかった分布の解明・発見

この中の(c)を，新たにアピールできる成果として重視すべきことを提案した。

⑤ 本調査概要（話者条件，調査地点選定等）の検討

続けて，「全国方言準備調査調査票」の内容にそって，本調査調査票の構成について検討した。内容については以下の通りである。

■調査票全体について

・調査票の形式：片面，Ａ４版，綴じない（コピーに便利），PDFデータで配布，などを検討する。

・絵カードの形式：クリアファイルに入れてめくれないようにする，などを検討する。

・構成：手引きを別冊にするか，検討する。生え抜きチェック項目を最初に用意し，調査をやめるタイミングも考慮する。

■フェイス・シートの改定点（改訂係：吉田）

経歴	・表記様式変更：○歳～○歳 住んでいた場所 式にする。 ・小学校，最終学校：聞く。 ・在外歴：削除。（上記のような，年齢と住んでいた場所の列記により在外歴もわかる形式にする。）
その他	・備考欄を大きくする。

■話者の条件

年齢	・調査時点で 70 代以上（1940 (昭和 15) 年代生まれ）※ ・余人を持って代え難い場合は，1950 (昭和 25) 年以前までは許容（団塊の世代は採用しない）。 ※LAJ：1903 (明治 36) 年以前生まれ，1887 (明治 20) 年以降生まれが希望的。 基本的に 60 歳代で上限は設けない GAJ：1925 (大正 14) 年以前生まれ，原則として 60～75 歳
性別	・男女は問わない。 ∵女性のデータを得る。男女差を確認する。話者を確保する。 LAJ, GAJ との話者整合性を考えると男性に統一すべきともいえるが，LAJ, GAJ にも性差以外の属性差がある。
生育歴・居住歴	・生え抜きを基本とする。 ・言語形成期（15 歳まで）を除く移住は 5～10 年の範囲内とする。
職歴	・特に問わない。
その他	・調査の目的にかなう話者を選定する（地域コミュニティに属していて，くだけた場面で方言形が出る話者）。 ・都市部での話者選定は特に注意する。話者自身のインフォーマントとしてのイメージ（「自分は方言話者である」「自分は方言をほとんど話していない」など）があるだろうが，最終的には調査者が話者の適切性を判断する。

■調査地点

地点の選定	・基本的に，LAJ, GAJ の地点選出方法を踏襲する。 ・LAJ 解説 pp22-23 に地点選出方法の記述がある。これを参考に，人口，主要幹線道路，自然，歴史等を考慮し，共同研究者の地域担当者が選定について考慮する。
地点数	・各都道府県の地点数は以下のように算出する。 算出式 ［GAJ の地点数×5/8＝今回調査地点数］ （∵今回 500 地点，GAJ807 地点）この数に乖離する場合，是正する。

■調査方法

録音	・録音については，有無，提出とも求めない。

■語形・情報の報告・表記

調査時の表記については，WGより，カタカナ表記が提案された。IPAを使う必要がある地点のみIPAを使用することも合わせて提案された。調査回答の電子データ化は入力会社への外注という方針を考えてもカタカナがよいという意見が出された。大西からは，LAJ/GAJ でカタカナ表記による簡略表記法があったのでそれも可能だろうが，原則はカタカナ表記でIPA表記がオプションというのは難しいのではないかというコメントが出された。WGからはさらに，音韻レベルの表記を求めるということを大原則とし音声レベルはどの程度の表記を求めるのかを決めておく必要があるという意見を出し，この時点では次のことを決めた。

・音韻レベルの表記を求めることを原則とする。

・調査結果データベース構築担当が，次のことについて検討し決定する。

(1) カタカナ表記する地域，IPA表記をする地域の選定

(2) カタカナ表記体系

(3) IPA表記体系

(4) 注記の記載方法

以上，話者条件，調査地点選定等を中心に，本調査票構成案を検討した。このあと，グループ毎に分かれて，今後の作業方針について手順や方法を検討して，2009(平成21)年11月29日の検討を終了した。

⑥ WGメールアカウントの取得と利用

打合会終了後に鑓水が手配して，2009(平成21)年11月30日にWGのメールアカウントが開設された。このメールアカウントに送信したメールはWG全員に転送されるシステムにし，個別の作業でもWG全員が情報共有できるようにした。グループ内のやりとりの場合には，[DB] [項目]，[文法] [語彙] [音韻]など，件名の前にグループ名を明示するなどしてわかりやすいようにすることも申し合わせた。

大きなデータファイルを添付する場合は，その旨の予告メールをあらかじめ送信することも申し合わせた。また，万が一データファイルが大きくてメール添付として受信できなかった場合は，Gmail にログインし，過去のメールを参照してファイルをダウンロードすることができるようにした。

以後，このメールアカウントは随時利用された。最初に全員の送受信確認テストを行い，その後は2009(平成21)年12月20日開催の全体打合会での発表準備のためのやりとりが数多くなされた。WGは全体打合会までの正味20日間，調査設計のプレゼンテーション準備と，準備調査結果の分析に忙殺された。

6.3. 共同研究者による調査項目選定

2009(平成21)年12月20日に方言分布Pの共同研究者が集まり全体打合会が開催された。この場でWGは本調査設計作業の報告を行い，その内容を出席した共同研究者で検討した。ここでの決定にそって，共同研究者は選定した調査項目を提出した。

6.3.では主に，2009(平成21)年12月に開催された全体打合会の内容にそって，調査項目選定の基本方針が決まるまでの経緯を述べる。そして調査項目選定作業の経過について述べる。

「方言の形成過程解明のための全国方言調査」全体打合会

・日時：2009(平成21)年12月20日（日）13:00～17:09

・会場：国立国語研究所　多目的室

出席者は新井，大西，狩俣，岸江，木部，小西，小林，杉村，高木，高橋，竹田，中井，日高，松丸，三井，鑓水，吉田の17名。

議題は次の５つである。（　）内は発題者。

議題１．共同研究プロジェクトの概要・目的（大西）

議題２．本調査に向けてのWG報告と検討－内容・方法：項目，話者属性，地点数等－（吉田ほか調査項目構築WG）

議題３．本調査に向けてのWG報告と検討－調査結果データベース：データの共有化，利用ルール，公開－（鑓水ほか調査結果データベースWG）

議題４．先行研究言語地図データベースについて（竹田）

議題５．今後の予定（大西）

以下，調査項目に関わる議題２の内容について述べる。

議題２に際しては，「本調査に向けてのＷＧ報告と検討― 話者・調査項目等 ―」という配付資料を，調査項目構築担当（音韻項目G：小西いずみ・竹田晃子，語彙項目G：新井小枝子・吉田雅子，文法項目 G：高木千恵・日高水穂・舩木礼子）で共同作成した。配付資料の内容（目次）を示す。

１．事前研究ＷＧの作業経過と今後の作業予定

1.1. これまでの作業経過

1.2. 今後の作業予定

２．本調査の概要

2.1. 調査計画概要

2.2. 話者の条件

2.3. 調査地点

2.4 その他

３．本調査の項目

3.1. 調査項目選定の基本方針

3.2. 調査のワーディングについて

3.3. 共同研究者によるA,B選定について

4.準備調査の結果分析（現況報告）

4.1. 音韻項目

4.2. 語彙項目

4.3. 文法項目

「1.事前研究WGの作業経過と今後の作業予定」の内容は吉田が説明した。WG発足の経緯，担当メンバーと作業体制，今回の報告発表はWGがこれまで行ってきた作業内容から抜粋して行うものであることを説明した。

6.2.で述べたものと一部重なるが，この時に共同研究者に示した内容を以下に抜粋する。

共同研究者に，研究期間（期限）を含め近々のスケジュールを把握してもらう必要があり，作業予定を示した。

「1.2. 今後の作業予定」

本日から，本調査実施までの期間の作業予定は以下の通りである。

※共同研究者：「共同研究プロジェクト組織表」掲載のメンバー＋竹田，鑓水，吉田。

事務局：共同研究者のうち，国研内部で方言分布プロジェクトのとりまとめに当たる者を指す。

大西，鑓水，吉田ら。

年月日	事項＜従事者＞
2009/12/20	・方言分布プロジェクト全体会議＜共同研究者＞
2009/12/21～ 2010/01/06	・方言分布プロジェクト全体会議の内容検討＜事務局＞ ・本調査項目の選定＜共同研究者＞
2010/01/07	・方言分布全体会議の内容検討打合会＜事務局＞
2010/01/07～ 2010/03	・準備調査結果の分析＜事前研究WG＞
2010/01下旬	・事前研究WG打合会（本調査用調査票作成作業と調査結果データベース設計作業）＜事前研究WG＞
2010/01下旬～ 2010/03/31	・本調査調査票項目・内容確定＆調査結果データベースシステム完成＜事前研究WG＞
2010/04～2010/06	・調査票印刷，調査実施準備，調査担当者の決定と委嘱，調査担当者向けの講習会開催，など＜事務局＞
2010/07～	・本調査の実施＜共同研究者＋調査担当者＞

次に本調査の概要について説明した。提示した資料は以下の通りである。

「2.本調査の概要」

方言分布プロジェクトの研究目的と研究計画にそって検討し，本調査の概要について以下の方針を決めた。

2.1. 調査計画概要

・今期（2009(平成21)年度～2013(平成25)年度）と来期以降に分けて，質的に違いを設けた調査票を設計する。

・今期（調査期間は 2010（平成 22）年 7 月～2013（平成 25）年 3 月の 2 年 8 ヶ月）は，500 地点で一律 200 項目を調査する調査票を設計する。この調査票では，1 地点における調査日数を 1 日と想定する。
・来期以降は，今期の調査結果をもとに地域区分・調査項目を選定した調査票を設計する。地点数を加えていき，今期調査地点数と合わせ，ゆくゆくは 1500 地点となることを目指す。調査項目数は 200 項目以下とし，全国一律調査項目と，地域別調査項目とを設ける。
・調査計画を図示すると，以下のようになる。

今期

500 地点／200 項目

来期以降（今期の調査結果をもとに地域区分・調査項目を選定）

1000 地点？／200 項目以下？			
①全国	地域 A	地域 B	地域 C
	地域別		

地域 A の例：助詞サの類…東北・九州地方のみ

・参考　方言分布プロジェクト本調査と，これまでの調査の比較

	本調査	参考
調査地点総数	2010（平成 22）年 7 月-2013（平成 25）年 3 月の 2 年 8 ヶ月の間に 500 地点。均すと初年度 8 ヶ月は 115 地点，2 年度と 3 年度は 192 地点。	・LAJ：1957（昭和 32）年-1964（昭和 39）年の 8 年間に 2403 地点，1 年平均 300 地点。調査員 65 名 ・GAJ：1976（昭和 51）年-1983（昭和 58）年の 8 年間に 807 地点，1 年平均 100 地点。調査員 93 名
1 地点調査日数	1 日	・LAJ：平均 1:30～2:30（LAJ 解説-方法-p30）。 ・GAJ：第 1 調査票と第 2 調査票それぞれに 1 日，合計 2 日。
調査項目数	質問文ベースで 200 項目	・準備調査： 質問文ベースで　音韻 14＋語彙 124＋文法 187＝325 項目 （音韻 4%，語彙 38%，文法 58%） 分析対象項目ベースで 音韻 32＋語彙 143＋文法 223＝398 項目 （音韻 8%，語彙 36%，文法 56%） ・LAJ：質問文ベースで 285 項目 ・GAJ：質問文ベースで 267 項目

2.2. 話者の条件

年齢	・調査時点で70代以上（1940(昭和15)年代生まれ）※ ・余人を持って代え難い場合は，1950(昭和25)年以前までは許容（団塊の世代は採用しない）。 ※LAJ：1903(明治36)年以前生まれ，1887(明治20)年以降生まれが希望的。 基本的に60歳代で上限は設けない GAJ：1925(大正14)年以前生まれ，原則として60～75歳
性別	・男女は問わない。 ∵女性のデータを得る。男女差を確認する。話者を確保する。 LAJ, GAJとの話者整合性を考えると男性に統一すべきともいえるが，LAJ, GAJにも性差以外の属性差がある。
生育歴・居住歴	・生え抜きを基本とする。 ・言語形成期（15歳まで）を除く移住は5～10年の範囲内とする。
職歴	・特に問わない。
その他	・調査の目的にかなう話者を選定する（地域コミュニティに属していて，くだけた場面で方言形が出る話者）。 ・都市部での話者選定は特に注意する。話者自身のインフォーマントとしてのイメージ（「自分は方言話者である」「自分は方言をほとんど話していない」など）があるだろうが，最終的には調査者が話者の適切性を判断する。

2.3. 調査地点

地点の選定	・基本的に，LAJ, GAJの地点選出方法を踏襲する。 ・LAJ解説pp22-23に地点選出方法の記述がある。これを参考に，人口，主要幹線道路，自然，歴史等を考慮し，共同研究者の地域担当者が選定について考慮する。
地点数	・各都道府県の地点数は以下のように算出する。 算出式　[GAJの地点数×5/8＝今回調査地点数] （∵今回500地点，GAJ807地点）この数に乖離する場合，是正する。

2.4. その他

■フェイス・シートの改定点（改訂係：吉田）

経歴	・表記様式変更：○歳～○歳＿住んでいた場所＿　式にする。 ・小学校，最終学校：聞く。 ・在外歴：削除。（上記のような，年齢と住んでいた場所の列記により在外歴もわかる形式にする。）
その他	・備考欄を大きくする。

■調査方法

録音	・録音については，有無，提出とも求めない。

次に，本調査の項目について説明した。提示した資料は以下の通りである。

「3．本調査の項目」

本調査項目構成表

選定基本方針	共同研究者選択別調査項目	数
（1）方言の形成過程解明を目的とする項目を選定する。 （2）共同研究者が論文作成しうる項目を選定する。	A 共同研究者選定 必ず入れる調査項目	最大値 5項目×22人＝110項目
	B 共同研究者選定 入れてほしい調査項目	[200-A]項目 （最小値 200-110＝90項目）
	C 事前研究WG選定項目	

3.1. 調査項目選定の基本方針

方言分布プロジェクトの研究目的と研究計画にそって検討し，本調査項目選定については以下の2点を基本方針とした。

（1）方言の形成過程解明を目的とする項目を選定する。

（2）共同研究者が論文作成しうる項目を選定する。

・上記（2）に連関して，共同研究者より，採用したい調査項目を挙げてもらう。

A：必ず入れる調査項目　5項目以内

（必ず採用する。全部異なりとして，最大，5項目×22人＝110項目）

B：入れてほしい調査項目　5項目以内

合計10項目以内の調査項目候補を挙げてもらう。

・本調査項目にAを採用し，200項目からAの数を除いた残数の調査項目は，事前研究WGメンバーがBを極力考慮しつつ調査票全体のバランスを考えて選定する。Bとして挙げられておらずとも本調査に採用される項目を「C」と称する。BとCの選定については，事前研究WGメンバーが準備調査結果分析をふまえ，WGでの検討を経て共同研究者に諮り決定する。

3.2. 調査のワーディングについて

「全国方言準備調査項目の問題点」の内容を検討し，調査項目のワーディングについて以下の方針を決めた。

・1項目で2つ以上の事項を聞くことをやめ，1項目1調査焦点の，シンプルな質問項目にすることを原則とする。

・格の項目では，名詞変更可にする。例文に用意されている名詞ではねらいの回答が出にくいとき，ねらい回答が出やすい名詞に変更することを許容する。ただしそのことを調査票に明記する。

・LAJやGAJと比較する項目は，調査文は変更しないことを原則とする。

・共同研究者がAとして挙げる調査項目は，元はLAJやGAJと比較する項目である場合でも，調査文の変更や操作を認める。そのことによってLAJやGAJと比較できなくなる可能性がある場合でも，是非を問わないことを原則とする。

3.3. 共同研究者によるA，B選定について

共同研究者の皆さんは，上記3.1.の内容を鑑み，3.2.の内容に注意しながら，以下の要領で，AとBを選定してください。

■Aについて

・本調査調査票に必ず入る項目として，心して選んでください。

この項目を選定した理由，すなわちこの方言分布プロジェクトでこの項目を研究する意義

を論ずることができる。そういうレベルの項目を選択していただくのがよろしいかと存じます。この項目のデータが全国500地点で集まるとどのような研究ができるのか，どのような論文を産出できるのか，そこまで論ずることができるものを選んでいただく項目として，設定しています。

・調査文も挙げられたものをそのまま採用しますので，十分な検討をお願いします。

・挙げる数は，５項目以内とします。

■Bについて

・本調査に入れてほしい項目として，挙げてください。

Aとは違って必ず採用されるとは限りませんが，事前研究WGの検討の場ではBと挙げられたものとして尊重します。

・Aと同じく，調査項目に入った場合は調査文も挙げられたものをそのまま採用しますので，十分な検討をお願いします。

・挙げる数は，これもAと同じく，５項目以内とします。

■選定と報告について

・A, Bとも，準備調査項目から選ばれることが多いかと思いますが，準備調査項目にはなかった新規項目を選んでいただくことも可能です。

・調査文や調査項目の趣旨について，必要な場合には事前研究WGから問い合わせをし，共に検討していただくことも考えられます。そのような折には御協力ください。

・選定したA, B各5項目以内を，「メール本文」または「メール添付ファイル」として，送信してください。

送信締め切り日　【2010H22年1月6日（水）17:00】

A, Bとして挙げていただく項目は，事前研究WGメンバー全員が把握します。

2010H22年1月7日（木）に事務局で方言分布プロジェクトについての打合会を行いますので，その前日までに送信お願い申し上げます。

・この件についてのお問い合わせは，吉田までお願いいたします。

（転載以上）

続けて，「４。準備調査の結果分析（現況報告）」では，調査項目別に各担当より別紙にそって説明が加えられた。この内容は，本報告書の「５。本調査に向けた準備調査結果の分析」で示している。

以上の内容を全体打合会で報告し，出席した共同研究者で内容を検討した。主なる検討内容を以下に述べる。

・調査のワーディングについて

形態音韻論的な事項によって助詞のでかたが変わることがある場合の対処について検討した。GAJのワーディングでは形態音韻論的な考慮がなされていなかったということもあるので注意が必要であるという意見が出された。

・来期について

研究期間について，「今期」と「来期」とされる期間を確認し，それぞれで実施予定の調査規模，調査地点数，調査項目数について検討した。調査項目には今期で調査終了項目と，

来期も継続する項目とを設定することを確認した。分布が密になる必要がある項目は1500地点で調査することを目指し，今期の500地点で分布が出れば経年的な調査がなくてもそれで十分という項目もあろう予測を立てていることを説明した。

・調査法について

準備調査において回答が得られにくかった項目については予想語形を挙げることが提案され，採用することにした。

語形を得るタイプの質問ばかりでなく，「言うか言わないか」タイプの調査も採用することとした。

LAJ, GAJ で出てきた語形は必ず確認することが方言形成を知る手がかりとなり，誘導で出てくる形式があるので調査者にはLAJ, GAJの予習を義務づけることが必要であるという意見が出され，これを受けて調査票に予想語形を挙げる項目を設けることと合わせて，予習をするという方向で進めることとした。

琉球地域での調査方法については，予想語形が多くなること，注記で対応するにしてもそれも多くなること，予想語形を尋ねることは古形の誘導になる可能性があること，などの問題点が出された。方言分布Pの調査では，琉球においては，琉球方言と共通語というバイリンガルのうち，共通語を調べているということになり，共通語調査になってしまうという大きな問題点がある。これに対しては，分析の手法に合わせて質問のしかたを変えるというやりかたで対処するという案が出されたが，言語地理学の手法と原則に従えば質問方法やワーディングを統一する必要があることも指摘され，決定的な結論はこの時点では出なかった。(以後もこの点は問題点として挙げられ，継続検討している。)

・録音について

WG 提案では必須とはしなかったが，「話者に許可を取った上で録音することを原則とする」とする方がよいという意見が出された。調査の正確を期すために録音の聞き直しをすることは必須であること，後進を育てるという面で調査の方法を教える意味でも，録音は必要であり義務づける方がよいこと，などの意見も出され，検討の結果，調査時には録音を原則とすることとした。その旨を「調査の手引き」に記載することも決めた。国研事務局は，録音/公開にかかる承諾書の作成を検討することとした。

・成果発表の形態について

大西リーダーからは方言分布Pの研究成果物としての言語地図集は出さないということが示されていたので，成果物の形式や公開発表頻度はどのようなものかという質問が出された。調査項目の選定に関わってくる現実的な問題として質問されたが，それに対する大西の回答は「論文を基本に考えている。データを共有化し，データが全部集まらない途中段階でも，それで論文を書いてもらう」というものだった。

・調査項目選定について

「新規項目も可」したことについて，準備調査の結果を生かさずに本調査をすることに

なることの懸念から，新規項目は禁止すべきではないかという意見が出された。これに対してWGからは,新規項目を禁止することで現時点の検討で問題があるとコメントされている準備調査項目を変えられないことの問題性を指摘した。また新規項目を可能にすることで，準備調査項目に候補として挙がっていたが最終的に入れられなかった項目を，準備調査結果を見て復活させることなどができる利点も指摘した。加えて，準備調査の結果分析から，500 地点で結果が出るかどうかについては共通語化か従来どおりの分布か，どちらにせよ分布の動きは見えない可能性が高いと推測されたこと，新しい分布が出るものがあれば新規で加えたいと考えこのように提案したことを説明した。地点数も当初予定の1500地点から500地点に減らしたので，この提案のような対処はさらに必要性が高まったと考えていることを述べた。

「調査項目選定の基本方針」で示した，

（1）方言の形成過程解明を目的とする項目を選定する。

（2）共同研究者が論文作成しうる項目を選定する。

については，議論が集中した。2つのレベルが違いすぎるという意見，（2）については共同研究者の利己主義だという趣旨の意見が出された。

また，成果発表に関わることであるが，A として挙げる項目については論文執筆が義務化されるか否かという議論がなされた。論文作成は義務か，論文作成ではなく調査結果公開では成果と見なされないのか，という質問も出た。調査項目選定は事務局が200項目を出し，共同研究者に項目を割り振ってそれについて分析を書かせるという方式を取ることにより，項目に偏りが出ることを避けてはどうかという意見も出された。

一方，国研が独立行政法人から大学共同利用機関法人に変わり，研究上の立場も変わって，（1）（2）のような方針を立てるということになったのだろうと理解している，というコメントも出された。

論文化の他，データベース公開も人間文化研究機構は推奨しており地図刊行も重要視されると考えられるので，考慮に入れておく方がよいという情報も提供されたが，大西リーダーは言語地図集不刊行の方針は変えなかった。

全体打合会終了時刻や他の議題を残していることもあり，議題2についてはここでいったん検討と議論を収束させ，次の議題検討に移ったが，この日の全体打合会では議題2の内容に再び立ち入る時間はなかった。調査項目構築作業における重要事である調査項目選定方針について十二分な議論は尽くしきらないまま，WGの提案通り，共同研究者に調査項目案ABを2010(平成22)年1月6日締め切りで提出してもらうことになった。

調査項目選定方針と研究成果に関して，共同研究者間で意見がまとまらなかった理由の一つには，国研の移管という背景があるだろう。

国立国語研究所は，独立行政法人から体制を変え大学共同利用機関法人となったが，そのことが研究プロジェクト自体にどう反映するのか見えにくい部分があった。

独立行政法人の場合は国研という機関が主導し調査研究を行うが，大学共同利用機関法人の場合はその下部組織の人間文化研究機構内で，集まった研究者が共同研究として組織し実施する調査研究となる。その違いについてリーダーが説明をしても，違いの実態を実感を持って把握することは難しく，非常に時間がかかったといえよう。

移管後も「国立国語研究所」という名称は変わらず，本研究プロジェクトに関わるメンバーも（基本的には）変わらない。本プロジェクトは独立行政法人の時代から移管後も継続して行われるものであった。

そして全国規模の言語地理学的調査を行うという点ではLAJ, GAJと同様であり，研究方法はLAJ, GAJをほぼ踏襲するものであり，LAJ, GAJと分布の経年比較を行うことも標榜している。

大学共同利用機関法人となっても，研究自体は「国立国語研究所」がLAJ, GAJと同じ全国規模の言語地理学的調査を行うのである。他大学他機関ではなされたことのない，全国規模の言語地理学調査はこれまで国研が主導して行ってきたが，今回もまた（従来の国研ではなく体制を変えた，だが名前は同じ）「国立国語研究所」が方言分布プロジェクトを行うということで，本プロジェクトはLAJ, GAJの後継調査だと目されることもあったであろう。

そういうプロジェクトであるのに，言語地図集を作成しないこと，言語地図集という形で分布を把握することよりも個人が論文作成しうるということを優先させて調査項目を選ぶことに，種々の疑問を抱くことも不思議ではない。

全体打合会の3日後，共同研究者の小林より，共同研究者間で使用しているメーリングリストを通じて，大西リーダー宛に質問が寄せられた。内容は方言分布プロジェクトの研究方式や，研究目的や，研究成果のあり方とその義務についてであり，全体打合会では議論を尽くせず明確な方針回答が得られなかったので，調査項目選定や調査員推薦のためにも質問したいというものであった。

これに対しては大西リーダーが回答し，またWGもWGメールアカウントを利用してWGとしての方針や考えを再検討したのち，調査項目選定についての追加説明という形で回答を寄せた。WGのメールによる追加説明は，以下のような趣旨である。

・方言分布プロジェクトは「方言の形成過程解明」を目的とする“共同研究”と理解している。だから，共同研究者が「方言の形成過程解明」についての論文を書くことがこのプロジェクトの目的を遂行することにつながる，と考えている。
・「共同研究者が5項目を出す」としたのは，「方言の形成過程解明」のために，各人が論文を書けるような項目を5項目出す，ということである。プロジェクトの目的から外れたテーマで個人的な論文を書くための項目ではない。
・WGは，「共同研究として，共同研究者は「方言の形成過程解明」をテーマとした論文を必ず書く」という前提を考えていた。本調査項目選定の基本方針としてWGから，

（1）方言の形成過程解明を目的とする項目を選定する。

（2）共同研究者が論文作成しうる項目を選定する。

このように２点挙げたが，この２つは別個のものではなく，この方針にそって項目を挙げてもらうための主旨は１つにまとめらる。

「方言の形成過程解明を目的とする項目のうち，自分が担当したい項目を挙げよ。」

＝「方言の形成過程解明を目的とする項目のうち，自分が論文化したい項目を挙げよ。」ということである。

・WG が「本調査項目として，A を５項目，B を５項目挙げよ」としたのは，共同研究者が「方言の形成過程解明」をテーマとした論文を書くにあたり，担当したい項目として挙げて欲しいというのが主旨である。A が５項目，B が５項目としてあれば，共同研究者の意向も何らかの形で汲み取れると考えたものである。A を最優先で採用し，B, C は A とのバランスを考えながら「方言の形成過程解明」という目的を達成できる項目を選ぼうと考えていた。

・「方言の形成過程解明」をテーマとした論文執筆は義務。しかし「努力義務」。挙げた項目について論文化しなくてもよいが，何らかの項目で，「方言の形成過程解明」をテーマとした論文を書くことは義務（努力義務）と考える。

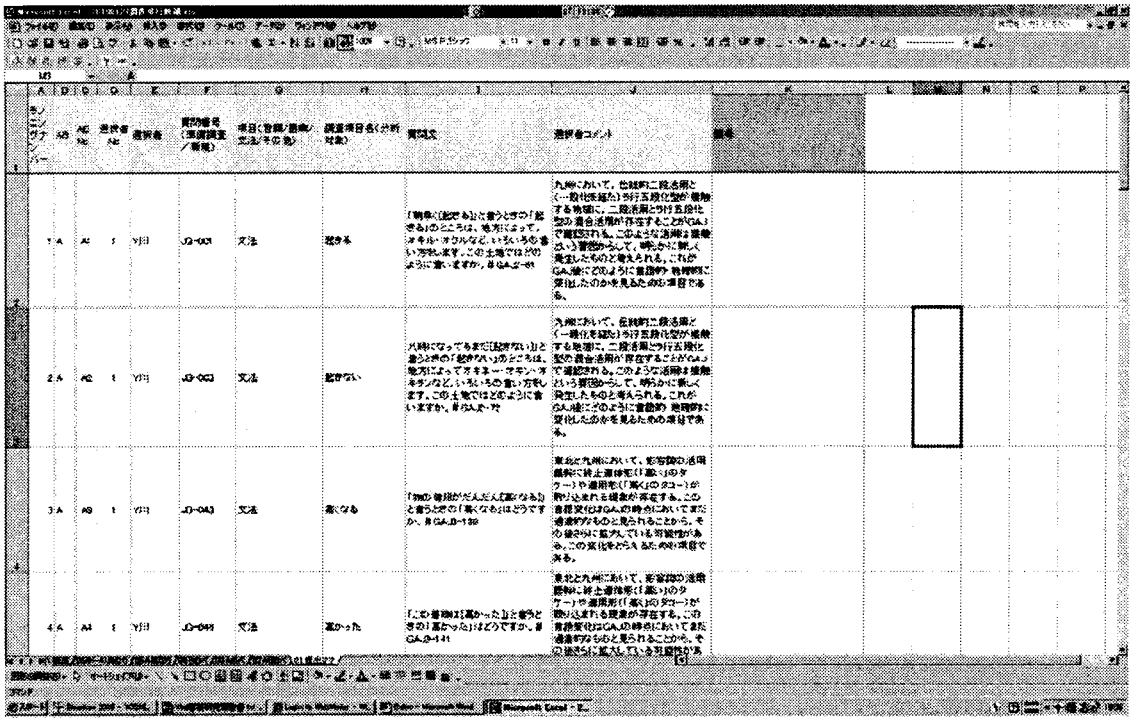
大西リーダーと WG からの回答に対しては，小林より「このプロジェクトの根幹に「分布の変動・経年比較」があるものと理解していたが，このことと実際の項目選定作業とを繋ぐ“調査全体の構想”が十分見えてこないので，とまどっていた。この点についての議論がほとんどなかったところが少々心残りである」というコメントと，調査項目選定の観点についてまとめられたレポートが，共同研究者メーリングリストに送られた。

コメントは，本プロジェクトにおける共同研究者間での検討のあり方について反省を促されるものである。また「調査項目選定の観点」についてのレポートは，方言分布プロジェクトの研究目的の曖昧だった部分・文言を具体化して記述したものであり，項目選定作業に際して非常に参考になり，大きな助けとなるものであった。

以上の通り，全体打合会と，メーリングリストでの検討・議論を経たのち，研究目的の達成をめざして，また期限に追われて，共同研究者により本調査項目選定は行われた。全体打合会が 2009(平成 21)年 12 月 20 日，項目を選定しそれを WG に送信する締め切りが 2010(平成 22)年 1 月 6 日であったから，共同研究者は年末年始にこの作業を進めた。

吉田がそれを取りまとめ，電子データ化した。具体的には，エクセル表に 1 項目 1 行でまとめていき，今後の作業の便を図ったのである。その一部を次ページに示す。

【提出された調査項目候補をまとめたエクセル表（部分）】



共同研究者は年末年始に調査項目選定提出作業に取りかかり，吉田はそのとりまとめを行ったが，吉田の作業実時間でいうと，年末年始の休みがない状態になった。研究所は 12 月 29 日から 1 月 3 日まで閉まってしまうので自宅での作業となったが，提出される調査項目のとりまとめと，それに伴う諸確認作業，全体打合会の議事録作成や，関連するプロジェクトの作業にかかりきりとなり，暮れ正月がなかった。この規模の調査研究プロジェクトにおいて，調査項目の提出ととりまとめの時は，繁忙期となるため，十分な人員と時間を確保することが望ましいといえよう。

22 名の共同研究者から提出された項目候補は全部で 211 項目。具体的な内訳は以下のようになった。

	音韻	語彙	文法	合計
A 項目	5	28	67	100
B 項目	1	22	59	82
合計	6	50	126	182
準備調査質問文ベース	4%	38%	58%	
準備調査分析対象ベース	8%	36%	56%	

6.4. 調査項目候補の検討内容

共同研究者22名から提出された調査項目候補を検討し，調査票の形にするまでの経過を報告する。

経過の概要は次のようになる。

・2010(平成22)年1月30日～31日　WG打合会での検討
・2010(平成22)年3月1日～2日　WG打合会での検討
・2010(平成22)年3月6日～15日　共同研究者への確認作業
・2010(平成22)年3月22日～23日　全体打合会での検討
・2010(平成22)年3月24日～5月21日　国研事務局内での検討
・2010(平成22)年5月22日～23日　全体打合会での確認
・2010(平成22)年5月24日～7月26日　国研事務局内での検討，調査票の整形，校正，印刷
・2010(平成22)年7月26日　『全国方言分布調査　調査票』納品

この期間は以前にも増して多忙となった。調査項目構築作業自体が佳境となるし，加えて2010(平成22)年3月には国研内での研究室移転引っ越し作業と事務局員の疾病・冠婚葬祭が相次ぐ事態となった。方言分布P作業の多さと，それに従事する人員態勢が見合わず，事務局員は連日膨大な作業に忙殺された。

以下，経過概要にそって，調査項目候補検討の作業経過を述べる。

① WGでの検討

この期間に，WGでは2回の検討会を行った。初回検討会の内容は次のようになる。

「方言の形成過程解明のための全国方言調査」事前研究WG打合会

・日時：2010(平成22)年1月30日（土）13:00～18:00
　　2010(平成22)年1月31日（日）　9:30～17:30
・会場：国立国語研究所　412方言研究室

検討内容は，大きく分けると次の3点である。本調査調査項目の検討，調査結果データベース構築について，調査担当者について。

出席者は1月30日は新井，小西，高木，竹田，日高，松丸，鑓水，吉田の8名。1月31日は初日の8名に大西リーダーを加えた9名であるが，大西は調査担当者についての検討の際に同席したのみで調査項目の検討には加わっていない。

以下，調査項目検討作業の内容について述べる。

吉田は，取りまとめた調査項目候補の一覧に，検討に必要な観点も加えたエクセル表を作成した。各列次のような表である。

A列　ランニングナンバー
B列　AB別
C列　AB別ナンバー

D列　選択者ナンバー

E列　選択者

F列　質問番号（準備調査／新規）

G列　項目（音韻/語彙/文法/その他）

H列　重複

I列　分類

J列　調査項目名（分析対象）

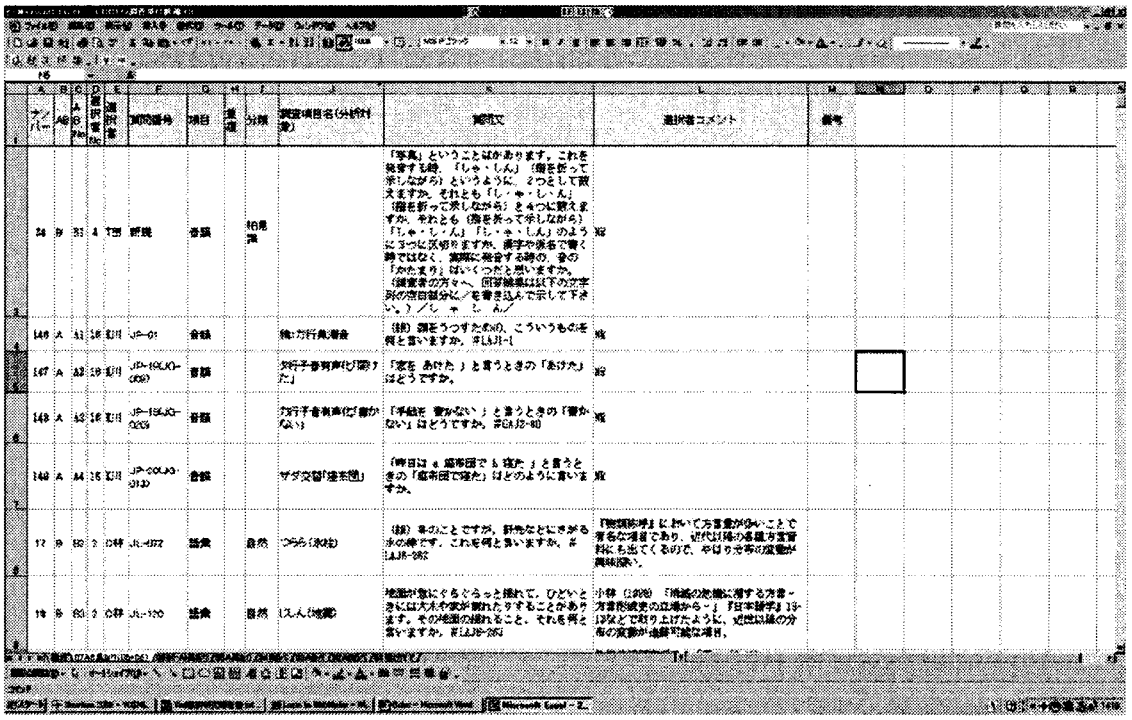
K列　質問文

L列　選択者コメント

M列　備考

これを「G列　項目」,「I列　分類」の優先キーで並べ替え，音韻・語彙・文法の順に並ぶようにし，その中も分類毎に並ぶようにした。準備調査票の配列にならい，本調査票の形式に添うであろう配列にした。その一部を以下に転載する。

【調査項目構築検討用エクセルシート（部分）】



このプリント冊子をWGメンバーに配布し,同時に研究室のプロジェクタで同じエクセル表を映し出して，その場で1項目ずつ確認検討作業を行った。あらかじめ国研図書室から言語地図データベースに収載した言語地図文献を運び込み，随時参照しながら作業を行った。

紙プリントも使いながら，電子データ上でも編集作業を行い，それを全員で確認しながら作業できたのは便利だった。文明の利器による便利さを実感しつつ，このようなものの

なかったかつてのLAJ, GAJの時の作業の大変さがしのばれた。だが今回も，文明の利器は使いながらも，作業はべたべたの基礎作業であることは同じである。かつては紙での作業だったのが電子データ上での作業になってコピー等の付随する作業には便利になったけれども，研究作業としてはかつてと同じことを行ったと言っていいだろう。

まずは全体の構成を把握した上で，１つ１つの項目を順番に見ていった。「I列　分類」，「J列　調査項目名（分析対象）」に記載のないものにはその情報を付与した。「K列　質問文」は共同研究者から提出された質問文だが，そのワーディングが適切かを検討して必要ならば文言を変えた。調査票付図の新規作成が必要な項目についてはその具体的な絵柄について検討した。また調査項目全体構成に関わることとして，項目の順番を適切になるように並べ替えたり，項目の構成比と整合性を検証したり，調査にかかる時間を考慮し全体量を考えたりした。インフォーマントが回答しやすい項目かを考慮し，あらためて質問項目が研究目的に合致するものかどうかを客観的に見直す作業も行った。

質問の目的や意図について，より明確にする必要があるものについてはその項目提出者に問い合わせることとし，その問い合わせ内容を検討した。

全国方言調査として，地域における調査項目のバランスも考え，以下のような項目を選定，加えることを決めた。琉球方言を主たる観点とする項目，北海道方言を主たる観点とする項目，大都市や中核地方都市を観点とする項目である。琉球方言を主たる観点とする項目については，WGが平山輝男・大島一郎・中本正智(1967)『琉球先島方言の総合的研究』（明治書院）を参照し，鹿児島・京都・本土方言との関連が見いだせる語彙項目が適切と考え，仮調査項目として名詞７項目，動詞５項目，形容詞１項目を挙げて，それらについて九州地方・琉球地方担当共同研究者の杉村，木部，狩俣に検討項目として諮ることにした。北海道方言を主たる観点とする項目については，北海道・東北方言の関連が見いだせる項目を，北海道・東北地方担当共同研究者の竹田と日高が考案することにした。

また，年度ごとに報告対象とする「速報用」項目を設けることも検討した。

調査項目の検討は，この２日間では終了せず，もう１回WGでの検討会を行うことを決めた。

２回目の検討会は，以下の要領で行った。

「方言の形成過程解明のための全国方言調査」事前研究WG打合会

・日時：2010(平成22)年３月１日（月）13:00～17:30
　　2010(平成22)年３月２日（火）9:00～17:00

・会場：国立国語研究所　412方言研究室

出席者は両日とも新井，小西，高木，竹田，日高，松丸，鑓水，吉田の８名。検討内容は，大きく分けると次の４点である。本調査調査項目の検討，調査結果データベース構築について，調査担当者について，2010(平成22)年３月22日-23日開催全体打合会の場での提案準備。

吉田は前回打合会での検討内容をふまえた調査項目検討のエクセル表を用意した。各列次のような表である。

A列　WGナンバー

B列　AB別

C列　AB別ナンバー

D列　選択者

E列　質問番号（準備調査／新規）

F列　項目（音韻/語彙/文法/その他）

G列　分類

H列　調査項目名（分析対象）

I列　質問文

J列　選択者コメント

K列　備考

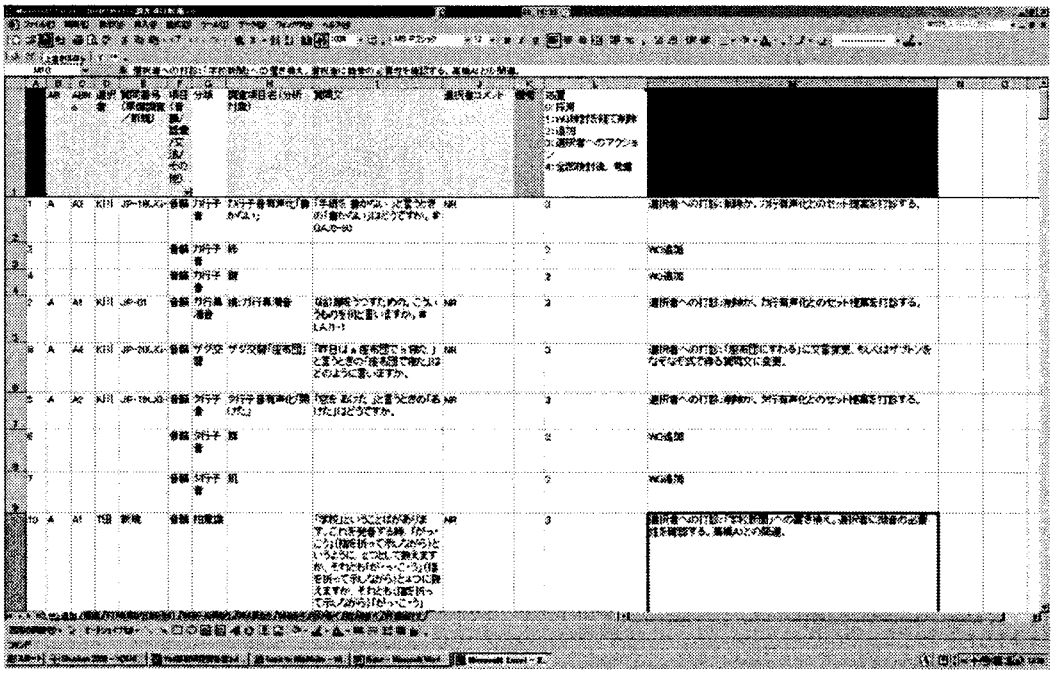
L列　処置

M列　WGのコメント（2010/01/30-31）

これを「F列　項目」,「G列　分類」の優先キーで並べ替え，音韻・語彙・文法の順に並ぶようにし，その中も分類毎に並ぶようにした。「L列　処置」には次の事項を入力した。0:採用，1:WG検討を経て削除，2:追加，3:選択者への問い合わせ後採用予定，4:全部検討後考慮

エクセル表の一部を以下に転載する。

【調査項目構築検討用エクセルシート（部分）】



前回の打合会と同様，プリント冊子とプロジェクタに映し出される電子データとの両方を使いながら，続きの検討を行った。語彙項目担当の新井，文法項目担当の日高からは，準備調査結果分析の追加報告も提出され，それらも合わせて見ながら検討を行った。

この３月の打合会で，全調査項目について WG での検討を終えた。行った作業を列挙すると次のようにまとめられる。項目数の調整，項目内容のバランス調整，調査配列順の設定，ワーディングの吟味，選択肢がある項目における選択肢の検討，項目提出者への確認事項の検討。

以上の WG 検討会での作業内容をふまえ，調査項目候補を吉田がエクセル表にまとめることになった。それを共同研究者全員にメールで送り，加えて各自に確認質問事項を送り，2010(平成 22)年 3 月 22 日・23 日に開催される全体打合会に向けての事前検討を依頼することにした。

② 共同研究者への確認作業

WG での検討内容をふまえた調査項目一覧の作成が終わり，共同研究者に依頼する作業要領も作り終えて，共同研究者用のメーリングリストでそれらを送り，連絡を行ったのが 2010(平成 22)年 3 月 6 日である。全員への共通の連絡を行った後，共同研究者に別個，確認質問事項を問い合わせるメールを送信した。質問に対する共同研究者からの回答は，WG メールアカウントに送信してもらうようにし，WG 全員が把握できる状態にした。回答返信の締め切りは 2010(平成 22)年 3 月 15 日午前 9 時とした。回答内容を取りまとめ，2010(平成 22)年 3 月 22 日・23 日に開催される全体打合会での検討準備のためである。

この時点で取りまとめた調査項目候補一覧である「20100306 調査項目候補。xls」ファイルの一部を，次ページに転載する。

また，共同研究者に送信した作業要領である「全国方言調査　調査項目検討について」の内容を，以下に転載する。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	●項目連関して問い合わせをするかたのお名前	●WGが付した仮ナンバー	●A項目かB項目の区別 凡例	●選択者が付したA	●項目の選択者名 凡例・複数者から	●準備調査での質問番号，もしくはLAJ/GAJでの質問番号，・新規，	●「音韻」「語彙」「文法」の3	●便宜的に付けた分類．	●便宜的に付けた調査項目名．		●現時点での質問文，補かい表現などは，配列順決定後に調整する． ・「～のところはどのようにいいますか」を基本的な文言にする． ・「#GAJx-yyy<zzz>」のように，質問番号も必ず加える．地図化はされていなくても回答は資料一覧にあり，比較できる．	■M列処置　凡例 0：採用予定 2：検討後決定 5：削除予定		
2			AB	ABNo	選択者	質問番号	項目	分類	分析対象	分析対象	質問文	発言者；コメント	処置	絵関連メモ
3	★KJH	1	A	A3	KJH	JP-18(JG-020)	音韻	子音/語中子音の有声化（カ行）	書かない：カ行子音有声化	M	「手紙を 書かない 」と言うときの「書かない」はどうですか。#GAJ2-80	WG：削除か，カ行有声化とのセット提案を打診する。	2	
4	★KJH	2	A	A1	KJH	JP-01	音韻	ガ行鼻濁音	鎖：ガ行鼻濁音	M	（絵）鎖をうつすための，こういうものを何と言いますか。#LAJ1-1	WG：削除か，カ行有声化とのセット提案を打診する。	2	
5	★KJH	3	N	N	WG	新規	音韻	子音/語中子音の有声化（カ行）	柿：カ行子音有声化	M	（検討中）	WG：KJHさんにA1,A3の代替候補として提案する。	2	
6	★KJH	4	N	N	WG	新規	音韻	子音/語中子音の有声化（カ行）＋ガ行鼻濁音	鍵：カ行子音有声化＋ガ行鼻濁音	M	（検討中）	WG：KJHさんにA1,A3の代替候補として提案する。	2	
7	★KJH	5	A	A2	KJH	JP-19(JG-009)	音韻	子音/語中子音の有声化（タ行）	開けた：タ行子音有声化	M	「窓を あけた 」と言うときの「あけた」はどうですか。	WG：削除か，タ行有声化とのセット提案を打診する。	2	
8	★KJH	6	N	N	WG	新規	音韻	子音/語中子音の有声化（タ行）	旗：タ行子音有声化	M	（検討中）	WG：KJHさんにA2の代替候補として提案する。	2	

全国方言調査　調査項目検討について

目次

1.「20100306 調査項目候補。xls」ファイルの説明
2.全体打合会に向けての事前検討について

1.「20100306 調査項目候補。xls」ファイルの説明

・「20100306 調査項目候補。xls」は，共同研究者の皆さんから出していただいた調査項目候補をとりまとめ，事前研究 WG の検討結果をまとめたエクセルファイルです。

・現時点での検討のとりまとめであることをご了承の上，ご確認ください。内容については，共同研究者各人に種々確認を取らせていただきながら，さらに検討を重ねる必要があります。

・シートは２つあります。

シート　1）提出ママ

シート　2）20100306 検討

・「シート　1）提出ママ」について

2010 年 1 月 6 日締め切りで皆さんから出していただいた項目候補をまとめたものです。
のべで 211 項目挙がっています。参考のため付けております。

・「シート　2）20100306 検討」について

事前研究 WG は，1/30-31，3/1-2 の２回４日間，打合会を行い，調査項目内容を検討しました。全項目候補の検討を終え，内容をまとめたものです。採用候補が 197 項目，不採用候補が 19 行分あります。特に，こちらのシートを作業用にご確認いただきます。

シート凡例（シートの１行目にも載せています）

列	列名称	説明
A 列	確認	項目に関連して問い合わせをするかたのお名前。 NR：不問
B 列	No	WG が付した仮ナンバー。
C 列	AB	A 項目か B 項目かの区別。 凡例 A：A 項目として挙げられたもの（選択者が複数あり，１つでも A 項目と挙げられている場合は A と表示。） B：B 項目として挙げられたもの（A 項目という指定は１つもなかったもの。） N：New。WG が新規に加えたもの。
D 列	ABNo	選択者が付した A1～B5 までのナンバー。 凡例 ・複数者から選択されている場合，スラッシュで区切って示した。提示順は D 列の「選択者」提示順と同じ。 ・N：New。WG が新規に加えたもの。
E 列	選択者	項目の選択者名。 凡例 ・複数者から選択されている場合，＆でつないで示した。提示順は C 列の「ABNo」提示順と同じ。

		・WG：WGが加えたもの。
F列	質問番号	準備調査での質問番号，もしくはLAJ/GAJでの質問番号。 ・新規：新規項目として出されたもの。
G列	項目	「音韻」「語彙」「文法」の3つに分けた。
H列	分類	便宜的に付けた分類。文法項目の頭に付いている数字は並べ替えのための仮番号。
I列	調査項目名（分析対象）	便宜的に付けた調査項目名。
J列	質問文	現時点での質問文。細かい表現などは，配列順決定後に調整する。
K列	選択者コメント	選択者が複数いる場合は，コメントの頭に名前を付した。
L列	処置	凡例 0：採用 2：追加 3：選択者へのアクション後採用予定 4：全部検討後、考慮 5：WG検討を経て削除
M列	WGのコメント	（打合会でのメモ。）

2．全体打合会に向けての事前検討について

・事前研究WGより，共同研究者の方に，調査項目の趣旨等についておたずねしたいことがあります。

各調査項目候補について，A列「確認」にお名前が挙がっている方に，後ほど個別に問い合わせのメールを送らせていただきます。まずは現時点での本調査項目候補全体に目を通し，そしてA列にお名前のある項目にご注目ください。

・調査項目に関する問い合わせのメールへのご返信は，事前研究WGメンバー用MLのアドレス に送信してください。事前研究WGメンバー全員が把握できるようにするためです。

・問い合わせへの返信の締め切りは，【3月15日（月）午前9:00】とさせていただきます。3月22日（月）開催の全体打合会にて本調査項目について検討しますので，その準備のため，御協力くださいますよう，どうぞよろしくお願い申し上げます。

・この件についてのお問い合わせは，吉田までお願いいたします。

（転載以上）

共同研究者への個別の確認例を次に挙げる。個人宛メールで，確認項目を抜き出したエクセル表を添付ファイルとして送り，それを参照しながらメール本文内の質問を見てもらう形式にした。

例として，「K川」さんへの質問確認は以下のような文面を送った。

K川様
吉田雅子@国立国語研究所です。
方言分布プロジェクトの，事前研究WGを代表して，メール差し上げます。
先に，「[jdc:00005] 本調査項目候補と事前検討について」のメールをお送りしましたが，その中で申し上げました，個別の問い合わせをさせていただきます。
添付のエクセルファイルの「K川」シートをご覧ください。
「2)20100306検討」シートより，A列「確認」に「★K川」とあるものを抜き出してあります。
以下，B列「No」の数字を示しながら4点，おたずねします。
N列の「個別質問」が質問番号に対応します。

■質問1：No1,2,3,4について
A1(No2)でガ行鼻濁音の項目，A3（No1）でカ行子音の項目を挙げていらっしゃいますが，これをやめて，No3，No4のようにするのはいかがでしょうか。
A1(No2)のJP-18は，「書かない」という文法項目も併せ持っていましたが，1項目1調査焦点という方針になりましたので，「柿」と「鍵」で聞いてはどうかと考えました。
この項目について，変更する場合は，新質問文もお作りください。

■質問2：No5,6,7について
A2(No5)でタ行子音の項目を挙げていらっしゃいますが，これをやめて，No6，No7のようにするのはいかがでしょうか。
A2(No5)のJP-19は，「あけた」という文法項目も併せ持っていましたが，1項目1調査焦点という方針になりましたので，「旗」と「肌」で聞いてはどうかと考えました。
この項目について，変更する場合は，新質問文もお作りください。

■質問3：No8について
A4(No8)でザダ交替の項目を挙げていらっしゃいますが，これについて質問文を「「座布団にすわる」はどのように言いますか」に文言変更，もしくはザブトンをなぞなぞ式で得る質問文に変更するのはいかがでしょうか。
A4(No8)のJP-20は，「寝た」という文法項目も併せ持っていましたが，1項目1調査焦点という方針になりましたので，ザダ交替に特化しての質問文にしてはどうかと考えました。
この項目について，変更する場合は，新質問文もお作りください。

■質問4：No9について
音韻項目について，全国調査に含めるものとしては四つ仮名の項目がよいかという話題がWG検討時に出ました。
しかし，この種の全国調査において，音韻項目は大変難しいことも理解しております。
四つ仮名の調査項目は入れない，ということも含めて，ご意見をいただけますでしょうか。
また，上記の質問1～3についても同様，音韻項目全体としてのご意見をいただければと存じます。
音韻項目は削除，ということもあり得ると思いますし，ワーディング等工夫して音韻項目を盛り込む，ということもあると思います。

音韻項目全体についてのお考えをお示しください。

以上の質問１～質問４について，ご回答お願い申し上げます。
ご返信は【３月１５日（月）９：００】までにお送りください。
ご多用中誠に恐れ入りますが，どうぞよろしくお願い申し上げます。

（メール引用以上）

また①でも述べたとおり，琉球方言を主たる観点とする項目を選定する方針から，共同研究者の狩俣，木部，杉村に，次のような依頼メールを送信した。

狩俣先生，木部先生，杉村先生
吉田雅子@国立国語研究所です。
方言分布プロジェクトの，事前研究ＷＧを代表して，メール差し上げます。
先に，本調査項目について，個別の問い合わせをさせていただきました。
今回は，このメールに添付しているエクセルファイルの，「九州琉球」シートをご覧ください。
「2) 20100306 検討」シートより，A 列「確認」に「★狩俣★木部★杉村」とあるものを抜き出してあります。
No31 の１つだけなのですが，これに関連して，おはかりしたいことがございます。
事前研究ＷＧの検討時に，「琉球方言を主たる観点とする調査項目を加えたい」という意見が出ました。10 項目ほど，候補に加えたいと思います。
九州地方・琉球地方ご担当である，杉村先生・木部先生・狩俣先生に，この点についてご意見をいただきたくお願いいたします。
ＷＧでは，
平山輝男・大島一郎・中本正智 (1967)『琉球先島方言の総合的研究』明治書院
を参考に，鹿児島・京都・本土方言との関連が見いだせる語彙項目が適切ではと考え，仮候補として以下を選出しました。
（添付の pdf ファイルもご覧ください。対象ページをコピーしています。）

凡例
No. 語彙【調査の着目点】(『琉球先島方言の総合的研究』のページ)
(1) 名詞
1. 大晦日【琉球：ツシヌユー類，「つごもりに対応」】(p. 201)
2. 本（書物）【琉球：ムチ類，「書物」と対応。GAJ「珍しい本ですね」と対照？】(p. 265)
3. 結（労働交換）【社会構造と連関する，琉球の特徴的語彙】(p. 266)
4. 米【琉球：マイ類。杉村先生の候補 JL-030「うるち」との関連】(p. 283)
5. 稲【琉球：マイ類】(p. 339)
6. 暴風【琉球：オーカゼ類・タイフー類，琉球の特徴的語彙】(p. 322)
7. さとうきび【琉球方言内でのバラエティ】(p. 342)
(2) 動詞
8. 教える【琉球：ナラースン類，「習わせる」に相当】(p. 451)
9. 叱る【琉球：ユウン類，「言う」に相当】(p. 453)
10. 売る【琉球：カースン類，「買わせる」に相当】(p. 455)

11. 買う【琉球：ウ音便との関連】(p. 456)
12. 貸す【琉球：カラス類，「借りさせる」に相当】(p. 457)
(3) 形容詞
13. 美しい【LAJ047「ああ、虹がきれいだ」との対照？。琉球の特徴的語彙】(p. 498)

これら 13 語ですが，候補としてはいかがでしょうか？「これは適切」として選んでいただいたり，「これは不適切」として却下していただいたり，「これはこの語と差し替える方がよい」という代替候補を挙げていただいたり，そのような観点からのご教示をお願いいたします。
10 項目前後，加えられればと思っております。ご検討くださいませ。
ご返信は【３月１５日（月）９：００】までにお送りください。
ご多用中誠に恐れ入りますが，どうぞよろしくお願い申し上げます。

（メール引用以上）

共同研究者による確認作業期間は 2010 (平成 22) 年 3 月 6 日から 15 日の 9 日間，正味 8 日間と短かったが協力が得られた。寄せられた回答は吉田が取りまとめ，2010 (平成 22) 年 3 月 20 日にはエクセル表として共同研究者全員にメーリングリストで送信し，2010 (平成 22) 年 3 月 22 日開催の全体打合会の場ではこれをプリントアウトした冊子を配布することを予告した。全体打合会に先立ち，共同研究者が調査項目候補を電子データの形ではあるが確認できるようにした。

③ 全体打合会での検討

2010 (平成 22) 年 3 月 22 日・23 日の両日にわたり，方言分布 P の共同研究者が集まり全体打合会が開催された。ここでは全体打合会の内容にそって，調査項目選定検討作業の経過について述べる。

「方言の形成過程解明のための全国方言調査」全体打合会
・日時：2010 (平成 22) 年 3 月 22 日（月）13:00～18:30
・会場：国立国語研究所　多目的室

出席者は新井，大西，沖，狩俣，小西，小林，高木，高橋，竹田，都染，中井，日高，舩木，松丸，三井，吉田の 16 名。

議題は次の２つである。（　）内は発題者。

議題１. 担当地域・協力者・地点数の検討（大西）
議題２. 調査項目・内容の確定（吉田）

以下，調査項目に関わる議題２の内容について述べる。

配付資料は「20100322 本調査項目候補」，「20100322 本調査項目候補リスト」の 2 つを用意した。「20100322 本調査項目候補」は 2010 (平成 22) 年 3 月 20 日にメーリングリストで送信した電子ファイルの冊子版，「20100322 本調査項目候補リスト」は前者ファイルの抜粋版である。一部を次ページ，次々ページに転載する。

1

20100322本調査項目候補

方言分布P 20100322
0:採用予定 2:検討後決定 5:採録予定

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1			AB	ABNo	調査者	質問番号	項目	分類	分析対象	主目的	質問文	発言者：コメント	採録	絵関連
2	★K川	1	A	A3	KJ川	JP-18(JG-020)	音韻	子音/語中子音の有声化（カ行）	書かない：カ行子音有声化	M	「手紙を 書かない 」と言うときの「書かない」はどうですか。#GAJ2-80	WG：削除か，カ行有声化とのセット提案を打診する。	2	
3	★K川	2	A	A1	KJ川	JP-01	音韻	ガ行鼻濁音	鏡：ガ行鼻濁音	M	（絵）顔をうつすための，こういうものを何と言いますか。#LAJ1-1	WG：削除か，カ行有声化とのセット提案を打診する。	2	
4	★K川	3	N	N	WG	新規	音韻	子音/語中子音の有声化（カ行）	柿：カ行子音有声化	M	（検討中）	WG：KJ川さんにA1,A3の代替候補として提案する。	2	
5	★K川	4	N	N	WG	新規	音韻	子音/語中子音の有声化（カ行）＋ガ行鼻濁音	鍵：カ行子音有声化＋ガ行鼻濁音	M	（検討中）	WG：KJ川さんにA1,A3の代替候補として提案する。	2	
6	★K川	5	A	A2	KJ川	JP-19(JG-009)	音韻	子音/語中子音の有声化（タ行）	開けた：タ行子音有声化	M	「窓を あけた 」と言うときの「あけた」はどうですか。	WG：削除か，タ行有声化とのセット提案を打診する。	2	
7	★K川	6	N	N	WG	新規	音韻	子音/語中子音の有声化（タ行）	旗：タ行子音有声化	M	（検討中）	WG：KJ川さんにA2の代替候補として提案する。	2	
8	★K川	7	N	N	WG	新規	音韻	子音/語中子音の有声化（タ行）	肌：タ行子音有声化	M	（検討中）	WG：KJ川さんにA2の代替候補として提案する。	2	
9	★K川	8	A	A4	KJ川	JP-20(JG-013)	音韻	子音/ザ行とダ行の交替	座布団：ザダ交替	M	「昨日は a 座布団で b 寝た 」と言うときの「座布団で寝た」はどのように言いますか。	WG：「座布団にすわる」に文言変更，もしくはザブトンをなぞなぞ式で得る質問文に変更するのはどうか。	2	
10	★K川	9	N	N	WG	JP-08,JP-09,JP-10,JP-11	音韻	子音/四つ仮名	フジ、フヂ、スズ、ミヅ	M	（検討中）	WG：音韻項目として入れるべきかを検討する。	2	

【20100322 本調査項目候補リスト】

20100322本調査項目候補リスト

	AB	ABNo	選択者	質問番号	項目	分類	分析対象	主目的	処理
1	A	A3		JP-18(JG-[illegible])	音韻	子音/語中子音の有声化（カ行）	書かない：カ行子音有声化	M	2
2	A	A1		JP-01	音韻	ガ行鼻濁音	鏡：ガ行鼻濁音	M	2
3	N	N		新規	音韻	子音/語中子音の有声化（カ行）	柿：カ行子音有声化	M	2
4	N	N		新規	音韻	子音/語中子音の有声化（カ行）＋ガ行鼻濁音	鍵：カ行子音有声化＋ガ行鼻濁音	M	2
5	A	A2		JP-19(JG-[illegible])	音韻	子音/語中子音の有声化（タ行）	開けた：タ行子音有声化	M	2
6	N	N		新規	音韻	子音/語中子音の有声化（タ行）	旗：タ行子音有声化	M	2
7	N	N		新規	音韻	子音/語中子音の有声化（タ行）	肌：タ行子音有声化	M	2
8	A	A4		JP-20(JG-[illegible])	音韻	子音/ザ行とダ行の交替	座布団：ザダ交替	M	2
9	N	N		JP-08, JP-[illegible]	音韻	子音/四つ仮名	フジ、フヂ、スズ、ミヅ	M	2
10	A	A1		新規	音韻	拍意識/文字意識	がっこう：拍意識/文字意識	Nv	0
11	B	B1		新規	音韻	拍意識/文字意識	しゃしん：拍意識/文字意識	Nv	2
12	N	N		T田A1, T田B1を受けての試作	音韻	拍意識/文字意識	がっきゅうしんぶん：拍意識/文字意識	Nv	2
13	N	N		JL-001	語彙	自然/虫/軟体動物	かたつむり（蝸牛）	M	2
14	N	N		JL-003	語彙	自然/虫/昆虫	かまきり（蟷螂）	M	2
15	A	A1		JL-010	語彙	自然/動物/は虫類	とかげ	M	0
16	A	A1		JL-004	語彙	自然/虫/昆虫	とんぼ（蜻蛉）	M	0
17	A	A4		新規	語彙	自然/虫/昆虫	ありじごく（蟻地獄）	Nv	0
18	N	N		JL-005	語彙	自然/虫/昆虫	ぼうふら（蚊の幼虫）	V	2
19	B	B1		JL-029	語彙	生活/農林業/穀物・芋類	かぼちゃ	M	2
20	N	N		JL-023	語彙	生活/農林業/穀物・芋類	じゃがいも（馬鈴薯）	M	2
21	B	B3		JL-024	語彙	生活/農林業/穀物・芋類	さつまいも（甘藷）	M	2
22	N	N		JL-025	語彙	生活/農林業/穀物・芋類	さといも（里芋）	M	2
23	N	N		JL-026	語彙	生活/農林業/穀物・芋類	やまいも（山芋）	C	2
24	N	N		JL-027	語彙	生活/農林業/穀物・芋類	イモの意味	M	2
25	A	A1		JL-019	語彙	自然/植物/野草	ひがんばな（彼岸花）：名称	M	0
26	B	B5		JL-019	語彙	自然/植物/野草	ひがんばな（彼岸花）：語源意識	Nv	2
27	B	B5		JL-019	語彙	自然/植物/野草	ひがんばな（彼岸花）：利用方法	Nv	2
28	A	A1		新規	語彙	生活/農林業/養蚕	かいこ（蚕）	Nv	0
29	A	A4		新規	語彙	生活/農林業/養蚕	くわ（桑）	Nv	0
30	A	A2		新規	語彙	生活/農林業/養蚕	くわのみ（桑の実）：名称	Nv	0
31	A	A3		新規	語彙	生活/農林業/養蚕	くわのみ（桑の実）：利用方法	Nv	0
32	N	N		新規	語彙	生活/農林業/養蚕	くわばたけ（桑畑）：名称	Nv	2
33	N	N		新規	語彙	生活/農林業/養蚕	くわばたけ（桑畑）：土地の上位概念	Nv	2
34	N	N		新規	語彙	生活/農林業/養蚕	くわばたけ（桑畑）：有無	Nv	2
35	N	N		JL-067-b	語彙	生活/住生活/建具・道具・屋外	いど（井戸）：水汲みの場所	Nv	2
36	N	N		JL-067-a	語彙	生活/住生活/建具・道具・屋外	いど（井戸）：名称	M	2
37	A	A6		JL-030	語彙	生活/農林業/米・米作	うるち（粳米）	M	0
38	B	B2		JL-035	語彙	生活/食生活/素材・食品	ひきにく	Nc	2
39	N	N		新規	語彙	生活/食生活/素材・食品	ニクの意味	Nc	2
40	N	N		新規	語彙	生活/食生活/素材・食品	ニクの意味：総称	Nc	2
41	N	N		新規	語彙	生活/食生活/素材・食品	ニクの意味：種類	Nc	2
42	N	N		新規	語彙	生活/食生活/素材・食品	ニクの意味：多用するもの	Nc	2
43	A	A1		JL-013	語彙	自然/魚介類	うろこ（鱗）	M	0
44	A	A2		JL-014	語彙	自然/魚介類	<蟹の>こうら（甲羅）	C	0
45	A	A3		JL-022	語彙	自然/植物/実・葉等	<柿の>へた（蔕）	C	0
46	A	A4		新規	語彙	自然/植物/実・葉等	<茄子や苺の>へた（蔕）	C	0
47	A	A5		JL-048	語彙	人間/人体/皮膚・傷等	かさぶた	C	0

この資料にそって，WGの調査項目構築担当の音韻グループ，語彙グループ，文法グループより，それぞれの項目選定についての経過説明を行った。その後，共同研究者全員で，1項目ずつ順番に内容について検討を行った。検討内容についてはその場で竹田が電子ファイルに加筆入力して記録した。調査項目全体を把握しながらの1項目ずつの検討であるから，行きつ戻りつの作業で，時間がかかった。この日には全項目の検討を終えることができず，翌日23日9:00より412号室において調査項目の検討の継続作業を行うことを決め，18:30に閉会した。

2010(平成22)年3月23日は，調査項目選定会議と共同研究発表会とを開催した。共同研究発表会が14:00～16:00に開催され，それを除いた残りの時間は調査項目選定会議にあてた。

「方言の形成過程解明のための全国方言調査」調査項目選定会議

・日時：2010(平成22)年3月23日（火）9:05～12:30，13:15～13:45，16:00～17:30

・会場：国立国語研究所　412方言研究室

9:05～12:30，13:15～13:45の出席者は，新井，大西，高橋，竹田，日高，舩木，松丸，吉田の8名。16:00～17:30の出席者は新井，大西，竹田，日高，舩木，吉田の6名である。

前日に引き続き，残りの調査項目候補の検討を行い，一通り全項目の検討を終えた。しかしまだ個別に確認したり検討したりする事項が残されており，調査項目構築が完成したわけではなかった。引き続き，国研事務局内で，残された課題にあたりながら調査項目構築作業を継続することとなった。

④ 国研事務局内での検討

2010(平成22)年3月23日の全体打合会終了後，研究所内で研究室の引っ越し作業があり，3月24日から3月31日までは調査項目構築作業に従事できなかった。年度が変わった2010(平成22)年4月1日から引っ越し後の片付かない部屋でやっと作業再開となった。

吉田が2010(平成22)年3月22日・23日の全体打合会での検討内容を取りまとめ，調査項目候補の一覧を整理し直した。再確認，再検討すべき事項については，ワーディングの再検討が多かったが，その項目の選定者に作業を依頼した。このやりとりはメールで行った。

見直しの終わった全項目が吉田の手元に集まり，それをまとめて，調査票に掲載する文章としての統一をとる作業を行った。この時点で新規に加えたのは「項目のねらい」である。それまで各調査項目の「コメント」として記録していた様々な情報，例えば調査項目選定に当たり提案者が付したコメントや，検討の段階で出されたコメントなどをまとめたり，必要があれば共同研究者に個別に執筆を依頼したりしたものに，適宜吉田が改稿を加えて「項目のねらい」の記述としての統一をはかった。

加えて，調査票付図の総数を確認し，その中で既存の絵を再使用する項目と，新規の絵が必要な項目について確認した。

調査項目についてはこの段階まで作業を行った。大西の指示により，この時点で大西に調査項目の全データを引き渡し，調査票への最終整形作業は大西が担当することとなった。内容に関わらない整形作業をリーダーにさせるのは気が引けたが，大西の指示に従った。調査項目のデータを大西に引き渡したのは2010(平成22)年4月27日である。すなわち，WG が担当した調査項目構築作業はこの時点で一区切りがつけられたということになろう。最終整形作業を残し，WG の調査項目構築作業はいちおうの終了をみた。

調査項目の内容が完成し，以後，調査項目についての作業は調査票への整形が主となった。この作業は大西を中心に国研事務局が行った。2010(平成22)年5月22日・23日に共同研究者による全体打合会が開催されることになっており，その場でメンバーに調査票構成案を確認してもらうための作業を行った。調査票に掲載する文言について，統一が取れた整合性のあるものかを確認し，調査項目の一覧を作成した。

⑤ 全体打合会での確認

2010(平成22)年5月22日・23日の両日にわたり，方言分布Pの共同研究者が集まり全体打合会が開催された。ここでは全体打合会の内容にそって，調査項目に関わる事項について述べる。

「方言の形成過程解明のための全国方言調査」全体打合会

・日時：2010(平成22)年5月22日（土）9:00～20:10
　　2010(平成22)年5月23日（日）9:00～14:45

・会場：国立国語研究所　多目的室

調査項目に関する議事は初日の5月22日に行われた。5月22日出席者は朝日，新井，大西，沖，狩俣，岸江，木部，小西，渋谷，杉村，高木，竹田，都染，中井，松丸，三井，鑓水，吉田の18名。

最初の議題が「調査項目（調査票の構成）」であり，大西が発題した。資料「全国方言調査項目最終候補」にそって説明がなされ，全員で1つずつ順番に検討を行った。検討内容についてはその場で竹田が電子ファイルに加筆入力して記録した。

9:00から12:30までをこの議題にあてた。調査項目に関する，共同研究者全員での検討の機会はこれが最終となった。この場で出された内容については，以後，事務局が引き取り，作業内容に反映させることとなった。

この全体打合会で，この後検討した議題は以下である。調査方法・調査対象者，データベース化（報告と共有化），調査実施体制（共同研究者・調査協力者），研究推進体制（具体的な研究の進路），今後の予定，事務局の体制。

研究目的達成をめざしての項目構築は，議論に議論を重ねて，この日にやっと整う段階まで来た。次に上記の議題内容について，最後まで議論が重ねられた。これも，従来の国研による調査ではなく，前例のない，全く新規の，大学共同利用機関法人の人間文化研究機構の1組織となった「国立国語研究所」が行う大規模調査であったから，という面があ

ろう。

⑥ 国研事務局での作業

全体打合会の終了した2010(平成22)年5月24日以降，国研事務局が諸作業を引き取ることとなった。調査実施体制整備の手続き，調査方法の確定と調査マニュアルの作成，データベース構築作業，調査用品の作成と手配，調査説明会の開催準備など，調査実施に向けてより具体的な作業がなされるようになり，事務局内はこれまでの中で最も多忙な時期となった。

調査項目に関することとしては，次のような作業が行われた。全体打合会で検討し残された課題の解決，調査票の整形，調査票の校正，調査票の印刷発注である。調査票の整形は大西が担当した。調査票の校正は主担当として竹田が行い，鑓水，吉田も校正を行った。

印刷は絢文社に依頼し，表紙や本体の紙を選び，印刷仕様を指定して作成した。印刷仕様は次の通りである。

・形態：A4版，170ページ，無線綴じ製本，左綴じ

・用紙：表紙…色上質最厚口，白茶色

　　本文…上質紙44.5kg，白色

2010(平成22)年7月26日に，『全国方言分布調査　調査票』が完成し，200部が納品された。

6.5. 調査票付図の作成

① 作画依頼の経緯

方言分布プロジェクトの調査票付図の作画は，伊能洋(いのうひろし)先生に依頼した。伊能先生はそのお名前からも推察されるとおり，江戸時代に数々の日本の測量図「伊能図」を作成した伊能忠敬の直系子孫であり，LAJの調査票付図もお描きになった画家である。

伊能先生に調査票付図作成をお願いするのには，偶然ともいえる契機があった。2009(平成21)年7月12日，全国方言調査委員会にて準備調査内容の問題点の検討の際，調査票付図が話題となっていた際に，高橋委員が「徳川宗賢先生に聞いたことだが，LAJの調査票付図を描いたのは伊能忠敬の直系子孫の画家だそうだ」と発言した。吉田の家人に絵を学ぶ者がおり，師事するのが伊能忠敬直系子孫の伊能洋先生である。そのことを吉田が発言し，伊能先生に確認してみることになった。

2009(平成21)年7月17日，アトリエレッスンに行く家人に吉田はLAJの解説書を持たせ，この点について質問させた。果たしてLAJ調査票付図の作画者は伊能洋先生であった。伊能先生は奥様と共にLAJ解説書に掲載されている調査票付図を見ながら懐かしい，と驚かれたとのことであった。7月24日に，吉田がLAJ調査票付図作画の詳細について伊能先生にインタビューした。LAJ解説書には調査票付図の作画者については言及がなく，これまでこの絵を方言調査の場で実際に使用しながら，詳細については不明であったので，伊

能先生ご本人から貴重なお話をたくさんうかがうことができた。その内容については別稿とするが，全国方言調査委員会での高橋委員の発言と，その場に吉田がいたこととの偶然が重なって，LAJ 調査票付図の経緯が明らかになった。

高橋はその後の方言分布プロジェクト打合せの中で，今回の調査票付図作画を伊能洋先生に依頼することを提案し，共同研究者の賛同も得られた。

大西リーダーは吉田に，作画について伊能先生に打診するよう指示し，吉田は 2010(平成 22)年 4 月 30 日付の書簡で最初のおたずねをした。書簡の内容は，LAJ に引き続き国研で実施される全国方言調査において使用する絵も再び描いていただきたいこと，もしお引き受けいただける場合の作業内容や作業期間，現実的な問題としての謝礼についてのおたずねであった。これらをふまえてご検討いただきたい旨をお伝えした。

幸いなことに，2010(平成 22)年 5 月 7 日に伊能先生から快諾のお返事をいただいた。以後，吉田が伊能先生とのやりとりをふくめ調査票付図に関することを担当した。

伊能先生と国研方言調査との関わりは先述の通り偶然の契機から明らかになったことだが，何か因縁めいたものも感じずにはいられない。徳川先生はじめ泉下の先達たちが，日本地図を作成した偉人伊能忠敬と友となり，俗世の我々をお導きくださったのではないか，これはこのプロジェクトへの祝福ではないか，などと思いながら，吉田は伊能先生に作画を依頼した。

② 作画の依頼内容

調査項目が確定し，調査票付図が必要な項目が確定した段階で，伊能先生に具体的な作画依頼をした。依頼内容の準備を整え，2010(平成 22)年 7 月 4 日に諸書類を郵送した。送付したものは以下の 7 点である。

(1) 送付物一覧：A4 プリント 1 枚
(2) 依頼と作業要領について：A4 プリント 2 枚　…作業要領
(3) 伊能洋先生　作画項目一覧：A4 プリント 1 枚　…作画していただく 18 枚の一覧
(4) 作画項目について：A4 プリント 19 枚　…1 項目ずつの作画要領
(5) 「日本言語地図解説－方法－」部分コピー：B4 プリント 4 枚　…参考資料。(4) の中で適宜言及している。
(6) 全国方言準備調査絵カード票：B5 冊子 1 冊　…本調査調査票付図の参考イメージ見本として。
(7) 催主登録票：A4 プリント 1 枚　…謝金支払い口座問い合わせ用

以下，(2) 作画項目について，(3) 伊能洋先生　作画項目一覧，(4) 作画項目について，の内容を転載する。

「(2) 依頼と作業要領について」

以下の内容について，依頼申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

（1）内容

・国立国語研究所が実施する研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」の，調査に使用する絵の作成をお願いいたします。

（2）画材・印刷について

・絵は，モノクロペン画（『日本言語地図』と同様）としてください。

・画材一式は，伊能先生の方でご用意ください。

・調査用の絵は，最終的にB5サイズ冊子となります。そのサイズを勘案し，作画をお願い申し上げます。

（3）期間・日程について

・当初の予定より遅くなってしまいましたし，具体的な依頼内容をお示しするのはこれが最初ですので，御覧いただいた上で，いつごろまでに仕上がりそうか，伊能先生のお見立てを一度ご連絡いただけますでしょうか。申し訳ありませんが，お願い申し上げます。

・直接，ご説明をする方がよいということでしたら，アトリエにうかがいます。伊能先生のご都合の良い日をお知らせください。

（4）絵の受領について

・完成した絵は，吉田が受け取りにうかがってもよろしいですし，郵送宅配送等でお送りいただいてもけっこうでございます。

・当方が受け取りにうかがうということでしたら，伊能先生のご都合の良い日をお知らせください。

・宅配送御利用の場合は，国立国語研究所宛に着払いでお送りください。

・郵送御利用の場合は，後日，お立て替えいただいた郵便料金をお支払いいたします。

（5）謝金お支払いについて

・依頼申し上げた絵１８点全てをお納めいただいたのち，債主登録票にてご指定の口座にお振込みいたします。

（6）その他

・何かございましたら，いつでも吉田までご連絡ください。

・お手数をおかけしますが，何とぞよろしくお願い申し上げます。

「(3) 伊能洋先生　作画項目一覧」（次ページに転載）

(3) 伊能洋先生　作画項目一覧（エクセル表）

伊能洋先生　　作画項目一覧

2010年7月4日
国立国語研究所

No	分析対象の絵	質問文	新規or改訂
1	袴(はかま)	和服で，着物の上に着るもののうち，肩から腰までの丈のものを羽織（はおり）と言います。では，腰から足首までをおおうものは何と言いますか。	新規
2	旗(はた)	布や紙などで作って，竿（さお）の先に揚（あ）げてしるしとして使うものです。国や団体などを表すしるしとして，よく使われます。	新規
3	座布団(ざぶとん)	畳に敷いて，その上に座る四角な布団のことを何と言いますか。	新規
4	地図(ちず)	旅先で道が分からないときに見るものを何と言いますか。	新規
5	蟻地獄(ありじごく)	これは何と言いますか。軒下や神社の境内などの砂地で摺り鉢のような巣を作って，穴に落ちてくる虫を食べる虫です。大きく描くとこんな形をしています。	新規
6	蚕(かいこ)	これは何と言いますか。成長すると白っぽい色の糸をはいて繭を作ります。その繭から糸をとって，絹を織ります。	新規
7	南瓜(かぼちゃ)	これを何と言いますか。夏にとれる，つるになる大きな実です。	改訂
8	彼岸花(ひがんばな)	秋に真っ赤な色で咲くこのような植物を何と言いますか。	新規
9	蟹の甲羅(かにのこうら)	蟹（かに）の甲羅（こうら）のことを何と言いますか。	新規
10	柿の蔕(かきのへた)	果物の柿のへたの部分を何と言いますか。	新規
11	茄子や苺の蔕(なすやいちごのへた)	茄子（なす）や苺（いちご）のへたの部分を何と言いますか。	新規
12	定規(じょうぎ)	このような長さをはかる道具を何と言いますか。竹やプラスチックでできたかたいものです。	新規
13	黒板拭き(こくばんふき)	学校や公民館にあるもので，黒板にチョークで書いた字を消すのに使うこのような道具を何と言いますか。	新規
14	本(ほん)	読むもので，書店で買ったり，図書館で借りたりします。	新規
15	囲炉裏(いろり)	家の中にあって，火をたくこのような場所を何と言いますか。	新規
16	二人で担ぐ(ふたりでかつぐ)	これは，どうすると言いますか。二人で～。	改訂
17	二人で運ぶ(ふたりではこぶ)	掃除のために教室などを片付けるときに，二人で机の両側を持ち上げて運ぶことを，机をどうすると言いますか。	新規
18	鰤(ぶり)	この魚はブリ（鰤）です。出世魚と呼ばれ，大きくなるにつれて名前が変わると言われますが，どんな名前で呼んでいますか。	新規

1 / 1 ページ

「(4) 作画項目について」（添付の絵を除く抜粋転載）

凡例

No.

分析対象の絵

・新規 or 改訂の区別

Q. 質問文

作画について

○ ご注意いただきたい点を記しています。

※ 参考になるであろう絵を転載しています。準備調査で用いた絵や，「日本言語地図」で使われた絵で今回改訂していただくものを載せています。

■問い合わせ先

平日９：３０～１７：００

勤務先：吉田雅子

〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2 国立国語研究所

No. 1

袴（はかま）

・新規

Q. 和服で，着物の上に着るもののうち，肩から腰までの丈のものを羽織（はおり）と言います。では，腰から足首までをおおうものは何と言いますか。

作画について

○ 男性の羽織袴姿をお示しください。

○ 男性は，中年くらいがよいです。伊能忠敬や坂本龍馬などのように人物が特定されないよう，かつ年齢も高すぎず若すぎず，ごく一般的な男性像をお願いいたします。

○ 袴を示す矢印は，入れないでください。参考資料としてお渡しした「日本言語地図解説―方法―」コピーの，例えばｐ128「くるぶし」の絵では，くるぶしを示す矢印が入っていますが，このような矢印は，この「袴」の絵では避けてください。

○ 今回の作画では，全般にわたり，基本的に矢印は図の中に入れない方針です。

No. 2

旗（はた）

・新規

Q. 布や紙などで作って，竿（さお）の先に揚（あ）げてしるしとして使うものです。国や団体などを表すしるしとして，よく使われます。

作画について

○ 旗の絵をお示しください。

○ ごく一般的な旗をお願いいたします。どこかの国旗，県旗など，特定されるものは避けて

ください。

No. 3

座布団（ざぶとん）

・新規

Q. 畳に敷いて，その上に座る四角な布団のことを何と言いますか。

作画について

○ 無地の座布団をお示しください。

○ 座っている人は描かないで，座布団のみ示してください。

No. 4

地図（ちず）

・新規

Q. 旅先で道が分からないときに見るものを何と言いますか。

作画について

○ ごく一般的な地図としてお示しください。

○ どこかの地図だと特定される絵は避けてください。

※ 準備調査で用いた絵（大西所員作画）

No. 5

蟻地獄（ありじごく）

・新規

Q. これは何と言いますか。軒下や神社の境内などの砂地で摺り鉢のような巣を作って，穴に落ちてくる虫を食べる虫です。大きく描くとこんな形をしています。

作画について

○「日本言語地図」の付図のような感じで，お示しください。

○ 参考資料としてお渡しした「日本言語地図解説―方法―」コピーのｐ120 にある，一連の生物のような感じの絵をイメージしています。

○ 蟻が入る方がよいとお考えでしたら，入れてください。

※ 準備調査で用いた絵（不詳本より借用）

No. 6

蚕（かいこ）

・新規

Q. これは何と言いますか。成長すると白っぽい色の糸をはいて繭を作ります。その繭から糸をとって，絹を織ります。

作画について

○「日本言語地図」の付図のような感じで，お示しください。

○ 参考資料としてお渡しした「日本言語地図解説―方法―」コピーのｐ120 にある，一連の生物のような感じの絵をイメージしています。

○ 桑の葉が入る方がよいとお考えでしたら，入れてください。

No. 7

南瓜（かぼちゃ）

・改訂

Q. これを何と言いますか。夏にとれる，つるになる大きな実です。

作画について

○「日本言語地図」で作図していただいた絵の改訂でお願いいたします。

○ 真ん中のかぼちゃ１つのみを，お示しください。

No. 8

彼岸花（ひがんばな）

・新規

Q. 秋に真っ赤な色で咲くこのような植物を何と言いますか。

作画について

○「日本言語地図」の付図のような感じで，お示しください。

○ 参考資料としてお渡しした「日本言語地図解説―方法―」コピーのｐ126にある「196どくだみ」，「192すみれ」の彼岸花版のような感じをイメージしています。

※ 準備調査で用いた絵（百科事典の挿絵より借用）

No. 9

蟹の甲羅（かにのこうら）

・新規

Q. 蟹（かに）の甲羅（こうら）のことを何と言いますか。

作画について

○「日本言語地図」の付図のような感じで，お示しください。

○ 参考資料としてお渡しした「日本言語地図解説―方法―」コピーのｐ120にある，一連の生物のような感じの絵をイメージしています。

○ 「タラバガニ」「ケガニ」「マツバガニ」「サワガニ」のように蟹の種が特定されるような絵ではなく，絵本に出てくるような一般的な蟹をお示しください。

No. 10

柿の蔕（かきのへた）

・新規

Q. 果物の柿のへたの部分を何と言いますか。

作画について

○「日本言語地図」の付図のような感じで，お示しください。

○ 参考資料としてお渡しした「日本言語地図解説―方法―」コピーのｐ130にある「281西瓜」の柿版のような感じをイメージしています。

○ 四角っぽく平たい形の富有柿や，細長い形の筆柿のように，いくつかの種類の柿の絵を，へたの部分がよく見えるようにお示しください。

No. 11

茄子や苺の蔕（なすやいちごのへた）

・新規

Q. 茄子（なす）や苺（いちご）のへたの部分を何と言いますか。

作画について

○「日本言語地図」の付図のような感じで，お示しください。

○ 前項の「柿の蔕」と同じく，参考資料としてお渡しした「日本言語地図解説―方法―」コピーのｐ130 にある「281 西瓜」の柿版のような感じをイメージしています。

○ 茄子と苺の絵を，へたの部分がよく見えるようにお示しください。

No. 12

定規（じょうぎ）

・新規

Q. このような長さをはかる道具を何と言いますか。竹やプラスチックでできたかたいものです。

作画について

○「日本言語地図」の付図のような感じで，お示しください。

○ 具体的なモノですので，参考資料としてお渡しした「日本言語地図解説―方法―」コピーのｐ124 にある「154 まな板」のような感じをイメージしています。

※ 準備調査で用いた絵（大西所員作画）

No. 13

黒板拭き（こくばんふき）

・新規

Q. 学校や公民館にあるもので，黒板にチョークで書いた字を消すのに使うこのような道具を何と言いますか。

作画について

○「日本言語地図」の付図のような感じで，お示しください。

○ 具体的なモノですので，参考資料としてお渡しした「日本言語地図解説―方法―」コピーのｐ124 にある「154 まな板」のような感じをイメージしています。

※ 準備調査で用いた絵（大西所員作画）

No. 14

本（ほん）

・新規

Q. 読むもので，書店で買ったり，図書館で借りたりします。

作画について

○「日本言語地図」の付図のような感じで，お示しください。

○ 具体的なモノですので，参考資料としてお渡しした「日本言語地図解説―方法―」コピーのｐ124 にある「154 まな板」のような感じをイメージしています。

○本のみを示し，人の絵は入れないでください。

No. 15

囲炉裏（いろり）

・新規

Q. 家の中にあって，火をたくこのような場所を何と言いますか。

作画について

○「日本言語地図」の付図のような感じで，お示しください。

○ 家屋の一部ですので，参考資料としてお渡しした「日本言語地図解説―方法―」コピーのｐ128にある「248 襖」のような感じをイメージしています。

○ いろりは，地域ごとに形の違いがありますが，特に考慮せずごく一般的な囲炉裏の絵としてお示しください。

※ 準備調査で用いた絵（ネット上の挿絵より借用）

No. 16

二人で担ぐ（ふたりでかつぐ）

・改訂

Q. これは，どうすると言いますか。二人で～。

作画について

○「日本言語地図」で作図していただいた絵の改訂でお願いいたします。

○ 前の人も，右肩で棒を担ぐようにしてください。（方言調査でこの絵を示すと「二人とも同じ方で担がないとうまくいかない」と言われることがよくあるのです。）

No. 17

二人で運ぶ（ふたりではこぶ）

・新規

Q. 掃除のために教室などを片付けるときに，二人で机の両側を持ち上げて運ぶことを，机をどうすると言いますか。

作画について

○男性二人が机の両側を持ち上げて運んでいるところをお示しください。

○男性は，中年くらいがよいです。人物が特定されない，かつ年齢も高すぎず若すぎず，ごく一般的な男性像をお願いいたします。

No. 18

鰤（ぶり）

・新規

Q. この魚はブリ（鰤）です。出世魚と呼ばれ，大きくなるにつれて名前が変わると言われますが，どんな名前で呼んでいますか。

作画について

○鰤は出世魚ですが，その最終段階の鰤の絵をお示しください。

○稚魚・幼魚段階の，小さな魚の絵は不要です。

※ 準備調査で用いた絵（百科事典の挿絵より借用）

（転載以上）

③ 作画の作業経過

2010(平成22)年7月9日に，吉田は伊能洋先生の主宰する伊能アトリエにうかがった。先に郵送した作業要領の内容に即して，直接伊能先生にいろいろと説明申し上げた。この時すでに伊能先生はいくつかのラフスケッチを描かれていたし，その場で「こういう感じではどうか」と描いてくださるものもあり，それを現場で拝見するだけで胸躍って，画家が絵を描いていく過程を見れるとは役得だと感じ入ったことであった。

2010(平成22)年7月30日に，再び伊能アトリエにうかがい，新たに描いていただいた幾点かの絵を拝見しながら，作成途中のものについて説明と打合せを行った。

2010(平成22)年8月6日には，事務局の竹田，鑓水，吉田の3人で伊能アトリエにうかがった。すでにペン入れがなされた絵を拝見しながら，さらに手を加えていただきたい点など最終確認のお願いを申し上げた。完成している絵も多かったが，全部まとめて受領することとし，この日には持ち帰らなかった。

調査票付図についての仕事の話が終わった後は，LAJ 調査付図について，伊能先生の芸術活動について，様々なお話をうかがうことができた。また実物の伊能図も見せていただきながら，伊能図や伊能忠敬についてのお話もうかがった。あっという間に感じられた長い時間をアトリエで過ごさせていただいて，記念写真も撮影して，アトリエを退出した。

伊能先生からご連絡をいただき，絵を受け取りに伊能アトリエにうかがったのは2010(平成22)年8月12日であった。この時に，依頼した18枚の調査票付図全部を受領した。このあとも伊能先生とアトリエで，芸術について，学術について，様々なお話をして後，帰路についた。

熱中症で幾人もの死者を出し社会問題にもなった記録的な猛暑の2010年夏に，伊能先生はすばらしいスピードで調査票付図を描き上げてくださった。

伊能先生のアトリエで過ごす時間は至福のものであったし，調査票付図全原画を最初に拝見したという喜びも味わって，吉田には役得であった。

④ 調査票付図の整形作業

この後，事務局の方で調査票付図の整形作業を行った。新規作画の絵，既存の絵を，スキャナで読み取り，版下を作成して，そのデータを印刷会社に渡した。印刷は調査票と同じく，絢文社に依頼した。

調査票付図は調査期間を通して使用するものであるため，丈夫なものにしようと，表紙や本体の紙を選び，リング綴じのリングを選んだ。印刷仕様は次の通りである。

・形態：B5版，39ページ，リング綴じ製本，左綴じ

・用紙：表紙…レザック66　260kg，からし色

　　本文…上質紙　135kg，白色

『全国方言分布調査　調査票付図』が納品されたのは，2010(平成22)年9月28日であった。

調査項目に関連するものとしては『全国方言分布調査　調査票』と『全国方言分布調査調査票付図』，その他の調査用品一式も揃えて，共同研究者・調査協力者百名弱に発送したのは『全国方言分布調査　調査票付図』納品翌日の，2010(平成22)年9月29日であった。手分けしつつの梱包，搬出，発送作業はいっぱしの肉体労働であった。

以上，本章では，調査項目構築作業の，実際の作業過程に沿いながら，作業の概要(6.1.)，調査項目選定の基本方針（6.2.），共同研究者による項目選定（6.3.），調査項目候補の検討内容（6.4.），調査票付図の作成（6.5.）について述べた。

7. 調査結果データベースの構築

7.1. 準備調査結果データベースについて

鑓水 兼貴

①基本方針

「全国方言準備調査」の報告方法は,『全国方言準備調査　調査票』の「手引き」にしたがっている。大西によって作成され，当時の方言調査委員会で了承されたものである。また，それを受けて鑓水によりデータベースの暫定仕様が提案された。基本方針は,

(1) データ入力は調査者が行い，研究所にメールで送信
(2) 書式は「方言文法全国地図 全データ（1～6 集)」[1]（以下「GAJ データ」）に準拠
(3) 音声記号は研究所作成の Windows 外字ファイル[2]（以下「国研外字」）を使用

としたが，2008 年度は，研究所に調査票のコピーを郵送し，研究所でデータ入力のテストをすることになった。音声記号入力用の補助ツールを開発し，データ入力の所用時間の測定などを行った。その後，本調査のデータベース仕様の検討が進むにつれて，音声表記にカタカナを採用するなど，準備調査の暫定仕様から大きく離れたため，2009 年度についても，引き続き研究所が入力を担当した。

最終的に準備調査 39 地点のデータは，すべて国語研究所にて入力を行なった。

②書式

準備調査データベースは，GAJ データを踏襲した。GAJ データの書式は「1 行 1 回答語形」(以下，「回答単位」) を基本とするものである。たとえば，地点Ａにおいて○○，△△，××という 3 語形の併用回答があった場合,

地点	語形
A	○○；△△；××

のように，1 行に並べて記述するのではなく,

地点	語形
A	○○
A	△△
A	××

のように，回答数だけ地点Ａの行を続ける，というものである。

「回答単位」の書式の利点として，語形の整理がしやすいことが挙げられる。言語地図を作成する場合，語形の整理が重要な作業となるが，回答が行ごとに分かれているため，語形の異なり一覧を容易に作成できる。

---

[1] http://www2.ninjal.ac.jp/hogen/dp/gaj_dp_i/gaj_all/gaj_all.html (2011 年 2 月 21 日確認)
[2] http://www2.ninjal.ac.jp/hogen/dp/dp_index.html (2011 年 2 月 21 日確認)

行中に「見出し語形」欄を追加して，

地点	語形	見出し語
A	○○	○○
A	△△	○○
A	××	××

のように，整理した見出し語語形を入れるだけで，整理作業が簡単にできる。

関連して，この書式は GAJ の編集作業のために国立国語研究所が開発した，Adobe Illustrator 用言語地図プラグイン「LMS」[3]での使用に適している。LMS は地点上に地図記号を置く作業を自動化する（併用回答表示も可能）プログラムであり，地点番号とその地点での回答語形（に対応した地図記号の番号）の対応表のファイルが必要であるため，「回答単位」のデータを元に作業をすると，このプログラムを容易に使用可能である。

このほか，行単位のデータ読み込みを得意とする，Awk，Perl 等のスクリプト言語での処理にも適している。

もちろん問題点もある。方言調査では回答に注記情報が付されることが多い。特に，併用回答となった項目に注記がついた場合，「回答単位」の書式では，同じ注記を回答数だけ表示しなければならない。そのため，注記を修正する場合も，回答数ぶん同一内容をコピーする必要があるが，コピーを忘れると回答と注記が分離する恐れがある。

また，地点ごとの行数が固定していないため，回答を一覧しにくいという点も挙げられる。たとえば，

地点	問 1	問 2
A	○○；△△；××	◆◆
B	○○；××	■■■；◇◇
C	○○	■■▼；◆◆

のような「地点×質問項目」の行列の書式は，地点と質問と回答との関係が理解しやすく，データの一覧に優れている。ただし併用回答が多い場合には，セル内が区切り記号などで複雑化するため，データ処理においては，かえって煩雑化する可能性がある。どの書式でも長所と短所があり，「回答単位」と比べてどの書式が優れているということはいえないだろう。

③公開

データベースは，現在（2011 年 2 月 21 日）も細かい修正箇所が残っており，電子版については，当面はプロジェクト内での暫定公開とする予定である。

印刷媒体としては『全国方言準備調査結果データ集』として 2011 年 3 月に公開予定である。

[3] http://www2.ninjal.ac.jp/hogen/dp/gaj_dp_i/gaj_lms.htm（2011 年 2 月 21 日確認）

7.2. 本調査結果データベースの構築

鑪水 兼貴・小西 いずみ・松丸 真大

①XML による「調査票単位」のデータベース（鑪水）

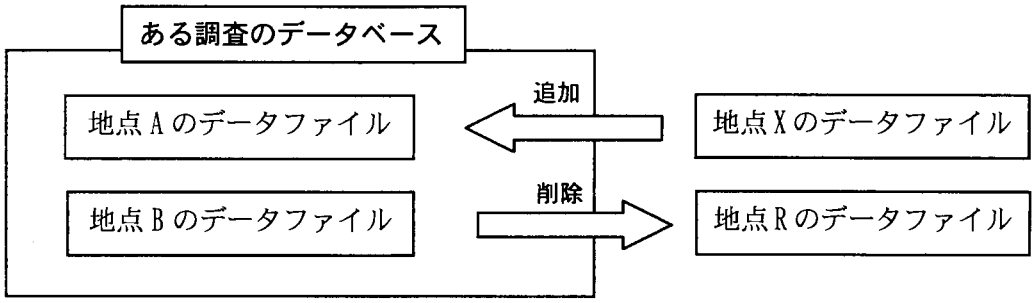
7.1 節でも述べたが，どのデータ書式にも長所と短所があり，ある書式を採用しても，利用に応じて別の書式へ変換する必要が生じる。そのためデータ変換を行うツールの提供は不可欠であり，提供されなければデータ利用の敷居は高いままであろう。

このため，データ変換ツールの提供を前提とすれば，データベースの作成に際して，データの可読性の考慮をする必要はないと判断した。ただし，データベースの保守を考えると，データベースが全くのブラックボックスになることは望ましくない。そのためには，テキストベースで調査報告票の構造を忠実に電子化する書式がよいと考えた。

以上から，準備調査時に計画していた案を変更し，2009 年 12 月に，構造化テキストである XML（Extensible Markup Language）の採用を提案した。

データは「１調査票が１ファイル」(以下,「調査票単位」)となる。データファイルは１話者の調査結果で構成され，調査全体は１つのフォルダに蓄積される。これは，ＰＣでのファイル操作と同じであり，多くの利用者にとってわかりやすいデータベースといえる。

「調査票単位」の利点は，調査時期とは関係なく，自由にデータを追加・削除できる点にある。「全国方言分布調査」は調査中のデータを共有するが，調査票ごとにファイル化されているため，ある地点の調査データが追加されたとしても，残りのデータには全く影響がない。

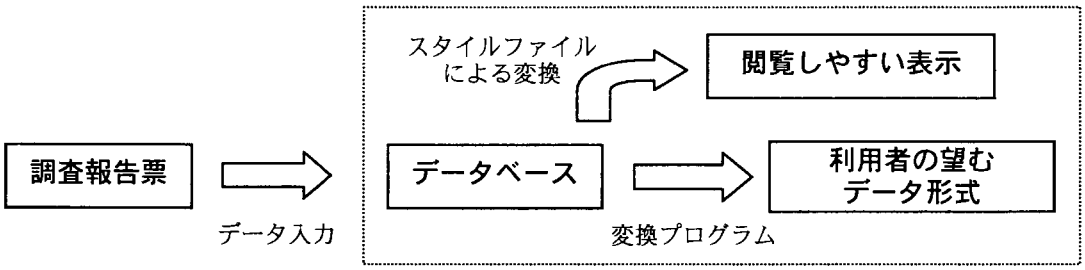


調査票単位のデータベースのイメージ

XML とは，文書中にデータの構造や意味を示す「タグ」を埋め込んで，文書をデータ処理に適した形式にするための記述方法である。情報処理においては広く普及しており，多くのプログラミング言語で XML を処理するためのライブラリが使用可能である。

しかし，XML 文書そのものは閲覧性が低いため，XSLT スタイルシート（表示用のデータ構造変換指定）を用いて閲覧しやすい表示(HTML など)に自動変換するようにする。

前述のように，XML のデータそのままでは，多くの人にとって利用することが難しいため，利用に際しては「回答単位」など，利用者の望む形式への変換ツールが不可欠である。そのため，データベース単体ではなく，周辺のツール群をあわせた「データベース利用システム」として提供する予定である。



データベース本体に変換等のツールをあわせた
「データベース利用システム」

このことは，他の方言調査データと組み合わせて比較・分析を行う場合にも応用可能である。

データフォーマットを規定すれば XML である必要はないが，多くの調査の場合，質問項目や内容は異なっており，共通する項目を取り出す作業は複雑になってしまう。複数の調査に共通するフォーマットを表形式で作成しようとしても空欄が多くなると，扱いにくいデータになってしまう。

XML であれば，データの内部構造の規定が明示的であるため，調査項目が大きく異なるデータ同士であっても，容易に共通項目を取り出すことができる。これまでの方言調査資料のデータベース化においても，XML 化を進めることで，複数の調査データを組み合わせた研究が可能になると思われる。

こうしたことから，「全国方言分布調査」のデータベースは，他の方言調査資料のデータベース化における指針になりうると思われる。

なお，データベースの概要については，以下の研究会で発表を行った。

2010. 5.25　第 14 回 NINJAL サロン (国立国語研究所)

「全国方言調査におけるデータベース化」（鑓水）

2010.10.30　第 88 回人文科学とコンピュータ研究会 (国立国語研究所)

「方言調査データの XML によるデータベース化」（鑓水・小西・松丸）

2010.12.20　「方言の形成過程解明のための全国方言調査」研究発表会 (国立国語研究所)

「『全国方言分布調査』データベースの概要と利用法」（鑓水）

②語形の表記方法（小西・鑓水）

回答語形の表記は，当初は準備調査と同じ音声記号（国研外字）の予定であった。プロジェクトでは調査期間3年半（2010年度後半～2013年度）で約500地点の調査を予定しており，大規模データを短期間でデータベース化しなければならない。その際に，

(1) 音声記号の入力に時間がかかる
(2) 音声表記の整理・統合に時間がかかる

という2つの問題が考えられた。

調査結果データの入力作業は，外注業者もしくはアルバイトを予定していたが，準備調査データの入力段階で，音声記号の入力に時間がかかることが判明し，特に外注業者の場合には音声記号の知識が全くない可能性が高く，入力には相当の時間がかかることが予想されていた。

また，音声表記の整理・統合も問題となった。音声の微細な表記はデータとしては重要であるが，言語地図の作成など，分析にあたっては一定の基準によって整理しなければならない。GAJ においても報告された音声表記の整理・統合作業がなされており，これに多くの時間を費やしている。

準備調査では，報告段階で調査者によって音声表記（『全国方言準備調査票』では「日本の方言学で通用しているブロードな IPA 表記」と説明）を整理してから提出してもらったが，集まったデータは，この表記から外れたものはわずかであり，ある程度，調査者側で表記の整理を行うことができると考えた。

これらの点を総合して，ワーキンググループの会合において，共通語に近い音素体系を持つ方言に関してはカタカナを用いて表記してもよいのではないか，という意見が出された。カタカナであれば外注業者であっても入力作業が容易である。音声表記としては表現力が低いが，カタカナは言語学に関係しない人々にもわかりやすい表記法であり，成果の公開という点でも望ましいと考えられた。

しかし，カタカナ表記では外来語表記の規則を含めても表現できる音声が少ないことは，方言調査の表記としては問題が残る。そのため若干の補助記号や組み合わせ表記による拡張をする必要があった。ワーキンググループのコーディング担当である小西の主導で，LAJ におけるカタカナ表記なども参考にしながら，原案が作成された。

本土における音韻項目の表記と，琉球方言の全項目については音声記号を用いることとし，文字セットは Unicode (UCS-2)，文字コードは UTF-8 とした。

2009年12月のプロジェクトの共同研究者打ち合わせ会（方言調査委員会の後継組織）にて，表記の原案が示された。カタカナ表記への反対意見もあったが，無理にカタカナ表記にするのではなく，音声記号による補足や注記を許すということが説明され，基本的に了承された。

その後，2010年3月に共同研究者の協力でカタカナ表記ならびに新しい報告方法のテストがなされ，問題点を収集し，5月に改訂案をまとめた。共同研究者の拡大にともない，旧方言調査委員会の枠での議論は終了し，ワーキンググループのメンバーと全国方言分布調査事務局の共同研究者との間で検討が続いた。

その結果，データ入力における省力化の面を重要視し，積極的にカタカナ表記を採用できるように，カタカナ表記の表現範囲を拡大することになった。なるべく音声記号との対応を可能にするため，GAJにおいて頻出する音声記号について，カタカナ表記への置き換えが検討され，2010年6月に最終的な表記法が確定した。

③語形の報告方法（松丸・鑓水）

語形の報告はおおきく以下の3原則を元にしている。

(1) 採否の基準は「話者自身が現在用いる，あるいは過去に使用した語形」である。
(2) 話者自身が現在用いる，あるいは過去に使用した語形を採用語形として報告・記載する。
(3) 話者が使わない語形に関する情報は，注記として報告する。

話者の回答が，使用語形だけで構成されるのであればデータは単純である。しかし実際には回答ごとに付随する情報が得られるため，それらを「注記」としてどう処理するかがデータベース化の課題となる。報告方法の原案作成はデータベース構造担当の松丸主導で行われた。

特に使用しない語形についての注記の記載方法と，それにともなう注記の及ぶ範囲については問題となった。

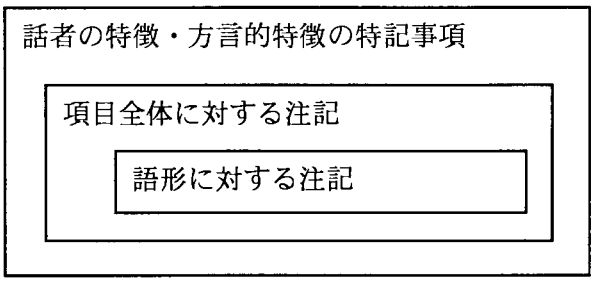
「話者が現在も使う語形」と「話者がかつて使った語形」は，話者自身から両者を区別するかどうかの情報がない限り，特に分ける必要はない。しかし「全国方言分布調査」は過去の方言調査資料との経年比較も主要な研究課題と位置づけられているため，「使用しなくなった」という情報は重要である。そのため「古い言い方で，かつて使ったが現在は使わない語形」という場合には，「〈古〉〈かつて使ったが今は使わない〉」とはせず，新たに「昔」という注記略号を設けた。

同じように，「不使用語形」についての記載方法についても議論がなされた。前述と同様に，過去の資料との経年比較においては，語形の不使用情報は重要である。しかし「不使用語形」の情報を従来のように「語形に対する注記」として扱うと，他の注記の中に埋もれて，不使用語形を取り出しにくくなってしまう。そもそも不使用語形は，ある語形に対しての注記というよりは，採用語形と同じレベルにあるべきで，項目に対する注記として扱うほうが自然と考えた。ほかにも，項目の事物・概念への注記や，項目に関する話者の予想など，項目に対する注記が必要であることがわかった。

以上をふまえ，「語形に対する注記」より上位レベルの注記として，「項目全体に対する注記」を設けることにした。

さらに，注記が複数の項目にまたがったり，調査全体に及ぶような場合の記述方法がな

く，さらに上位の注記として「調査全体に対する注記」の必要性が提案された。当初は，フェイスシートの備考欄での処理が考えられたが，備考欄はあくまでも調査の環境や条件に関する事項であり，言語的な注記は異なる欄を設けるべき，という提案がなされ，「話者の特徴・方言的特徴の特記事項」欄が別に設けられた。このため，注記は，



という三重の構造で記述されることになった。

2009 年 12 月に原案が示され，2010 年 3 月には共同研究者（旧方言調査委員会委員）によって，調査回答の一部を表記案を用いて報告してもらうテストが行なわれた。この結果と，2010 年 5 月の打ち合わせ会議での共同研究者から意見をもとにして，ワーキンググループと事務局の共同研究者によって検討が続けられた。

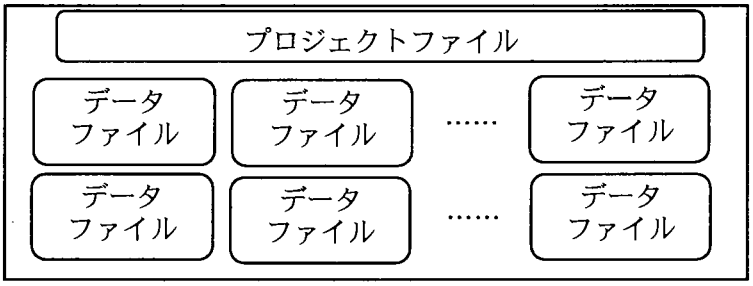
「項目全体に対する注記」は，原案ではデータ構造を意識して回答語形より前に書くことにしていたが，表記テスト時に，注記が語形より前になると，調査の順番と逆になり，直感に合わないという意見が出たため，最終的には全回答語形のあとに「☆」記号を伴って表示することとした。

また，複数の回答に同じ注記が付される場合の表記方法を定めていないことがわかり，「項目全体に対する注記」に準じて，全回答語形のあとに番号を伴って表示することとした。これと同様に，複数の項目にまたがって同じ注記が付される場合についても同様に，調査全体に対する注記ともいうべき「話者の特徴・方言的特徴の特記事項」欄に，「注１」「注２」というように，注番号を付して表示することにした。

以上の流れを経て，2010 年 6 月に最終的な報告方法が完成した。

④方言データベースの構成（鑓水）

一つの調査データは，以下のような構成となる。調査全体の情報を示す１つのプロジェクトファイルと，調査地点分のデータファイルから構成される（図）。以下，プロジェクトファイルとデータファイルの構成について述べる。



方言データベースの構造

プロジェクトファイル

調査同士を比較する上で，調査全体に関する記録をしておく必要がある。単純に比較や集計などができるデータではないが，どのように調査がなされたのかを記録しておくことで，研究者が比較資料として採用するか否かの基準となる重要なものである。

こうした情報が入った調査情報全体を，方言データベースにおいては「プロジェクト」と呼び，以下の３つの情報が入る。これらはXMLによって記述される。

(1) プロジェクト情報
調査の趣旨・調査概要などを記録する。「話者の選定基準」，「地点の精度」，「語形の採用原則」などの情報が入る。

(2) 調査者情報
調査者に関する情報が入る。ただし個人情報保護を考慮したデータ化をしなければならない。

(3) 調査票情報
調査票の情報，すなわち，実際の質問文や，調査時に提示する図などが入る。

データファイル

データファイルは，調査のデータ部分である。以下の３つの部分からなる。

(1) 調査情報

(2) 話者情報
調査におけるフェイスシートのデータが入る。そのため，個人情報保護を十分に考慮する必要がある。フェイスシートの項目の中には，いつ，誰が，どのような環境で調査したのか，といった調査そのものに関する情報も入っている。これらはXMLタグでは「調査情報」として独立させ，その他の情報については話者情報として，「話者」タグの中に入れる。

(3) 回答情報
各質問の回答は「調査データ」タグの中に入る。質問文は各個人のデータの中に入れるとサイズが大きくなるため，プロジェクトファイルの中の調査票情報にリンクさせる予定である。

以下に XML のデータ構造の例を示す。(タグ名は分かりやすくするために日本語で表示したが，具体的なタグ名を含むタグセットについては 2010 年度中に公開予定)。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="chosahyo.xsl"?>
<調査票>
        <調査情報>
                <調査者コード>○○○○</調査者コード>
                <調査開始日>○○○○年○○月○○日</調査開始日>
                <所用時間>○○時間○○分</所用時間>
                <同席者>○○○○</同席者>
                <備考>○○○○</備考>
        </調査情報>

        <話者>
                <話者コード>○○○○</話者コード>
                <話者生年>○○○○</話者生年>
                <話者生育地>○○○○</話者生育地>
                <話者最長居住地>○○○○</話者最長居住地>
                <備考>○○○○○○○○</備考>
        </話者>

        <調査データ>
                <質問項目>
                        <質問番号>○○○</質問番号>
                        <質問項目名>○○○</質問項目名>
                        <質問文>(リンクによって示す)</質問文>

                        <回答>
                                <語形>回答語形1</語形>
                                <注記 種類="話者">語形注記</注記>
                        </回答>

                        <回答>
                                <語形>回答語形2</語形>
                                <注記 種類="話者">語形注記</注記>
                        </回答>
                        <修正 種類="削除" 修正日時="○○○" 修正者="○○">
                                <回答>
                                        <語形>回答語形3</語形>
                                        <注記 種類="話者">語形注記</注記>
                                </回答>
                        </修正>

                        <注記 種類="話者">
                                項目全体に対する注記
                        </注記>
                </質問項目>

                <質問項目>
                        :
                        (略)
                        :
                </質問番号>

                <注記 種類="話者">
                        話者の特徴・方言的特徴の特記事項
                </注記>

        </調査データ>

</調査票>
```

XML によるデータの例

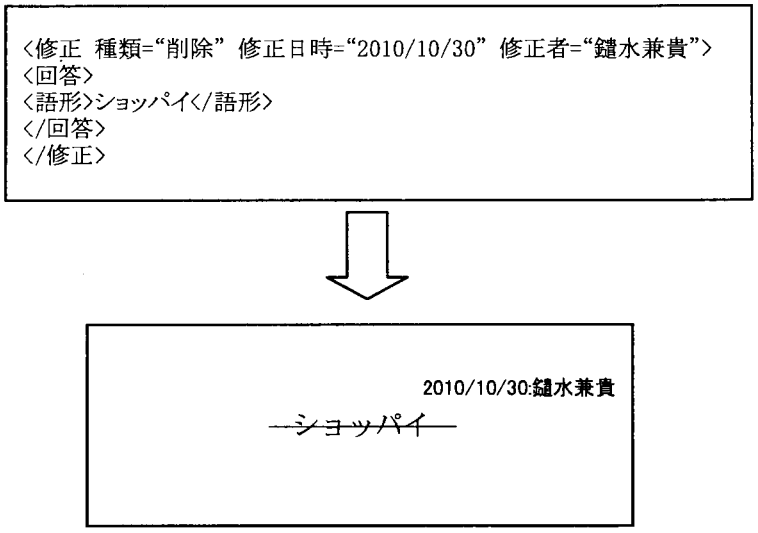
③で述べたように，調査において得られる情報は回答ばかりではない。回答に対する注記，項目に対する注記，調査全体に関わる特記事項などといった，さまざまな補足情報が得られる。これらの情報は，レベルごとに階層化されるため，XML での表記に適している。これらの情報は「注記」タグで表され，提供者が話者か調査者か同席者か，といった情報はタグ属性で分類される。

「全国方言分布調査」データベースは，調査途中から利用するため，データの追加だけでなく，既存のデータ部分にも修正が行なわれる可能性がある。そうした場合，利用者の混乱がないように，リリース後に修正するデータすべて，

〈修正 種類="削除" 修正日時="○○○" 修正者="○○"〉 ●●●● 〈/修正〉
〈修正 種類="挿入" 修正日時="○○○" 修正者="○○"〉 ●●●● 〈/修正〉

のように，「修正」タグを挟むだけで，過去の情報は削除しない。そのため，すべての変更履歴が残される。

「修正」タグは，「削除」と「挿入」からなり，タグ属性によって決まる。また，「修正日時」と「修正者」もタグ属性によって指定され，利用者がどの時点のデータを利用したかがわかるようになっている。これらもスタイルシートによって，修正履歴として表示される。



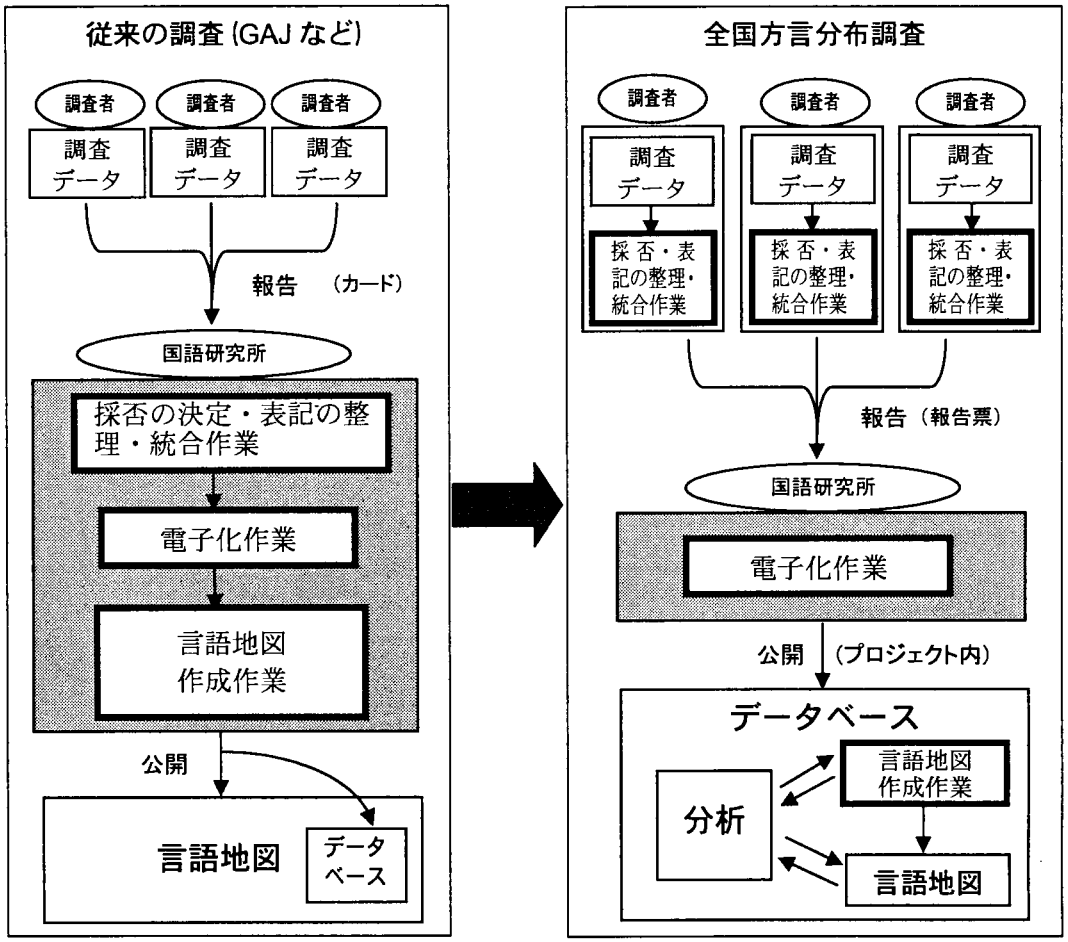
XML による修正タグと表示例

⑤データベース作成までの流れ（鑓水）

下の図は，ＧＡＪなど従来の研究所での方言調査と，本調査とのデータベース作成までの流れの違いについて示したものである。

大きく異なるのは，研究所の役割である。語形の採否や，表記の整理・統合といった作業の多くを調査者側で行ってから，データを提出する。また，言語地図の作成についても，プロジェクト内で公開されたデータをもとに，共同研究者によって作成する予定である。このため，②③で述べたように，表記方法や報告方法について細かいルール作りが行われた。

研究所はデータの入力作業に徹することになり，データ公開までの時間を大きく短縮することで，データの分析に多くの時間を費やすことができる。



データベース作成の流れの比較

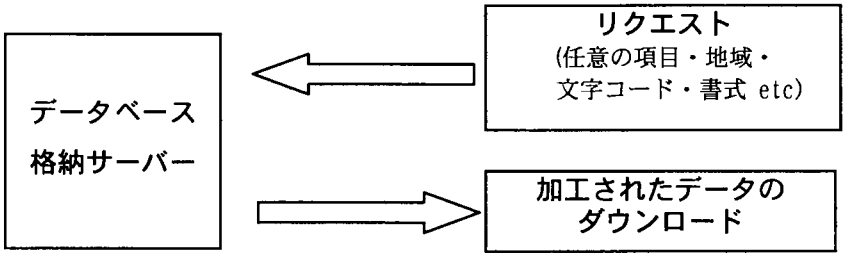
9.3. 方言データベースの意義と研究の展開（鑓水）

方言調査データは，言語地図資料としては大量に蓄積されているものの，データベース化はあまり進んでいない。近年の調査データは基本的に電子化されているが，言語地理学的調査がさかんだった 1970～80 年代の資料は，コンピュータの普及が進んでいなかった（また，性能が低く複雑なデータを扱えなかった）こともあって，電子化は限定的である。多くのデータが現在も紙の資料のままの状態にあるが，これは方言調査では，言語地図を最終報告形式とすることが通例であり，データベースの整備が遅れやすかったことも影響している。

本調査で計画される方言データベースは，この「全国方言分布調査」だけのために設計されたものではなく，そうした他の方言調査データについてもデータベース化の方法として採用されることを目標としている。

7.2 節でも説明したように，本データベースは 1 人の話者の調査結果を 1 つの XML ファイルに記述するものである。基本的には調査票（報告票）の再現を目指しており，調査時の状況を再現しやすくすることが狙いである。また，一部の話者のデータを追加・修正したとしても，残りのデータに全く影響を与えないため，調査期間中でもデータベースを利用しやすい。

XML ファイルのデータは，スタイルシートによる変換によって調査票に近い状態での閲覧が可能となる。さらに，XML ファイルを格納しているサーバー側が，利用者のリクエストした形式に変換して出力するように，データベース利用のためのツールを提供することで，データの分析以外の労力の軽減を目指している。



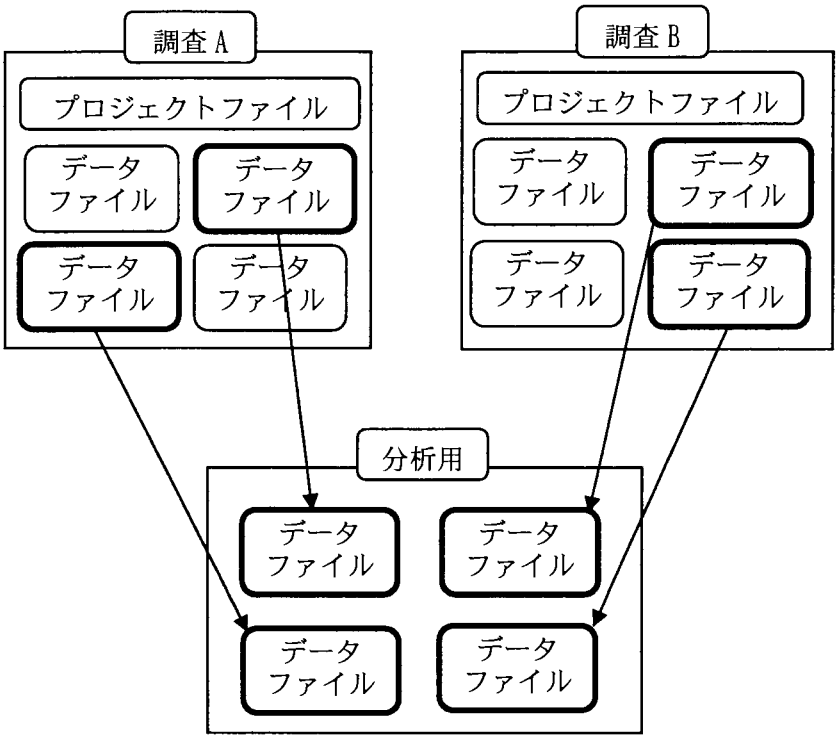
データベースの利用イメージ (1)

データは調査ごとに 1 つのフォルダにまとめられるが，フォルダ内は調査票単位でデータ化されている。そのため複数の調査データを統合するには，データファイルを統合するだけでよい。

たとえば，調査 A と調査 B に共通する地域のデータだけを取り出して新しいデータベースを作成するには，図のように必要な地点の XML ファイルを取り出せばよい。地点は XML ファイル内の属性情報のタグを参照することで，特定の条件に適合した話者を選び出すこ

とができる。両者の調査に共通する「調査項目名」があれば，データファイルの「調査項目名」タグのある項目を取り出すだけでデータの比較が可能となる。

ただし，調査項目の質問の仕方が同じかどうかといった情報は，調査 A と調査 B のプロジェクトファイルを比較して確認しなければならない。



データベースの利用イメージ (2)

また，応用的なことであるが，言語地図作成や計量的分析を支援するツール群の提供も重要と思われる。

方言研究においては，言語地図は分析には必要不可欠なものであるものの，コンピュータを用いた地図作成方法は，今だ普及過程にある状況といえる。また，既存の方言データベースを利用した計量的分析についてもあまり進んでいない。

データベースを提供しても，考察の手助けになるための地図作成や計量的分析の段階でつまづいてしまう恐れがある。そのため，データベースの利用においては，データの加工といった基本的な部分のみならず，言語地図作成のような応用的な部分までを「データベースの利用」として考慮にいれておく必要があるだろう。

以上，XML を用いた方言データベースの利点について述べた。

「全国方言分布調査」のデータベースだけでなく，全国の貴重な方言調査データの共有化を促進することによって，時間的変化・地理的変異を動的に分析するためのデータ整備がなされることが期待される。また，複数の調査を比較するような言語地図の作成や，計

量的分析といった研究も促進されることが望まれる。これらは「全国方言分布調査」における「方言形成過程の解明」という目的にも一致し，今後の方言研究に大きく貢献するであろう。

今後，データベースの利用の過程で出た問題などをもとに，さらにXMLのフォーマットの再検討や改訂を行っていきたい。

8．言語地図データベースの概要

竹田晃子

8.1　本章の目的

本章では，方言分布プロジェクトで構築中の言語地図データベース（単行本掲載分）の概要とその仕様，利用について述べる。

8.2　言語地図データベースの概要

①　種類

言語地図テータベースには，(1) 言語地図目録台帳と，(2) 言語地図集所収項目の 2 種類があり，データベースソフト「桐」（(株）管理工学研究所）において作成された。

a　言語地図目録台帳

言語地図目録台帳とは，言語地図・方言地図・グロットグラムが所収された日本語による単行本のリストである。内容には，書名／著者／発行年（元号）／発行年（西暦）／国立国語研究所付属図書館（現・図書室）の図書番号（2006 年当時）／目次の有無，がある。この台帳の前身は，日本方言研究会のホームページにて公開されている「言語地図目録（単行本)」（注 1）である。調査時期／発行所／調査地域／地図数が，発行時期の順に掲載されているが，本データベースでは調査地域・地図数を欠く。

この台帳には，1905（明治 38）年の『音韻分布図』（文部省国語調査委員会編）刊行から 2006（平成 18）年の『方言文法全国地図　第 6 集』（独立行政法人国立国語研究所編）刊行までの間に刊行された単行本（科研報告書を含む）のうち，合計 460 点を所収する。

対象となった単行本は，国立国語研究所図書室の蔵書から言語地図が含まれるものを確認して抽出するという方法で選定された。経緯は「3. 準備調査の概要」を参照されたい。

また，いわゆる民俗地図の一部も含む。特に，文化庁が各都道府県教育委員会に委託して 1973-1984（昭和 48-59）年に行った「民俗文化財分布調査」をまとめた地図である。都道府県ごとに刊行された各刊行物と（『都道府県別　日本の民俗分布地図集成』全 13 巻（1999-2003 刊行，東洋書林）に所収)，分野別に全国分布を統合して示した『日本民俗地図』全 10 巻（1969-1988，国土地理協会）とがある。全国統一調査票と都道府県別の特殊項目調査票を併用した臨地調査が行われた。これらには言語地図に準ずるものが含まれるためデータベースに加え，当該の分布図が言語項目である場合には「言語項目」というタグをつけた。

b　言語地図集所収項目

言語地図集所収項目（以下，項目リスト）とは，言語地図目録台帳の各単行本に所収された言語地図・方言地図・グロットグラム，調査地域概略図や方言区画図の類（以下，言語地図類と称する）について，各項目を一定の基準に従ってリスト化し，調査の観点によ

るタグ付けを施したものである。現在，27800 枚ほどの言語地図類が入力されている。

地図の枚数が多いタグは，すなわち先行研究の量が多い項目として，『全国方言準備調査調査票』の項目選定の根拠となった（注 2）。

② 項目リストの作成

以下，言語地図類の項目リストの作成方法，項目分類のタグ付け方法について述べる。

a 項目リスト作成の方法

項目リストは，主に単行本の目次から，言語地図・方言地図の 1 枚またはグロットグラム 1 図を 1 行として，列の内容を入力していくという方法で作成された。

列には，準備調査項目を選定する目的のもと，言語地図類を分類するための次のような 16 種類が用意された。②から⑤は言語地図の内容，⑪から⑭は地図内容の項目分類タグ，⑥から⑩は準備調査の採択候補を分類するための列である。以下，①から⑯の内容を説明する。

表 1 項目リストにおける列の種類

作業情報	① タグ付け担当者
言語地図の内容	② 地図仮番号
	③ 地図集書名・地図集仮符号
	④ 地図名・地図名よみがな
	⑤ 質問文
準備調査の採択候補分類	⑥ 採択候補項目_分野
	⑦ 語彙項目_採択候補_項目名・ID 番号
	⑧ 文法項目_採択候補_項目名・ID 番号
	⑨ 音韻項目_採択候補_項目名・ID 番号
	⑩ アクセント項目_採択候補_項目名・ID 番号
地図内容の項目分類タグ	⑪ 取り扱い分野
	⑫ 文法の分類（分類タグ）
	⑬ 語彙の品詞情報（分類タグ）
	⑭ 語彙の分類（分類タグ）
作業上の備考	⑮ 備考
参照：LAJ・GAJ	⑯ LAJ，GAJ

①タグ付け担当者には，⑪⑫⑬⑭におけるタグ付け作業の担当者名（大西／吉田／三井／小西／新井／竹田）が入力されている。

②地図仮番号には，言語地図類の通し番号が付されている。

③地図集書名・地図集仮符号には，言語地図目録台帳に基づいて，単行本の書名とその

通し番号が付されている。

④地図名・地図名よみがなには，言語地図類の題名と，その読みがひらがなで付されている（注 3）。

⑤質問文には，当該の地図項目の調査に使用された質問文が入力されている。また，選択肢がある場合はそれも⑤に入力されている。質問文がわからない場合は，「¥なし¥」が入力されている。

⑥⑦⑧⑨⑩は，準備調査の採択候補項目として扱うために設けられた。以下，順に説明する。

⑥採択候補項目_分野は⑪と同様，取扱分野が文法／語彙／言語行動／音韻／アクセント／その他に分類されている。その他に分類したものには，調査地域概略図／道路交通地図／調査担当者一覧図／方言区画図などが含まれる。分野が重複する場合は，「語彙，音韻」，「語彙，文法」などのように，併記してある。

⑦⑧は，語彙・文法に関しては⑫⑬⑭のタグ内容が集約されている。

⑨⑩は，音韻とアクセントについて，b (3) (4) のように調査項目によって分類されている。

⑪取り扱い分野では，文法／語彙／言語行動／音韻／アクセント／その他に分類した。特に⑫文法と⑭語彙については，b (1) (2) のような分類タグを施した。

⑬語彙の品詞情報では，名詞／動詞／形容詞／副詞／擬声擬音語／その他に分類される。その場合，名詞には名詞句，動詞には動詞句，形容詞には形容詞・形容動詞，形容詞句・形容動詞句を含む。また，動詞と形容詞には，動作／状態／感情／感覚が付されている。

⑮備考は，地図項目の入力作業およびタグ付け作業上の留意情報が入力されている。

⑯LAJ，GAJ には，一致する『日本言語地図』『方言文法全国地図』の地図がある場合，LAJ または GAJ と入力されている。

b　項目の分類タグの種類

上記 a の列のうち⑨⑩⑫⑭には次の (1) ～ (4) のようなタグ付けが施されている（注 4）。以下，⑭語彙，⑫文法，⑨音韻，⑩アクセントの順に述べる。

(1) 語彙項目（⑭「語彙の分類」タグ）

語彙項目のタグは，『日本言語地図』（第 1 集付録 A「日本言語地図解説―方法―」4～7 頁）をもとにした分類項目の検討に基づいて作成され，『方言の地図帳』の分類を参考に，改訂を経て表 2 のようにまとめられた。

表 2　語彙項目の分類

新規分類			参考			
			LAJ (方法)		『方言の地図帳』	
新規分類：大分類	新規分類（タグ）	新規分類注記	LAJ(方法)：大分類	LAJ(方法)	方言の地図帳：大分類	方言の地図帳
人間 ＝人間や人間の思考	**人倫**	親族・性	人	人倫	人間と生活	人倫
	人体	人間の身体		人体・感覚		人体の名称など
	動作	主に動詞		行動		行為と感情
	状態	主に動詞・形容詞		判断		
	感情	主に動詞・形容詞		感情		
	感覚	主に形容詞：五感関係				
	人間（その他）	人間関係で上記以外のもの				
生活 ＝生活一般	**衣生活**	衣類・衣料等，衣に関する語彙		屋内生活		生活
	食生活	食物・調理等，食に関する語彙				食物・料理・味覚
	住生活	住居・建材等，住に関する語彙		屋外生活		生活
	農林業	第一次産業のうち，農林業関係の語彙				
	漁業	第一次産業のうち，水産業関係の語彙				
	鉱工業	第二次産業関係の語彙				
	商業	第三次産業関係の語彙，経済関係				
	遊戯	子どもの遊び関係		遊戯		遊戯
	民俗	冠婚葬祭などハレ関係，宗教関係				
	生活（その他）	生活関係で上記以外のもの				
自然 ＝自然現象や生物	**時空間**	日時・月日・方角・数量・助数詞など	自然	日時	自然	月日・時間
	天地	天体・気象・地形など		天地		天地
	動物	ほ乳類，両生類，は虫類		獣・鳥	動植物	動物
	鳥	鳥類				鳥
	魚介類	魚・エビ・カニ・貝・蛸・烏賊など		魚・虫		魚
	虫	昆虫，軟体動物のうち貝以外：カタツムリ・ナメクジなど，節足動物のうちエビ・カニ以外：蜘蛛・ムカデ・ミミズなど				虫
	植物	植物全般		栽培植物		植物
				野生植物		
	自然（その他）	自然関係で上記以外のもの				
その他	**その他**	上記で分類できないもの				

(2) **文法項目**（⑫「文法の分類」タグ）

文法項目の分類項目は，次の 2 つの方法で設定された。最初に，『方言文法調査ガイドブック』，『方言文法調査ガイドブック 2』，『方言文法調査ガイドブック 3』の章立てと内容に従って，表 3 のようなタグが設定された。これらのガイドブックには，方言文法の調査を行う際に必要になる調査の観点や調査票例が盛り込まれている。

表 3　『方言文法調査ガイドブック』1～3 による文法項目の分類タグ

分類項目	分類対象	方言文法調査ガイドブック 1 ～ 3
可能	可能表現	1，2
自発	自発表現	1
ヴォイス	ヴォイス（受身・使役）	1
テンスアスペクト	テンス・アスペクト	1
条件	条件表現	1
接続詞	接続詞	1，2
格助詞	格助詞	1
終助詞	モダリティ（終助詞）	1（間投助詞を含む）
活用	活用	1
主題	主題	2
副助詞	副助詞・接尾辞	2
否定	否定表現	2
授受	授受表現	2
待遇	待遇表現	2
過去回想	過去回想表現	2
推量	推量表現	2
様態	様態表現	2
伝聞	伝聞表現	2
疑問	疑問表現	2
確認要求	確認要求表現	2
原因理由	原因・理由表現	2
希望	希望表現	2 の資料，3
意志	意志表現	2 の資料，3
詠嘆	詠嘆表現	2 の資料，3
強調	強調表現	2 の資料，3
勧誘	勧誘表現	2 の資料，3
命令	命令表現	2 の資料，3
禁止	禁止表現	2 の資料，3
挨拶	あいさつ表現	2 の資料，3
感動詞	感動詞・詠嘆表現	3
その他	以上の分類に当てはまらないもの	

次に，『方言文法全国地図』をもとにした分類項目が検討された。表 3 の見直しを経た上で，『方言文法全国地図』にタグ付けする際に不足する文法カテゴリが追加され（注 5），

最終的に次のようなタグが設定された。

文法項目の分類タグ

格助詞	テンスアスペクト	義務
主題	回想報告	様態
副助詞	ヴォイス	伝聞
準体助詞	授受	強調
並立助詞	断定	命令
条件	推量	禁止
原因理由	確認要求	終助詞
逆接	意志	人称代名詞
接続詞	勧誘	待遇
活用	希望	その他
否定	疑問	

(3) 音韻項目（⑨「音韻項目_採択候補_項目名・ID番号」タグ）

音韻項目については，調査の観点によって，次のようなタグがつけられている。

音韻項目の分類タグ

単母音（イ・エ：語頭）	合拗音
単母音（ウ：両唇鼻音の前）	ガ行鼻濁音
連母音（アイ）	語中子音の有声化（カ行）
連母音（アエ）	語中子音の有声化（タ行）
連母音（ウイ）	一つ仮名（シ・ス・チ・ツを含む）
連母音（ウエ）	四つ仮名
連母音（エイ）	シ・ヒ（歯茎音・口蓋音）
連母音（オイ）	シュ・ジュ・チュ（拗音・直音）
連母音（オエ）	セ・ゼ（口蓋化）
開合	チ（破裂・破擦）
開合，セ・ゼ（口蓋化）	ツ（破裂・破擦）
女王（長音化）	ハ行子音（両唇音・声門音）
連声	

(4) アクセント項目（⑩「アクセント項目_採択候補_項目名・ID番号」の列）

アクセントについては，取り上げられている語例を基本的にそのまま入力した。

c　項目分類のタグ付け方法

分類項目のタグは，取り扱い分野の中で適用された。したがって，それらの分類タグが重複する場合は¥で区切って順番に並べた。例えば語彙分野では，地図名「じゃがいも（LAJ第174図，馬鈴薯）」には，「食生活¥農林業¥植物」のように該当する3種類のタグが付されている。同様に文法分野では，地図名「行ってもらいたい（GAJ第231図，「あの人には、是非、いっしょに行ってもらいたい」）」には，「授受¥希望」のように2種類のタグが付されている。

また，分野の分類が音韻／アクセント／語彙／文法／その他のうち2分野にまたがる言語地図には，2種類の分野名が入力され，それぞれの分類タグが付されている。

なお，タイトルはあるが調査文がない言語地図類のうち，調査の観点が判別できないものもある。その場合，分野名も分類タグも付されていない。

8.3　当プロジェクトにおける言語地図集所収項目の利用

言語地図データベースについて，現時点までの利用状況と，今後の利用課題について述べる。

現時点までに，(1) 言語地図目録台帳と (2) 言語地図集所収項目は，『全国方言準備調査調査票』による調査の終了後に，本調査の調査項目検討資料として，事前研究ワーキンググループのメンバーに対して配布された。また，本調査項目の検討時に，(2) に所収されている言語地図類の枚数が「取り扱い地図集数」としてカウントされ，調査項目選定根拠の周辺情報として同委員会で示された。

今後は，これらの調査結果の分析時に先行研究として参照するためのリストとしての利用が期待される。ただし，これらの地図が国語研究所の図書室備え付けの単行本に所収されているもののリストであり，多くの利用者にとっては実際の言語地図類にあたるまでに時間と手間を要する場合がある。また，単行本に所収されていない言語地図類，例えば雑誌論文にのみ所収されているものは未収録であることなど，注意が必要である。さらに，実際に分析する場合に必要な情報として調査年月日，調査目的，調査対象者の属性，調査方法（例えば質問紙によるものか面接によるものか）などが必須だが，本データベースには入力されていない。したがって，言語地図類同様，ひとつひとつ実際の資料にあたって確認する必要がある。分布の経年変化を捉える場合においてこれらはデータベースとしての質的な欠点であり，今後改訂すべき点であろう。

注

注 1　この目録について，日本方言研究会 (http://wwwsoc.nii.ac.jp/cdj/moku.html)「言語地図目録（単行本)」の「凡例」には，「この目録は，日本方言研究会に設けられた言語地図目録作成委員会（略称 LA 委員会）において大西が分担した対象（単行本）の一覧である。配列は，刊行された年代順である（年代が不明のものは冒頭に配列した)。」とある。同「凡例」には，「LA 委員会」の説明として「当時日本方言研究会の代表世話人であった故徳川宗賢氏が平成 6 年(1994)年に委員長として日本方言研究会に作った委員会。1994 年 11 月，1995 年 1 月・5 月・10 月に計 4 回，学習院大学に集まった。委員の中で対象とする資料の範囲など（例：雑誌論文・地方史誌・グロットグラムなど）を分担して作業を行った。」とある。

注 2　『全国方言準備調査調査票』pp. 79-80 の「項目設定の基本方針」「項目選定の経過」および本書の「3. 準備調査の概要」を参照されたい。

注 3　これらの地図タイトルは，単行本の目次と異なる場合もある。

注 4　とりわけ文法・語彙の分類項目は，各段階を経て最終案となった。文法項目タグ最終案の検討は大西拓一郎，三井はるみ，竹田晃子が担当した。語彙項目タグ最終案の検討は，大西拓一郎，竹田晃子が担当した。

注 5　『方言文法全国地図』をもとにした分類項目タグの作成は三井はるみが担当した。

引用文献

大西拓一郎編(2002)『方言文法調査ガイドブック』(1998-2001 年度科学研究費補助金基盤研究(B)「文法体系のバリエーションに関する対照方言学的研究」(研究課題番号：10410097）報告書）(http://www2.ninjal.ac.jp/takoni/DGG/DGG_index.htm にて報告書の一部を PDF にて公開。2011 年 1 月 31 日 13:20 に参照した)

同上(2006)『方言文法調査ガイドブック 2』(2002-2005 年度科学研究費基盤研究(B)「方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究」(研究課題番号：14310196）報告書）(web. では未公開)

国立国語研究所全国方言調査委員会編(2009)『方言文法調査ガイドブック 3』(web. では未公開)

佐藤亮一編(2002)『方言の地図帳』小学館

日本方言研究会「言語地図目録（単行本)」(http://wwwsoc.nii.ac.jp/cdj/moku.htm, 2011 年 1 月 31 日 13:20 に参照した)

9. 方言分布調査研究の意義

9.1. 全国方言準備調査における語彙項目の結果分析と考察

吉田　雅子

（本章は，2010(平成22)年3月23日に，国立国語研究所で開催された共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」研究発表会で発表した内容に基づき，記述するものである.）

本章では，2009(平成21)年に，国立国語研究所全国方言調査委員会委員（同年10月より「方言の形成過程解明のための全国方言調査」プロジェクト共同研究者）が実施した「全国方言準備調査」31地点の調査結果より，語彙分野124項目の結果を提示し，その分析と考察を行う．先行調査・言語地図がある項目についてはそれと比較して今回の調査ではどのようなことが見いだされるかを指摘し，新規項目については得られた知見を紹介する．

以上を受けて，同調査の問題点を指摘し，改訂した本調査語彙項目案を提示し，方言の形成過程解明に語彙項目調査がどのように位置づけられるかを考察する．また，本調査に向けて考慮すべき点を，調査項目・調査方法・被調査者条件・分析方法といった観点から考え，今後の展望について論じる．

① 準備調査の項目構成

準備調査における語彙項目は全部で143項目（大項目では124項目）である．調査項目における「語彙項目の大分類」である「人間関係・生活関係・自然関係・その他」の4つと，「LAJと同項目のもの・新規項目として設けたもの」の観点から分類すると，項目構成は次表のようになる．

	LAJ項目	新規項目	合計
Ⅰ 人間関係	35	31	66
Ⅱ 生活関係	16	20	36
Ⅲ 自然関係	26	13	39
Ⅳ その他	0	2	2
合計	77	66	143

② 準備調査の結果概要

準備調査の結果は調査項目ごとに個別の様相がうかがえるが，概要として述べると以下

の２点が指摘される．

「LAJ と同じ調査項目（以下「LAJ 項目」）」について，LAJ と比較して変化が見られたかという点についてであるが，これは意外と変化がないという結果である．しかしこれは，調査の際の誘導によって語形が出現していることも考えられ，LAJ の時代とまったく同じということはできまいが，伝統的な方言形が現れたという事実や，高年層の伝統方言形保持が意味することについては，あらためて検討する必要があろう．

次に，新規項目について，新たな知見が得られたかという観点で考えると，次のことが指摘できよう．まず，一般にはよく話題になることでも，全国方言分布の実態が未解明のものの，大雑把な傾向が把握できた．また，若者が用いる新方言が生まれる母体とも言うべき方言形が概観できた，ということである．

③ 語彙項目の分布概観

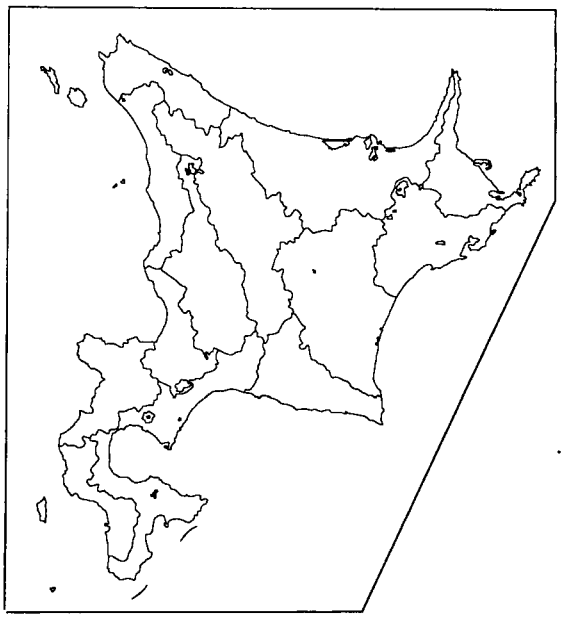
ここでは具体的にいくつかの分布図を提示しながら，語彙項目の分布について概観する．その上で，その分布についてどのように分析し解釈したか，その分析内容を本調査項目選定に際しどのように検討にいかしたか，という点について述べる．

■LAJ との変化が少ないことが読み取れる例

JL-004 とんぼ（LAJ5-231）作図：新井小枝子

これは LAJ と同じ伝統語形が現れているのが栃木のゲンザンボ，鹿児島のボイである．東京都立川ではドンブという伝統語形が見える．「とんぼ」は共通語化が進んでいると目されるが，高年層の伝統方言形保持が使用状況とどのように関わっているかや，近世以来の分布比較という観点から，本調査に採用する価値ある項目といえよう．

JL-004　とんぼ



- ● トンボ　　● ドンボ
- ◎ ドンブ
- ^ ヤンマ
- ▮ アケシ　　▲ アケジュ
- ⌒ ボイ
- ▼ アヤジ
- ＊ ゲンザンボ

・東北の｛ダンブリ／アケズ｝はどこへ？
北九州のエンバはどこへ？
・トンボの地域は拡大か。
と同時に，ＬＡＪ時代の
俚言形もみえる。

作図：新井小枝子

■語彙の体系性の観点からの分析

JL-023 じゃがいも(LAJ4-174,175)作図：新井小枝子

JL-024 さつまいも(LAJ4-176)作図：新井小枝子

JL-025 さといも（LAJ4-177,178)作図：新井小枝子

JL-026 やまいも　作図：新井小枝子

JL-027 イモの意味（LAJ4-179）作図：新井小枝子

「いも」という共通項目について上記５つの分布図に基づき，本調査項目に採用すべきかについて考察した．体系的な視点を入れて分析すべきだとすれば，「じゃがいも」「さつまいも」「さといも」「やまいも」「イモの意味」の項目全部が必要であると言えよう．しかし準備調査結果を見ると，LAJ に項目のある「じゃがいも」「さつまいも」「さといも」「イモの意味」においては変化が小さく，本調査からはこれら「いも」に関する項目を全部削除してもよいとも考えられる．一方，LAJ と同項目のものが４つあるからこそ経年変化を知るには「やまいも」も加えた全項目調査する方がよいとも言えるし，また詳細に見れば項目ごろに変化の大小の度合いが異なることも指摘でき，分布変化の実態を把握しうる項目となりうる．

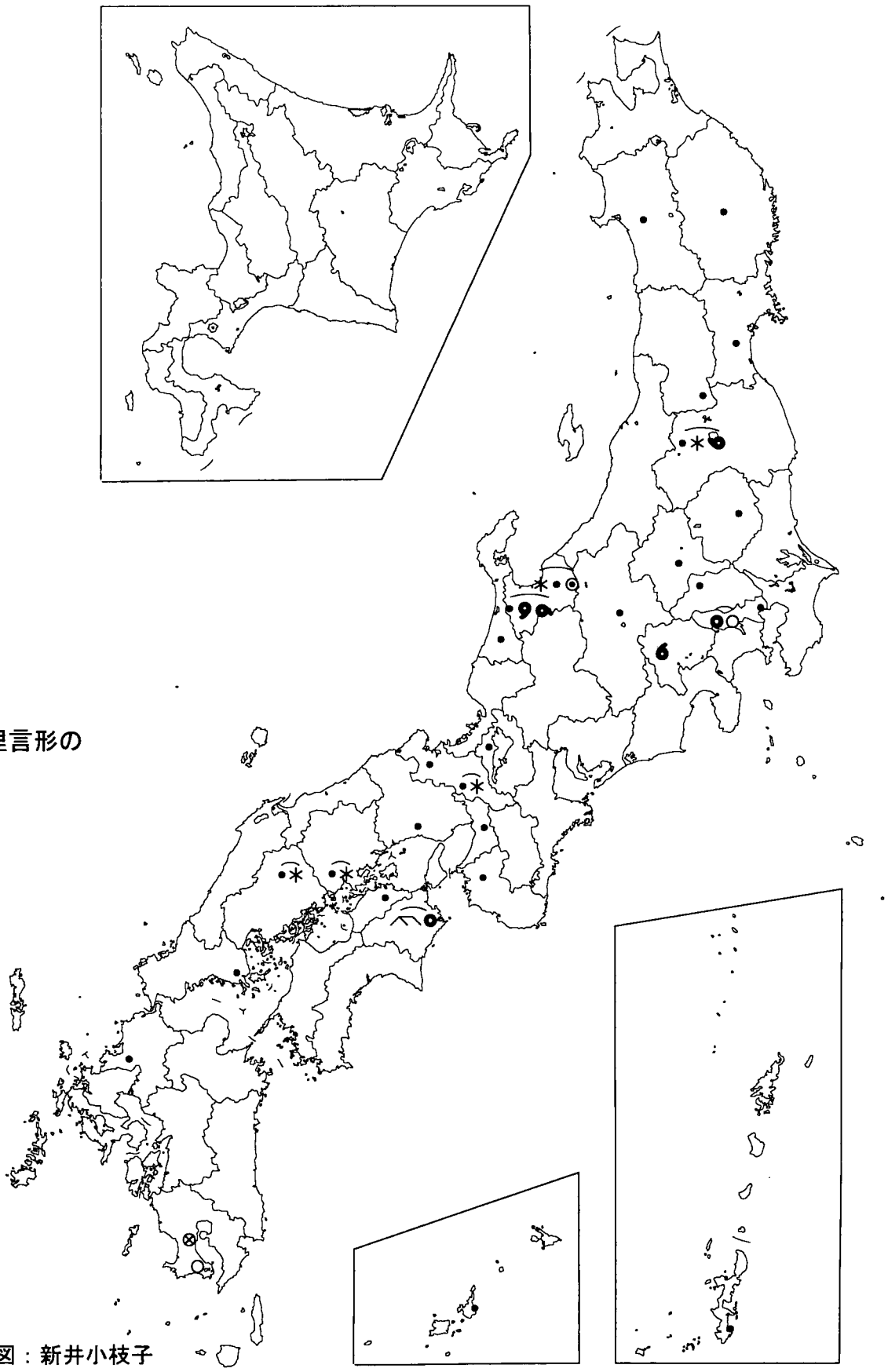
結局，本調査の項目として採用したのは「やまいも」を除く，すなわち LAJ と同項目の「じゃがいも」「さつまいも」「さといも」「イモの意味」である．先に述べたように語彙の体系性を考察するためには「やまいも」が入ることが望ましいが，調査項目の数に限りもあり，１つ除くとしたらという観点で「やまいも」を除くという判断になった．

JL-023　じゃがいも

- ジャガイモ
- ジャガタラ（イモ）
  - ○ジャガタ
  - ⊗ジャガタロ
- ジャガラ
- ニドイモ

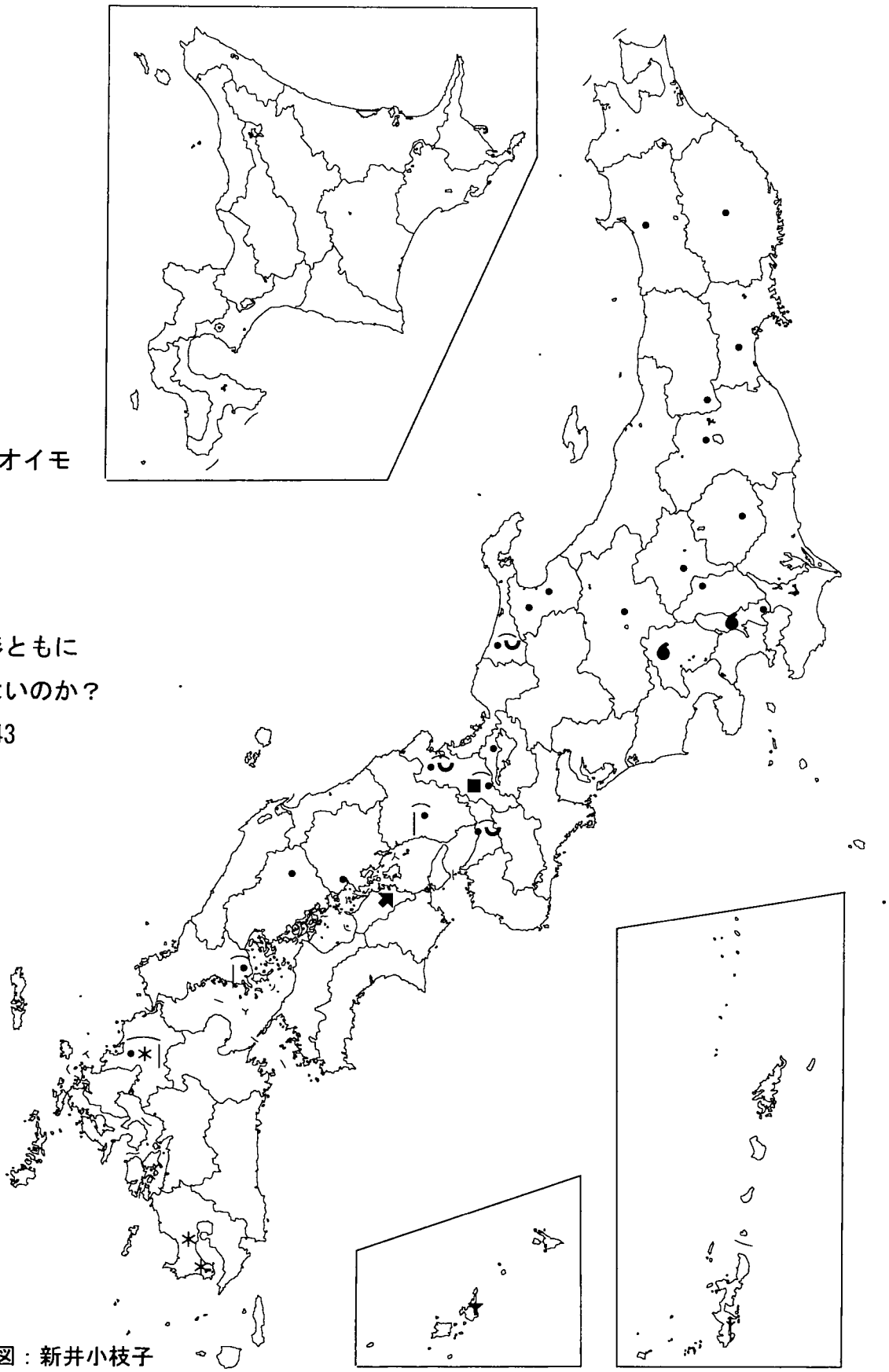
- カンプラ
- テンテコイモ
  - テンコロイモ
- ノトロ
- ＊ バレーショ

・ＬＡＪにみられる俚言形の
衰退が著しいか？
『方言の読本』p. 139



作図：新井小枝子

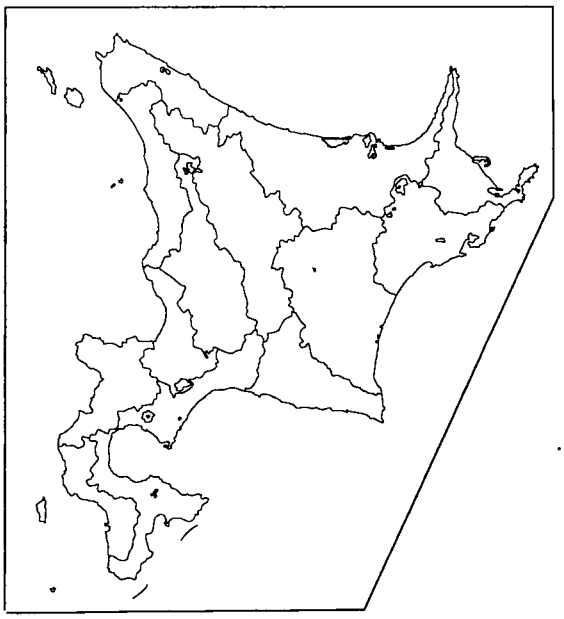
JL-024　さつまいも



・分布の状況・語形ともに
　ほとんど変化がないのか？
『方言の読本』p. 143

作図：新井小枝子

JL-025　さといも



• サトイモ　⊕ イモコ

◧ タイモ

◩ イモノコ　◨ マゴイモ

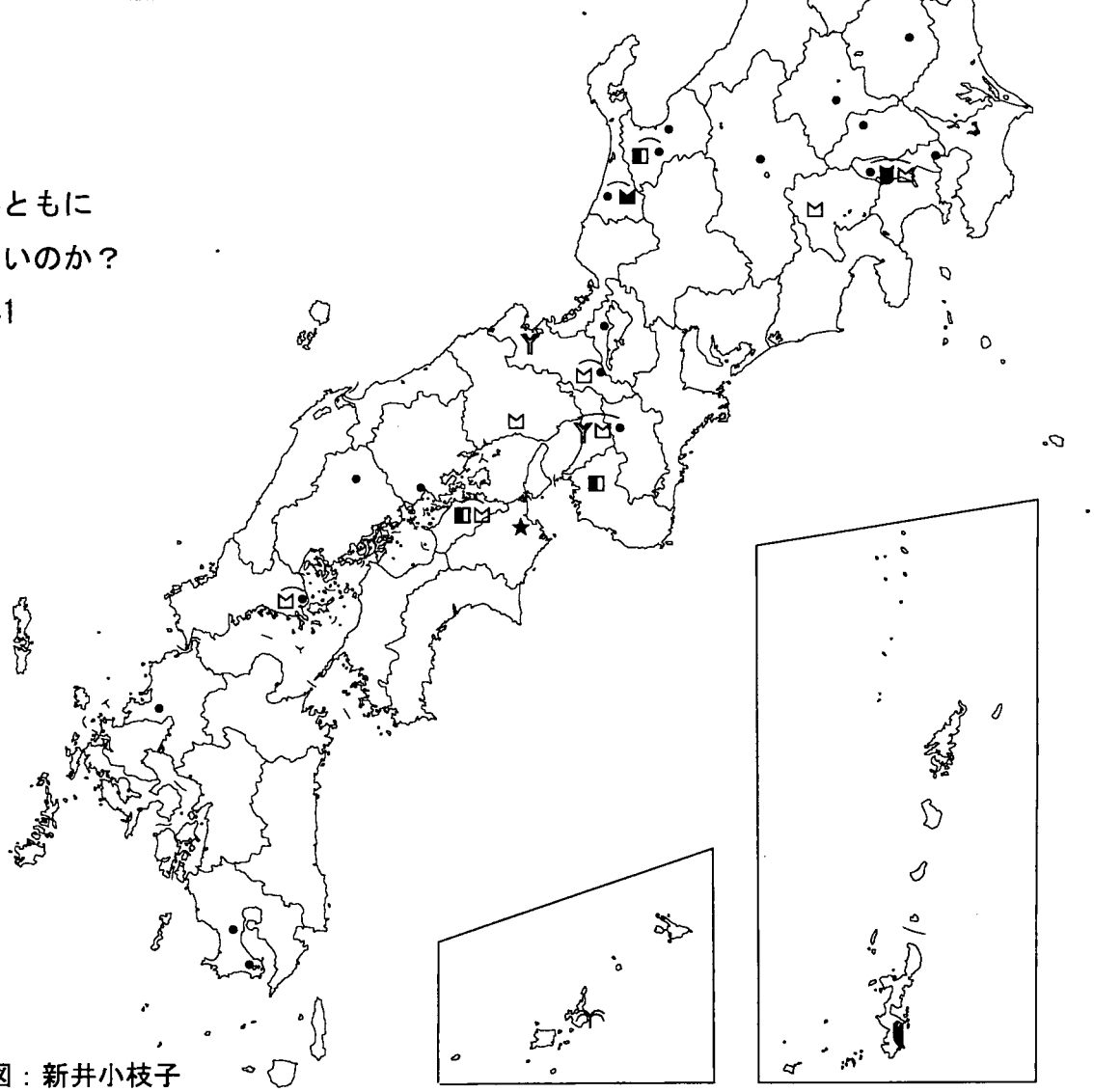
⋈ コイモ・ホイモ

Y ズイキ（イモ）　★ジーモ

◖ チンヌク

♈ ムジ

・分布の状況・語形ともに
　ほとんど変化がないのか？
『方言の読本』p. 141



作図：新井小枝子

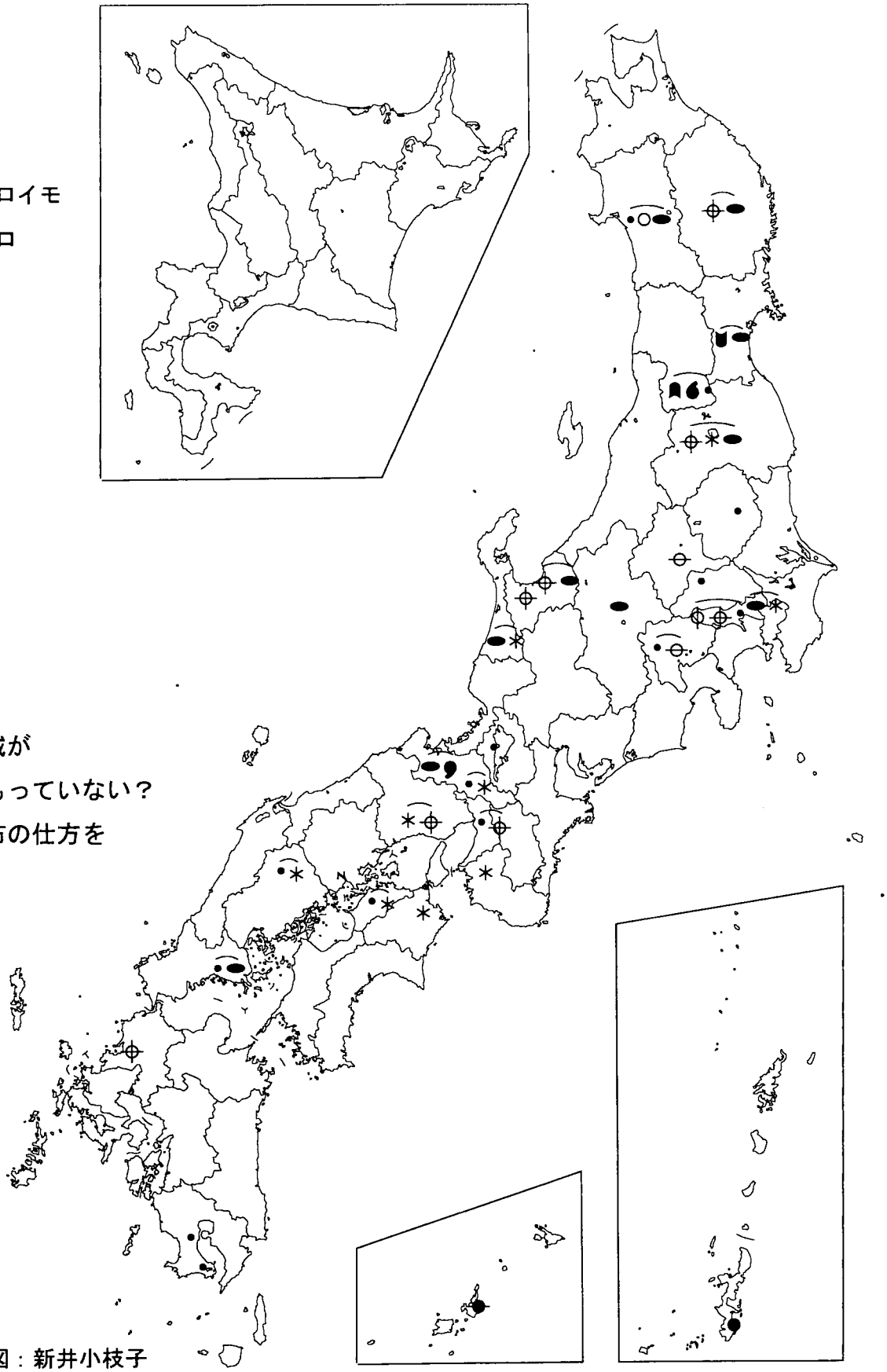
JL-026　やまいも

• ヤマイモ
○ タロイモ
⊕ トロロ（イモ）　⊖ トロイモ
⬬ ナガイモ　ϕ トロ
ラクダイモ
ダイゴンイモ
トックリイモ
ツクネイモ

● ヤマウンム
ウン

＊ ジネンジョ
ᴺ ＮＲ

・ヤマイモの分布域が
意外と広がりをもっていない？
共通語らしい分布の仕方を
している？

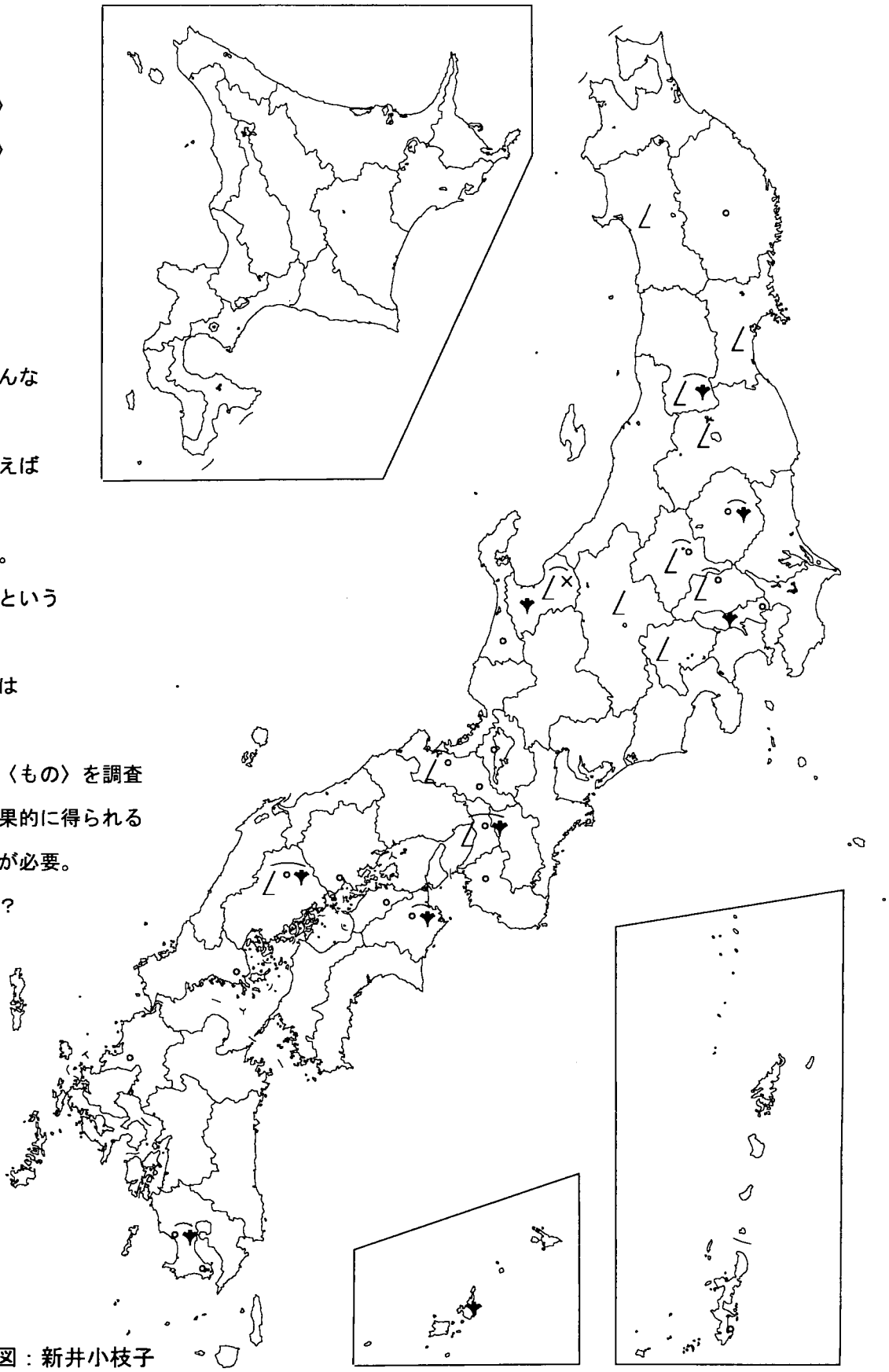


作図：新井小枝子

JL-027　イモの意味

∠〈じゃがいも〉
∘〈さつまいも〉
✝〈さといも〉
⌒〈やまいも〉
×　その他

・イモと呼べるものにはどんなものがあるか。
その中で，「イモ」といえば何か？
・〈さつまいも〉は西日本。
〈じゃがいも〉は東日本という傾向は認められるか？
・〈さといも〉の分布変化はあり？　なし？
・イモが指示する典型的な〈もの〉を調査する項目ゆえ，それが効果的に得られるような調査環境と調査文が必要。
→分布図はえがきにくい？
記述調査へ
『日本の方言地図』p. 73



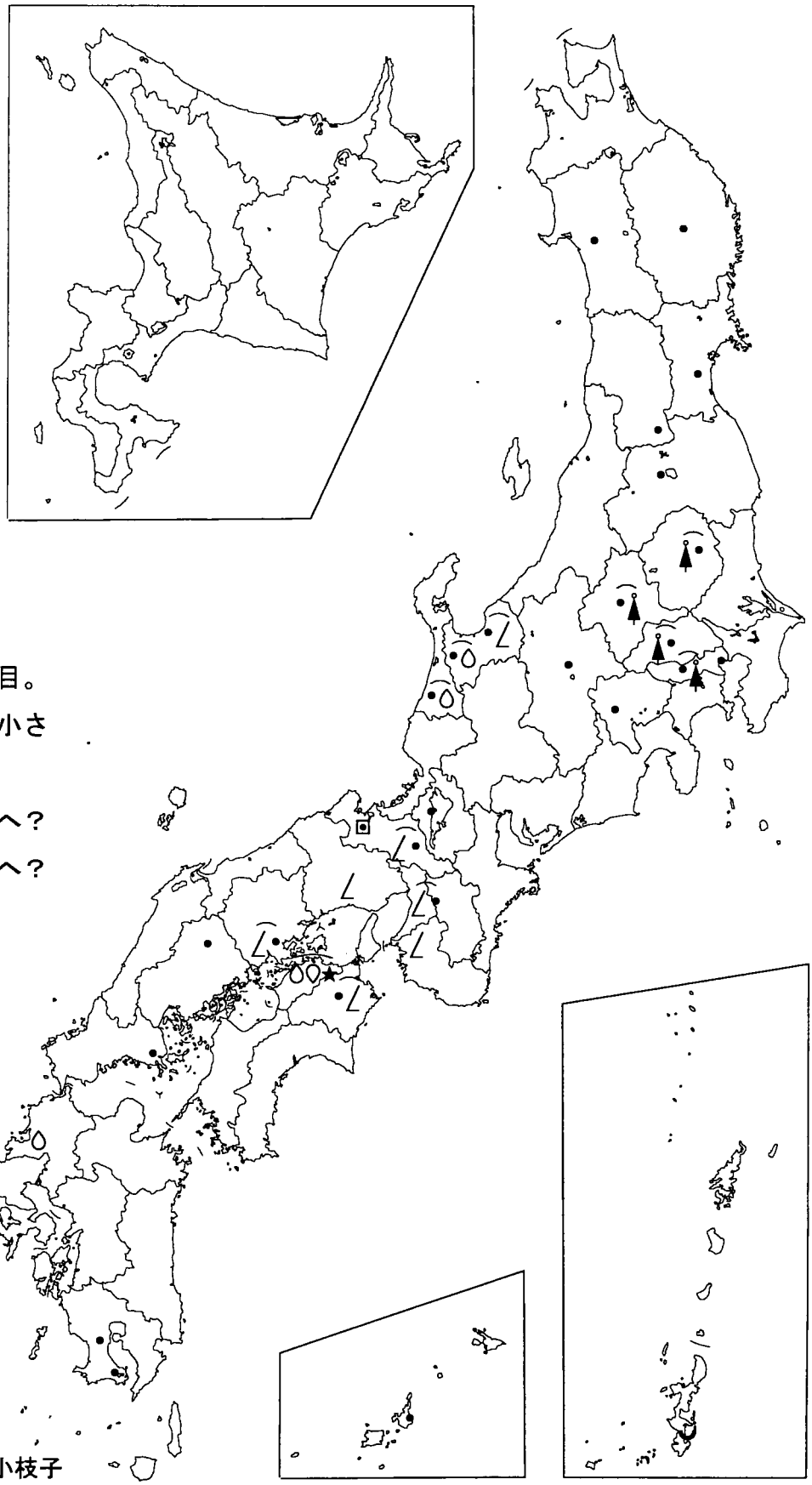
作図：新井小枝子

■同音衝突に関わる分析

JL-029 かぼちゃ（LAJ4-180）作図：新井小枝子

これも LAJ と比較して変化が小さいように見える．関東に現れているトーナス，近畿・中国・四国に見えるナンキンなどは，LAJ と非常によく似た分布である．一方，調査地点数の少なさも影響しているであろうが，秋田のドフラ，キントなどは現れていないし，中国四国地方のボーフラも見えない．この点については「ぼうふら（蚊の幼虫）」の項目と「かぼちゃ」とを合わせて本調査項目に選定することで，同音衝突が方言分布事象に関わる様相を考察できると考えられる．

JL-029　かぼちゃ



・JL-005〈ぼうふら〉は関連項目。
・ＬＡＪ時代と比較して変化が小さいようにみえるが…。
・秋田のドブラ，キントはどこへ？
中国，四国のボーフラはどこへ？

『方言の読本』p. 145

作図：新井小枝子

■項目内容と質問文についての検討

JL-035 ひきにく　作図：新井小枝子

この項目はLAJにはなかった新規項目である．準備調査結果からは西日本ミンチ，東日本ヒキニクという東西対立が予見される．この事象は，一般にはよく話題になることでも，全国方言分布の実態は未解明で，それについてごく大雑把ではあるが傾向が把握できたといえるだろう．新たな変化，未解明の分布を明らかにするために「ひきにく」は調査項目として採用するが，それに関連してWGでは「ニクの意味」を尋ねる項目を設定した．

この質問文については，２案設けた．以下のようなものである．

＜案１＞このあたりで普通ニクと言ったら，どの肉（〔豚肉〕〔牛肉〕〔鶏肉〕……）のことを言いますか。

①〔豚肉〕　②〔牛肉〕　③〔鶏肉〕　④その他（　　）

＜案２＞

ａ．このあたりでは〔ひきにく・ミンチ〕のこともふくめて，肉類のことをまとめて「何と言いますか。焼いたり，揚げたり，煮込んだり，いろいろに料理して食べます。※総称を求める。　①ニク　②ニク以外（　　）

b.〔にく〕と言っているものにはどんな肉がありますか。〔にく〕と呼んでいるものの名前をあげてください。※動物の違いによる肉の種類を求める。部位や切り方の違いによる肉の種類は求めない。

c. bの答えの中で，普通「にく」と言ったらどれのことを言いますか。

「ニク」の意味を三段構えにした，＜案２＞のような質問文案を考案した背景には次のような問題意識がある．

（１）総称は日本全国でニクであるということが前提となってしまっているが，本当にこれでいいか．さらに，上位語ニクと下位語〔豚肉〕〔牛肉〕〔鶏肉〕……の関係は，日本全国一様であるということを前提にしてしまうということも気にかかる．実は，この問題点は「イモの意味」の項目でも同じことで，上位語イモと下位語〔馬鈴薯〕〔薩摩芋〕〔里芋〕〔山芋〕の関係が日本全国一様であるということが前提になってしまっている．「ニクの意味」と問う場合，上位語〔肉〕に相当する総称を聞かなくてよいか．上位語に対する下位語は聞かなくてよいか．

（２）「ニクの意味」といっても，実は把握しようとしているものは「意味」ではなく，「ニクという語で表されるもののうちのもっとも典型的なもの」を聞いているのではないか．「全部ニクです」という回答も認めるか．この問題は「イモの意味」でも同じ．

（３）「ニクの意味」を問う場合，「イモの意味」と違って，下位語にあたる語の調査項目がない．下位語にあたる語の調査をしておく必要があるのではないか．

（４）上位語〔肉〕に対しての下位語は，いくつかの異なる視点があるはずである．例え

ば次のようなものである.

上位語　にく（肉）－

1. 動物の違いによる下位語〈豚肉〉〈牛肉〉〈鶏肉〉…
2. 部位の違いによる下位語〈ヒレ〉〈ロース〉〈胸肉〉…
3. 切り方？違いによる下位語〈挽肉〉〈バラ肉・三枚肉〉…

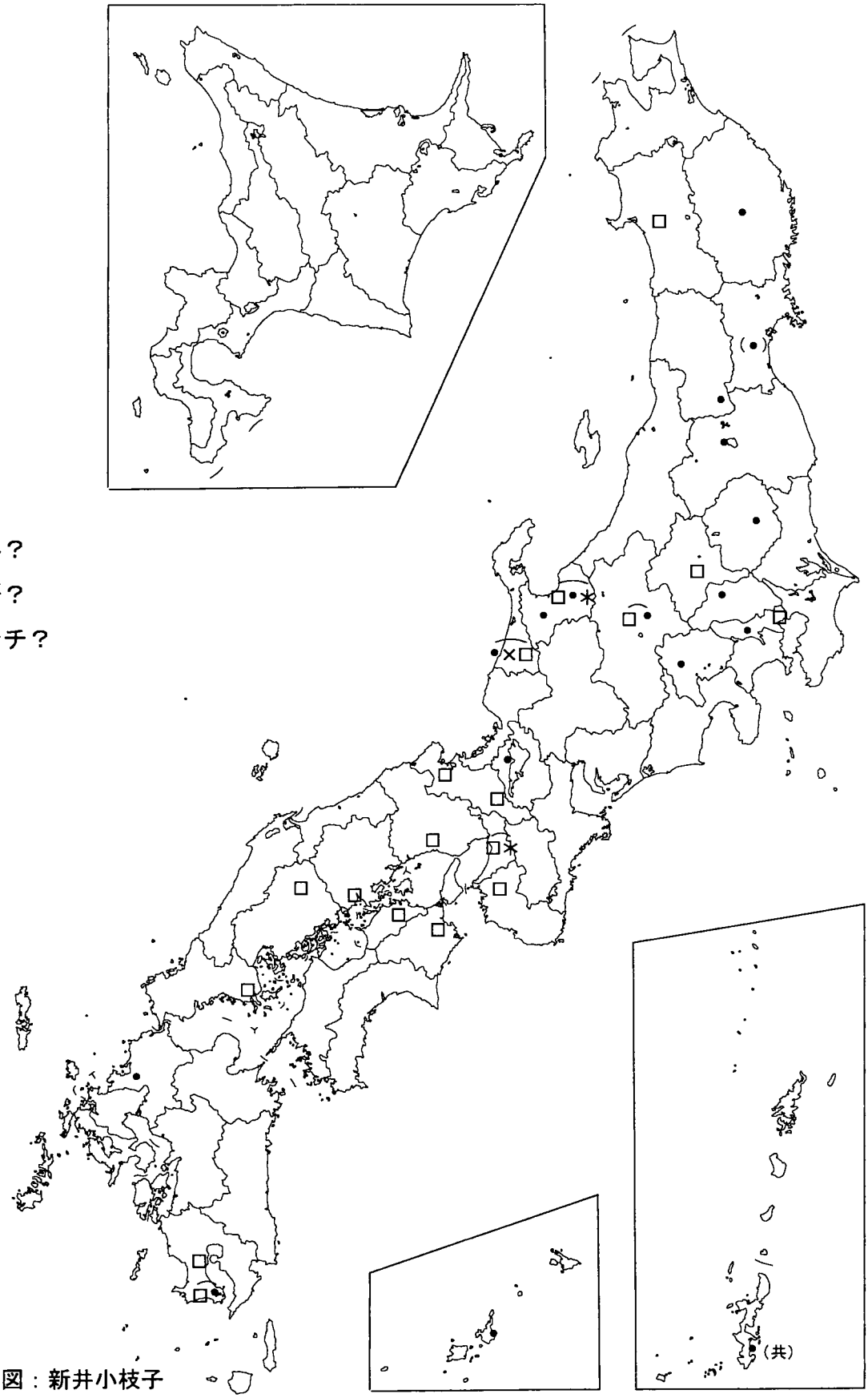
ここでは,「1. 動物の違いによる下位語」という視点に関しての調査としている.

最終的には＜案１＞の質問文を採用したが，調査項目の質問文作成においては項目内容との関係について十分な吟味をすることが必要であることを主張したい.

JL-035　ひきにく

• ヒキニク
□ ミンチ
× コマギレ
＊ アイビキ

・ミンチは西の語形？
・ヒキニクが共通語？
　しかし東京はミンチ？
　群馬にもミンチ？
・新しい変化とは？
　何を読み込むか。



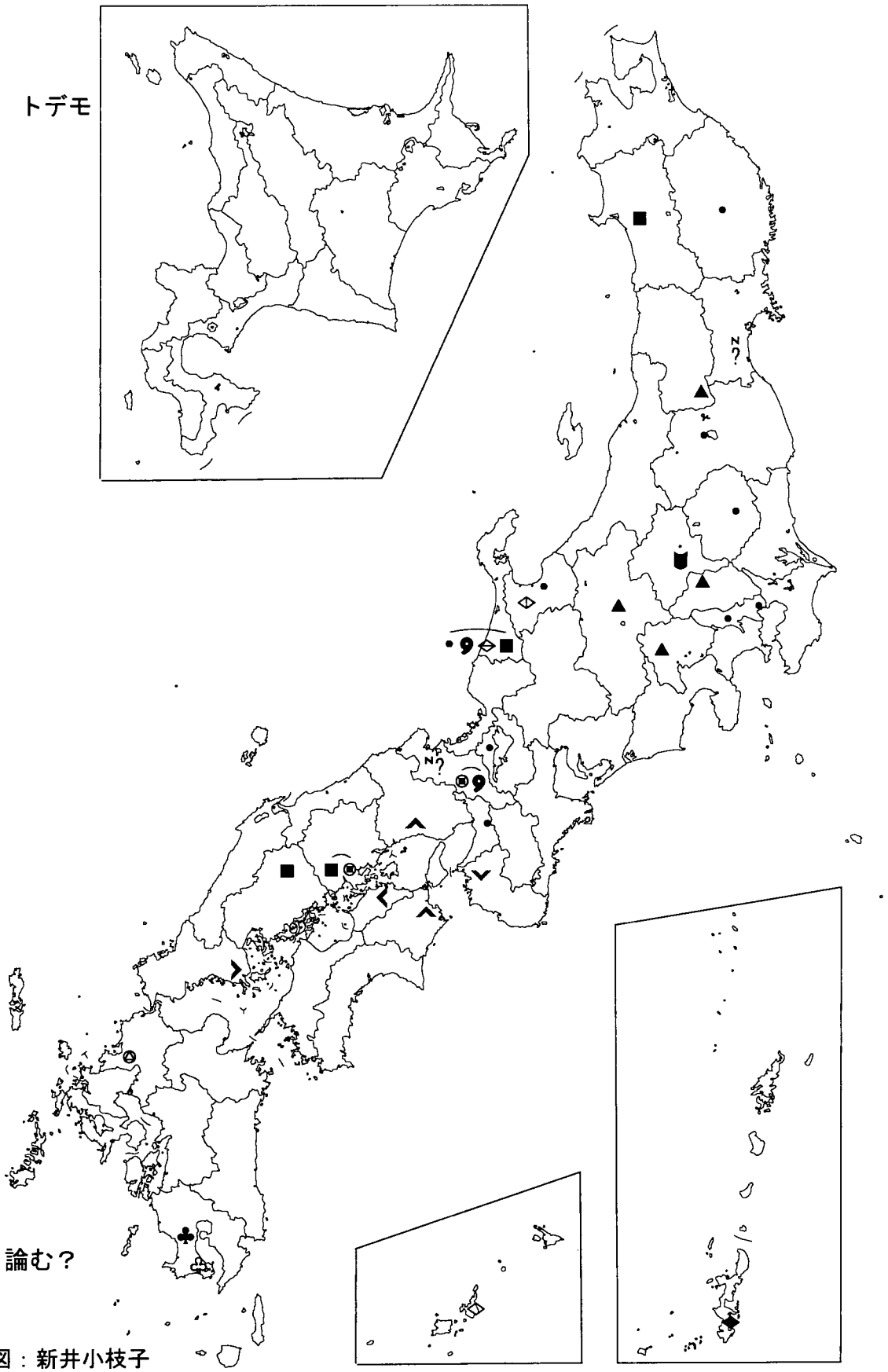
作図：新井小枝子

■新方言の母体とも言うべき方言形が概観される例

JL-087-a とても　作図：新井小枝子

高年層をインフォーマントとした準備調査でも，新方言と見なされる語形が現れている．新方言には伝統方言から派生したとみられる形式も多く，新たな方言の発生と分布形成の解明という点から，本調査でもこの項目を採用することとする．

JL-087-a　とても



・語形の多様性が顕著？
・トテモ系は東日本に広がりのある語形？
・新たな変化は，何を目論む？

作図：新井小枝子

■準備調査から削除した項目，準備調査に入れなかった項目

JL-121 やま　作図：吉田雅子

JL-122 もり(LAJ4-198)　作図：吉田雅子

JL-123 はやし（LAJ4-199）作図：吉田雅子

この3図については，「はやし」でLAJと同様，ヤマの分布が意外と多く残っていることが見て取れ興味深いが，いずれも本調査項目としては採用しなかった．

これに関連して，準備調査には入れなかったが本調査に入れるべきかと語彙グループで検討した項目例もある．その一例は「た（田）」と「はたけ（畑）」である．

LAJには「LAJ-185、LAJ-186 た（水田）」と「LAJ-188 はたけ（畑）」の項目があるが，これは何を作っているかで調査をしている．この観点で，本当に調査ができたことになるかという問題意識があった．話者の認識では，その場所に何を作っているかということではなくて，水利権の有無が関わっている可能性がある．この「水利権の有無」という視点を入れ，調査文の改変を施して今回調査する必要はないかという点について，検討した．

結論としては，本調査項目には採用しなかった．これは特に，調査方法の観点から調査項目に入れなかった，ということが大きい．

言語地理学調査のような，200項目を1人で調査するタイプでは，1項目についてつっこんだ質問をする時間が限られる．記述調査とはその点が異なり，質問はできるだけシンプルな方がよい．今回の調査において，1項目1調査焦点を原則としたのもその考えによる．そうなると，「田，畑，山，森，林」のような項目は，記述調査により適したものであるといえる．

「田，畑，山，森，林」などを考察するには，水利権の有無，自宅との位置関係，土地形状，土地利用などを合わせて聞くことが必要・有効であるが，これらの質問は一問一答式で調査票を埋めていくような言語地理学的調査で行うよりは，一問一答式に加えモノグラフ用メモも多く記録するような記述調査的調査で行う方が適している．例えば「水利権」1つにしても，利用する共同体ごとに異なり，共同管理か・個人への権利分配方式か，施設としてため池や用水を持つものか・資源として川や池を利用するものか，など，複合的で複雑多岐である．

「田，畑，山，森，林」などの名称については，すでにLAJや，東北大の小林隆先生主催「消えゆく日本語方言の記録調査」で全国調査がなされ地図化され，グランドデザインは得られる状態にある．これらの項目については，今後は記述調査・詳細調査すべきものであると考え，今回の方言分布調査では項目化しない，という結論に至った．

「田，畑，山，森，林」などについて，質問文を工夫して調査項目化するということも，得られる成果を考えると勧められない．500地点を50人ほどの人が調査することを考えると，回答の質にばらつきが出て，データとして記述分析に耐えうるものが結局得られないおそれがある．

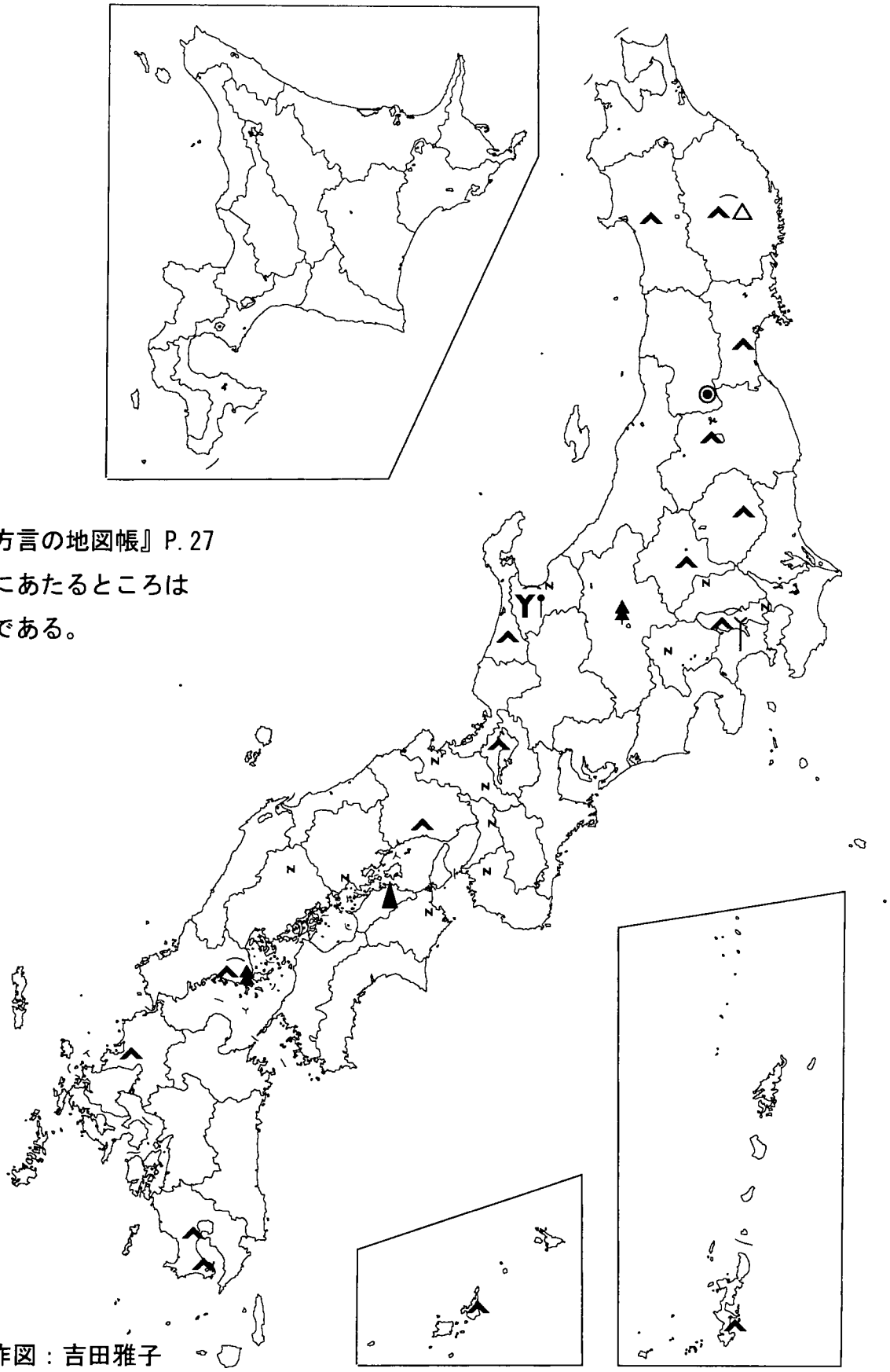
JL-121　やま(山)

- ヤマ
- サトヤマ
- ヤサン(野山)
- ハヤシ
- ヤブ
- サンリン
- ヨーザイリン
- ヤシキリン
- N 無回答

参考「はやし」『方言の地図帳』P.27

・「実感がない」にあたるところは
　もっと多そうである。

？　実感がない



作図：吉田雅子

JL-122　もり（森）

● モリ

ジンジャノモリ

ノリ

オミヤノモリ

ジンジャバエ

ヤマ

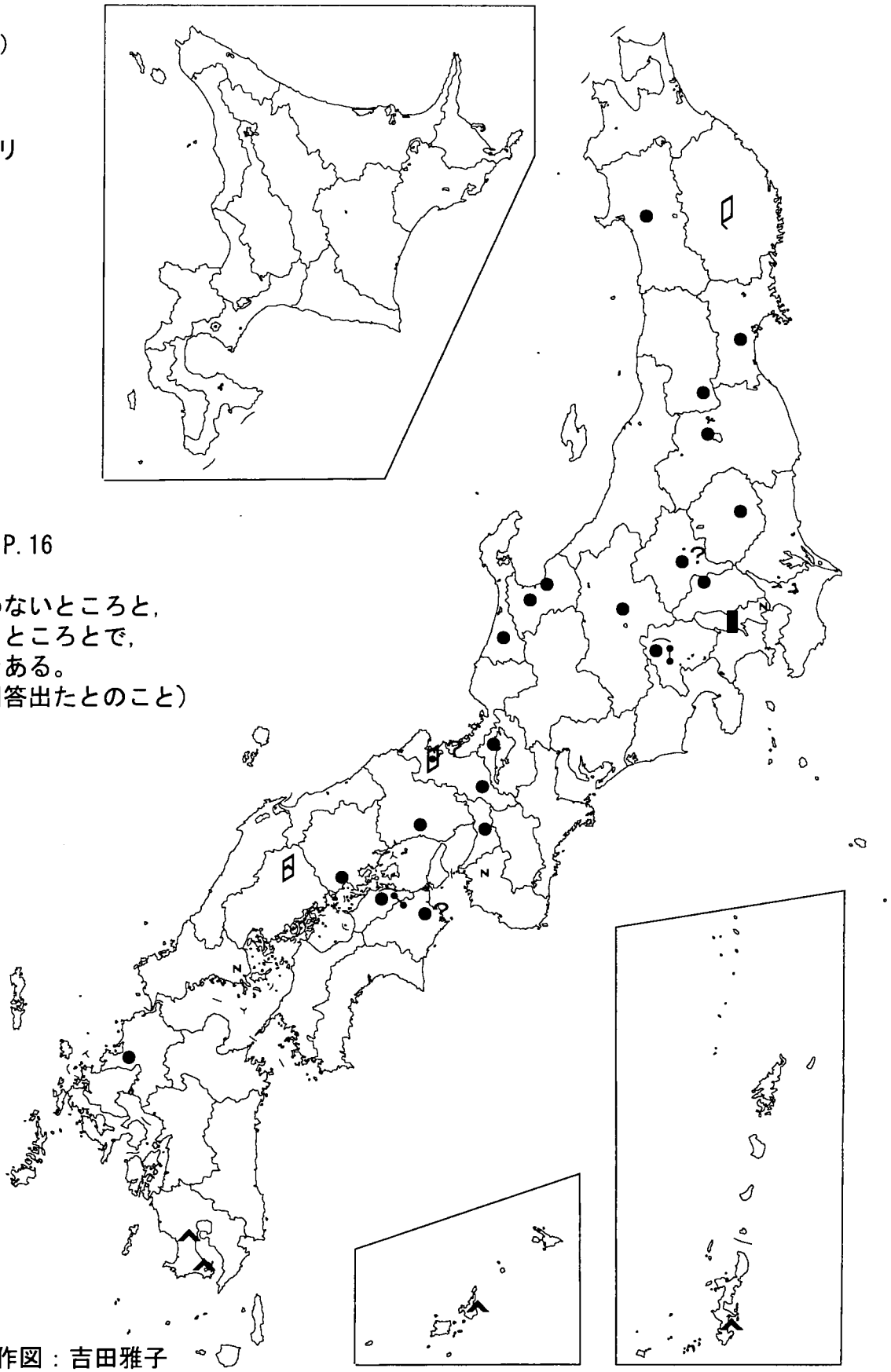
ミヤヤマ

ヤシロ

N 無回答

『方言の地図帳』P.16

・実感がともなわないところと，
　すぐ回答が出るところとで，
　分かれるようである。
　（大阪．すぐ回答出たとのこと）
・ハヤシ現れず。
？実感がない



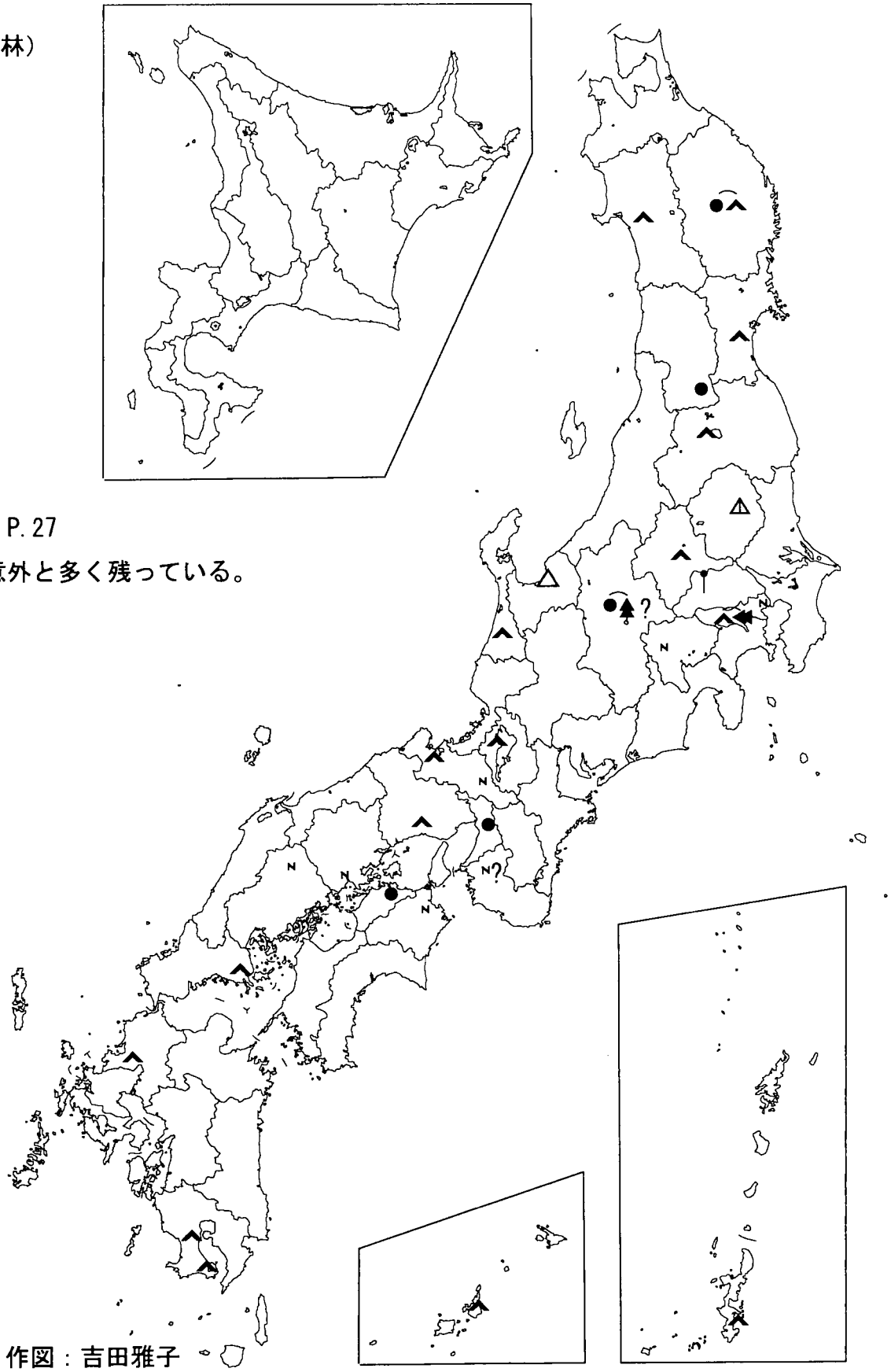
作図：吉田雅子

JL-123　はやし（林）

● ハヤシ
^ ヤマ
△ サトヤマ
⚠ ゾーキヤマ
| ゾーキバヤシ
▲ サンリン
◀◀ ヘーチリン
N 無回答
? 実感がない

『方言の地図帳』P. 27

・ヤマの分布が意外と多く残っている。



作図：吉田雅子

以上，数例ではあるが，準備調査の語彙項目の結果から概観できる分布を紹介し，その分析から読み取れること，本調査項目選定・本調査実施に資することなどについて述べた．

④ 研究遂行にあたって

最後に，準備調査における語彙項目の分析を越え，全体的な視点から，「方言の形成過程解明のための全国方言調査」の遂行にあたり心すべきではないかと考えることについて述べる．

それは以下の５点にまとめられる．

(1)「方言」「言語」の調査研究としての精確さ・厳密さの志向

これはまず，方言研究者・言語の研究者として心がけねばならないことである．研究の中心に据えるのはあくまで「方言」であり「言語」である．方言や言語の研究が即「文化論」となるわけがない．あやふやな文化論に逃げることなく，精確で厳密な方言研究の結果から，他分野・多分野に資するべきである．

(2)調査の質を担保するものの確保

全国規模の調査研究遂行のためには，必要な時間，人員，経費，スペース等を確保することは必須である．これらに窮すれば損なわれるのは調査の質である．全国規模の調査実施は容易にできることではなく，また大規模であるからこそ社会や学界に与える影響も大きい．調査研究の質を落とさないことは重要であり，このための采配と配慮を求めたい．

(3)方言調査・方言研究への正当な評価と理解

方言研究においては，調査が論文に相当する．調査の事前研究の時点から，多大な労力を費やし検討が行われている．事前の調査設計は，言語の体系性についての十分な理解や，言語の社会における使用状況実態についての考察なしにはできないことである．調査コーディネイトには繊細かつ勇気ある判断が求められるし，フィールドワーカーの養成には長い時間と訓練が必要である．方言調査・方言研究とはこのようなものであるということを，評価する立場の者は理解している必要がある．正当な評価が為されなければその分野は疲弊し衰退する．評価者の責任は大きい．

LAJ,GAJ を考えてもそうで，LAJ,GAJ を素材とした査読論文で，LAJ,GAJ そのものよりも高く評価しうるものがこれまでに存在しているだろうか．方言学においては，事前研究や調査実施や調査報告や，調査報告の集積である調査結果データベースが査読論文と同等（かより重要）であるという認識が必要である．

(4)フィールドサイエンス，全国一律大規模調査への正当な評価と理解

(3)と同様である．フィールドサイエンス，全国一律大規模調査は，単に共同研究という名でくくれるものではない．紙と鉛筆があれば一人でできるタイプの調査研究が複数集まる共同研究とは違う．インフォーマントの御協力なしにはできない，人とダイレクトに関わる調査研究である．このタイプの調査研究にかかる労力は，そうでないタイプの調査研究の比ではなく，その点からも，繰り返しになるが正当に評価されることが必要である．

フィールドサイエンスの現場を知らない者に評価されることは避けなければならない.

人文科学のフィールドサイエンスとして，方言学・言語地理学ほどダイナミックで繊細で，そしておもしろいものはないと個人的には思う.

(5)方言調査研究の機会をいただくことへの感謝と謙遜

インフォーマントへの心からの感謝と，方言をお教えいただくことへの敬意．方言学を打ち立てそれを継続させ高く保ち続けてくださった先達たちへの感謝．世界一の数を誇る言語地図を作ってくれたフィールドワーカーたち，そしてそのインフォーマント．それらを忘れてはならない．自分たちが何か高い者であると勘違いすることがないよう戒めたい.

主な参考文献・資料

佐藤亮一監修・小学館辞典編集部編 2002H14『お国ことばを知る　方言の地図帳』小学館

尚学図書編 1991H03『方言の読本』小学館

平山輝男 1968S43『日本の方言』講談社（講談社現代新書 160）

徳川宗賢編 1979S54『日本の方言地図』中央公論社（中公新書 533）

平山輝男編 1992H04-1994H06『現代日本語方言大辞典』明治書院

小林隆・澤村美幸 2010H22「消えゆく日本語方言の記録調査－『日本言語地図』との関連で－（2010/03/15 開催「大規模方言データの多角的分析」研究会資料）

付記

・発表にあたっての検討は，共同研究者の新井小枝子と共に行った．発表内容の大半は新井の分析によるものである.

・発表内容全体の考察については，本プロジェクトの事前研究ワーキンググループメンバーと共に行った作業と検討を通して得たものが非常に多かった．記して御礼申し上げます.

事前研究ＷＧメンバー（複数グループ所属あり）

調査項目構築班

音韻項目Ｇ：小西いずみ，竹田晃子

語彙項目Ｇ：新井小枝子，吉田雅子

文法項目Ｇ：高木千恵，日高水穂，舩木礼子

調査結果データベース構築班

調査データＧ：松丸真大，鑪水兼貴

データ報告・コーディングＧ：小西いずみ，鑪水兼貴

言語地図データベース構築班：竹田晃子，吉田雅子

・言語地図の電子化作業には，外山善朗氏，溝井晴美氏の助力を受けた．これも同じく，記して御礼申し上げます.

9.2. 全国方言準備調査における文法項目の結果分析と考察

日高水穂

(1) 概要

「全国方言準備調査」の文法項目は、5.3 でも示したように、『方言文法全国地図』(GAJ) で取り上げられている項目と、新たに設定した項目からなる。

GAJ 項目については、GAJ と比較して変化が見られたかどうかが注目されるが、今回の準備調査においては、ほとんどの項目で変化がないという結果であった。これは今回の準備調査が、GAJ の調査時期から 30 年程度を経たに過ぎないことと、伝統方言を保持している話者を選定して調査するという方針を採ったことによると思われる。

新規項目については、今回の準備調査の地点数では、分布の広がりを確認することは難しい。一方、新規項目には GAJ で欠けていた関連項目が含まれているが、それらの項目については、不明であった関連意味領域の表現の分布の確認ができたと言える。

以下では、文法項目の分布に関して、変化のきざしが読み取れる例として、仮定条件表現の調査結果を取り上げる。なお、仮定条件表現の項目には、GAJ に含まれていない関連項目も含まれている。

(2) 文法項目の分布の変化：仮定条件表現を例に

仮定条件表現の分布は、近畿地方のタラを取り囲んでバ類が分布するという典型的な周圏分布をなすことで知られる。図 1-1 は GAJ167 図「雨が降れば船は出ないだろう」の略図である。一方、図 1-2 は今回の準備調査の結果であるが、GAJ ではバ類やト類が優勢であった宮城、山形、福島、バ類が優勢であった栃木、兵庫の調査地点にタラが回答されており、タラの分布拡張の傾向が読み取れる。図 2-1「お前が行くとその話はだめになりそうだ」(GAJ169 図) と図 2-2 を比較しても、タラは分布領域を広げているようである。

以上のような分布を示すのは、仮定条件表現の用法の中でも、恒常的事態としての解釈が可能な後件が平叙文である場合である。後件が意志・命令表現等の一回的・個別的事態としての解釈がなされやすい文タイプである場合、バ類は用いにくく、タラが用いられやすくなる。図 3-1「雨が降ったらおれは行かない」(GAJ168 図) および図 3-2 は、後件が意志表現となっている項目であり、全国的にタラが分布していることが確認できる。ただし、意志表現では平叙文と形態的な違いがないため、後件の文タイプの制限があまり強く表れず、図 3-1、図 3-2 ともバ類やト類の分布も散見される。図 3-1 よりも図 3-2 のほうが、ややタラの分布が外側（秋田、鹿児島など）に広がっているようにも見えるが、これが文タイプの制限を超えた現象であるのかは、意志表現の場合は判断が難しい。今回の調査では、新規項目として、後件が命令表現である項目「そこに行ったら電話しろ」を加えた。その調査結果を示した図 4 を見ると、全国的にタラが用いられており、仮定条件表現の後件の文タイプの制限は、各地諸方言に共通するものであることが確認できたと言える。

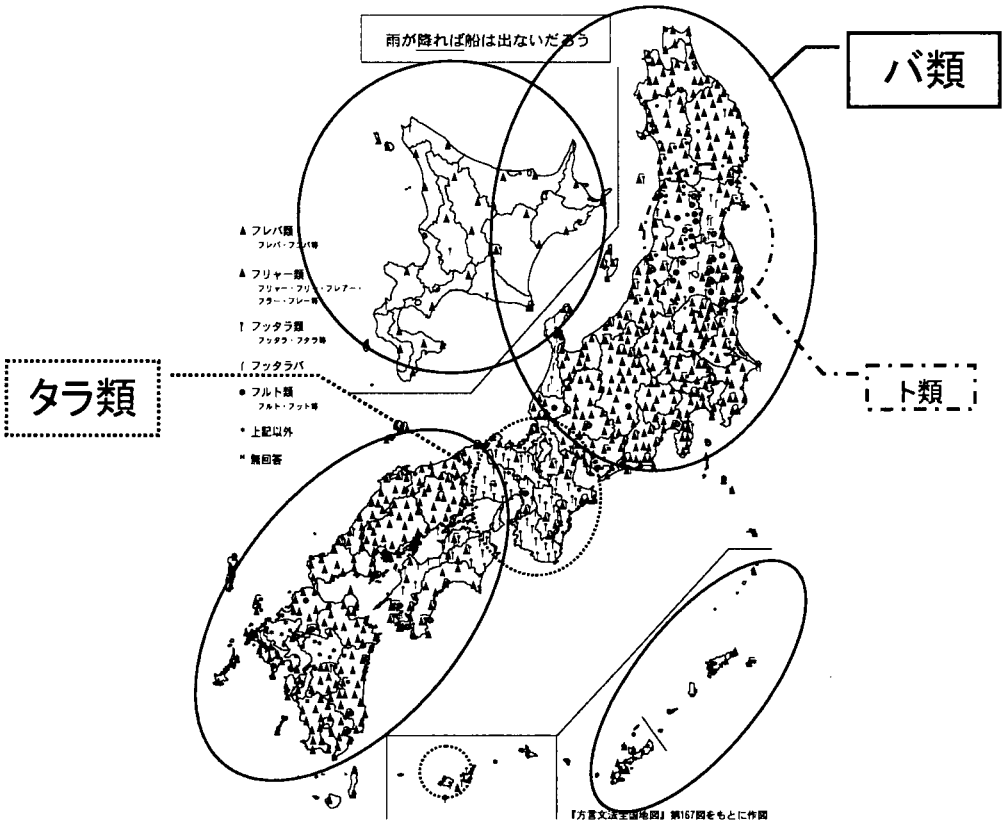


図 1-1　雨が降れば船は出ないだろう（GAJ167 図の略図）

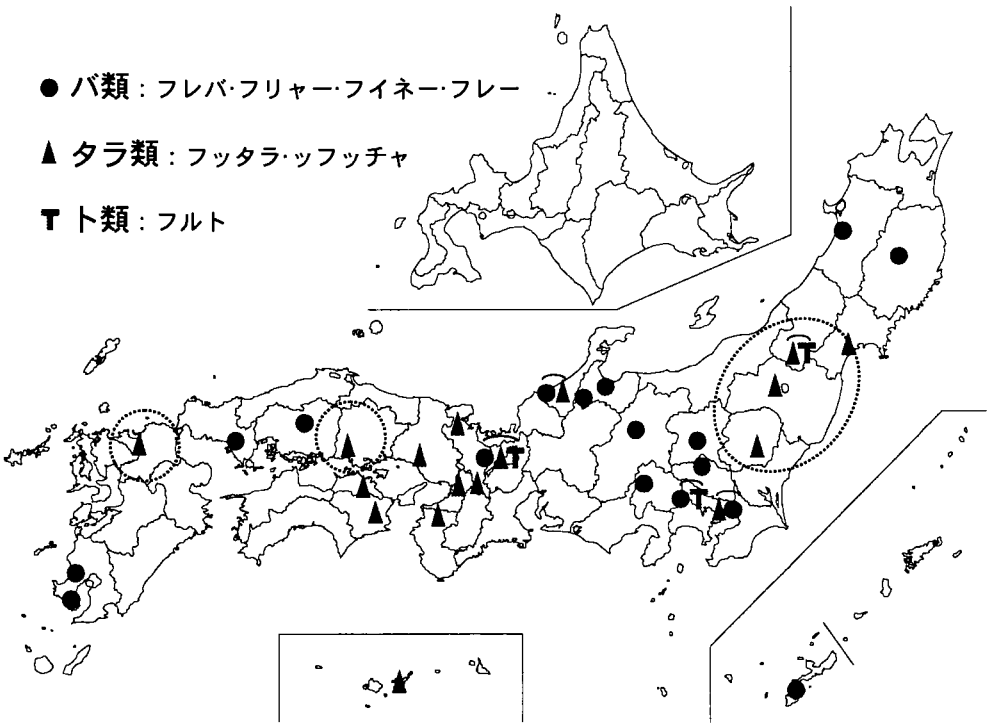


図 1-2　雨が降れば船は出ないだろう（全国方言準備調査 JG-108）

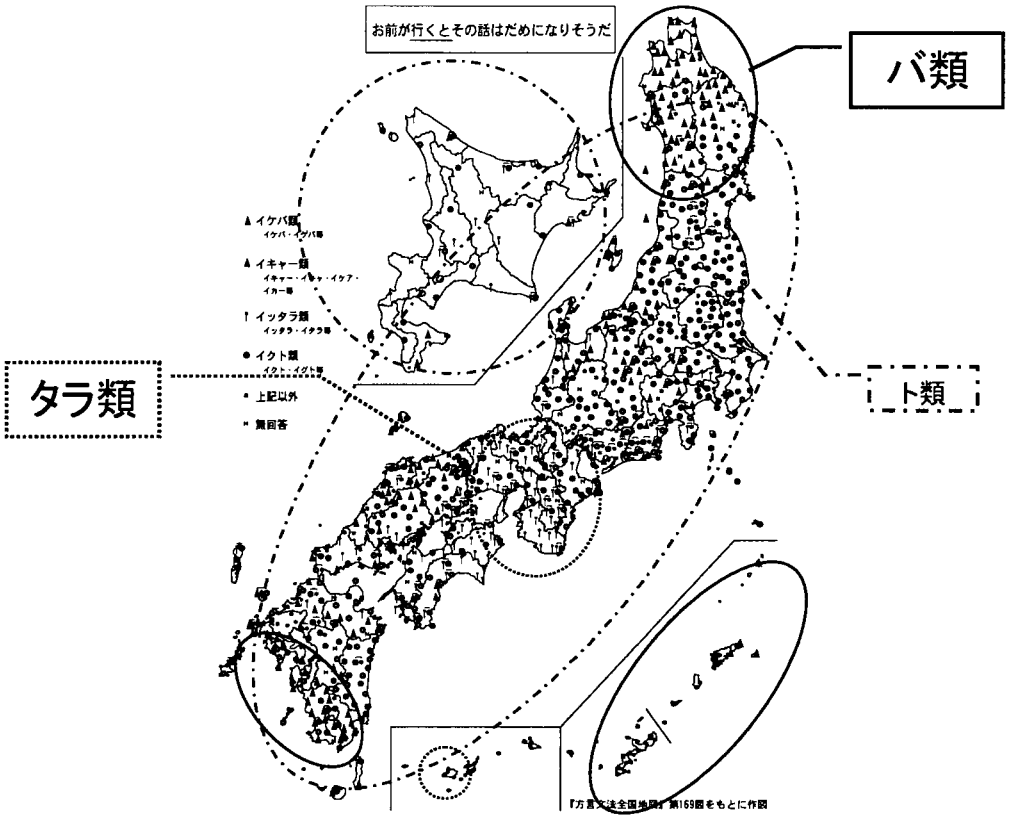


図 2-1　お前が行くとその話はだめになりそうだ（GAJ169 図の略図）

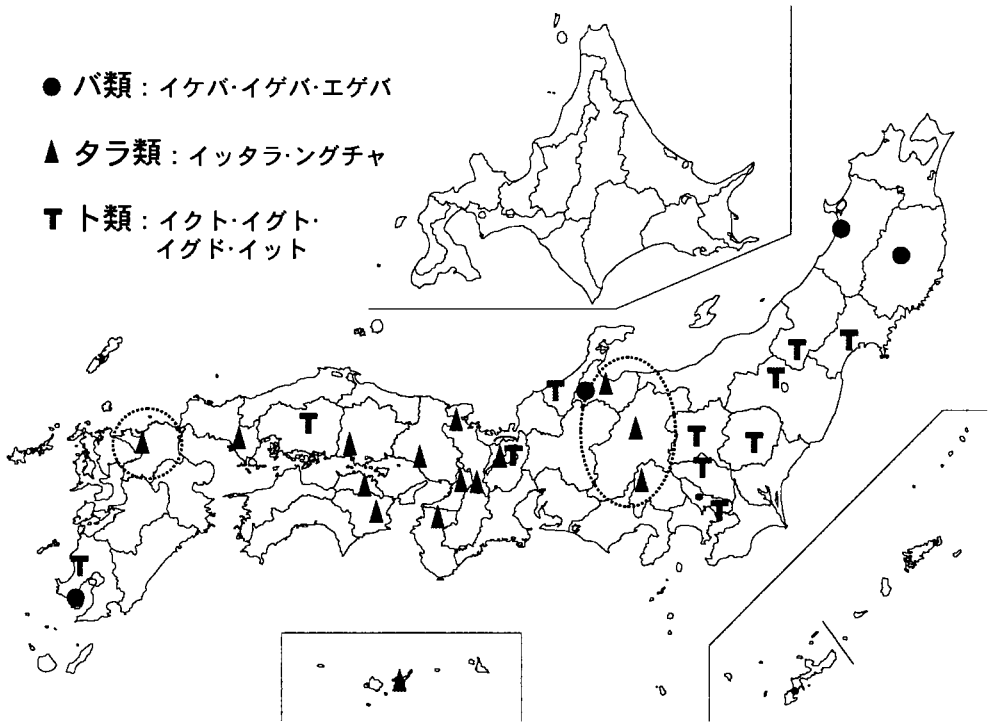


図 2-2　おまえが行くとその話はだめになりそうだ（全国方言準備調査 JG-103）

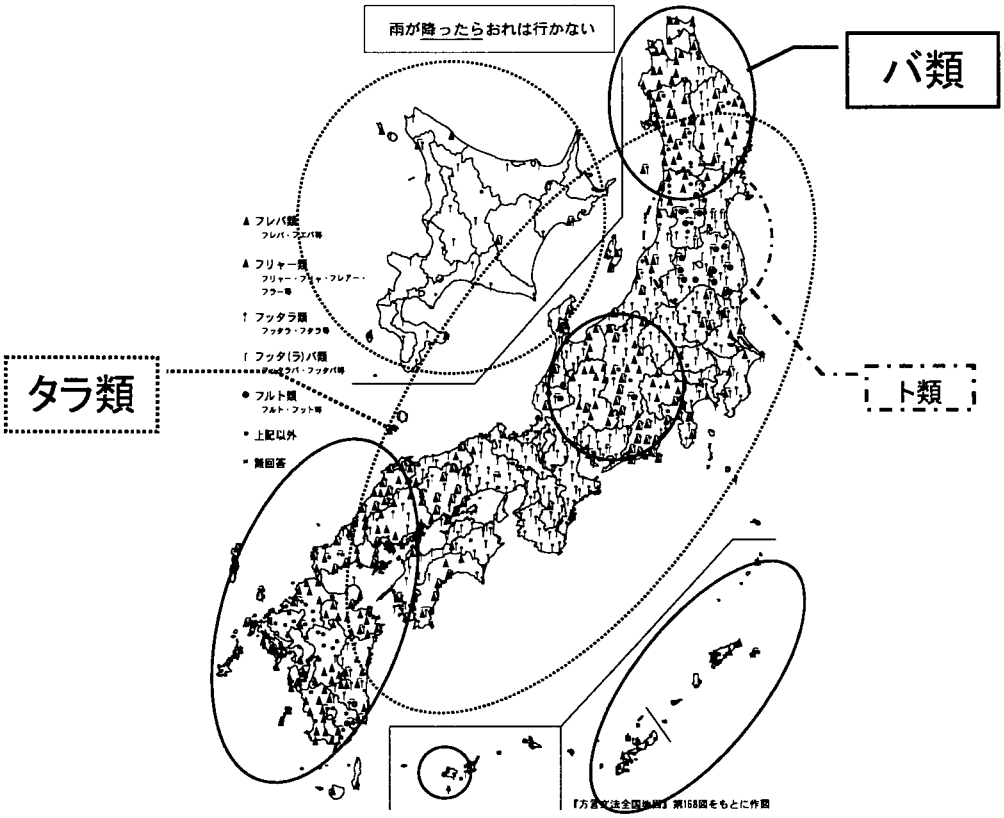


図 3-1　雨が降ったらおれは行かない（GAJ168 図の略図）

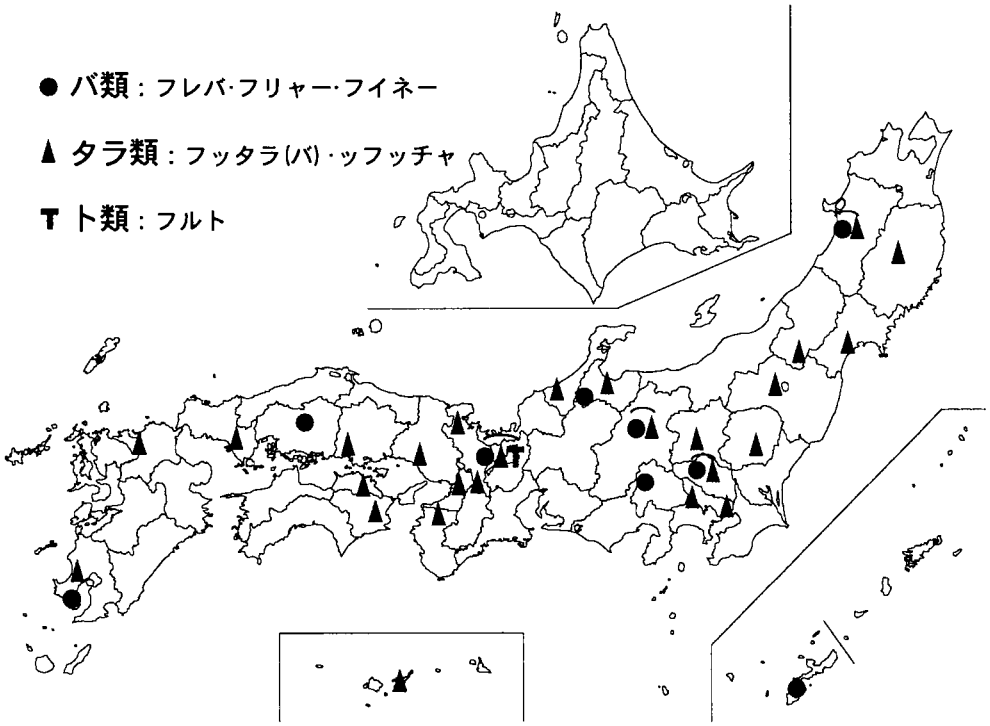


図 3-2　雨が降ったらおれは行かない（全国方言準備調査 JG-106）

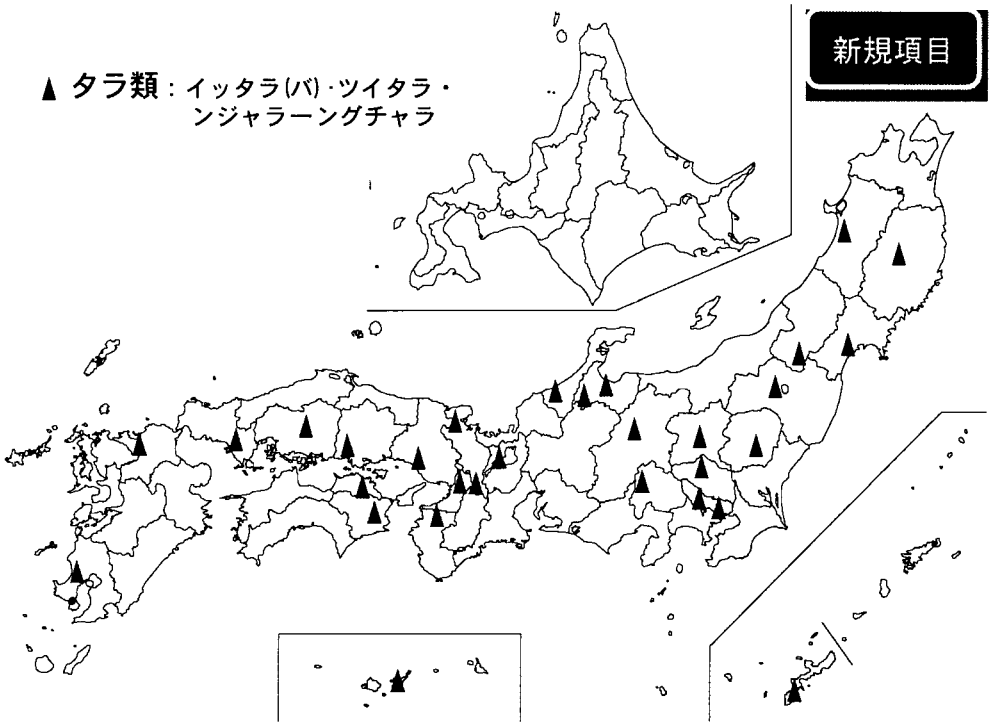


図4　そこに行ったら電話しろ（全国方言準備調査 JG-104）

(3) 調査項目改訂の方針

今回の準備調査の結果をふまえると、文法項目については、GAJ の調査時期とは大きく異同はないと予想される。したがって本調査の実施にあたっては、以下の点を項目改訂の方針とし、GAJ の検証および発展的調査をめざすことが有効であると考えられる。

1. 分布に異同があると（確実に）予想されるものは、同一の質問文で再調査する。
2. 確認語形を設定するなど、実験・検証的な調査を行う。
3. 意味体系を網羅的にとらえるために、GAJ では欠けていた関連項目を積極的に取り上げる。
4. 分布調査の特性を活かすために、体系記述的な複雑な設定のものは避ける。

参考文献

日高水穂（2003）「条件表現「すれば」「したら」「すると」」『現代日本語の文法的バリエーションに関する基礎的研究』科学研究費補助金研究成果報告書

日高水穂（2008）「「そこに車をとめればダメです」－標準語と方言の意味のずれ－」『言語』37-5

三井はるみ（2009）「条件表現の地理的変異－方言文法の体系と多様性をめぐって－」『日本語科学』25

10. 付録

10.1. 全国方言準備調査 調査票

①全国方言準備調査の調査項目と質問文（調査票本文）

《音韻項目》

※調査を始める前に，○話者自身がくつろいだときや，ごく親しい人と話すときに使う，土地のことばについての調査である。したがって，今は使わない昔の人のことばや，話者自身が使わない他の人のことばなどは，そのむね注記を付けること。

ここでは，発音についておうかがいしますが，○○(話者の名前)さんが，自分自身で，地元の親しい友達と話すときの言い方を教えて下さい。

※録音をとる場合，備忘録のためであるむね，ひとこと断りを入れること。

JP-01　鏡：ガ行鼻濁音

（絵）顔をうつすための，こういうものを何と言いますか。#LAJ1-1

JP-02　火事：合拗音

家に火がついてぼうっと燃えたとします。「何だ（じゃ・や）！」と言いますか。#LAJ1-3

JP-03　元日・元旦：合拗音

一年の最初の日を何と言いますか。一年の最初の日。※「元日」「元旦」のいずれでも構わない。#LAJ1-5 改

JP-04　正月：合拗音

一年の最初の月のことですが，そのお休みやお祝いのことも合わせて何と言いますか。○○休みとか，○○気分とか言います。#LAJ1-6 改

JP-05　寿司・煤：シ・ス

a.（絵）酢飯の上に生魚をのせた食べ物は何と言いますか。

b. ランプや煙突にたまる黒い物は，何と言いますか。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

JP-06　汗：口蓋化

暑い時に，からだから流れ出る水のようなものを何と言いますか。#LAJ1-8

JP-07　背中：口蓋化

ここの広い所（身振りで示す）を何と言いますか。#LAJ1-7

JP-08　富士（フジ）・藤（フヂ）：四つ仮名

a.（絵）日本で一番高い山は。

b.（絵）夏のはじめに咲く花で，棚にして鑑賞します。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

JP-09　鈴（スズ）：四つ仮名

猫の首に付ける物は何と言いますか。振るとちりんちりんと音がします。

JP-10　水（ミヅ）：四つ仮名

水道の栓をひねると出てくるものは何と言いますか。

JP-11　知事（チジ）・地図（チヅ）：一つ仮名

a. 都道府県で一番偉い人を何と言いますか。こちらの都道府県で言えば○○さん(知事の名前)のことです。

b. (絵) 旅先で道が分からないときに見るものを何と言いますか。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

JP-12　白い・広い：シ・ヒ

a. 黒いの反対は何と言いますか。

b. 狭いの反対は何と言いますか。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

JP-13　胃・絵：イ・エ

a. (絵) 食べた物がたまるところです。腸の上にあります。

b. (絵) 壁に飾る物です。写真ではなく，子供が図工の時間に紙に描くのは。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

JP-14　楊枝（開音）・用事（閉音）：開合

a. 食事の後，歯の間の食べかすを取り除くのに使う木でできた細い物を何と言いますか。

b. 用事を思い出したと言う時の「用事」を発音してみて下さい。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

《語彙項目》

※調査を始める前に，○話者自身がくつろいだときや，ごく親しい人と話すときに使う，土地のことばについての調査である。したがって，今は使わない昔の人のことばや，話者自身が使わない他の人のことばなどは，そのむね注記を付けること。

※質問文で〔 〕を付した箇所は，別項目で得られた方言語形に置き換えて尋ねる。

○○(話者の名前)さんが，自分自身で，地元の親しい友達と話すときの言い方を教えて下さい。

※録音をとる場合，備忘録のためであるむね，ひとこと断りを入れること。

虫などの生き物の呼び方について教えて下さい。

JL-001　かたつむり（蝸牛）

(絵) これを何と言いますか。からを背負ってのろのろとはって歩きます。夏，ことに雨のころ多く見掛けます。#LAJ5-236・237・238

JL-002　なめくじ（蛞蝓）

（絵）これを何と言いますか。〔かたつむり〕に似ているけれど，からは背負っていない。暗いじめじめした所に住んでいます。塩をかけると体が溶けるということですが。#LAJ5-239

JL-003　かまきりむし（螳螂虫）

（絵）こういう虫を何と言いますか。前足が草を刈るかまに似ています。おこるとそれを振り立てて向かってきます。色は緑とか茶色など。#LAJ5-229・230

JL-004　とんぼ（蜻蛉）

（絵）いろいろの種類がありますが，こういう虫をひっくるめて何と言いますか。#LAJ5-231

JL-005　ぼうふら（蚊の幼虫）

水たまりなどにすんでいる蚊の幼虫を何と言いますか。

JL-006　＜蚊に＞さされる

蚊に血を吸われることを，ササレルと言いますか，クワレルといいますか，それとも別の言い方をしますか。※「蚊に」の部分も含めて記録する。

JL-007　かぶとむし

（絵）オスとメスで形が違うようですが，こういう虫をひっくるめて何と言いますか。※総称を求める。

JL-008　くわがたむし

（絵）いろいろな種類がいて，オスとメスでも形が違うようですが，こういう虫をひっくるめて何と言いますか。※総称を求める。

JL-009　アブラムシ

アブラムシと言った場合，どんな虫のことを指して言いますか。いわゆるゴキブリでしょうか。それとも植木に付く小さな害虫のことでしょうか。

①ゴキブリ　②植木の害虫　③両方　④その他

JL-010　とかげ（蜥蜴）

（絵）これは何と言いますか。長さは５寸（15センチメートル）ぐらい。ひなたの土の上をちょろちょろ走り回ります。色は黒くてつやつや光って，鮮かな青い線があります。水の中には入りません。※いもり・やもりなどと間違えないよう。#LAJ5-224

JL-011　かなへび（金蛇）

〔とかげ〕と形は似ているけれど，色が土色のがいます。やはり昼間見かけるもので，水の中には入りません。何と言いますか。※いもり・やもりとは違う。#LAJ5-225

JL-012　＜牛馬の＞ひかがみ（膝の裏側）

a.（絵）牛や馬の膝（ひざ）の裏側を何と言いますか。※「牛・馬の」にあたる部分が回答された場合，それも含めて記録する。牛・馬で異なると報告された場合は注記する。

b. 牛や馬を飼っていた経験はありますか。

①ある　　②ない

c.〔＜牛馬の＞ひかがみ〕を汚れたままにしてはいけないといったことを聞いたことはありますか。

①ある（　理由が報告された場合その内容を記載　）

②ない

JL-013　うろこ（鱗）

（絵）魚の皮の上に並んでいるすきとおった薄い爪のようなもの，これを何と言いますか。#LAJ5-217

JL-014　＜蟹の＞こうら（甲羅）

蟹（かに）の甲羅（こうら）のことを何と言いますか。※「蟹の」にあたる部分が回答された場合，それも含めて記録する。

JL-015　ぶり（鰤）

（絵）この魚はブリ（鰤）です。出世魚と呼ばれ，大きくなるにつれて名前が変わると言われますが，どんな名前で呼んでいますか。※下のメモ欄に一旦記入した上で整理し，幼魚を左側，成魚を右側に配列し，「○段階××・△△・□□」のように段階数とともに報告する。段階順が不明な場合は「××・△△」のように名称のみ列挙し〈段階不明〉と注記を付ける。

幼魚←――――――――――――　　――――――――――――→成魚

----------下にメモをとり，整理して上に記入----------

次は，植物や食べ物などの言い方について教えて下さい。

JL-016　つくし（土筆）

（絵）これは何と言いますか。春先，川の土手などの日当りのよいところに出てきます。#LAJ5-244

JL-017　すぎな（杉菜・間荊）

（絵）〔つくし（土筆）〕が出たあとから，こういう草が生えてきます。何と言いますか。#LAJ5-243

JL-018　ほうせんか（鳳仙花）

a.（絵）この植物を何と言いますか。実にさわるとはじけます。花は赤やピンク色のものが多いのですが。共通語ではホウセンカと呼ばれます。

b.〔ほうせんか〕の花でつめを染める遊びはありませんでしたか。

①ある　②ない

JL-019　ひがんばな（彼岸花）

a.（絵）秋に真っ赤な色で咲くこのような植物を何と言いますか。

b.〔ひがんばな〕の語源について何かご存じですか。

c.昔，この地域で食べ物に困ったときに〔ひがんばな〕の根っこを食べたといった話は聞いたことがありますか。

①ある　②ない

JL-020　まつかさ（松毬）

（絵）松にできるものですが，これを何と言いますか。#LAJ5-247 改

JL-021　きのこ（茸・蕈）

（絵）まつたけやしいたけなど，そのほか毒のあるものもありますが，こういうものをひっくるめて何と言いますか。※きのこの総称を求める。#LAJ5-245

JL-022　＜柿の＞へた（蔕）

果物の柿のへたの部分を何と言いますか。※「柿の」にあたる部分が回答された場合，それも含めて記録する。

JL-023　じゃがいも（馬鈴薯）

（絵）こういう芋を何と言いますか。夏の初めと秋と一年に二度とれます。※品種が多いが，総称を求める。#LAJ4-174・175

JL-024　さつまいも（甘藷）

（絵）これは何と言いますか。秋の終りに取り入れます。茎はつるになって地面に広がります。#LAJ4-176

JL-025　さといも（里芋）

（絵）これは何と言いますか。茶色の毛が生えていて，皮をむくとぬるぬるします。いろいろの種類があって茎の食べられるものもありますが，ひっくるめて何と言いますか。※品種が多いが，総称を求める。#LAJ4-177・178 改

JL-026　やまいも（山芋）

すりおろしてねばりの出たものをご飯やそばなどにのせて食べる細長い芋を何と言いますか。いろいろの種類がありますが，ひっくるめて何と言いますか。※調理名ではなく，素材となる「山芋」の名称を聞き出すこと。なお，芋汁・芋粥など調理名が話題になった場合は，注記として記録する。

JL-027　イモの意味

このあたりで普通「いも」と言ったら，どの芋（〔じゃがいも〕〔さつまいも〕〔さといも〕〔やまいも〕）のことを言いますか。芋が食べたいと言ったらどの芋のことですか。#LAJ4-179 改

①〔じゃがいも〕　②〔さつまいも〕　③〔さといも〕　④〔やまいも〕

⑤その他

JL-028　とうもろこし（玉蜀黍）

（絵）これは何と言いますか。夏の終わりごろとれます。薄緑色の皮があって赤い毛のふさがついています。※品種が多いが，総称を求める。#LAJ4-182

JL-029　かぼちゃ（南瓜）

（絵）これを何と言いますか。夏にとれる，つるになる大きな実です。#LAJ4-180 改

JL-030　うるち（粳米）

米のうち，ふだんの食事用のものをもちや赤飯用にするものと区別して，何と言いますか。#LAJ4-168

JL-031　たく（炊く）

米をおかまに入れてから火にかけてご飯にする。こうすることをご飯をどうすると言いますか。#LAJ2-57 改

JL-032　にる（煮る）

大根をなべに入れて，みそやしょうゆを加えて火にかける。こうすることを，大根をどうすると言いますか。#LAJ2-58 改

JL-033　まないた（俎板）

（絵）これを何と言いますか。野菜や魚を料理するときに使う板です。※野菜用と魚用の区別がある場合はいずれもとりあげて注記を付けるとともに，総称も聞き注記を付ける。#LAJ4-164 改

JL-034　せともの（陶磁器）

（絵）こういう土（どろ）で作ってかまで焼いたもの，いろいろありますが，ひっくるめて何と言いますか。#LAJ4-161

JL-035　ひきにく・ミンチ

肉を細かくしたもので，ハンバーグなどの材料にするものを何と言いますか。※牛肉・豚肉・鶏肉など肉の種類で区別がある場合は注記するとともに，総称も尋ねて注記する。

続けて，人の身体の呼び方を教えて下さい。

JL-036　ふけ（雲脂）

頭をかくと白い粉のようなものが落ちてくることがあります。その白いもののことを何と言いますか。#LAJ3-105

JL-037　あか（垢）

長いこと体を洗わないでいて体をこすると，汚いものがぼろぼろと落ちます。この汚いもののことを何と言いますか。※垢の特殊な状態（こびりついた垢など）についての名には注記。#LAJ3-131

JL-038　ものもらい（麦粒腫）

a.（絵）まぶたのへりにぷつっとできる小さなできものです。何と言いますか。うみを持って赤くはれると，むずむずしてかゆいのですが，間もなく直ります。※類似のできもの・眼病とまちがえないよう注意。#LAJ3-112

b.〔ものもらい〕はどうすれば治ると言いましたか。おなじないや言い伝えなどがあれば教えて下さい。※物をもらってきて食べる・患部を縛るまねをする等

JL-039　した（舌）

（絵）これを何と言いますか。※舌先などの部分ではない。#LAJ3-117

JL-040　みずおち（鳩尾）

（絵）胸の骨の下の真中あたり，柔らかいこのあたりのことを何と言いますか。※胃とか肝臓など内臓に関する回答はとりあげない。#LAJ3-130

JL-041　なかゆび（中指）

（絵）この指は何と言いますか。#LAJ3-123

JL-042　くるぶし（踝）

（絵）ここのところを何と言いますか。※内くるぶしと外くるぶしとの違いがあれば注記，その際には総称も聞き出して注記する。#LAJ3-128 改

JL-043　かかと（踵）

（絵）足のこのへんのことを何と言いますか。#LAJ3-129

JL-044　ほくろ（黒子）

体に黒いごまつぶぐらいの点のあることがありますが，その点のことを何と言いますか。※大きさや形状（ふくらみがある等）の違いにより複数の語形が使い分けると報告された場合は注記を付ける。また，そばかすやにきびなどと間違えないよう。#LAJ3-133・134 改

JL-045　あざ（痣）（内出血）

身体をどこかにぶつけたときなどに，そこが青黒くなって，しばらく跡が残ることがあります。そういうふうに色の変わった所のことを何と言いますか。※身体上の場所の名称を尋ねる。「～になる」「～する」など動詞形しかない場合はその語形を記録し，「動詞形のみ」のように注記を付ける。#LAJ2-80 改

JL-046　あざ（痣）（生得）

生まれつき体の一部の色が変わって，大人になるまで赤かったり青黒かったりしていることがあります。そのいつまでも消えない色の変わった所のことを何と言いますか。※大きさ・位置・色などによる使い分けがあれば注記のうえ，総称も別に聞き，注記を付ける。#LAJ3-132 改

JL-047　あざ（痣）（蒙古斑）

生まれたばかりの赤ちゃんの背中からお尻にかけて，青くなっている所のことを何と言いますか。

JL-048　かさぶた

すりむくなどのけがをした後に血が固まったものを何と言いますか。

JL-049　しもやけ（凍傷）

手の指や足の指などが，冬，寒さのために赤くはれてかゆくなったり，ひどくなるとくずれたりすることがあります。そんなときどうなった，何ができたと言いますか。※ひび・あかぎれ（皮膚の裂けるもの）とは違う。凍傷のこと。#LAJ3-127

JL-050　ゆきやけ（雪焼け）

スキーなどに行き，晴れた雪原に長時間いたために，顔が黒くなることを何と言いますか。

続けて，動作の言い方を教えて下さい。

JL-051　（服を）きる・はく・かぶる・はめる

服を身につけることを，服をどうすると言いますか。

JL-052　（靴を）きる・はく・かぶる・はめる

a. 靴を身につけることを，靴をどうすると言いますか。

b. 靴下を身につけることを，靴下をどうすると言いますか。

JL-053　（帽子を）きる・はく・かぶる・はめる

帽子を身につけることを，帽子をどうすると言いますか。

JL-054　（手袋を）きる・はく・かぶる・はめる

手袋や軍手を身につけることを，手袋や軍手をどうすると言いますか。

JL-055　おんぶする（幼児を負う）

（絵）赤ん坊をこうすることを，どうすると言いますか。#LAJ2-64

JL-056　しょう（包みを背負う）

（絵）荷物をこうすることを，どうすると言いますか。※両肩で風呂敷包みを～。#LAJ2-65

JL-057　かつぐ（片方の肩で包を担ぐ）

（絵）こうすることは，どうすると言いますか。※片方の肩で風呂敷包みを～。#LAJ6-294

JL-058　かつぐ（材木を担ぐ）

（絵）こうすることは，どうすると言いますか。※材木を～。#LAJ2-66

JL-059　かつぐ（天秤棒を担ぐ）

（絵）これはどうすると言いますか。※てんびん棒を～。#LAJ2-67

JL-060　かつぐ（二人で担ぐ）

（絵）これは，どうすると言いますか。※二人で～。#LAJ2-68

JL-061　はこぶ（運ぶ）

掃除のために教室などを片付けるときに，二人で机の両側を持ち上げて運ぶことを，机をどうすると言いますか。

JL-062　すてる（捨てる）

いらなくなったものを，ごみ箱にどうすると言いますか。#LAJ2-62 改

JL-063　なげる（投げる）

キャッチボールをするとき相手にボールをどうすると言いますか。

JL-064　いく・くる（行く・来る）

玄関先から友達に声を掛けられたとき，その友達に，自分は今すぐイクと言いますか，それとも自分は今すぐクルと言いますか。それとも別の言い方をしますか。

JL-065　あぐら（胡座）をかく

（絵）こういうふうに足を組んで座につくことを，どうすると言いますか。※動詞形を求める。#LAJ2-52 改

家の中の場所や道具の呼び方などについて教えて下さい。

JL-066　ふすま（襖障子）

（絵）部屋と部屋との境にする，こういう紙を張った引き戸を何と言いますか。#LAJ4-192

JL-067　いど（井戸）

a. 地面に深い穴を掘って，つるべやポンプで飲み水などを汲み出す所があります。それを何と言いますか。底に水がわいてきます。※特殊な構造のものについては注記。#LAJ4-197

b. この地域にこのような物はありましたか。

【a. で語形が回答された場合】

①あった。　④なかった。

【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは，話者の様子で判断する。】

②あったが名前を忘れた。　③あったが名前を知らない。　④なかった。

JL-068　いろり（囲炉裏）

a. （絵）家の中にあって，火をたくこのような場所を何と言いますか。

b. この地域にこのような物はありましたか。

【a. で語形が回答された場合】

①あった。　④なかった。

【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは，話者の様子で判断する。】

②あったが名前を忘れた。　③あったが名前を知らない。　④なかった。

c.（a. で語形が回答され場合）〔いろり〕を使った生活の経験はありますか。

①ある　②ない

d.（c. で①の場合）〔いろり〕は煮炊きに使いましたか，それとも暖をとるために使いましたか。※「その他」としては，「ぬれた物を乾かす」などもあるが，話者が積極的に報告した場合のみ記録する。

①煮炊き　②暖をとる　③煮炊きと暖をとるの両方　④その他

JL-069　かまど（竈）

a.（絵）煮炊きに使うこのような場所を何と言いますか。

b. この地域にこのような物はありましたか。

【a. で語形が回答された場合】

①あった。　④なかった。

【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは，話者の様子で判断する。】

②あったが名前を忘れた。　③あったが名前を知らない。　④なかった。

JL-070　しちりん（七輪）

a.（絵）やかんで湯を沸かすとき，こんなものに火をおこしたと思います。こんなふうに土で作った，持ち運びのできるものを何と言いますか。

b. この地域にこのような物はありましたか。

【a. で語形が回答された場合】

①あった。　④なかった。

【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは，話者の様子で判断する。】

②あったが名前を忘れた。　③あったが名前を知らない。　④なかった。

JL-071　からさお（殻棹・唐棹）

a.（絵）麦や豆を脱穀するのには，こんなものを使ったようです。これをふり回し，ムシロの上の麦や豆をたたいて，からと実を分ける道具です。これを何と言いますか。

b. この地域にこのような物はありましたか。

【a. で語形が回答された場合】

①あった。　④なかった。

【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは，話者の様子で判断する。】

②あったが名前を忘れた。　③あったが名前を知らない。　④なかった。

JL-072　つらら（氷柱）

（絵）冬のことですが，軒先などにさがる氷の棒です。これを何と言いますか。#LAJ6-262

JL-073　けむり（煙）

（絵）こういうふうに，煙突から出るものを何と言いますか。#LAJ6-265

JL-074　じてんしゃ（自転車）

（絵）このような自分でこぐ乗り物を何と言いますか。いろいろな種類のものがありますが，ひっくるめて何と言いますか。

JL-075　じょうぎ（定規）

（絵）このような長さをはかる道具を何と言いますか。竹やプラスチックできたかたいものです。※材質で名称が異なる場合は注記する。

JL-076　こくばんけし（黒板消し）

（絵）学校や公民館にあるもので，黒板にチョークで書いた字を消すのに使うこのような道具を何と言いますか。

次に，親族などの言い方を教えて下さい。

JL-077　まご（孫）

子供の子供は何と言いますか。

JL-078　ひまご（曾孫）

〔孫〕の子供は何と言いますか。#LAJ3-139

JL-079　ちょうなん（長男）

男のきょうだいの一番年上の人のことを何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。

★文法項目 JG-075 に「長男」の語形を転記メモする。

JL-080　じなんいか（次男以下）

男のきょうだいの二番目から下の人のことをまとめて何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。また，次男・三男など特定のきょうだいが回答された場合は注記を付けた上で，総称を求めて注記を付ける。

★文法項目 JG-076 に「次男以下」の語形を転記メモする。

JL-081　ちょうじょ（長女）

女のきょうだいの一番年上の人のことを何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。

JL-082　じじょいか（次女以下）

女のきょうだいの二番目から下の人をまとめて何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。また，次女・三女など特定のきょうだいが回答された場合は注記を付けた上で，総称を求めて注記を付ける。

JL-083　ほんけ（本家）

例えば，「○○：話者の名字」家の一番中心になる血筋の家のことを何と言いますか。

JL-084　ぶんけ（分家）

a.〔本家〕から分かれた家のことを何と言いますか。

b.「○○：話者の名字」さん御自身は〔本家〕〔分家〕のどちらに該当しますか。

①〔本家〕　②〔分家〕　③分からない　④その他

（　　）

c.〔本家〕と〔分家〕の間に上下関係の意識はありますか。※上下とは別に区別の認識が報告された場合は④に記載する。

①ある(本家が上)　②ある(分家が上)　③ない

④その他

（　　）

★文法項目 JG-157 に「本家」もしくは「分家」の語形を転記メモする。

続けて，気持ちなどを表す場合の言い方について教えて下さい。

JL-085　おそろしい（恐ろしい）

大きな犬が何匹もほえかかって，いまにもかみつきそうになる。そんなときの感じをどんなだと言いますか。#LAJ1-42

★文法項目 JG-187b に「怖ろしい」の語形を転記メモする。

JL-086　びっくりする（驚く）

急にうしろから大きな声をかけられてドキンとすることをどうすると言いますか。#LAJ2-77

JL-087　とても（程度副詞）おもしろい

あの人の話はとても面白いと言うとき，「とても面白い」のところをどのように言いますか。※a.「とても」と b.「面白い」を分けて記録する。

a. とても

b. 面白い

JL-088　ぜんぜん（陳述副詞）おもしろくない

あの人の話はぜんぜん面白くないと言うとき，「ぜんぜん面白くない」のところをどのように言いますか。※a.「ぜんぜん」と b.「面白くない」を分けて記録する。

a. ぜんぜん

b. 面白くない

JL-089　おおきい（大きい）

（絵）二つの箱ですが，両方を比べて（大きい方をさし）こちらの方が（小さい方をさし）こちらよりもどうだと言いますか。※非常に大きいことを表す形には注記。#LAJ1-17・18・19

JL-090　ちいさい（小さい）

（絵）それでは（小さい方をさし）こちらは（大きい方をさし）こちらよりもどうだと言いますか。※非常に小さいことを表す形には注記。#LAJ1-22・23

JL-091　ふとい（太い）

（絵）二本の棒があります。長さは同じですが，両方を比べて（太い方をさし）こちらの方が（細い方をさし）こちらに比べてどうだと言いますか。※非常に太いことを表す形には注記。#LAJ1-20

JL-092　ほそい（細い）

（絵）それでは（細い方をさし）こちらの方が（太い方をさし）こちらよりもどうだと言いますか。※非常に細いことを表す形には注記。#LAJ1-24

JL-093　あらい（粗い）

（絵）二つのふるいがあります。大きさは同じですが，ただ網の目が違います。両方を比べたとき（あらい方をさし）こちらの目は（細かい方をさし）こちらの目よりもどうだと言いますか。※非常に粗いことを表す形には注記。#LAJ1-21

JL-094　こまかい（細かい）

（絵）それでは（細かい方をさし）こちらの目は（あらい方をさし）こちらの目よりもどうだと言いますか。※非常に細かいことを表す形には注記。#LAJ1-25

次は，味の表し方を教えて下さい。

JL-095　しおからい（塩からい）

塩の味はどんなだと言いますか。薬は「苦い」などと言いますが，そんな言い方で言うと塩は……。#LAJ1-39

JL-096　からい（辛い）

唐辛子の味はどんなだと言いますか。#LAJ1-40

JL-097　すっぱい（酸っぱい）（梅干しの味）

梅干しの味はどんなだと言いますか。#LAJ1-41 改

JL-098　すっぱい（酸っぱい）（レモンの味）

レモンの味はどんなだと言いますか。

JL-099　あまい（甘い）

砂糖の味はどんなだと言いますか。#LAJ1-37

JL-100　＜塩味が＞うすい

しる（つゆ）などを作ったとき塩の味の足りないのを言うのに，しる（つゆ）の味がどんなだと言いますか。#LAJ1-38

JL-101　おいしい（美味しい）

味の良い食べものを食べて，「ああオイシイ」と言いますか。「ああウマイ」と言いますか。それとも別の言い方をしますか。#LAJ6-291

JL-102　＜味が＞まずい

それでは〔美味しい〕の反対は何と言いますか。

子供の遊びの言い方などについて，教えて下さい。

JL-103　おてだまあそび（お手玉遊び）

（絵）女の子の遊びです。何と言う遊びですか。この子どもは何をして遊んでいると言ったらよいでしょう。遊ぶ時に使う小さな袋には，あずきや小石などを入れて作ります。※遊びの名称を聞き出す。遊びと道具の名称が違うことが報告された場合は〈遊びの名称〉〈道具の名称〉のように注記を付ける。#LAJ3-145・146 改

JL-104　おはじき

おもに女の子の遊びで，ガラスなどでできている丸くて薄いものを指ではじいて遊ぶ道具を何と言いますか。※道具の名称を聞き出す。道具と遊びの名称が異なることが報告された場合は，〈道具の名称〉〈遊びの名称〉のように注記を付ける。

JL-105　かたあしとび（片足跳び）をする

（絵）こういうふうに片方の足だけで飛ぶことを何をする，どうすると言いますか。※「片脚跳びをする」にあたる動詞形が出ない場合は，別に片脚跳びに対する名詞も聞いてみる。なお，石蹴りや二人で倒し合う遊びの名とは違う。ただ，ピョンピョンと跳ぶこと。#LAJ2-54・55

JL-106　めんこ（面子）

おもに男の子の遊びで，力士や役者などの絵が描かれた紙を地面でたたきつけあい，裏返すなどして遊ぶ道具を何と言いますか。土地によってはメンコと呼ばれたりするものです。※道具の名称を聞き出す。道具と遊びの名称が異なることが報告された場合は，〈道具の名称〉〈遊びの名称〉のように注記を付ける。

JL-107　かたぐるま（肩車）

（絵）こういうふうに，こどもを首にまたがらせて肩に乗せることを何と言いますか。※「肩車」にあたる名詞形を聞き出す。名詞形がない場合は，動詞形も聞いてみる。#LAJ3-149・150

JL-108　ふろ（風呂）＜児童語＞

風呂のことを孫など幼い子供に言う場合，何と言いますか。例えば，「もう風呂に入ったか」「早く風呂に入れ」などと言う場合です。

JL-109　かみ・ほとけ（神・仏）＜児童語＞

神様や仏様のことを孫など幼い子供に言う場合，何と言いますか。例えば，「神様に水をあげろ」「仏様に手を合わせろ」などと言う場合です。

JL-110　かっぱ（河童）

a. 川や池に住むと言われる架空の生き物で，水の中に人を引き込むといった昔話に出てくるものを何と言いますか。

b. この地域では〔かっぱ〕はどのような姿をしていると言われていますか。（頭に皿がある，甲羅がある，手が抜けるなど）※地域に「かっぱ」の伝承がない場合は，NRとする。

次は，日にちの言い方や物の数え方などについて教えて下さい。

JL-111　おととい（一昨日）

きのうの前の日のことは何と言いますか。#LAJ6-276

JL-112　さきおととい（一昨々日）

〔おととい〕の前の日のことは何と言いますか。#LAJ6-275

JL-113　しあさって（明明後日）

あさっての次の日のことは何と言いますか。#LAJ6-285

JL-114　やのあさって（明明明後日）

〔しあさって〕の次の日のことは何と言いますか。#LAJ6-286

JL-115　いくつ（個数）

物の数を尋ねるときには何と言いますか。箱の中にある物の数を尋ねるとき「この中にまんじゅうが～」それから何と言いますか。※「何個」などと答えた場合は，あらたまった言い方ではないか確かめること。#LAJ1-49

JL-116　いくつ（何歳）

人の年齢を尋ねるとき，何と言って聞きますか。「年は～」それから何と言いますか。※「何歳」などと答えた場合は，あらたまった言い方ではないか確かめること。#LAJ6-293

JL-117　いくら（値段）

物の値段を尋ねるときには何と言いますか。「このまんじゅうはひとつ～」それから何と言いますか。※「何円」などと答えた場合は，あらたまった言い方ではないか確かめること。#LAJ1-50 改

JL-118　かぞえる（数える）

たとえば鉛筆なら鉛筆を，一本二本と（手つきを示す）調べることをどうすると言いますか。※「調べる」「確かめる」などはとらない。また，お金の場合は別の言い方をすると報告された場合は注記を付ける。#LAJ2-69 改・6-296 改

次は，天気や気候のことなどについて教えて下さい。

JL-119　つゆ（梅雨）

夏の初めごろ雨の長く降り続く時期があります。その雨の時期のことを何と言いますか。※時期ではなく，その時期に降る雨であることが報告された場合は注記を付ける。#LAJ6-254 改

JL-120　じしん（地震）

地面が急にぐらぐらっと揺れて，ひどいときには大木や家が倒れたりすることがあります。その地面の揺れること，それを何と言いますか。#LAJ6-263

JL-121　やま（山）

材木のための木を植えて育てる場所のことを何と言いますか。※この項目で求めているのは，共通語の「山」と同じではない。生活の中での実感が伴わない様子であれば，そのことを注記で記す。

JL-122　もり（森）

お宮の境内などがあって，木が一か所に集ってこんもりと生えている場所のことを何と言いますか。※この項目で求めているのは，共通語の「森」と同じではない。生活の中での実感が伴わない様子であれば，そのことを注記で記す。#LAJ4-198 改

JL-123　はやし（林）

木がたくさん生えていて，たきぎを拾ったり〔きのこ〕や山菜を採る場所のことを何と言いますか。※この項目で求めているのは，共通語の「林」と同じではない。生活の中での実感が伴わない様子であれば，そのことを注記で記す。#LAJ4-199 改

JL-124　たいよう（太陽）

朝東の方から出て，夕方西の方に沈む，昼間空に輝いているものを何と言いますか。※特別の敬称や児童語には注記。#LAJ6-251 改

★文法項目 JG-180 に「太陽」の語形を転記メモする。

★文法項目への回答語形の転記メモを忘れないこと（□にチェック）。

□JL-079→JG-075

□JL-080→JG-076

□JL-083・084→JG-157

□JL-085→JG-187b

□JL-124→JG-180

《文法項目》

文法項目には，語彙項目の結果を利用するものが含まれている。具体的には，以下の語彙項目の回答語形を各文法項目の質問文に転記メモしておくことが必要である。

JL-079→JG-075　　JL-080→JG-076　　JL-083・084→JG-157

JL-085→JG-187b　　JL-124→JG-180

したがって，文法項目を調査するにあたっては，事前にこれらの語彙項目の結果を得ておくことが求められる。

※調査を始める前に，○待遇項目などで場面が設定されているものを除き，話者自身がくつろいだときや，ごく親しい人と話すときに使う，土地のことばについての調査

である。したがって，今は使わない昔の人のことばや，話者自身が使わない他の人のことばなどは，そのむね注記を付けること。

※質問文に下線が付されている場合は，下線の部分に該当する箇所のみ記録する。

これからさまざまな言い回しについておうかがいしますが，○○(話者の名前)さんが，自分自身で，地元の親しい友達と話すときの言い方を教えて下さい。

※録音をとる場合，備忘録のためであるむね，ひとこと断りを入れること。

※動作主体が明示されていない項目においては，動作主体は話者自身として扱う。

・活用（動詞）

上二段：起きる

JG-001　起きる（終止形）

「朝早く 起きる 」と言うときの「起きる」のところは，地方によって，オキル・オクルなど，いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。#GAJ2-61

JG-002　起きる人（連体形）

「朝早く 起きる人 」と言うときの「起きる人」のところはどうですか。※「人」の部分も含めて記録する。「早起き」などはとらない。

JG-003　起きない（否定形）

「八時になってもまだ 起きない 」と言うときの「起きない」のところは，地方によってオキネー・オキン・オキランなど，いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。#GAJ2-72

JG-004　a.五時に（格助詞-時間），b.起きた（過去形）

「けさは， a 五時に b 起きた 」と言うときの「五時に起きた」のところはどのように言いますか。

a.五時に

b.起きた

JG-005　起きれば（仮定形）

「もっと早く 起きれば 良かった」と言うときの「起きれば」のところはどのように言いますか。#GAJ3-126

JG-006　起きろ（命令形）

「ぐずぐずしないで早く 起きろ 」と言うときの「起きろ」のところは，地方によって，オキロ・オキレ・オキヨなど，いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。#GAJ2-85

下二段：開ける

JG-007　開ける（終止形）

「窓を あける 」と言うときの「あける」はどうですか。#GAJ2-64

JG-008　開けない（否定形）

「寒いから窓を あけない 」と言うときの「あけない」はどうですか。#GAJ2-77

JG-009　開けた（過去形・音韻 JP-19 タ行子音有声化）

「窓を あけた 」と言うときの「あけた」はどうですか。

JG-010　a. 窓を（格助詞-非情物），b. 開けろ（命令形）

「 a 窓を b あけろ 」と言うときの「窓をあけろ」はどのように言いますか。#a:GAJ1-6 改，b:GAJ2-87 改

a. 窓を

b. あけろ

下二段：寝る

JG-011　寝る（終止形）

「早く 寝る 」と言うときの「寝る」はどうですか。#GAJ2-66

JG-012　寝ない（否定形）

「十二時になってもまだ 寝ない 」と言うときの「寝ない」はどうですか。#GAJ2-79

JG-013　a. 座布団で（音韻 JP-20 ザダ交替），b. 寝た（過去形）

「昨日は a 座布団で b 寝た 」と言うときの「座布団で寝た」はどのように言いますか。

a. 座布団で

b. 寝た

JG-014　寝ろ（命令形）

「早く 寝ろ 」と言うときの「寝ろ」はどうですか。

上一段：見る

JG-015　見る（終止形）

「夜はいつもテレビを 見る 」と言うときの「見る」はどうですか。

JG-016　見た（過去形）

「きのうテレビを 見た 」と言うときの「見た」はどうですか。

JG-017　a. 先生を（格助詞-有情物），b. 見ろ（命令形）

友達がよそ見しているので，「 a 先生を b 見ろ 」と言うときの「先生を見ろ」はどのように言いますか。#b:GAJ2-86 改

a. 先生を

b. 見ろ

四段カ行：書く

JG-018　a. おれが（人称代名詞-自称詞），b. 書く（終止形）

「 a おれが b 書く 」と言うときの「おれが書く」はどうですか。※話者自身が使う自称詞を求める。#a:GAJ6-341 改，b:GAJ2-67 改

a. おれが

b. 書く

JG-019　書く人（連体形）

「手紙を筆で 書く人 」と言うときの「書く人」のところはどのように言いますか。※「人」の部分も含めて記録する。#GAJ2-71

JG-020　書かない（否定形・音韻 JP-18 カ行子音有声化）

「手紙を 書かない 」と言うときの「書かない」はどうですか。#GAJ2-80

JG-021　書いた（過去形・音韻 JP-15 連母音アイ）

「手紙を 書いた 」と言うときの「書いた」はどうですか。

JG-022　書けば（仮定形）

「きのう手紙を 書けば 良かった」と言うときの「書けば」はどうですか。#GAJ3-128

JG-023　a. おまえが（人称代名詞-対称詞），b. 書け（命令形）

「 a おまえが b 書け 」と言うときの「おまえが書け」はどのように言いますか。#a:GAJ6-336 改

a. おまえが

b. 書け

四段ラ行：切る

JG-024　a. 木を（格助詞-非情物（植物）），b. 切らない（否定形）

「 a 木を b 切らない 」と言うときの「木を切らない」はどうですか。

a. 木を

b. 切らない

JG-025　a. 指を（格助詞-非情物（人体）），b. 切った（過去形）

「間違えて， a 指を b 切った 」と言うときの「指を切った」はどうですか。

a. 指を

b. 切った

JG-026　a. 髪を（格助詞-非情物（人体）），b. 切れ（命令形）

「早く a 髪を b 切れ 」と言うときの「髪を切れ」はどうですか。※「髪」の部分は，アタマ・ケなど普段使う語で回答してもらう。

a. 髪を

b. 切れ

四段各行：過去形

JG-027　出した（サ行：過去形）

「きのう手紙を 出した 」と言うときの「出した」のところは，地方によって，ダシタ・ダイタなど，いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。#GAJ2-92

JG-028　研いだ（ガ行：過去形・音韻 JP-17 連母音オイ）

「包丁を 研（と）いだ 」と言うときの「研（と）いだ」はどうですか。#GAJ2-97

JG-029　飛んだ（バ行：過去形）

「飛行機が 飛んだ 」と言うときの「飛んだ」はどうですか。#GAJ2-102

JG-030　a. 酒を（格助詞-非情物），b. 飲んだ（マ行：過去形）

「 a 酒を b 飲んだ 」と言うときの「酒を飲んだ」はどのように言いますか。#GAJ1-6, 2-103

a. 酒を

b. 飲んだ

JG-031　買った（ワ行：過去形）

「1個 100 円のりんごを 買った 」と言うときの「買った」はどうですか。#GAJ2-105

カ変：来る

JG-032　a. どろぼうが（格助詞-有情物（目下）），b. 来る（終止形）

「鍵をかけないと， a どろぼうが b 来（く）る 」と言うときの「どろぼうが来（く）る」はどのように言いますか。#a:GAJ1-3 改，#b:GAJ2-69 改

a. どろぼうが

b. 来る

JG-033　a. 台風が（格助詞-非情物），b. 来ない（否定形）

「今年はまだ a 台風が b 来（こ）ない 」と言うときの「台風が来（こ）ない」はどうですか。#a:GAJ1-4 改，b:GAJ2-83 改

a. 台風が

b. 来ない

JG-034　a. バスが（格助詞-非情物），b. 来た（過去形）

「やっと a バスが b 来た 」と言うときの「バスが来た」はどのように言いますか。

a. バスが

b. 来た

JG-035　a. 車で（格助詞-手段方法），b. 来い（命令形）

「荷物があるから a 車で b 来（こ）い 」と言うときの「車で来（こ）い」はどうですか。#a:GAJ1-29 改，b:GAJ2-90 改

a. 車で

b. 来い

サ変：する

JG-036　する（終止形）

「一日中仕事を する 」と言うときの「する」はどうですか。※「ヤル」を使った形は採らない。#GAJ2-70

JG-037　しない（否定形）

「仕事を頼んだのにまだ しない 」と言うときの「しない」はどうですか。※「ヤル」を使った形は採らない。#GAJ2-84

JG-038　した（過去形）

「仕事を した 」と言うときの「した」はどうですか。

JG-039　しろ（命令形）

「ぐずぐずしないで早く しろ 」と言うときの「しろ」はどうですか。※「ヤル」を使った形は採らない。#GAJ2-91

ナ変：死ぬ

JG-040　死ぬ（終止形）

「蝉（せみ）は10日で 死ぬ 」と言うときの「死ぬ」はどうですか。#GAJ2-68

・活用（形容詞）

JG-041　高い（終止形）

「都会は物価が 高い 」と言うときの「高い」はどうですか。

JG-042　高い物（連体形）

「店で， 高い物 を買う」と言うときの「高い物」はどうですか。※「物」の部分も含めて記録する。#GAJ3-136

JG-043　高くなる（なる形）

「物の値段がだんだん 高くなる 」と言うときの「高くなる」はどうですか。#GAJ3-139

JG-044　高くて（て形）

「この品物は，値段が 高くて 質も良い」と言うときの「高くて」のところはどのように言いますか。#GAJ3-138

JG-045　高く（連用形）

「値段を 高く つりあげる」と言うときの「高く」のところはどのように言いますか。

JG-046　高かった（過去形）

「この着物は 高かった 」と言うときの「高かった」はどうですか。#GAJ3-141

JG-047　高ければ（仮定形）

「値段がもっと 高ければ 良かった」と言うときの「高ければ」はどうですか。#GAJ3-143

・活用（形容動詞）

JG-048　静かだ（終止形）

「ここは車が通らないので 静かだ 」と言うときの「静かだ」はどうですか。#GAJ3-145

JG-049　静かな所（連体形）

「ここは車が通らない 静かなところ だ」と言うときの「静かなところ」はどうですか。※「ところ」の部分も含めて記録する。#GAJ3-146

JG-050　静かでない（否定形）

「ここは車が通るのであまり 静かでない 」と言うときの「静かでない」はどうですか。#GAJ3-147

JG-051　静かだった（過去形）

「あそこは車が通らないので 静かだった 」と言うときの「静かだった」はどうですか。#GAJ3-148

JG-052　静かなら（仮定形）

「そこがもっと 静かなら 良かった」と言うときの「静かなら」はどうですか。#GAJ3-150 改

・否定

JG-053　足りない（活用-否定形）

「金が 足りない 」と言うときの「足りない」はどうですか。#GAJ2-76

JG-054　行かない（活用-否定形）

「あしたは 行かない 」と言うときの「行かない」はどうですか。

JG-055　行きはしない（取立）

「人に言うだけで，自分では 行きはしない 」と言うとき，「行きはしない」のところをどのように言いますか。※「～はしない」にあたる形を求めるが，「～ない」にあたる形しか回答されない場合は，それを記録する。

JG-056　知らない（活用-否定形）

「そんなこと 知らない 」と言うときの「知らない」はどうですか。

JG-057　知りはしない（取立）

「話に聞いているだけで，本当のことは 知りはしない 」と言うとき，「知りはしない」のところはどのように言いますか。※「～はしない」にあたる形を求めるが，「～ない」にあたる形しか回答されない場合は，それを記録する。

JG-058　見ない（活用-否定形）

「朝はテレビを 見ない 」と言うときの「見ない」はどうですか。#GAJ2-74

JG-059　見はしない（取立）

「あの人は新聞は読むけれども，テレビなど 見はしない 」と言うとき，「見はしない」のところをどのように言いますか。※「～はしない」にあたる形を求めるが，「～ない」にあたる形しか回答されない場合は，それを記録する。#GAJ4-161 改

JG-060　高くない（活用-否定形）

「この品物の値段はあまり 高くない 」と言うときの「高くない」はどうですか。#GAJ3-137

JG-061　高くはない（取立）

「品も良くて，値段も思ったほど 高くはない 」と言うとき，「高くはない」のところはどのように言いますか。※「～はない」にあたる形を求めるが，「～ない」にあたる形しか回答されない場合は，それを記録する。

JG-062　行かなかった（過去）

「きのうは役場に 行かなかった 」と言うとき，「行かなかった」のところをどのように言いますか。#GAJ4-151

JG-063　見なかった（過去）

「昨日はテレビを 見なかった 」と言うとき，「見なかった」のところをどのように言いますか。

JG-064　行かなくなる（なる形）

「おもしろくないので次第に 行かなくなる 」と言うときの「行かなくなる」のところはどのように言いますか。

JG-065　行かなければ（仮定形）

「あんなところに 行かなければ 良かった」と言うとき，「行かなければ良かった」のところをどのように言いますか。#GAJ4-153

JG-066　行かなくて（付帯状況（因果））

「子どもが仕事に 行かなくて 困った」と言うとき，「行かなくて困った」のところをどのように言いますか。#GAJ4-156

・格助詞

連体格

JG-067　a.それは（主題助詞），b.おれの（有情物（話し手））

「 a それは b〔おれ〕の 傘だ」と言うときの「それはおれの傘だ」のところはどのように言いますか。※「おれ」の部分は JG-018 参照。#b:GAJ1-13 改

a.それは

b.おれの

JG-068　おれのだ（有情物（話し手））

「この傘は〔おれ〕のだ 」と言うときの「おれのだ」のところはどのように言いますか。※「おれ」の部分は JG-018 参照。「～の傘だ」は採らない。#GAJ6-341 改

JG-069　おまえの（有情物（聞き手））

「これは 〔おまえ〕の 傘だ」と言うときの「おまえの傘」のところはどのように言いますか。※「おまえ」の部分は JG-023 参照。

JG-070　バスの（非情物）

「これは バスの タイヤだ」と言うときの「バスのタイヤ」のところはどのように言いますか。

JG-071　台風の（非情物）

（黒い雲を指さして）「あれは 台風の 雲だ」と言うときの「台風の雲」のところはどのように言いますか。

JG-072　先生の（有情物（目上））

「それは 先生の 傘だ」と言うときの「先生の傘」のところはどのように言いますか。#GAJ1-14

JG-073　先生のだ（有情物（目上））

「この傘は 先生のだ 」と言うときの「先生のだ」のところはどのように言いますか。※「～の傘だ」は採らない。

JG-074　どろぼうの（有情物（目下））

「これは どろぼうの 足跡だ」と言うときの「どろぼうの足跡」のところはどのように言いますか。#GAJ1-15 改

JG-075　〔長男※語彙項目 JL-079〕の（有情物（親族（上））

※語彙項目 JL-079「長男」と JL-080 で「次男以下」が語彙的に区別されている場合（一方を指す語しか用意されていないものも含む）のみ尋ねる。

「これは 〔長男〕の 傘だ」と言うときの「〔長男〕の傘」のところはどのように言いますか。

JG-076　〔次男以下※語彙項目 JL-080〕の（有情物（親族（下））

※語彙項目 JL-079「長男」と JL-080 で「次男以下」が語彙的に区別されている場合（一方を指す語しか用意されていないものも含む）のみ尋ねる。

「これは 〔次男以下〕の 傘だ」と言うときの「〔次男以下〕の傘」のところはどのように言いますか。

方向・目的・場所など

JG-077　a. 学校に（移動方向），b. 行った（活用-過去形）

「きのう a 学校に b 行った 」と言うときの「学校に行った」はどうですか。#b:GAJ2-95 改

a. 学校に

b. 行った

JG-078　a. 東の方へ（移動方面），b. 行け（活用-命令形）

友達から「どちらの方角に行ったら良いか」と聞かれて，「 a 東の方へ b 行け 」と教えるときにはどのように言いますか。※[～の方へ]の形を求める。#a:GAJ1-19

a. 東の方へ

b. 行け

JG-079　a. 仕事に（動作の目的（名詞）），b. 行かないで（否定-付帯状況）

「 a 仕事に b 行かないで 遊んでばかりいる」と言うとき，「仕事に行かないで」のところをどのように言いますか。※「仕事シナイデ」「仕事ニデナイデ」などは採らない。

#a:GAJ1-22 改，b:GAJ4-155 改

a. 仕事に

b. 行かないで

JG-080　a. 見に（動作の目的（動詞）），b. 行く（活用-終止形）

「あした花火を a 見に b 行く 」と言うときの「見に行く」のところはどのように言いますか。#a:GAJ1-21 改

a. 見に

b. 行く

JG-081　a. 東京に（帰着点），b. 着いた（音韻 JP-16 ウイ連母音）

「やっと a 東京に b 着いた 」と言うときにはどのように言いますか。#a:GAJ1-20

a. 東京に

b. 着いた

JG-082　大工に（変化の結果）

「息子が 大工に なった」と言うときにはどのように言いますか。#GAJ1-23

JG-083　a. ここに（存在場所（非意志的），b. あるのは（存在動詞・準体助詞）

「 a ここに b 有るのは 何か」と言うときにはどのように言いますか。※アリヨルのような形にも注意。#a:GAJ1-24 改，b:GAJ1-16

a. ここに

b. あるのは

JG-084　運動場で（動作場所）

「 運動場で 遊ぶ」と言うときの「運動場で」のところはどのように言いますか。#GAJ1-28

JG-085　一万円で（手段方法）

（百円の買物をして一万円を出し）「すみませんが， 一万円で お願いします」と言うときの「一万円でお願いします」のところはどのように言いますか。#GAJ1-30

JG-086　息子に手伝ってもらった（授受対象者）

「 息子に 手伝ってもらった」と言うときの「息子に」のところはどのように言いますか。#GAJ1-26 改

JG-087　a. 友達に（受身の動作主-受益），b. 助けられた（受身-受益）

「 a 友達に b 助けられた 」と言うときにはどのようにいいますか。※受身形「助けられた」が回答されない場合は，「助けてもらった」でも構わない。

a. 友達に

b. 助けられた

JG-088　a. 犬に（受身の動作主-迷惑），b. 追いかけられた（受身-迷惑）

「 a 犬に b 追いかけられた 」と言うときにはどのように言いますか。#GAJ1-27 改

a. 犬に

b. 追いかけられた

JG-089　田中という人（名称指定）

「きのう， 田中という人 が来た」と言うときの「田中という人」のところはどのように言いますか。#GAJ1-32

JG-090　来ると言っていた（引用）

「「また 来る」と言っていた 」と言うときの「来ると言っていた」のところはどのように言いますか。

・副助詞

JG-091　雨ばかり（対象の排除的特定化）

「毎日 雨ばかり 降っている」と言うときの「雨ばかり」のところはどのように言いますか。#GAJ1-49

JG-092　皮ごと（対象の包括化）

「みかんを 皮ごと 食べた」と言うときの「皮ごと食べた」のところはどのように言いますか。#GAJ1-53

JG-093　a. 百円玉しか（対象外の否定），b. ない（活用-否定形）

財布の中を見て「 a 百円玉しか b 無い 」と言うときにはどのように言いますか。※「無い」を「ある」の否定形で言い表さないか注意する。#a:GAJ1-51 改，b:GAJ4-158 改

a. 百円玉しか

b. ない

JG-094　a. 食いながら（同時進行），b. 歩くな（禁止）

「 a 食いながら b 歩くな 」と言うときにはどのように言いますか。#a:GAJ1-41，b:GAJ5-221～226 改

a. 食いながら

b. 歩くな

JG-095　皮だけ（食べた）（対象の限定）

「まんじゅうを 皮だけ 食べた」と言うときの「皮だけ食べた」のところはどのように言いますか。#GAJ1-47

JG-096　百円玉だけない（対象の限定）

財布の中の小銭を探して「 百円玉だけ無い 」と言うときにはどのように言いますか。※「無い」の部分も記録する。

JG-097　お茶でも（適宜選択）

「 お茶でも 飲もう」と言うときにはどのように言いますか。#GAJ1-44

・接続助詞

JG-098　降っているから（原因理由）

「雨が 降っているから 行くのはやめろ」と言うときの「雨が降っているから」のところはどのように言いますか。#GAJ1-33 改

JG-099　寒いけれども（逆接-確定）

「少し 寒いけれども がまんしよう」と言うときの「寒いけれども」のところはどのように言いますか。#GAJ1-38

JG-100　行かなくても（逆接-仮定）

「あそこには 行かなくても 良い」と言うとき，「行かなくても良い」のところをどのように言いますか。#GAJ4-157

JG-101　行ったってだめだ（逆接-仮定）

「おまえが 行ったってだめだ 」と言うとき，「行ったってだめだ」のところをどのように言いますか。#GAJ4-171・172

・条件（順接仮定）

JG-102　行ったら（終わっていた）（事実）

「そこに 行ったら もう会は終わっていた」と言うとき，「そこに行ったら」のところをどのように言いますか。#GAJ4-170

JG-103　行くと（だめになりそうだ）（後件：懸念）

「おまえが 行くと その話はだめになりそうだ」と言うとき，「お前が行くと」のところをどのように言いますか。#GAJ4-169

JG-104　行ったら（電話しろ）（後件：命令）

「そこに 行ったら 電話しろ」と言うとき，「そこに行ったら」のところをどのように言いますか。

JG-105　書くなら（きれいに書いてくれ）（後件：依頼）

「手紙を 書くなら ，字をきれいに書いてくれ」と言うときの「書くなら」はどうですか。#GAJ3-133

JG-106　降ったら（行かない）（後件：意志）

「あした雨が 降ったら おれは行かない」と言うとき，「雨が降ったら」のところはどのように言いますか。#GAJ4-168

JG-107　高いなら（買わない）（後件：意志）

「そんなに値段が 高いなら 買わない」と言うときの「高いなら」はどうですか。#GAJ3-144

JG-108　降れば（出ないだろう）（後件：推量）

「あした雨が 降れば 船は出ないだろう」と言うとき，「雨が降れば」のところをどのように言いますか。#GAJ4-167

・アスペクト

JG-109　走っている（進行-動作動詞）

（絵）運動会で人が走っているのを見て，「人が 走っている 」と言いますか，ハシリヨルと言いますか，それとも別の言い方をしますか。※「走る」の進行形を求める。

JG-110　散っている（進行-変化動詞）

（絵）桜の花が，今，散っている最中だとします。それを見て，「今，花が 散っている 」と言いますか，チリヨルと言いますか，それとも別の言い方をしますか。※「散る」の進行形を求める。#GAJ4-198

JG-111　読んでしまった（完了）

「その本はもう 読んでしまった 」と言うとき，「読んでしまった」のところをどのように言いますか。#GAJ4-205

JG-112　食べかける・食べかけている（始動）

a. 仲の良い友達三人で一緒に食事をしようとして，ちょうど料理が運ばれてきました。その時その内の一人に急に用事ができました。しかし，すぐに戻れそうです。自分たちは先に食べることを始めると伝える時，どう言いますか。

b. 同じように，料理が運ばれてきたときに一人に急に用事ができましたが，用事の様子では，なかなか戻れそうにもないようです。自分たちは先に食べることを始めると伝える時，どう言いますか。

・テンス

JG-113　いるか（非過去：あいさつ）

親しい友達の家を尋ねて，入口で「○○さん， いるか 」と言うとき，どのように言いますか。#GAJ4-197

JG-114　いた（過去-体験）

友達から別の友達のことを尋ねられて「あいつは，さっきまで確かにここに いた 」と言うとき，「ここにいた」のところをどのように言いますか。※ていねいな形は採らない。#GAJ4-196

JG-115　行った（なあ）（過去-体験・非体験）

昔，友達と祭りに行ったことをなつかしく思い出しながら，

a. その友達に「昔，二人で祭りに 行ったなあ 」と言うとき，「行ったなあ」のところをどのように言いますか。※「行く」を使った形を求める。#GAJ4-188 改

b. 同じ場面で友達に別の友達もそこにいたことを思い出しながら「あいつも 行った 」というとき「行った」のところをどのように言いますか。※「行く」を使った形を求める。

c. また同じ場面について，さらに別の友達がいたかどうか思い出せないので「あいつは行ったか 」と尋ねるとき，「行ったか」のところをどのように言いますか。※「行く」を使った形を求める。

JG-116　強かった（過去-自他）

昔の相撲大会のことを思い出しながら，

a. 友達に「あのとき，あいつは 強かった 」と言うとき，「強かった」のところをどのように言いますか。※「強い」を使った形を求める。#GAJ4-194 改

b. 同じ場面で友達に「あのとき，おれも 強かった 」と言うとき，「強かった」のところをどのように言いますか。※「強い」を使った形を求める。

JG-117　いたそうだ（伝聞-過去（非体験））

たとえば，「昔，昔，あの山に鬼が いたそうだ 」と言うとき，「鬼がいたそうだ」のところをどのように言いますか。#GAJ5-250～252

・可能

JG-118　読むことができない（能力-否定-五段）

「うちの孫はまだ小さくて字を知らないので本を 読むことができない 」と言うとき，「読むことができない」のところをどのように言いますか。※「能力可能」の表現を求める。#GAJ4-182

JG-119　読むことができる（能力-肯定-五段）

「うちの孫は字をおぼえたのでもう本を 読むことができる 」と言うとき，「読むことができる」のところをどのように言いますか。※「能力可能」の表現を求める。#GAJ4-173

JG-120　読むことができない（状況-否定-五段）

「電燈が暗いので新聞を 読むことができない 」と言うとき，「読むことができない」のところをどのように言いますか。※「状況可能」の表現を求める。#GAJ4-183

JG-121　読むことができる（状況-肯定-五段）

「電燈が明るいので新聞を 読むことができる 」と言うとき，「読むことができる」のところをどのように言いますか。※「状況可能」の表現を求める。#GAJ4-174

JG-122　着ることができない（能力-否定-一段）

「うちの孫はまだ一人では着物を 着ることができない 」と言うとき，「着ることができない」のところをどのように言いますか。（能力）#GAJ4-184

JG-123　着ることができる（能力-肯定-一段）

「うちの孫はもう一人で着物を 着ることができる 」と言うとき，「着ることができる」のところはどのように言いますか。（能力）#GAJ4-175

JG-124　着ることができない（状況-否定-一段）

「この着物は古くなったのでもう 着ることができない 」と言うとき，「着ることができない」のところをどのように言いますか。（状況）#GAJ4-185

JG-125　着ることができる（状況-肯定-一段）

「この着物は古くなったけれどもまだ 着ることができる 」と言うとき，「着ることができる」のところをどのように言いますか。（状況）#GAJ4-176

・断定，推量，確認要求

JG-126　雨だ（断定-非過去）

「今日は一日中 雨だ 」と言うとき，「雨だ」のところをどのように言いますか。※「雨が降る」ではなく「雨だ」にあたる名詞述語形式を聞き出す。ただし，現在形においては「だ」よりも「雨サ」のような終助詞の使用が一般的であると回答された場合は，「雨＋終助詞」の形で記録する。なお，どうしても「雨降りだ」になってしまう場合は(体言相当なので)可とし，その回答を記録する。

JG-127　雨だった（断定-過去）

「昨日は一日中 雨だった 」と言うとき，「雨だった」のところをどのように言いますか。※「雨が降った」ではなく「雨だった」にあたる名詞述語形式を聞き出す。なお，どうしても「雨降りだった」になってしまう場合は(体言相当なので)可とし，その回答を記録する。

JG-128　雨だろう（推量-名詞述語）

「あしたはたぶん 雨だろう 」と言うとき，「たぶん雨だろう」のところをどのように言いますか。※「雨が降るだろう」の形は採らない。#GAJ5-240 改

JG-129　行くだろう（推量-動詞）

友達から「あの人は今日役場に行くだろうか」と聞かれ，迷いながら「たぶん 行くだろう 」と答えるとき，どのように言いますか。#GAJ5-237

JG-130　行くのだろう（推量-動詞準体型）

役場への道を歩いている人を見て，友達から「あの人はどこへ行くのだろうか」と聞かれ，「役場に 行くのだろう 」と答えるとき，「行くのだろう」のところはどのように言いますか。#GAJ5-238

JG-131　行っただろう（推量-動詞-過去）

友達から「あの人はきのう役場に行っただろうか」と聞かれ，「 行っただろう 」と答えるとき，どのように言いますか。#GAJ5-239

JG-132　行ったのだろう（推量-動詞準体型-過去）

役場の封筒を持って歩いている人を見て，友達から「あの人は役場へ行ったのだろうか」と聞かれ「役場に 行ったのだろう 」と答えるとき，「行ったのだろう」のところはどのように言いますか。

JG-133　あるじゃないか（確認要求）

眼鏡をさがしている友達に「眼鏡ならそこに あるじゃないか 」と言うとき「あるじゃないか」のところをどのように言いますか。

JG-134　あるんじゃないか（確認要求）

具合が悪そうな友達に「もしかして熱でも あるんじゃないか 」と聞くとき「あるんじゃないか」のところをどのように言いますか。

・義務，意志，希望

JG-135　行かなければならない（義務）

親しい友達にむかって，「おれはあした役場に 行かなければならない 」と言うとき，「行かなければならない」のところをどのように言いますか。#GAJ5-206・207・208

JG-136　書こう（意志-五段）

自分自身で「きょうは手紙を 書こう 」とつぶやくときの「書こう」のところはどのように言いますか。#GAJ3-109 改

JG-137　起きよう（意志-一段）

自分自身で「あしたは早く 起きよう 」とつぶやくときの「起きよう」のところはどのように言いますか。#GAJ3-106

JG-138　行くまい（否定意志）

「もうそんなところへなんか，けっして 行くまい 」と心に決めるとき，「行くまい」のところをどのように言いますか。※「イカナイ」などでも可。#GAJ5-234

JG-139　行きたいなあ（希望）

「温泉に 行きたいなあ 」とつぶやくとき，「行きたいなあ」のところをどのように言いますか。#GAJ5-227

JG-140　行ってもらいたい（希望）

「あの人には，是非，いっしょに 行ってもらいたい 」と言うとき，「行ってもらいたい」のところをどのように言いますか。#GAJ5-231

・授与，ヴォイス

JG-141　a.孫に（格助詞-授与対象者），b.やる（本動詞：意志文）

「本を a孫に bやる 」と言うときの「孫にやる」のところはどのように言いますか。#a:GAJ1-25 改

a.孫に

b.やる

JG-142　やった（本動詞：叙述文）

「孫に本を やった 」と言うときの「やった」のところはどのように言いますか。

JG-143　読んでやる（補助動詞：意志文）

「孫に本を 読んでやる 」と言うときの「読んでやる」のところはどのように言いますか。

JG-144　読んでやった（補助動詞：叙述文）

「きのう孫に本を 読んでやった 」と言うときの「読んでやった」のところはどのように言いますか。

JG-145　来させる（使役）

「孫を無理に 来（こ）させる 」と言うときの「来（こ）させる」はどうですか。※「ヨブ」「ヨコサセル」などは採らない。#GAJ3-120

・応答詞

JG-146　いや，飲まない（肯定疑問への否定文回答）

友達から「あの人は酒を飲むのか？」と聞かれて，「 いや，飲まない 」と答えるとき，どのように言いますか。※応答詞「いや」も含めての回答を求める。

JG-147　うん，飲む（肯定疑問への肯定文回答）

友達から「あの人は酒を飲むのか？」と聞かれて，「 うん，飲む 」と答えるとき，どのように言いますか。※応答詞「うん」も含めての回答を求める。

JG-148　うん，飲まない（否定疑問への肯定文回答）

友達から「あの人は酒を飲まないのか？」と聞かれて，「 うん，飲まない 」と答えるとき，どのように言いますか。※応答詞「うん」も含めての回答を求める。

JG-149　いや，飲む（否定疑問への否定文回答）

友達から「あの人は酒を飲まないのか？」と聞かれて，「 いや，飲む 」と答えるとき，どのように言いますか。※応答詞「いや」も含めての回答を求める。

・待遇

話し手主体

JG-150　（自分が）来る：A 場面

近所の知り合いの人にむかって，ややていねいに「自分は，あしたもここに 来る 」と言うとき，「ここに来る」のところはどのように言いますか。#GAJ6-313 改

JG-151　（自分が）来る：B 場面

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「自分は，あしたもここに 来る 」と言うとき，「ここに来る」のところはどのように言いますか。#GAJ6-312

聞き手主体

書く

JG-152　（聞き手が）書くか：0 場面

親しい友達にむかって，「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くとき，「書くか」のところをどのように言いますか。

JG-153　（聞き手が）書くか：A 場面

近所の知り合いの人にむかって，ややていねいに「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くとき，「書くか」のところをどのように言いますか。#GAJ6-273・274

JG-154　（聞き手が）書くか：B場面

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くとき，「書くか」のところをどのように言いますか。#GAJ6-271・272

JG-155　（聞き手が）書くか：父親に

自分の父親にむかって，「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くとき，「書くか」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。

JG-156　（聞き手が）書くか：配偶者に

自分の奥さん（あるいは御主人）にむかって，「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くとき，「書くか」のところをどのように言いますか。※配偶者が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。

JG-157　（聞き手が）書くか：〔本家※語彙項目 JL-083〕・〔分家※語彙項目 JL-084〕の主人に

※語彙項目 JL-083「本家」と JL-084「分家」がともに(共通語形も含む)語形が回答されている場合のみ尋ねる。

〔本家〕（あるいは〔分家〕）の主人にむかって，「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くとき，「書くか」のところをどのように言いますか。※語彙項目 JL-084-b で，話者自身が「分家」の場合は「本家」の主人に向かってとし，話者自身が「本家」の場合は「分家」の主人に向かって，として尋ねる。なお，「〔本家〕の主人」「〔分家〕の主人」に対する表現が特定できない(また場面が想定できない)という回答の場合は，NR と記載するのみでよい。

行く

JG-158　（聞き手が）行くか：A場面

近所の知り合いの人にむかって，ややていねいに「どこへ 行くのか 」と行先をたずねるとき，どのように言いますか。

JG-159　（聞き手が）行くか：B場面

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「どこへ 行くのか 」と行先をたずねるとき，どのように言いますか。#GAJ6-275・276

来る

JG-160　（聞き手が）来るか：A場面

近所の知り合いの人にむかって，ややていねいに「あしたもここに 来るか 」と聞くとき，「ここに来るか」のところをどのように言いますか。

JG-161　（聞き手が）来るか：B場面

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「あしたもここに 来るか 」と聞くとき，「ここに来るか」のところをどのように言いますか。#GAJ6-278・279

いる

JG-162　a.家に（格助詞-存在場所（意志的）），（聞き手が）いるか：0場面

親しい友達にむかって，「あしたは a家に bいるか 」と聞くとき，「家にいるか」のところをどのように言いますか。

a.家に

b.いるか

JG-163　（聞き手が）いるか：A場面

近所の知り合いの人にむかって，ややていねいに「あしたは家に いるか 」と聞くとき，「家にいるか」のところをどのように言いますか。#GAJ6-283・284改

JG-164　（聞き手が）いるか：B場面

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「あしたは家に いるか 」と聞くとき，「家にいるか」のところをどのように言いますか。#GAJ6-281・282

JG-165　（聞き手が）いるか：父親に

自分の父にむかって，「あしたは家に いるか 」と聞くとき，「家にいるか」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。#GAJ6-285・286

聞き手主体・命令

JG-166　来い：A場面

近所の知り合いの人にむかって，ややていねいに「こちらの方へ 来い 」と言うとき，「来い」のところをどのように言いますか。

JG-167　来い：B場面

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「こちらの方へ 来い 」と言うとき，「来い」のところをどのように言いますか。#GAJ6-300～302

第三者主体

外部目上主体

JG-168　a.先生が（格助詞-有情物（目上）），b.来る：0場面

親しい友達にむかって，「もうすぐ a先生が b来る 」と言うとき，「先生が来る」のところをどのように言いますか。#a:GAJ1-2改

a.先生が

b.来る

JG-169　先生が来る：A場面

近所の知り合いの人にむかって，ややていねいに「もうすぐ先生が 来る 」と言うとき，「先生が来る」のところをどのように言いますか。

JG-170　先生が来る：父親に

自分の父親にむかって，「もうすぐ先生が 来る 」と言うとき，「先生が来る」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。

外部中上位・中位主体

JG-171　近所の知り合いが来る：0 場面

親しい友達にむかって，「もうすぐ近所の○○さんが 来る 」と言うとき，「○○さんが来る」のところをどのように言いますか。

JG-172　友達が来る：0 場面

親しい友達にむかって，「もうすぐ友達の○○君が 来る 」と言うとき，「○○君が来る」のところをどのように言いますか。

身内主体

JG-173　自分の父親が来る：0 場面

親しい友達にむかって，「もうすぐ自分の父親が 来る 」と言うとき，「自分の父親が来る」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。

JG-174　自分の父親が来る：A 場面

近所の知り合いの人にむかって，ややていねいに「もうすぐ自分の父親が 来る 」と言うとき，「自分の父親が来る」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。#GAJ6-317・318 改

JG-175　自分の父親が来る：B 場面

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「もうすぐ自分の父親が 来る 」と言うとき，「自分の父親が来る」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。#GAJ6-315・316 改

JG-176　自分の父親が来る：母親に

自分の母親にむかって，「もうすぐ自分の父親が 来る 」と言うとき，「自分の父親が来る」のところをどのように言いますか。※父親・母親が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。

JG-177　自分の配偶者が来る：0 場面

親しい友達にむかって，「もうすぐ自分の奥さん（あるいは御主人）が 来る 」と言うとき，「自分の奥さん（あるいは御主人）が来る」のところをどのように言いますか。※配偶者が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。

断定辞，自然物

JG-178　雨だ：A 場面

近所の知り合いの人にむかって，ややていねいに「外は 雨だ 」と言うとき，「雨だ」のところをどのように言いますか。#GAJ6-329 改

JG-179　雨だ：B 場面

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「外は 雨だ 」と言うとき，「雨だ」のところをどのように言いますか。#GAJ6-327 改

JG-180　〔太陽※語彙項目 JL-124〕がのぼった

※「〔太陽〕」の部分は語彙項目 JL-124 で聞き出した語形に置き換えて尋ねる。

「太陽がのぼった」と言うとき，「太陽がノボラサッタ」のようにていねいに言うところがあるようです。このあたりでは，「〔太陽〕がのぼった」ということを，どのように言いますか。

・あいさつ

JG-181　おはよう：A 場面

朝，近所の知り合いの人に道で出会ったとき，どんなあいさつをしますか。ふつう良く使う言い方を教えてください。※あいさつをしない場合や定型のあいさつがない場合は，NR として〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。#GAJ6-349

JG-182　おはよう：0 場面

朝，親しい友達に道で出会ったとき，どんなあいさつをしますか。ふつう良く使う言い方を教えてください。※あいさつをしない場合や定型のあいさつがない場合は，NR として〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。#GAJ6-349 改

JG-183　おはよう（家族に）

a. 朝，奥さん（あるいは御主人）に対して，どんなあいさつをしますか。ふつう良く使う言い方を教えてください。※あいさつをしない場合や定型のあいさつがない場合は，NR として〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。また，配偶者が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。

b. 朝，同居しているお孫さんに対して，どんなあいさつをしますか。ふつう良く使う言い方を教えてください。※あいさつをしない場合は，NR として〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。また，同居している孫がいない場合も，いるときのこととして回答してもらう。

JG-184　ありがとう

（絵）人から物をもらって「ありがとう」とお礼を言うとき，どのように言いますか。

#GAJ5-267～270

JG-185　いただきます

a. 食事を食べ始めるとき，どんなあいさつをしますか。※あいさつをしない場合や定型のあいさつがない場合は，NR として〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。

b. 食事を食べ始めるとき，手を合わせますか。

①合わせる　②合わせない

③その他の非言語行動をとる

（具体的内容→　　）

JG-186　ごちそうさま

a. 食事を食べ終えたとき，どんなあいさつをしますか。※あいさつをしない場合や定型のあいさつがない場合は，NR として〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。

b. 食事を食べ終えたとき，手を合わせますか。

①合わせる　②合わせない

③その他の非言語行動をとる

（具体的内容→　　）

・詠嘆

JG-187　詠嘆（熱い：感覚，恐い：感情，高い：状態）

思わず発する独り言についてうかがいます。

a. お茶を飲んでみると思いのほか熱くて思わず独り言を発するとき，アツッやアツサやアツイコトのように言いますか。それとも別の言い方をしますか。

b. 戦争や事件・事故などの〔恐い〕話をニュースで知り思わず独り言を発するとき，コワッやコワサやコワイコトのように言いますか。それとも別の言い方をしますか。

※〔恐い〕の部分は，語彙項目 JL-085 で聞き出した語形に置き換えてもよい。

c. お店で何気なく値札を見ると思いのほか値がはっていて思わず独り言を発するとき，タカッやタカサやタカイコトのように言いますか。それとも別の言い方をしますか。

②全国方言準備調査の項目分類一覧

音韻項目（準備調査）の分類一覧

※分析対象（番号）：番号は調査票の質問文の番号に対応。abなどは質問文の枝番。
[JG]と記しているものは文法項目の中で扱われていることを示す。
※分析対象の主目的
M 言語変化に伴う分布の変動：Movement
※LAJ：○は関連項目が地図集に収録（地図番号は，質問文を参照）

大分類	中分類	分析対象（番号）	分析対象の主目的	LAJ
母音	単母音（イ・エ：語頭）	胃(JP-13-a)	M	
		絵(JP-13-b)	M	
		「胃」と「絵」(JP-13-c)	M	
	連母音（アイ）	（書いた）(JP-15[JG-021])	M	
	連母音（ウイ）	（着いた）(JP-16[JG-081])	M	
	連母音（オイ）	（研いだ）(JP-17[JG-028])	M	
	開合	楊枝（開音）(JP-14-a)	M	
		用事（閉音）(JP-14-b)	M	
		「楊枝」と「用事」(JP-14-c)	M	
子音	ガ行鼻濁音	鏡(JP-01)	M	○
	合拗音	火事(JP-02)	M	○
		元日・元旦(JP-03)	M	○
		正月(JP-04)	M	○
	語中子音の有声化（カ行）	（書かない）(JP-18[JG-020])	M	
	語中子音の有声化（タ行）	（開けた）(JP-19[JG-009])	M	
	セ・ゼ（口蓋化）	汗(JP-06)	M	○
		背中(JP-07)	M	○
	四つ仮名	富士（フジ）(JP-08-a)	M	
		藤（フヂ）(JP-08-b)	M	
		「富士」と「藤」(JP-08-c)	M	
		鈴（スズ）(JP-09)	M	
		水（ミヅ）(JP-10)	M	
	一つ仮名	知事（チジ）(JP-11-a)	M	
		地図（チヅ）(JP-11-b)	M	
		「知事」と「地図」(JP-11-c)	M	
	シ・ス・チ・ツ	寿司(JP-05-a)	M	
		煤(JP-05-b)	M	
		「寿司」と「煤」(JP-05-c)	M	
	シ・ヒ（歯茎音・口蓋音）	白い(JP-12-a)	M	
		広い(JP-12-b)	M	
		「白い」と「広い」(JP-12-c)	M	
	＊ザ行とダ行の交替	（座布団）(JP-20[JG-013])	M	

語彙項目（準備調査）の分類一覧

※分析対象（番号）：番号は調査票の質問文番号に対応。abなどは質問文の枝番
※分析対象の主目的
M 言語変化に伴う分布の変動：Movement
C 関連項目の補完：Complement
V 関連項目の照合・確認：Verification
Nv 新たな観点の導入：New viewpoint
Nc 新たな変化の把握：New change
※LAJ：○は関連項目が地図集に収録（地図番号は，質問文を参照）

大分類	中分類	小分類	分析対象（番号）	分析対象の主目的	LAJ
人間	人倫	個別親族	長男(JL-079)	Nv	
			長女(JL-081)	Nv	
			次男以下(JL-080)	Nv	
			次女以下(JL-082)	Nv	
			まご(JL-077)	V	
			ひまご(JL-078)	M	○
		親族集合等	本家(JL-083)	Nv	
			分家（名称）(JL-084-a)	Nv	
			分家（話者の所属）(JL-084-b)	Nv	
			分家（上下意識）(JL-084-c)	Nv	
	人体	頭部	ふけ(JL-036)	M	○
			ものもらい（名称）(JL-038-a)	M	○
			ものもらい（治療方法）(JL-038-b)	Nv	
			した(JL-039)	M	○
		上半身	みずおち(JL-040)	M	○
			なかゆび(JL-041)	M	○
		下半身	＜牛馬の＞ひかがみ（名称）(JL-012-a)	Nv	
			＜牛馬の＞ひかがみ（牛馬の飼育経験）(JL-012-b)	Nv	
			＜牛馬の＞ひかがみ（対象物への関心）(JL-012-c)	Nv	
			くるぶし(JL-042)	M	○
			かかと(JL-043)	M	○
		皮膚・傷等	あか(JL-037)	M	○
			ほくろ(JL-044)	M	○
			あざ：内出血(JL-045)	M	○
			あざ：生得(JL-046)	M	○
			あざ：蒙古斑(JL-047)	C	
			かさぶた(JL-048)	C	
			しもやけ(JL-049)	M	○
			ゆきやけ(JL-050)	V	
	動作	客体への働きかけ	（服を）きる(JL-051)	Nv	
			（靴を）はく(JL-052)	Nv	
			（靴下を）はく(JL-053)	Nv	
			（帽子を）かぶる(JL-053)	Nv	

大分類	中分類	小分類	分析対象（番号）	分析対象の主目的	LAJ
人間	動作	客体への働きかけ	（手袋を）はめる(JL-054)	Nv	
			おんぶする（幼児を負う）(JL-055)	M	○
			しょう（包みを背負う）(JL-056)	M	○
			かつぐ（片方の肩で包を担ぐ）(JL-057)	M	○
			かつぐ（材木を担ぐ）(JL-058)	M	○
			かつぐ（天秤棒を担ぐ）(JL-059)	M	○
			かつぐ（二人で担ぐ）(JL-060)	M	○
			はこぶ(JL-061)	C	
			すてる(JL-062)	M	○
			なげる(JL-063)	C	
		主体の移動	いく・くる(JL-064)	Nv	
		主体の変化	あぐらをかく(JL-065)	M	○
	状態	動作・変化性	＜蚊に＞さされる(JL-006)	Nc	
		客観的	おおきい(JL-089)	M	○
			ふとい(JL-091)	M	○
			あらい(JL-093)	M	○
			ちいさい(JL-090)	M	○
			ほそい(JL-092)	M	○
			こまかい(JL-094)	M	○
		副詞的	とても(JL-087-a)	Nc	
			おもしろい(JL-087-b)	Nc	
			ぜんぜん(JL-088-a)	Nc	
			おもしろくない(JL-088-b)	Nc	
	感情	心情的	おそろしい(JL-085)	M	○
		感覚的	びっくりする(JL-086)	M	○
	感覚	味覚	おいしい(JL-101)	M	○
			＜味が＞まずい(JL-102)	C	
			しおからい(JL-095)	M	○
			あまい(JL-099)	M	○
			すっぱい（梅干しの味）(JL-097)	M	○
			すっぱい（レモンの味）(JL-098)	C	
			からい(JL-096)	M	○

大分類	中分類	小分類	分析対象（番号）	分析対象の主目的	LAJ
人間	感覚	味覚	<塩味が>うすい(JL-100)	M	○
生活	食生活	道具	まないた(JL-033)	M	○
		調理法	たく(JL-031)	M	○
			にる(JL-032)	M	○
		素材・食品	ひきにく(JL-035)	Nc	
	住生活	台所・炊事	いろり（名称）(JL-068-a)	M	
			いろり（物の存否）(JL-068-b)	Nv	
			いろり（利用経験）(JL-068-c)	Nv	
			いろり（利用方法）(JL-068-d)	Nv	
			かまど（名称）(JL-069-a)	M	
			かまど（物の存否）(JL-069-b)	Nv	
		家屋・部屋	ふろ<児童語>(JL-108)	Nv	
		建具・道具・屋外	ふすま(JL-066)	M	○
			いど（名称）(JL-067-a)	M	○
			いど（物の存否）(JL-067-b)	Nv	
	農林業	米・米作	うるち(JL-030)	M	○
		穀物・芋類	やまいも(JL-026)	C	
			さといも(JL-025)	M	○
			さつまいも(JL-024)	M	○
			じゃがいも(JL-023)	M	○
			イモの意味(JL-027)	M	○
			とうもろこし(JL-028)	M	○
			かぼちゃ(JL-029)	M	○
	鉱工業		せともの(JL-034)	M	○
	遊戯	集団	かたあしとびをする(JL-105)	M	○
		女児	おてだまあそび(JL-103)	M	○
			おはじき(JL-104)	M	
		男児	めんこ(JL-106)	Nc	
		動作・方法	かたぐるま(JL-107)	M	○
	民俗	神仏	かみ・ほとけ<児童語>(JL-109)	Nv	
	生活（その他）	道具	じてんしゃ(JL-074)	Nc	
			じょうぎ(JL-075)	Nc	
			こくばんけし(JL-076)	Nc	
			しちりん（名称）(JL-070-a)	M	
			しちりん（物の存否）(JL-070-b)	Nv	
			からさお（名称）(JL-071-a)	M	
			からさお（物の存否）(JL-071-b)	Nv	
自然	時空間	時間	一昨々日(JL-112)	M	○
			一昨日(JL-111)	M	○
			しあさって（明明後日）(JL-113)	M	○

大分類	中分類	小分類	分析対象（番号）	分析対象の主目的	LAJ
自然	時空間	時間	やのあさって（明明明後日）(JL-114)	M	○
		数量・順位	いくつ（個数）(JL-115)	M	○
			いくつ（何歳）(JL-116)	M	○
			いくら（値段）(JL-117)	M	○
			かぞえる（数える）(JL-118)	M	○
	天地	気象	つゆ（梅雨）(JL-119)	M	○
			つらら(JL-072)	M	○
			じしん（地震）(JL-120)	M	○
		地形・天体	やま(JL-121)	Nv	
			もり(JL-122)	M	○
			はやし(JL-123)	M	○
			たいよう(JL-124)	M	○
		塵芥等	けむり(JL-073)	M	○
	動物	は虫類	とかげ(JL-010)	M	○
			かなへび(JL-011)	M	○
	魚介類		うろこ(JL-013)	M	○
			<蟹の>こうら(JL-014)	C	
			ぶり(JL-015)	Nv	
	虫	軟体動物	かたつむり(JL-001)	M	○
			なめくじ(JL-002)	M	○
		昆虫	かまきりむし(JL-003)	M	○
			とんぼ(JL-004)	M	○
			ぼうふら(JL-005)	V	
			かぶとむし(JL-007)	Nc	
			くわがたむし(JL-008)	Nc	
			アブラムシ(JL-009)	Nc	
	植物	野草	つくし(JL-016)	M	○
			すぎな(JL-017)	M	○
			ひがんばな（名称）(JL-019-a)	M	
			ひがんばな（語源意識）(JL-019-b)	Nv	
			ひがんばな（利用方法）(JL-019-c)	Nv	
			ほうせんか（名称）(JL-018-a)	M	
			ほうせんか（利用方法）(JL-018-b)	Nv	
		菌類等	きのこ(JL-021)	M	○
		実・葉等	まつかさ(JL-020)	M	○
			<柿の>へた(JL-022)	C	
その他	その他		かっぱ（名称）(JL-110-a)	M	
			かっぱ（形状）(JL-110)	Nv	

文法項目（準備調査）の分類一覧

※分析対象（番号）：番号は調査票の質問文の番号に対応。abなどは質問文の枝番
※分析対象の主目的
M 言語変化に伴う分布の変動：Movement
C 関連項目の補完：Complement
V 関連項目の照合・確認：Verification
Nv 新たな観点の導入：New viewpoint
Nc 新たな変化の把握：New change
※GAJ：○は関連項目が地図集に収録（地図番号は，質問文を参照）

大分類	中分類	小分類	分析対象（番号）	分析対象の主目的	GAJ
活用	動詞　四段 カ行　書く	終止形	書く(JG-018-b)	V	○
		連体形	書く人(JG-019)	M	○
		否定形	書かない(JG-020)	M	○
		過去形	書いた(JG-021)	V	○
		仮定形	書けば(JG-022)	M	○
		命令形	書け(JG-023-b)	V	
	動詞　四段 カ行　行く	終止形	行く(JG-080-b)	V	
		否定形	行かない(JG-054)	V	
		過去形	行った(JG-077-b)	M	○
		命令形	行け(JG-078-b)	V	
	動詞　四段 ガ行　研ぐ	過去形	研いだ(JG-028)	M	○
	動詞　四段 サ行　出す	過去形	出した(JG-027)	M	○
	動詞　四段 バ行　飛ぶ	過去形	飛んだ(JG-029)	M	○
	動詞　四段 マ行　飲む	過去形	飲んだ(JG-030-b)	M	○
	動詞　四段 ラ行　切る	否定形	切らない(JG-024-b)	M	
		過去形	切った(JG-025-b)	V	
		命令形	切れ(JG-026-b)	V	
	動詞　四段 ラ行　知る	否定形	知らない(JG-056)	C	
	動詞　四段 ラ行　足る	否定形	足りない(JG-053)	M	○
	動詞　四段 ワ行　買う	過去形	買った(JG-031)	M	○
	動詞　上一段　見る	終止形	見る(JG-015)	V	
		否定形	見ない(JG-058)	M	○
		過去形	見た(JG-016)	C	
		命令形	見ろ(JG-017-b)	M	○
	動詞　上二段　起きる	終止形	起きる(JG-001)	M	○
		連体形	起きる人(JG-002)	C	
		否定形	起きない(JG-003)	M	○
		過去形	起きた(JG-004-b)	C	
		仮定形	起きれば(JG-005)	M	○
		命令形	起きろ(JG-006)	M	○
	動詞　下二段　寝る	終止形	寝る(JG-011)	M	○
		否定形	寝ない(JG-012)	M	○
		過去形	寝た(JG-013-b)	C	
		命令形	寝ろ(JG-014)	M	
	動詞　下二段　開ける	終止形	開ける(JG-007)	M	○
		否定形	開けない(JG-008)	M	○
		過去形	開けた(JG-009)	C	
		命令形	開けろ(JG-010-b)	M	○
	動詞　カ変　来る	終止形	来る(JG-032-b)	M	○
		否定形	来ない(JG-033-b)	M	○
		過去形	来た(JG-034-b)	V	
		命令形	来い(JG-035-b)	M	○
	動詞　サ変　する	終止形	する(JG-036)	M	○
		否定形	しない(JG-037)	M	○
		過去形	した(JG-038)	C	
		命令形	しろ(JG-039)	M	○
	動詞　ナ変　死ぬ	終止形	死ぬ(JG-040)	M	○
	動詞　ラ変　ある	連体形	あるのは(JG-083-b)	C	
	形容詞　ない，動詞　ラ変　ある	否定形	ない（否定形）(JG-093-b)	M	○
	形容詞　高い	終止形	高い(JG-041)	M	
		連体形	高い物(JG-042)	M	○
		否定形	高くない(JG-060)	M	○
		なる形	高くなる(JG-043)	M	○
		て形	高くて(JG-044)	M	○
活用	形容詞　高い	連用形	高く(JG-045)	C	
		過去形	高かった(JG-046)	M	○
		仮定形	高ければ(JG-047)	M	○
	形容動詞　静かだ	終止形	静かだ(JG-048)	M	○
		連体形	静かな所(JG-049)	M	○
		否定形	静かでない(JG-050)	M	○
		過去形	静かだった(JG-051)	M	○
		仮定形	静かなら(JG-052)	M	○
否定	過去	動詞　行く	行かなかった(JG-062)	M	○
		動詞　見る	見なかった(JG-063)	C	
	取立	動詞　行く	行きはしない(JG-055)	C	
		動詞　見る	見はしない(JG-059)	M	○
		動詞　知る	知りはしない(JG-057)	C	
		形容詞　高い	高くはない(JG-061)	V	
	なる形	動詞　行く	行かなくなる(JG-064)	Nc	
	仮定形	動詞　行く	行かなければ(JG-065)	M	○
	付帯状況	動詞　行く	行かないで(JG-079-b)	M	○
	付帯状況（因果）	動詞　行く	行かなくて(JG-066)	M	○
格助詞	主格	非情物	が：バスが(JG-034-a)	C	
			が：台風が(JG-033-a)	M	○
		有情物（目下）	が：どろぼうが(JG-032-a)	M	○
		有情物（目上）	が：先生が(JG-168-a)	M	○
	動作対象	非情物	を：酒を(JG-030-a)	M	○
			を：窓を(JG-010-a)	M	○
		非情物（植物）	を：木を(JG-024-a)	C	
		非情物（人体）	を：指を(JG-025-a)	C	
			を：髪を(JG-026-a)	C	
		有情物	を：先生を(JG-017-a)	C	
	授与対象	授与対象者	に：孫に(JG-141-a)	M	○
	授受対象	授受対象者	に：息子に手伝ってもらった(JG-086)	M	○
	受身の動作主	受益	に：友達に助けられた(JG-087-a)	C	
		迷惑	に：犬に追いかけられた(JG-088-a)	M	○
	動作の目的（名詞）		に：仕事に(JG-079-a)	M	○
	動作の目的（動詞）		に：見に(JG-080-a)	M	○
	手段方法		で：一万円で(JG-085)	M	○
			で：車で(JG-035-a)	M	○
	場所	移動方向	に：学校に(JG-077-a)	C	
		移動方面	へ：東の方へ(JG-078-a)	M	○
		帰着点	に：東京に(JG-081-a)	M	○
		存在場所（非意志的）	に：ここに(JG-083-a)	M	○
		存在場所（意志的）	に：家に(JG-162-a)	C	
		動作場所	で：運動場で(JG-084)	M	○
	時間		に：五時に(JG-004-a)	C	

大分類	中分類	小分類	分析対象（番号）	分析対象の主目的	GAJ
格助詞	変化の結果		に：大工に(JG-082)	M	○
	引用		と：来ると言っていた(JG-090)	Nc	
	引用（名称指定）		と：田中という人(JG-089)	M	○
	連体格	非情物	の：バスの(JG-070)	C	
			の：台風の(JG-071)	C	
		有情物（話し手）	の：おれの(JG-067-b)	M	○
	連体格（所有準体）	有情物（話し手）	の：おれのだ(JG-068)	M	○
	連体格	有情物（聞き手）	の：おまえの(JG-069)	C	
		有情物（目下）	の：どろぼうの(JG-074)	M	○
		有情物（目上）	の：先生の(JG-072)	M	○
	連体格（所有準体）	有情物（目上）	のだ：先生のだ(JG-073)	C	
	連体格	有情物（親族（上））	の：〔長男※語彙項目JL-079〕の(JG-075)	Nv	
		有情物（親族（下））	の：〔次男以下※語彙項目JL-080〕の(JG-076)	Nv	
主題助詞			は：それは(JG-067-a)	C	
準体助詞	形式名詞		あるのは(JG-083-b)	M	○
副助詞	対象の限定		だけ：皮だけ（食べた）(JG-095)	M	○
			だけ：百円玉だけ（ない）(JG-096)	C	
	対象の排除的特定化		ばかり：雨ばかり(JG-091)	M	○
	対象の包括化		ごと：皮ごと(JG-092)	M	○
	対象外の否定		しか：百円玉しか（ない）(JG-093-a)	M	○
	同時進行		ながら：食いながら(JG-094-a)	M	○
	適宜選択		でも：お茶でも(JG-097)	M	○
条件	順接仮定事実	動詞　行く	行ったら（終わっていた）(JG-102)	M	○
	順接仮定 仮説　後件：働きかけ（命令）	動詞　行く	行ったら（電話しろ）(JG-104)	C	
	順接仮定 仮説　後件：懸念	動詞　行く	行くと（だめになりそうだ）(JG-103)	M	○
	順接仮定 仮説　後件：働きかけ（依頼）	動詞　書く	書くなら（きれいに書いてくれ）(JG-105)	M	○
	順接仮定 仮説　後件：表出（意志）	動詞　降る	降ったら（行かない）(JG-106)	M	○
		形容詞　高い	高いなら（買わない）(JG-107)	M	○
	順接仮定 仮説　後件：表出（推量）	動詞　降る	降れば（出ないだろう）(JG-108)	M	○
原因理由	接続助詞	行為の理由	から：降っているから(JG-098)	M	○
逆接	接続助詞	確定	けれども：寒いけれども(JG-099)	M	○
		仮定	ても：行かなくても(JG-100)	M	○
			たって：行ったってだめだ(JG-101)	M	○
アスペクト	進行	動作動詞（走る）	走っている（進行）(JG-109)	C	
		変化動詞（散る）	散っている（進行）(JG-110)	M	○
	完了	動作動詞（読む）	読んでしまった（完了）(JG-111)	M	○
	始動	動作動詞（食べる）	食べかける・食べかけている（始動a）(JG-112-a)	Nv	
			食べかける・食べかけている（始動b）(JG-112-b)	Nv	

大分類	中分類	小分類	分析対象（番号）	分析対象の主目的	GAJ
テンス	非過去	存在動詞	（聞き手が）いるか：0場面(JG-162-b)	V	
	非過去（あいさつ）	存在動詞	いるか（非過去：あいさつ）(JG-113)	M	○
	過去（体験）	存在動詞	いた（過去-体験）(JG-114)	M	○
	過去（共有体験）	動詞　行く	行ったなあ（過去-共有体験）(JG-115-a)	M	○
	過去（体験）	動詞　行く	行った（過去-体験）(JG-115-b)	C	
	過去（非体験）	動詞　行く	行った（過去-非体験）(JG-115-c)	C	
	過去（他者）	形容詞　強い	強かった（過去-他）(JG-116-a)	M	○
	過去（自者）	形容詞　強い	強かった（過去-自）(JG-116-b)	C	
可能	能力（肯定）	五段　読む	読むことができる（能力可能）(JG-119)	M	○
	能力（否定）	五段　読む	読むことができない（能力可能）(JG-118)	M	○
	能力（肯定）	一段　着る	着ることができる（能力可能）(JG-123)	M	○
	能力（否定）	一段　着る	着ることができない（能力可能）(JG-122)	M	○
	状況（外的条件）（肯定）	五段　読む	読むことができる（状況可能）(JG-121)	M	○
	状況（外的条件）（否定）	五段　読む	読むことができない（状況可能）(JG-120)	M	○
	状況（外的条件）（肯定）	一段　着る	着ることができる（状況可能）(JG-125)	M	○
	状況（外的条件）（否定）	一段　着る	着ることができない（状況可能）(JG-124)	M	○
意志	肯定	五段　書く	書こう（意志）(JG-136)	M	○
		一段　起きる	起きよう（意志）(JG-137)	M	○
	否定	五段　行く	行くまい（意志）(JG-138)	M	○
希望	希望主体（話し手），動作主体（話し手）	肯定，五段　行く	行きたいなあ(JG-139)	M	○
	希望主体（話し手），動作主体（第三者）	肯定，五段　行く	行ってもらいたい(JG-140)	M	○
推量	動詞	五段　行く	行くだろう(JG-129)	M	○
	名詞	名詞述語　雨だ	雨だろう(JG-128)	M	○
	動詞準体型	五段　行く	行くのだろう(JG-130)	M	○
	動詞過去	五段　行く	行っただろう(JG-131)	M	○
	動詞準体型過去	五段　行く	行ったのだろう(JG-132)	C	
確認要求			あるじゃないか(JG-133)	Nv	
			あるんじゃないか(JG-134)	Nv	
伝聞	過去（非体験）	動詞	いたそうだ（伝聞過去-非体験）(JG-117)	M	○
断定	非過去		雨だ(JG-126)	M	
	過去		雨だった(JG-127)	C	
ヴォイス	受身	迷惑	追いかけられた(JG-088-b)	C	
		受益	助けられた(JG-087-b)	C	
	使役（力変　来る）		来させる(JG-145)	M	○
授与（遠心）	本動詞（物提供，非過去：意志文）		やる(JG-141-b)	M	
	補助動詞（行為提供，非過去：意志文）		読んでやる(JG-143)	C	

大分類	中分類	小分類	分析対象（番号）	分析対象の主目的	GAJ
授与（遠心）	補助動詞（行為提供，過去：叙述文）		読んでやった(JG-144)	C	
	本動詞（物提供，過去：叙述文）		やった(JG-142)	M	○
義務		五段　行く	行かなければならない(JG-135)	M	○
禁止		五段　行く	歩くな（禁止）(JG-094-b)	M	
応答詞	肯定疑問	否定文回答	（飲むのか）いや，飲まない(JG-146)	C	
		肯定文回答	（飲むのか）うん，飲む(JG-147)	C	
	否定疑問	肯定文回答	（飲まないのか）うん，飲まない(JG-148)	C	
		否定文回答	（飲まないのか）いや，飲む(JG-149)	C	
待遇（第三者）	動作主体：上位，聞き手：中上位（A場面）	来る	先生が来る：A場面(JG-169)	V	
	動作主体：上位，聞き手：上位親族	来る	先生が来る：父親に(JG-170)	V	
	動作主体：上位，聞き手：中位（0場面）	来る	先生が来る：0場面(JG-168-b)	V	
	動作主体：中上位，聞き手：中位（0場面）	来る	近所の知り合いが来る：0場面(JG-171)	V	
	動作主体：中位，聞き手：中位（0場面）	来る	友達が来る：0場面(JG-172)	Nc	
	動作主体：上位親族，聞き手：上位（B場面）	来る	自分の父親が来る：B場面(JG-175)	M	○
	動作主体：上位親族，聞き手：中上位（A場面）	来る	自分の父親が来る：A場面(JG-174)	M	○
	動作主体：上位親族，聞き手：中位（0場面）	来る	自分の父親が来る：0場面(JG-173)	C	
	動作主体：上位親族，聞き手：中上位親族	来る	自分の父親が来る：母親に(JG-176)	C	
	動作主体：中位親族，聞き手：中位（0場面）	来る	自分の配偶者が来る：0場面(JG-177)	Nv	
待遇（畏敬天体）	動作主体：畏敬天体	のぼる	〔太陽※語彙項目JL-124〕がのぼった(JG-180)	Nv	
待遇（対者）	動作主体＝話し手，聞き手：上位（B場面）	来る	（自分が）来る：B場面(JG-151)	M	○
	動作主体＝話し手，聞き手：中上位（A場面）	来る	（自分が）来る：A場面(JG-150)	M	○
待遇（断定辞）	名詞述語，聞き手：上位（B場面）	雨だ	雨だ：B場面(JG-179)	M	○
	名詞述語，聞き手：中上位（A場面）	雨だ	雨だ：A場面(JG-178)	M	○
待遇（対者）	動作主体＝聞き手（上位：B場面）	書く	（聞き手が）書くか：B場面(JG-154)	M	○
		行く	（聞き手が）行くか：B場面(JG-159)	M	○

大分類	中分類	小分類	分析対象（番号）	分析対象の主目的	GAJ
待遇（対者）	動作主体＝聞き手（上位：B場面）	来る	（聞き手が）来るか：B場面(JG-161)	M	○
		いる	（聞き手が）いるか：B場面(JG-164)	M	○
	動作主体＝聞き手（中上位：A場面）	書く	（聞き手が）書くか：A場面(JG-153)	M	○
		行く	（聞き手が）行くか：A場面(JG-158)	M	
		来る	（聞き手が）来るか：A場面(JG-160)	M	
		いる	（聞き手が）いるか：A場面(JG-163)	M	○
	動作主体＝聞き手（中位：0場面）	書く	（聞き手が）書くか：0場面(JG-152)	V	
	動作主体＝聞き手（上位親族）	書く	（聞き手が）書くか：父親に(JG-155)	Nv	
		いる	（聞き手が）いるか：父親に(JG-165)	M	○
	動作主体＝聞き手（中位親族）	書く	（聞き手が）書くか：配偶者に(JG-156)	Nv	
	動作主体＝聞き手（親族：本家／分家）	書く	（聞き手が）書くか：〔本家※語彙項目JL-083〕・〔分家※語彙項目JL-084〕の主人に(JG-157)	Nv	
待遇（命令）	動作主体＝聞き手（上位：B場面）	来る	来い：B場面(JG-167)	M	○
	動作主体＝聞き手（中上位：A場面）	来る	来い：A場面(JG-166)	M	
人称代名詞	自称詞		おれが(JG-018-a)	M	○
	対称詞		おまえが(JG-023-a)	M	○
挨拶	朝	聞き手：中上位（A場面）	おはよう（近所の目上に）(JG-181)	M	○
		聞き手：中位（0場面）	おはよう（友達に）(JG-182)	C	
		聞き手：家族	おはよう（家族（配偶者）に）(JG-183-a)	Nv	
			おはよう（家族（孫）に）(JG-183-b)	Nv	
	謝礼		ありがとう(JG-184)	M	○
	食前	言語行動	いただきます（言語行動）(JG-185-a)	Nv	
		非言語行動	いただきます（非言語行動）(JG-185-b)	Nv	
	食後	言語行動	ごちそうさま（言語行動）(JG-186-a)	Nv	
		非言語行動	ごちそうさま（非言語行動）(JG-186-b)	Nv	
詠嘆	感覚（熱い）		感覚（熱い）(JG-187-a)	Nv	
	感情（恐い）		感情（恐い）(JG-187-b)	Nv	
	状態（高い）		状態（高い）(JG-187-c)	Nv	

10.2 全国方言分布調査 調査票

①全国方言分布調査の調査項目と質問文（調査票本文）

《音韻項目》

【調査を始める前に】

※話者自身がくつろいだときや，ごく親しい人と話すときに使う，土地のことばについての調査である。したがって，今は使わない昔の人のことばや，話者自身が使わない他の人のことばなどは，そのむね注記を付けて記録すること。

開始時刻　２０　　年　　月　　日　　時　　分

ここでは，発音についておうかがいします。○○(話者の名前)さんが，自分自身で，地元の親しい友達と話すときの言い方を教えてください。

※録音をとる場合，備忘録のためであるむね，ひとこと断りを入れること。

準 P-1　鏡（かがみ）：ガ行鼻濁音

（絵）顔をうつすための，こういうものを何と言いますか。#LAJ1-1 &JP-01

P-2　袴（はかま）：カ行子音有声化

（絵）和服で，着物の上に着るもののうち，肩から腰までの丈のものを羽織（はおり）と言います。では，腰から足首までをおおうものは何と言いますか。&JP-18 改

P-3　肌（はだ）：ダ行子音

人の体の表面をおおっている皮膚のことを何と言いますか。うるおいがなくなって，がさがさになると，これが荒れると言います。

P-4　旗（はた）：タ行子音有声化

（絵）布や紙などで作って，竿（さお）の先に揚（あ）げてしるしとして使うものです。国や団体などを表すしるしとして，よく使われます。&JP-19 改

P-5　座布団：ザ・ダ交替

（絵）畳に敷いて，その上に座る四角な布団のことを何と言いますか。&JP-20 改

P-6　知事：一つ仮名

都道府県で一番偉い人を何と言いますか。こちらの都道府県でいえば○○さん（知事の名前）のことです。&JP-11-a

P-7　地図：一つ仮名

（絵）旅先で道が分からないときに見るものを何と言いますか。&JP-11-b 改

P-8　切符（きっぷ）：拍意識・文字意識

「切符」ということばがあります。これを発音するとき，「きっ・ぷ」（指を折って示しながら）というように，２つとして数えますか，それとも「き・っ・ぷ」（指を折って示しながら）と３つに数えますか，漢字や仮名で書くときではなく，実際に発音する

ときの音の「かたまり」はいくつだと思いますか。 ※回答結果は以下の文字列の空白部分に／を書き込んで示す。例：き　っ／ぷ，き／っ／ぷ

き　っ　ぷ
き　っ　ぷ
き　っ　ぷ
き　っ　ぷ
き　っ　ぷ

P-9　風船（ふうせん）：拍意識・文字意識

「風船」ということばがあります。これを発音するとき，「ふー・せん」（指を折って示しながら）というように，２つとして数えますか，それとも「ふ・う・せ・ん」（指を折って示しながら）と４つに数えますか，それとも（指を折って示しながら）「ふー・せ・ん」「ふ・う・せん」のように３つに区切りますか。漢字や仮名で書くときではなく，実際に発音するときの，音の「かたまり」はいくつだと思いますか。※回答結果は以下の文字列の空白部分に／を書き込んで示す。例：ふ　う／せ　ん，ふ／う／せ／ん

ふ　う　せ　ん
ふ　う　せ　ん
ふ　う　せ　ん
ふ　う　せ　ん
ふ　う　せ　ん

《語彙項目》

【調査を始める前に】

※話者自身がくつろいだときや，ごく親しい人と話すときに使う，土地のことばについての調査である。したがって，今は使わない昔の人のことばや，話者自身が使わない他の人のことばなどは，そのむね注記を付けて記録すること。

※質問文で〔 〕を付した箇所は，別項目で得られた方言語形に置き換えて尋ねる。

○○（話者の名前）さんが，自分自身で，地元の親しい友達と話すときの言い方を教えてください。

※録音をとる場合，備忘録のためであるむね，ひとこと断りを入れること。

虫などの生き物の呼び方について教えてください。

準L-01　かたつむり（蝸牛）

（絵）これを何と言いますか。からを背負ってのろのろとはって歩きます。夏，ことに雨の頃多く見掛けます。#LAJ5-236・237・238 &JL-001

準L-02　とかげ

（絵）これは何と言いますか。長さは5寸（15センチメートル）ぐらい。ひなたの土の上をちょろちょろ走り回ります。色は黒くてつやつや光って，鮮かな青い線があります。水の中には入りません。※いもり・やもりなどと間違えないよう。#LAJ5-224 &JL-010

準L-03　かまきり（蟷螂）

（絵）こういう虫を何と言いますか。前足が草を刈るかまに似ています。おこるとそれを振り立てて向かってきます。色は緑とか茶色など。#LAJ5-229・230 &JL-003

準L-04　とんぼ（蜻蛉）

（絵）いろいろの種類がありますが，こういう虫をひっくるめて何と言いますか。#LAJ5-231 &JL-004

L-05　ありじごく（蟻地獄）

（絵）これは何と言いますか。軒下や神社の境内などの砂地で摺り鉢のような巣を作って，穴に落ちてくる虫を食べる虫です。大きく描くとこんな形をしています。

L-06　かいこ（蚕）

（絵）これは何と言いますか。成長すると白っぽい色の糸をはいて繭を作ります。その繭から糸をとって，絹を織ります。

L-07　くわ（桑）

葉を〔かいこ〕に食べさせる木を何と言いますか。太くなった幹は器などの木材としても使われます。

L-08　くわのみ（桑の実）

a.〔かいこ〕が食べる〔桑〕になる実を何と言いますか。※おいしい実とまずい実を区別して呼ぶことがある場合は注記する。

b.〔桑の実〕を食べたことがありますか。

①ある　　②ない

L-09　くわばたけ（桑畑）

〔かいこ〕の食べる桑が植えられている場所をクワバラと言いますか。それとも別の言い方をしますか。※家の庭や畑の境界に植えられていた場合はそこの名称を尋ね，注記する。

準L-10　ぼうふら（蚊の幼虫）

水たまりなどにすんでいる蚊の幼虫を何と言いますか。&JL-005

次は，植物や食べ物などの言い方について教えてください。

L-11　かぼちゃ（南瓜）

（絵）これを何と言いますか。夏にとれる，つるになる大きな実です。#LAJ4-180改 &JL-029改

L-12　じゃがいも（馬鈴薯）

（絵）こういう芋を何と言いますか。地域によっては夏の初めと秋と一年に二度とれます。※品種が多いが，総称を求める。#LAJ4-174・175 改 &JL-023 改

L-13　さつまいも（甘藷）

（絵）これを何と言いますか。茎はつるになって地面に広がります。#LAJ4-176 改 &JL-024 改

L-14　さといも（里芋）

（絵）これは何と言いますか。茶色の毛が生えていて，皮をむくとぬるぬるします。いろいろの種類があって茎の食べられるものもありますが，ひっくるめて何と言いますか。※品種が多いが，総称を求める。#LAJ4-177・178 改 &JL-025

L-15　イモの意味

このあたりで普通「いも」と言ったら，どの芋（〔じゃがいも〕〔さつまいも〕〔さといも〕）のことを言いますか。芋が食べたいと言ったらどの芋のことですか。※「いも」の部分は「いも」に音韻対応する語形で尋ねる。#LAJ4-179 &JL-027 改

①〔じゃがいも〕　②〔さつまいも〕　③〔さといも〕
④その他

L-16　ひがんばな（彼岸花）

a.（絵）秋に真っ赤な色で咲くこのような植物を何と言いますか。&JL-019 改

b.〔ひがんばな〕の語源について何かご存じですか。※a. で得られた名称についての語源を求める。&JL-019

準 L-17　うるち（粳米）

米のうち，ふだんの食事用のものを，もちや赤飯用にするものと区別して，何と言いますか。#LAJ4-168 &JL-030

準 L-18　ひきにく（挽肉）

肉を細かくしたもので，ハンバーグなどの材料にするものを何と言いますか。※牛肉・豚肉・鶏肉など肉の種類で区別がある場合は注記するとともに，総称も尋ねて注記を付ける。&JL-035

L-19　ニクの意味

このあたりで普通ニクと言ったら，どの肉のことを言いますか。※豚，牛，鶏，馬，兎，熊，猪，羊，山羊，雉子，魚，犬などが考えられる。

①豚肉　②牛肉　③鶏肉　④その他

L-20　うろこ（鱗）

（絵）魚の皮の上に並んでいるすきとおった薄い爪のようなもの，これを何と言いますか。#LAJ5-217 &JL-013

L-21　かにのこうら（蟹の甲羅）

（絵）蟹（かに）の甲羅（こうら）のことを何と言いますか。※「蟹の」にあたる部分が回答された場合，それも含めて記録する。&JL-014 改

L-22　かきのへた（柿の蔕）

（絵）果物の柿のへたの部分を何と言いますか。※語形が「柿のへた」を意味するのか，「（一般称としての）へた」を意味するのか確認する。※「柿の」にあたる部分が前接する場合，それも含めて記録する。&JL-022 改

L-23　〈茄子や苺の〉へた（蔕）

（絵）茄子（なす）や苺（いちご）のへたの部分を何と言いますか。※一般名称としての「へた」を表す語を求める。※茄子や苺のへたを個別に特定する語が回答された場合は，注記する。

続けて，人の身体の呼び方を教えてください。

L-24　かさぶた（瘡蓋）

すりむくなどのけがをした後に血が固まったものを何と言いますか。&JL-048

準L-25　あざ（痣）：内出血

身体をどこかにぶつけたときなどに，そこが青黒くなって，しばらく跡が残ることがあります。そういうふうに色の変わった所のことを何と言いますか。※身体上の場所の名称を尋ねる。※「～になる」「～する」など動詞形しかない場合はその語形を記録し，「動詞形のみ」のように注記を付ける。#LAJ2-80 改 &JL-045

準L-26　ものもらい

a.（絵）まぶたのへりにぷつっとできる小さなできものです。何と言いますか。うみを持って赤くはれると，むずむずしてかゆいのですが，間もなく直ります。※類似のできもの・眼病とまちがえないよう注意。#LAJ3-112 &JL-038-a

b.〔ものもらい〕はどうすれば治ると言いましたか。おまじないや言い伝えなどがあれば教えてください。※物をもらってきて食べる・患部を縛るまねをする等。&JL-038-b

道具や家の中の場所の呼び方などについて教えてください。

L-27　じょうぎ（定規）

（絵）このような長さをはかる道具を何と言いますか。竹やプラスチックでできたかたいものです。※材質で名称が異なる場合などは注記する。&JL-075 改

L-28　こくばんふき（黒板拭き）

（絵）学校や公民館にあるもので，黒板にチョークで書いた字を消すのに使うこのような道具を何と言いますか。&JL-076 改

L-29　ほん（本）

（絵）読むもので，書店で買ったり，図書館で借りたりします。

L-30　ぐらぐらする：オノマトペ・用言化接辞

机が不安定に揺れる状態を地方によって，グラグラメグ・グラグラッテダ・グラグラユーなど，いろいろに言い表します。この土地では何と言いますか。※オノマトペ部分は「グラグラ」以外でも可。※用言形成接辞もあわせて報告する。※卑罵表現形式であることが明らかなことが確認された場合は注記する。

L-31　〈水が〉こおる（凍る）

水が氷になることを地方によって，「水がシバレル・シミル・コゴル」など，いろいろに言い表します。この土地では何と言いますか。#LAJ2-96 改

L-32　とてもさむい（とても寒い）

「とても寒い」ことをシバレルと言いますか，それとも別の言い方をしますか。※「とても・寒い」のように連語で表す場合は，全体を記録する。

準L-33　つらら（氷柱）

(絵)冬のことですが，軒先などにさがる氷の棒です。これを何と言いますか。#LAJ6-262 &JL-072

L-34　ぼうふう（暴風）

強い風が吹きひどい雨が降る荒れた天気のことを，何と言いますか。※「暴風雨」にあたる語形を求める。※「台風」にあたる語形が得られたら，それも記録し注記する。

準L-35　じしん（地震）

地面が急にぐらぐらっと揺れて，ひどいときには大木や家が倒れたりすることがあります。その地面の揺れること，それを何と言いますか。#LAJ6-263 &JL-120

L-36　いろり（囲炉裏）

a.（絵）家の中にあって，火をたくこのような場所を何と言いますか。&JL-068-a 改

b.〔いろり〕を使った生活の経験はありますか。※「今もある」「いつ頃まで使った」などの情報が得られた場合は注記する。&JL-068-c 改

①ある　　②ない

次に，親族などの言い方を教えてください。

L-37　ちょうなん（長男）

男のきょうだいの一番年上の人のことを何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。※「一郎ニーサン」のように固有名詞を伴った回答においては，そのまま記録した上で固有名詞の部分を「○○」に替え，「○○ニーサン」として報告する。&JL-079 改

L-38　じなんいか（次男以下）

男のきょうだいの二番目から下の人のことをまとめて何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。※次男・三男など特定のきょうだいが回答された場合は注記を付けた上で，総称を求めてその回答にも注記を付ける。&JL-080 改

L-39　ちょうじょ（長女）

女のきょうだいの一番年上の人のことを何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。※「花子ネーサン」のように固有名詞を伴った回答においては，そのまま記録した上で固有名詞の部分を「○○」に替え，「○○ネーサン」として報告する。&JL-081 改

L-40　じじょいか（次女以下）

女のきょうだいの二番目から下の人をまとめて何と言いますか。※呼称ではなく，親族名称を尋ねる。※次女・三女など特定のきょうだいが回答された場合は注記を付けた上で，総称を求めてその回答にも注記を付ける。&JL-082 改

準L-41　ほんけ（本家）

例えば，「○○：話者の名字」家の一番中心になる血筋の家のことを何と言いますか。&JL-083

準L-42　ぶんけ（分家）

〔本家〕から分かれた家のことを何と言いますか。&JL-084-a

続けて，動作の言い方を教えてください。

L-43　〈靴下を〉きる・はく・かぶる・はめる

靴下を身につけることを，靴下をどうすると言いますか。&JL-052-b

L-44　〈靴を〉きる・はく・かぶる・はめる

靴を身につけることを，靴をどうすると言いますか。&JL-052-a

L-45　〈手袋を〉きる・はく・かぶる・はめる

手袋や軍手を身につけることを，手袋や軍手をどうすると言いますか。&JL-054

L-46　〈帽子を〉きる・はく・かぶる・はめる

帽子を身につけることを，帽子をどうすると言いますか。&JL-053

L-47　〈布団を〉きる・はく・かぶる・はめる

「風邪を引くからちゃんと布団を着て寝ろよ」のように「布団を着る」という言い方をする地方があるようです。この土地では何と言いますか。

L-48　〈材木を〉かつぐ（担ぐ）

（絵）こうすることは，どうすると言いますか。※材木を～。#LAJ2-66 &JL-058

L-49　〈天秤棒を〉かつぐ（担ぐ）

（絵）これはどうすると言いますか。※てんびん棒を～。#LAJ2-67 &JL-059

L-50　〈二人で〉かつぐ（担ぐ）

（絵）これは，どうすると言いますか。※二人で～。#LAJ2-68 改 &JL-060 改

L-51　〈二人で〉はこぶ（運ぶ）

（絵）掃除のために教室などを片付けるときに，二人で机の両側を持ち上げて運ぶことを，机をどうすると言いますか。※二人で～。&JL-061 改

L-52　いく・くる（行く・来る）

待ち合わせをしていた友達から電話がかかってきたとき，その友達に「今すぐ行くから，ちょっと待っていてくれ」と言う場合，「今すぐ行く」と言いますか，「今すぐ来る」と言いますか。それとも別の言い方をしますか。&JL-064 改

L-53　うる（売る）

商店でお店の人が品物を販売することをどうすると言いますか。例えば，「八百屋が野菜をどうする」「果物屋がりんごを1個100円でどうする」と言いますか。

L-54　かう（買う）

商店で客が品物を購入することをどうすると言いますか。例えば，「八百屋で客が野菜をどうする」「果物屋で客がりんごを1個100円でどうする」と言いますか。

L-55　おしえる（教える）

知らないことやできないことを指導することを何と言いますか。例えば，「大人が子供に字の書き方を教える」「先生が生徒に算数を教える」といった場合です。※「教える」を翻訳式で引き出す。※「教えてやる」の形は採らない。

次は，味などの表し方を教えてください。

L-56　しおからい（塩辛い）

塩の味はどんなだと言いますか。薬は「苦い」などと言いますが，そんな言い方で言うと塩は……。#LAJ1-39 &JL-095

L-57　〈塩味が〉うすい

しるやつゆなどを作ったとき塩の味の足りないのを言うのに，しるやつゆの味がどんなだと言いますか。#LAJ1-38 改 &JL-100 改

L-58　あまい（甘い）

砂糖の味はどんなだと言いますか。#LAJ1-37 &JL-099

L-59　おいしい（美味しい）

味の良い食べ物を食べて，「ああオイシイ」と言いますか。「ああウマイ」と言いますか。それとも別の言い方をしますか。#LAJ6-291 &JL-101

L-60　〈味が〉まずい

それでは〔美味しい〕の反対は何と言いますか。&JL-102

L-61　におい（芳香）

梅の花のそばに寄るとぷうんと何か鼻に感じます。この鼻に感じるものを，梅の花の何と言いますか。#LAJ6-268

L-62　におい（悪臭）

髪の毛が火の中にはいって焦げると，やはりぷうんと鼻に感じます。感じるもののことを，髪の毛の焦げる何と言いますか。#LAJ6-269

L-63　においをかぐ（匂いを嗅ぐ）

物のにおいを知ろうとして鼻で（くんくんかぐまねをする）こういうふうにすることをにおいをどうすると言いますか。※「においを～（動詞）」に当たる語形を引き出す。※単語（「においを嗅ぐ」を一語で表す）の場合も連語（「においを」「嗅ぐ」の二語で表す）の場合もあるので注意する。#LAJ2-85・86 改

続けて，気持ちなどを表す場合の言い方について教えてください。

L-64　うつくしい（美しい）

虹を見て「ああキレイダ」と言いますか，「ああウツクシイ」と言いますか，それとも別の言い方をしますか。#LAJ1-47 改

L-65　おそろしい（恐ろしい）

大きな犬が何匹もほえかかって，いまにもかみつきそうになる。そんなときの感じをどんなだと言いますか。地方によって，オソロシー・コワイ・オッカナイなどさまざまな言い方があります。#LAJ1-42 改 &JL-085 改

L-66　おもしろい（面白い）

あの人の話は面白いと言うとき，「面白い」のところを何と言いますか。&JL-087-b 改

L-67　とても〈面白い〉

あの人の話はとても面白いと言うとき,「とても」のところを何と言いますか。&JL-087-a

L-68　おもしろくない（面白くない）

あの人の話は面白くないと言うとき，「面白くない」のところを何と言いますか。&JL-088-b 改

L-69　ぜんぜん〈面白くない〉

あの人の話はぜんぜん面白くないと言うとき,「ぜんぜん」のところを何と言いますか。&JL-088-a 改

次は，日にちの言い方や順番などについて教えてください。

準L-70　おととい（一昨日）

きのうの前の日のことは何と言いますか。#LAJ6-276 改 &JL-111

準L-71　さきおととい（一昨昨日）

〔おととい〕の前の日のことは何と言いますか。#LAJ6-275 改 &JL-112

準L-72　しあさって（３日後）

あさっての次の日のことは何と言いますか。#LAJ6-285 改 &JL-113

準L-73　やのあさって（４日後）

〔しあさって〕の次の日のことは何と言いますか。#LAJ6-286 改 &JL-114

L-74　おおみそか（大晦日）

一年のいちばん終りの 12 月 31 日のことを何と言いますか。

習わしや自然との関係などについて，教えてください。

L-75　ゆい（結，労働交換）

田植えなどで忙しいとき，お互いに労力を貸したり借りたりします。こうすることを何と言いますか。※田植えなどの農作業以外の場合（例えば，屋根葺き作業）が回答された際も記録し，どのような場合に用いるかを注記する。

準L-76　ぶり（鰤）

（絵）この魚はブリ（鰤）です。出世魚と呼ばれ，大きくなるにつれて名前が変わると言われますが，どんな名前で呼んでいますか。※下のメモ欄に一旦記入した上で整理し，幼魚を左側，成魚を右側に配列し，「○段階：×××・△△△・□□□」のように段階数とともに記録・報告する。※段階順が不明な場合は「××・△△」のように名称のみ列挙し，〈段階不明〉と注記を付ける。&JL-015 改

幼魚←――――――――――――　　――――――――――――→成魚

――――――――――――――――下にメモをとり，整理して上に記入――――――――――――――――――――――――

準L-77　かっぱ（河童）

川や池に住むと言われる架空の生き物で，水の中に人を引き込むといった昔話に出てくるものを何と言いますか。&JL-110-a

L-78　かみ・ほとけ（神・仏）：児童語

孫など幼い子供に対して，神様や仏様のことを言う場合，何と言いますか。例えば，「神様に水をあげろ」「仏様に手を合わせろ」などと言う場合です。※「神」「仏」を区別するなどの情報は注記に記載する。&JL-109 改

L-79　すわる（座る）：育児語

孫など幼い子どもに対して，椅子やベンチに腰掛けるように言う場合，何と言いますか。

《文法項目》

【調査を始める前に】

※待遇表現項目などで場面が設定されているものを除き，話者自身がくつろいだときや，ごく親しい人と話すときに使う，土地のことばについての調査である。したがって，今は使わない昔の人のことばや，話者自身が使わない他の人のことばなどは，そのむね注記を付けて記録すること。

※質問文に下線が付されている場合，報告するのは下線の部分に該当する箇所のみである。

これからさまざまな言い回しについておうかがいします。○○（話者の名前）さんが，自分自身で，地元の親しい友達と話すときの言い方を教えて下さい。

※録音をとる場合，備忘録のためであるむね，ひとこと断りを入れること。

※動作主体が明示されていない項目においては，動作主体は話者自身として扱う。

活用（動詞・否定形）

準 G-001 起きない

「８時になってもまだ 起きない 」と言うときの「起きない」のところは，地方によってオキネー・オキン・オキランなど，いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。#GAJ2-72 &JG-003

G-002 来ない

「10 時になってもまだ 来ない（こない） 」と言うときの「来ない（こない）」はどうですか。#GAJ2-83 &JG-033-b 改

G-003 しない

「今日は仕事を しない 」と言うときの「しない」はどうですか。※「ヤル」を使った形は採らない。#GAJ2-84 改 &JG-037 改

準 G-004 行かなかった

「きのうは役場に 行かなかった 」と言うとき，「行かなかった」のところをどのように言いますか。#GAJ4-151 &JG-062

活用（動詞・過去形）

準 G-005 出した

「きのう手紙を 出した 」と言うときの「出した」のところは，地方によって，ダシタ・ダイタなど，いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。#GAJ2-92 &JG-027

準 G-006 買った

「１個 100 円のりんごを 買った 」と言うときの「買った」はどうですか。#GAJ2-105 &JG-031

G-007 貸した

「金を人に 貸した 」と言うときの「貸した」はどうですか。#GAJ2-98

G-008 飲んだ

「酒を 飲んだ 」と言うときの「飲んだ」はどうですか。#GAJ2-103 &JG-030-b 改

活用（動詞・終止形）

準 G-009 起きる

「朝早く 起きる 」と言うときの「起きる」のところは，地方によって，オキル・オクルなど，いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。#GAJ2-61 &JG-001

G-010 任せる

「仕事を他人に まかせる 」と言うときの「まかせる」はどうですか。#GAJ2-65

準 G-011　する

「一日中仕事を <u>する</u> 」と言うときの「する」はどうですか。※「ヤル」を使った形は採らない。#GAJ2-70 &JG-036

準 G-012　死ぬ

「蝉（せみ）は 10 日で <u>死ぬ</u> 」と言うときの「死ぬ」はどうですか。#GAJ2-68 &JG-040

活用（動詞・命令形，禁止形）

G-013　起きろ

「ぐずぐずしないで早く <u>起きろ</u> 」と言うときの「起きろ」のところは，地方によって，オキロ・オキレ・オキヨなど，いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。※命令形につく終助詞も含めて記録する。#GAJ2-85 改 &JG-006 改

G-014　しろ

「ぐずぐずしないで早く <u>しろ</u> 」と言うときの「しろ」はどうですか。※命令形につく終助詞も含めて記録する。※「ヤル」を使った形は採らない。#GAJ2-91 改 &JG-039 改

G-015　行くな

「そっちへ <u>行くな</u> 」と言うとき，どのように言いますか。※禁止形につく終助詞も含めて記録する。#GAJ5-221・222・223・224 改

活用（動詞・意志形）

G-016　起きよう

自分自身で「あしたは早く <u>起きよう</u> 」とつぶやくときの「起きよう」のところはどのように言いますか。#GAJ3-106 &JG-137

活用（形容詞）

準 G-017　高くない

「この品物の値段はあまり <u>高くない</u> 」と言うときの「高くない」はどうですか。#GAJ3-137 &JG-060

準 G-018　高くなる

「物の値段がだんだん <u>高くなる</u> 」と言うときの「高くなる」はどうですか。#GAJ3-139 &JG-043

G-019　高く

「値段を <u>高くつりあげる</u> 」と言うときの「高くつりあげる」のところはどのように言いますか。&JG-045 改

準 G-020　高かった

「この着物は <u>高かった</u> 」と言うときの「高かった」はどうですか。#GAJ3-141 &JG-046

活用（名詞述語・断定辞）

G-021　先生だ

「あの人は 先生だ 」と言うとき，「先生だ」のところをどのように言いますか。※断定の助動詞をともなわない「先生＋終助詞」（例：先生バイ）という回答も断定表現であれば記録する。※推量表現は採らない。※「先生」は「教師」の意。&JG-126 改

G-022　先生ではない

「あの人は 先生ではない 」と言うときの「先生ではない」はどうですか。※「先生」は「教師」の意。&JG-050 改

G-023　先生だった

「あの人は昔， 先生だった 」と言うとき，「先生だった」のところをどのように言いますか。※「先生」は「教師」の意。&JG-127 改

形式名詞・準体助詞

G-024　やつ（形式名詞）

「もっと 大きいのがほしい 」ということを「もっと大きいヤツがほしい」のように言う地方があるようです。この土地ではどのように言いますか。

G-025　やつ（形式名詞）：場面差

あらたまった場面でややていねいに話すときでも「もっと 大きいのがほしい 」ということを「もっと大きいヤツがほしい」のように言う地方があるようです。この土地ではどのように言いますか。

再び親しい友達と話すときの言い方に戻ります。

G-026　おれのだ

「これは おれのだ 」と言うときの「おれのだ」のところは，地方によって，オレノヤツダ・オレノブンダ・オレノガダ・オレノトジャなどいろいろな言い方をします。この土地ではどのように言いますか。#GAJ6-341 改 &JG-068 改

G-027　いるのは

「あそこに いるのは 誰か」と言うときの「いるのは」のところをどのように言いますか。#GAJ1-16 改 &JG-083-b 改

G-028　行くんだ

「そんなに大きな荷物を持ってどうしたの？」と聞かれて，「実は今から旅行に 行くんだ 」と答えるとき，「行くんだ」のところをどのように言いますか。※ノダ相当形式を求める。

G-029　そうなんだ

友人に「きのう，鈴木さんが退院したんだって」と言われ，初めてそのことを聞いたとき，地方によって，「へー， ソーナンダ 」「へー，ソーナンヤ」「へー，ソーナンジャ」など，いろいろな言い方で返事をします。この土地ではどのように言いますか。※

「の＋断定辞」の形式が用いられるかどうかを確認する。※「そうなんか」「そうなの」のような「の＋断定辞」の構成になっていない形式が回答された場合は，あらためて「の＋断定辞」の形式を確認する。

格助詞

G-030　へ：東の方へ〈行け〉

友達から「どちらの方角に行ったら良いか」と聞かれて，「 東の方へ 行け」と教えるときにはどのように言いますか。※[～の方へ]の形を求める。#GAJ1-19 &JG-078-a

G-031　に：見に〈行った〉

「きのう，花火を 見に行った 」と言うときの「見に行った」のところはどのように言いますか。#GAJ1-21 改 &JG-080-a 改

G-032　に：東京に〈着いた〉

「やっと 東京に 着いた」と言うときにはどのように言いますか。#GAJ1-20 &JG-081-a

G-033　に：ここに〈有る〉

「本は ここに 有る」と言うときの「ここに有る」のところはどのように言いますか。#GAJ1-24 &JG-083-a 改

G-034　に：犬に〈追いかけられた〉

「 犬に 追いかけられた」と言うときにはどのように言いますか。#GAJ1-27 &JG-088-a

引用表現・伝聞表現

準 G-035　と：来ると言っていた

「「また 来る」と言っていた 」と言うときの「来ると言っていた」のところはどのように言いますか。&JG-090

準 G-036　と：田中という人

「きのう， 田中という人 が来た」と言うときの「田中という人」のところはどのように言いますか。#GAJ1-32 &JG-089

G-037　と：行こうと思っている

「おれは東京に 行こうと思っている 」と言うとき，「行こうと思っている」のところをどのように言いますか。#GAJ5-232

G-038　雨だそうだ

「天気予報ではあしたは 雨だそうだ 」と言うとき，「雨だそうだ」のところをどのように言いますか。#GAJ5-243

副助詞

準 G-039　ばかり：雨ばかり〈降っている〉（限定）

「毎日 雨ばかり 降っている」と言うときの「雨ばかり」のところはどのように言いますか。#GAJ1-49 &JG-091

G-040　しか：百円しか〈ない〉

「百円しか ない」と言うときにはどのように言いますか。#GAJ1-51 &JG-093-a 改

準 G-041　ごと：皮ごと〈食べた〉（対象の包括化）

「みかんを 皮ごと 食べた」と言うときの「皮ごと食べた」のところはどのように言いますか。#GAJ1-53 &JG-092

準 G-042　だけ：皮だけ〈食べた〉（対象の限定）

「まんじゅうを 皮だけ 食べた」と言うときの「皮だけ食べた」のところはどのように言いますか。#GAJ1-47 &JG-095

条件表現

準 G-043　降っているから

「雨が 降っているから 行くのはやめろ」と言うときの「雨が降っているから」のところはどのように言いますか。#GAJ1-33 改 &JG-098

G-044　寒くては〈仕事にならない〉

「こんなに 寒くては，仕事にならない。」と言うとき，「寒くては」のところはどのように言いますか。

準 G-045　降れば〈出ないだろう〉

「あした雨が 降れば 船は出ないだろう」と言うとき，「雨が降れば」のところをどのように言いますか。#GAJ4-167 &JG-108

準 G-046　起きれば〈良かった〉

「もっと早く 起きれば 良かった」と言うときの「起きれば」のところはどのように言いますか。#GAJ3-126 &JG-005

G-047　書けば〈間に合った〉

「きのう手紙を 書けば 間に合ったのに」と言うときの「書けば」はどうですか。#GAJ3-128 改 &JG-022 改

準 G-048　行くと〈だめになりそうだ〉

「おまえが 行くと その話はだめになりそうだ」と言うとき，「お前が行くと」のところをどのように言いますか。#GAJ4-169 &JG-103

準 G-049　行ったら〈電話しろ〉

「そこに 行ったら 電話しろ」と言うとき，「そこに行ったら」のところをどのように言いますか。&JG-104

準 G-050　行ったら〈終わっていた〉

「そこに 行ったら もう会は終わっていた」と言うとき，「そこに行ったら」のところをどのように言いますか。#GAJ4-170 &JG-102

準 G-051　書くなら〈きれいに書いてくれ〉

「手紙を 書くなら ，字をきれいに書いてくれ」と言うときの「書くなら」はどうですか。#GAJ3-133 &JG-105

G-052　出したなら〈そろそろ届くはずだ〉

「二日（ふつか）前に手紙を出した」と聞いて，「二日前に 出したなら ，そろそろ届くはずだなあ」と言うとき，「出したなら」のところをどのように言いますか。

G-053　あの先生なら〈知っているはずだ〉

「あの 先生なら 知っているはずだ」と言うとき，「あの先生なら」のところをどのように言いますか。※「先生」は「教師」の意。

準 G-054　高いなら〈買わない〉

「そんなに値段が 高いなら 買わない」と言うときの「高いなら」はどうですか。#GAJ3-144 &JG-107

アスペクト・テンス

G-055　走っている（継続相）

（絵）運動会で人が走っているのを見て，ハシリヨル・ハシットル・ ハシッテイル ・ハシッテタなど，地方によりさまざまに言い表すようです。この土地ではどのように言いますか。※「走る」の継続相の形を求める。&JG-109 改

G-056　走っていた（継続相・過去）

徒競走が終わって，今はもう，誰も走っていないとします。「さっきまで 走っていた 」と言うときは，どのように言いますか。

G-057　走った（過去）

では，友達に「きのう，私は運動会で 走った 」と言うとき，どのように言いますか。

準 G-058　散っている（継続相）

（絵）桜の花が，今，散っている最中だとします。それを見て，「今，花が チッテイル 」と言いますか，「チリヨル」と言いますか，それとも別の言い方をしますか。※「散る」の継続相の形を求める。#GAJ4-198 &JG-110

G-059　散っている（結果相）

（絵）前の晩に雨が降って桜の花がすっかり散ってしまったとします。地面に落ちている花びらを見て，「花が チッテイル 」と言いますか，「チットル」と言いますか，それとも別の言い方をしますか。※「散る」の結果相の形を求める。#GAJ4-199

G-060　（もう少しで）落ちるところだった（将然相・回想）

（絵）あなたは崖から足を滑らせてもう少しで落ちそうになりました。家に帰って，「もう少しで 落ちるところだった 」と言うとき，どのように言いますか。#GAJ4-204

準 G-061　読んでしまった（完了）

「その本はもう 読んでしまった 」と言うとき，「読んでしまった」のところをどのように言いますか。#GAJ4-205 &JG-111

G-062　〈まだ〉食べない・食べていない（未実現相）

「昼ご飯はもう食べたか？」と聞かれ，まだの場合，どのように言いますか。地方により，「まだ 食べナイ 」「まだ 食べテイナイ 」「まだ食べナイデイル」「まだ食べナカッタ」など，いろいろな言い方をします。この土地ではどのように言いますか。

G-063　もう〈食べたの〉

お皿が空になっているのを見て驚いて，「 もう 食べたの？」と言うとき，どのように言いますか。※「もう」の部分を調べる。予想より早いときの発話。

準 G-064　食べかける（始動初期）

仲の良い友達三人で一緒に食事をしようとして，ちょうど料理が運ばれてきました。そのとき，そのうちの一人に急な用事ができましたが，すぐに戻れそうです。自分たちは先に食べることを始めると伝えるとき，どう言いますか。&JG-112-a 改

準 G-065　食べかけている（始動遂行）

仲の良い友達三人で一緒に食事をしようとして，ちょうど料理が運ばれてきました。そのとき，そのうちの一人に急な用事ができましたが，なかなか戻れそうにもないようです。自分たちは先に食べることを始めると伝えるとき，どう言いますか。&JG-112-b 改

G-066　〈あそこに人が〉いる（存在動詞・非過去・眼前）

遠くのほうにいる人物を指し示しながら「ほら，あそこに人が いる 」と言うとき，「人がいる」のところをどのように言いますか。※友達と一緒に，同じ人物を目視しながら発話する場合。※「人が＋存在動詞（イル・オル・アル）」が出ないときは，予想語形で確認する。#LAJ2-53 改

G-067　〈近所に物知りのおじいさんが〉いる（存在動詞・非過去・非眼前）

「近所に物知りのおじいさんが いる 」と教えるとき，どのように言いますか。そのおじいさんは，現在も元気で活躍中です。#LAJ2-53 改

G-068　〈近所に物知りのおじいさんが〉いた（存在動詞・過去）

すでに亡くなった人のことを，「昔，物知りのおじいさんが いた 」と伝えるとき，どのように言いますか。#LAJ2-53 改，GAJ4-190・191 改

準 G-069　いるか（存在動詞・非過去・挨拶）

親しい友達の家を尋ねて，入口で「○○さん， いるか 」と言うとき，どのように言いますか。#GAJ4-197 &JG-113

G-070　いた（存在動詞・過去・体験）

友達から別の友達のことを尋ねられて「あいつは，さっきまで確かにここに いた 」と言うとき，「ここにいた」のところをどのように言いますか。#GAJ4-196 改 &JG-114 改

準 G-071　行ったなあ（過去・共有体験）

昔，友達と祭りに行ったことをなつかしく思い出しながら，その友達に「昔，二人で祭りに 行ったなあ 」と言うとき，「行ったなあ」のところをどのように言いますか。※「行く」を使った形を求める。#GAJ4-188 改 &JG-115-a

準 G-072　強かった（形容詞）

昔の相撲大会のことを思い出しながら，友達に「あのとき，あいつは 強かった 」と言うとき，「強かった」のところをどのように言いますか。※「強い」を使った形を求める。#GAJ4-194 改 &JG-116-a

可能表現

準 G-073　読むことができない（能力可能）

「うちの孫はまだ小さくて字を知らないので本を 読むことができない 」と言うとき，「読むことができない」のところをどのように言いますか。※「能力可能」の表現を求める。#GAJ4-182 &JG-118

準 G-074　読むことができる（能力可能）

「うちの孫は字をおぼえたのでもう本を 読むことができる 」と言うとき，「読むことができる」のところをどのように言いますか。※「能力可能」の表現を求める。#GAJ4-173 &JG-119

準 G-075　読むことができない（状況可能）

「電灯が暗いので新聞を 読むことができない 」と言うとき，「読むことができない」のところをどのように言いますか。※「状況可能」の表現を求める。#GAJ4-183 &JG-120

G-076　読むことができる（状況可能）

a.「電灯が明るいので新聞を 読むことができる 」と言うとき，「読むことができる」のところをどのように言いますか。※「状況可能」の表現を求める。#GAJ4-174 &JG-121

b.（a. でヨメレルが回答されている場合は質問しない。）地方により ヨメレル と言うところもあるようです。この土地ではヨメレルのように言うことはありますか。言う場合は，どのように言いますか。

①a. で回答されたので質問しなかった。　②言わない。　③回答語形

G-077　着ることができない（能力可能）

「うちの孫はまだ一人では服を 着ることができない 」と言うとき，「着ることができない」のところをどのように言いますか。※「能力可能」の表現を求める。#GAJ4-184 改 &JG-122 改

G-078　着ることができる（能力可能）

「うちの孫はもう一人で服を 着ることができる 」と言うとき，「着ることができる」のところはどのように言いますか。※「能力可能」の表現を求める。#GAJ4-175 改 &JG-123 改

G-079　着ることができない（状況可能）

「この服は古くなったのでもう 着ることができない 」と言うとき，「着ることができない」のところをどのように言いますか。※「状況可能」の表現を求める。#GAJ4-185 改 &JG-124 改

G-080　着ることができる（状況可能）

a.「この服は古くなったけれどもまだ 着ることができる 」と言うとき，「着ることができる」のところをどのように言いますか。※「状況可能」の表現を求める。#GAJ4-176 改 &JG-125 改

b.（a. でキレレルが回答されている場合は質問しない。）地方により キレレル と言うところもあるようです。この土地ではキレレルのように言うことはありますか。言う場合は，どのように言いますか。

①a. で回答されたので質問しなかった。　②言わない。　③回答語形

G-081　読みきれなかった（完遂）

本を一冊，一日だけ，友達から借りたのですが，全部読むことができませんでした。後で，友達に読むことができなかったことを伝えるとき，「一日では全部，ヨミアゲナカッタ・ヨミタテラレナカッタ・ヨミダサンカッタ」などの言い方をする地方があります。この土地ではどのように言いますか。※完遂系可能の形式を求める。

推量表現・確認要求表現

G-082　先生だろう

「あの人はたぶん 先生だろう 」と言うとき，「先生だろう」のところをどのように言いますか。※否定疑問形式による推量は採らない。※「先生」は「教師」の意。#GAJ5-240 改 &JG-128 改

G-083　行くだろう

友達から「あの人は今日役場に行くだろうか」と聞かれ，迷いながら「たぶん 行くだろう 」と答えるとき，「行くだろう」のところをどのように言いますか。※「役場」は「市役所」「公民館」等でもよい。#GAJ5-237 改 &JG-129 改

G-084　行くのだろう

役場への道を歩いている人を見て，友達から「あの人はどこへ行くのだろうか」と聞かれ，「役場に 行くのだろう 」と答えるとき，「行くのだろう」のところはどのように言いますか。※「役場」は「市役所」「公民館」等でもよい。#GAJ5-238 改 &JG-130 改

G-085　行っただろう

友達から「あの人はきのう役場に行っただろうか」と聞かれ，「 行っただろう 」と答えるとき，どのように言いますか。※「役場」は「市役所」「公民館」等でもよい。#GAJ5-239 &JG-131 改

G-086　行ったのだろう

役場の封筒を持って歩いている人を見て，友達から「あの人はどこへ行ったのだろうか」と聞かれ「役場に 行ったのだろう 」と答えるとき，「行ったのだろう」のところはどのように言いますか。※「役場」は「市役所」「公民館」等でもよい。#GAJ<169>改 &JG-132 改

G-087　行かないだろう

友達から「あの人は今日役場に行くだろうか」と聞かれ，迷いながら「たぶん 行かないだろう 」と答えるとき，「行かないだろう」のところをどのように言いますか。※「役場」は「市役所」「公民館」等でもよい。#GAJ<166>改

準 G-088　あるじゃないか

眼鏡をさがしている友達に「眼鏡ならそこに あるじゃないか 」と言うとき「あるじゃないか」のところをどのように言いますか。&JG-133

準 G-089　あるんじゃないか

具合が悪そうな友達に「もしかして熱でも あるんじゃないか 」と聞くとき「あるんじゃないか」のところをどのように言いますか。#GAJ1-17 改 &JG-134

意志表現・勧誘表現

G-090　行こう（意志・独話）

買物にいかなければならないことを，思い出しました。時間的にも間に合いそうです。そうしよう，という気持ちで，「さあ，買物に 行こう 」とつぶやくとき，どう言いますか。#GAJ3-109 改 &JG-136 改

G-091　行こう（意志・対話）

友達から旅行に行くよう促されて，だんだん行く気になってきました。そこで話し相手に対して「それじゃ， 行こう 」などのように，自分が行くつもりになっていることを伝えるとき，どのように言いますか。※「旅行」は「買物」「散歩」等でもよい。

G-092　行こうよ

友達を旅行に誘ったのですが友だちは迷っています。「いっしょに 行こうよ 」と誘うとき，どのように言いますか。※「旅行」は「買物」「散歩」等でもよい。#GAJ5-235 改

準 G-093　行くまい（否定的意志）

「もうそんなところへなんか，けっして 行くまい 」と心に決めるとき，「行くまい」のところをどのように言いますか。※「イカナイ」などでも可。#GAJ5-234 &JG-138

禁止表現

G-094　行ってはいけない

孫にむかって，「あの池のそばには 行ってはいけない 」と言うとき，どのように言いますか。#GAJ5-225 改

義務表現・希望表現

準 G-095　行かなければならない

親しい友達にむかって，「おれはあした役場に 行かなければならない 」と言うとき，「行かなければならない」のところをどのように言いますか。#GAJ5-206・207・208 &JG-135

準 G-096　行ってもらいたい

「あの人には，是非，いっしょに 行ってもらいたい 」と言うとき，「行ってもらいたい」のところをどのように言いますか。#GAJ5-231 &JG-140

授受表現

準 G-097　やる

「孫に本を やる 」と言うときの「やる」のところはどのように言いますか。#LAJ2-73 改 &JG-141-b 改

準 G-098　読んでやる

「孫に本を 読んでやる 」と言うときの「読んでやる」のところはどのように言いますか。&JG-143

G-099　読んでくれる

「孫が私に本を 読んでくれる 」と言うときの「読んでくれる」のところはどのように言いますか。

G-100　読んでもらう

「孫に本を 読んでもらう 」と言うときの「読んでもらう」のところはどのように言いますか。

ヴォイス

G-101　殴る・殴られる

（絵）（場面Ａのイラストを見せて）この場面の出来事を，他の人に伝えるとすれば，どのように言いますか。人物名を織り込んで，ひとつの文で表現してください。

G-102　噛む・噛まれる

（絵）（場面Ｂのイラストを見せて）それではこの場面の出来事を，他の人に伝えるとすれば，どのように言いますか。人物名を織り込んで，ひとつの文で表現してください。

G-103　つい座ってしまう（自発）

「疲れているときは，椅子があると，座ろうと思っていなくても， つい座ってしまう 」と言うとき，「椅子があると，ついスワラサル・スワラル」などの言い方をする地方があります。この土地ではどのように言いますか。※スワッチャウ，スワッテマウなど他の形式が回答された場合も記録する。※意志によらない動作であることを表す表現であるため，無意志の副詞「つい／ついつい」の類と共起した場合その部分も記録し，共起しなかった場合は（副詞なし）のように注記する。※非過去の形式をできるだけ記録す

るが，スワラサッタ（スワラサルの過去形式）などが回答され，非過去の形式が得られない場合も回答された過去形式を記録し，その旨を注記する。※動詞は「座る」に直接対応しない「（椅子に）腰掛ける」等でもよい。

待遇表現

G-104　持ちましょう：土地の目上に

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「その荷物は，私が 持ちましょう 」と言うとき，「持ちましょう」のところをどのように言いますか。#GAJ6-320

準 G-105　〈自分が〉来る：土地の目上に

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「自分は，あしたもここに 来る 」と言うとき，「ここに来る」のところはどのように言いますか。#GAJ6-312 &JG-151

準 G-106　〈聞き手が〉来るか：土地の目上に

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「あしたもここに 来るか 」と聞くとき，「ここに来るか」のところをどのように言いますか。#GAJ6-278・279 &JG-161

準 G-107　来い：土地の目上に

この土地の目上の人にむかって，ひじょうにていねいに「こちらの方へ 来い 」と言うとき，「来い」のところをどのように言いますか。#GAJ6-300・301・302 &JG-167

準 G-108　〈先生が〉来る：近所の知り合いの人に

近所の知り合いの人にむかって，ややていねいに「もうすぐ先生が 来る 」と言うとき，「先生が来る」のところをどのように言いますか。※「先生」は「教師」の意。&JG-169

準 G-109　〈先生が〉来る：父親に

自分の父親にむかって，「もうすぐ先生が 来る 」と言うとき，「先生が来る」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。※「先生」は「教師」の意。&JG-170

準 G-110　〈先生が〉来る：親しい友達に

親しい友達にむかって，「もうすぐ先生が 来る 」と言うとき，「先生が来る」のところをどのように言いますか。※「先生」は「教師」の意。&JG-168-b 改

準 G-111　〈父親が〉来る：親しい友達に

親しい友達にむかって，「もうすぐ自分の父親が 来る 」と言うとき，「自分の父親が来る」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。&JG-173

G-112　〈友達が〉来る：親しい友達に

親しい友達にむかって，「もうすぐ友達の○○君が 来る 」と言うとき，「○○君が来る」のところをどのように言いますか。※キヨルのような～ヨル形が回答されなかった場合は，～ヨル形の使用を確認する。※～ヨル形が回答された場合は，「見下げ」「ぞ

んざい」などのニュアンスを含まないか確認し，含まれている場合はそのことを注記する。&JG-172 改

準 G-113　〈聞き手が〉いるか：父親に

自分の父にむかって，「あしたは家に いるか 」と聞くとき，「家にいるか」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も，いたときのこととして回答してもらう。#GAJ6-285・286 &JG-165

挨拶表現

G-114　〈もしもし〉○○でした

電話をかけたら相手が出ました。自分の名前を名乗るとき，「もしもし」のあと，どのように言いますか。※「もしもし」の後に，「○○（名字）でした」と言うかどうかを確認する。※固有名詞（○○の部分）はそのまま記録した上で，固有名詞の部分を「○○」に替え，「○○デシタ」のように報告する。

G-115　ありがとう：買い物時

行きつけのお店で買い物をして，そのお店を出るとき，お店の人に何か言いますか。言うとしたら，何と言いますか。※ともなう動作があれば，注記に記録する。GAJ5-267・268・269・270 改 &JG-184 改

G-116　ありがとう：家庭内

食事をしているときに，家族にしょうゆを取ってもらったら，何か言いますか。言うとしたら，何と言いますか。※ともなう動作があれば，注記に記録する。GAJ5-267・268・269・270 改 &JG-184 改

G-117　ではまた

親しい友達に対して，別れの挨拶で「ではまた」と言うとき，どのように言いますか。

○ありがとうございました。

終了時刻　２０　　年　　月　　日　　時　　分

②全国方言分布調査の項目分類一覧

音韻項目の分類一覧

※項目の主目的の略号

M 言語変化にともなう分布の変動：Movement

Nv 新たな観点の導入：New viewpoint

大分類	中分類	質問番号	項目名	項目の主目的
子音	ガ行子音	P-1	鏡（かがみ）：ガ行鼻濁音	M
	カ行子音	P-2	袴（はかま）：カ行子音有声化	M
	ダ行子音	P-3	肌（はだ）：ダ行子音	M
	タ行子音	P-4	旗（はた）：タ行子音有声化	M
	ザ行・ダ行の交替	P-5	座布団：ザ・ダ交替	M
	一つ仮名	P-6	知事：一つ仮名	M
		P-7	地図：一つ仮名	M
音節・拍	促音	P-8	切符（きっぷ）：拍意識・文字意識	Nv
	長音	P-9	風船（ふうせん）：拍意識・文字意識	Nv

語彙項目の分類一覧

※項目の主目的の略号

M 言語変化にともなう分布の変動：Movement

C 関連項目の補完：Complement

V 関連項目の照合・確認：Verification

Nv 新たな観点の導入：New viewpoint

Nc 新たな変化の把握：New change

大分類	中分類	小分類	質問番号	項目名	項目の主目的
人間	人倫	個別親族	L-37	ちょうなん（長男）	Nv
			L-38	じなんいか（次男以下）	Nv
			L-39	ちょうじょ（長女）	Nv
			L-40	じじょいか（次女以下）	Nv
		親族集団等	L-41	ほんけ（本家）	Nv
			L-42	ぶんけ（分家）	Nv
	人体	頭部	L-26-a	ものもらい：名称	M
			L-26-b	ものもらい：治療方法	Nv
		皮膚・傷等	L-24	かさぶた（瘡蓋）	C
			L-25	あざ（痣）：内出血	M
	動作	客体への働きかけ	L-43	〈靴下を〉きる・はく・かぶる・はめる	Nv
			L-44	〈靴を〉きる・はく・かぶる・はめる	Nv
			L-45	〈手袋を〉きる・はく・かぶる・はめる	Nv
			L-46	〈帽子を〉きる・はく・かぶる・はめる	Nv
			L-47	〈布団を〉きる・はく・かぶる・はめる	Nv
			L-48	〈材木を〉かつぐ（担ぐ）	M
			L-49	〈天秤棒を〉かつぐ（担ぐ）	M
			L-50	〈二人で〉かつぐ（担ぐ）	M
			L-51	〈二人で〉はこぶ（運ぶ）	C
			L-53	うる（売る）	Nv
			L-54	かう（買う）	Nv
			L-55	おしえる（教える）	Nv
			L-63	においをかぐ（匂いを嗅ぐ）	M
		主体の移動	L-52	いく・くる（行く・来る）	Nv
		主体の変化	L-79	すわる（座る）：育児語	Nv
	状態	動作・変化性	L-30	ぐらぐらする：オノマトペ・用言化接辞	Nv
			L-31	〈水が〉こおる（凍る）	Nv
		副詞的	L-67	とても〈面白い〉	Nc
			L-69	ぜんぜん〈面白くない〉	Nc
	感情	心情的	L-64	うつくしい（美しい）	M
			L-65	おそろしい（恐ろしい）	M
			L-66	おもしろい（面白い）	Nc
			L-68	おもしろくない（面白くない）	Nc
	感覚	味覚	L-56	しおからい（塩辛い）	M
			L-57	〈塩味が〉うすい	M
			L-58	あまい（甘い）	M
			L-59	おいしい（美味しい）	M

大分類	中分類	小分類	質問番号	項目名	項目の主目的
人間	感覚	味覚	L-60	〈味が〉まずい	C
		嗅覚	L-61	におい（芳香）	M
			L-62	におい（悪臭）	M
		触覚	L-32	とてもさむい（とても寒い）	Nv
生活	食生活	素材・食品	L-18	ひきにく（挽肉）	Nc
			L-19	ニクの意味	Nv
	住生活	台所・炊事	L-36-a	いろり（囲炉裏）：名称	M
			L-36-b	いろり（囲炉裏）：利用経験	Nv
	農林業	米・米作	L-17	うるち（粳米）	M
		穀物・芋類	L-11	かぼちゃ（南瓜）	M
			L-12	じゃがいも（馬鈴薯）	M
			L-13	さつまいも（甘藷）	M
			L-14	さといも（里芋）	M
			L-15	イモの意味	M
		養蚕	L-06	かいこ（蚕）	Nv
			L-07	くわ（桑）	Nv
			L-08-a	くわのみ（桑の実）：名称	Nv
			L-08-b	くわのみ（桑の実）：利用方法	Nv
			L-09	くわばたけ（桑畑）	Nv
	民俗	神仏	L-78	かみ・ほとけ（神・仏）：児童語	Nv
	生活（その他）	道具	L-27	じょうぎ（定規）	Nc
			L-28	こくばんふき（黒板拭き）	Nc
			L-29	ほん（本）	Nv
		地域社会	L-75	ゆい（結，労働交換）	Nv
自然	時空間	時間	L-70	おととい（一昨日）	M
			L-71	さきおととい（一昨昨日）	M
			L-72	しあさって（３日後）	M
			L-73	やのあさって（４日後）	M
			L-74	おおみそか（大晦日）	Nv
	天地	気象	L-33	つらら（氷柱）	M
			L-34	ぼうふう（暴風）	Nv
			L-35	じしん（地震）	M
	動物	は虫類	L-02	とかげ	M
	魚介類		L-20	うろこ（鱗）	M
			L-21	かにのこうら（蟹の甲羅）	C
			L-76	ぶり（鰤）	Nv
	虫	軟体動物	L-01	かたつむり（蝸牛）	M
		昆虫	L-03	かまきり（螳螂）	M
			L-04	とんぼ（蜻蛉）	M
			L-05	ありじごく（蟻地獄）	M
			L-10	ぼうふら（蚊の幼虫）	V
	植物	野草	L-16-a	ひがんばな（彼岸花）：名称	M
			L-16-b	ひがんばな（彼岸花）：語源意識	Nv
		実・葉等	L-22	かきのへた（柿の蔕）	C
			L-23	〈茄子や苺の〉へた（蔕）	C
その他	その他		L-77	かっぱ（河童）	M

文法項目の分類一覧

※項目の主目的の略号

M 言語変化にともなう分布の変動：Movement

C 関連項目の補完：Complement

V 関連項目の照合・確認：Verification

Nv 新たな観点の導入：New viewpoint

Nc 新たな変化の把握：New change

大分類	中分類	小分類	質問番号	項目名	項目の主目的
活用	動詞　四段　カ行　行く	禁止形	G-015	行くな	M
	動詞　四段　サ行　出す	過去形	G-005	出した	M
	動詞　四段　サ行　貸す	過去形	G-007	貸した	Nv
	動詞　四段　マ行　飲む	過去形	G-008	飲んだ	M
	動詞　四段　ワ行　買う	過去形	G-006	買った	M
	動詞　上二段　起きる	終止形	G-009	起きる	M
		否定形	G-001	起きない	M
		命令形	G-013	起きろ	M
		意志形	G-016	起きよう	M
	動詞　下二段　任せる	終止形	G-010	任せる	M
	動詞　カ変　来る	否定形	G-002	来ない	M
	動詞　サ変　する	終止形	G-011	する	M
		否定形	G-003	しない	M
		命令形	G-014	しろ	M
	動詞　ナ変　死ぬ	終止形	G-012	死ぬ	M
	形容詞　高い	否定形	G-017	高くない	M
		過去形	G-020	高かった	M
		なる形	G-018	高くなる	M
		連用形	G-019	高く	C
否定	過去	動詞　行く	G-004	行かなかった	M
格助詞	受け身の動作主	迷惑	G-034	に：犬に〈追いかけられた〉	M
	動作の目的（動詞）		G-031	に：見に〈行った〉	M
	場所	移動方面	G-030	へ：東の方へ〈行け〉	M
		帰着点	G-032	に：東京に〈着いた〉	M
		存在場所（非意志的）	G-033	に：ここに〈有る〉	M
引用			G-035	と：来ると言っていた	Nc
			G-037	と：行こうと思っている	C
引用（名称指定）			G-036	と：田中という人	C
準体助詞	準体助詞		G-026	おれのだ	M
			G-027	いるのは	M
	形式名詞		G-024	やつ（形式名詞）	Nv
			G-025	やつ（形式名詞）：場面差	Nv
のだ文			G-028	行くんだ	Nv
			G-029	そうなんだ	Nv
副助詞	対象の限定		G-039	ばかり：雨ばかり〈降っている〉（限定）	M
			G-042	だけ：皮だけ〈食べた〉（対象の限定）	M
	対象の包括化		G-041	ごと：皮ごと〈食べた〉（対象の包括化）	M
	対象外の否定		G-040	しか：百円しか〈ない〉	M

大分類	中分類	小分類	質問番号	項目名	項目の主目的
条件	順接仮定　事実		G-050	行ったら〈終わっていた〉	M
	順接仮定　後件命令		G-049	行ったら〈電話しろ〉	C
	順接仮定　後件懸念		G-048	行くと〈だめになりそうだ〉	M
	順接仮定　後件依頼		G-051	書くなら〈きれいに書いてくれ〉	M
	順接仮定　後件意志		G-054	高いなら〈買わない〉	M
	順接仮定　後件推量		G-045	降れば〈出ないだろう〉	M
			G-052	出したなら〈そろそろ届くはずだ〉	C
	順接仮定　反実仮想		G-046	起きれば〈良かった〉	M
			G-047	書けば〈間に合った〉	M
	既定事実		G-044	寒くては〈仕事にならない〉	C
	想定		G-053	あの先生なら〈知っているはずだ〉	C
原因理由	接続助詞		G-043	降っているから	M
アスペクト・テンス	継続相・非過去	動作動詞	G-055	走っている（継続相）	C
		変化動詞	G-058	散っている（継続相）	M
	継続相・過去	動作動詞	G-056	走っていた（継続相・過去）	C
	結果相・非過去	変化動詞	G-059	散っている（結果相）	M
	将然相・回想		G-060	（もう少しで）落ちるところだった（将然相・回想）	M
	始動		G-064	食べかける（始動初期）	Nv
			G-065	食べかけている（始動遂行）	Nv
	完了		G-061	読んでしまった（完了）	M
	副詞		G-063	もう〈食べたの〉	Nv
	未実現相		G-062	〈まだ〉食べない・食べていない（未実現相）	Nv
	完成相・過去	動作動詞	G-057	走った（過去）	C
	存在動詞・非過去・眼前		G-066	〈あそこに人が〉いる（存在動詞・非過去・眼前）	M
	存在動詞・非過去・非眼前		G-067	〈近所に物知りのおじいさんが〉いる（存在動詞・非過去・非眼前）	C
	存在動詞・非過去・挨拶		G-069	いるか（存在動詞・非過去・挨拶）	M
	存在動詞・過去		G-068	〈近所に物知りのおじいさんが〉いた（存在動詞・過去）	M
	存在動詞・過去回想・体験		G-070	いた（存在動詞・過去・体験）	M
	過去回想・共有体験		G-071	行ったなあ（過去・共有体験）	M
	形容詞・過去		G-072	強かった（形容詞）	M
可能	能力（肯定）	五段　読む	G-074	読むことができる（能力可能）	M
		一段　着る	G-078	着ることができる（能力可能）	M
	能力（否定）	五段　読む	G-073	読むことができない（能力可能）	M
		一段　着る	G-077	着ることができない（能力可能）	M
	状況（肯定）	五段　読む	G-076-a	読むことができる（状況可能）	M
			G-076-b	読むことができる（状況可能・ヨメレルの確認）	M
		一段　着る	G-080-a	着ることができる（状況可能）	M
			G-080-b	着ることができる（状況可能・キレレルの確認）	M
	状況（否定）	五段　読む	G-075	読むことができない（状況可能）	M
		一段　着る	G-079	着ることができない（状況可能）	M
完遂			G-081	読みきれなかった（完遂）	Nv

大分類	中分類	小分類	質問番号	項目名	項目の主目的
自発			G-103	つい座ってしまう（自発）	Nv
意志	肯定	独話	G-090	行こう（意志・独話）	M
		対話	G-091	行こう（意志・対話）	C
	否定		G-093	行くまい（否定的意志）	M
勧誘			G-092	行こうよ	M
希望	希望主体（話し手），動作主体（第三者）		G-096	行ってもらいたい	M
推量	動詞		G-083	行くだろう	M
	動詞過去		G-085	行っただろう	M
	動詞準体型		G-084	行くのだろう	M
	動詞準体型過去		G-086	行ったのだろう	M
	名詞		G-082	先生だろう	M
	動詞否定		G-087	行かないだろう	M
確認要求			G-088	あるじゃないか	Nv
			G-089	あるんじゃないか	Nv
伝聞	非過去		G-038	雨だそうだ	M
断定（名詞述語）	非過去		G-021	先生だ	M
	過去		G-023	先生だった	C
	否定		G-022	先生ではない	M
ヴォイス			G-101	殴る・殴られる	Nv
			G-102	噛む・噛まれる	Nv
授与（遠心）	本動詞		G-097	やる	M
	補助動詞		G-098	読んでやる	C
授与（求心）	補助動詞		G-099	読んでくれる	Nv
受納	補助動詞		G-100	読んでもらう	Nv
義務			G-095	行かなければならない	M
禁止			G-094	行ってはいけない	M
待遇	申し出	動作主体：話し手，聞き手：上位	G-104	持ちましょう：土地の目上に	M
	平叙	動作主体：話し手，聞き手：上位	G-105	〈自分が〉来る：土地の目上に	M
		動作主体：聞き手，聞き手：上位	G-106	〈聞き手が〉来るか：土地の目上に	M
		動作主体：第三者，聞き手：上位	G-108	〈先生が〉来る：近所の知り合いの人に	V
		動作主体：第三者，聞き手：友達	G-110	〈先生が〉来る：親しい友達に	V
		動作主体：第三者，聞き手：上位親族	G-109	〈先生が〉来る：父親に	V
		動作主体：友達，聞き手：友達	G-112	〈友達が〉来る：親しい友達に	Nc
		動作主体：上位親族，聞き手：友達	G-111	〈父親が〉来る：親しい友達に	C
		動作主体：上位親族，聞き手：上位親族	G-113	〈聞き手が〉いるか：父親に	M
	命令	動作主体：聞き手，聞き手：上位	G-107	来い：土地の目上に	M
挨拶	名のり（電話）		G-114	〈もしもし〉〇〇でした	Nv
	謝礼（店）		G-115	ありがとう：買い物時	Nv
	謝礼（家庭内）		G-116	ありがとう：家庭内	Nv
	別れ		G-117	ではまた	Nv

③全国方言分布調査の各調査項目のねらい

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図<質問番号>	準備調査質問番号
P-1	鏡（かがみ）：ガ行鼻濁音	語中のガ行子音が鼻濁音か濁音か入渡り鼻音を伴う音かなどについて，LAJ時代からの変動を見る。また，語中のカ行子音の有声化との関連を見る。	LAJ1-1<280>	JP-01
P-2	袴（はかま）：カ行子音有声化	語中のカ行子音が有声化するかしないかを見る。カ行子音の語中有声化についての全国的な詳細な分布はこれまでに確認されてこなかった。また語中のガ行子音との関連を見る。		JP-18改
P-3	肌（はだ）：ダ行子音	語中のダ行子音が濁音か入渡り鼻音を伴う音かを見る。語中のダ行子音の入り渡り鼻音についての全国的な詳細な分布はこれまでに確認されてこなかった。また，語中のタ行子音の有声化との関連を見る。		
P-4	旗（はた）：タ行子音有声化	語中のタ行子音が有声化するかしないかを見る。タ行子音の語中有声化についての全国的な詳細な分布はこれまでに確認されてこなかった。また語中のダ行子音との関連を見る。		JP-19改
P-5	座布団：ザ・ダ交替	従来，詳細な分布が把握されてこなかったザ行→ダ行の交替について，「座布団」をもとに確認する（「座布団」をダブトンと言うかどうか）。		JP-20改
P-6	知事：一つ仮名	従来，詳細な分布が把握されてこなかった一つ仮名の分布について，「知事」と「地図」をもとに確認する。		JP-11-a
P-7	地図：一つ仮名			JP-11-b改
P-8	切符（きっぷ）：拍意識・文字意識	音を数える単位がシラビームかモーラかについて，詳細な分布は把握されてこなかった。また，文字意識がどれほど介在するかも検討する。		
P-9	風船（ふうせん）：拍意識・文字意識			
L-01	かたつむり（蝸牛）	日本の言語地理学における古典的・記念碑的な調査項目である。共通語化に伴い，全体的な方言・俚言量の減少が予測される。	LAJ5-236・237・238<005>	JL-001
L-02	とかげ	共通語形とは異なる東京語形カガミッチョが，東京を中心に周圏的に広がったかどうかを確認する。なお，語形の入れ替わりが知られるL-03「かまきり（蟷螂）」が参照項目である。	LAJ5-224<012>	JL-010
L-03	かまきり（蟷螂）	L-02「とかげ」との関係を考慮する項目である。従来から，関東近辺で，「かまきり」と「とかげ」の入れ替わり現象が知られている。今回の調査では，共通語形カマキリが生き残り，俚言形トカゲが消滅していると予測される。	LAJ5-229・230<001>	JL-003
L-04	とんぼ（蜻蛉）	消滅危機方言語彙であるとともに，近世の分布も知られており，それとの比較で分布変化を確認する。	LAJ5-231<284>	JL-004
L-05	ありじごく（蟻地獄）	俚言形が多く，また，地図だけではなく先行研究も多い。これらと比較して，分布変化を確認する。		
L-06	かいこ（蚕）	語の分布を，養蚕業の実態（繭の生産量，飼育量，桑園面積）と重ね合わせることにより，お互いの関係性を把握する。過去の取扱い地図集は18あり，方言辞典での立項も多い。それらと比較をして分布変化の様子を把握する。		

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図<質問番号>	準備調査 質問番号
L-07	くわ（桑）	L-08-a「くわのみ（桑の実）」の方言量との比較を行う。さらに，「桑の実」に現れる語形の造語法を確認するための補完項目とする。「桑」を表す語形と「桑の実」を表す語形の関係を把握する。		
L-08-a	くわのみ（桑の実）：名称	取り扱い地図集は39あるものの，統一的な調査による全国的な方言分布は未解明である。語の分布や方言量と，養蚕業の実態，特に桑園面積との関係性を把握する。		
L-08-b	くわのみ（桑の実）：利用方法	L-08-a「くわのみ（桑の実）：名称」を補完する。「食べたことがある」場合に，「美味しい」か「不味いか」による区別がなされるか，なされないかを確認するための補完項目である。		
L-09	くわばたけ（桑畑）	「桑の植えられた場所」に対して，特にクワバラが用いられるか否かを確認する。その他の語形が用いられる場合は，それを採録する。LAJには「畑」や「田」などの，農地に関する調査項目がある。このような項目は，日本全国を統一的に調査をすることがなかなか難しい。生産物が具体的になった場合，どのような語形が現れ，どのような分布を示すのかを確認する。また，L-07「桑」，L-08-a「桑の実」に現れる語形との関係性を把握する。		
L-10	ぼうふら（蚊の幼虫）	L-11「かぼちゃ（南瓜）」を表すボーフラとの同音衝突の有無を確認する。		JL-005
L-11	かぼちゃ（南瓜）	共通語形とは異なる東京語形トーナスが，東京を中心に周圏的に拡大しているかどうかを確認する。またL-10「ぼうふら（蚊の幼虫）」を表すボーフラとの同音衝突を確認する。	LAJ4-180<191>改	JL-029改
L-12	じゃがいも（馬鈴薯）	L-13「さつまいも（甘藷）」の関連項目である。	LAJ4-174・175<186>改	JL-023改
L-13	さつまいも（甘藷）	準備調査の結果では，LAJとの変動が小さいと見られる。分布変化の実態を把握する。	LAJ4-176<188>改	JL-024改
L-14	さといも（里芋）	L-13「さつまいも（甘藷）」の関連項目である。	LAJ4-177・178<187>改	JL-025
L-15	イモの意味		LAJ4-179<189>	JL-027改
L-16-a	ひがんばな（彼岸花）：名称	俚言形が多いことが知られているものの，全国分布の詳細が解明されていない。特に西日本に俚言形が多いことが予測される。		JL-019改
L-16-b	ひがんばな（彼岸花）：語源意識	語形と語源意識との関係を把握する。		JL-019
L-17	うるち（粳米）	生活の変動に伴う語彙の変化・共通語化を把握する。	LAJ4-168<174>	JL-030
L-18	ひきにく（挽肉）	LAJでは取り上げられていない項目であり，新たに発生したと考えられる全国的な方言分布を把握しようとするものである。ヒキニク（東日本）：ミンチ（西日本）で東西対立をなすことが予測されるが，関東の一部にはミンチがあり，共通語の動きも明確にしたい。また，準備調査では，最近食べるようになったとの回答がみられる。比較的新しい食材であると考えられる「ひきにく」を通して，食生活に関する語の方言分布の実態とそれを支える背景を解明する。		JL-035

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図〈質問番号〉	準備調査質問番号
L-19	ニクの意味	一般にはよく話題になることであるが，全国的な方言分布の実態は未解明である。ニクという日本語における基礎語の意味とその地域差ならびに食文化との関係を解明する。		
L-20	うろこ（鱗）	「うろこ」「〈蟹の〉こうら」「〈柿の〉へた」「〈茄子や苺の〉へた」「かさぶた」の語形相互の関連性を把握する。特に九州方言の状態が注目される。	LAJ5-217〈076〉	JL-013
L-21	かにのこうら（蟹の甲羅）			JL-014改
L-22	かきのへた（柿の蔕）			JL-022改
L-23	〈茄子や苺の〉へた（蔕）			
L-24	かさぶた（瘡蓋）			JL-048
L-25	あざ（痣）：内出血	アオタンなどの新しい語形の発生にともなう分布変化を把握する。	LAJ2-80〈059〉改	JL-045
L-26-a	ものもらい：名称	語形と民間治療方法との関係を把握する。	LAJ3-112〈036〉	JL-038-a
L-26-b	ものもらい：治療方法			JL-038-b
L-27	じょうぎ（定規）	比較的新しい物を対象とした学校関係の語として，明治以降の分布形成の解明を目的とする。		JL-075改
L-28	こくばんふき（黒板拭き）			JL-076改
L-29	ほん（本）	琉球と九州の連続性に注目し，詳細な分布を把握する。琉球のショモチ類と九州のショモッに連続性が見られる。		
L-30	ぐらぐらする：オノマトペ・用言化接辞	オノマトペ＋接辞（動詞・形容詞）の接辞（動詞・形容詞）部分の分布を見る。予想語形：～メグ，～ズ，～ッテダ，～スル，～シテル，～シトー，～シヨル，～シチョー，～シー，～ネー，～ナイ，～ユー，～イウ。		
L-31	〈水が〉こおる（凍る）	北海道と本州北部の関連を見る項目である。シバレルは，北海道では「〈水が〉こおる（凍る）」とL-32「とてもさむい（寒い）」を表し，本州北部ではL-32「とてもさむい」を表す。なお，本州におけるシバレルは，LAJ2-96「〈水が〉こおる」では東北北部に点在し，LAJ2-97「〈手拭いが〉こおる」では東日本の日本海側に点在するが，どちらも大きな分布域は認められない。そこで，東北北部との連続を優先して「〈水が〉こおる」を調査項目として選択し，「〈手拭いが〉こおる」は求めないこととした。	LAJ2-96〈127〉改	
L-32	とてもさむい（とても寒い）	北海道と本州の関連，九州と琉球の分布連続を見る項目である。北海道と東北北部は「とてもさむい（寒い）」をシバレルで表すが，北海道のシバレルはL-31「〈水が〉こおる（凍る）」の意味でも用いられる。九州と琉球ではヒエル類を用いる。		
L-33	つらら（氷柱）	『物類称呼』において方言量が多いことで有名であり，近代以降の各種方言資料にも出てくる。分布の変動を把握する。	LAJ6-262〈129〉	JL-072

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図〈質問番号〉	準備調査質問番号
L-34	ぼうふう（暴風）	琉球と九州の連続性に注目し，詳細な分布を把握する。琉球のウーカジ類と九州のオーカゼが連続する。なお，九州では「台風」の意味でオーカゼが広く分布するので，「台風」相当の語形との比較にも留意する。		
L-35	じしん（地震）	近世以降の分布の変動が追跡可能な項目である。	LAJ6-263〈135〉	JL-120
L-36-a	いろり（囲炉裏）：名称	廃物に関する語彙の分布を把握する。先行研究と地図は比較的多い。		JL-068-a改
L-36-b	いろり（囲炉裏）：利用経験	「いろり」の廃物としての性格と使用語彙との関係を把握する。いろりの使用経験がなくとも「いろり」の語形を理解語彙としていることも予想され，廃物語彙のあり方の考察に活用できる項目である。		JL-068-c改
L-37	ちょうなん（長男）	L-38「じなんいか（次男以下）」の密接な関連項目。		JL-079改
L-38	じなんいか（次男以下）	準備調査結果によれば，「次男以下」は西日本での名称が特になく，相続制度に絡む社会の東西差を如実に反映していると予想される。		JL-080改
L-39	ちょうじょ（長女）	L-40「じじょいか（次女以下）」の密接な関連項目。		JL-081改
L-40	じじょいか（次女以下）	L-37「ちょうなん（長男）」L-38「じなんいか（次男以下）」の関連項目。「次女以下」の概念を表す語形がなくなりつつあることが予想される。		JL-082改
L-41	ほんけ（本家）	親族・家族制度の変動・改廃と言語の関係について，分布を通して把握する。		JL-083
L-42	ぶんけ（分家）			JL-084-a
L-43	〈靴下を〉きる・はく・かぶる・はめる	「着る」「はく」「かぶる」など着衣的動作語彙の分布の確認と変化の把握を目的とする。		JL-052-b
L-44	〈靴を〉きる・はく・かぶる・はめる			JL-052-a
L-45	〈手袋を〉きる・はく・かぶる・はめる			JL-054
L-46	〈帽子を〉きる・はく・かぶる・はめる			JL-053
L-47	〈布団を〉きる・はく・かぶる・はめる			
L-48	〈材木を〉かつぐ（担ぐ）	運搬動作語彙の分布を確認し，変化を把握する。動作自体が生活の変化とも関係している。	LAJ2-66〈264〉	JL-058
L-49	〈天秤棒を〉かつぐ（担ぐ）		LAJ2-67〈265〉	JL-059
L-50	〈二人で〉かつぐ（担ぐ）		LAJ2-68〈266〉	JL-060改
L-51	〈二人で〉はこぶ（運ぶ）			JL-061
L-52	いく・くる（行く・来る）	聞き手のいる場所に向かう移動を「来る」という方言がある。北陸・山陰・九州方言がこれに該当すると言われているが，全国分布調査は行われておらず，それを把握することを目的とする。		JL-064改
L-53	うる（売る）	琉球と本土の連続性を語形成の面で注目し，詳細な分布を把握する。琉球には「買わせる」相当のカースン類が分布する。		
L-54	かう（買う）	L-53「うる（売る）」の照合用関連項目である。		

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図〈質問番号〉	準備調査 質問番号
L-55	おしえる（教える）	琉球と本土の連続性を語形成の面で注目し，詳細な分布を把握する。琉球には「習わせる」相当のナラースン類が分布する。		
L-56	しおからい（塩辛い）	共通語シオカライとは異なる東京語形カライが東京を中心に周圏的拡大を示すかどうかを確認する。	LAJ1-39<049>	JL-095
L-57	〈塩味が〉うすい	ミズクサイは，LAJ段階において，歴史的中央からの拡大の過程にあったのではないかと見られ，準備調査においても共通語化による縮小化はあまり発生しておらず，近畿でまだ広く使われていることが確認された。LAJ後にこれが周圏論的に広がっているとすれば，どの程度の広がりを見せているのか確認する。また，L-56「しおからい（塩辛い）」との関連も考察する。	LAJ1-38<051>	JL-100改
L-58	あまい（甘い）	L-57「〈塩味が〉うすい」・L-59「おいしい（美味しい）」の関連項目である。アマイは甘味に意味が集約されると予想される。	LAJ1-37<052>	JL-099
L-59	おいしい（美味しい）	L-60「〈味が〉まずい」・L-58「あまい（甘い）」の関連項目である。	LAJ6-291<253>	JL-101
L-60	〈味が〉まずい	L-59「おいしい（美味しい）」の対義語としての補完項目である。「〈味が〉まずい」は全国的なバラエティが多いもののLAJにも扱われていないため全国分布を把握する。「まずい」とL-59「おいしい（美味しい）」をセットにすることで，「まずい」にウマクナイ系を使っている地域では，「おいしい」にウマイ系が出てくるかどうかという分析がひとつの観点となる。		JL-102
L-61	におい（芳香）	カザ・カバ・カマ系統の語の分布変化ならびに芳香と悪臭の区別の変化を把握する。	LAJ6-268<038>	
L-62	におい（悪臭）		LAJ6-269<039>	
L-63	においをかぐ（匂いを嗅ぐ）	カ～カグ・カザ～カザム・カマリ～カムのように「におい」を表す名詞との間の形式の対応に変動があるか，ニオウを自動詞ではなく他動詞「かぐ」の意味で使うか，LAJ2-85・86でのニオウの分布の中心は山口・福岡だがこれが拡大していないか，などを把握する。	LAJ2-85・86<042>改	
L-64	うつくしい（美しい）	LAJ1-47との比較の中で特に琉球地域での変動に注目する。	LAJ1-47<250>改	
L-65	おそろしい（恐ろしい）	LAJ1-42ではオッカナイ（東日本），コワイ（近畿），オソロシー・オトロシー（西日本周辺部）が広く分布するほか，オゾイ・エズイ，オソガイ，キョートイ，イブセーなどが混じる。これらの分布の変化を把握する。	LAJ1-42<237>改	JL-085改
L-66	おもしろい（面白い）	L-68「おもしろくない（面白くない）」との関連とともに，新形式発生にともなう分布のありかたを把握する。		JL-087-b改
L-67	とても〈面白い〉	全国各地で多くの新しい形式の発生が注目されており，若者世代を対象とした調査報告も多い。各地の若者が用いる形式には伝統方言形式から派生したとみられる形式も多いので新たな方言の発生と分布形成の解明という視点でこの項目を取り上げる。先行研究地図集も31あるので，分布変化の把握も可能である。		JL-087-a

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図〈質問番号〉	準備調査 質問番号
L-68	おもしろくない（面白くない）	近畿中央部の特に中年層から若年層にかけて新しい形式が次々と発生しており，全国に拡散しつつある。近畿中央部からの伝播速度がかなり早いとみられ，短期間で近畿中央部を中心とした周圏分布を形成している，極めてユニークなケースである。なお，この変化の背景にはウ音便の消長が関与していると思われ，伝統方言との比較が欠かせない。		JL-088-b改
L-69	ぜんぜん〈面白くない〉	否定表現にかかる陳述副詞の分布を把握する。先行地図集も14あるので，それらとの比較により分布変化を把握する。		JL-088-a改
L-70	おととい（一昨日）	L-71「さきおととい（一昨昨日）」の関連項目。語形の対応などを確認する。	LAJ6-276<104>改	JL-111
L-71	さきおととい（一昨昨日）	共通語の浸透，ならびに「一昨昨日」という概念そのものの希薄化を分布を通して把握する。	LAJ6-275<105>改	JL-112
L-72	しあさって（３日後）	東日本にかなり広く分布していたヤノアサッテ類の分布の変化を把握する。	LAJ6-285<110>改	JL-113
L-73	やのあさって（４日後）	共通語形や概念が定まりにくい項目において，東京語形ヤノアサッテが周圏的に広がったかどうかを確認する。	LAJ6-286<111>改	JL-114
L-74	おおみそか（大晦日）	琉球と九州の連続性に注目し，詳細な分布を把握する。琉球のツシヌユー類と九州のトヒノバンの連続性を確認する。		
L-75	ゆい（結，労働交換）	琉球と本土の連続性に注目し，詳細な分布を把握する。ユイ類が双方に共通する。		
L-76	ぶり（鰤）	生業や食生活・自然環境との関連で方言分布を把握する。予想語形：富山（6段階）コズクラ・フクラギ・ニマイズル・チュウモン・ガンド・ブリ。東北・関東（5段階）モジャコ・ワカシ・イナダ・ワラサ・ブリ。九州・中国・四国（5段階）モジャコ・ワカシ／ワカナゴ・ヤズ・ハマチ・ブリ。瀬戸内（5段階）モジャコ・ツバス・ハマチ・メジロ・ブリ。北陸（7段階）モジャコ・ツバイソ・コズクラ・フクラギ・ニマイズル・ガンド・ブリ。その他，東日本の第2・3段階にアオ・コブリ・ツバ・ニサイアオ・ニサイゴ・サンザイ・サンバク・ワカシ・ワカナ・ワカナゴ・ワラサ。九州・中国・四国の第2・3段階にイナラ・シュントク・シオ・ショージンゴ・ツバス・スベリ・サワジ・ショージゴ・チャンカラ・ハマチゴ・アブコ・セジロ・ハマチ・マルゴ・メジロ・ヤズ。瀬戸内の第2・3段階にイナラ・シュントク・シオ・ショージンゴ・ツバス・スベリ・サワジ・ショージゴ・チャンカラ・ハマチゴ・アブコ・セジロ・ハマチ・マルゴ・メジロ・ヤズ。北陸ではコズクラ・チューモン・ツバイソ・ニマイヅル・フクラギ・ハマチ・マルゴ・メジロ・ヤズ。		JL-015改
L-77	かっぱ（河童）	実在しない空想上の対象物の詳細な分布を把握し，それに基づく分布形成過程を考察する。		JL-110-a
L-78	かみ・ほとけ（神・仏）：児童語	児童語・育児語について，生活の中での重要性が減ったもの（かみ・ほとけ）と重要性が減じていないもの（座る動作など）について，概念・形式両方の消滅のパターンと残存のパターンを比較する。		JL-109改
L-79	すわる（座る）：育児語			

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図<質問番号>	準備調査質問番号
G-001	起きない	九州において，伝統的二段活用と（一段化を経た）ラ行五段化型が接触する地域に，二段活用とラ行五段化型の混合活用が存在することがGAJで確認される。このような活用は接触という要因からして，明らかに新しく発生したものと考えられる。これがGAJ後にどのように言語的・地理的に変化したのかを見るための項目である。	GAJ2-72<001>	JG-003
G-002	来ない	カ行変格動詞「来る」の否定形において，口語法分布図（第6図 打消ノ云ヒ方「来ぬ」「来ない」等ノ分布図）とGAJ2-83をも用い，全国的な経年分布変化を把握する。	GAJ2-83<003>	JG-033-b改
G-003	しない	サ変動詞「する」は東北北部において五段型の活用を示す。これが新しいものであるとすると，それが拡大する過程が期待される。一方でこれは古いとする見方もある。そうだとすると，共通語化もしくは別方向の一段化の変化も発生していると考えられる。これらの変化の確認と地理的領域の照合を行うことを目的とする項目である。	GAJ2-84<004>改	JG-037改
G-004	行かなかった	動詞否定辞過去形は，近畿を中心に変化が激しいことが知られている。言語変化がどのように分布変化に投影されるかを把握する。	GAJ4-151<198>	JG-062
G-005	出した	広義の東西対立に該当するサ行イ音便の変化を把握する。	GAJ2-92<040>	JG-027
G-006	買った	東西対立の一つである，カッタとコータの分布がGAJ調査以降，どの程度，保たれているかを把握する。西日本では，若年世代でウ音便形が使用されなくなる傾向があり，ウ音便形の分布の縮小という現象を通して，全国的な分布形成を把握するための基盤的データを獲得する。	GAJ2-105<051>	JG-031
G-007	貸した	サ行イ音便の変化，ならびに琉球と本土の連続性を語形成（琉球の「借らす」相当の形）に注目した詳細な分布を把握する。	GAJ2-98<050>	
G-008	飲んだ	マ行五段動詞「飲む」の過去形において，口語法分布図（第23図 活用ノ形「飲んだ」「飛んだ」「飲うだ」「飛うだ」（マ行バ行四段活用ノ語ノ連用形）等ノ分布図）とGAJ2-103をも用い，全国的な経年分布変化を把握する。	GAJ-2-103<043>	JG-030-b改
G-009	起きる	九州において，伝統的二段活用と（一段化を経た）ラ行五段化型が接触する地域に，二段活用とラ行五段化型の混合活用が存在することがGAJで確認される。このような活用は接触という要因からして，明らかに新しく発生したものと考えられる。これがGAJ後にどのように言語的・地理的に変化したのかを見るための項目である。	GAJ2-61<016>	JG-001
G-010	任せる	下一段動詞「任せる」の終止形において，口語法分布図（第29図 活用ノ形 下二段活用ノ分布図）とGAJ2-65をも用い，全国的な経年分布変化を把握する。	GAJ2-65<022>	

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図<質問番号>	準備調査 質問番号
G-011	する	サ変動詞「する」は東北北部において五段型の活用を示す。これが新しいものであるとすると，それが拡大する過程が期待される。一方でこれは古いとする見方もある。そうだとすると，共通語化もしくは別方向の一段化の変化も発生していると考えられる。これらの変化の確認と地理的領域の照合を行うことを目的とする項目である。	GAJ2-70<020>	JG-036
G-012	死ぬ	ナ行五段動詞「死ぬ」の終止形において，口語法分布図（第32図 活用ノ形 ナ行変格活用ノ分布図）とGAJ2-68をも用い，全国的な経年分布変化を把握する。	GAJ2-68<027>	JG-040
G-013	起きろ	GAJ段階においても変化が進行中だったと考えられる命令形におけるラ行五段化について，分布変化を把握する。	GAJ2-85<032>	JG-006改
G-014	しろ	サ変動詞「する」は東北北部において五段型の活用を示す。これが新しいものであるとすると，それが拡大する過程が期待される。一方でこれは古いとする見方もある。そうだとすると，共通語化もしくは別方向の一段化の変化も発生していると考えられる。これらの変化の確認と地理的領域の照合を行うことを目的とする項目である。	GAJ2-91<033>改	JG-039改
G-015	行くな	禁止表現の分布変化を把握する。禁止表現は聞き手に対してある行為を行わないように求める表現であり，聞き手に対してある行為を行うように求める命令表現と対をなす要求表現である。命令形による命令表現は少なくなっている様相が準備調査の結果からも明らかであるが，禁止表現はどのような状況を呈するかを捉えることを目的とし，G-094「行ってはいけない」とも比較して，発話場面・発話態度の関わりも考察する。	GAJ5-221・222<151>・223・224<152>改	
G-016	起きよう	活用としての意志形を把握する。また，意志表現を扱う項目G-090・091「行こう」を補完する。	GAJ3-106<060>	JG-137
G-017	高くない	東北と九州において，形容詞の活用語幹に終止連体形（「高い」のタケー）や連用形（「高く」のタコー）が取り込まれる現象が存在する。この言語変化はGAJの時点においてまだ過渡的なものと見られることから，その後さらに拡大している可能性がある。この変化を捉えるための項目である。	GAJ3-137<014>	JG-060
G-018	高くなる		GAJ3-139<058>	JG-043
G-019	高く	自立語としてのク形（連用形）の分布を把握する。特に，「ない」「なる」に続く形が「タコナイ」「タカナル」などウ音便短呼形となる地域では，その形が自立的に用いにくく，別の形を発達させている場合がある（北陸の「タコラト」「タカナト」「タカイガニ」など）。		JG-045改
G-020	高かった	東北と九州において，形容詞の活用語幹に終止連体形（「高い」のタケー）や連用形（「高く」のタコー）が取り込まれる現象が存在する。この言語変化はGAJの時点においてまだ過渡的なものと見られることから，その後さらに拡大している可能性がある。この変化を捉えるための項目である。	GAJ3-141<055>	JG-046

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図〈質問番号〉	準備調査 質問番号
G-021	先生だ	断定の助動詞の変化（例：ジャ→ヤ）のほか，名詞述語の肯定形を把握する。東北では現在を表す表現であっても名詞＋デアッタが予想される。		JG-126改
G-022	先生ではない	名詞述語否定形のバリエーションの分布を把握する。デ（ワ）ナイ・（ト）チガウ・アラ（ヘ）ンなどの形式が予想される。日本語では否定（疑問）形が勧誘・命令・確認要求などの機能を持つことが多い。これらの現象の分布を分析するためには，動詞・形容詞・形容動詞の否定形式にどのようなバリエーションがあるのかを把握する必要がある。しかしGAJでは名詞述語の否定形が欠けているため，調査が必要である。そのことにより，「ではないか」という否定形式が確認要求表現に発達している方言の分布を知ることができる。		JG-050改
G-023	先生だった	名詞述語の過去形を把握する。		JG-127改
G-024	やつ（形式名詞）	ヤツ・ブンといった形式名詞の分布を調べるための項目である。ヤツのような形式名詞は文体的価値が低いと認識されている可能性があるため，G-025「やつ（形式名詞）：場面差」とは異なる場面を設定している。		
G-025	やつ（形式名詞）：場面差	ヤツ・ブンといった形式名詞の分布を調べるための項目。ヤツのような形式名詞は文体的価値が低いと認識されている可能性があるため，G-024「やつ（形式名詞）」とは異なる場面を設定している。		
G-026	おれのだ	所有代名詞相当の準体形式・連体格・形式名詞の分布を把握する。	GAJ6-341<243-0>改	JG-068改
G-027	いるのは	準体助詞（形式名詞）ノのバリエーションの分布を把握する。準体助詞「の」は，ノダ形式，「おれのだ」のような「所有のノ＋準体助詞ノ」，確認要求表現ノデハナイカの語形を作るために用いられる。これらの形式の分布と関連づけて分析するための項目である。	GAJ1-16<102>改	JG-083-b改
G-028	行くんだ	実情説明（対人的ムード）を表すノダ形式の分布を把握する。「ノ＋ダ」に相当する分析的な形式だけでなく，「ネン」「ガイ」「チャ」など，「ノ＋ダ」に分析できない形式も収集する。これらの形式は，その意味が実情説明だけに特化していることが多い。		
G-029	そうなんだ	情報を受容したことを示す表現に「のだ」形式が用いられることは比較的最近になって見られる現象で，現在急速に広まっていると考えられる。若年層では既に定着していることが予想されるが，高年層にはどのように広がっているのかを確認する。地域間の伝播という要素に加えて，通常とは逆の若年層から高年層へという世代間の伝播がどのような地域で現れるのかを把握する。		
G-030	へ：東の方へ〈行け〉	一連の項目（G-030～G-034）で中世末期以降の分布の変動が追跡できる。九州における「サ」の類の発達が注目される。	GAJ1-19<106>	JG-078-a
G-031	に：見に〈行った〉		GAJ1-21<108>改	JG-080-a改
G-032	に：東京に〈着いた〉		GAJ1-20<107>	JG-081-a
G-033	に：ここに〈有る〉		GAJ1-24<113>	JG-083-a改

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図〈質問番号〉	準備調査 質問番号
G-034	に：犬に〈追いかけられた〉	一連の項目（G-030～G-034）で中世末期以降の分布の変動が追跡できる。九州における「サ」の類の発達が注目される。	GAJ1-27〈124〉	JG-088-a
G-035	と：来ると言っていた	引用の格助詞に関して，脱落や「と言って」由来形式（ユーテ，チューテ，テテ，ッテ等）の分布を把握する。		JG-090
G-036	と：田中という人	引用の格助詞に関して，脱落や「と言って」由来形式（ユーテ，チューテ，テテ，ッテ等）の分布を把握する。「と言って」由来形式の一部は，この項目では使いにくいことが予想される。	GAJ1-32〈099〉	JG-089
G-037	と：行こうと思っている		GAJ5-232〈158〉	
G-038	雨だそうだ	情報入手先が明示されている場合の伝聞表現の分布変化を把握する。	GAJ5-243〈174〉	
G-039	ばかり：雨ばかり〈降っている〉（限定）	共通語バカリとは異なる東京語形ベーが，東京を中心に周圏的に拡大しているかどうかを確認する。	GAJ1-49〈093〉	JG-091
G-040	しか：百円しか〈ない〉	共通語シカとは異なる東京語形キリが，東京を中心に周圏的に拡大しているかどうかを確認する。	GAJ1-51〈137〉	JG-093-a改
G-041	ごと：皮ごと〈食べた〉（対象の包括化）	副助詞「ごと」（対象の包括化を表現）の変化を把握する。	GAJ1-53〈132〉	JG-092
G-042	だけ：皮だけ〈食べた〉（対象の限定）	副助詞「だけ」（対象の限定を表現）の変化を把握する。	GAJ1-47〈131〉	JG-095
G-043	降っているから	原因理由を表す順接の接続助詞がGAJ調査以降，どのような変化を遂げつつあるか，各地の伝統方言の退縮に伴い，新たな分布形成の兆しを把握する。	GAJ1-33〈095〉改	JG-098
G-044	寒くては〈仕事にならない〉	既定の事実を表す「ては」の分布を把握する。		
G-045	降れば〈出ないだろう〉	文末が推量表現である仮定条件文について，近畿の～タラの用法拡大に代表されるような変化が条件表現全体の中でどのように起こっているのかを，分布を通して把握する。	GAJ4-167〈178〉	JG-108
G-046	起きれば〈良かった〉	近畿の～タラの用法拡大に代表されるような変化が条件表現全体の中でどのように起こっているのかを，分布を通して把握する。	GAJ3-126〈078〉	JG-005
G-047	書けば〈間に合った〉	反事実的条件文について，近畿の～タラの用法拡大に代表されるような変化が条件表現全体の中でどのように起こっているのかを，分布を通して把握する。	GAJ3-128〈081〉改	JG-022改
G-048	行くと〈だめになりそうだ〉	後件の望ましくない事態を避けたい，という意図を含意する仮定条件文について，近畿の～タラの用法拡大に代表されるような変化が条件表現全体の中でどのように起こっているのかを，分布を通して把握する。	GAJ4-169〈182〉	JG-103
G-049	行ったら〈電話しろ〉	文末が命令表現である仮定条件文について，近畿の～タラの用法拡大に代表されるような変化が条件表現全体の中でどのように起こっているのかを，分布を通して把握する。		JG-104
G-050	行ったら〈終わっていた〉	事実的条件文について，近畿の～タラの用法拡大に代表されるような変化が条件表現全体の中でどのように起こっているのかを，分布を通して把握する。	GAJ4-170〈184〉	JG-102
G-051	書くなら〈きれいに書いてくれ〉	認識的条件文について，近畿の～タラの用法拡大に代表されるような変化が条件表現全体の中でどのように起こっているのかを，分布を通して把握する。	GAJ3-133〈088〉	JG-105

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図〈質問番号〉	準備調査質問番号
G-052	出したなら〈そろそろ届くはずだ〉	認識的条件文について，過去時制の形式を把握し，近畿の～タラの用法拡大に代表されるような変化が条件表現全体の中でどのように起こっているのかを，分布を通して把握する。		
G-053	あの先生なら〈知っているはずだ〉	近畿の～タラの用法拡大に代表されるような変化が条件表現全体の中でどのように起こっているのかを，分布を通して把握する。		
G-054	高いなら〈買わない〉	形容詞の仮定条件形式を把握する。	GAJ3-144<089>	JG-107
G-055	走っている（継続相）	動作動詞の継続相の分布を把握する。予想語形：ハシッテタ・ハシッテダ・ハシッテラ（東北～関東北部），ハシリヨル・ハシッチョー・ハシットル（西日本）。		JG-109改
G-056	走っていた（継続相・過去）	動作動詞の継続相過去の分布を把握する。予想語形：ハシッテタ・ハシッテダ・ハシッテアッタ・ハシッテタッタ・ハシッテダッタ・ハシッテラッタ（東日本），ハシリヨッタ・ハシッテオッタ・ハシッチョッタ・ハシットッタ（西日本）。		
G-057	走った（過去）	動作動詞の完成相過去形の分布を把握する。予想語形：ハシッテアッタ・ハシッタッタ・ハシッタッケ・ハシルッケ・ハシッケ（東日本）。		
G-058	散っている（継続相）	変化動詞の継続相の分布変化を把握する。	GAJ4-198<231>	JG-110
G-059	散っている（結果相）	変化動詞の結果相の分布変化を把握する。	GAJ4-199<232>	
G-060	（もう少しで）落ちるところだった（将然相・回想）	将然相の回想表現における形式，特にケの分布を確認する。	GAJ4-204<235>	
G-061	読んでしまった（完了）	共通語形ヨンデシマッタとは異なる東京語形ヨンジャッタが，東京を中心に周圏的に拡大しているかどうかを把握する。	GAJ4-205<228>	JG-111
G-062	〈まだ〉食べない・食べていない（未実現相）	未実現相「マダ～動詞否定形」を問う項目である。未実現相はかつてはシナイ形が使用されていたが，明治以降にシテイナイ形の使用が増加した。アスペクト形式の分化が多様な西日本がシテイナイ形，単純な東日本がシナイ形を好む傾向があると予想される。また，東日本ではシナイデイル（シネデラ）形やシナカッタ形が回答される場合もある。		
G-063	もう〈食べたの〉	アスペクト形式と共起する副詞の分布を把握する。		
G-064	食べかける（始動初期）	動作動詞の始動初期アスペクト表現を把握する。		JG-112-a改
G-065	食べかけている（始動遂行）	動作動詞の始動遂行アスペクト表現を把握する。		JG-112-b改

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図<質問番号>	準備調査質問番号
G-066	〈あそこに人が〉いる（存在動詞・非過去・眼前）	有情名詞の存在を表す動詞の現在継続・眼前の分布を把握する。主要なアスペクト形式を作る基本語彙としても重要である。LAJ2-53にすでに調査結果があるが，動詞オルとアスペクト形式ヨル・トル，動詞アルとタール等との相関，ならびに各動詞の衰退との関わりは不明である。また，東北地方のイタの分布域はLAJ2-53より広いが，現状は不明。アル／オル／イタが出ないときは誘導，確認する。予想語形：イル・イタ（東日本），イテル・オル・アル（西日本）。	LAJ2-53<268>改	
G-067	〈近所に物知りのおじいさんが〉いる（存在動詞・非過去・非眼前）	有情名詞の現在の存在・非眼前の分布を把握する。ール・ータ等が回答され，ーテアッタ・ータッタ・ータッケ等は不使用と予想される。予想語形：イタ（東日本），イケ・イルケ（静岡），イタッケ（東日本）。	LAJ2-53<268>改	
G-068	〈近所に物知りのおじいさんが〉いた（存在動詞・過去）	有情名詞の過去の存在・非眼前の分布を把握する。ーテアッタ・ータッタ・ーテタ・ーッタ・ーヨッタ・ータッケ等の語形が予想される。予想語形：イテアッタ（東北北部），イタッタ（東日本），イタ（東日本），イケ・イルケ（静岡），イタケ・イタッケ（東日本），イテタケ（群馬・長野），イテタッタ・イテアッタッケ・イタッタッケ（秋田）。	LAJ2-53<268>改，GAJ4-190・191<225>改	
G-069	いるか（存在動詞・非過去・挨拶）	GAJではあいさつ的な質問文脈で広く確認されたイタ類の分布変化を把握する。	GAJ4-197<230>	JG-113
G-070	いた（存在動詞・過去・体験）	体験性を伴う存在動詞の過去回想の分布変化を把握する。	GAJ4-196<229>改	JG-114改
G-071	行ったなあ（過去・共有体験）	共有の体験性を伴う動作動詞の過去回想の分布変化を把握する。予想語形：イッテアッタ・イッタッタ・イッタッケ・イッタキャ・イッテアッタキャ（東日本），イッケ（静岡）。	GAJ4-188<224>改	JG-115-a
G-072	強かった（形容詞）	他者を描写する形容詞の過去回想の分布変化を把握する。予想語形：ツエガッケ・ツヨイケ・ツエッケ（東日本），ツヨカッタッケ（東日本），ツエクテアッタ・ツエフテアッタ（東北北部）。	GAJ4-194<226>改	JG-116-a
G-073	読むことができない（能力可能）	五段動詞の能力可能否定形の変化を把握する（例：読メレナイの拡大など）。	GAJ4-182<210>	JG-118
G-074	読むことができる（能力可能）	五段動詞の能力可能肯定形の変化を把握する（例：読メレルの拡大など）。	GAJ4-173<211>	JG-119
G-075	読むことができない（状況可能）	五段動詞の状況可能否定形の変化を把握する（例：読メレナイの拡大など）。	GAJ4-183<212>	JG-120
G-076-a	読むことができる（状況可能）	五段動詞の状況可能肯定形の変化を把握する（例：読メレルの拡大など）。	GAJ4-174<213>	JG-121
G-076-b	読むことができる（状況可能・ヨメレルの確認）	特に読メレル（いわゆる「レ足す」形）に注目し，その拡大を把握する。		
G-077	着ることができない（能力可能）	一段動詞の能力可能否定形の変化を把握する（例：着レナイ・着レレナイの拡大など）。	GAJ4-184<214>改	JG-122改
G-078	着ることができる（能力可能）	一段動詞の能力可能肯定形の変化を把握する（例：着レル・着レレルの拡大など）。	GAJ4-175<215>改	JG-123改
G-079	着ることができない（状況可能）	一段動詞の状況可能否定形の変化を把握する（例：着レナイ・着レレナイの拡大など）。	GAJ4-185<216>改	JG-124改
G-080-a	着ることができる（状況可能）	一段動詞の状況可能肯定形の変化を把握する（例：着レル・着レレルの拡大など）。	GAJ4-176<217>改	JG-125改

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図<質問番号>	準備調査 質問番号
G-080-b	着ることができる（状況可能・キレレルの確認）	特に着レレル（いわゆる「レ足す」形）に注目し，その拡大を把握する。		
G-081	読みきれなかった（完遂）	完遂系可能形式を把握する。この形式には地域差があるが，実際の分布は不明である。肯定形より否定形の方が，事前より事後の方が，可能形式が回答されやすい。予想語形：ヨミアゲナカッッタ（岩手・山形），ヨミヘナカッタ（岩手），ヨミタテラレナカッタ（山形），ヨンデスマカッタ・ヨマナイデスンダ（新潟・徳島・香川），ヨミキランカッタ（九州），ヨミダサナカッタ（岩手・大分）。		
G-082	先生だろう	G-082～087は，推量表現の全国的な分布変化を捉えるために設定した項目である。今回の調査ではダロウ系やカモシレナイ系の分布拡大などが予想される。この項目では名詞述語文の推量表現を把握する。	GAJ5-240<170>改	JG-128改
G-083	行くだろう	G-082～087は，推量表現の全国的な分布変化を捉えるために設定した項目である。今回の調査ではダロウ系やカモシレナイ系の分布拡大などが予想される。この項目では，動詞に接続する，最も基本的な推量表現を把握する。	GAJ5-237<165>改	JG-129改
G-084	行くのだろう	G-082～087は，推量表現の全国的な分布変化を捉えるために設定した項目である。今回の調査ではダロウ系やカモシレナイ系の分布拡大などが予想される。この項目では，G-083に対して，「のだ」文の推量表現を把握する。	GAJ5-238<167>改	JG-130改
G-085	行っただろう	G-082～087は，推量表現の全国的な分布変化を捉えるために設定した項目である。今回の調査ではダロウ系やカモシレナイ系の分布拡大などが予想される。この項目では，G-083に対して，過去推量表現を把握する。	GAJ5-239<168>	JG-131改
G-086	行ったのだろう	G-082～087は，推量表現の全国的な分布変化を捉えるために設定した項目である。今回の調査ではダロウ系やカモシレナイ系の分布拡大などが予想される。この項目では，G-085に対して，「のだ」文の過去推量表現（「～たのだろう」に相当）を把握する。	GAJ<169>改	JG-132改
G-087	行かないだろう	G-082～087は，推量表現の全国的な分布変化を捉えるために設定した項目である。この項目では，否定推量表現を把握する。今回の調査ではマイ系の縮小と分析的形式（「否定辞＋推量辞」）の拡大などが予想される。	GAJ<166>改	

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図<質問番号>	準備調査 質問番号
G-088	あるじゃないか	「～じゃないか」という形式の分布はGAJ1-17「行くのではないか」からしか知ることができない。この項目は語形の種類が豊富であるが，近年は関西型形式～ヤンカ・東京型形式～ジャンが広まりつつある。目的のひとつは，この変化を捉えることにある（GAJとの比較）。また，東京型では「（ある）じゃないか」と「（ある）んじゃないか」を同じ種類の形式で表すが，関西型は別の形式で表す。このような形式的な体系性が確認できるように項目を設定している。なお，G-089は形態的に「の＋ではない（か）」や「のだ＋ではない（か）」のように分析できるが，各構成要素にどのような形式を用いるのかを確認するのがG-022「ではない」，G-027「の（は）」，G-028「のだ」である。またG-027はGAJとの比較によって変化が捉えられる。準備調査の結果からは，ガ／ノ／トに収斂していることが予想される。		JG-133
G-089	あるんじゃないか		GAJ1-17<143>改	JG-134
G-090	行こう（意志・独話）	独話としての意志の表現形式を確認し，GAJの結果と比較して経年的考察を行う。また，勧誘表現形式との関係を確認する。	GAJ3-109<065>改	JG-136改
G-091	行こう（意志・対話）	聞き手に対する伝達性をともなった意志表現の分布を把握する。独話の意志表現項目G-090「行こう（意志・独話）」を補完する。		
G-092	行こうよ	勧誘表現形式について，GAJの結果と比較して経年的変化を把握する。また，意志表現形式との関係を確認する。	GAJ5-235<160>改	
G-093	行くまい（否定的意志）	特定の動作に対する否定的意志の表現の分布変化を把握する。	GAJ5-234<159>	JG-138
G-094	行ってはいけない	条件表現形式による禁止表現の分布変化を把握する。	GAJ5-225<153>改	
G-095	行かなければならない	義務表現の分布変化を把握する。義務表現の前件として用いられる条件表現の形式について，条件表現全体の中でどのような変化が起こっているのかを分布を通して把握する。	GAJ5-206・207・208<154>	JG-135
G-096	行ってもらいたい	近畿から拡大していると考えられる～テホシイ類の分布変化を把握する。	GAJ5-231<164>	JG-140
G-097	やる	遠心的方向の授与を表す本動詞を調べる項目である。補助動詞との比較のために設定した。	LAJ2-73<095>改	JG-141-b改
G-098	読んでやる	遠心的方向の授与を表す補助動詞を調べる項目である。本動詞のヤル相当形式が，補助動詞としても使用できるかどうかを確認する。遠心的方向の授与でクレルを用いる方言の中には，補助動詞ではテヤルを用いるところがある。		JG-143
G-099	読んでくれる	求心的方向の授与を表す補助動詞を調べる項目である。求心的方向の授受で，テクレルではなく，テモラウを好む方言もある（九州方言の一部）。		
G-100	読んでもらう	求心的方向の受納を表す補助動詞を調べる項目である。琉球方言は，テモラウ相当形式を持たないため，テクレル相当形式が回答されることが予想される。		

質問番号	項目名	項目のねらい	LAJ・GAJ 集-図<質問番号>	準備調査 質問番号
G-101	殴る・殴られる	同じ事態を表現する場合に，能動文と受動文のいずれを好むかには地域差があるようである（東日本は受動文を好み，西日本（特に九州）は能動文を好む傾向がある）。また，格表現（主体・対象・受身の動作主）の現れ方を，翻訳式ではない方法で見るのにも有効な項目である。		
G-102	噛む・噛まれる			
G-103	つい座ってしまう（自発）	自発形式ル・ラル，サル・ラサルの分布を把握する。		
G-104	持ちましょう：土地の目上に	目上の人に対する動作提供（申し出）表現の分布変化を把握する（GAJのB場面）。	GAJ6-320<260-B>	
G-105	〈自分が〉来る：土地の目上に	話し手を動作主体とした場合の目上の聞き手に対する待遇表現の変化を把握する（GAJのB場面）。	GAJ6-312<259-B>	JG-151
G-106	〈聞き手が〉来るか：土地の目上に	目上の聞き手を動作主体とする待遇表現の変化を把握する（GAJのB場面）。	GAJ6-278・279<250-B>	JG-161
G-107	来い：土地の目上に	目上の聞き手を動作主体とし，その動作を命令する待遇表現の変化を把握する（GAJのB場面）。	GAJ6-300・301・302<255-B>	JG-167
G-108	〈先生が〉来る：近所の知り合いの人に	目上の第三者を動作主体とした中上位場面での待遇表現の分布変化を把握する（GAJのA場面）。		JG-169
G-109	〈先生が〉来る：父親に	目上の第三者を動作主体とした親族内上位場面での待遇表現を把握する。		JG-170
G-110	〈先生が〉来る：親しい友達に	目上の第三者を動作主体とした下位場面での待遇表現を把握する（GAJのO場面）。		JG-168-b改
G-111	〈父親が〉来る：親しい友達に	自分の父親（親族内上位）を動作主体とした下位場面での待遇表現を把握する（GAJのO場面）。		JG-173
G-112	〈友達が〉来る：親しい友達に	下位場面の待遇表現を把握する（GAJのO場面）。		JG-172改
G-113	〈聞き手が〉いるか：父親に	共通語とは異なり，父親に対して尊敬語を用いるのは，その地域が古い形式を用いているというのではなく，それぞれの地域が社会的特性として持つ家族構成・家族制度のありかたが背景にあると考えられる。GAJとその時代の情報（国勢調査データ）をもとにこのことが捉えられるが，その後の社会変動に対して言語はどのようになっているのか。社会変動との関わりの中で言語変化を捉えようとする項目である。	GAJ6-285・286<265>	JG-165
G-114	〈もしもし〉○○でした	広い地域で「○○でした」に相当する形が回答されると予想される。山形がよく知られるが，全国的な分布は未確認であるため，これを把握する。		
G-115	ありがとう：買い物時	感謝の表現を用いる場面の地域差を把握する。	GAJ5-267・268・269・270<241>改	JG-184改
G-116	ありがとう：家庭内		GAJ5-267・268・269・270<241>改	JG-184改
G-117	ではまた	別れの挨拶一般ではなく，「ではまた」の「では」に相当する形式の地域差を把握するための項目である。「では」の地域的バリエーションは豊富であり，また，若い世代も含めて使用頻度の高いものであることから，現時点での地域差を把握しておくことを目的とする。		

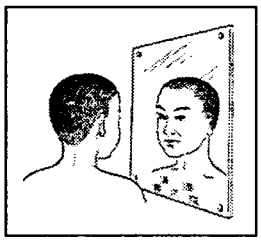
10.3. 全国方言分布調査 調査票付図

調査の際に用いる絵を列挙した。『日本言語地図』(LAJ) や『方言文法全国地図』(GAJ) と重複させた項目では，なるべくもとの絵を用いるようにしたが，絵の自然さ等を考慮して修正を加えたものもある。図に LAJ・GAJ と示したものはもとのままである。「改」としたものは改訂を加えたものである。

LAJ の際は，当時の所員のほかに画家の伊能洋氏（現在，美術研究所伊能アトリエ主宰）が描画を担当していた。今回の全国方言分布調査でも伊能氏に引き続き新たな絵の描画を描いてもらうことができた。このことで全体の絵のタッチの統一をとることができた。余談ながら，伊能氏は大日本沿海輿全図で知られる伊能忠敬の子孫である。

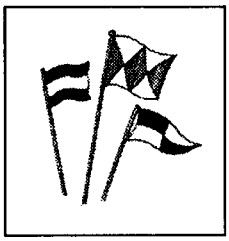
そのほか，G-101 と G-102 は共同研究者の日高水穂氏によるものである。

P-1 (LAJ)

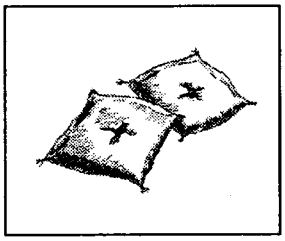


P-2

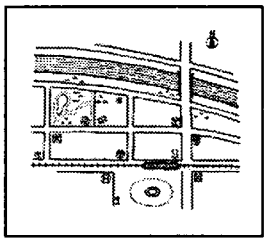
P-4



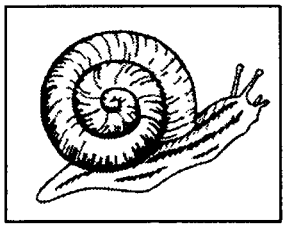
P-5



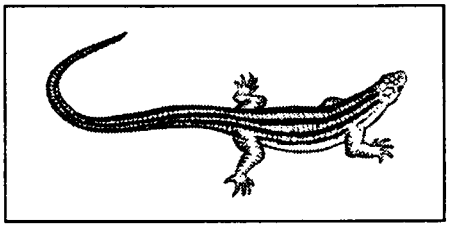
P-7



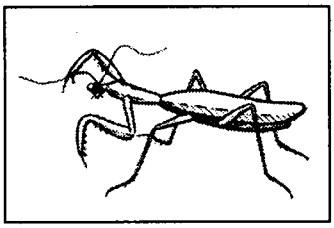
L-01 (LAJ)



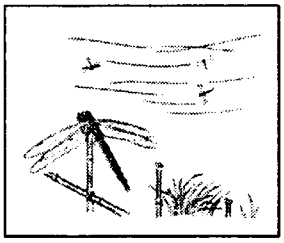
L-02 (LAJ)



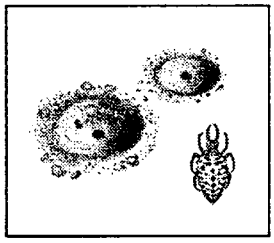
L-03 (LAJ)



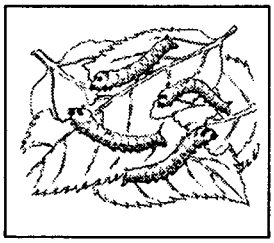
L-04(LAJ)



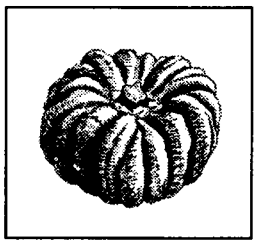
L-05



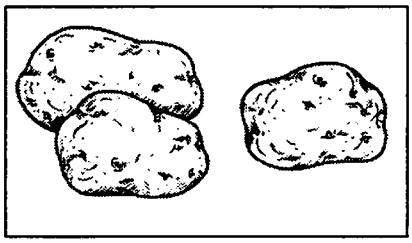
L-06



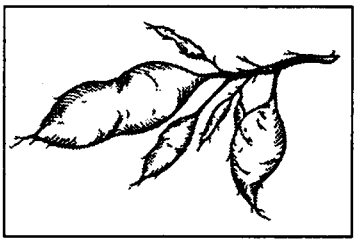
L-11(LAJ 改)



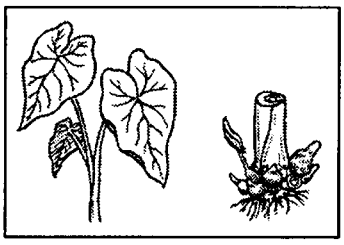
L-12(LAJ)



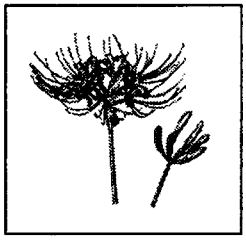
L-13(LAJ)



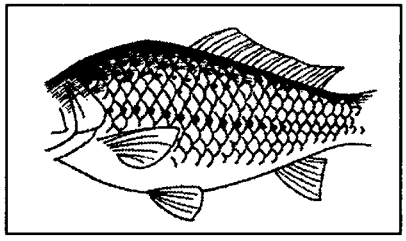
L-14(LAJ)



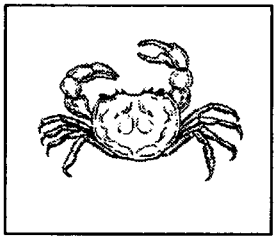
L-16-a



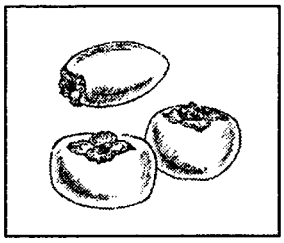
L-20(LAJ)



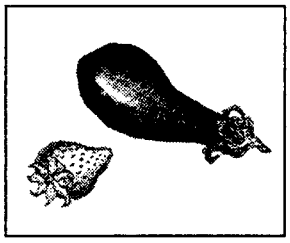
L-21



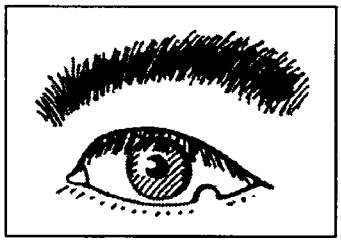
L-22



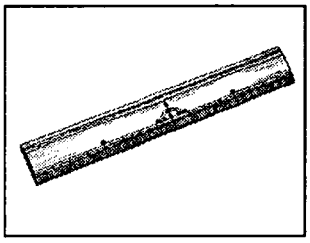
L-23



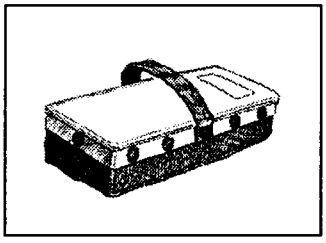
L-26-a(LAJ)



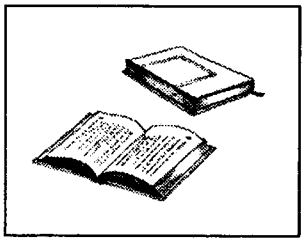
L-27



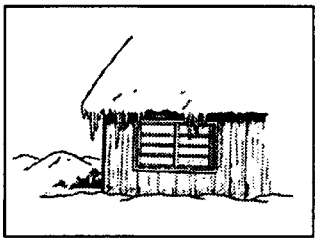
L-28



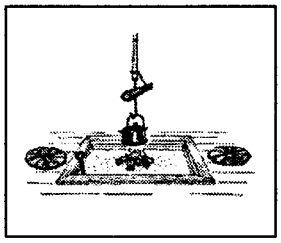
L-29



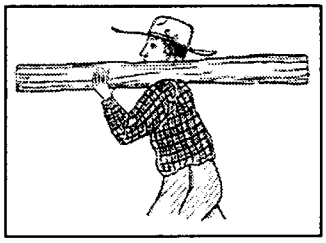
L-33(LAJ)



L-36-a

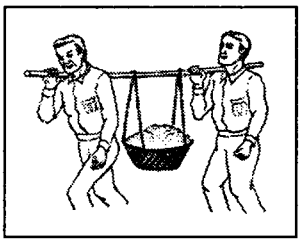


L-48(LAJ)

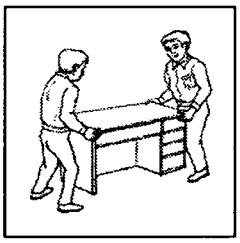


L-49(LAJ)

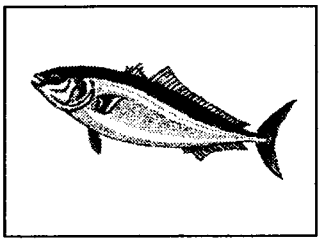
L-50(LAJ 改)



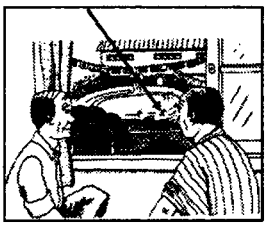
L-51



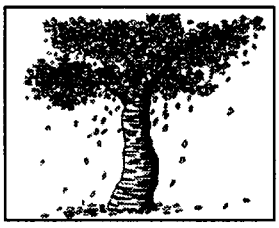
L-76



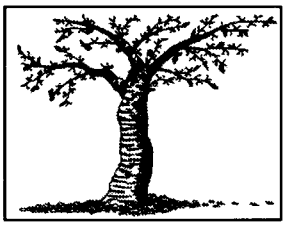
G-055(GAJ 改)



G-058(GAJ)

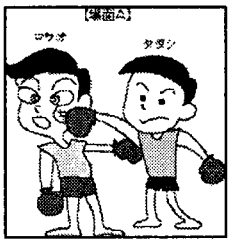


G-059(GAJ)

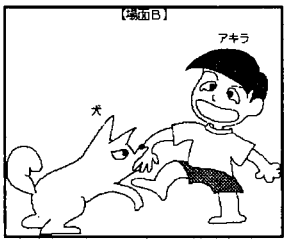


G-060(GAJ)

G-101



G-102



10.4. 全国方言分布調査 調査の手引き

以下には，冊子『全国方言分布調査 調査の手引き』をもとのまま再録した

『全国方言分布調査 調査の手引き』

この『全国方言分布調査 調査の手引き』は，共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」（以下「方言分布プロジェクト」）で全国調査（以下「本調査」）を実施するための手引きである。『全国方言分布調査 調査票』にも本冊子の抜粋を転載している。調査全体の目標・調査項目選定の経緯等については，『全国方言分布調査 調査票』付録の解説を参照のこと。

1. 事前の準備

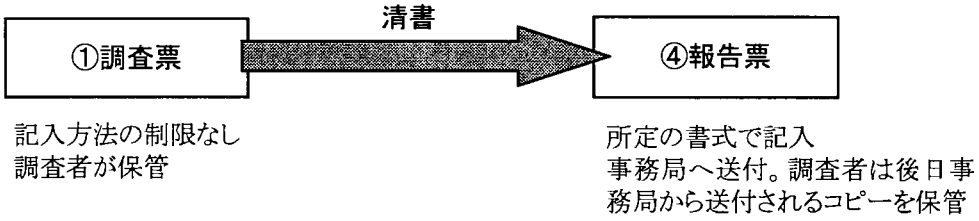
1.1. 調査票など

「方言分布プロジェクト」の本調査で用いる関連資料は以下の通りである。

①『全国方言分布調査 調査票』（以下「調査票」）
②『全国方言分布調査 調査の手引き』（以下「調査の手引き」）（本冊子）
③『全国方言分布調査 調査票付図』（以下「調査票付図」）
④『全国方言分布調査 報告票』（以下「報告票」）

調査結果には，①調査票と④報告票の二つの段階のものがある。調査票は，調査時に現場で記入するためのものであり，記入方法に関する特段のきまりはない。一方，報告票は，調査票の記載内容を，一定の手続きに従って清書し，提出するためものである。

本冊子（②調査の手引き）は，調査から報告までの一連の作業を行うための手引きである。③調査表付図は，調査時に調査項目で「(絵)」として使用が指示されている場合に，話者に絵を提示するために用いるものである。



1.2. 話者の条件

対象となる話者の条件は，以下の通りである。

(1) 生年

- 1940(昭和15)年3月31日までに生まれた人とする。
- 余人をもって代えがたい場合は，1950(昭和25)年生まれまでは許容する。
  （目安…原則70代以上。余人をもって代えがたい場合は，60代でも可）

(2) 性別　男女は問わない。

(3) 生育歴・居住歴

- 生え抜きを基本とする。ここで言う「生え抜き」とは，言語形成期（原則として15歳まで）に移住のない者である。
- 言語形成期（15歳まで）以降，すなわち16歳以降の移住は，通算10年以内におさまるならば可とする。
- 同一市区町村（いわゆる平成大合併以前の行政界）内での移動は移住と見なさない。
- 同一市区町村内でも方言区画が大きく異なる等のケースについては，方言学的知見に基づき各調査者が判断する。
- 疎開など，一時的な移動については移住とみなさない。本宅がある場合や，季節労働については移動とみなさない。

(4) 職歴　特に問わない。

(5) その他

- 調査の目的にかなう話者を選定する（地域コミュニティに属していて，くだけた場面で方言形が出る話者）。
- 都市部での話者選定は特に注意する。話者自身のインフォーマントとしてのイメージ（「自分は方言をほとんど話していない」「自分は方言話者である」など）があるだろうが，最終的には調査者が話者の適切性を判断する。

1.3. 調査地点

(1) 地点の選定

- 各都道府県別に用意した「LAJ・GAJ 調査地点図」を参考に，分布の経年比較という研究の目的を考慮しながら地点の偏りなどに留意しつつ決定する。
- 方言区画，人口，主要幹線道路，自然，歴史，近世の藩界・郡界，旧国境，明治以降の行政区画等を考慮し，共同研究者の地域担当者が選定する。
- １地点の話者は１名とする。

資料１・『日本言語地図』の地点選出方法

国立国語研究所(1966)
『日本言語地図解説—方法—』
pp.22-23

4. 調査地点の選定

調査地点の総数については，次のように考えた。理想的には，多いに越したことはない。しかし人の力には限界がある。１名の調査者が，本務のかたわらに調査できる地点数は，１か年10地点が限度であろう。広大な地域を分担する地方研究員のことも考えねばならない。費用の制約もある。１か年の調査地点の総数は，300地点前後と考えられる。

一方，言語地図一般に要求される地点密度ということがある。あまりまばらでは話にならない。そこで，世界の主要言語地図数種と比較して，日本の面積・人口を考え，全計画で2,000地点程度はぜひ必要ということになった。この調査が，最初７か年の計画で出発した根拠である。その後，費用などの関係からか，８か年の計画に変更され，また，沖縄が調査地域に加わったこと，地方言語研究室員による調査地点が加算されたこと，などによって，調査地点の総計は，2,400となった。*

調査地点の選定について，前期５か年の計画と，後期３か年の計画とでは，基準が違う。前期では，言語的に特色ある地点を選ぶことをむしろ避けて，全地域に満遍なく地点をばらまくことを考えたのに対して，後期計画では，逆に，言語的・社会的に特色ある地点を選ぶことに重点をおいた。全国の分布地図を作るにあたって，日本語の現状をまず知るために，偏りを避けようとしたことが，第１の理由であり，そうかといって，特色ある地点についての情報を洩らすことも適当でないと考えたことが，第２の理由である。

調査地点の候補は，次の材料をもととして選んだ。

(1) 地方研究員からの提案——調査項目のところでも述べたが，1955年，地方研究員に対して，調査地点の数と選び方について意見を求めた。また，1960年・61年にも，後期調査に際しての候補地点を求めた。

(2) その他——

a. 建設省地理調査所・総理府統計局「人口分布図」(昭和31年３月発行)

b. ５万分の１地形図ほかの各種地図

c. 地方史，交通史関係の文献

以上の資料をもとにして，具体的な調査予定地点をしぼった。

(1) 前期調査——この期間には，主として，全国に満遍なく選ぶことを考えた（目標は1,500地点）。そのため，まず「人口分布図」が参考となった。人口の集中している所には，できるだけ地点を選ぶ。一方，各種地図を利用して，自然環境(たとえば川筋)にも留意した。地方研究員の意見も大いに参照した。しかし研究員によって20地点の候補を挙げた人もあれば，300地点に及ぶ候補

* ただし，調査項目の中には，前に述べた通り，全地点で調査せず，途中で追加したり，打ち切ったりした項目がある。すなわち，285すべての項目について，2,400地点での調査をしたわけではない。

また，後期計画では，地域によって調査したり，調査しなかったりした項目があったため，それぞれの項目について，何地点での調査が行なわれたか正確な数字はいま出しえないが，285項目の概略は，次の通りである。

2,400地点で調査した項目		128
約2,000	〃	36（途中で地域的に打ち切ったもの）
約1,700	〃	55（途中で打ち切ったもの）
約1,000	〃	62（途中で打ち切ったもの，および途中で追加したもの）
約 400	〃	4（途中で追加し，しかも打ち切ったもの）

なぜ，すべての調査項目について，全地点調査しなかったかについては，調査項目の選定の項を参照のこと。

を挙げた人もあったため，全面的に採用することはできなかった。かくて，1957年初頭にあたり，1,485の前期調査地点がきまった。島—沖縄を除く—については，人口・集落数による一定の基準から，全国で50の島を選び，さらにその規模によって各島の地点数を決定した（1,485の中に含まれる）。そして地方研究員の各担当地域ごとに，分類した表が作られた。

(2) 後期計画——この期間には，音韻的・社会的な観点を重視して候補を選んだ。目標は700地点とした。前期計画で1,665地点が終わったこともあり，1地点あたりの調査費用もかさむようになったので，毎年の調査地点総数は，230ほどと見た。資料としたものは，地方研究員から寄せられた重要地点に関する意見と，各種の文献によって知ることのできる，古代から近世に至る地方文化の中心地や，陸上・水上の交通の要衝などである。もっとも，後期計画にはいって，新しい調査項目が加わるために，一面，機械的な基準によって，全国に，満遍なくばらまくことも必要であった。

1962年初頭にあたり，全国的視野のもとに，683の後期調査予定地点が決定し，前期計画と同様に表が作られた。このうち，172地点は，ぜひそこで調査したい地点である。

(3) 沖縄——沖縄に関しては，第2年度から，新たに調査に加わった点と，地域の特性（島ごとに，はなはだしくことばが違う）とを考えて，1958年初頭に全計画の調査予定地点60を決定した。したがって，沖縄に関しては，前期計画，後期計画の違いは関係がない。

5. 調査地点の決定

地方研究員委託分に関しては，配布された候補地点の表を参照して，研究員が具体的に決定することとした。原則として，候補地点の中から選ぶことになっているが，かならずしも候補地点で調査しなくてもよく，付近に適当な地点を選べばよい。

前期5か年は，直線距離で5km以下の移動を認めた。さらに，具体的な決定に当たって，次の5つの注意点を示した。

a．社会構造，産業形態などの点で，いちじるしく変わっているところは避ける。

b．新開地など，移入者の多いところは，被調査者を得にくいから避ける。

c．市街地は，ことさら避けるべきでない。

d．音韻的に珍しいところばかり選んではならない。

e．隣島内に候補地点のあるものは，その島内で調査すること。他の島や本土に移したりしない。

すべて，前期計画の目的に沿った注意である。

後期計画では，予定地点683のうち，172地点については，かならず指定の候補地点で調査するよう依頼した。それらの地点が，そこでぜひ調査したい，音韻的・社会的な特色を持つからである。残りの511地点については，都合によっては，直線距離で3km以下の移動を認めた。

前期計画の5kmを3kmにしたのは，①後期計画には，できるだけそこで調査したい地点が含まれること，②大幅な移動を認めると，前期計画で調査ずみの地点とのバランスが乱れることを考慮したからである。

かくて，8か年で，地方研究員分担の2,189地点が，61名の地方研究員によって具体的に選ばれ，調査が実行された。

研究室員分担の調査は，その都度計画され，実行された。これらの調査は，原則として，計画当初に立案された候補地点とは関係がない。ただし，例外として，ある年度，ある地方の地方研究員が，調査に参加できなかったため，研究室員が代わって調査した所がいくつかある。

研究室員分担の調査地点は，次の観点から選んだ。

(1) 全国にできるだけ満遍なく選ぶ——全国各地の音韻生態を目にし耳にしておき，室員による音声学的な資料を得ておくためである。

(2) 地方研究員委託分の欠を補う——計画当初の立案は，その後の情報によって，多少補強する必要があった。それを，全体のバランスの中で補った。

かくて，8か年で，研究室員による211地点（全地点の8.8%）が，具体的に選ばれ，調査が実行された。

(2) 地点数

・ 本調査における目標地点数は500地点である。

・ 各都道府県の目標地点数は，以下の算出式の値を参考に決定している。

目標地点数 ＝ 『方言文法全国地図』(GAJ)の地点数 × 5/8
もしくは
『日本言語地図』(LAJ)の地点数 × 5/24

※GAJの総地点数は807地点，LAJの総地点数は2400地点

資料２・都道府県別目標地点数一覧

都道府県	目標地点数	算出式1 GAJ×5/8	算出式2 LAJ×5/24	GAJ調査地点数	LAJ調査地点数
北海道	19	21	17	34	83
青森県	15	15	15	24	74
岩手県	20	21	20	33	94
宮城県	10	10	12	16	57
秋田県	16	16	16	25	75
山形県	11	13	11	21	54
福島県	17	19	17	30	80
茨城県	9	9	10	15	49
栃木県	9	9	9	15	43
群馬県	9	9	9	15	41
埼玉県	6	6	6	9	31
千葉県	9	8	10	12	49
東京都	8	8	7	12	34
神奈川県	5	4	5	7	23
新潟県	19	19	19	30	91
富山県	7	7	6	11	31
石川県	8	8	9	13	43
福井県	6	6	7	10	33
山梨県	6	6	6	9	29
長野県	18	18	16	29	78
岐阜県	14	14	13	22	61
静岡県	13	13	13	21	64
愛知県	10	10	9	16	45
三重県	11	10	11	16	52

都道府県	目標地点数	算出式1 GAJ×5/8	算出式2 LAJ×5/24	GAJ調査地点数	LAJ調査地点数
滋賀県	6	6	6	9	31
京都府	8	8	8	12	36
大阪府	5	4	4	6	19
兵庫県	15	14	15	22	71
奈良県	6	6	5	9	23
和歌山県	9	8	9	13	42
鳥取県	6	6	6	10	30
島根県	12	12	12	19	57
岡山県	12	11	12	18	57
広島県	14	14	14	22	67
山口県	10	9	12	15	59
徳島県	7	6	7	10	32
香川県	5	4	5	7	22
愛媛県	10	10	10	16	50
高知県	10	9	11	15	52
福岡県	9	8	9	12	44
佐賀県	4	4	4	6	20
長崎県	14	14	13	22	64
熊本県	11	11	11	18	54
大分県	11	9	11	15	53
宮崎県	12	12	11	19	55
鹿児島県	21	24	19	38	91
沖縄県	34	20	13	32	60
計	526	508	500	810	2403

2. 調査にあたって

2.1. 録音

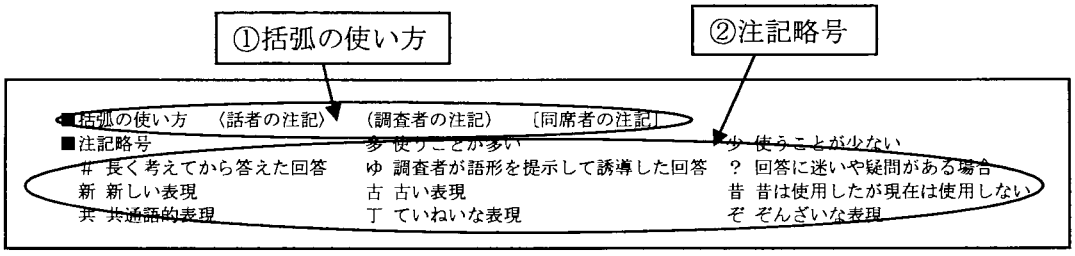
- 調査時には録音することを原則とし，調査者の回答確認等に利用する。
- 録音データの提出は求めない。調査者の元で保管するに留める。

2.2. 調査票の記入について

- 調査票には，報告票に記載すべき内容を漏らさず記入することが重要である。
- あとから見直す場合や，清書時の誤りを減らすために，調査票の記入においても，ある程度，報告票を念頭に記入することが望ましい（→「3. 報告にあたって」参照)。
- 話者自身が使う，もしくはかつて使用した語形を記録する。話者が使わない語形に関する情報は，注記として記録する。
- 話者が「現在使う」と「かつて使った」は異なるが，峻別が困難なことが多い。話者が特段に区別して情報を提供しない限りは，これらを分けなくてよい。
- 調査結果（回答）は，調査票の各項目の下の空スペースに直接書き込む。選択肢の場合には，該当する回答を囲む。
- 筆記用具は，各調査者が使い慣れているもので構わない。
- 調査票の提出は求めない。調査者の手元に保管すること。

2.3. 調査項目の見方等

(1) 各ページ上部の表示



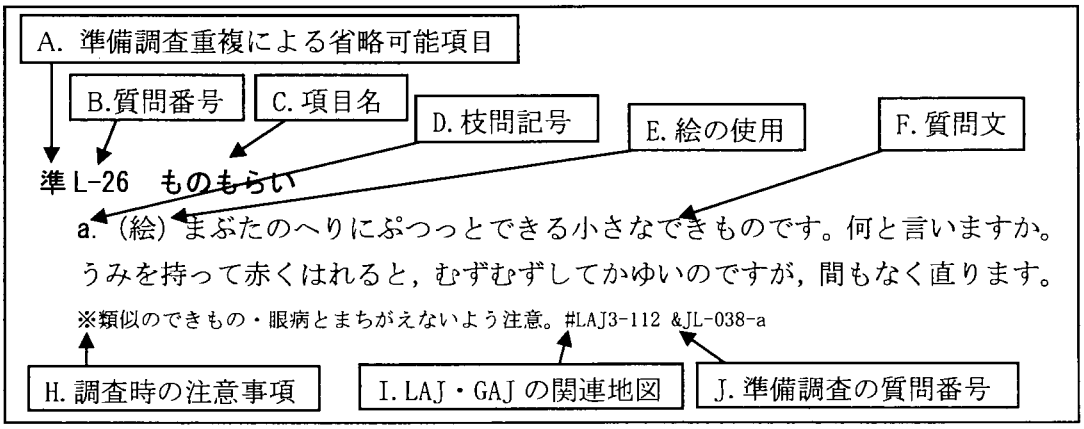
① **括弧の使い方**：「誰による情報か」を区別する括弧の種類（→3. 6. 参照）

② **注記略号**： 頻度の高い注記の略号（→「3. 6. (1)語形に対する注記」参照）

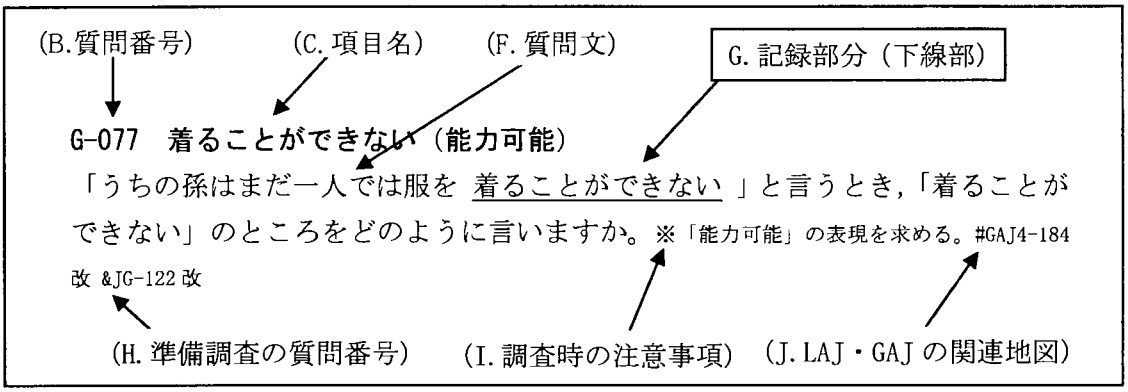
(2) 各調査項目の表示

各調査項目は，以下のような書式からなる。

■語彙項目の例



■文法項目の例



A. **準備調査重複による省略可能項目**：　「準」が付いた項目は，**準備調査で同一地点，同一話者に調査をする場合に限り**，調査を省略しても構わない（ほぼ同一条件で調査をすませているため）。（→「3.6.(2)注記の記載方法」参照）

B. **質問番号**：　音韻項目(P-数字1桁)，語彙項目(L-数字2桁)，文法項目(G-数字3桁)

C. **項目名**：　音韻項目では基本的に「漢字（かな）：分類」
語彙項目では基本的に「かな（漢字）：分類」
文法項目では基本的に「項目〈補足〉（分類）」
のように記載している。『調査票』付録の「項目の分類一覧」も参照。

D. **枝問記号**：　一つの項目が複数の下位項目に分かれる場合にa, b, c…で表示。

E. **絵の使用**：　調査時に『全国方言分布調査 調査票付図』を使うことの指示。

F. **質問文**：　調査時に読み上げる質問文。〔　〕で囲まれた語は，別の項目で得られた方言語形に置き換えてたずねる。音韻・語彙・文法項目のそれぞれの最初にある【調査を始める前に】に注意すること。

G. **記録部分**：　文法項目においては，下線部に該当する部分を記録する。

H. **調査時の注意事項**：　「※～」がある場合には，調査をする際に注意すること。

I. **LAJ・GAJの関連地図**：　例にあげた「#LAJ3-112」は，「LAJ第3集112図」が関連地図であることを示す。LAJ・GAJから質問を改変している場合は「改」がつく。

J. **準備調査の質問番号**：　例にあげた「&JL-038-a」は，準備調査の「語彙項目第38番の枝問項目 a」が関連項目であることを示す。準備調査から質問を改変している場合は「改」がつく。

・　各調査項目の間にも，「活用（動詞・意志形）」「可能表現」等の分類が示されることがある。

・　調査項目は分類に従い，ある程度のまとまりを持ちながら配列している。その分類の変わるときなどに，「次は，植物や食べ物などの言い方について教えてください。」といった，話者に対して読み上げる説明文が書かれていることがある。

2.4. フェイスシートの記載方法

- 調査現場で話者に必要事項を尋ねて書き込む。
- 職歴欄は，回答をもとに判断し，選択肢から適宜選ぶ。
- 居住歴欄は，「**○歳～○歳　○○○（地名）**」という方式で，０歳から現在まで全て記す。
- 生育地が現住地と異なるとともに，調査者において地図上におくべきポイント(→「2.6. 話者ポイントについて」参照)が生育地であると判断される場合には，生育地の住所をできるだけ詳しく聞き出して，居住歴欄に記載する(現在の住居表示に従うことが望ましいが，旧地名でも構わない。地図上の指示や，地理的な手がかり等でもよいので，場所が特定できるように確実に記録すること)。
- 備考欄には地点の旧小字名や，同席者の情報などを記入する。話者の言語的な特徴については，フェイスシートではなく，調査票の次のページの「**話者の特徴・方言的特徴の特記事項**」欄（→2.5.参照）に記入する。
- 同席者の回答や情報を記録した場合には，最低限，同席者の「氏名（よみがな)」「生年」「性別」「経歴（生育地など)」「話者との関係」を必ず記入すること。
- 調査終了後，調査票の内容を整理して，報告票の各欄に転記する。（→「3.2.フェイスシートの報告方法」参照)
- 最終的には個人が特定できない範囲でデータ化するものとし，支障があると判断される場合には無理に聞き出す必要はないものとする。

2.5. 「話者の特徴・方言的特徴の特記事項」欄について

- 話者の発音や話し方，当該地域の方言の特徴など，その地点での調査全体に関係する注記がある場合は，この欄に記す。
- 話者の属性に関する特徴は，この欄ではなく，フェイスシートの備考欄に記入する。
- 調査終了後，調査票の内容を整理して，報告票に記入する。（→「3.3.「話者の特徴・方言的特徴の特記事項」の報告方法」参照)

2.6. 話者ポイントについて

- 「話者ポイント」とは調査地点として扱われる場所，地図上では記号を置く場所である。
- 話者ポイントは，生育地を原則とする。生育地の確認が困難な場合は最長居住地とする。最長居住地の確認も困難な場合は現住地とする。
- 話者ポイントは経度緯度の数値で指定する。緯度経度の測定は以下のいずれかの方法を用いる。

① GPSの利用

- GPSの利用が可能な調査者は，話者ポイントをGPSで測定する。
- 測定は人工衛星利用の専用GPS 装置で行う。携帯電話・PHSのGPS機能は誤差が大きいので不可。
- 度分秒の単位で報告する。GPSが度単位で表示されている場合があるので注意すること。小数点以下を「分」「秒」と誤らないこと。
- 「秒」の値の小数点以下は，四捨五入すること。
- GPSでの測定において，話者ポイントが調査場所の現住地ではない生育地であると判断された場合，できる限り話者の生育地に行き，GPSで測定する。不可能な場合は，生育地の情報（住所，地図上の指示，地理的な手がかり等）を確実に記録し，次の②③の手段で確認する。

② 国土地理院ウェブサイトの利用

- 話者ポイントを GPS で測定しない場合には，国土地理院の「地図閲覧サービス（ウォッちず)」(http://watchizu.gsi.go.jp/) により，２万５千分の１地形図から経度緯度情報を取得し，報告する。

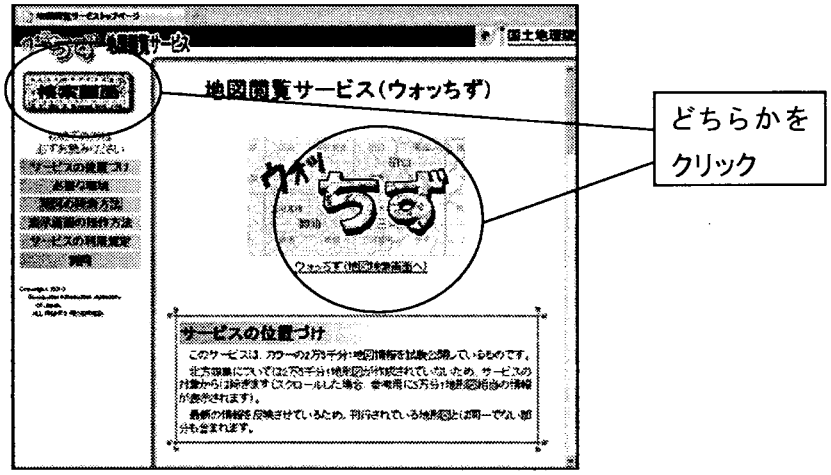
③ ２万５千分の１地形図の利用

- 「地図閲覧サービス（ウォッちず)」の利用が出来ない場合には，国土地理院の２万５千分の１地形図に地点を×で記入して，事務局に送付する。

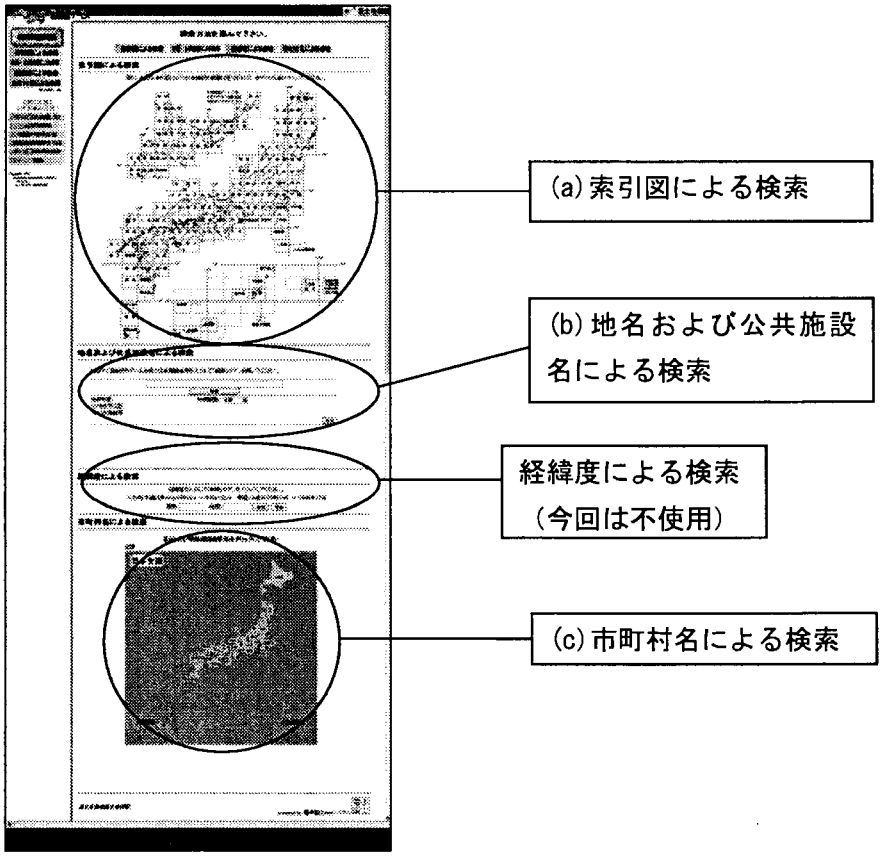
資料３・「地図閲覧サービス（ウォッちず）」の操作について

（例）国立国語研究所（東京都立川市）の緯度・経度を取得する。

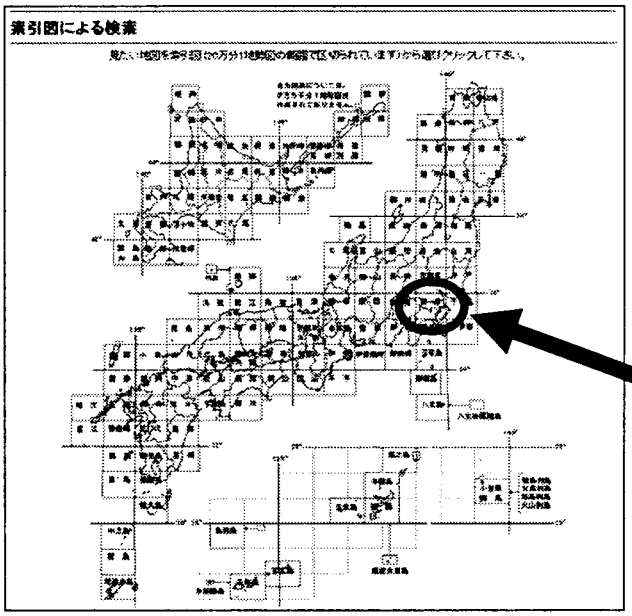
1. http://watchizu.gsi.go.jp/　にアクセスし，メニューの「検索画面」をクリックする。



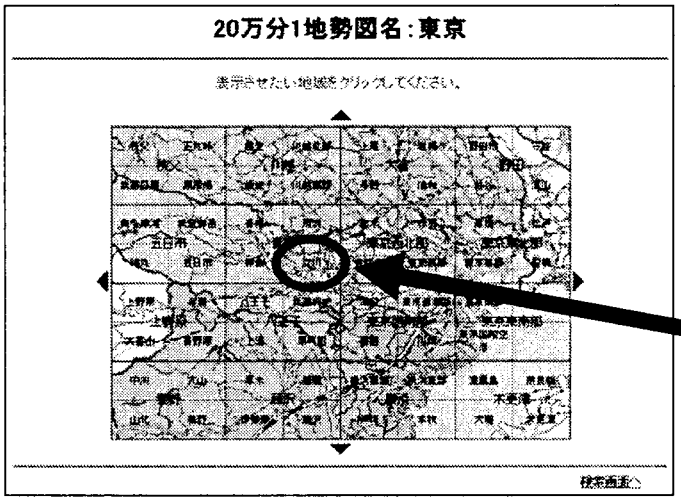
2. 索引図や，地名・公共施設名，経緯度，市町村名などから表示させたい２万５千分の１地形図を選択する。



(a) 索引図による検索



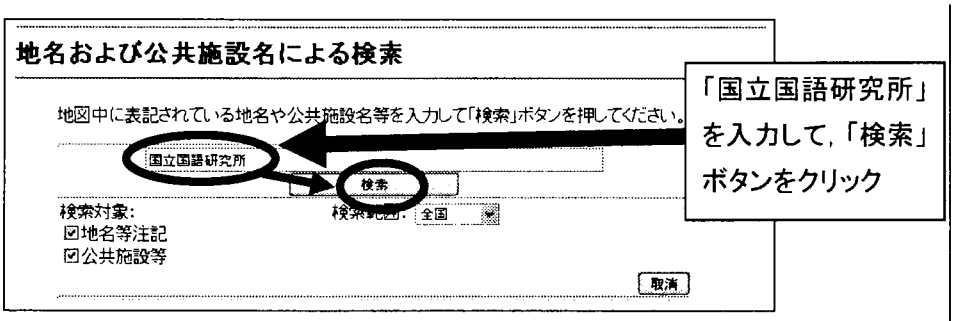
「東京」(20万分の1地勢図の名前)をクリック

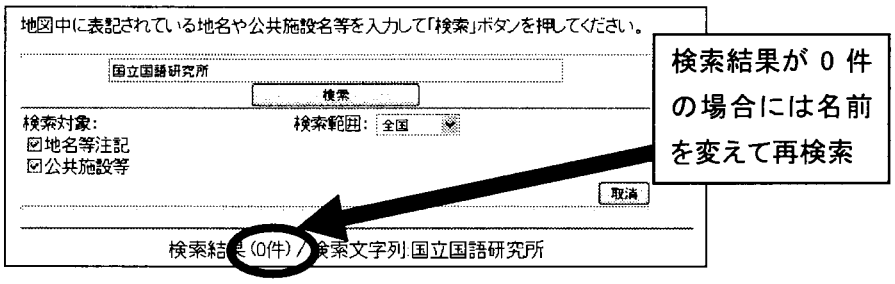


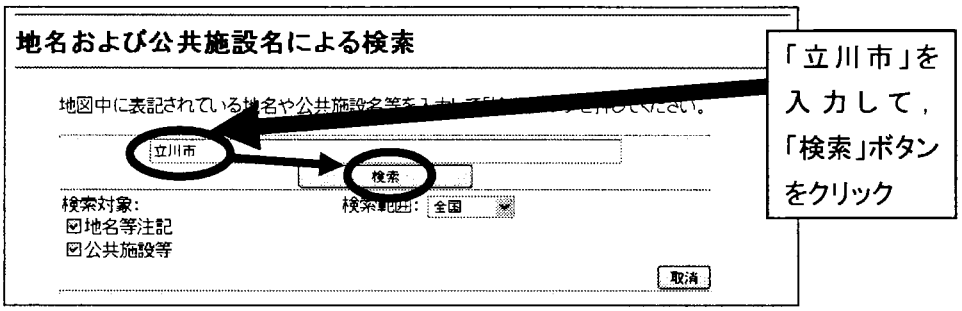
「立川」(2万5千分の1地形図の名前)をクリック

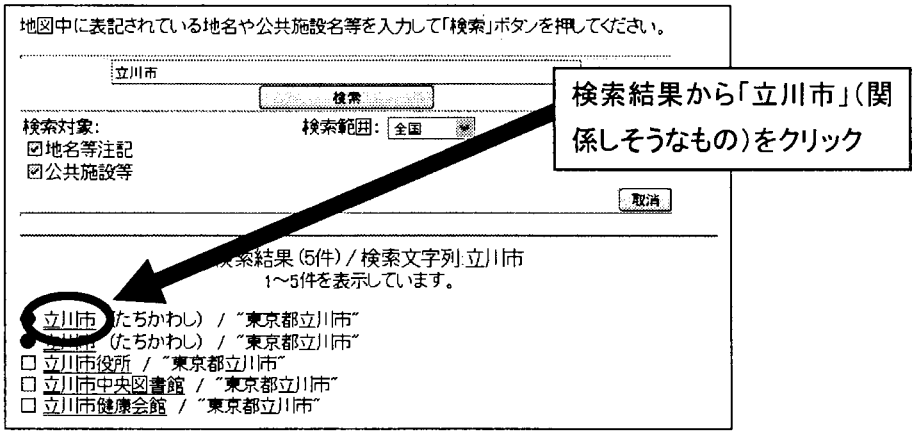
→ 3へ

(b) 地名および公共施設名による検索


地名および公共施設名による検索
地図中に表記されている地名や公共施設名等を入力して「検索」ボタンを押してください。
国立国語研究所
検索
検索対象:
検索範囲: 全国
地名等注記
公共施設等
取消
「国立国語研究所」を入力して,「検索」ボタンをクリック


地図中に表記されている地名や公共施設名等を入力して「検索」ボタンを押してください。
国立国語研究所
検索
検索対象:
検索範囲: 全国
地名等注記
公共施設等
取消
検索結果 (0件) / 検索文字列:国立国語研究所
検索結果が 0 件の場合には名前を変えて再検索

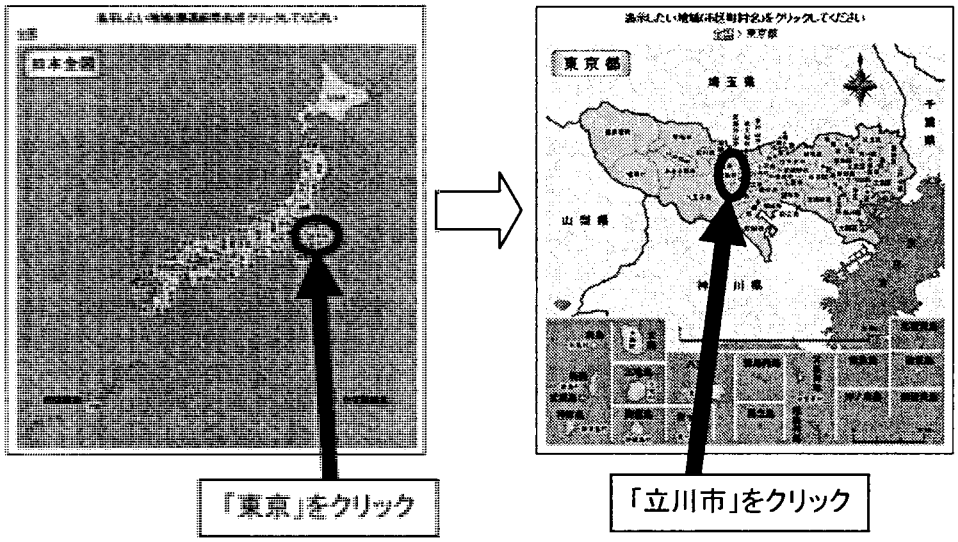

地名および公共施設名による検索
立川市
検索
検索対象:
検索範囲: 全国
地名等注記
公共施設等
取消
「立川市」を入力して,「検索」ボタンをクリック


地図中に表記されている地名や公共施設名等を入力して「検索」ボタンを押してください。
立川市
検索
検索対象:
検索範囲: 全国
地名等注記
公共施設等
取消
検索結果 (5件) / 検索文字列:立川市
1~5件を表示しています。
立川市 (たちかわし) / "東京都立川市"
(たちかわし) / "東京都立川市"
立川市役所 / "東京都立川市"
立川市中央図書館 / "東京都立川市"
立川市健康会館 / "東京都立川市"
検索結果から「立川市」(関係しそうなもの)をクリック

→ 3 へ

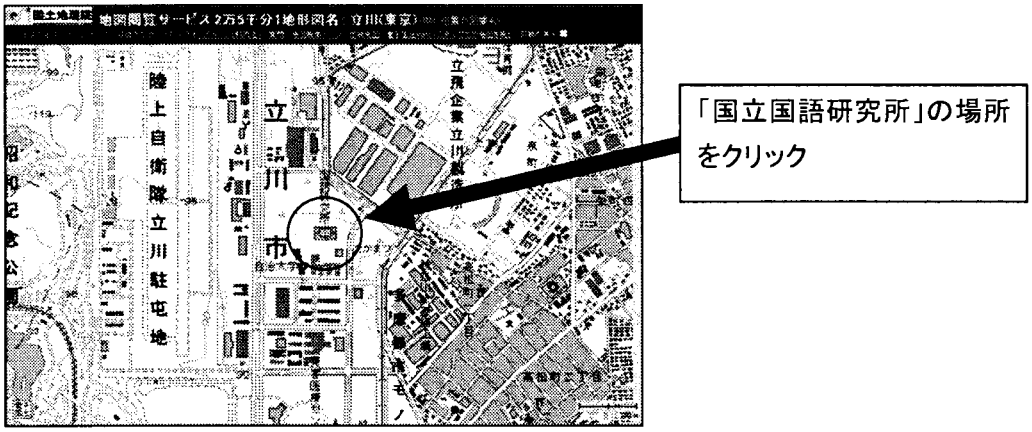
(c) 市町村名による検索

都道府県名・区市町村名から検索する。

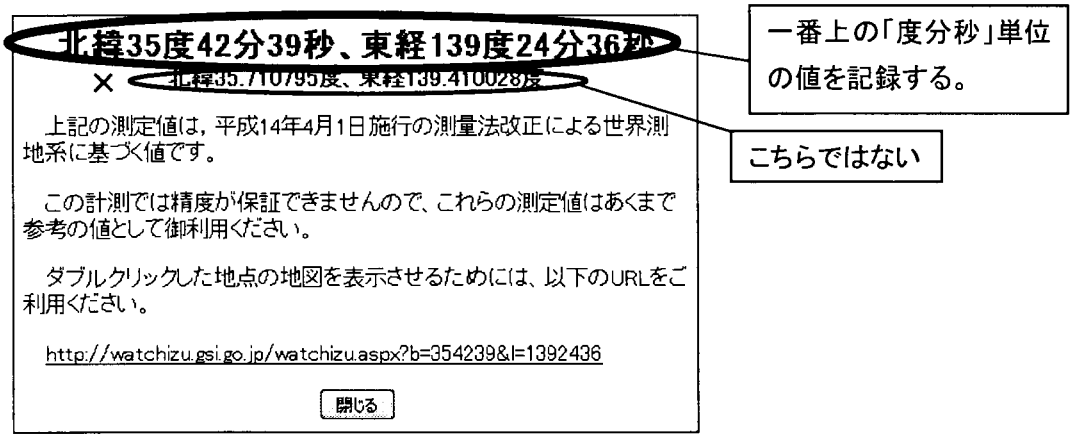


→ 3へ

3. 2万5千分の1地形図の画像が現れたら，マウスでスクロール操作をして，目的の場所を探す。見つけたらその場所をクリックする。



4. 位置情報を記したウィンドウが開くので，その値を記録する。



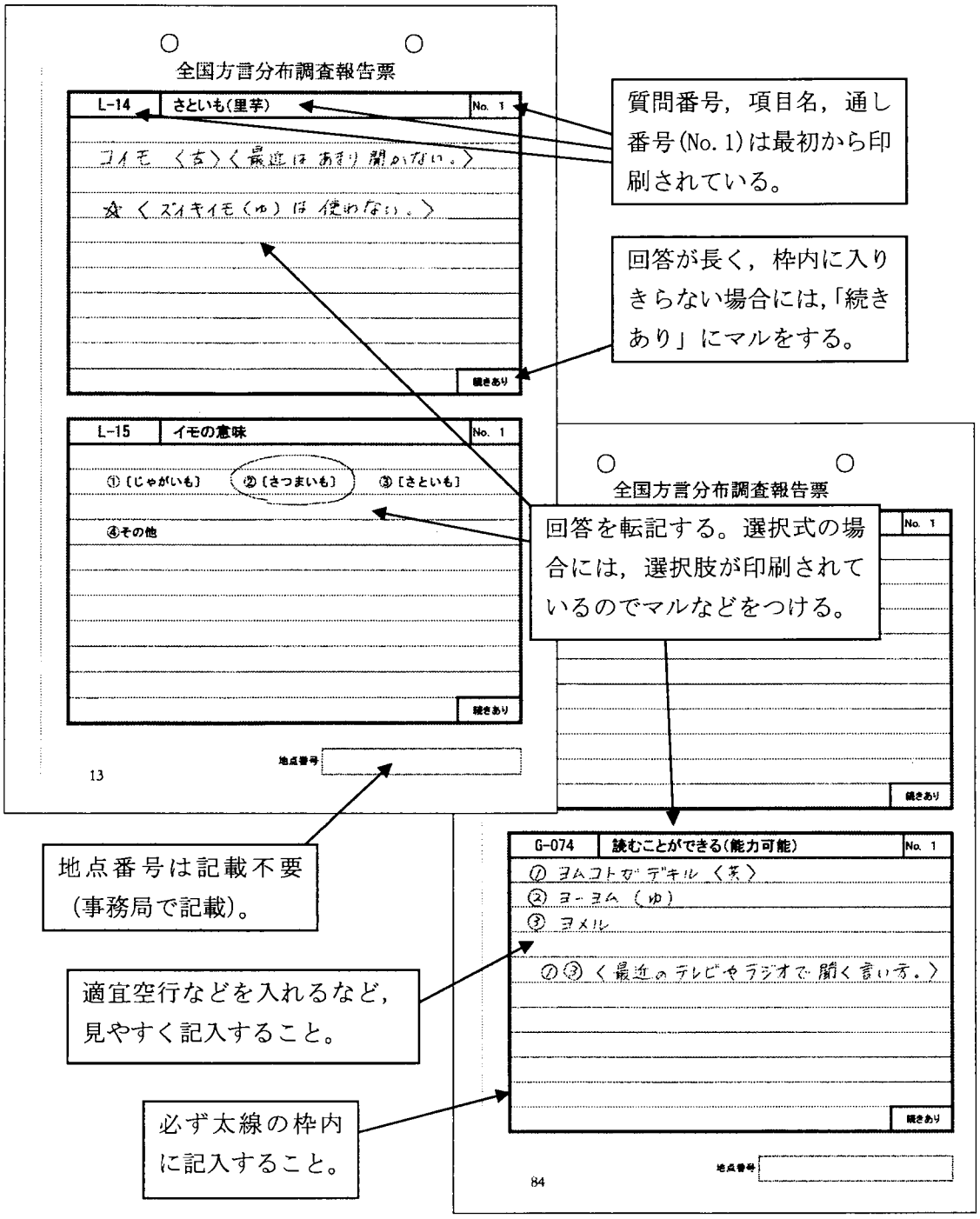
3. 報告にあたって

報告票は，調査時に現場で記入した調査票の内容を，一定の手続きに従って清書し，提出するためものである。

3.1. 報告票の記入について

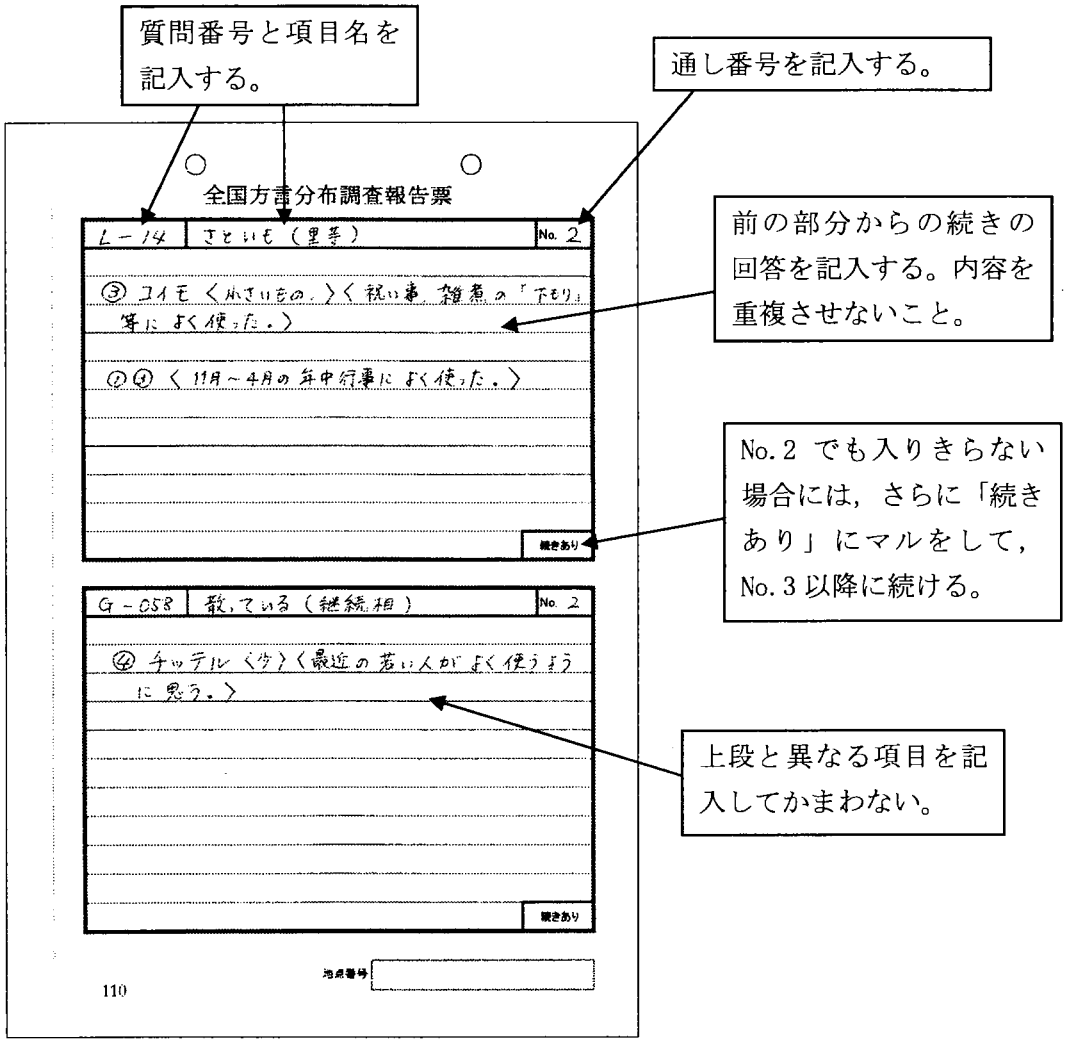
- 単色の黒または青の筆記具を用いる（鉛筆・ボールペン・万年筆等は問わない）。
- 必ず太線の枠の範囲内に記入し，出来る限り罫線に従う。
- 地点番号欄は空欄のままでよい（事務局で記入）。

■報告票の記入例



・ ボールペン・万年筆等の記載の修正にあたっては修正液を用いること（修正テープは使わないこと）。
・ 回答が長く，枠内に入りきらない場合には，「続きあり」をマルで囲んで，巻末にある予備の報告票に続きの回答を記入する。
・ 予備の報告票には，質問番号と項目名を記入し，「No.」の欄にその項目の通し番号をつけ，続きの回答を記入する。

■予備報告票の記入例



3.2. フェイスシートの報告方法

調査票のフェイスシートの各欄から転記する。各項目名・質問文の右上に小さく書いてあるアルファベットは，報告票のフェイスシートの各欄に対応する。

A　**地点番号**：　事務局が記入する。
B-1 **調査者氏名**
B-2 **調査者コード**：　事務局が記入する。
＊C　**話者氏名**：　姓と名を分けて記入する。
＊D　**話者氏名のよみがな**：　ひらがなで記入する。姓と名を分けて記入する。
E　**話者の性別**：　選択肢をマルで囲む。
F-1 **話者の生年月日**：　西暦で記入する。
F-2 **話者の調査時の年齢**：　調査開始日時点の満年齢を記入する。
G-1 **話者ポイントの選択**：　選択肢をマルで囲む。
G-2 **話者ポイントの決定方法**：　選択肢をマルで囲む。
H-1 **話者ポイント(経度)**：　G-2で「2万5千分の1地形図」を選択した場合，事務局が記入する。
H-2 **話者ポイント(緯度)**：　G-2で「2万5千分の1地形図」を選択した場合，事務局が記入する。
＊I-1 **話者(現住地)郵便番号**
I-2 **話者(現住地)住所**：　都道府県・郡(町村の場合)・市区町村を所定の欄内に記入する。
＊J　**話者(現住地)電話番号**：　「○○○○－○○－○○○○」とハイフンを入れる。
K　**話者生育地**
L　**話者最長居住地**
M　**調査開始日**：　西暦で記入する。
N　**所要時間**
O　**話者の居住歴**：　市区町村単位で記入する（→「1.2.(3)生育歴・居住歴」参照)。
P　**話者の職歴**：　選択肢をマルで囲む。複数選択可能。
Q　**出身小学校名**
R　**最終卒業学校**　選択肢をマルで囲む。
S　**父親の出身地**
T　**母親の出身地**
U　**配偶者の出身地**
V　**備考**：同席者がいる場合には，欄内の「同席者情報」欄に，同席者の氏名（よみがな)・生年・性別・経歴（生育地など)・話者との関係を記入する。

- 「調査場所」欄は転記しなくてよい。
- 「＊」の付いた項目は，データベース化されたときには共有化しない。
- 生年月日は年までを共有化する。
- 住所等，場所に関する情報は，原則として市区町村までを共有化する。
- 「備考」欄中の個人情報も共有化しない。
- 個人情報は，調査者・事務局が厳密に管理する。

■フェイスシートの記入例

事務局で記入する。

A	地点番号											B1	調査者氏名	西丘 緑	
C	話者氏名	(姓) 国語					(名) 研一					B2	調査者コード		
D	話者氏名のよみがな	(姓) こくご					(名) けんいち					E	話者の性別	(男) 女	
F1	話者生年月日	1	9	3	2	年		4	月	1	0	日	F2	調査時年齢	7 8 歳
G1	話者ポイントの選択	(生育地)	最長居住地	現住地											
G2	話者ポイントの決定方法	(GPS)	国土地理院ウェブサイト	2万5千分の1地形図											
H1	話者ポイント	東経	1	3	9	度	2	4	分	3	6	秒			
H2		北緯		3	5	度	4	2	分	3	9	秒			
I1	話者郵便番号	〒	1	9	0	—	8	5	6	1					
I2	話者住所	(都道府県) 東京都			(郡)					(市区町村) 立川市					
		緑町10－2													
J	話者電話番号	0	4	2	—	5	4	0	—	4	4	8	5		
K	話者生育地	東京都立川市													
L	話者最長居住地	東京都立川市													
M	調査開始日	2	0	1	0	年		9	月	2	3	日			
N	所要時間		4	時間	1	3	分								

「G-2 話者ポイントの決定方法」が「2 万 5 千分の 1 地形図」の場合には，事務局で記入する。

現住地の情報を記入する。

O	話者の居住歴			
年齢		場所(市区町村)	期間(年数)	目的(学校, 仕事など)
0 歳～	18 歳	立川市	年	
19 歳～	22 歳	千葉県千葉市	4 年	大学に通うため下宿
22 歳～	45 歳 ごろ	立川市	年	
45 歳～ ごろ	47 歳	茨城県水戸市	3 年 くらい	転勤のため
48 歳～	歳	立川市	年	
歳～	歳		年	

多くなる場合には，適宜線を引いて記入する。

S	父親の出身地	東京都新宿区
T	母親の出身地	東京都千代田区
U	配偶者の出身地	東京都北区
V	備考	

旧小字名は緑(みどり)

立川市内での移動はなし

P	職歴	a 農林業　b 漁業　c 商業　d 職人　e 僧侶神官　f 教員 g 公務員　h 議員　(i 会社員)　j 医療　k 専業主婦　(x 無職) y その他:
Q	小学校名	高松国民学校（今の第五小学校）
R	最終卒業学校	小学校　中学校　高校　(大学)　大学院　その他:

※同席者情報 （同席者がいる場合には必ず記載する）

氏名	横田 吉雄		
よみがな	よこた よしお		
生年月	19 33 年 2 月	19 年 月	
性別	(男) 女	男 女	
経歴（生育地など）	北多摩郡村山村、現・武蔵村山市） 移住歴なし		
話者との関係	高校からの友人		

同席者がいる場合には必ず記載する。

3.3. 「話者の特徴・方言的特徴の特記事項」の報告方法

- 話者の発音や話し方，当該地域の方言の特徴など，その地点での調査全体に関係する注記を記入する。調査票の**「話者の特徴・方言的特徴の特記事項」**の欄を整理して転記するほか，調査時に気付いたことをこの欄に記載する。

  ［例］ **語中のガ行子音は基本的にはŋであったが，ɣやgに近く発音されることもあった。報告ではすべてŋ(表記は「カ゜」「キ゜」･･･)で記入した。**

  ※ 話者の属性に関する付加的情報は，フェイスシートの備考欄に記載すること。

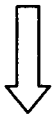
- 同一の文章による注記が，広範囲の項目で使用される場合，この欄に「注１」「注２」･･･と，注番号を付し，まとめて記載する。
- 各項目の回答欄においては，その注番号によって注記を付す。(データベースでは，注番号ではなく，繰り返し同じ注記が反映される)

  ※ **注番号は，必ず「注１」「注２」・・・と，「注＋数値」で付けること。**

  ※ **誰の情報かを表す括弧も付けること。**

・「話者の特徴・方言的特徴の特記事項」欄の記載例

［例］ **注１ （キの部分が口蓋化している）**
注２ 〈終助詞ゾは，友達には使うが，目上の人には使わない。〉



・回答欄における記載例

［例 1］ **キレル[kçïrerü̜]（注１）**

［例 2］ **クル ユートッタゾ〈注２〉**

※回答欄でも，誰の情報かを表す括弧も付けること。

× **キレル[kçïrerü̜]注１** ← 注記の記載方法に注意

× **クル ユートッタゾ(注２)** ← 注記の括弧は必ず同じものにすること

3.4. 語形の報告

(1) 語形の採用基準

採用語形は，以下の基準に従う。

① 話者自身が現在用いる，あるいは過去に使用した語形を採用語形として報告・記載する。話者が使わない語形に関する情報は，注記として報告する。

② 話者が「現在使う」語形と「かつて使った」語形は異なるが，峻別が困難なことが多い。話者が特段に区別して情報を提供しない限りは，これらを分けずに採用する。

③ 文法項目においては質問文中の下線部に対応する回答のみを報告する。

※ 話者の使用・不使用を採用基準とするものであり，意味内容的対応を基準とするものではない。

※ あとから見直す場合や，清書時の誤りを減らすために，調査時においても本冊子の内容を念頭に記入することが望ましい。

(2) 報告票への記入

報告票に記入する際には，以下の原則に従うものとする。

- 併用語形は行を分けて記載し，「①，②，…」という○囲み数字による番号を語形の前に記入する。番号は回答された順番でなくてよい。単用の場合は「①」はつけない。

  ［例］ ① ミーヒン
  ② ミーヘン

- 回答が得られない場合は「ＮＲ」と記載する。「質問項目の指す内容を知らない」などの情報は文章による注記をする。
- 未調査の項目は空欄のままとする。
- 選択肢のある項目では，明確な回答には○，判断に迷いながらの回答には△を記す。

  ［例］(L-15)
  ①〔じゃがいも〕　②〔さつまいも〕　③〔さといも〕
  ④その他＿＿＿＿＿＿＿＿

  ［例］(L-19)
  ①豚肉　②牛肉　③鶏肉
  ④その他＿＿＿＿＿＿＿＿

  ［例］(L-08-b・L-36)
  ① ある　② ない

  ［例］(G-76-b・G-080-b)
  ①a. で回答されたので質問しなかった。　②言わない。
  ③回答語形＿＿＿＿＿＿＿＿

- 語形以外の情報を求める項目では，すべて文章化して記録する。話者の注記〈　〉は使わない。ただし調査者や同席者の注記をあわせて報告する場合は，それらを明示する括弧をつけること。

  ［例］(L-26-a)　藁で縛るまねをする。（この地域以北の県内では一般的である。）

3.5. 報告票における回答の表記方法

(1) 報告票における表記体系

報告票に記入する際には，以下の表記体系を用いる。

① カタカナ表記：　以下で定義するカタカナによる表記。
② 音声表記：　音声記号による表記。
（→「資料４・カタカナ表記と音声表記の対応一覧」
および「(3)カタカナ表記の原則」参照 ）

(2) 表記の原則

報告票に記入する際には，以下の原則に従うものとする。

- **本土方言は，語彙・文法項目はカタカナ表記，音韻項目は音声表記とする。**
- **琉球方言は，すべて音声表記とする。**

- カタカナ表記の際，特徴的な音声が出現する場合には，音声表記を併記する。
- どうしてもカタカナ表記が困難な場合には，該当する回答全体を音声表記で記す。

- カタカナ表記・音声表記ともに，回答形式が 2 文節以上に及ぶ場合は，おおよそ文節ごとに分かち書きをする。空白はポーズを意味しないので，特にポーズがあることを示したい場合は注記する。
  ※　「文節」の判断はおおよそ学校文法に拠るが，分かち書きによって，かえって語句の構造・意味が分かりにくくなる場合は（「～テイル」など），必ずしも従う必要はない。

- その他，必要に応じて，報告票の「**話者の特徴・方言的特徴の特記事項**」の欄に記入する。

(3) カタカナ表記の原則

カタカナ表記は以下の原則に従う。カタカナ表記と音声表記の対応については，後に示す表を参照すること。必要と判断するなら，報告票の「**話者の特徴・方言的特徴の特記事項**」の欄に記すか（→3. 3. 参照），その都度音声表記を併記する。

≪凡例≫

報告用の表記：　【　】

例の示し方：　［例］（共通語形）[音声表記]→　**カタカナ表記**

母音

・［ɛ］：【エ段＋小書きァ】とする。　［例］（出した）[dɛ:ta]→　**デァータ**

・［æ］：【ア段＋小書きェ】とする。　［例］（出した）[dæ:ta]→　**ダェータ**

・［ø］：【エ段＋小書きォ】とする。　［例］（来　い）[kø:]→　**ケォー**

・［œ］：【オ段＋小書きェ】とする。　［例］（来　い）[kœ:]→　**コェー**

・［ɔ］：【オ段＋小書きァ】とする。　［例］（高くなる）[takɔ:narɯ]→　**タコァーナル**

・**狭いエ段音**：　横に【ˬ】の補助記号を付す。

［例］（高い）[takaẹ]→　**タカエ˪**

・**母音の中舌化**：　上側に【 ¨ 】の補助記号を付す。

［例］（走ってる）[hasütterɯ]→　**ハスッテル**

※濁点（ ˚ ）と間違えやすいので，気をつけて書くこと。

・**独立性の弱い母音**：　独立性のある母音と表記仕分けない。必要に応じて音声表記を併記する。

［例］（酒は）[sake^{a}]→　**サケア**

・**二重母音**：　【オウ】【エイ】など。

※長音の場合は【ー】と表記する。現代仮名遣いとは異なるので特に注意すること。

［例］（かぼちゃ）[boɯɸɯra]→　**ボウフラ**

・**母音ウの円唇性による[ɯ][u]の区別**：　表記し分けない。

［例 1］（書く）[kakɯ]→　**カク**

［例 2］（書く）[kaku]→　**カク**

・**母音の無声化**：　無表記とする。必要に応じて音声表記を併記する（次の例 2 参照）。

［例 1］（来た）[ki̥ta]→　**キタ**

［例 2］（来た）[ki̥ta]→　**キタ**[ki̥ta]

子音

・**カ・ガ行合拗音**：　【クァ】【グァ】など。

［例］（食べさせた）[kwaçeta]→　**クァシェタ**

・**ガ行鼻濁音**：　【カ゜】【キ゜】【ク゜】【ケ゜】【コ゜】など。

［例］（雨が）[ameŋa]→　**アメカ゜**

・**ガ行の破裂・摩擦の区別**：　表記し分けない。

［例 1］（起きる）[ovirɯ]→　**オギル**

［例 2］（起きる）[ogirɯ]→　**オギル**

・**ザ行の破擦・摩擦の区別**：　表記し分けない。　**※後述の「四つ仮名」も参照。**

［例 1］（行かなかった）[ikadzatta]→　**イカザッタ**

［例 2］（行かなかった）[ikazatta]→　**イカザッタ**

・**[θ]歯音**：　**【サ】【ソ】**のように，サ行の部分に下線を引く。**※報告票の罫線に注意。**

［例］（足りない）[θaraɴ]→　**サラン**

・**ガ・ダ・ザ・バ行の入りわたり鼻音**：　小書で上付きの**【ᶰ】**

［例］（お手玉）[oteⁿdama]→　**オテᶰダマ**

・**語末閉鎖音**：　**【ッ】**。必要に応じて音声表記を併記する（次の例 2 参照）。

［例 1］（行かなくなる）[ikaŋgoʔ nat]→　**イカンゴッ ナッ**

［例 2］（行かなくなる）[ikaŋgoʔ nat]→　**イカンゴッ ナッ** [ikaŋgoʔ nat]

・**無声子音の有声化**：　有声化した表記とする。必要に応じて音声表記を併記する（次の例 2 参照）。

［例 1］（開けよう）[akᵊeppe]→　**アゲッペ**

［例 2］（開けよう）[akᵊeppe]→　**アゲッペ** [akᵊeppe]

特殊拍

・**促音**：　**【ッ】**　［例］（買った）[katta]→　**カッタ**

・**撥音**：　**【ン】**　［例］（行かなければ）[ikamba]→　**イカンバ**

・**長音**：　**【ー】**　［例］（かぼちゃ）[boːɸɯra]→　**ボーフラ**

※現代仮名遣いとは異なる点に注意する。　→　**前述の二重母音も参照。**

※半長音も**【ー】**とする。必要に応じて音声表記を併記する（次の例 2 参照）。

［例 1］（かぼちゃ）[boˈɸɯra]→　**ボーフラ**

［例 2］（かぼちゃ）[boˈɸɯra]→　**ボーフラ**[boˈɸɯra]

現代仮名遣い関連

・**助詞「は」**：　**【ワ】**　［例］（酒は）[sakewa]→　**サケワ**

・**助詞「へ」**：　**【エ】**　［例］（ここへ）[kokoe]→　**ココエ**

・**助詞「を」**：　**【オ】**　［例］（酒を）[sakeo]→　**サケオ**

・**四つ仮名**：　ジとヂ，ズとヅに音韻上の対立がなければ，**【ジ】【ズ】**に統一する。

［例］（縮む）[tɕiʑimɯ]→　**チジム**

［例］（手作り）[tedzukɯri]→　**テズクリ**

※ 音韻上の対立に基づいて**【ジ】【ヂ】**，**【ズ】【ヅ】**を一貫して表記し分ける場合は，必ず「**話者の特徴・方言的特徴の特記事項**」のページに記す。

［例］　**この話者は四つ仮名の区別がある。区別に基づき，[ʑi] をジ，[zu]をズ，[dʑi]をヂ，[dzu]をヅと表記し分ける。**

※ 音韻上の対立に関わらず，[di][dɯ]は，それぞれ**【ディ】【ドゥ】**で表記する。

その他

・**アクセント・イントネーション**：　記録しない。必要な場合には注記で記す。

資料４・カタカナ表記と音声表記の対応一覧

	a		i		ɯ/u		e		o	
*	a	ア	i	イ	ɯ	ウ	e	エ	o	オ
k	ka	カ	ki	キ	kɯ	ク	ke	ケ	ko	コ
g/ɣ	ga	ガ	gi	ギ	gɯ	グ	ge	ゲ	go	ゴ
ŋ	ŋa	カ゜	ŋi	キ゜	ŋɯ	ク゜	ŋe	ケ゜	ŋo	コ゜
s	sa	サ	si	スィ	sɯ	ス	se	セ	so	ソ
ɕ/ʃ	ɕa	シャ	ɕi	シ	ɕɯ	シュ	ɕe	シェ	ɕo	ショ
dz/z	dza	ザ	dzi	ズィ	dzɯ	ズ	dze	ゼ	dzo	ゾ
dʑ/ʑ/dʒ/ʒ	dʑa	ジャ	dʑi	ジ	dʑɯ	ジュ	dʑe	ジェ	dʑo	ジョ
t	ta	タ	ti	ティ	tɯ	トゥ	te	テ	to	ト
d	da	ダ	di	ディ	dɯ	ドゥ	de	デ	do	ド
ts	tsa	ツァ	tsi	ツィ	tsɯ	ツ	tse	ツェ	tso	ツォ
tɕ/tʃ	tɕa	チャ	tɕi	チ	tɕɯ	チュ	tɕe	チェ	tɕo	チョ
n	na	ナ			nɯ	ヌ	ne	ネ	no	ノ
ɲ	ɲa	ニャ	ɲi	ニ	ɲɯ	ニュ	ɲe	ニェ	ɲo	ニョ
h	ha	ハ					he	ヘ	ho	ホ
ç	ça	ヒャ	çi	ヒ	çɯ	ヒュ	çe	ヒェ	ço	ヒョ
ɸ	ɸa	ファ	ɸi	フィ	ɸɯ	フ	ɸe	フェ	ɸo	フォ
b	ba	バ	bi	ビ	bɯ	ブ	be	ベ	bo	ボ
p	pa	パ	pi	ピ	pɯ	プ	pe	ペ	po	ポ
m	ma	マ	mi	ミ	mɯ	ム	me	メ	mo	モ
ɾ/r	ɾa	ラ	ɾi	リ	ɾɯ	ル	ɾe	レ	ɾo	ロ
j	ja	ヤ			jɯ	ユ	je	イェ	jo	ヨ
kj	kja	キャ			kjɯ	キュ	kje	キェ	kjo	キョ
gj	gja	ギャ			gjɯ	ギュ	gje	ギェ	gjo	ギョ
ŋj	ŋja	キ゜ャ			ŋjɯ	キ゜ュ	ŋje	キ゜ェ	ŋjo	キ゜ョ
bj	bja	ビャ			bjɯ	ビュ	bje	ビェ	bjo	ビョ
pj	pja	ピャ			pjɯ	ピュ	pje	ピェ	pjo	ピョ
mj	mja	ミャ			mjɯ	ミュ	mje	ミェ	mjo	ミョ
ɾj/rj	ɾja	リャ			ɾjɯ	リュ	ɾje	リェ	ɾjo	リョ
w	wa	ワ	wi	ウィ			we	ウェ	wo	ウォ
kw	kwa	クヮ	kwi	クィ			kwe	クェ	kwo	クォ
gw	gwa	グヮ	gwi	グィ			gwe	グェ	gwo	グォ
ŋw	ŋwa	ク゜ヮ	ŋwi	ク゜ィ			ŋwe	ク゜ェ	ŋwo	ク゜ォ

	ɔ		ɛ		æ		ø		œ	
*	ɔ	オア	ɛ	エア	æ	アエ	ø	エオ	œ	オエ
k	kɔ	コア	kɛ	ケア	kæ	カエ	kø	ケオ	kœ	コエ
g/ɣ	gɔ	ゴア	gɛ	ゲア	gæ	ガエ	gø	ゲオ	gœ	ゴエ
ŋ	ŋɔ	コ゜ア	ŋɛ	ケ゜ア	ŋæ	カ゜エ	ŋø	ケ゜オ	ŋœ	コ゜エ
s	sɔ	ソア	sɛ	セア	sæ	サエ	sø	セオ	sœ	ソエ
ɕ/ʃ	ɕɔ	ショア	ɕɛ	シェア	ɕæ	シャエ	ɕø	シェオ	ɕœ	ショエ
dz/z	dzɔ	ゾア	dzɛ	ゼア	dzæ	ザエ	dzø	ゼオ	dzœ	ゾエ
dʑ/ʑ/dʒ/ʒ	dʑɔ	ジョア	dʑɛ	ジェア	dʑæ	ジャエ	dʑø	ジェオ	dʑœ	ジョエ
t	tɔ	トア	tɛ	テア	tæ	タエ	tø	テオ	tœ	トエ
d	dɔ	ドア	dɛ	デア	dæ	ダエ	dø	デオ	dœ	ドエ
ts	tsɔ	ツオア	tsɛ	ツエア	tsæ	ツアエ	tsø	ツエオ	tsœ	ツオエ
tɕ/tʃ	tɕɔ	チョア	tɕɛ	チェア	tɕæ	チャエ	tɕø	チェオ	tɕœ	チョエ
n	nɔ	ノア	nɛ	ネア	næ	ナエ	nø	ネオ	nœ	ノエ
ɲ	ɲɔ	ニョア	ɲɛ	ニェア	ɲæ	ニャエ	ɲø	ニェオ	ɲœ	ニョエ
h	hɔ	ホア	hɛ	ヘア	hæ	ハエ	hø	ヘオ	hœ	ホエ
ç	çɔ	ヒョア	çɛ	ヒェア	çæ	ヒャエ	çø	ヒェオ	çœ	ヒョエ
ɸ	ɸe	フオア	ɸɛ	フェア	ɸæ	ファエ	ɸø	フェオ	ɸe	フオエ
b	bɔ	ボア	bɛ	ベア	bæ	バエ	bø	ベオ	bœ	ボエ
p	pɔ	ポア	pɛ	ペア	pæ	パエ	pø	ペオ	pœ	ポエ
m	mɔ	モア	mɛ	メア	mæ	マエ	mø	メオ	mœ	モエ
ɾ/r	ɾɔ	ロア	ɾɛ	レア	ɾæ	ラエ	ɾø	レオ	ɾœ	ロエ
j	jɔ	ヨア	jɛ	イェア	jæ	ヤエ	jø	イェオ	jœ	ヨエ
kj	kjɔ	キョア	kjɛ	キェア	kjæ	キャエ	kjø	キェオ	kjœ	キョエ
gj	gjɔ	ギョア	gjɛ	ギェア	gjæ	ギャエ	gjø	ギェオ	gjœ	ギョエ
ŋj	ŋjɔ	キ゜ョア	ŋjɛ	キ゜ェア	ŋjæ	キ゜ャエ	ŋjø	キ゜ェオ	ŋjœ	キ゜ョエ
bj	bjɔ	ビョア	bjɛ	ビェア	bjæ	ビャエ	bjø	ビェオ	bjœ	ビョエ
pj	pjɔ	ピョア	pjɛ	ピェア	pjæ	ピャエ	pjø	ピェオ	pjœ	ピョエ
mj	mjɔ	ミョア	mjɛ	ミェア	mjæ	ミャエ	mjø	ミェオ	mjœ	ミョエ
ɾj/rj	ɾjɔ	リョア	ɾjɛ	リェア	ɾjæ	リャエ	ɾjø	リェオ	ɾjœ	リョエ
w	wɔ	ウオア	wɛ	ウェア	wæ	ワエ	wø	ウェオ	wœ	ウオエ
kw	kwɔ	クオア	kwɛ	クェア	kwæ	クワエ	kwø	クェオ	kwœ	クオエ
gw	gwɔ	グオア	gwɛ	グェア	gwæ	グワエ	gwø	グェオ	gwœ	グオエ
ŋw	ŋwɔ	グ゜オア	ŋwɛ	グ゜ェア	ŋwæ	グ゜ワエ	ŋwø	グ゜ェオ	ŋwœ	グ゜オエ

3.6. 報告票における注記の記載方法

報告票に注記を記載する際には，以下の原則に従うものとする。

- 注記は語形の後に記載する。
- 注記の中には回答語形を記載しない。
- 回答語形以外の情報は全て注記として記載する。
- 注記は，略号による注記（以下「注記略号」→(1)参照）と，文章による注記（以下「文章注記」）によってあらわされる。
- 注記は，誰による情報かによって，以下のように括弧で区別する。あいまいな書き方にならないようにするとともに，必ずいずれかの括弧を付与する。
- 注記末尾の句点の有無は問わない。

話者の注記	〈	〉
調査者の注記	（	）
同席者の注記	〔	〕

(1) 注記略号

- 頻度の高い注記については，以下の略号で示す。
- 話者の判断は〈　〉で，調査者の判断は（　），同席者の判断は〔　〕で括る。

#	**長く考えてから答えた回答**
ゆ	**調査者が語形を提示して誘導した回答**
？	**回答に迷いや疑問がある場合**
古	**古い表現**
昔	**昔は使用したが現在は使用しない**
新	**新しい表現**
多	**使うことが多い**
少	**使うことが少ない**
共	**共通語的表現**
丁	**丁寧な表現**
ぞ	**ぞんざいな表現**

#　：「長く考えてから答えた」かどうかは，調査者しか判断できないため（#）としかならない。

ゆ　：誘導は，ほとんどが調査者が行うため（ゆ）となるが，同席者が誘導した場合には〔ゆ〕となる。

？　：迷いや疑問は，話者が迷って回答した場合は〈？〉となり，調査者が回答に疑問を持った場合は（？）となる。

(2) 注記の記載方法

■注記が複数になる場合

・ 注記が複数となる場合は，1注記につき1括弧とする。

［例］長く考え，調査者が語形を誘導した回答。

正 （#）（ゆ）　　誤 （#，ゆ）

［例］古い表現で，あまり使用しないと話者が判断した回答。

正 〈古〉〈少〉　　誤 〈古，少〉

［例］長く考えて「多く使う」と答えたが，調査者が疑問をもつ場合。

正 （#）（？）〈多〉　　誤 （#，？）〈多〉

※注記の順序は問わない。

・ 注記略号と文章注記は組み合わせて記載してもよい。

［例］　〈古〉〈最近は年配の人にだけ使う〉

■併用語形に注記を付す場合

・ 併用語形に関する注記は，いずれかの回答にまとめて記載しないこと。

［例］

正	誤
① エンナカ〈古〉	① エンナカ〈エンナカもエレナカも古い言い方〉
② エレナカ〈古〉〈やや下品〉	② エレナカ〈やや下品〉

・ 注記を繰り返す場合は「〃」で略記してもよい。

※データベースでは「〃」ではなく，繰り返し同じ内容が反映される。以下の例では，①②ともに〈古〉や〈テレビやラジオでよく聞く〉がデータベース化される。

［例］　① エレナカ〈古〉
　　② エンナカ〈〃〉

［例］　① イカナカッタ〈テレビやラジオでよく聞く〉
　　② イカンカッタ〈　〃　〉

■注記が複雑になる場合

・ 同一の文章注記が複数の回答に対して使用されるなど，注記が複雑になる場合には，すべての回答語形を記載した後に，該当する回答番号（①，②，③…）を付して注記を記載する。

※「〃」や矢印などを用いないこと。

※誰による情報かを括弧によって明示すること。

※データベースでは，示した回答番号の注記として扱われる。

［例］文章注記が一部の回答に対して付く場合。

① **イカンカッタ**
② **イカザッタ〈昔〉**
③ **イカヘンカッタ（ゆ）**
①③〈昔は年配の人は使わなかった〉

［例］複数の文章注記が複数の回答に対して付く場合。

① **イカンカッタ**
② **イカザッタ〈古〉**
③ **イカナカッタ〈共〉**
④ **イカヘンカッタ（ゆ）**
①③〈テレビやラジオでよく聞く〉
①③④〈昔は年配の人は使わなかった〉

■項目全体に対する注記の場合

・ 個々の語形に対するもの（以下「語形の注記」）ではなく，項目全体に対するもの（以下「項目全体の注記」）である場合には，**すべての回答語形を記載した後に星型記号「☆」を付して**記載する。

※ 誰による情報かを括弧によって明示すること。

※ 「項目全体の注記」には，

・話者が使用しない語形（以下「不使用語形」）

・その項目の事物・概念に対する注記

・その項目に対する話者の反応や，調査者の予想・コメント

などの情報が当てはまる。

［例］イカセン・イキャセンを誘導したが「使用しない」と回答された場合。

①イカヘン

②イカン（ゆ）

③イカナイ

☆〈イカセン（ゆ），イキャセン（ゆ）は用いない〉

［例］「ぶり」という魚そのものに言及する場合。

２段階：ハマチ・ブリ

☆〈もともとは食べなかった。最近はスーパーで買って食べる。〉

［例］回答が調査者の予想，あるいは先行研究の指摘と異なる場合。

①イカヘンカッタ（ゆ）

②イカンカッタ（ゆ）

☆（この地域ではイカザッタを用いることが予想されたが出現しなかった。）

・ 単用回答において，「語形の注記」か「項目全体の注記」か迷う場合には，「☆」を付さなくてもよい。

※不使用語形は「項目全体の注記」に記載する。

・ 併用回答において，特定の回答語形に関連した不使用語形が得られた場合であっても，「語形の注記」とはせずに「項目全体の注記」で示す。ただし，不使用語形がどの回答語形に対して得られた情報であるかが明確にわかるように記載する。

［例］話者がウモネーを回答した後に，「ウモネーは使うがアモネーは使わない」と，不使用語形アモネーに言及した場合。

①マズイ

②ウモネー

☆〈ウモネーは使うがアモネーは使わない。〉

■話者の使用経験と注記について

・ 今は使わない昔のことばや，話者自身が使わない他人のことばなどは，下記の例を参考にして，注記として括弧の中に記載する。話者自身が使う，あるいは使った経験があるかどうかに注意を払う。

［例］古い言い方で話者自身が使った経験がある場合。

イカセン〈古〉

［例］古い言い方で話者自身が「今も使う」と明示した場合。

イカセン〈古〉〈今も使う〉

［例］古い言い方で話者自身が「かつて使ったが今は使わない」と明示した場合。

イカセン〈昔〉

※〈古〉〈かつて使ったが今は使わない〉とはせず〈昔〉と書く。

［例］古い言い方で話者自身は使った経験がない場合。

不使用語形なので，「項目全体の注記」として記載する。

☆〈イカセンは昔，祖父たちが使っていたが，自分は使ったことはない〉

［例］聞いたことはあるが話者自身は使った経験がない場合。

不使用語形なので，「項目全体の注記」として記載する。

☆〈イカセンを使う人もいるが，自分は使ったことはない〉

・ 語形 A を誘導したが，それに関連する語形 B が回答された場合は，次の例のように，調査者の注記として（　）内に記載する。

［例］イキャセンを誘導したら，「イカセンを使う」と別の語形を回答され，再度イキャセンを誘導したら「イキャセンも使う」と回答された場合。

①イカセン（イキャセン(ゆ)に対して）
②イキャセン（ゆ）

［例］イキャセンを誘導したら，「イキャセンは使わない。代わりにイカセンを使う」と回答された場合。

イカセン（イキャセン(ゆ)に対して）
☆〈イキャセン(ゆ)は用いない〉

※併用回答の場合。

①イカヘン
②イカセン（イキャセン（ゆ）に対して）
☆〈イキャセン(ゆ)は用いない〉

■音声に関する注記

・ 音声記号による注記については「3.5.報告票における回答の表記方法」参照。

・ 発音の聞こえ方を文章で注記する場合は，調査者の注記なので（　）内に記載する。
［例］　**エ⊥ンナカ（エ⊥はイとエの中間音）**

・ 話者自身が発音に関して言及した場合には〈　〉内に記載する。
［例］　**エ⊥ンナカ〈エンナカのエはイとエの中間音で発音する〉**

■「準備調査重複による省略可能項目」における回答

・ 「準備調査重複による省略可能項目」（→「2.3.(2) 各調査項目の表示」参照）において，準備調査の回答に基づいて記入する場合には，「項目全体の注記」として「**☆(準)**」と記載する。
［例］　**カカ゜ミッチョ**
☆(準)

(3) 調査全体に対する注記

・ 個々の質問項目に対する注記ではなく，

・ 話者の発音や話し方，当該地域の方言の特徴など，その地点での調査全体に関係する注記がある。
・ 長い注記が，広範囲の項目で使用される。

といった場合には，報告票の「**話者の特徴・方言的特徴の特記事項**」の欄に記す。
（→「3.3.話者の特徴・方言的特徴の特記事項の報告方法」参照）

10.5. その他

①自治体向け依頼文書

話者の紹介を地方自治体などに依頼する際に活用できる下記の文書を用意し，プロジェクト専用のサイトからダウンロードできるようにした。文書はワープロファイルの形式なので，必要に応じて修訂できるようになっている。

なお，これはあくまでも必要と判断された場合に用いればよいものとして準備したもので，必ずこの文書を用いて調査を行うことを要請したものではない。

●●●●●●殿

平成●●年●●月●●日

国立国語研究所　時空間変異研究系　教授
大西拓一郎
●●大学　●●学部　●職●
●●氏名●●

方言調査に関する協力依頼について

国立国語研究所では，基幹型研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」（リーダー：国立国語研究所 教授 大西拓一郎）として，全国規模での方言調査を実施しています。日本の方言研究においては，国立国語研究所による『日本言語地図』（全6巻）・『方言文法全国地図』（全6巻）を代表に数多くの言語地図が編集・刊行され，海外においても高く評価されています。それらにより方言分布の実態が解明されてきましたが，その後，長いものではすでに約50年の歳月を経ております。その間にことばをとりまく社会も大きく移り変わり，地域で話される日常言語としての方言も変革していることが大いに予想されるところです。それにともない方言の分布も以前とは異なった様子を示しているものと思われます。本プロジェクトにおいては，そのような変化をとらえることを中心課題として，全国を対象に調査を進めています。

以上の研究プロジェクトにおいて，御地を対象に調査することを計画いたしました。つきましては，まことに恐縮ですが，下記の条件に合う方を御紹介いただきたく，お願い申し上げる次第です。

記

1. 年齢　1940年3月31日以前生まれの70歳代。（男女は問いません。）
2. ●●県●●市（●大字・小字等●）で生まれ，15歳までよそでの生活※がないこと。
3. 16歳以降，よそでの生活※があっても通算10年以内であること。
   ※旧市区町村内での移動は「よそでの生活」とは見なしません。
   疎開や季節労働による移動も「よそでの生活」とは見なしません。
4. ふだん，土地のことばで話をしていると見られる人。

条件は，以上です。方言について研究なさっている，あるいは，方言に強く興味をお持ちであるといったことは必要ありません。なお，御紹介いただくのはお一人で結構です。

調査内容については，方言の研究者がご紹介いただいた方に直接お目にかかって，たとえば次のようなことを口頭でお尋ねします。

「あの人の話はとても面白いと言うとき，「とても」のところを何と言いますか。」

項目によっては，絵をお示ししながら（この例では「かぼちゃ」の絵を示し），

「これを何と言いますか。夏にとれる，つるになる大きな実です。」

このような内容のことを全部で約200項目についてうかがいます。時間は2時間～3時間程度です。

調査は，平成●●年●●月●●日頃を予定しています。場所は，御自宅や集会所など御指定いただいた場所で結構です。●調査者氏名が●人（例：一人）で／調査者氏名ほか●名が●御指定の場所にうかがいます。

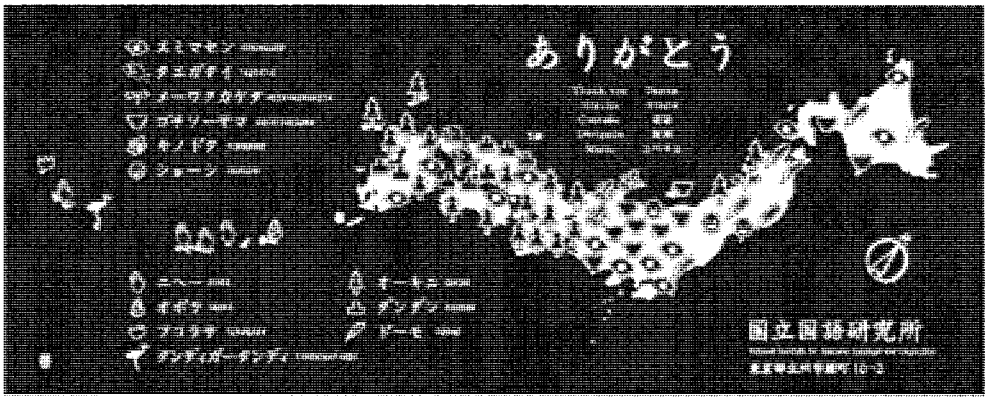
なお，調査に御協力いただいた方には，粗品を用意しております。

②話者向けパンフレット

話者予定者に事前に説明できるようなものがあるとよいという希望に対応して，下記のようなパンフレットを作成した（元はカラー，作成者は竹田晃子氏）。2010 年度は予算の関係で印刷することができなかったため，カラーコピーを配布した。なお，ファイルは PDF 形式でプロジェクト専用のサイトからダウンロードできるようにした。

③記念品用手拭い「ありがとう」

協力を受けた話者あての謝礼品として，ノベルティー品の文具セットと謝辞「ありがとう」の全国方言分布をデザインした日本手拭いを用意した（元はカラー）。デザインは竹田晃子氏が担当し，『方言文法全国地図』の該当項目（第 6 集 267～270 図）のほか諸種資料を参考に作成した。



④論文等クレジット記載参考例

プロジェクトの成果を論文等で公表する際に付記するクレジットの記載例を用意し，プロジェクト専用のサイトからダウンロードして使えるようにした。

共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」のクレジット

2010年7月30日

大西拓一郎

本プロジェクトに基づく研究成果を公表する場合，以下を参考にクレジットを付す。

プロジェクト名（日本語）

「方言の形成過程解明のための全国方言調査」

プロジェクト名（英語）

"Field-Research Project for Analyzing the Formation Process of Japanese Dialects"

※プロジェクト進行期間中は，年度は示さなくて良い。

（1） 日本語：本研究は，（2010-201*年に行われた）国立国語研究所の共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」による研究成果の一部である。

英 語：This paper is part of the outcomes of the collaborative research project "Field-Research Project for Analyzing the Formation Process of Japanese Dialects" carried out at the National Institute for Japanese Language and Linguistics (from 2010 to 201*).

（2） 日本語：本稿は（2010-201*年に行われた）国立国語研究所の共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」に基づいている。

英 語： This paper is based on the collaborative research project "Field-Research Project for Analyzing the Formation Process of Japanese Dialects" carried out at the National Institute for Japanese Language and Linguistics (from 2010 to 201*).

（3） 日本語： 本論文は，（2010-201*年に行われた）国立国語研究所の共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」の一部を報告するものである。

英 語： This paper reports on the ongoing collaborative research project "Field-Research Project for Analyzing the Formation Process of Japanese Dialects" at the National Institute for Japanese Language and Linguistics (from 2010 to 201*).

（4） 日本語： 本論文は，（2010-201*年に行われた）国立国語研究所の共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」の成果を発展させたものである。

英 語： This paper grew out of the collaborative research project "Field-Research Project for Analyzing the Formation Process of Japanese Dialects" carried out at the National Institute for Japanese Language and Linguistics (from 2010 to 201*).

（5） 日本語： 本論文で報告するデータは，（2010-201*年に行われた）国立国語研究所の共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」に依拠している。

英 語： The data discussed in this paper derives from the collaborative research project "Field-Research Project for Analyzing the Formation Process of Japanese Dialects" carried out at the National Institute for Japanese Language and Linguistics (from 2010 to 201*).

10.6 研究組織

①プロジェクト参加者一覧（2010年12月現在）

共同研究者・協力者	氏名	所属	職
共同研究者・事務局	大西拓一郎	国立国語研究所 時空間変異研究系	教授
	鑓水兼貴	国立国語研究所 時空間変異研究系	プロジェクト特別研究員
	吉田雅子	国立国語研究所 時空間変異研究系	プロジェクト奨励研究員
	竹田晃子	国立国語研究所 時空間変異研究系	プロジェクト非常勤研究員
共同研究者	朝日祥之	国立国語研究所 時空間変異研究系	准教授
	新井小枝子	群馬県立女子大学 文学部	非常勤講師
	今村かほる	弘前学院大学 文学部	准教授
	岩城裕之	呉工業高等専門学校 人文社会系分野	准教授
	上野智子	高知大学 人文社会科学系	教授
	太田有多子	椙山女学園大学 国際コミュニケーション学部	助手
	大橋純一	いわき明星大学 人文学部	准教授
	沖裕子	信州大学 人文学部	教授
	加藤和夫	金沢大学 人間社会研究域・歴史言語文化学系	教授
	金田章宏	千葉大学 国際教育センター	教授
	亀田裕見	文教大学 文学部	准教授
	狩俣繁久	琉球大学 法文学部	教授
	木川行央	神田外語大学大学院 言語科学研究科	教授
	岸江信介	徳島大学大学院 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部	教授
	木部暢子	国立国語研究所 時空間変異研究系	教授
	小西いずみ	広島大学大学院 教育学研究科	准教授
	小林隆	東北大学大学院 文学研究科	教授
	坂口至	熊本大学 文学部	教授
	佐藤髙司	共愛学園前橋国際大学 国際社会学部	教授
	渋谷勝己	大阪大学大学院 文学研究科	教授
	下地理則	群馬県立女子大学 国際コミュニケーション学部	講師
	杉村孝夫	福岡教育大学 教育学部	教授
	高木千恵	大阪大学大学院 文学研究科	准教授
	高橋顕志	群馬県立女子大学 文学部	教授
	武田拓	仙台高等専門学校 総合科学系	准教授
	田中宣廣	岩手県立大学 宮古短期大学部	准教授
	田中ゆかり	日本大学 文理学部	教授
	都染直也	甲南大学 文学部	教授
	友定賢治	県立広島大学 保健福祉学部	教授
	中井精一	富山大学 人文学部	准教授
	中東靖恵	岡山大学大学院 社会文化科学研究科	准教授
	仲原穣	琉球大学 大学教育センター	非常勤講師
	二階堂整	福岡女学院大学 人文学部	教授
	西村浩子	松山東雲女子大学 人文科学部	教授
	灰谷謙二	尾道大学 芸術文化学部	准教授
	半沢康	福島大学 人文社会群人文学類	准教授
	日高貢一郎	大分大学 教育福祉科学部	教授
	日高水穂	秋田大学 教育文化学部	教授
	福嶋秩子	新潟県立大学 国際地域学部	教授
	藤田勝良	佐賀大学 文化教育学部	教授
	舩木礼子	神戸女子大学 文学部	准教授
	松丸真大	滋賀大学 教育学部	准教授
	三井はるみ	国立国語研究所 理論・構造研究系	助教
	村上敬一	神戸松蔭女子学院大学 文学部	准教授
	山田敏弘	岐阜大学 教育学部	准教授

共同研究者・協力者	氏名	所属	職
	天野義廣	仁愛大学・仁愛女子短期大学	非常勤講師
	荒木恵	富山県立小杉高等学校	臨任講師
	有元光彦	山口大学 教育学部	教授
	市岡香代	国際交流基金 関西国際センター	非常勤講師
	出野憲司	長野県伊那西高等学校	教頭
	井上文子	国立国語研究所 時空間変異研究系	准教授
	内間早俊	東北大学大学院 文学研究科	大学院生
	大豊香織	富山県高岡市立高岡西部中学校	教諭
	小川俊輔	広島経済大学 経済学部	講師
	小原めい	鹿児島大学大学院 人文社会科学研究科	大学院生
	柄沢朋子	くまざわ書店 新潟デッキィ店	社員
	川越めぐみ	東北大学大学院 文学研究科	大学院生
	見野久幸	北海道小樽潮陵高等学校	非常勤講師
	古閑恭子	高知大学 人文学部	准教授
	小林初夫	福島県南相馬市立上真野小学校	教諭
	酒井雅史	大阪大学大学院 文学研究科	研究生
	坂喜美佳	東北大学大学院 文学研究科	大学院生
	澤村美幸	大阪大学大学院 文学研究科	日本学術振興会特別研究員
	椎名渉子	東北大学大学院 文学研究科	大学院生
	品川大輔	香川大学 経済学部	講師
	篠崎晃一	東京女子大学 現代教養学部	教授
	島袋幸子	琉球大学	非常勤講師
	下地賀代子	国立国語研究所	プロジェクトPDフェロー
	白岩広行	大阪大学大学院 文学研究科	大学院生
	菅泰雄	北海学園大学 人文学部	教授
調査協力者	高野照司	北星学園大学文学部/大学院文学研究科	教授
	田島大之	北國新聞社	記者
	田附敏尚	東北大学大学院 文学研究科	大学院生
	玉懸元	中京大学 文学部	准教授
	辻加代子	神戸学院大学 経済学部	准教授
	津田智史	東北大学大学院 文学研究科	大学院生
	鳥谷善史	天理大学 文学部	非常勤講師
	道場優	北海道方言研究会	事務局長
	中村萬里	筑紫女学園大学 文学部	教授
	中本謙	琉球大学 教育学部	准教授
	永森理一郎	金沢大学 角間北地区事務部会計課	一般職員
	西岡敏	沖縄国際大学 総合文化学部	准教授
	新田哲夫	金沢大学 人間社会研究域・歴史言語文化学系	教授
	野村真理	石岡市立柿岡中学校	教諭
	濱田隆文	大阪大学大学院 文学研究科	大学院生
	濱中誠	鹿児島大学 戦略的大学連携本部	特任講師
	平塚雄亮	大阪大学大学院 文学研究科	大学院生
	本多真史	日本大学東北高等学校	非常勤講師
	又吉里美	志學館大学 人間関係学部	講師
	松田美香	別府大学 文学部	准教授
	松永修一	十文字学園女子大学 社会情報学部	准教授
	三樹陽介	國學院大學大学院 文学研究科	大学院生
	村田真実	徳島大学大学院 総合科学教育部	大学院生
	山田賢治	甲南大学大学院 人文科学研究科	大学院生
	ダニエル・ロング	首都大学東京 人文科学研究科	准教授
	渡邉有紀恵	新潟経営大学 留学生センター	派遣非常勤講師

②調査担当地域一覧（2010年12月現在）

都道府県《計画地点数》	共同研究者	調査協力者（共同研究者は非記載）
01 北海道《25》	朝日祥之	
		見野久幸
		菅泰雄
		高野照司
		道場優
02 青森県《計画中》	今村かほる	
03 岩手県《19》	田中宣廣	
04 宮城県《11》	武田拓	
		内間早俊
		津田智史
05 秋田県《16》	日高水穂	
06 山形県《11》	小林隆	
		川越めぐみ
		澤村美幸
07 福島県《27》	半沢康	
		小林初夫
		白岩広行
		田附敏尚
08 茨城県《9》	大橋純一	
		野村真理
		本多真史
09 栃木県《9》	佐藤高司	
10 群馬県《10》	新井小枝子	
11 埼玉県《6》	亀田裕見	
12 千葉県《8》	三井はるみ	
		井上文子
		椎名渉子
		篠崎晃一
13 東京都《6》	三井はるみ	
		三樹陽介
13 東京都（島嶼部）《6》	金田章宏	
		ダニエル・ロング
14 神奈川県《9》	田中ゆかり	
15 新潟県《21》	福嶋秩子	
		柄沢朋子
		渡邉有紀恵
16 富山県《9》	中井精一	
		荒木恵
		大豊香織
17 石川県《9》	中井精一	
		田島大之
		永森理一郎
		新田哲夫
18 福井県《9》	加藤和夫	
		天野義廣
		坂喜美佳
		濱田隆文
19 山梨県《6》	吉田雅子	
20 長野県《18》	沖裕子	
		出野憲司
21 岐阜県《14》	山田敏弘	
22 静岡県《12》	木川行央	
		市岡香代
23 愛知県《10》	太田有多子	
24 三重県《11》	松丸真大	
		玉懸元
25 滋賀県《7》	松丸真大	
		酒井雅史
26 京都府《11》	高木千恵	
		辻加代子
		濱田隆文

都道府県《計画地点数》	共同研究者	調査協力者（共同研究者は非記載）
27 大阪府《7》	高木千恵	
		鳥谷善史
28 兵庫県《15》	都染直也	
		山田賢治
29 奈良県《8》	中井精一	
		鳥谷善史
30 和歌山県《9》	渋谷勝己	
		平塚雄亮
31 鳥取県《6》	都染直也	
32 島根県《11》	友定賢治	
33 岡山県《14》	中東靖恵（非島嶼部）	
	岩城裕之（島嶼部）	
34 広島県《16》	小西いずみ（安芸地方非島嶼部）	
		小川俊輔（安芸地方非島嶼部）
	灰谷謙二（備後地方非島嶼部）	
	岩城裕之（島嶼部）	
35 山口県《11》	小西いずみ	
36 徳島県《7》	岸江信介	
		村田真実
37 香川県《5》	岸江信介	
		品川大輔
38 愛媛県《11》	西村浩子	
39 高知県《13》	上野智子	
		古閑恭子
40 福岡県《10》	杉村孝夫	
		中村萬里
41 佐賀県《2》	藤田勝良	
42 長崎県《14》	坂口至	
		有元光彦
43 熊本県《11》	村上敬一	
		濱中誠
44 大分県《11》	二階堂整	
		松田美香
45 宮崎県《13》	日高貢一郎	
		松永修一
46 鹿児島県《10》	木部暢子	
		小原めい
46 鹿児島県（奄美地方）《3》	狩俣繁久	
47 沖縄県《30》	狩俣繁久（沖縄地方）	
		島袋幸子（沖縄地方）
		中本謙（沖縄地方）
		又吉里美（沖縄地方）
	下地理則（宮古地方）	
		下地賀代子（宮古地方）
	仲原穣（八重山地方）	
		西岡敏（八重山地方）

執筆者一覧
大西拓一郎（国立国語研究所 時空間変異研究系，教授）
吉田雅子（国立国語研究所 時空間変異研究系，プロジェクト奨励研究員）
竹田晃子（国立国語研究所 時空間変異研究系，プロジェクト非常勤研究員）
鑓水兼貴（国立国語研究所 時空間変異研究系，プロジェクト特別研究員）
新井小枝子（群馬県立女子大学 文学部，非常勤講師）
小西いずみ（広島大学大学院 教育学研究科，准教授）
高木千恵（大阪大学大学院 文学研究科，准教授）
日高水穂（秋田大学 教育文化学部，教授）
舩木礼子（神戸女子大学 文学部，准教授）
松丸真大（滋賀大学　教育学部，准教授）

国立国語研究所共同研究報告10-03

方言の形成過程解明のための全国方言調査「事前研究」報告書

2011年3月31日発行

著者　大西拓一郎　吉田雅子　竹田晃子　鑓水兼貴　新井小枝子
小西いずみ　高木千恵　日高水穂　舩木礼子　松丸真大
発行　大学共同利用機関法人　人間文化研究機構
国立国語研究所
〒190-8561　東京都立川市緑町10-2
電話　042(540)4300（代表）
http://www.ninjal.ac.jp/

©国立国語研究所
ISBN 978-4-906055-10-4　　ISSN 2185-0127

NINJAL Collaborative Research Project Reports 10-03

Field Research Project to Analyze the Formation Process of Japanese Dialects
Preliminary Research Report

Takuichiro Onishi
Noriko Yoshida
Koko Takeda
Kanetaka Yarimizu
Saeko Arai
Izumi Konishi
Chie Takagi
Mizuho Hidaka
Reiko Funaki
Michio Matsumaru

March 2011

NATIONAL INSTITUTE FOR JAPANESE LANGUAGE AND LINGUISTICS